

鎌倉市埋蔵文化財緊急調査報告書 32

平成27年度発掘調査報告

(第1分冊)

西 御 門 遺 跡

西 御 門 遺 跡

平成28年 3 月

鎌倉市教育委員会



西御門遺跡 上：西御門一丁目681番1地点、下：西御門一丁目11番14地点 (写真右が北)



西御門遺跡 (西御門一丁目681番1地点) 第2面出土土製人形

ご あ い さ つ

本市は、市域のおおよそ6割が埋蔵文化財包蔵地であり、多くの市民が埋蔵文化財の眠る土地で生活を送っています。

近年、古い家屋や店舗の建て替えに伴い、埋蔵文化財に影響を及ぼす工事が増加し、長い年月地下で眠っていた文化財が失われることも増加してきています。

私たちが日々の生活を送っていく上で、やむを得ず失われる埋蔵文化財について記録を保存し後世に残すことは、現在を生きる私たちの責務であると言えます。

鎌倉市教育委員会では、昭和59年度から個人専用住宅等の建設に係る発掘調査を実施しています。本書は平成18・19・22・26年度に実施した、個人専用住宅等の建築に伴う発掘調査6ヶ所の調査記録を掲載しています。

本書が、武家政治発祥の地として知られ、今なお観光・文化都市として栄える鎌倉が歩んできた歴史を解き明かす一助となればと願う次第です。

最後になりましたが、調査の実施に当たり、関係者の皆様に発掘調査に対し深いご理解を賜るとともに、調査の期間中、さまざまなお協力をいただきましたことを心からお礼を申し上げます。

平成28年3月31日

鎌倉市教育委員会

例 言

- 1 本書は平成27年度の国庫補助事業埋蔵文化財緊急調査に係る発掘調査報告書（第1分冊及び第2分冊）である。
- 2 本書所収の調査地点及び所収分冊は別表・別図のとおりである。
- 3 現地調査及び出土資料の整理は、鎌倉市教育委員会文化財課が実施した。
- 4 出土遺物及び調査に関する図面及び写真等は、鎌倉市教育委員会文化財課が保管している。
- 5 各調査の成果は、それぞれの報告を参照されたい。
- 5 報告1については松吉大樹氏に、報告2については古田土俊一氏、松吉大樹氏に玉稿を賜った。

総目次

(第1分冊)

ごあいさつ	I
例言	II
目次	III
本誌掲載の平成18・19・22・26年度発掘調査地点一覧	V
平成27年度調査の概観	VI
調査地点位置図	VIII

1 西御門遺跡 (No.325) 西御門一丁目11番14地点

第一章 遺跡の位置と歴史的環境	7
第二章 発見された遺構と遺物	13
第三章 まとめ	93

2 西御門遺跡 (No.325) 西御門一丁目681番1地点

第一章 遺跡の位置と歴史的環境	179
第二章 検出遺構と出土遺物	185
第三章 まとめ	250

(第2分冊)

例言	II
目次	III

3 若宮大路周辺遺跡群 (No.242) 小町二丁目24番14地点

第一章 遺跡と調査地点の概観	6
第二章 調査の概要	17
第三章 調査結果	19
第四章 自然科学分析	58
第五章 まとめと考察	71

4 大倉幕府周辺遺跡群 (No.49) 雪ノ下字天神前562番30地点

第一章 遺跡と調査地点の概観	99
第二章 調査の概要	104

第三章	調査結果	106
第四章	まとめと考察	139
5 若宮大路周辺遺跡群 (No.242) 大町一丁目1034番9地点		
第一章	遺跡の位置と歴史的環境	161
第二章	調査の方法と経過	163
第三章	基本土層	164
第四章	発見された遺構と遺物	170
第五章	調査成果のまとめ	193
6 台山遺跡 (No.29) 台字西ノ台1418番10地点		
第一章	遺跡の位置と歴史的環境	247
第二章	調査の方法と経過	250
第三章	基本土層	252
第四章	発見された遺構と遺物	253
第五章	調査成果のまとめ	260
付編	台山遺跡のテフラ	261

本誌掲載の平成18・19・22・26年度発掘調査地点一覧

第1分冊

	遺跡名	所在地	調査原因	遺跡種別	調査面積	調査期間
1 ▲	西御門遺跡 (N0.325)	西御門一丁目11番14	個人専用住宅 (杭基礎)	都市	43.00	平成18年10月17日 ～平成19年1月26日
2 ▲	西御門遺跡 (N0.325)	西御門一丁目681番1	個人専用住宅 (杭基礎)	都市	153.00	平成18年10月23日 ～平成19年1月25日

第2分冊

	遺跡名	所在地	調査原因	遺跡種別	調査面積	調査期間
3 □	若宮大路周辺遺跡群 (N0.242)	小町二丁目24番14	個人専用住宅 (杭基礎)	都市	14.50	平成19年8月28日 ～平成19年9月26日
4 □	大倉幕府周辺遺跡群 (N0.49)	雪ノ下字天神前562番30	個人専用住宅 (地盤の表層改良)	都市	26.25	平成19年11月7日 ～平成19年12月14日
5 ●	若宮大路周辺遺跡群 (N0.242)	大町一丁目1034番9	店舗併用住宅 (地盤の柱状改良)	都市	79.81	平成22年8月18日 ～平成22年11月5日
6 ◎	台山遺跡 (N0.29)	台字西ノ台1418番10	個人専用住宅 (杭基礎)	集落跡	40.40	平成26年8月28日 ～平成26年10月10日

▲印は平成18年度実施の発掘調査

□印は平成19年度実施の発掘調査

●印は平成22年度実施の発掘調査

◎印は平成26年度実施の発掘調査

平成27年度調査の概観

平成27年度の緊急調査実施件数は3件であり、調査面積は199.61㎡であった。これを前年度の4件、225.0㎡と比較してみると件数は1件の減少となり、調査面積は25.39㎡の減少となった。1件の調査面積は平均で66.53㎡(前年度は56.25㎡)であり、1件あたりの面積は前年度よりも増加している。

調査原因は3件ともに個人専用住宅の建設である。これらの工種別内訳は、鋼管杭打ち工事が1件、地盤改良工事が2件となっている。今年度も地盤改良工事や鋼管杭打ち工事が発掘調査の主体的な原因になっている傾向が顕著である。以下、各地点の調査成果の概要を紹介する。(調査面積及び調査期間等については「平成27年度調査地点一覧」を参照。)

1 台山遺跡 (No.29)

市内北部の山ノ内に所在し、北鎌倉駅から北西へ約341mの台地上に位置する遺跡である。鋼管杭打ち工事を行う個人専用住宅の建築にともない発掘調査を実施した。調査の結果、15世紀の整地層を確認し、溝、土坑を検出した。出土遺物は須恵器、かわらけ、国産陶器がある。

2 積善遺跡 (No.440)

十二所字積善に所在し、明王院の南方約175mに位置する。地盤の柱状改良工事を行う個人専用住宅の建築にともない発掘調査を実施した。調査の結果、13世紀から15世紀にかけての6時期に亘る生活面が確認でき、敷石遺構、溝状遺構、土坑、柱穴、井戸を検出した。出土遺物はかわらけ、国産陶器、舶載陶磁器、瓦、木製品、鉄製品、石製品等がある。

3 東勝寺跡 (No.246)

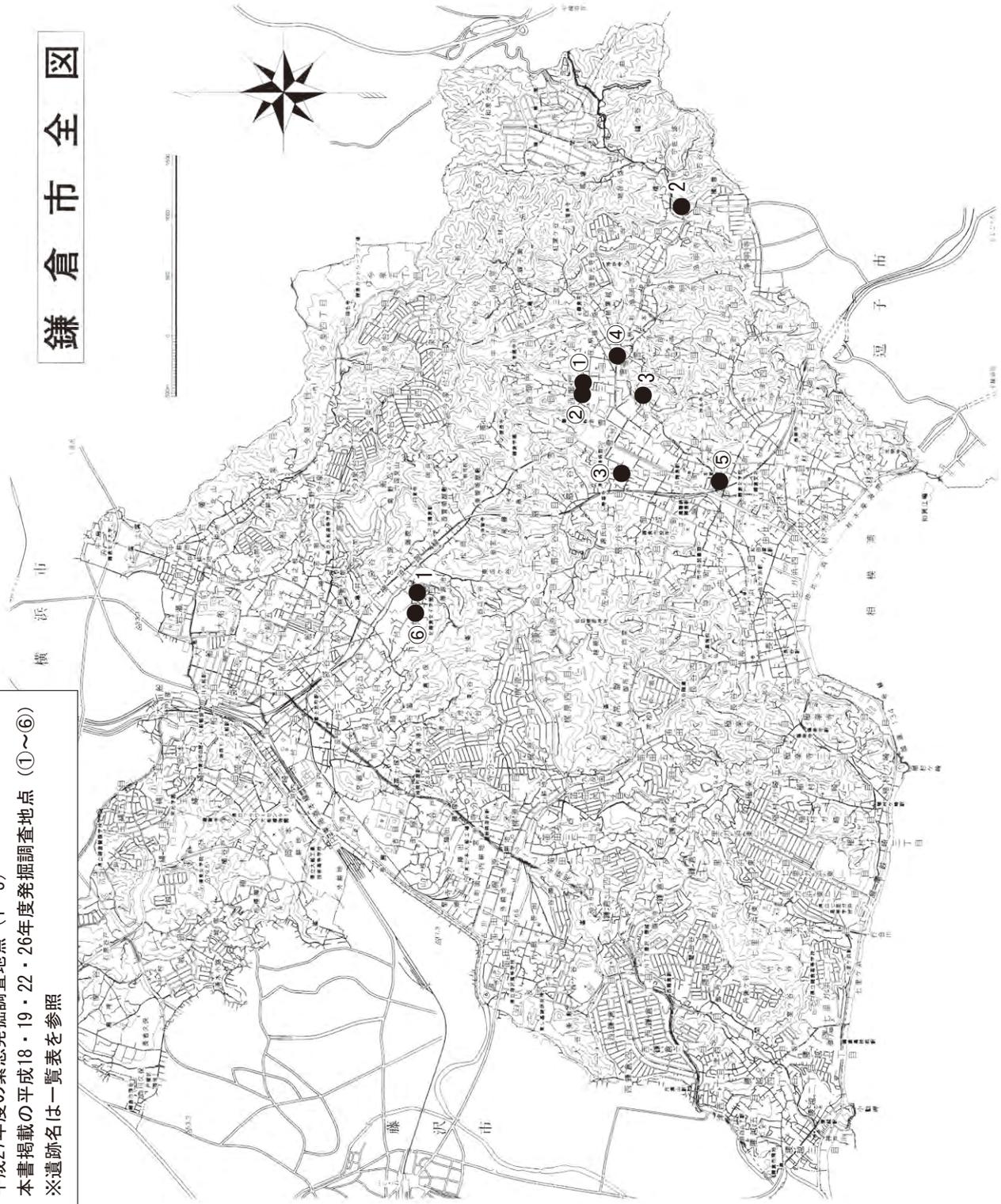
市内中心部の小町に所在し、鎌倉駅から北東へ約838mに位置しており、史跡東勝寺跡指定地に近接する。地盤の柱状改良工事を行う個人専用住宅の建築にともない、発掘調査を実施した。調査の結果、13世紀から14世紀の岩盤削平面と整地層を確認し、土坑、柱穴を検出した。かわらけ、国産陶器、舶載陶磁器が出土している。

平成27年度発掘調査地点一覧

	遺跡名	所在地	調査原因	遺跡種別	調査面積	調査期間
1	台山遺跡 (No. 29)	山ノ内 860 番 2 の一部	個人専用住宅 (杭基礎)	遺物散布地 中世館跡 砦跡 集落跡	69.60	平成 27 年 4 月 28 日 ～平成 27 年 6 月 23 日
2	積善遺跡 (No. 440)	十二所字積善 944 番 1、 945 番 7、945 番 10	個人専用住宅 (地盤の柱状改良)	遺物散布地	47.00	平成 27 年 8 月 18 日 ～平成 27 年 11 月 12 日
3	東勝寺跡 (No. 246)	小町三丁目 529 番 1、4、5	個人専用住宅 (地盤の柱状改良)	社寺跡	83.01	平成 27 年 9 月 1 日 ～平成 27 年 12 月 25 日

鎌倉市全図

平成27年度の緊急発掘調査地点 (1~3)
本書掲載の平成18・19・22・26年度発掘調査地点 (①~⑥)
※遺跡名は一覧表を参照



西御門遺跡 (No.325)

鎌倉市西御門一丁目 11 番 14 地点

例 言

1. 本報は鎌倉市西御門一丁目11番14地点に所在する遺跡の発掘調査である。
2. 発掘調査は個人専用住宅にかかる建築範囲約43㎡を対象とし、平成18年10月17日から平成19年1月26日にかけて実施した。
3. 現地での調査体制は以下の通り。

担当者	伊丹まどか
調査員	宇都洋平・鈴木絵美・本城裕・松原康子
作業員	秋田公佑・小口照男・河原龍雄・清水光一・田口康雄・藤枝正義・山崎一男
4. 本報作成は以下の分担で行った。

遺物実測	石元道子・宇都洋平・岡田慶子・田畑衣里・渡辺美佐子
遺物図版作成	渡辺美佐子
遺構図版作成	田畑衣里・伊丹まどか・吉田桂子・渡辺美佐子
観察表	田畑衣里
遺構計測表	平山千絵
遺構写真	鈴木絵美・宇都洋平
遺物写真	須佐仁和
写真図版作成	梅岡溪音・小野夏菜
グリッド図作成	後藤健
執筆・編集	松吉大樹・伊丹まどか
5. 出土品など発掘調査資料は、鎌倉市教育委員会が管理・保存している。
6. 本報図版の遺構・遺物の縮尺は次の通り。

遺構全測図	: 1/50	個別遺構図	: 1/40	実測遺物図	: 1/3	錢	: 1/1
-------	--------	-------	--------	-------	-------	---	-------

なお各挿図にはスケールを表示してある。
7. ・実測遺物は、可能な限り復元して実測した。紙面の都合からすべての実測図を掲載していないが、観察表には復元した数値などを掲載している。本文の都合から遺物に関する詳細は観察表にすべてまとめて記載している。
 - ・復元して実測した遺物に関しては、計測値に()を付して表してある。
 - ・木製品の内、箸・箸などの器形から用途を確実に判別できないものは「…状」として提示してある。
 - ・文章中「かわらけ」と記載したものはロクロ成形のかわらけを指し、手づくね成形のかわらけは「手づくね」と記載している。
 - ・ロクロ成形かわらけの底径は、回転糸切りの外径部分で。手づくね成形かわらけの底径は、器面が接地した箇所計測している。
 - ・それぞれの陶磁器に関しては、生産地での編年を参考に観察表にその年代を示したが、破片の為不安の残るものに関しては割愛した。常滑は中野晴久氏、瀬戸製品に関しては藤澤良祐氏の編年に基づいて分類した。
8. 発掘調査及び、報告書作成に関しては次の方々よりご教授、ご協力を賜りました。記して深く感謝いたします。(敬称略・五十音順)
大三輪龍哉・小川裕久・小野夏菜・熊谷満・齋木秀雄・汐見一夫・須佐仁和・鈴木弘太・中三川昇・野本賢二・浜野浩美・原廣志・松尾宣方・松吉大樹・馬淵和雄・山口正紀

目次

本文目次

第一章 遺跡の位置と歴史的環境	7
1. 歴史的環境 (図1)	
2. 遺跡位置とグリッド配置図 (図2)	
3. 堆積土層 (図3・図4)	
第二章 発見された遺構と遺物	13
1. 第1面の遺構と遺物 (図5～図9)	
2. 第2面の遺構と遺物 (図10～図18)	
3. 第3面の遺構と遺物 (図19～図25)	
4. 第4面の遺構と遺物 (図26～図29)	
5. 第5面の遺構と遺物 (図30～図33)	
6. 第6面の遺構と遺物 (図34～図39)	
7. 第7面の遺構と遺物 (図40～図50)	
8. 第8面の遺構と遺物 (図51～図60)	
9. 最終トレンチ (図61～図63)	
第三章 まとめ	93
1. 検出した遺構と遺物	
2. まとめ	
遺物観察表	
遺構計測表	
西御門遺跡 (遺構558) の花粉分析とプラント・オパール分析 (森将志)	129

挿図目次

図1 調査地点と周辺の遺跡.....	5	図18 第2面. 遺構231(2)・第2面. 面上	
図2 遺跡位置とグリッド配置図	10	・第2面. 構成土出土遺物	31
図3 調査区西壁堆積土層図.....	11	図19 第3面全測図.....	33
図4 調査区南壁堆積土層図.....	12	図20 第3面遺構(1).....	35
図5 第1面全測図.....	14	図21 第3面遺構(2).....	36
図6 第1面遺構(1).....	16	図22 第3面遺構出土遺物(1).....	37
図7 第1面遺構(2).....	17	図23 第3面遺構出土遺物(2).....	38
図8 第1面遺構出土遺物(1).....	18	図24 第3面. 面上・構成土出土遺物(1).....	41
図9 第1面遺構・面上・構成土出土遺物(2).....	20	図25 第3面. 面上・構成土出土遺物(2).....	42
図10 第2面全測図・エレベーション図	22	図26 第4面全測図.....	44
図11 第2面遺構(1).....	24	図27 第4面遺構.....	46
図12 第2面遺構(2).....	25	図28 第4面. 遺構 出土遺物.....	47
図13 第2面遺構出土遺物(1).....	26	図29 第4面. 面上・構成土出土遺物	48
図14 第2面遺構出土遺物(2).....	27	図30 第5面全測図.....	49
図15 第2面. 遺構230出土遺物(1)	28	図31 第5面遺構437	50
図16 第2面. 遺構230出土遺物(2)	29	図32 第5面. 遺構438・遺構439・遺構440	51
図17 第2面・遺構231出土遺物(1)	30	図33 第5面. 面上・構成土出土遺物	52

図34 第6面全測図	54	図50 第7面. 構成土出土遺物(2)	74
図35 第6面遺構	55	図51 第8面全測図	75
図36 第6面. 遺構出土遺物(1)	56	図52 第8面遺構	77
図37 第6面. 遺構出土遺物(2)	57	図53 第8面. 遺構出土遺物(1)	79
図38 第6面. 面上・構成土出土遺物(1)	59	図54 第8面. 遺構出土遺物(2)	80
図39 第6面. 面上・構成土出土遺物(2)	60	図55 第8面. 遺構558・遺構558出土遺物	81
図40 第7面全測図	61	図56 第8面. 遺構568・遺構580・遺構591出土遺物	83
図41 第7面遺構(1)	63	図57 第8面. 遺構580・角柱・杭	84
図42 第7面遺構(2)	64	図58 第8面. 面上出土遺物	85
図43 第7面. 遺構480	65	図59 第8面. 構成土出土遺物(1)	86
図44 第7面. 遺構533	66	図60 第8面. 構成土出土遺物(2)	87
図45 第7面柱穴列	68	図61 最終トレンチ	88
図46 第7面. 遺構出土遺物(1)	70	図62 第9面・第10面構成土出土遺物(1)	90
図47 第7面. 遺構出土遺物(2)	71	図63 第10面・第11面・第12面構成土出土遺物・表土採集遺物	91
図48 第7面. 遺構出土遺物(3)	72		
図49 第7面. 面上・構成土出土遺物(1)	73		

図 版 目 次

図版1 第1面・第2面全景	133	図版22 第6面出土遺物	154
図版2 第3面・第4面全景	134	図版23 第6面出土遺物	155
図版3 第5面・第6面全景	135	図版24 第6面出土遺物	156
図版4 第7面・第8面全景	136	図版25 第7面出土遺物	157
図版5 最終トレンチ 全景・西壁セクション	137	図版26 第7面出土遺物	158
図版6 調査区南壁(分割して撮影)	138	図版27 第7面出土遺物	159
図版7 第1面・第2面遺構	139	図版28 第7面出土遺物	160
図版8 第2面・第3面遺構	140	図版29 第7面出土遺物	161
図版9 第3面～第6面遺構	141	図版30 第7面構成土出土<曲物>	162
図版10 第6面・第7面遺構	142	図版31 第8面出土遺物	163
図版11 第7面・第8面遺構	143	図版32 第8面出土遺物	164
図版12 第8面遺構	144	図版33 第8面出土遺物	165
図版13 第1面・第2面出土遺物	145	図版34 第8面出土遺物	166
図版14 第2面出土遺物	146	図版35 第8面出土遺物	167
図版15 第2面出土遺物	147	図版36 第8面出土遺物	168
図版16 第2面出土遺物	148	図版37 第8面・第9面・第10面出土遺物	169
図版17 第2面・第3面出土遺物	149	図版38 第10面・第11面・第12面 ・表採出土遺物	170
図版18 第3面出土遺物	150	図版39 遺構558・花粉、寄生虫卵の 単体標本	171
図版19 第3面・第4面出土遺物	151	図版40 遺構558・植物珪酸体	172
図版20 第4面・第5面出土遺物	152		
図版21 第5面・第6面出土遺物	153		

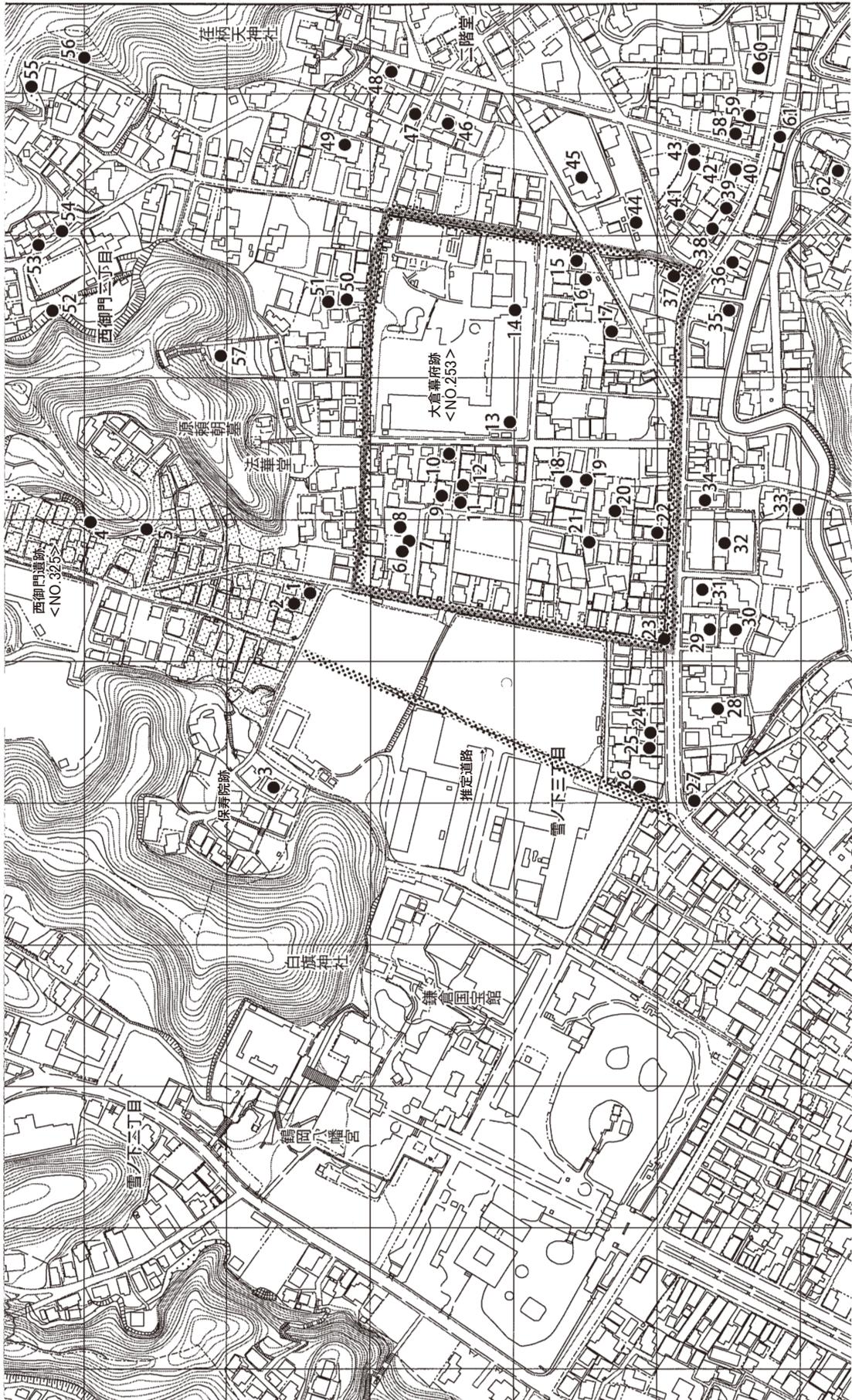


図1 調査地点と周辺の遺跡

<調査地点一覧>

- 西御門遺跡 1.西御門一丁目11番14(本調査地点) 2.西御門一丁目681番1
○保寿院跡 3.西御門一丁目922番4(宮田・滝沢2007『市緊急報告書』23)
西御門東やぐら群4.西御門一丁目22番1、23番(鈴木2005『西御門東やぐら群』) 5.西御門一丁目22番1、23番(鈴木2005『西御門東やぐら群』)
○大倉幕府跡 6.雪ノ下三丁目693番8(押木2014『市緊急報告書』31) 7.雪ノ下三丁目693番1(宮田・滝沢2013『大倉幕府跡(No.253)発掘調査報告書』) 8.雪ノ下三丁目694番18(宮田・安藤2013『大倉幕府跡(No.253)発掘調査報告書』 雪ノ下三丁目694番18地点) 9.雪ノ下三丁目701番3(馬淵2005『市緊急報告書』21) 10.雪ノ下三丁目704番3外(福田2011『市緊急報告書』27) 11.雪ノ下三丁目701番14(宮田・滝沢2005『市緊急報告書』21) 12.雪ノ下三丁目701番1(馬淵2005『市緊急報告書』21) 13.雪ノ下三丁目707番1(宮田1992『神奈川県埋蔵文化財調査報告』34) 14.雪ノ下三丁目 清泉小学校内(『鎌倉市埋蔵文化財調査年報』I) 15.雪ノ下三丁目637番4(熊谷2011『市緊急報告書』27) 16.雪ノ下三丁目637番6外(未報告) 17.雪ノ下三丁目635番2外(齊木2012『大倉幕府跡発掘調査報告書-鎌倉市雪ノ下三丁目635番2外地点-』) 18.雪ノ下三丁目648番3(未報告) 19.雪ノ下三丁目648番8(未報告) 20.雪ノ下三丁目629番1(宮田他2011『大倉幕府跡発掘調査報告書』) 21.雪ノ下三丁目651番8(汐見1999『市緊急報告書』15) 22.雪ノ下三丁目618番8、653番10(未報告) 23.雪ノ下三丁目618番4(汐見2002『市緊急報告書』18)
○大倉幕府周辺遺跡群 24.雪ノ下三丁目607番1(齊木・降矢2004『市緊急報告書』20) 25.雪ノ下三丁目607番(菊川1994『市緊急報告書』10) 26.雪ノ下三丁目606番1(菊川1993『市緊急報告書』9) 27.雪ノ下四丁目600番(未報告) 28.雪ノ下四丁目610番2(市教委立会調査) 29.雪ノ下四丁目620番1(1981『掘り出された鎌倉』) 30.雪ノ下四丁目620番2(1989『武士の都 鎌倉 よみがえる中世3』) 31.雪ノ下四丁目620番5(馬淵1998『市緊急報告書』14) 32.雪ノ下四丁目581番5(齊木2007『大倉幕府周辺遺跡発掘調査報告書-雪ノ下4-581-5地点-』) 33.雪ノ下四丁目580番10(原2001『市緊急報告書』17) 34.雪ノ下四丁目581番2(未報告) 35.雪ノ下四丁目570番1(馬淵2013『市緊急報告書』30) 36.雪ノ下四丁目567番7(馬淵2004『市緊急報告書』20) 37.雪ノ下四丁目569番1(馬淵1990『大倉幕府周辺遺跡群 雪ノ下字大倉耕地569番1地点発掘調査』) 38.雪ノ下字大倉耕地562番16(福田2001『市緊急報告書』17) 39.雪ノ下字天神前562番29(福田1996『市緊急報告書』12) 40.雪ノ下字大倉耕地565-4(菊川1991『市緊急報告書』7) 41.雪ノ下字天神前562番30(『第18回鎌倉市遺跡調査研究発表会』) 42.二階堂字荏柄3番6外(未報告) 43.二階堂字荏柄3番6外(未報告) 44.二階堂字荏柄38-1(馬淵1993『市緊急報告書』9) 45.二階堂字荏柄38番2(未報告) 46.二階堂字荏柄27-3の一部(原2006『市緊急報告書』22) 47.二階堂字荏柄76番4(宮田2007 神奈川県埋蔵文化財調査報告51) 48.二階堂荏柄76番8地点(伊丹2013『市緊急報告書』30) 49.二階堂字荏柄58-4外(原2002『市緊急報告書』18)
○大倉幕府北遺跡 50.西御門二丁目756番10(宮田・滝沢2009『市緊急報告書』25) 51.西御門二丁目756番6(宮田・滝沢2009『市緊急報告書』25) 52.西御門二丁目816番1(宮田2000『大倉幕府北遺跡発掘調査報告書』) 53.西御門二丁目796番1外(宮田2002『大倉幕府北遺跡発掘調査報告書』) 54.西御門二丁目796番1外(宮田2002『大倉幕府北遺跡発掘調査報告書』)
○大倉幕府北やぐら群55.西御門二丁目792番2(鈴木2004『大倉幕府北やぐら群』) 56.西御門二丁目792番2(鈴木2004『大倉幕府北やぐら群』)
○北条義時法華堂跡 57.二階堂字西御門686番(福田2005『北条義時法華堂跡確認調査報告書』)
○横小路周辺遺跡58.二階堂字荏柄10-1(原2003『市緊急報告書』19) 59.二階堂字荏柄10-6(福田2000『市緊急報告書』16) 60.二階堂字荏柄9-1(菊川1990『市緊急報告書』6) 61.雪ノ下五丁目557番1(手塚1998『市緊急報告書』14)
○田楽辻子周辺遺跡 62.浄明寺一丁目556番6外(押木2012『市緊急報告書』28)

第一章 遺跡の位置と歴史的環境

1. 歴史的環境 (図1)

当調査区は大倉幕府跡の西方、西御門地域にあたる。当地名の由来は、大倉幕府の西門に因むと伝えるが(『新編相模国風土記稿』)、大倉幕府に隣接する地域であったため、御家人の屋敷地に関する記載が多い。その初見は『吾妻鏡』文治二年(1186)正月五日条である。壇ノ浦合戦後、源義経に予同していた平時実(生捕りにされ、「美濃藤次安平西御門家」に預けられていた。美濃藤次安平については未詳であるが、同年五月廿九日条・同六月二日条に「美濃国石田郷」・「美濃国大野郡石太郷」を濫妨している記事があることから、美濃国の御家人であったかもしれない。また幕府の重臣三浦氏の屋敷も当地に存在していた。『吾妻鏡』貞応三年(1224)九月五日条には「三浦駿河前司義村西御門家焼亡」とあり、伝領された三浦氏屋敷地は、宝治合戦に際しても放火され焼け落ちている(註1)。当地には天野景村の宿所もあった(註2)。天野景村は、金沢流北条氏の北条実時の小舅であるが、頼朝法華堂前には北条実時邸が存在していた記述も見られることから(註3)、大倉幕府を中心とする御家人同士の地縁的關係も窺えよう(永井2006)。そしてまた、北条実時夫人である金沢殿が、延慶三年六月四日に醍醐寺親玄との間で「名越新善光寺下毘沙門堂入地」と「西御門小笠原谷御地陸戸主」を相博・交換していることから、金沢北条氏の西御門に対する意識が強かったことも想定される(註4)。また、金沢実時の孫にあたる頼朝法華堂別当顕弁は、西御門に御坊を有していた(註5)。そして金沢氏の人々がやりとりしている書状には「西御門殿」に宛てたものがあるが、出自などについては未詳(註6)。西御門には金沢北条氏の縁者が多く住んでいた可能性が指摘できよう。金沢北条氏の他には、工藤氏と二階堂氏が西御門に住していた(註7)。両氏は出自が一緒であり、当地における血縁的集住関係も垣間見ることができよう。西御門は大倉幕府近辺という地勢もあって、幕府関連の記述も見られる。和田合戦後の実検は当地で行われている(註8)。西御門には西大路と称する道が通っていたらしく、それは藤原頼経亭の西側を走っていた(註9)。

西御門には多数の寺社も存在していた。現存する来迎寺には、明治の神仏分離の際に頼朝法華堂から移された木造如意輪観音坐像・木造地藏菩薩坐像・木造跋陀婆羅尊者像が安置されている。また、巖上地蔵はもと報恩寺の本尊で、南北朝期の宅間浄宏作と伝える。報恩寺は、義堂周信を開山、上杉能憲を開基とする臨済宗寺院で、報恩護国禅寺とも称したが現在は廃寺となっている。創建は応安四年(1371)十月十五日、仏殿の立柱は永和二年(1376)十月十三日とする(『空華日用工夫略集』)。康暦元年(1379)三月には、上杉能憲の弟にして関東管領であった上杉憲春が、室町将軍足利義満に反しようとした鎌倉公方足利氏満を諫めるため、当寺で自害している(『群書類従』第二十輯)。室町期に入ると西御門は紛争が発端する地として史料上に出ていることが多い。応永廿三年(1416)十月の上杉禅秀の乱に際しては、足利満隆が挙兵したのは「御所西御門宝寿院」であったし、一方の足利持氏方は、西御門に火をかけ宝寿院に押し寄せる談義をしていた(註10)。宝寿院は鶴岡八幡宮の裏、現市立第二中学校の西南にあった禅宗寺院である。開山は義堂周信。応安元年(一三六八)十月五日、関東公方足利基氏の母の遺命によって、西御門の別殿が宝寿院となった(『空華日用工夫略集』)。『新編相模国風土記稿』によれば、後に瑞泉寺の塔頭となり次第に廃寺となったと伝える。享徳三年(1454)十二月廿七日には、関東管領上杉憲忠が鎌倉公方足利成氏によって殺害され享徳の乱が始まった(註11)。また本間遠江守に宛てた、年未詳八月七日付「上杉憲忠書状」は「就西御門江御移、嚴重仁被成下御内書候、上意之至、誠以忝畏入存候」と足利成氏の西御門における動向を伝える(註12)。当地に

は他に太平寺・高松寺の尼寺があったが、今は廃寺となっている。また、現在の八雲神社には鎌倉幕府の御家人であった後藤氏を縁とする、大門寺があったと想定されている(高橋2010)。西御門地域には上記の様に、御家人や足利氏の足跡が史料上には残されている。発掘調査成果との関連性についての様に考察していくかが、今後の課題である。

(松吉大樹)

【参考文献】

永井晋『金沢北条氏の研究』(八木書店、2006年)。

高橋慎一郎『中世都市の力 京・鎌倉と寺社』(高志書院選書4、高志書院、2010年)。

【註】

(註1)『吾妻鏡』宝治元年六月四日、同十五日条。

(註2)『関東往還記』二月廿七日条。

(註3)『吾妻鏡』宝治元年正月十三日条。

(註4)延慶三年六月四日付「金沢実時後室代成覚相博状」(『鎌倉遺文』24009号文書)。同年九月十五日付「関東御教書」(「実相院及東寺宝菩提院文書」『神奈川県史資料編2』1788号文書)。

(註5)(元徳三年六月十一日)「顕弁四十九日仏事廻向文」(「金沢文庫文書」『鎌倉遺文』31442号文書)。

(註6)(元応元年ヵ)十月十六日付「金沢貞顕書状」(「金沢文庫文書」『鎌倉遺文』27166号文書)。

(註7)文永三年六月十日付「二階堂行久議状」(「二階堂文書」『鎌倉遺文』9542号文書)。元亨三年十一月三日付「工藤貞行議状」(「陸奥遠野南部文書」『鎌倉遺文』28573号文書)。

(註8)『吾妻鏡』建暦三年五月四日条。

(註9)『吾妻鏡』貞応二年正月廿日条、同廿五日条。

(註10)「湘山星移集」(『続群書類従』第二十一輯、合戦部)

(註11)「康富記」(『増補史料大成』38)。

(註12)「喜連川文書」(『神奈川県史資料編3下』6100号文書)。

2. 遺跡位置とグリッド配置図（図2）

本調査は鎌倉市西御門一丁目11番14地点における、個人専用住宅建設に伴う発掘調査である。調査期間は平成18年10月17日から平成19年1月26日までの約3ヵ月間で、調査面積は約230㎡である。現地表海拔は14.70m。調査開始にあたって調査区に任意の方眼軸を設け、基本点Aと、見返り点Bを設定し遺構の測量・図面作成に使用した。基本点Aと見返り点Bは鎌倉市4級基準点成果表に基づき国土座標に倣った座標値の移設を行ったが、調査時の成果表は日本測地系（座標AREA 9）の国土座標値を使用しているため、本報告作成に際しては国土地理院が公開する座標変換ソフト「WEB版TKY2JGD」で世界測地系第Ⅸ形に変換し、図2に表記した。

3. 堆積土層（図3・図4）

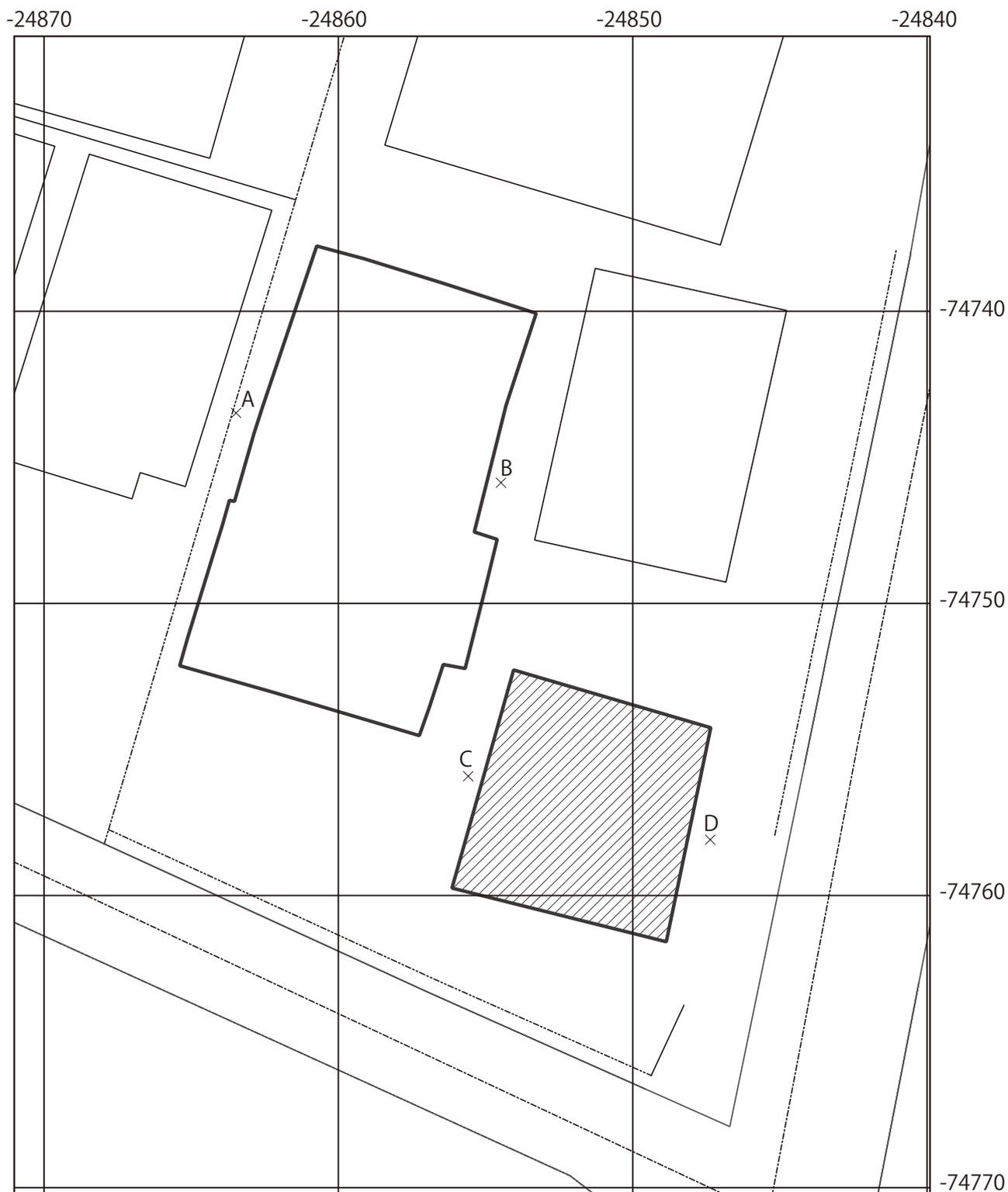
緩やかに北から南に傾斜する表土から、北側約100cm～南側約70cmの表土を重機によって除去し第1面を検出した。第1面とした地業層は現代埋土によって大きく攪乱され一部遺構が壊されている。

以下、確認した生活面のレベルと、構成土について述べる。

第1面は泥岩細片を多く含む茶褐色弱粘質土上で検出した。確認レベルは海拔14.00m。第2面は拳大の泥岩・泥岩粒を含む堅く締まった地業層上で検出した。確認レベルは海拔13.80m。構成土は炭化物・泥岩粒を含む茶褐色弱粘質土。第3面は泥岩粒・炭化物・焼土を含む暗茶褐色弱粘質土上で検出した。確認レベルは海拔13.60m。第4面は泥岩粒・泥岩細片・泥岩・炭化物・焼土を多量に含み、固く締まった茶褐色弱粘質土上で検出した。確認レベルは海拔13.40m。第5面は泥岩粒・泥岩細片・泥岩を多く含み固く締まった地業層上で確認した。構成土は炭化物・焼土を含む暗灰色弱粘質土。構成土下層には広範囲に厚く炭化物が堆積していた。確認レベルは海拔13.20m。第6面は炭化物を含む泥岩粒・泥岩細片・泥岩によって厚く地業した茶灰色弱粘質土上で検出した。確認レベルは海拔13.00m。第7面は泥岩粒・泥岩細片・泥岩・炭化物・焼土を含む堅く締まった黄褐色弱粘質土で検出した。確認レベルは海拔12.70m。第8面は泥岩・泥岩粒・貝砂を多く含む暗灰色弱粘質土上で検出した。確認レベルは海拔12.50m。

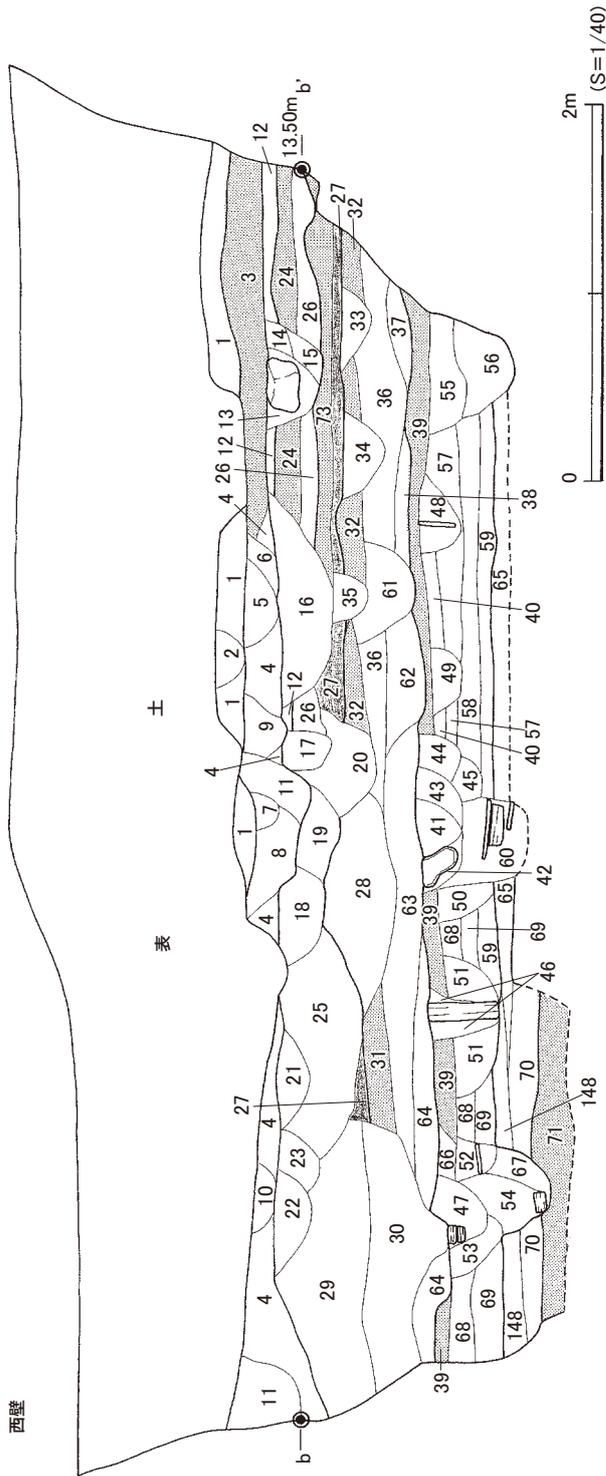
第9面以下はトレンチ調査による堆積土層で生活面を確認した。第9面構成土は泥岩・泥岩細片・泥岩粒による厚く地業した褐色弱粘質土である。確認レベルは海拔12.30m。第10面構成土は泥岩粒・泥岩細片・泥岩を多く含み固く締まった暗褐色弱粘質土である。確認レベルは海拔12.20m。第11面構成土は泥岩粒・炭化物を少量含む灰色砂質土で、下層に泥岩粒・泥岩細片によるしっかりとした地業を確認している。確認レベルは海拔11.90m。第12面構成土は泥岩粒・貝砂を含む暗灰色弱粘質土上である。確認レベルは海拔11.70m。第13面構成土は茶色有機質土・貝砂を多く含む灰色粘質土である。確認レベルは海拔11.40m。中世の基盤層は海拔11.10mで確認している。

（土層堆積図を記録する際に使用した基準点は、トレンチ位置図に記載してある。）



日本測地系		世界測地系			
	x	y			
A	-75100.109	-24570.063	A	-74743.4794	-24863.4739
B	-75102.496	-24561.063	B	-74745.8669	-24854.4742
C	-75112.545	-24562.176	C	-74755.9154	-24855.5874
D	-75114.718	-24553.953	D	-74758.089	-24847.3647

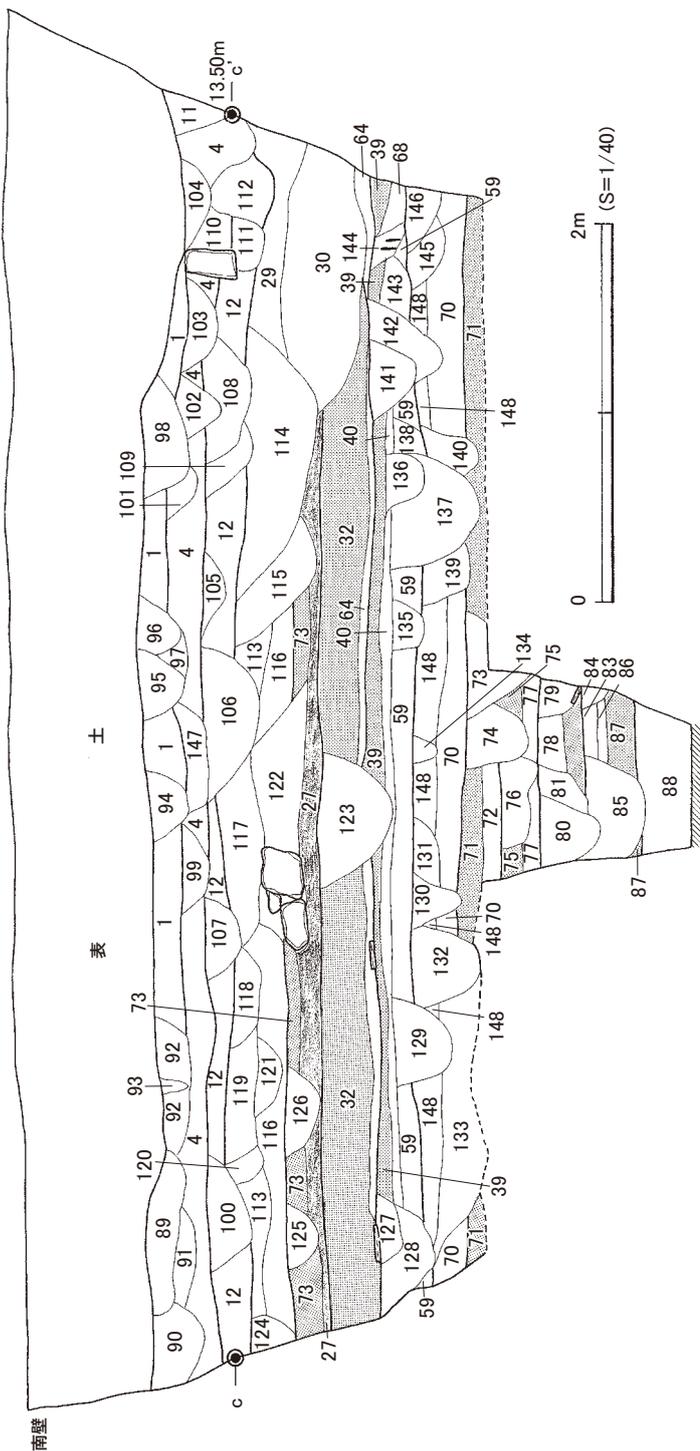
図2 遺跡位置とグリッド配置図



- 69 暗灰色弱粘質土 泥岩粒少量・泥岩微量・炭化物少量・貝砂多量
- 70 暗灰色弱粘質土 泥岩粒少量・泥岩少量・貝砂
- 71 泥岩層
- 72 暗灰色弱粘質土 泥岩少量・炭化物・褐色有機質土
- 73 泥岩層 泥岩粒・破碎泥岩・炭化物微量 (第5面構成土)
- 74 暗灰色弱粘質土 泥岩・褐色有機質土・貝砂少量

- 1 茶褐色弱粘質土 泥岩粒少量・泥岩 (第1面構成土)
- 2 茶褐色弱粘質土 泥岩粒少量・泥岩
- 3 泥岩層 泥岩粒・泥岩細片・泥岩・暗褐色弱粘質土少量 (第2面構成土)
- 4 茶褐色弱粘質土 泥岩粒・泥岩・炭化物 (第2面構成土)
- 5 暗茶褐色弱粘質土 泥岩・炭化物
- 6 茶褐色弱粘質土 泥岩粒・泥岩少量
- 7 茶褐色弱粘質土 泥岩粒少量・泥岩多量・炭化物・焼土
- 8 茶褐色弱粘質土 泥岩・焼土少量
- 9 茶褐色弱粘質土 泥岩粒少量・泥岩・焼土
- 10 暗茶褐色弱粘質土 泥岩粒少量・泥岩・炭化物・焼土少量
- 11 暗茶褐色弱粘質土 泥岩粒・泥岩・焼土
- 12 暗茶褐色弱粘質土 泥岩粒少量・泥岩・炭化物少量・焼土 (第3面構成土)
- 13 茶褐色弱粘質土 泥岩粒・泥岩・焼土
- 14 茶褐色弱粘質土 泥岩粒・泥岩・焼土多量
- 15 茶褐色弱粘質土 泥岩多量・炭化物
- 16 茶褐色弱粘質土 泥岩粒・泥岩少量・焼土粒
- 17 茶褐色弱粘質土 泥岩粒・泥岩少量・炭化物少量・焼土
- 18 茶灰色弱粘質土 泥岩粒・泥岩・炭化物・焼土
- 19 茶灰色弱粘質土 泥岩粒少量・泥岩・焼土粒
- 20 灰色弱粘質土 泥岩多量・炭化物微量
- 21 茶灰色弱粘質土 泥岩粒少量・泥岩・焼土粒
- 22 茶灰色弱粘質土 泥岩粒・泥岩・焼土粒
- 23 暗茶灰色弱粘質土 泥岩粒少量・泥岩・焼土粒
- 24 泥岩層 泥岩粒・泥岩・炭化物微量・焼土粒 (第4面構成土)
- 25 茶灰色弱粘質土 泥岩粒・泥岩多量・炭化物少量
- 26 茶褐色弱粘質土 泥岩粒・泥岩・焼土粒
- 27 炭化物層 泥岩粒少量
- 28 暗灰色弱粘質土 泥岩多量・玉石・炭化物
- 29 茶灰色弱粘質土 泥岩多量
- 30 茶灰色弱粘質土 泥岩多量・炭化物
- 31 茶灰色弱粘質土 泥岩粒・泥岩・炭化物 (第6面構成土)
- 32 泥岩層 泥岩粒・破碎泥岩・泥岩・暗茶褐色弱粘質土少量 (第6面構成土)
- 33 灰色弱粘質土 泥岩粒少量・泥岩
- 34 茶灰色弱粘質土 泥岩粒・泥岩・炭化物
- 35 灰色弱粘質土 泥岩多量・炭化物
- 36 黄褐色弱粘質土 泥岩粒少量・泥岩・炭化物
- 37 暗灰色弱粘質土 泥岩・炭化物
- 38 黄褐色弱粘質土 泥岩粒少量・炭化物多量
- 39 黄褐色弱粘質土 泥岩粒少量・泥岩・炭化物 (第7面構成土)
- 40 暗灰色弱粘質土 泥岩粒多量・泥岩・炭化物
- 41 暗灰色弱粘質土 泥岩粒・泥岩・炭化物・褐色有機質土少量
- 42 暗灰色弱粘質土 泥岩粒・泥岩少量
- 43 暗灰色弱粘質土 泥岩粒少量・泥岩・炭化物少量
- 44 暗灰色弱粘質土 泥岩粒少量・泥岩・炭化物
- 45 暗灰色弱粘質土 泥岩粒少量・泥岩・褐色有機質土少量
- 46 暗灰色弱粘質土 泥岩粒少量・泥岩少量・褐色有機質土少量
- 47 暗灰色弱粘質土 泥岩粒・泥岩多量・褐色有機質土
- 48 暗灰色弱粘質土 泥岩・灰褐色砂質土少量
- 49 暗灰色弱粘質土 泥岩少量・褐色有機質土少量・玉石
- 50 暗灰色弱粘質土 泥岩少量・炭化物少量・褐色有機質土
- 51 暗灰色弱粘質土 泥岩粒少量・泥岩少量・褐色有機質土少量・貝砂
- 52 暗灰色弱粘質土 泥岩粒少量・泥岩少量・褐色有機質土
- 53 暗灰色弱粘質土 泥岩粒少量・泥岩・褐色有機質土
- 54 暗灰色弱粘質土 泥岩粒少量・泥岩少量・褐色有機質土
- 55 暗灰色弱粘質土 泥岩粒少量・泥岩少量・褐色有機質土少量
- 56 暗灰色弱粘質土 泥岩粒・泥岩少量・貝砂
- 57 暗茶褐色弱粘質土 泥岩粒少量・泥岩・褐色有機質土
- 58 暗灰色弱粘質土 泥岩粒・泥岩・玉石
- 59 暗茶褐色弱粘質土 泥岩粒・泥岩少量・褐色有機質土少量・暗灰色砂質土
- 60 暗灰色弱粘質土 泥岩粒少量・泥岩少量・褐色有機質土
- 61 暗灰色弱粘質土 泥岩粒・泥岩少量・炭化物少量
- 62 暗茶褐色弱粘質土 泥岩粒・泥岩・炭化物
- 63 黄褐色弱粘質土 泥岩・炭化物
- 64 暗茶褐色弱粘質土 泥岩粒・泥岩・炭化物少量
- 65 暗灰色弱粘質土 泥岩粒少量・泥岩・貝砂多量 (第8面構成土)
- 66 暗青灰色弱粘質土 泥岩粒少量・泥岩・褐色有機質土
- 67 暗灰色弱粘質土 泥岩粒・泥岩・炭化物少量・褐色有機質土
- 68 暗灰色弱粘質土 泥岩粒少量・泥岩少量・炭化物少量・貝砂

図3 調査区西壁堆積土層図



- 143 暗灰色弱粘質土 泥岩粒少量・泥岩少量・貝砂
- 144 暗灰色弱粘質土 泥岩粒少量・泥岩少量・炭化物少量
- 145 暗灰色弱粘質土 泥岩粒少量・泥岩・貝砂
- 146 暗灰色弱粘質土 泥岩粒少量・炭化物少量・貝砂
- 147 暗灰色弱粘質土 泥岩粒少量・泥岩少量・褐色有機質土
- 148 暗灰色弱粘質土 泥岩粒少量・泥岩 (第8面構成土)

- 75 泥岩層 破碎泥岩・泥岩・暗灰色弱粘質土 (第10面構成土)
- 76 暗灰色弱粘質土 泥岩少量・褐色有機質土
- 77 炭化物層 泥岩粒
- 78 灰色砂質土 泥岩粒少量・炭化物微量 (第11面構成土)
- 79 暗灰色弱粘質土 泥岩少量・褐色有機質土・炭化物
- 80 暗灰色弱粘質土 泥岩少量・褐色有機質土
- 81 暗灰色弱粘質土 泥岩少量・炭化物少量・褐色有機質土少量
- 82 泥岩層 破碎泥岩・泥岩・灰褐色砂少量 (第11面構成土)
- 83 暗灰色弱粘質土 泥岩・貝砂少量 (第12面構成土)
- 84 暗灰色弱粘質土 泥岩粒少量・泥岩・炭化物
- 85 暗灰色弱粘質土 泥岩少量・褐色有機質土
- 86 暗茶灰色弱粘質土 炭化物多量・有機質土多量 (第12面構成土)
- 87 泥岩層 破碎泥岩・泥岩・炭化物少量 (第12面構成土)
- 88 灰褐色弱粘質土 泥岩少量・褐色有機質土少量・貝砂多量
- 89 茶褐色弱粘質土 泥岩粒・泥岩・炭化物
- 90 茶褐色弱粘質土 泥岩粒多量・泥岩少量
- 91 暗茶褐色弱粘質土 泥岩粒・泥岩・炭化物
- 92 暗茶褐色弱粘質土 泥岩粒・泥岩少量・炭化物微量
- 93 暗茶褐色弱粘質土 泥岩粒少量・泥岩少量
- 94 暗茶褐色弱粘質土 泥岩少量・炭化物少量
- 95 暗茶褐色弱粘質土 泥岩粒少量・泥岩少量・炭化物少量
- 96 暗茶褐色弱粘質土 泥岩粒・泥岩・炭化物少量
- 97 暗茶褐色弱粘質土 泥岩粒多量・泥岩少量・炭化物
- 98 暗茶褐色弱粘質土 泥岩粒少量・泥岩少量・炭化物
- 99 暗灰色弱粘質土 泥岩粒・泥岩少量・炭化物少量
- 100 暗灰色弱粘質土 泥岩粒少量・泥岩・炭化物
- 101 暗茶褐色弱粘質土 泥岩粒・泥岩・炭化物少量
- 102 暗灰色弱粘質土 泥岩粒・泥岩・炭化物少量
- 103 暗灰色弱粘質土 泥岩粒少量・泥岩・炭化物少量
- 104 暗灰色弱粘質土 泥岩粒少量・泥岩・炭化物少量
- 105 茶灰色弱粘質土 泥岩粒・泥岩多量・炭化物少量
- 106 茶灰色弱粘質土 泥岩粒・泥岩多量・炭化物少量
- 107 茶灰色弱粘質土 泥岩粒・泥岩少量・炭化物少量・黑色粘土少量
- 108 茶灰色弱粘質土 泥岩粒・泥岩多量・炭化物少量
- 109 茶灰色弱粘質土 泥岩粒多量・泥岩・炭化物
- 110 暗灰色弱粘質土 泥岩粒・炭化物・燒土粒・黑色粘土
- 111 暗灰色弱粘質土 泥岩粒少量・炭化物・褐色有機質土微量
- 112 暗灰色弱粘質土 泥岩粒・泥岩少量・炭化物
- 113 暗茶褐色弱粘質土 泥岩粒少量・泥岩多量・炭化物少量 (第4面構成土)
- 114 暗灰色弱粘質土 泥岩粒多量・泥岩多量・炭化物少量
- 115 暗灰色弱粘質土 泥岩多量・炭化物微量
- 116 暗灰色弱粘質土 泥岩・炭化物少量
- 117 茶灰色弱粘質土 泥岩少量・炭化物・燒土粒
- 118 茶灰色弱粘質土 泥岩粒・泥岩少量・炭化物少量
- 119 茶灰色弱粘質土 泥岩粒・泥岩・炭化物少量
- 120 茶灰色弱粘質土 泥岩粒・泥岩・炭化物
- 121 暗茶褐色弱粘質土 泥岩粒少量・泥岩・炭化物少量
- 122 灰色弱粘質土 泥岩多量・炭化物
- 123 泥岩層 破碎泥岩・泥岩
- 124 暗灰色弱粘質土 泥岩粒多量・泥岩少量・炭化物
- 125 暗灰色弱粘質土 泥岩粒少量・泥岩・炭化物
- 126 暗灰色弱粘質土 泥岩粒少量・泥岩少量
- 127 茶褐色弱粘質土 泥岩少量・褐色有機質土
- 128 暗灰色弱粘質土 泥岩少量・褐色有機質土・貝砂
- 129 暗灰色弱粘質土 泥岩・褐色有機質土少量・貝砂
- 130 暗灰色弱粘質土 泥岩・褐色有機質土少量・貝砂少量
- 131 暗灰色弱粘質土 泥岩少量・褐色有機質土・貝砂少量
- 132 暗灰色弱粘質土 泥岩少量・褐色有機質土・貝砂少量
- 133 暗灰色弱粘質土 泥岩少量・褐色有機質土少量・炭化物少量・貝砂少量
- 134 暗灰色弱粘質土 泥岩粒・褐色有機質土少量
- 135 暗灰色弱粘質土 泥岩少量・褐色有機質土・貝砂
- 136 暗灰色弱粘質土 泥岩粒少量・泥岩・褐色有機質土
- 137 暗灰色弱粘質土 泥岩少量・炭化物・褐色有機質土・貝砂少量
- 138 暗灰色弱粘質土 泥岩少量・褐色有機質土少量
- 139 暗褐色弱粘質土 泥岩微量・炭化物・褐色有機質土少量
- 140 暗灰色弱粘質土 泥岩少量・炭化物・褐色有機質土少量
- 141 灰色弱粘質土 泥岩粒少量・泥岩少量・褐色有機質土少量
- 142 灰色弱粘質土 泥岩粒少量・泥岩・褐色有機質土少量

図4 調査区南壁堆積土層図

第二章 発見された遺構と遺物

調査では13枚の生活面を発見し観察・記録を行ったが、第9面以下は調査区中央にトレンチを設定し堆積土層の観察で確認した。発見した遺構は上層より順に報告している。また、各生活面に付した遺構番号は調査作業の簡便を測る目的で遺構プランに対して付してあり、必ずしも番号の新旧が遺構の新旧を表すものではない。個別の遺構図面は現地で実測した遺構および、実測遺物を報告した遺構を報告している。個別図面のない遺構の形状・規模は、全測図と遺構計測表を参照していただきたい。また、実測遺物は遺物観察表に詳細を報告し、本文中では遺物名だけを記載している。

1. 第1面の遺構と遺物（図5～図9）

第1面は現代埋土によって調査区の一部が削平を受けていたが、平坦に地業された泥岩細片を多く含む茶褐色弱粘質土上で多くの遺構を発見した。発見した遺構はピット154穴・土坑20基で、建物址を推定できる遺構は確認できなかった。遺構の切りあいから第1面で発見した遺構は、少なくとも3時期に亘ると考えている。遺物は、かわらけ・手づくね・青磁・白磁・青白磁・常滑・瀬戸・東幡系・備前・渥美・瓦器碗・火鉢・瓦・鉄製品・石製品・鋳型・銭が出土している。第1面確認レベルは海拔14.00mである。

遺構5（図6・図8）

土坑である。現代攪乱に削平され、調査区外に遺構が延びているが円形を呈すると思われる。遺構覆土は泥岩粒・泥岩・炭化物・褐色砂質土を含む茶褐色弱粘質土。

出土遺物-1はかわらけ。2は鉄製品釘。その他にかわらけ片が出土している。

遺構16（図6・図8）

ピットである。遺構覆土は泥岩粒・泥岩・炭化物・褐色砂質土を多く含む茶褐色弱粘質土。覆土内にかわらけ細片が多く混入していた。

出土遺物-3はかわらけ。4は瀬戸折縁深皿。その他にかわらけ片が出土している。

遺構18（図6・図8）

土坑である。試掘坑・遺構96に切られ、正確な形状・規模は不明。遺構覆土は泥岩粒・泥岩・炭化物を含む茶褐色弱粘質土。出土遺物-5はかわらけ。その他に破片でかわらけ・常滑甕が出土している。

遺構29（図6・図8）

ピットである。遺構覆土は泥岩粒・泥岩・炭化物少量を含む茶褐色弱粘質土。出土遺物-6は東幡系鉢。その他にかわらけが破片で出土している。

遺構41（図6）

ピットである。遺構40・遺構42に切られるが楕円形を呈する。遺構覆土は泥岩粒・泥岩・炭化物を含む暗茶褐色弱粘質土。遺物はかわらけが破片で出土している。

遺構46（図6・図8）

円形を呈するピットである。遺構47を切る。遺構覆土は泥岩粒・泥岩・炭化物・褐色砂質土を含む茶褐色弱粘質土。出土遺物-7は瓦器質火鉢。その他に常滑片口鉢I類・瓦器質火鉢が破片で出土している。

遺構47（図6）

円形を呈するピットである。遺構46に切られる。遺構覆土は泥岩粒・泥岩・炭化物少量を含む。遺

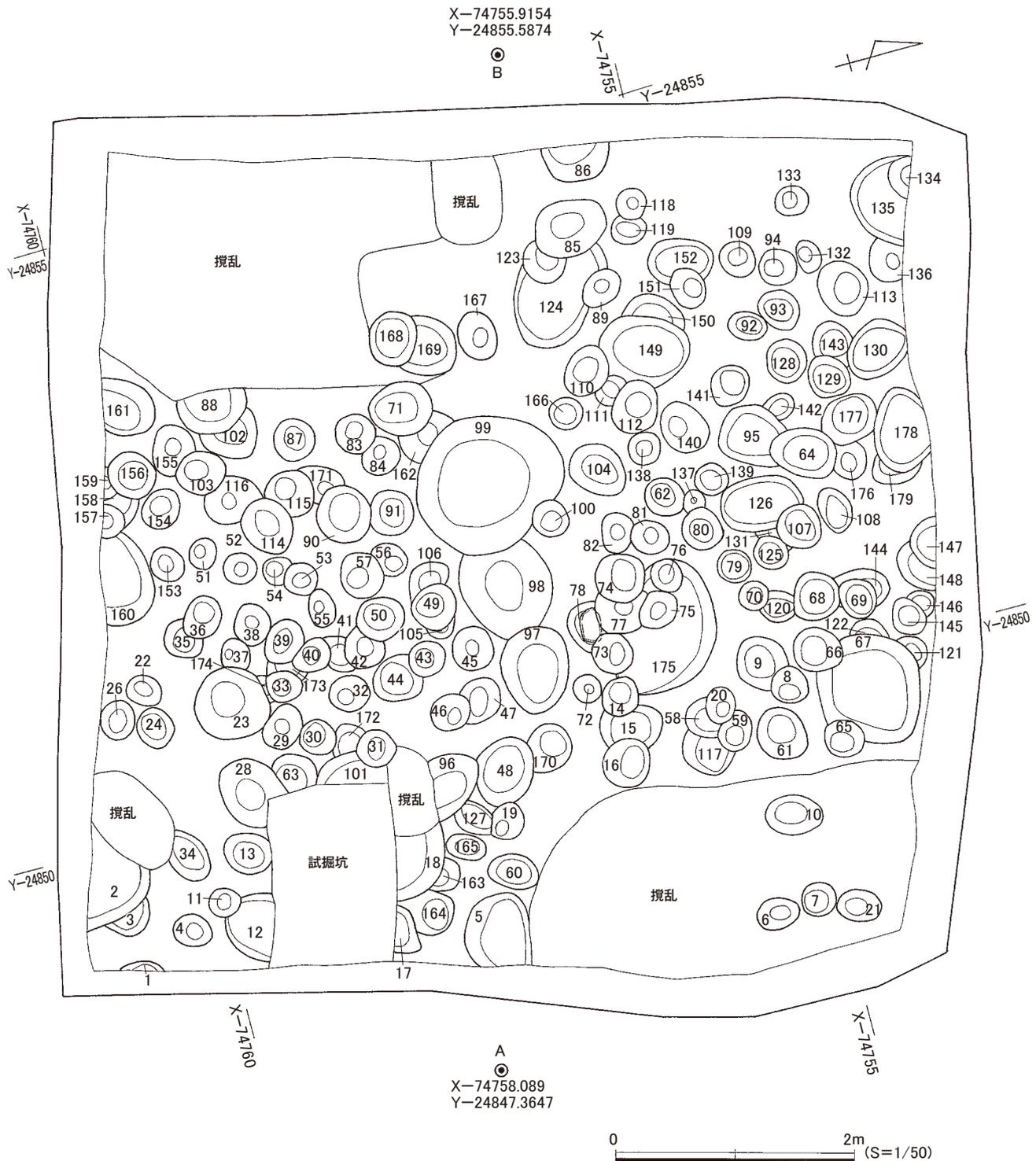


図5 第1面全測図

物は破片でかわらけ・常滑甕、火鉢が出土している。

遺構48 (図6・図8)

円形を呈するピットである。遺構170を切る・遺構覆土は泥岩粒・泥岩・炭化物少量を含む。出土遺物-8はかわらけ。その他にかわらけ・常滑甕・鉄製品釘が破片で出土している。

遺構59 (図6・図8)

円形を呈するピットである。遺構20に切られ、遺構117を切る。遺構覆土は泥岩粒・泥岩・炭化物少

量を含む茶褐色弱粘質土。出土遺物－9は内底中央に穿孔のあるかわらけ。

遺構60 (図6・図8)

楕円形を呈するピットである。遺構覆土は泥岩粒・泥岩・炭化物少量・褐色砂質土を含む暗茶褐色弱粘質土。出土遺物－10は常滑片口鉢Ⅱ類。その他にかわらけ・瀬戸折縁深皿が破片で出土している。

遺構65 (図6)

円形を呈するピットである。遺構67を切る。遺構覆土は泥岩粒少量・泥岩多量・炭化物少量を含む茶褐色弱粘質土。遺物はかわらけが破片で出土している。

遺構66 (図6)

円形を呈するピットである。遺構67を切る。遺構覆土は泥岩粒少量・泥岩を含む茶褐色弱粘質土。遺物はかわらけが破片で出土している。

遺構67 (図6・図8)

方形を呈する土坑である。遺構65・66に切られる。遺構覆土は泥岩粒・泥岩・炭化物を含む暗茶褐色弱粘質土。出土遺物－11・12はかわらけ。その他にかわらけ・常滑甕・壺が破片で出土している。

遺構70 (図6・図8)

円形を呈するピットである。遺構120を切る。遺構覆土は泥岩粒多量・泥岩・炭化物少量を含む暗茶褐色弱粘質土。出土遺物－13はかわらけ・14は瓦器質香炉。その他に白磁壺が破片で出土している。

遺構73 (図6)

円形を呈するピットである。遺構覆土は泥岩粒。泥岩・炭化物を含む茶褐色弱粘質土。遺物は破片でかわらけ・青磁器種不明が出土している。

遺構74 (図6・図8)

円形を呈するピットである。遺構覆土は泥岩粒・泥岩・炭化物を含む茶褐色弱粘質土。出土遺物－15はかわらけ。その他に瀬戸折縁深皿が破片で出土している。

遺構75 (図6・図8)

円形を呈するピットである。遺構76・遺構77を切る。遺構覆土は泥岩粒・泥岩・炭化物・褐色砂質土を含む茶褐色弱粘質土。出土遺物－16はかわらけ。その他にチャート片が出土している。

遺構76 (図6)

円形を呈するピットである。遺構覆土は泥岩粒・泥岩・炭化物を含む茶褐色弱粘質土。遺物は破片でかわらけ・常滑片口鉢Ⅰ類が出土している。

遺構77 (図6)

円形を呈するピットである。遺構74・遺構75に切られる。遺構覆土は泥岩粒・泥岩を含む茶褐色弱粘質土。出土遺物－17はかわらけ、内底に線刻が残る。その他にかわらけ・常滑甕・鉄製品釘が破片で出土している。

遺構78 (図5)

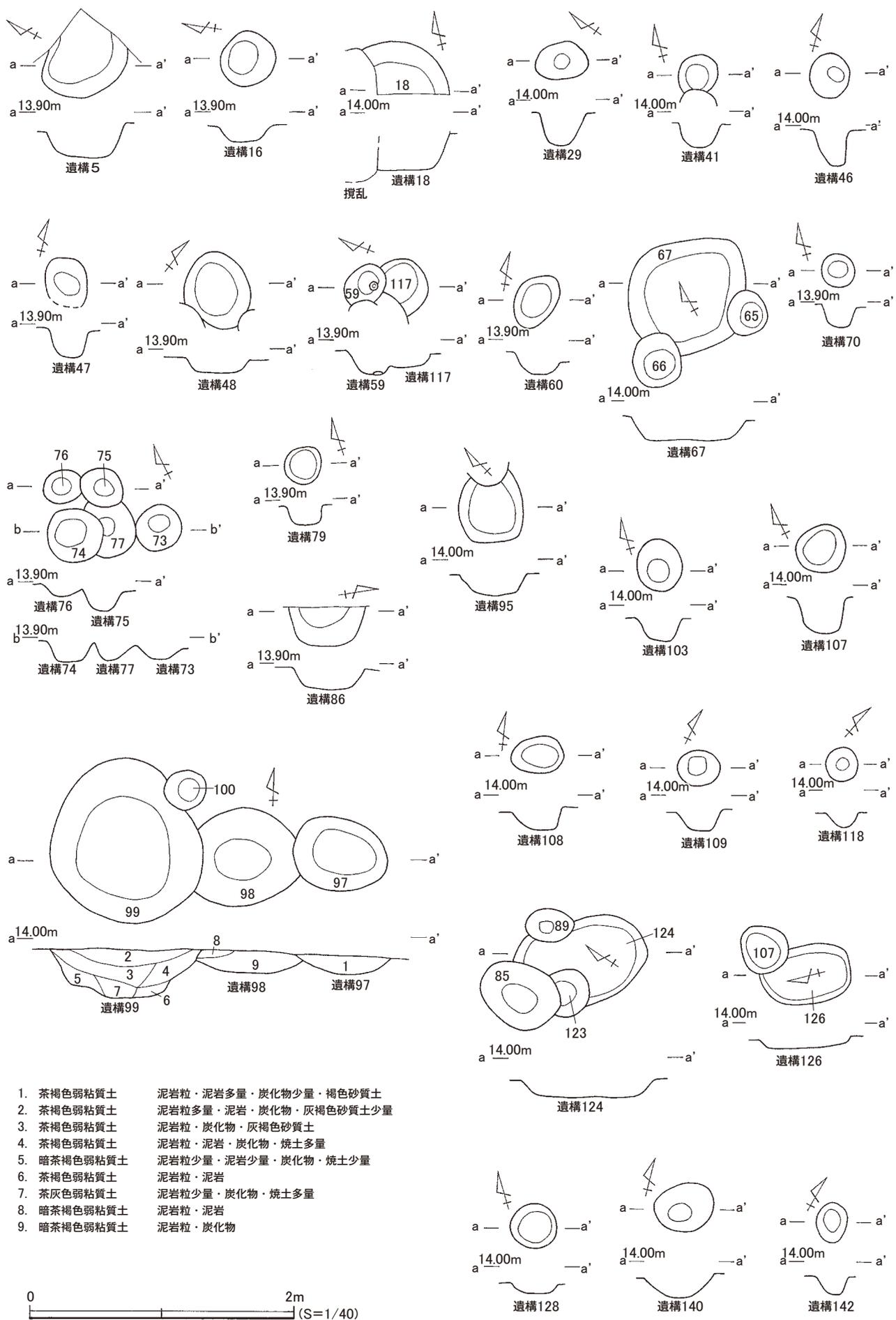
個別に図示はしていない。底部に礎石の残るピットである。遺構73・遺構78に切られる。泥岩粒・泥岩・炭化物を含む茶褐色弱粘質土。出土遺物はない。

遺構79 (図6)

円形を呈するピットである。遺構覆土は泥岩粒・泥岩・炭化物・褐色砂質土を含む茶褐色弱粘質土。遺物は破片でかわらけ・鉄滓が出土している。

遺構85 (図6)

楕円形を呈するピットである。遺構123・遺構124を切る。遺構覆土は泥岩粒少量・炭化物少量を含



- | | |
|-------------|-----------------------|
| 1. 茶褐色弱粘質土 | 泥岩粒·泥岩多量·炭化物少量·褐色砂質土 |
| 2. 茶褐色弱粘質土 | 泥岩粒多量·泥岩·炭化物·灰褐色砂質土少量 |
| 3. 茶褐色弱粘質土 | 泥岩粒·炭化物·灰褐色砂質土 |
| 4. 茶褐色弱粘質土 | 泥岩粒·泥岩·炭化物·燒土多量 |
| 5. 暗茶褐色弱粘質土 | 泥岩粒少量·泥岩少量·炭化物·燒土少量 |
| 6. 茶褐色弱粘質土 | 泥岩粒·泥岩 |
| 7. 茶灰色弱粘質土 | 泥岩粒少量·炭化物·燒土多量 |
| 8. 暗茶褐色弱粘質土 | 泥岩粒·泥岩 |
| 9. 暗茶褐色弱粘質土 | 泥岩粒·炭化物 |

圖6 第1面遺構(1)

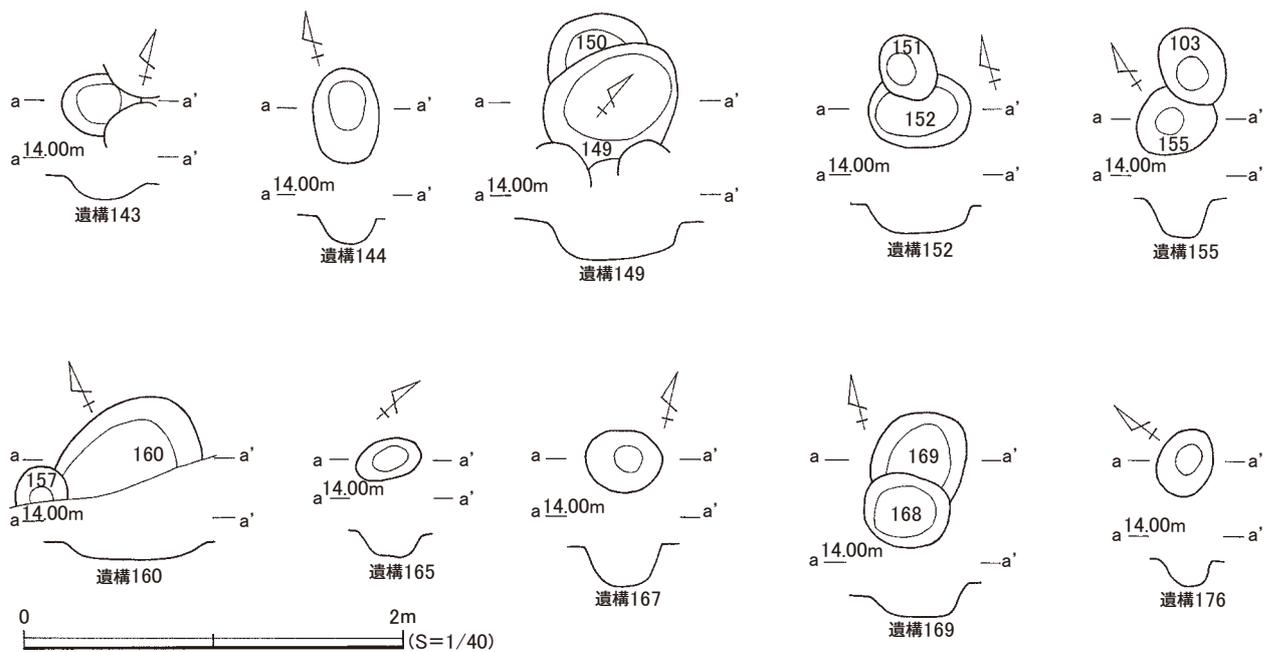


図7 第1面遺構(2)

む暗茶褐色弱粘質土。遺物はかわらけ・常滑甕・瓦器質火鉢が破片で出土している。

遺構86(図6・図8)

調査区外に遺構が延びているため、形状・規模は不明。遺構覆土は泥岩粒・炭化物を含む茶褐色弱粘質土。出土遺物-18は渥美壺。その他にかわらけ・常滑壺が破片で出土している。

遺構89(図6)

円形を呈するピットである。遺構124を切る。遺構覆土は泥岩粒少量・炭化物少量を含む暗茶褐色弱粘質土。遺物はかわらけが破片で出土している。

遺構95(図6)

土坑である。遺構64に切られる。遺構覆土は多量の泥岩粒・泥岩・炭化物少量・褐色砂質土を含む茶褐色弱粘質土。遺物は破片でかわらけ・常滑片口鉢Ⅱ類・鉄釘が出土している。

遺構97・遺構98・遺構99(図6・図8)

調査区中央辺りに、東西に連続して並ぶ土坑である。遺構98は遺構97と遺構99に切られる。遺構97の遺構覆土は泥岩粒・泥岩・炭化物・褐色砂質土を含む茶褐色砂質土。出土遺物-19は銭。破片で常滑甕・瓦器碗が出土している。遺構98の遺構覆土は泥岩粒・泥岩・炭化物を含む暗茶褐色弱粘質土。出土遺物-20はチャート破片。破片でかわらけが出土している。遺構99の遺構覆土は泥岩粒・泥岩・炭化物・褐色砂質土を含む茶褐色弱粘質土。出土遺物-21・22はかわらけ、23は瀬戸入子、24は常滑甕、25は常滑片口鉢Ⅱ類、26は瀬戸片口鉢、27は東幡系鉢。その他に白磁口元皿・瀬戸壺・常滑片口鉢Ⅱ類・常滑甕・鉄製品釘が破片で出土している。

遺構101(図5・図8)

個別に図示はしていない。遺構覆土は泥岩粒。泥岩を含む茶褐色弱粘質土。出土遺物-28は瓦器質火鉢。その他にかわらけが破片で出土している。

遺構103(図6)

円形を呈するピットである。遺構覆土は泥岩粒。泥岩。炭化物を多く含む茶褐色弱粘質土。出土遺物は破片でかわらけ・火鉢が出土している。

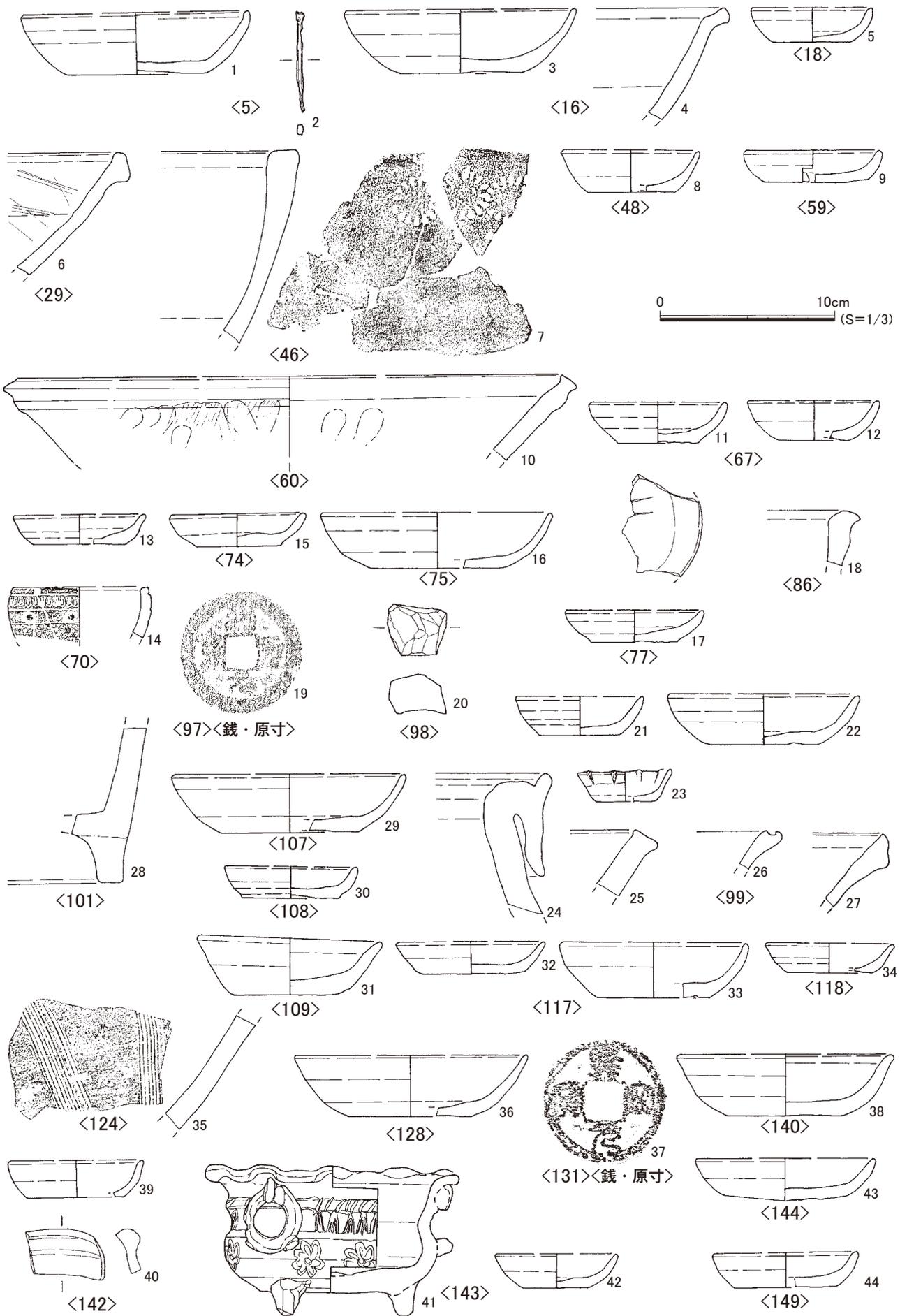


図8 第1面遺構出土遺物(1)

遺構 107 (図6・図8)

円形を呈するピットである。遺構覆土は泥岩粒・炭化物を含む茶褐色弱粘質土。出土遺物－29はかわらけ。

遺構 108 (図6・図8)

楕円形を呈するピットである。遺構覆土は泥岩・炭化物を含む暗茶褐色弱粘質土。出土遺物－30はかわらけ。その他に瀬戸壺が破片で出土している。

遺構 109 (図6・図8)

円形を呈するピットである。遺構覆土は泥岩粒・炭化物・褐色砂質土を含み、底面に有機質土が堆積する茶褐色弱粘質土。出土遺物－31はかわらけ。

遺構 117 (図6・図8)

遺構58・遺構59に切られ規模は不明。ピットである。遺構覆土は泥岩粒・泥岩・炭化物を含む暗茶褐色弱粘質土。出土遺物－32・33はかわらけ。

遺構 118 (図6・図8)

円形を呈するピットである。遺構覆土は泥岩粒多量・泥岩・炭化物・褐色砂質土を含む茶褐色弱粘質土。出土遺物－34はかわらけ。

遺構 123 (図6)

円形を呈するピットである。遺構85に切られる。遺構覆土は泥岩粒・炭化物少量を含む茶褐色弱粘質土。遺物はかわらけ・常滑甕が破片で出土している。

遺構 124 (図6・図8)

遺構85・遺構89・遺構123に切られる。楕円形を呈する土坑である。遺構覆土は泥岩粒・泥岩・炭化物を含む茶褐色弱粘質土。出土遺物－35は備前播鉢。その他にかわらけ・常滑甕が破片で出土している。

遺構 126 (図6)

楕円形を呈する土坑である。遺構覆土は泥岩粒・泥岩多量・炭化物を含む暗茶褐色弱粘質土。遺物はかわらけが破片で出土している。

遺構 128 (図6・図8)

円形を呈するピットである。遺構覆土は泥岩粒・泥岩・炭化物・褐色砂質土を含む茶褐色弱粘質土。出土遺物－36はかわらけ。

遺構 131 (図5・図8)

個別に遺構は図示していない。円形を呈するピットである。遺構107・遺構126を切る。遺構覆土は泥岩粒・泥岩・炭化物・を含む暗茶褐色弱粘質土。出土遺物－37は銭。その他にかわらけ・常滑甕・銭が破片で出土している。

遺構 140 (図6・図8)

楕円形を呈するピット。遺構覆土は泥岩粒・泥岩・炭化物・褐色砂質土を含む茶褐色弱粘質土。出土遺物－38はかわらけ。その他に鉄製品釘が破片で出土している。

遺構 142 (図6・図8)

楕円形を呈するピットである。遺構覆土は泥岩粒・泥岩・炭化物を含む暗茶褐色弱粘質土。

出土遺物－39はかわらけ・40は渥美甕転用品。

遺構 143 (図7・図8)

楕円形を呈するピットである。遺構129・遺構130に切られる。遺構覆土は泥岩粒・泥岩・炭化物を

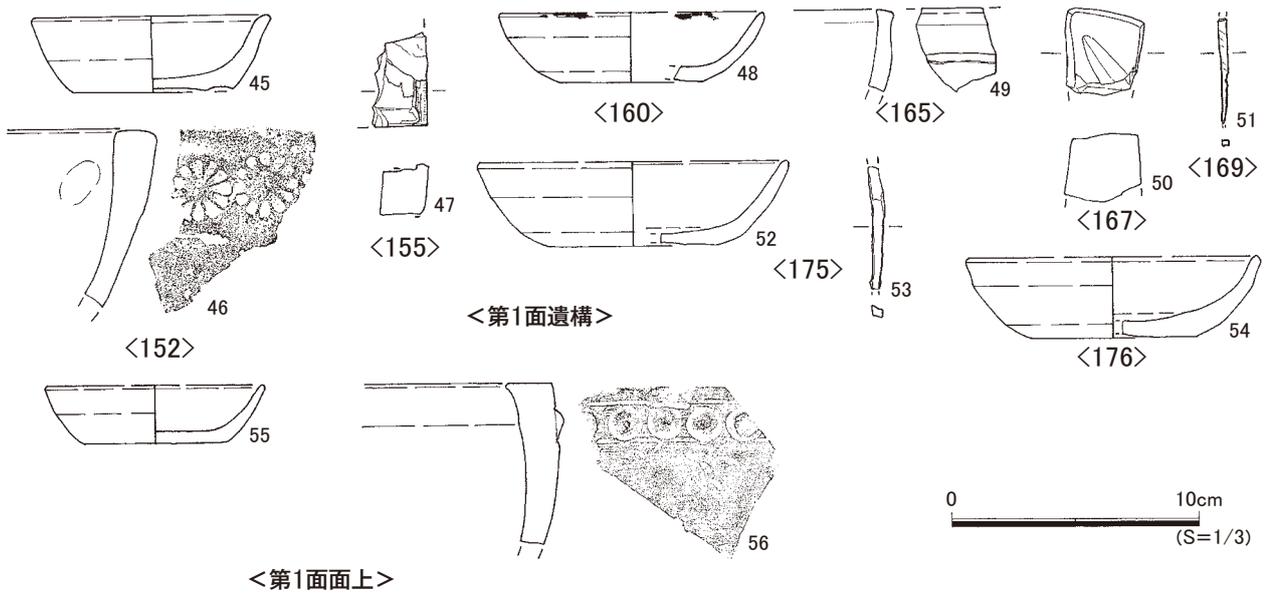


図9 第1面遺構・面上・構成土出土遺物(2)

含む暗茶褐色弱粘質土。出土遺物-41は瀬戸袴腰型香炉・42はかわらけ。

遺構144(図7・図8)

楕円形を呈するピットである。遺構覆土は泥岩粒・泥岩・炭化物を含む暗茶褐色弱粘質土。出土遺物-43はかわらけ。

遺構149(図7・図8)

楕円形を呈する土坑である。遺構150を切る。遺構覆土は泥岩粒・泥岩・炭化物を含む茶褐色弱粘質土。出土遺物-44はかわらけ。その他に鉄製品釘が破片で出土している。

遺構150(図7)

ピットである、遺構149に切られ規模は不明。遺構覆土は泥岩粒多量・泥岩多量・炭化物少量を含む暗茶褐色弱粘質土。遺物はかわらけ・鉄製品釘が破片で出土している。

遺構151(図7)

円形を呈するピットである。遺構152を切る。遺構覆土は泥岩粒少量・泥岩少量・炭化物少量・褐色砂質土多量を含む茶褐色弱粘質土。出土遺物はない。

遺構152(図7・図9)

楕円形を呈するピットである。遺構151に切られる。遺構覆土は泥岩粒・泥岩・炭化物を含む暗茶褐

色弱粘質土。出土遺物－45はかわらけ・46は瓦器質火鉢。その他に瀬戸香炉が破片で出土している。

遺構 155 (図7・図9)

楕円形を呈するピットである。遺構103に切られる。遺構覆土は泥岩粒・泥岩・炭化物・褐色砂質土を含む茶褐色弱粘質土。出土遺物－47は石製品硯。その他にかわらけが破片で出土している。

遺構 157 (図7)

調査区外に遺構が延び規模は不明、円形を呈するピットである。遺構158・遺構160を切る。遺構覆土は泥岩粒少量・炭化物少量・炭化物少量を含む茶褐色弱粘質土。遺物はかわらけが破片で出土している。

遺構 160 (図7・図9)

調査区外に遺構が延びているため、形状・規模は不明。遺構157に切られる。遺構覆土は泥岩粒・炭化物を含む暗茶褐色弱粘質土。出土遺物－48はかわらけ、口唇部に油煤痕。

遺構 165 (図7・図9)

楕円形を呈するピットである。遺構覆土は泥岩粒・泥岩・炭化物・褐色砂質土を含む茶褐色弱粘質土。出土遺物－49は瀬戸香炉。その他に瓦器質火鉢が破片で出土している。

遺構 167 (図7・図9)

円形を呈するピットである。遺構覆土は泥岩粒・泥岩・炭化物・褐色砂質土を含む茶褐色弱粘質土。出土遺物－50は砥石、砥面に使用痕残る。その他にかわらけが破片で出土している。

遺構 168 (図7)

楕円形を呈するピットである。遺構169を切る。遺構覆土は泥岩多量・泥岩・炭化物少量を含む茶褐色弱粘質土。遺物はかわらけが破片で出土している。

遺構 169 (図7・図9)

楕円形を呈するピットである。遺構168に切られる。遺構覆土は泥岩粒・泥岩・炭化物・褐色砂質土を含む茶褐色弱粘質土。出土遺物－51は鉄製品釘。その他にかわらけが破片で出土している。

遺構 175 (図5)

土坑である。遺構75・遺構76などのピットに切られ形状・規模は不明。個別に図示はしていない。遺構覆土は泥岩粒・炭化物を含む暗茶褐色弱粘質土。出土遺物－52はかわらけ・53は鉄製品釘。その他に青磁鎬蓮弁文碗が破片で出土している。

遺構 176 (図7・図9)

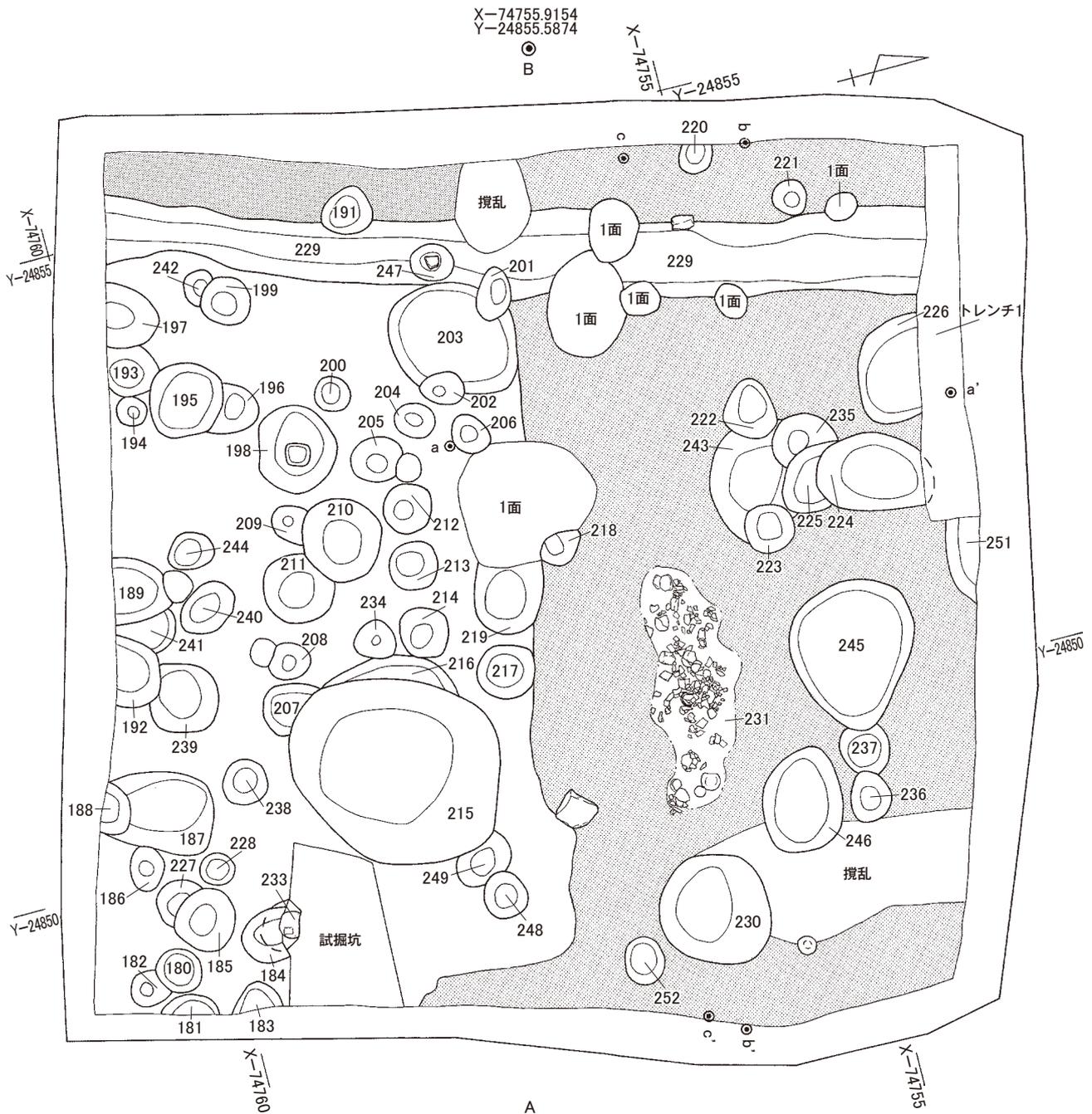
楕円形を呈するピットである。遺構覆土は泥岩粒・泥岩・炭化物を含む暗茶褐色弱粘質土。出土遺物－54はかわらけ。

第1面面上出土遺物 (図9)

55はかわらけ。56は瓦器質火鉢。

第1面構成土出土遺物 (図9)

57～61はかわらけ。62は常滑片口鉢Ⅰ類。63～65は常滑片口鉢Ⅱ類。66・67は東幡系鉢。68・69は瓦質火鉢。70は砥石、四方面を砥面として利用か。その他に白かわらけ(糸切り)・渥美甕・常滑甕・鑄型・石製品硯・鉄製品釘が破片で出土している。



X-74755.9154
Y-24855.5874

●
B

X-74755

Y-24855

X-74755

Y-24850

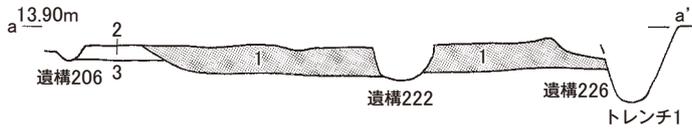
X-74760

X-74755

Y-24850

●
A
X-74758.089
Y-24847.3647

0 2m (S=1/50)



- 1. 泥岩地業層 暗茶褐色弱粘質土・炭化物・焼土
- 2. 茶灰色弱粘質土 泥岩粒・泥岩・焼土
- 3. 茶灰色弱粘質土 泥岩粒・泥岩・焼土多量

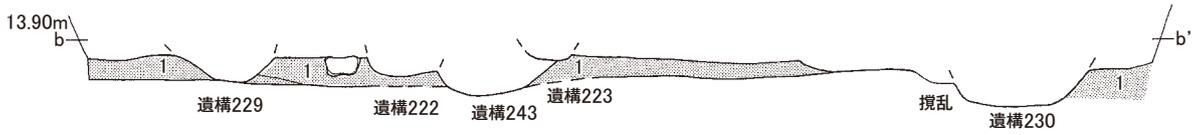


図10 第2面全測図・エレベーション図

2. 第2面の遺構と遺物（図10～図18）

第2面は泥岩細片・泥岩を多く含んだ堅く締まった地業層上で多くの遺構を発見した。発見した遺構はピット46穴・土坑22基・溝1条で、2時期の遺構の切り合いを確認している。調査区北側と、南北に延びる溝の西側には、第2面構成土を掘りこんだ大小泥岩・泥岩細片による更に堅く締まった版築が調査区外に延びることを確認している。また、調査区南側では柱痕の残るピットを複数確認したが建物址の推定は出来なかった。発見した遺物は、かわらけ・青磁・青白磁・褐釉・常滑・瀬戸・山茶碗・備前・東幡系・瓦器質火鉢・瓦・鉄製品・鋳型・鉄滓・石製品・銭である。第2面確認レベルは海拔13.80m。

遺構185（図11・図13）

円形を呈するピットである。遺構覆土は泥岩粒・泥岩・炭化物・黒色粘土を含む暗灰色弱粘質土。出土遺物-1は瓦器質火鉢。その他にかわらけ・常滑甕・鉄製品釘が破片で出土している。

遺構187（図11・図13）

楕円形を呈する土坑である。遺構188に切られる。遺構覆土は泥岩粒・泥岩・炭化物・黒色粘土を含む暗灰色弱粘質土。出土遺物-2は瓦器質火鉢。その他にかわらけ・常滑片口鉢I類・常滑甕が破片で出土している。

遺構188（図11）

調査区外に遺構が延び規模は不明、ピットである。遺構覆土は泥岩粒・炭化物少量を含む暗褐色弱粘質土。遺物にかわらけが破片で出土している。

遺構198（図11）

中央に柱痕の残る不正円形を呈するピットである。遺構覆土は泥岩・泥岩粒・炭化物・黒色粘土を含む明茶褐色弱粘質土。柱痕部分には黒色有機質土が堆積していた。遺物にかわらけ・常滑甕が破片で出土している。

遺構191（図11）

円形を呈するピットである。遺構229を切る。遺構覆土は泥岩粒・泥岩・炭化物を含む暗茶褐色弱粘質土。遺物にかわらけ・常滑片口鉢II類が破片で出土している。遺構229(溝)に伴う遺構であった可能性もある。

遺構199（図11・図13）

円形を呈するピットである。遺構242を切る。遺構覆土は泥岩粒・泥岩・炭化物を含む暗灰色弱粘質土。出土遺物-3は備前播鉢。その他にかわらけが破片で出土している。

遺構200（図11）

円形を呈するピットである。遺構覆土は泥岩・炭化物少量を含む暗灰褐色弱粘質土。遺物にかわらけが破片で出土している。

遺構201（図11）

円形を呈するピットである。遺構229を切る。遺構覆土は泥岩粒・炭化物少量を含む暗茶褐色弱粘質土。遺構191同様に、遺構229(溝)に伴う遺構であったかもしれない。遺物にかわらけが破片で出土している。

遺構207（図11・図13）

楕円形を呈するピットである。遺構215に切られる。遺構覆土は泥岩粒・炭化物・黒色粘土少量を含む暗灰色弱粘質土。出土遺物-4は瀬戸折縁深皿。5は銭。その他にかわらけ・瀬戸折縁深皿・スラグ・銭が破片で出土している。また、鉄製品・釘が火熱を受け、溶けて固まった鉄塊が付着したかわらけ片があった。

遺構211（図11・図13）

円形を呈するピットである。遺構210に切られる。遺構覆土は泥岩粒・泥岩・炭化物・黒色粘土を含

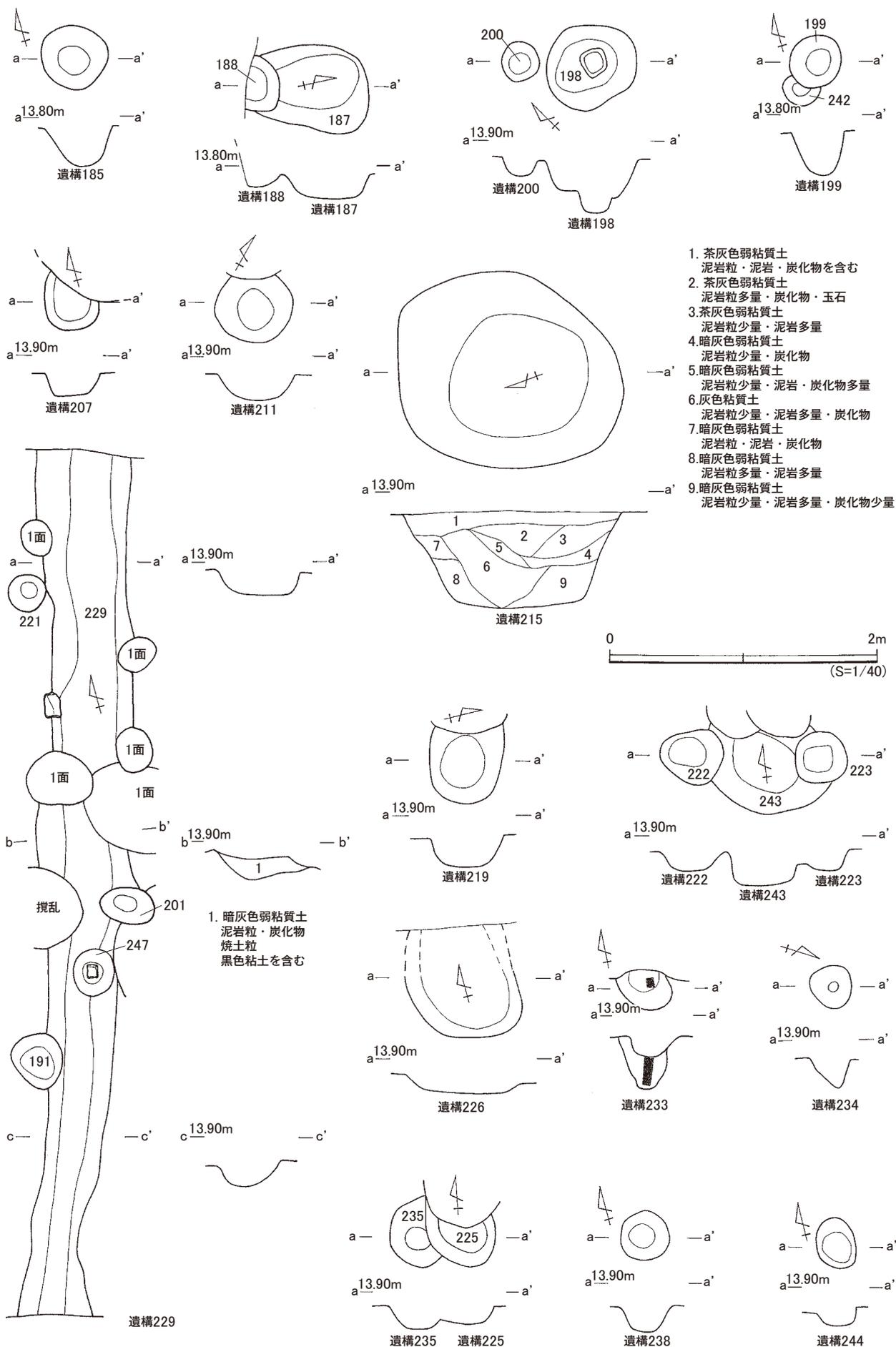


图 11 第 2 面遺構 (1)

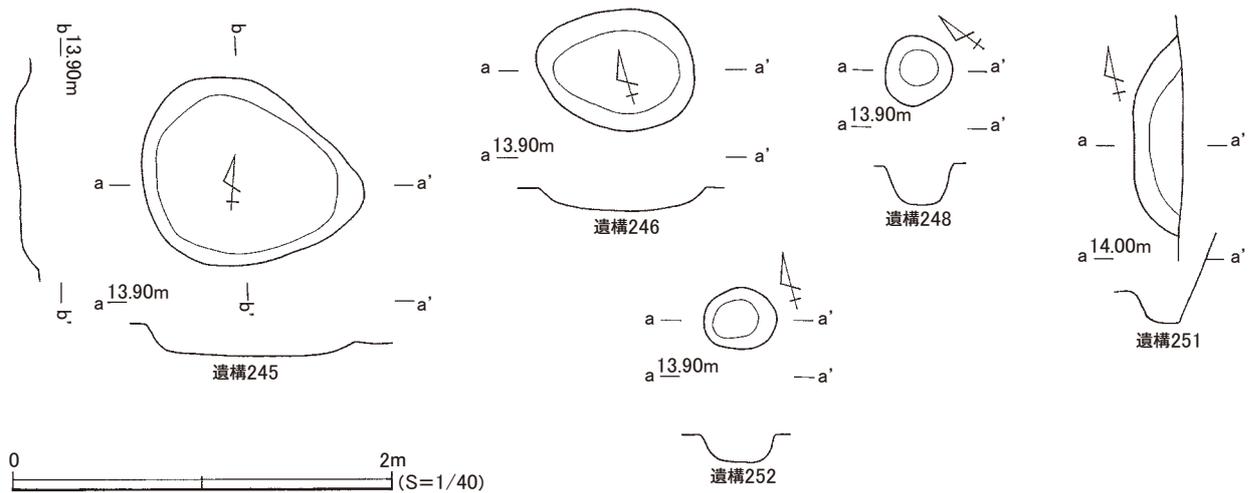


図12 第2面遺構(2)

む暗灰色弱粘質土。出土遺物-6はかわらけ。

遺構215(図11・図13)

円形を呈する土坑である。遺構覆土は泥岩粒・泥岩・炭化物を含む暗灰褐色弱粘質土(堆積土層図参照)。出土遺物-7~10はかわらけ。11は瀬戸折縁深皿。12~14は常滑甕。15は常滑片口鉢Ⅱ類。その他にかわらけ・瀬戸卸皿・瀬戸壺・常滑片口鉢Ⅱ類・常滑甕・瓦・瓦器質火鉢・鉄製品釘が破片で出土している。また、図示したかわらけは4個体であるが、破片でかわらけ(大)84、かわらけ(小)14個が出土している。

遺構219(図11・図13)

楕円形を呈するピットである。遺構218に切られる。遺構覆土は多量の泥岩粒・泥岩・炭化物・黒色粘土を含む暗灰色弱粘質土。出土遺物-16はかわらけ。17は瀬戸卸皿。18は常滑片口鉢Ⅱ類。その他に常滑片口鉢Ⅰ類・銭が破片で出土している。

遺構221(図11)

円形を呈するピットである。遺構覆土は泥岩粒・泥岩・炭化物を含む暗灰色弱粘質土。遺構191・遺構201とともに、遺構229(溝)に伴う遺構であった可能性もある。遺物はかわらけが破片で出土している。

遺構222(図11・図13)

円形を呈するピットである。遺構243を切る。遺構覆土は多量の泥岩粒・泥岩・炭化物を含む暗灰色弱粘質土。出土遺物-19は瓦器質香炉。その他にかわらけ・瀬戸香炉・褐釉壺・常滑甕が破片で出土している。

遺構223(図11・図13)

円形を呈するピットである。遺構243を切る。遺構覆土は泥岩粒・泥岩・炭化物を含む暗灰色弱粘質土。出土遺物-20はかわらけ。その他に土器(器種不明)が出土している。

遺構226(図11・図13)

調査区外に遺構が延びているため、形状・規模は不明。土坑である。遺構覆土は多量の泥岩粒・泥岩・炭化物を含む暗灰褐色弱粘質土。出土遺物-21はかわらけ。その他に常滑甕・鉄釘が破片で出土している。

遺構229(図11・図13)

北から南に向かって緩やかに走る溝である。調査区外に遺構が延びているため規模は不明。遺構覆土は泥岩粒・炭化物・焼土粒・黒色粘土を含む暗灰弱粘質土。出土遺物-22~24はかわらけである。24

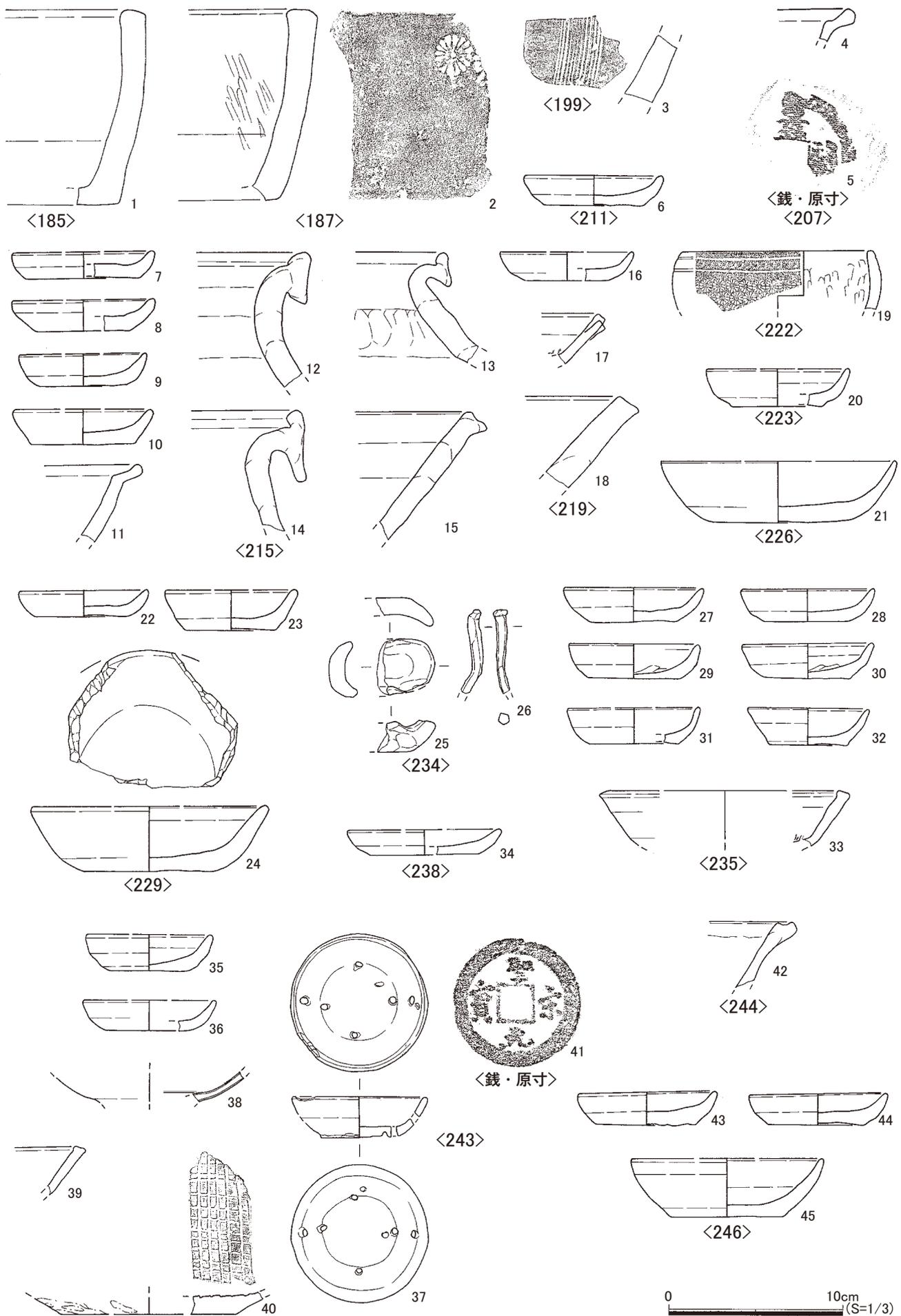


図13 第2面遺構出土遺物(1)

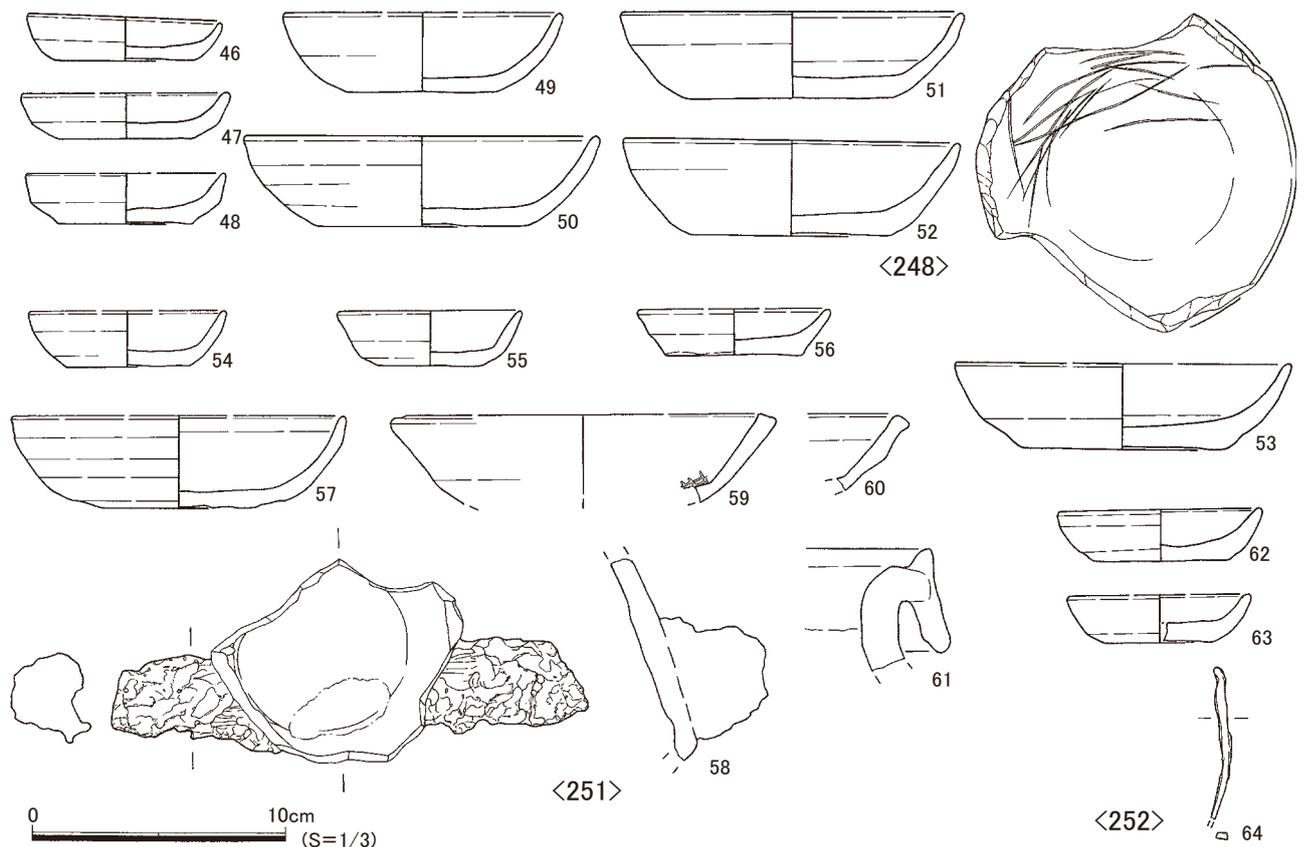


図14 第2面遺構出土遺物(2)

は故意に口唇部を打ち搔いている。その他に常滑甕・瓦器質火鉢が破片で出土している。

遺構230(図15・図16)

円形を呈する土坑である。遺構覆土は泥岩粒・炭化物を含む暗灰褐色弱粘質土。出土遺物-1~62はかわらけ。63は常滑片口鉢Ⅱ類。64・65は瓦器質火鉢。66は鉄製品釘。図示したかわらけは62個体であるが、その他に破片でかわらけ(大)486、(小)40個が出土しており、かわらけの一括廃棄土坑と考えている。

遺構231(図17・図18)

調査区北側と溝(遺構229)に切られる調査区西側に残る版築は、第2面構成土を掘りこむ形で地業していた。遺構覆土は泥岩・泥岩粒を含む暗茶褐色弱粘質土で、焼土および焼痕の残る泥岩を多く含む。遺構231は版築された地業上でかわらけが集中して発見されたために遺構として報告しているが、地業の一環であった可能性もある。出土遺物-1~49はかわらけ。50は瀬戸折縁深皿。51・52は瀬戸卸皿。53は常滑片口鉢Ⅱ類。54は女瓦。55はかわらけ転用品、円盤状に加工している。56はチャート片。57・58は鉄製品釘。図示したかわらけは49個体であったが、破片ではかわらけ(大)546(中)2(小)99個が出土しており、集中的にかわらけの廃棄が行われた意図が窺える。その他に常滑甕18個が破片で出土している。

遺構233(図11・図13)

試掘坑に切れ形状は不明・柱痕の残るピットである。遺構覆土は少量の泥岩粒・泥岩・炭化物・黒色粘土を含む暗灰色弱粘質土。柱痕部分は黒色有機質土が堆積していた。遺物はかわらけ・土器(器種不明)が破片で出土している。

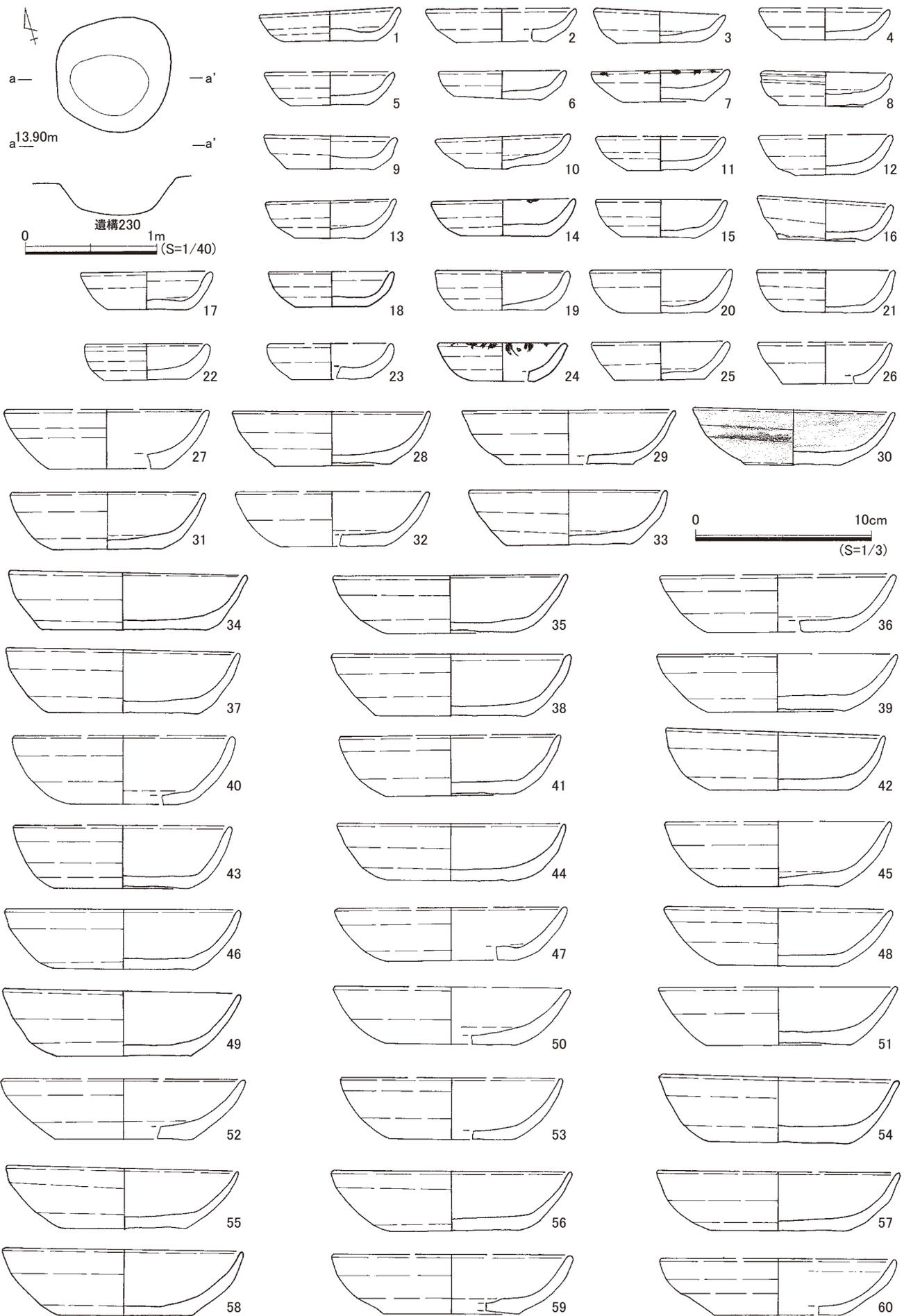


图15 第2面. 遺構230出土遺物(1)

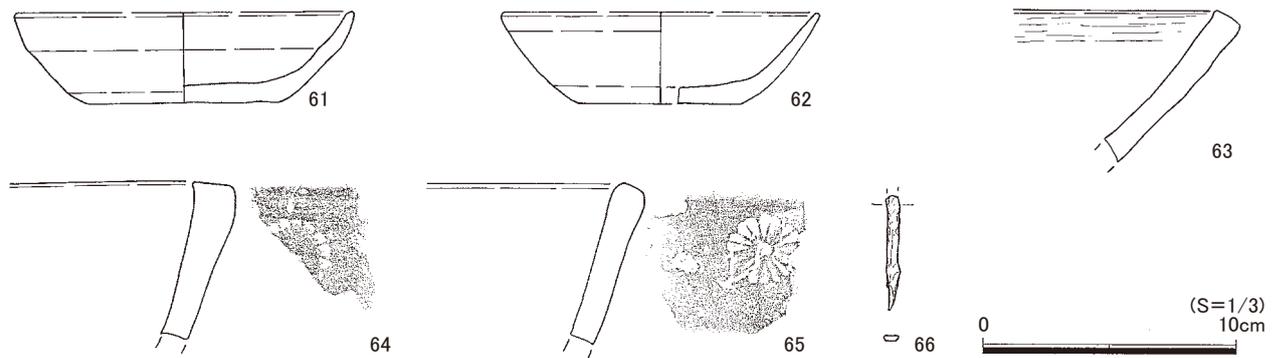


図16 第2面. 遺構230出土遺物(2)

遺構234 (図11・図13)

円形を呈するピットである。遺構覆土は泥岩粒・泥岩・炭化物・焼土粒を含む暗灰色弱粘質土。出土遺物-25はかわらけ、耳皿。26は鉄製品釘。その他に東幡系鉢・鉄製品釘が破片で出土している。

遺構235 (図11・図13)

楕円形を呈するピットである。遺構覆土は多量の泥岩粒・泥岩・炭化物・黒色粘土を含む暗灰色弱粘質土。出土遺物-27～32はかわらけ。33は瀬戸卸皿。その他に鉄製品釘が破片で出土している。

遺構238 (図11・図13)

円形を呈するピットである。遺構覆土は泥岩粒・泥岩・炭化物を含む暗灰色弱粘質土。出土遺物-34はかわらけ。その他に瀬戸卸皿が破片で出土している。

遺構242 (図11)

円形を呈するピットである。遺構199に切られる。遺構覆土は泥岩粒少量・泥岩多量・炭化物少量を含む暗灰色弱粘質土。遺物はかわらけが破片で出土している。

遺構243 (図11・図13)

楕円形を呈する土坑である。遺構222・遺構223に切られる。遺構覆土は多量の泥岩粒・泥岩・炭化物を含む暗灰色弱粘質土。出土遺物-35～37はかわらけ。37は見込みに5個、側壁に2個の孔が貫通しており特殊な場での使用であったと考えられる。38は白磁皿。39・40は瀬戸卸皿。41は銭。その他にかわらけ・常滑甕・鉄製品釘が破片で出土しており、図示したかわらけは3個体であるが、破片ではかわらけ(大)80・(小)8個が出土している。

遺構244 (図11・図13)

楕円形を呈するピットである。遺構覆土は泥岩粒・泥岩・炭化物・黒色粘土を含む暗灰色弱粘質土。出土遺物-42は瀬戸片口鉢。その他にかわらけ・鉄製品釘が破片で出土している。

遺構245 (図12)

不正円形を呈する浅い土坑である。遺構覆土は泥岩粒・泥岩・炭化物・黒色粘土を含む暗灰色弱粘質土。出土遺物はない。

遺構246 (図12・図13)

楕円形を呈する浅い土坑である。遺構覆土は多量の泥岩粒・泥岩・炭化物・黒色粘土を含む暗灰色弱粘質土。出土遺物-43～45はかわらけ。

遺構247 (図11)

円形を呈するピットである。遺構底面に不整形な泥岩が遺存する。遺構覆土は泥岩粒多量・泥岩・炭化物多量・黒色粘土を含む暗灰色弱粘質土。遺物はかわらけが破片で出土している。遺構229(溝)に

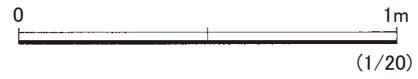


13.90m
a—●

●—a'



遺構231(かわらけ集中出土)



(1/20)

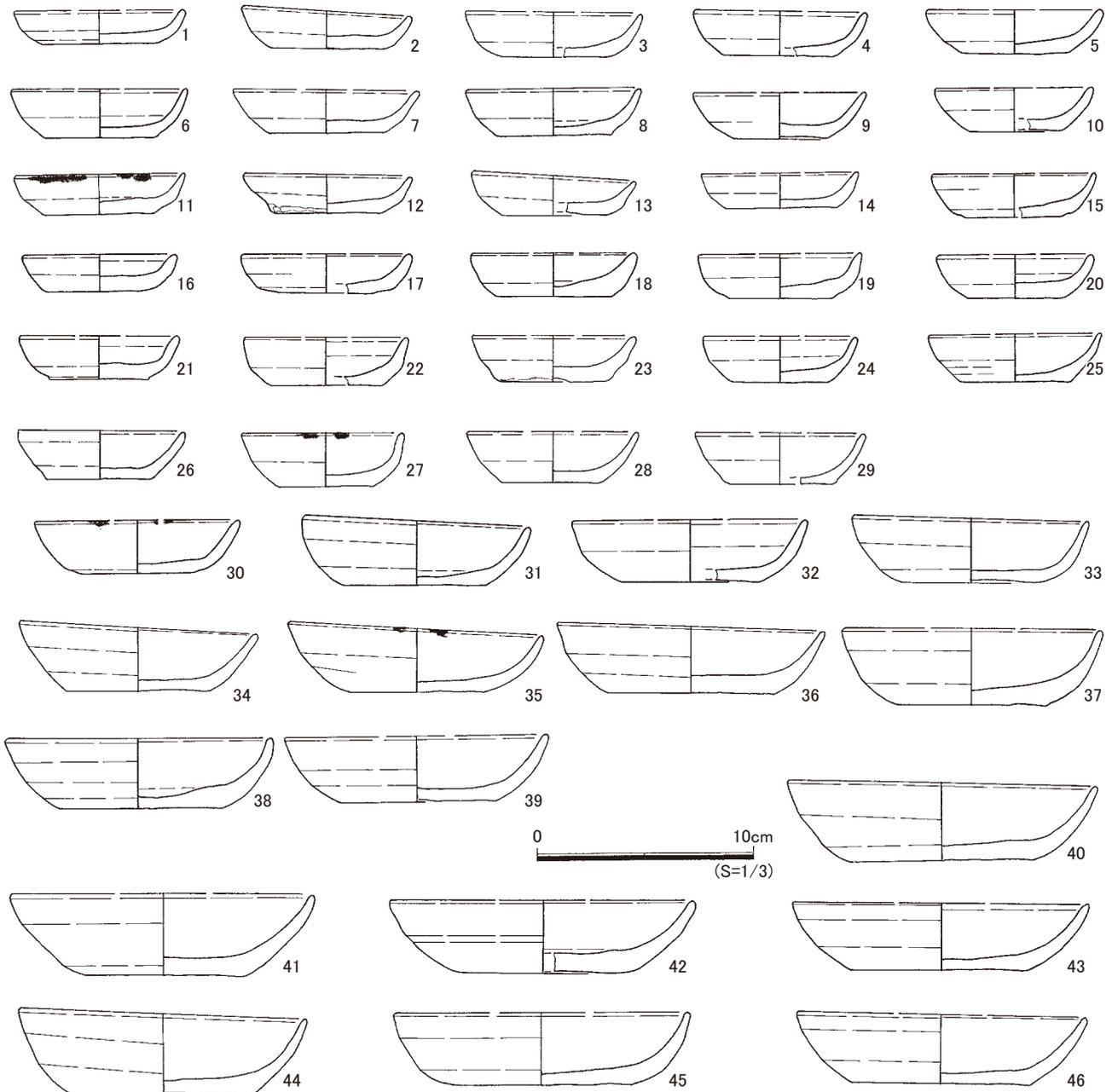


図17 第2面・遺構231出土遺物(1)

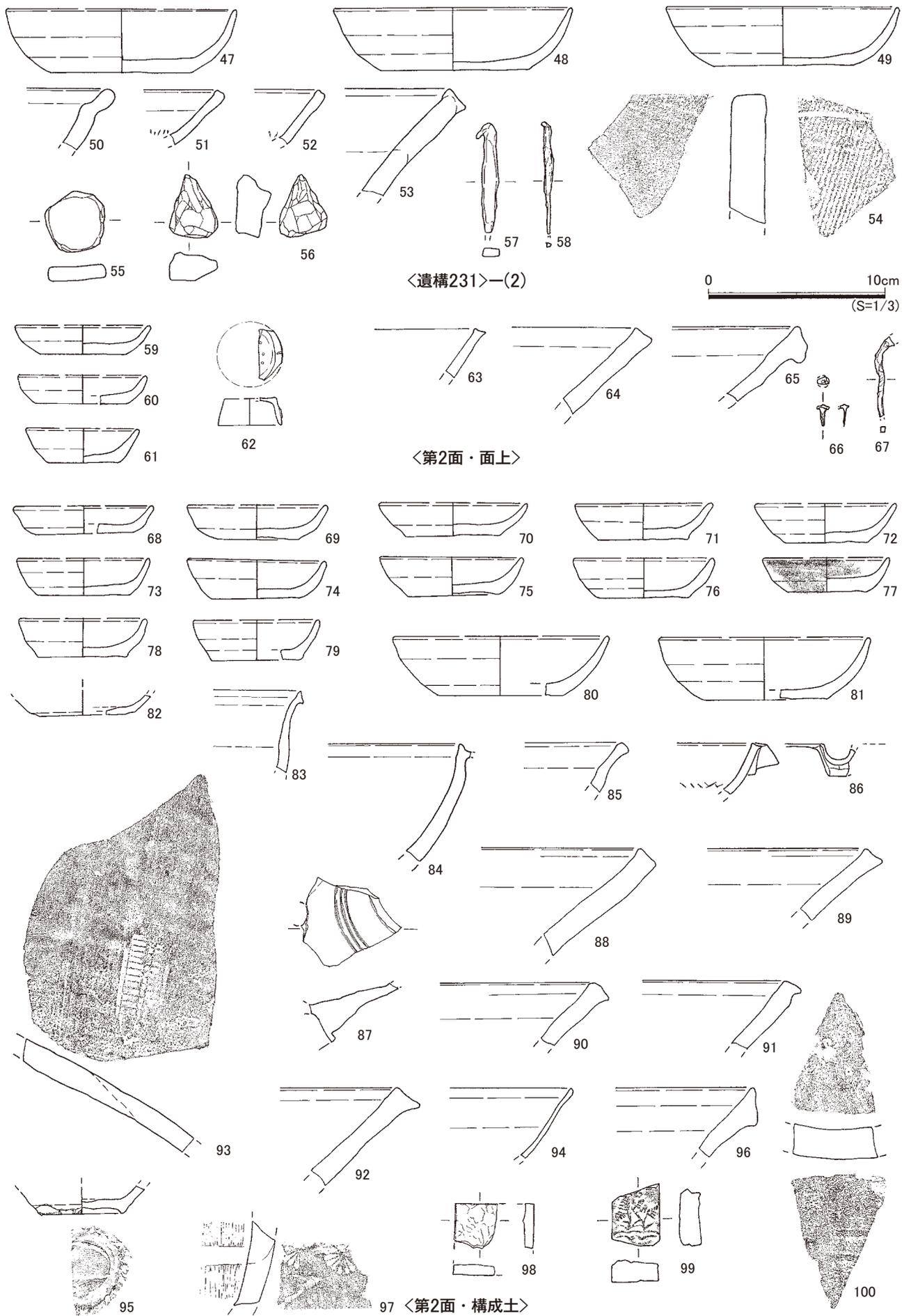


図18 第2面. 遺構231(2)・第2面. 面上・第2面. 構成土出土遺物

伴う遺構であったと考えている。

遺構 248 (図 12・図 14)

円形を呈するピットである。遺構覆土は泥岩粒・泥岩・炭化物・黒色粘土を含む暗灰色弱粘質土。出土遺物 - 46～53はかわらけ、53は内底部に線刻あり。その他にかわらけ・常滑甕が破片で出土している。うち、図示したかわらけは8個体であるが、破片でかわらけ(大) 67・(小) 6個が出土しており、小さなピット内に、集中的にかわらけを廃棄した様子である。

遺構 251 (図 12・図 14)

調査区外に遺構が延び形状・規模は不明、土坑である。遺構覆土は泥岩粒・泥岩・炭化物・黒色粘土を含む暗灰色弱粘質土。出土遺物 - 54～58はかわらけ。58は鉄塊がかわらけ底部に張り付いていたが、かわらけが火熱を受けた痕跡は確認できない。59・60は瀬戸卸皿。61は常滑甕。その他にかわらけ・鉄滓が破片で出土し、内かわらけ(大) 74・(小) 13個と数多くの破片が出土している。

遺構 252 (図 12・図 14)

円形を呈するピットである。遺構覆土は泥岩粒・泥岩・炭化物・黒色粘土を含む暗灰色弱粘質土。出土遺物 - 62・63はかわらけ・64は鉄製品釘。その他にかわらけ・常滑甕が破片で出土しているが、内かわらけ(大) 122・(小) 10個と数多くの破片が出土し、集中的にかわらけを廃棄した様子が窺え、遺構 248 に近似する。

第2面面上出土遺物 (図 18)

59～61はかわらけ。62は青白磁梅瓶、蓋。63は瀬戸卸皿。64は常滑片口鉢Ⅱ類。65は東幡系鉢。66は銅製品鉾。67は鉄製品釘。

第2面構成土出土遺物 (図 18)

68～82はかわらけ。82はロクロ成形、白かわらけ。83は白磁壺。84は瀬戸鉢。85・86は瀬戸卸皿。87は瀬戸水注。88～92は常滑片口鉢Ⅱ類。93は常滑甕。94・95は山茶碗。96は東幡系鉢。97は瓦器質火鉢。98は石製品硯。99は滑石製スタンプ。100は女瓦。その他に瀬戸片口鉢・常滑捏ね鉢Ⅰ類・鉄製品釘が破片で出土している。

3. 第3面の遺構と遺物 (図 19～図 25)

第3面は泥岩細片・泥岩を多く含んだ堅く締まった地業層上で多くの遺構を発見した。発見した遺構はピット 86穴・土坑 16基・溝 1条・竈状遺構 1基で、4時期の遺構の切り合いを確認している。調査区北側は泥岩粒・破碎泥岩・大小泥岩によって版築される。版築西側の遺構 354、版築南側の遺構 286は溝状を呈し、区画の土坑であった可能性がある。版築上および、区画内にも建物を推定することは出来なかった。調査区南側は炭化物、焼土を多く含む暗茶褐色弱粘質土上で遺構を確認している。

発見した遺物は、かわらけ・手づくね・青磁・青白磁・白磁・常滑・瀬戸・山茶碗・亀山・瓦器碗・瓦器質火鉢・鞆の羽口・鉄製品・鋳型・鉄滓・石製品・銭・果核である。第3面確認レベルは海拔 13.60m。

遺構 255 (図 20・図 22)

円形を呈するピットである。遺構覆土は泥岩粒・泥岩・炭化物を含む茶灰色弱粘質土。出土遺物 - 1は瀬戸卸皿。2・3は常滑甕胴部片。その他にかわらけ・瓦器碗・鉄製品釘が破片で出土している。

遺構 258 (図 20・図 22)

調査区外に遺構が延び、一部を遺構 327 に切られるため形状・規模は不明。遺構覆土は泥岩粒・泥岩・

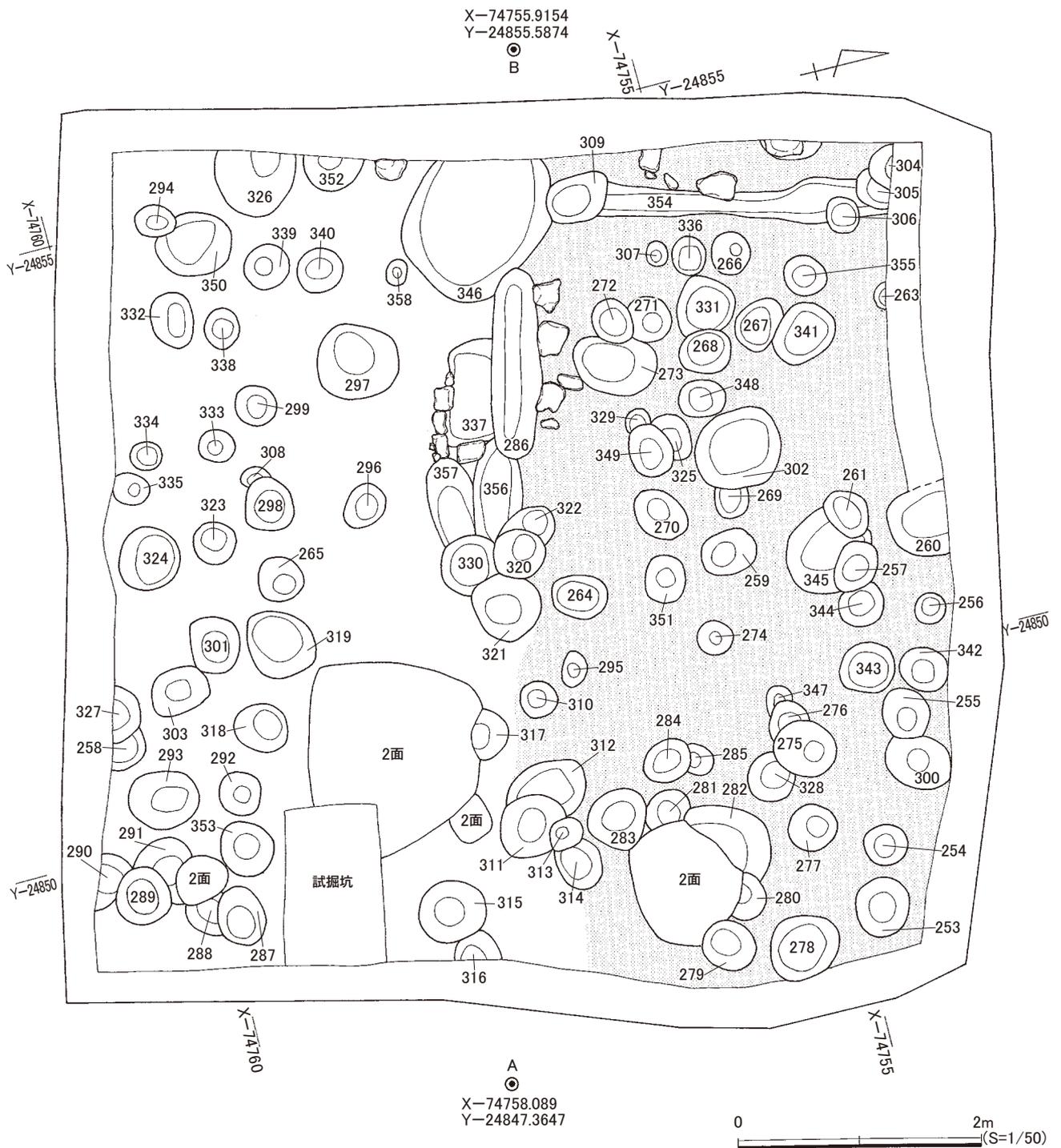


図19 第3面全測図

炭化物・黒色粘土を含む暗茶灰色弱粘質土。出土遺物-4はかわらけ。その他に青磁鎬蓮弁文碗・常滑甕・鉄製品釘が破片で出土している。

遺構260 (図20・図22)

調査区外に遺構が伸び形状・規模は不明、ピットである。遺構覆土は少量の泥岩粒・泥岩・炭化物を含む茶灰色弱粘質土。出土遺物-5・6はかわらけ。7は白磁口兀皿。その他に常滑甕が破片で出土している。

遺構263 (図20・図22)

調査区外に遺構が伸び形状・規模は不明、ピットである。遺構覆土は少量の泥岩粒・泥岩・炭化物を含む茶灰色弱粘質土。出土遺物-8はかわらけ。9は鉄製品釘。

遺構 264 (図 20・図 22)

楕円形を呈するピットである。遺構覆土は泥岩粒・泥岩・炭化物を含む暗灰色弱粘質土。出土遺物－10 はかわらけ。11 は白磁口元皿。その他に常滑甕が破片で出土している。

遺構 269 (図 20)

円形を呈するピットである。遺構 302 に切られる。遺構覆土は泥岩粒少量・泥岩少量・炭化物多量を含む暗灰色弱粘質土。遺物はかわらけが破片で出土している。

遺構 270 (図 20・図 22)

楕円形を呈するピットである。遺構覆土は泥岩粒・泥岩・炭化物を含む暗灰色弱粘質土。出土遺物－12 はかわらけ。

遺構 271 (図 20・図 22)

円形を呈するピットである。遺構 272 に切られる。遺構覆土は泥岩粒・多量の炭化物を含む暗灰色弱粘質土。出土遺物－13～18 はかわらけ。その他に瀬戸卸皿が破片で出土している。

遺構 272 (図 20)

楕円形を呈するピットである。遺構 271・遺構 273 を切る。遺構覆土は泥岩粒少量・炭化物少量を含む暗灰色弱粘質土。遺物はかわらけ・常滑甕が破片で出土している。

遺構 273 (図 20・図 22)

楕円形を呈するピットである。遺構 271・遺構 272 に切られる。遺構覆土は泥岩粒・炭化物を含む暗灰色弱粘質土。出土遺物－19 はかわらけ。その他に常滑片口鉢Ⅱ類・常滑甕が破片で出土している。

遺構 275 (図 20)

円形を呈するピットである。遺構 276 を切る。遺構覆土は泥岩粒・泥岩・炭化物を含む暗灰色弱粘質土。遺物はかわらけ・常滑片口鉢Ⅰ類・常滑甕が破片で出土している。

遺構 276 (図 20・図 22)

円形を呈するピットである。遺構 275 に切られる。遺構覆土は泥岩粒・炭化物を含む暗灰色弱粘質土。出土遺物－20 はかわらけ。その他に常滑甕が破片で出土している。

遺構 278 (図 20・図 22)

楕円形を呈するピットである。遺構覆土は泥岩粒・泥岩・少量の炭化物を含む暗灰色弱粘質土。出土遺物－21 は銭。その他にかわらけが破片で出土している。

遺構 279 (図 20・図 22)

楕円形を呈するピットである。泥岩粒・泥岩・炭化物を含む暗灰色弱粘質土。ピット底部に黒色有機質土が堆積していた。柱痕か。遺物はかわらけが破片で出土している。

遺構 280 (図 22)

上層の遺構に切れ形状・規模は不明。ピットである。遺構覆土は泥岩粒・炭化物を含む暗灰色弱粘質土。遺構図は個別に図示していない。出土遺物－22・23 はかわらけ。その他に常滑甕が破片で出土している。

遺構 284 (図 20・図 22)

楕円形を呈するピットである。遺構 285 を切る。遺構覆土は泥岩粒・泥岩・多量の炭化物を含む暗灰色弱粘質土。出土遺物－24・25 はかわらけ。24 は内外面に油煤痕。

遺構 285 (図 20)

円形を呈するピットである。遺構 284 に切られる。遺構覆土は泥岩粒・泥岩・炭化物を含む暗灰色弱粘質土。出土遺物はない。

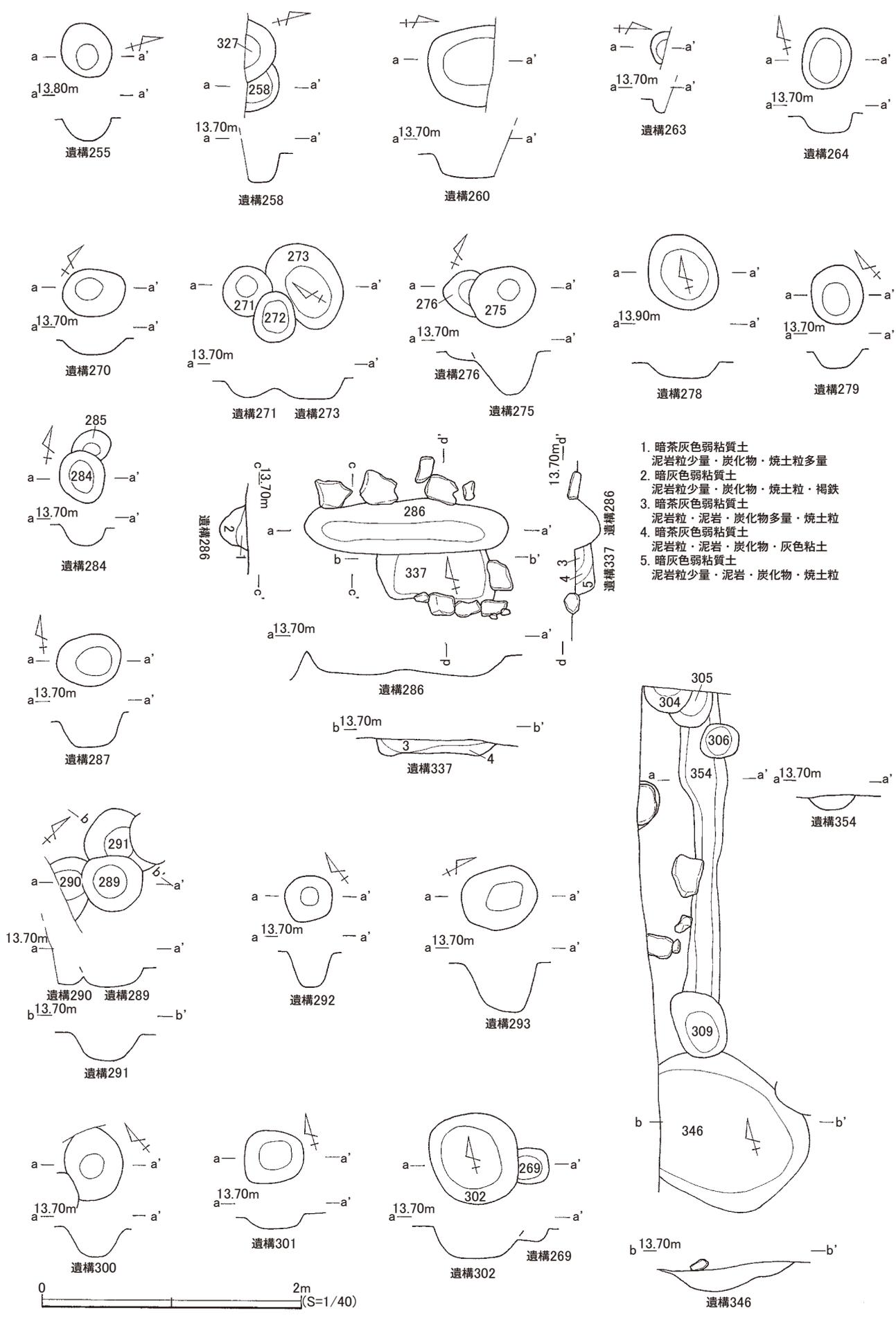


図20 第3面遺構(1)

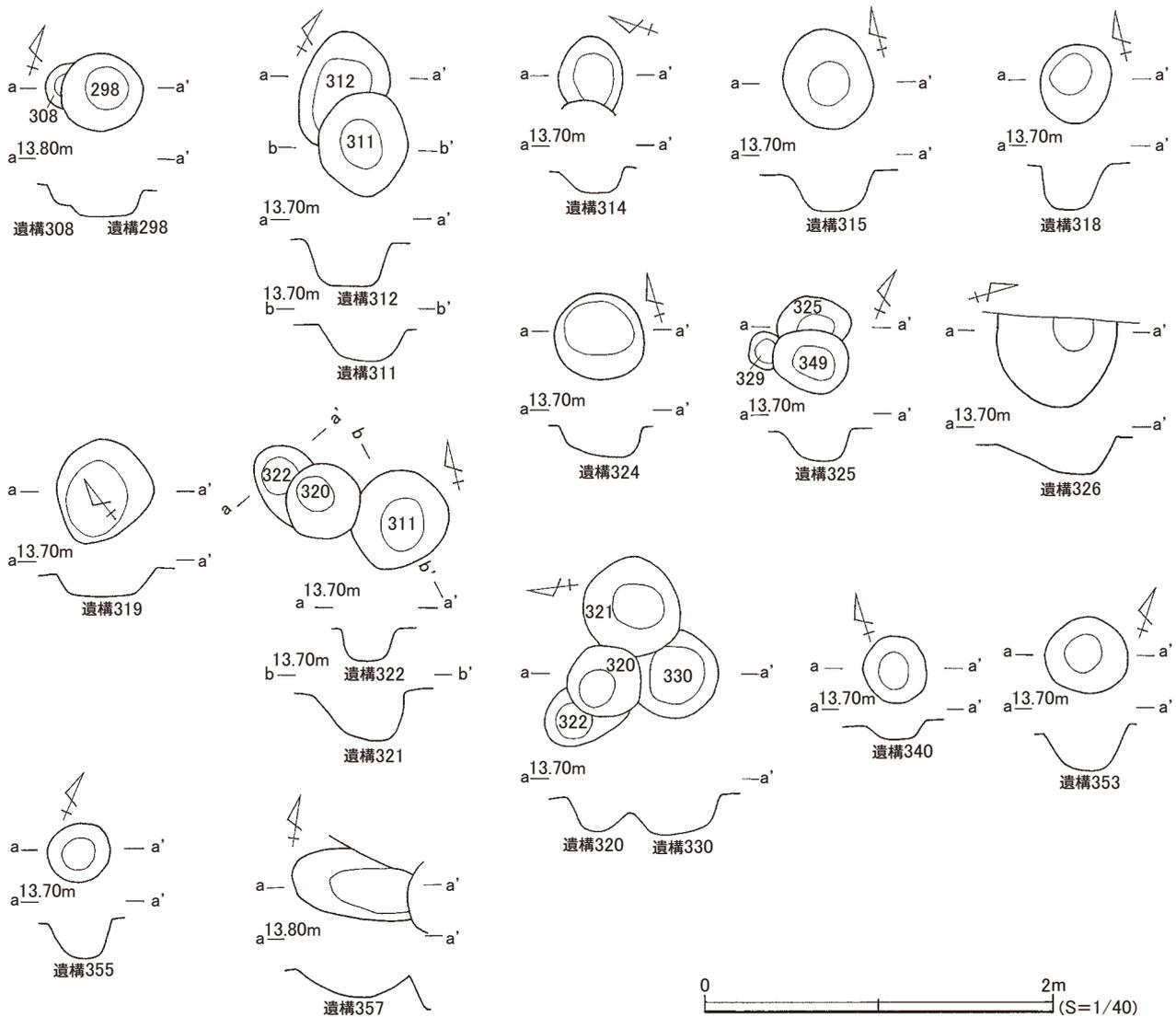


図21 第3面遺構(2)

遺構286 (図20・図22)

楕円形を呈する土坑である。遺構覆土は泥岩粒・泥岩・炭化物・多量の焼土を含む茶褐色弱粘質土。出土遺物-26は常滑甕。27は常滑片口鉢Ⅱ類。28～31は銭、銭はまとまって出土している。その他にかわらけ・手づくね・青白磁梅瓶・鋳型・鉄製品釘が破片で出土し、復元は出来なかったが、かわらけは81個を数える。

遺構287 (図20・図22)

楕円形を呈するピットである。遺構覆土は泥岩粒・炭化物を含む暗灰色弱粘質土。出土遺物-32～35はかわらけ。その他に常滑甕・瓦器質火鉢・鉄製品釘が破片で出土している。

遺構289 (図20)

円形を呈するピットである。遺構覆土は泥岩粒・泥岩・炭化物を含む暗灰色弱粘質土。遺物はかわらけ・常滑甕・瓦器質火鉢。鉄製品釘が破片で出土している。

遺構290 (図20・図22)

調査区外に遺構が延び、遺構289に切られる為に形状・規模は不明、ピットである。遺構覆土は泥岩粒・泥岩・炭化物を含む暗灰色弱粘質土。出土遺物-36はかわらけ。

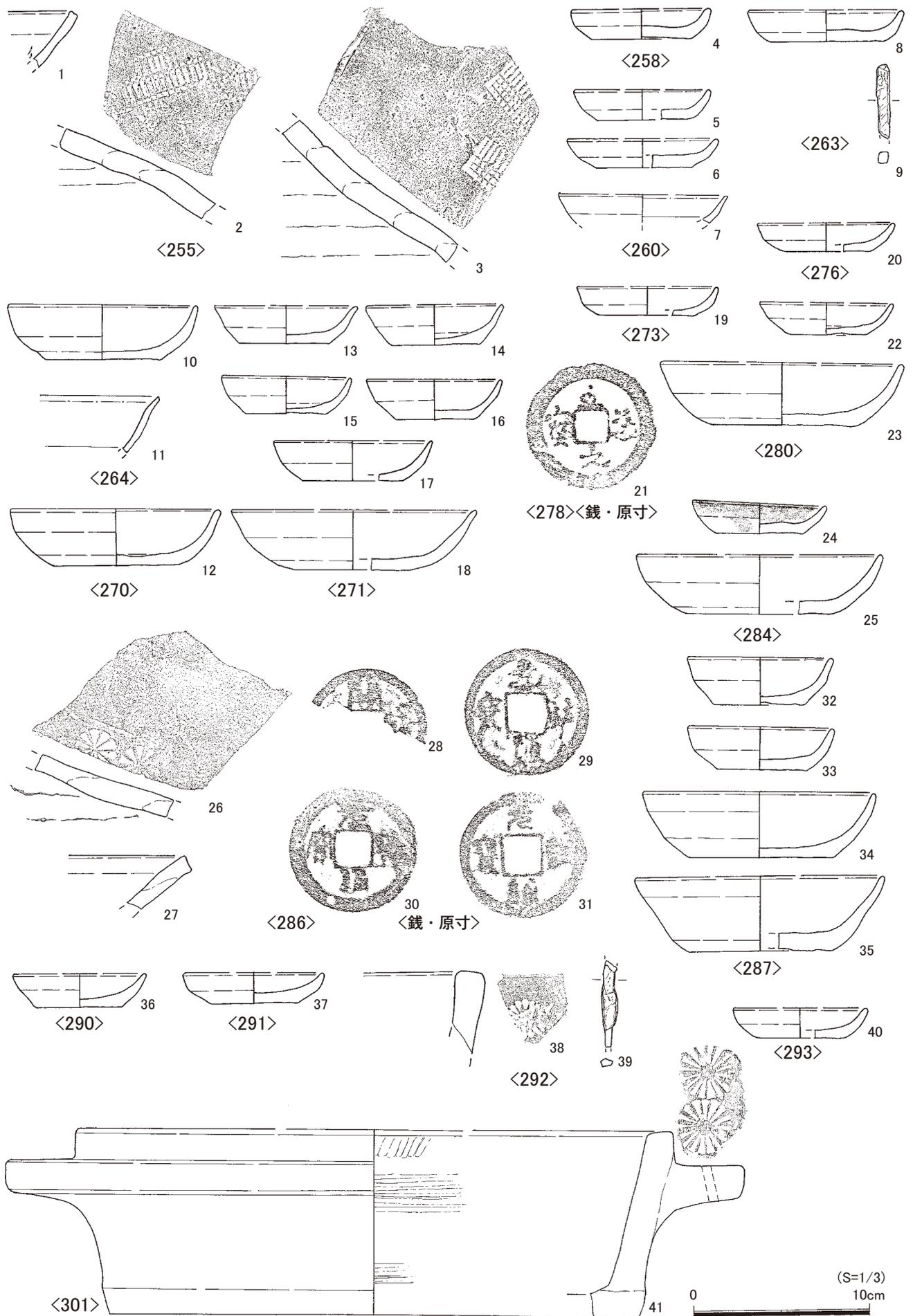


図22 第3面遺構出土遺物(1)

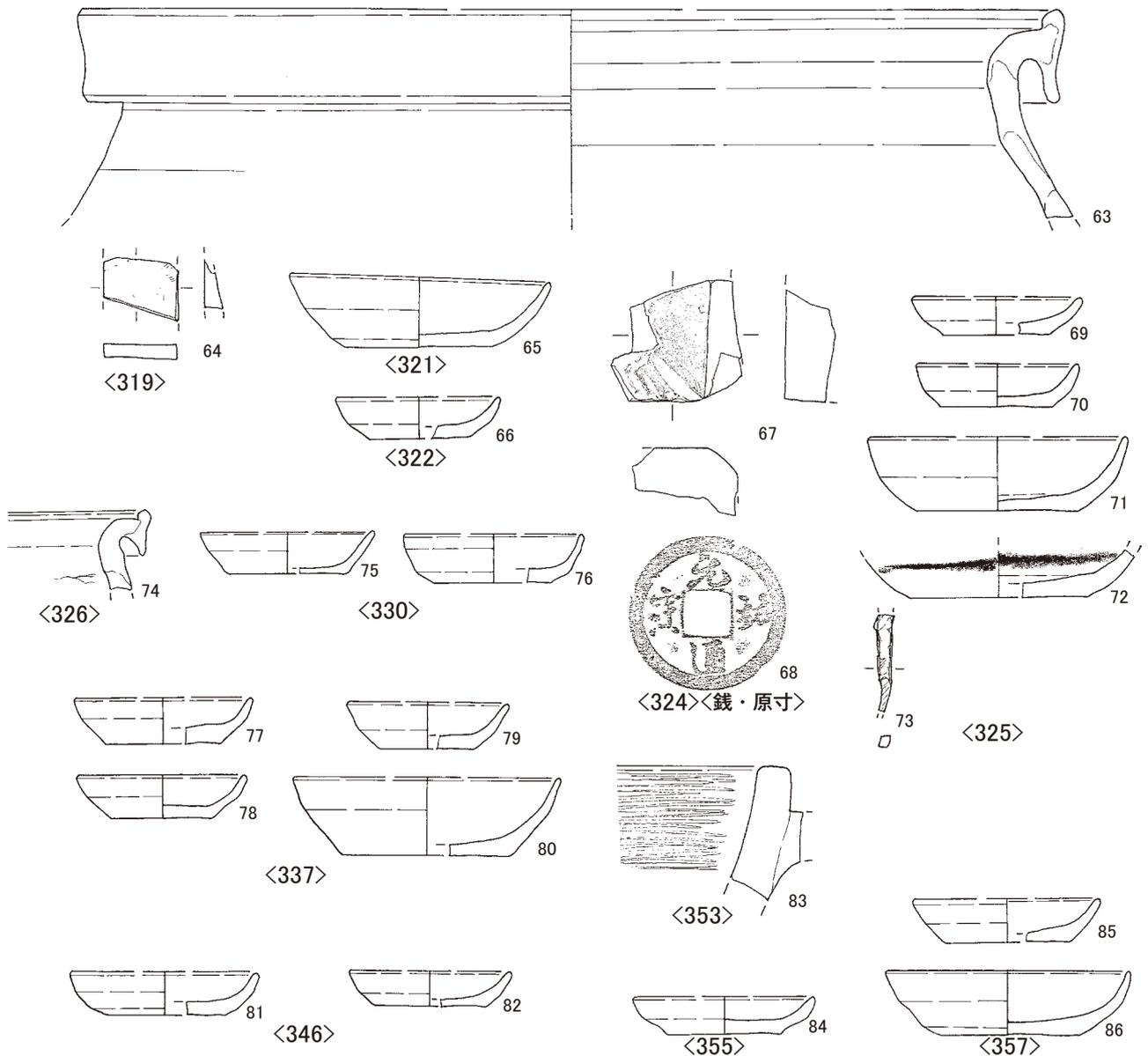
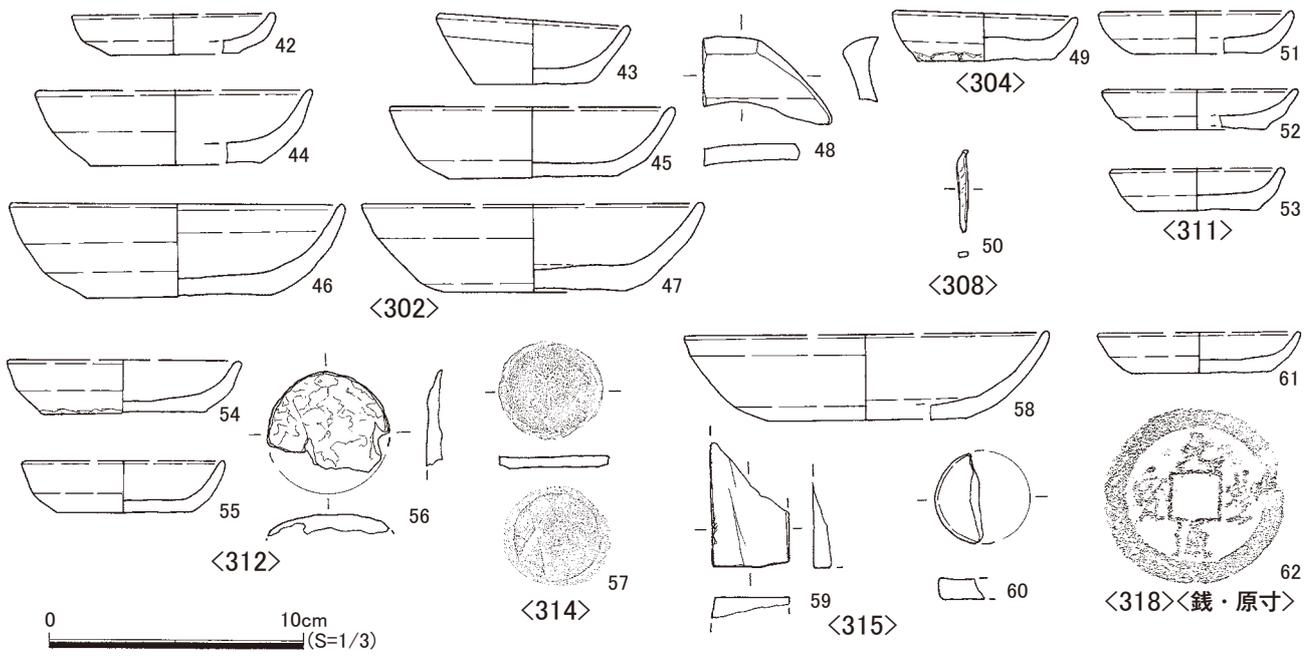


図23 第3面遺構出土遺物(2)

遺構 291 (図 20・図 22)

円形を呈するピットである。遺構 289 に切られる。遺構覆土は多量の泥岩粒・炭化物を含む暗灰色弱粘質土。出土遺物 - 37 はかわらけ。その他に手づくねが破片で出土している。

遺構 292 (図 20・図 22)

円形を呈するピットである。遺構覆土は泥岩粒・泥岩・炭化物・焼土を含む暗灰色弱粘質土。出土遺物 - 38 は瓦器質火鉢。39 は鉄製品釘。その他にかわらけ・常滑甕が破片で出土している。

遺構 293 (図 20・図 22)

楕円形を呈するピットである。遺構覆土は泥岩粒・泥岩・炭化物・焼土を含む暗灰色弱粘質土。出土遺物 - 40 はかわらけ。その他に常滑甕・山茶碗・瓦器質火鉢が破片で出土している。

遺構 298 (図 21)

円形を呈するピットである。遺構 308 を切る。遺構覆土は泥岩粒・泥岩多量・炭化物少量を含む茶灰色弱粘質土。出土遺物はない。

遺構 300 (図 20)

楕円形を呈するピットである。遺構覆土は泥岩粒・泥岩・炭化物・焼土を含む茶灰色弱粘質土。遺物にかわらけ・瀬戸壺・常滑片口鉢Ⅱ類・常滑甕・瓦器質火鉢・鍔釜・鋳型・鉄製品釘・銭が破片で出土している。復元は出来なかったが、かわらけは(大) 84・(小) 11個を数えた。かわらけ集中廃棄の土坑である。

遺構 301 (図 20・図 22)

不正円形を呈するピットである。遺構覆土は泥岩粒・泥岩・炭化物を含む暗灰色弱粘質土。出土遺物 - 41 は瓦器質火鉢。

遺構 302 (図 20・図 23)

円形を呈する土坑である。遺構 269 を切る。遺構覆土は炭化物を含む暗灰色弱粘質土。出土遺物 - 42 ~ 47 はかわらけ。48 は東幡系鉢、転用品。側面が摩耗。

遺構 304 (図 20・図 23)

調査区外に遺構が延び形状・規模不明、ピットである。遺構 305 を切る。遺構覆土は泥岩粒・泥岩・炭化物・焼土を含む暗灰色弱粘質土。出土遺物 - 49 はかわらけ。

遺構 305 (図 20)

円形を呈するピットである。調査区外に遺構が延び規模は不明。遺構 354 を切る。遺構覆土は泥岩粒・泥岩少量・炭化物多量を含む暗灰色弱粘質土。遺物にかわらけが破片で出土している。

遺構 306 (図 20)

円形を呈するピットである。遺構 354 を切る。遺構覆土は泥岩粒少量・泥岩・炭化物を含む暗灰色弱粘質土。遺物にかわらけが破片で出土している。

遺構 308 (図 21・図 23)

遺構 298 に切られ、形状・規模は不明、ピットである。遺構覆土は泥岩粒・泥岩・炭化物を含む茶灰色弱粘質土。出土遺物 - 50 は鉄製品釘。その他にかわらけ・鉄製品釘が破片で出土している。

遺構 309 (図 20)

楕円形を呈するピットである。遺構 346・遺構 354 を切る。遺構覆土は泥岩粒・泥岩・炭化物少量を含む暗灰色弱粘質土。遺物にかわらけ・常滑甕が破片で出土している。

遺構 311 (図 21・図 23)

円形を呈するピットである。遺構覆土は泥岩粒・泥岩・炭化物を含む茶灰色弱粘質土。出土遺物－51～53はかわらけ。

遺構312 (図21・図23)

円形を呈するピットである。遺構311に切られる。遺構覆土は泥岩粒・泥岩・炭化物・焼土を含む暗灰色弱粘質土。出土遺物－54・55はかわらけ。56は鉄製品用途不明、蓋か。

遺構314 (図21・図23)

楕円形を呈するピットである。遺構313に切られる。遺構覆土は泥岩粒・泥岩・炭化物を含む暗灰色弱粘質土。出土遺物－57は瀬戸入子底部片。内外面に不鮮明な線刻残る。

遺構315 (図21・図23)

楕円形を呈するピットである。遺構覆土は泥岩粒・泥岩・炭化物・焼土を含む暗灰色弱粘質土。出土遺物－58はかわらけ。59は石製品砥石。60はかわらけ、転用品。

遺構318 (図21・図23)

円形を呈するピットである。遺構覆土は泥岩粒・泥岩・炭化物・黒色粘土を含む暗灰色弱粘質土。出土遺物－61はかわらけ。62は銭。

遺構319 (図21・図23)

円形を呈するピットである。遺構覆土は泥岩粒・泥岩・炭化物・焼土を含む茶灰色弱粘質土。出土遺物－63は常滑甕。64は石製品砥石。

遺構320 (図21)

円形を呈するピットである。遺構321・遺構322を切る。遺構覆土は泥岩粒少量・泥岩多量・炭化物微量を含む茶灰色弱粘質土。遺物はかわらけ・手づくね成形の白かわらけ・常滑甕が破片で出土している。

遺構321 (図21・図23)

円形を呈するピットである。遺構320に切られる。遺構覆土は泥岩粒・泥岩・炭化物を含む暗灰色弱粘質土。出土遺物－65はかわらけ。

遺構322 (図21・図23)

円形を呈するピットである。遺構320に切られる。遺構覆土は泥岩粒・泥岩・炭化物を含む暗灰色弱粘質土。出土遺物－66はかわらけ。

遺構324 (図21・図23)

円形を呈するピットである。遺構覆土は泥岩粒・泥岩・炭化物を含む暗灰色弱粘質土。出土遺物－67は石製品砥石。68は銭。

遺構325 (図21・図23)

楕円形を呈するピットである。遺構349に切られる。遺構覆土は泥岩粒・炭化物を含む暗灰色弱粘質土。出土遺物－69～72はかわらけ。73は鉄製品釘。

遺構326 (図21・図23)

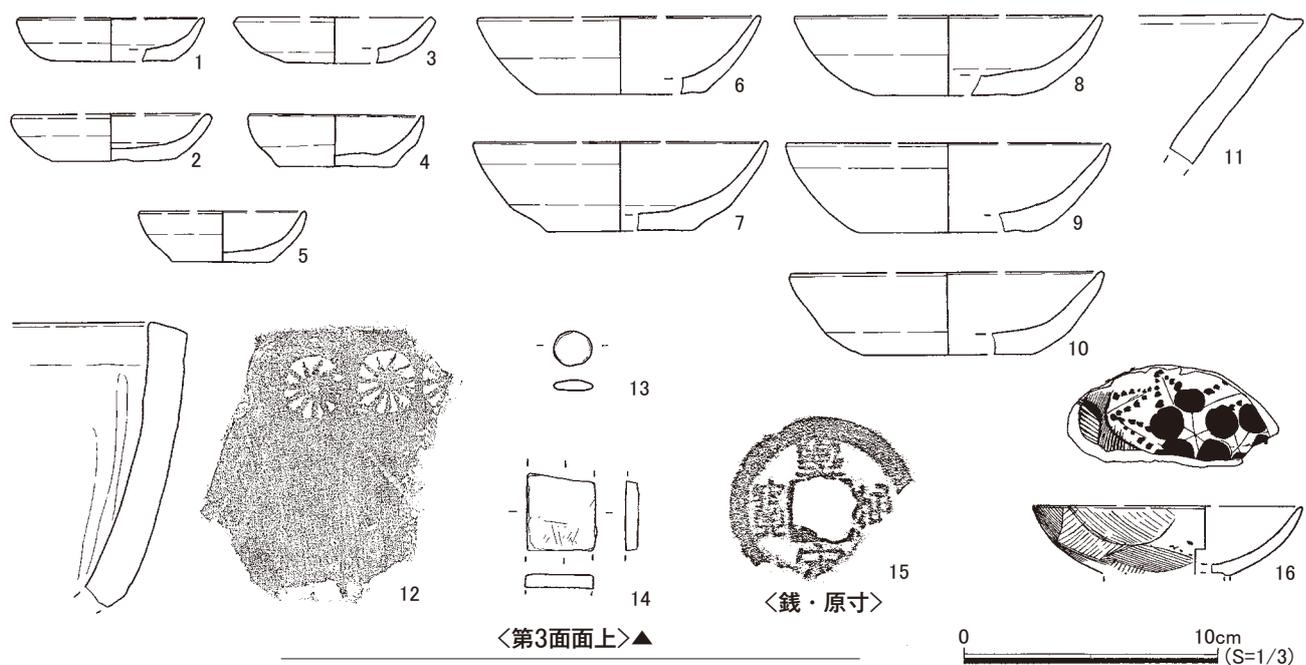
調査区外に遺構が延び形状・規模は不明。土坑である。出土遺物－74は常滑甕。

遺構327 (図20)

調査区外に遺構が延び、形状・規模は不明。ピットである。遺構258を切る。遺構覆土は泥岩粒・泥岩少量・炭化物少量・黒色粘土少量を含む茶灰色弱粘質土。遺物はかわらけが破片で出土している。

遺構329 (図21)

円形を呈するピットである。遺構325・遺構349に切られる。遺構覆土は泥岩粒少量・泥岩少量・炭



<第3面上>▲

<第3面構成土>▼

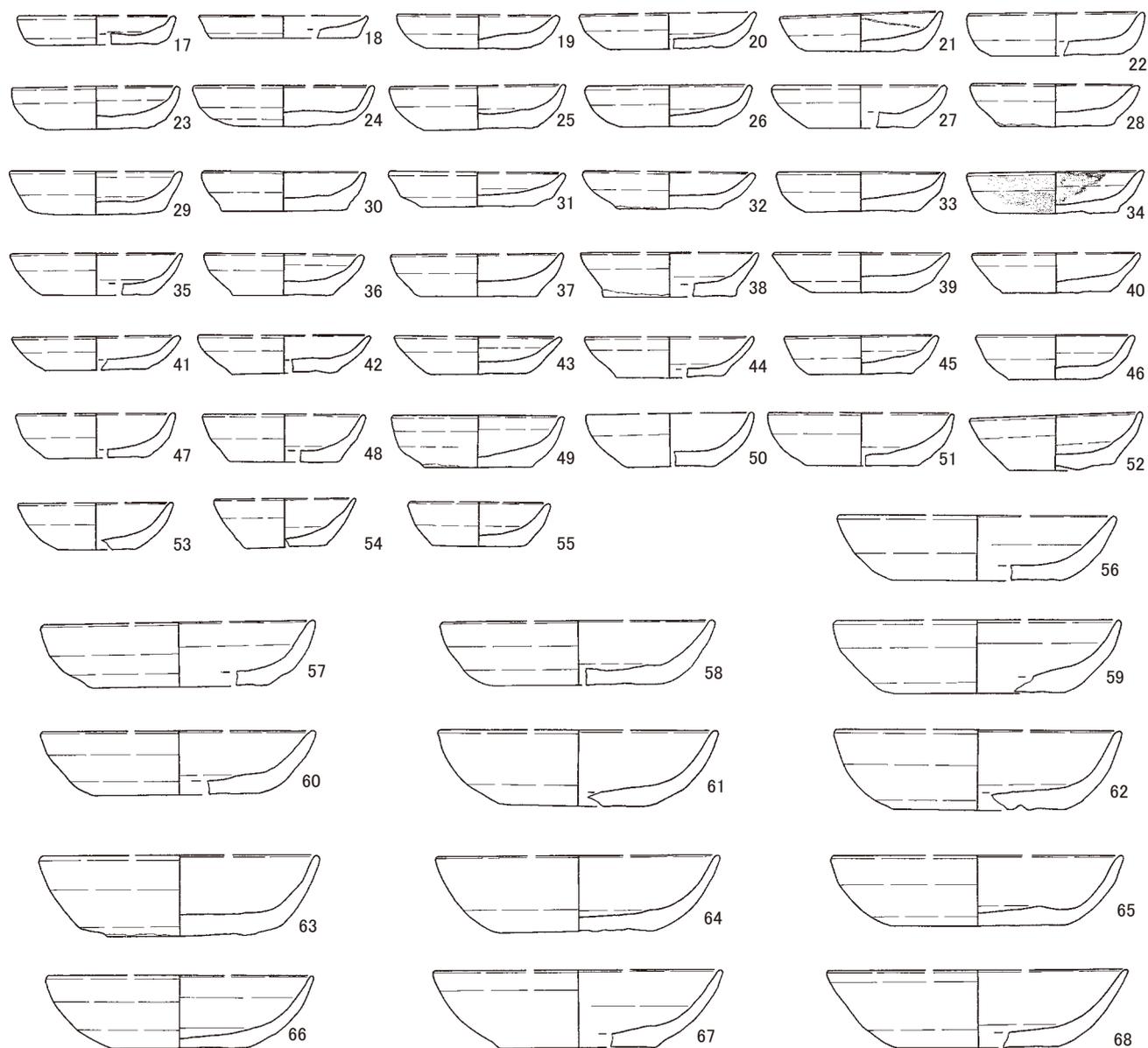


图24 第3面. 面上・構成土出土遺物(1)

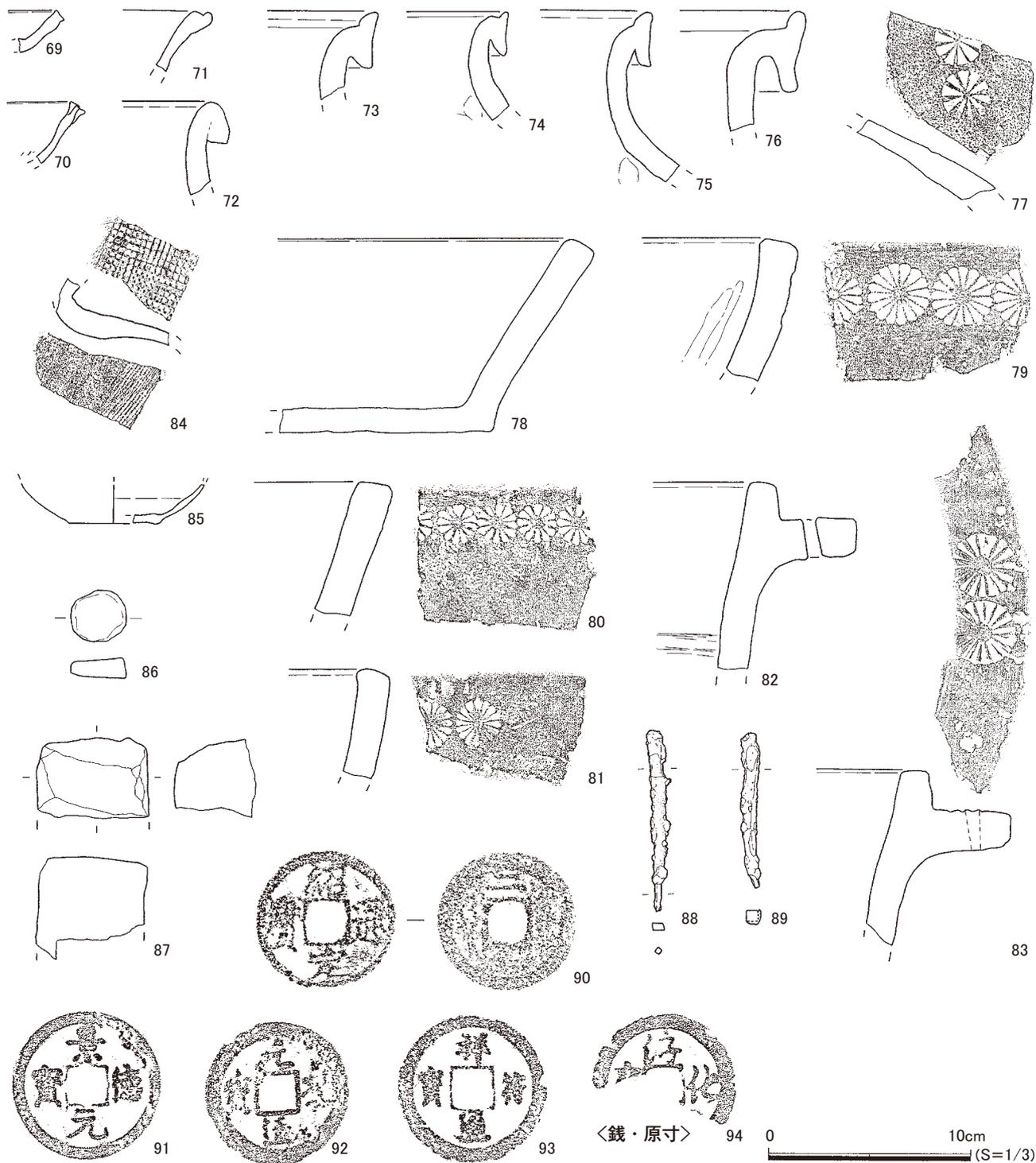


図25 第3面. 面上・構成土出土遺物(2)

化物少量を含む暗灰色弱粘質土。遺物はかわらけが破片で出土している。

遺構330(図21・図23)

円形のピットである。遺構320・遺構321に切られる。遺構覆土は泥岩粒・泥岩・炭化物・焼土を含む暗灰色弱粘質土。出土遺物-75・76はかわらけ。

遺構337(図20・図23)

方形を呈する土坑である。遺構286に切られる。遺構覆土は泥岩粒・泥岩とともに、多量の炭化物・焼土・炭を含む暗茶褐色弱粘質土である。不整形な泥岩が遺構周囲を囲んでいたが、泥岩に火熱を受けた痕跡

は確認できなかった。遺構底面は破碎泥岩・泥岩によって固められていた。竈の可能性を考えている。出土遺物－77～80はかわらけ。その他に常滑甕・鉄製品釘・鉄滓が破片で出土している。

遺構340(図21)

円形を呈するピットである。遺構覆土は泥岩粒・泥岩・炭化物・焼土を含む茶灰色弱粘質土。

遺構346(図20・図23)

調査区外に遺構が延び規模不明、土坑である。遺構354を切る。遺構覆土は泥岩粒・泥岩・炭化物・多量の焼土を含む茶灰色弱粘質土。出土遺物－81・82はかわらけ。

遺構349(図21)

楕円形を呈するピットである。遺構325・遺構329を切る。遺構覆土は泥岩粒少量・泥岩多量・炭化物少量を含む茶灰色弱粘質土。出土遺物はない。

遺構353(図21・図23)

円形を呈するピットである。遺構覆土は泥岩粒・泥岩・炭化物・焼土を含む暗灰色弱粘質土。出土遺物－83は瓦器質火鉢。

遺構354(図20)

遺構北側は調査区外に遺構が延び、南側は遺構346に切られる溝状の土坑で、調査区北に広がる版築状の地業を掘りこんでいる。遺構覆土は泥岩粒・泥岩・炭化物を含む暗灰色弱粘質土。遺物はかわらけ、鉄製品釘が破片で出土している。

遺構355(図21・図23)

円形を呈するピットである。遺構覆土は泥岩粒・泥岩・炭化物を含む暗灰色弱粘質土。出土遺物－84はかわらけ。

遺構357(図21・図23)

楕円形を呈する土坑である。遺構330・遺構356に切られる。遺構覆土は泥岩粒・泥岩・炭化物・多量の焼土を含む茶灰色弱粘質土。出土遺物－85・86はかわらけ。

第3面面上出土遺物(図24)

1～10はかわらけ。11は常滑片口鉢Ⅱ類。12は瓦器質火鉢。13・14は石製品。14は砥石。15は銭。16は漆器、碗。内面に梅と枝、波の施文、外面に波の施文。

第3面構成土出土遺物(図24・図25)

17～68はかわらけ。69・70は瀬戸卸皿。71は瀬戸片口鉢。72は常滑壺。73～77は常滑甕。78は土器質火鉢。79～83は瓦器質火鉢。84は亀山甕。85は瓦器碗。86はかわらけ、転用品。87は石製品砥石。88・89は鉄製品釘。90～94は銭。その他に手づくね・手づくね成形の白かわらけ・瀬戸折縁深皿・山茶碗・獣骨が破片で出土している。

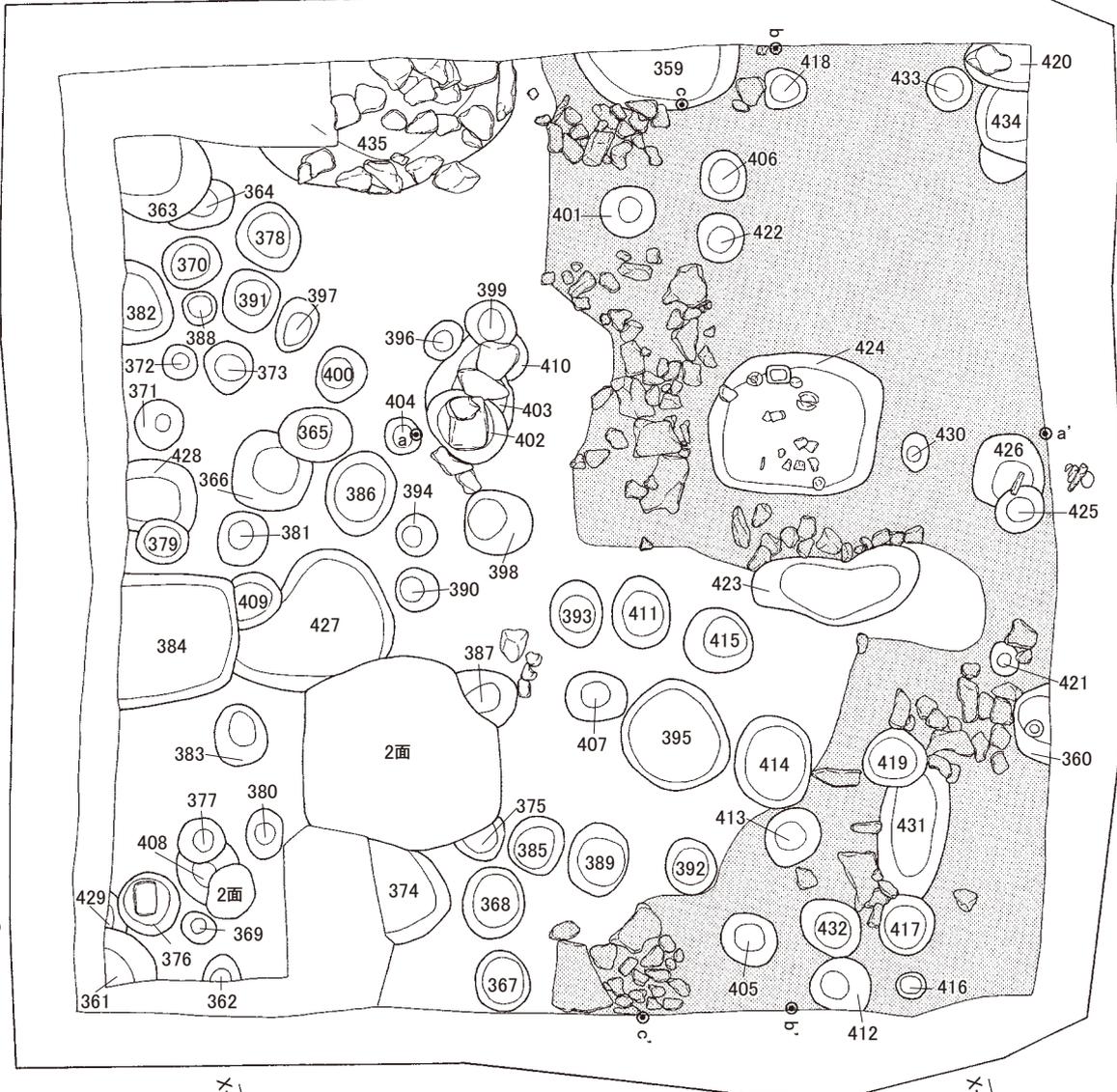
X-74755.9154
Y-24855.5874

⊙
B

X-74755
Y-24855



X-74760
Y-24855



⊙
A

X-74758.089
Y-24847.3647

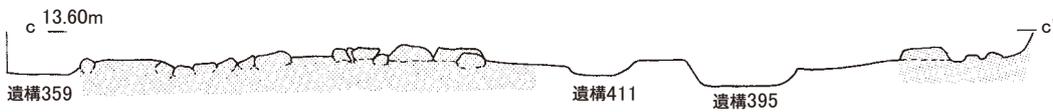
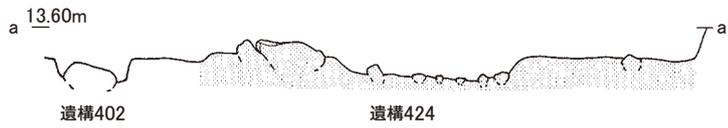


図26 第4面全測図

4. 第4面の遺構と遺物 (図26～図29)

第4面は泥岩細片・大型の泥岩を多く含んだ堅く締まった地業層上で多くの遺構を発見した。発見した遺構はピット67穴・土坑10基で、3時期の遺構の切り合いを確認している。調査区北側は泥岩粒・破碎泥岩・大小泥岩によって固く版築されていたが、大型泥岩を多く含み、やや雑な地業である。調査区南側は泥岩粒・泥岩・焼土を含む茶灰色弱粘質土で遺構を確認している。発見した遺物は、かわらけ・手づくね・青磁・青白磁・瀬戸・常滑・瓦器碗・瓦・瓦器質火鉢・石製品・鉄製品がある。第4面確認レベルは海拔13.40m。

遺構359 (図27・図28)

調査区外に遺構が延びているため規模は不明、土坑である。遺構覆土は泥岩・泥岩粒・炭化物・焼土を含む暗褐色弱粘質土。出土遺物-1・2はかわらけ。図示したかわらけは2個体だが、破片数はかわらけ(大)63・(小)8個と数多く出土している。

遺構360 (図27・図28)

調査区外に遺構が延びているために規模は不明、ピットである。遺構覆土は泥岩粒・泥岩・炭化物を含む暗灰色弱粘質土。遺構底面に炭化物が多量に堆積していた。出土遺物-3・4はかわらけ。内外側面、口唇部に油煤痕。その他に瀬戸卸皿・瀬戸折縁深皿・常滑甕が破片で出土している。

遺構363 (図27・図28)

調査区外に遺構が延びているために規模は不明、浅い土坑である。遺構覆土は泥岩粒・泥岩・炭化物を含む暗灰色弱粘質土。出土遺物-5はかわらけ。内外側面、口唇部に油煤痕。

遺構364 (図27)

楕円形を呈するピットである。遺構363に切られる。遺構覆土は泥岩粒少量・泥岩少量・炭化物少量を含む暗茶褐色弱粘質土。遺物はかわらけが破片で出土している。

遺構384 (図27・図28)

調査区外に遺構が延び規模は不明、方形を呈する土坑である。遺構覆土は泥岩粒・泥岩・炭化物を含む暗灰色弱粘質土。出土遺物-6は鉄製品、蓋か。その他にかわらけ・常滑甕・鉄製品釘が破片で出土している。

遺構386 (図27・図28)

円形を呈するピットである。遺構覆土は泥岩粒・泥岩・炭化物を含む暗茶褐色弱粘質土。出土遺物-7は銭。その他にかわらけ・常滑甕・瓦器質火鉢・鉄製品釘が破片で出土している。

遺構387 (図27・図28)

上層の遺構に切られ規模は不明、ピットである。遺構覆土は多量の泥岩粒・泥岩・炭化物を含む茶褐色弱粘質土。出土遺物-8はかわらけ。その他に常滑甕が破片で出土している。

遺構391 (図27・図28)

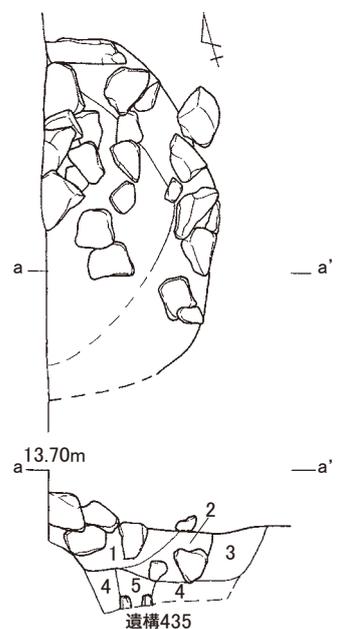
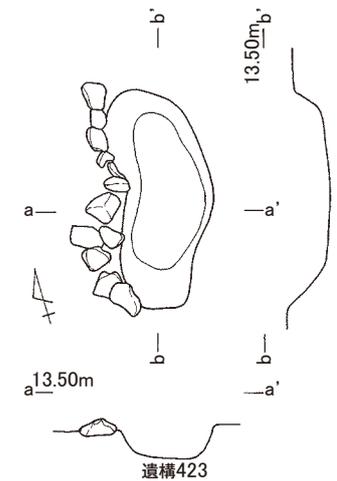
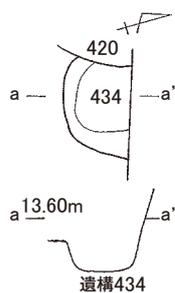
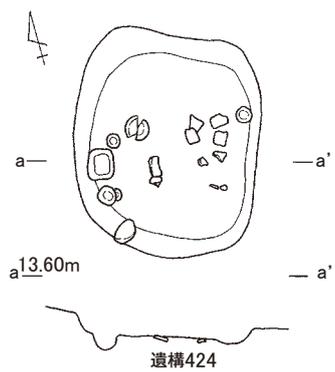
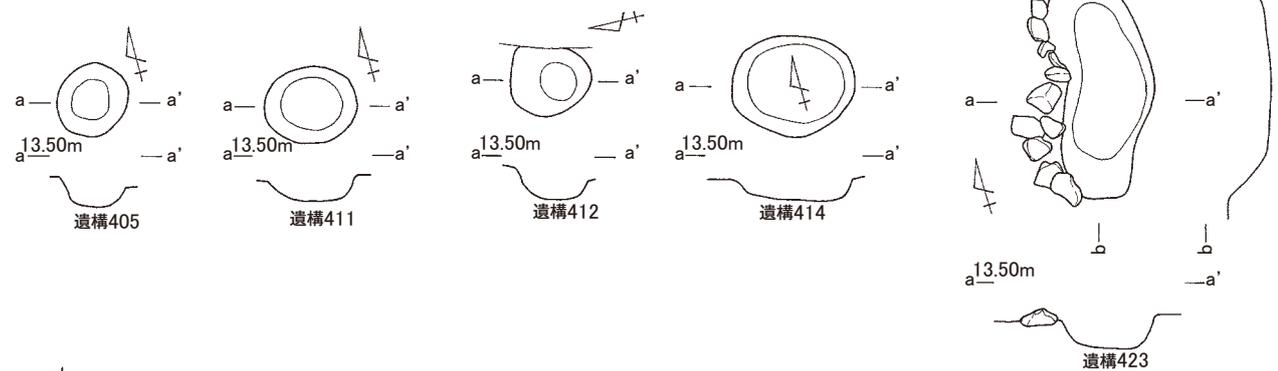
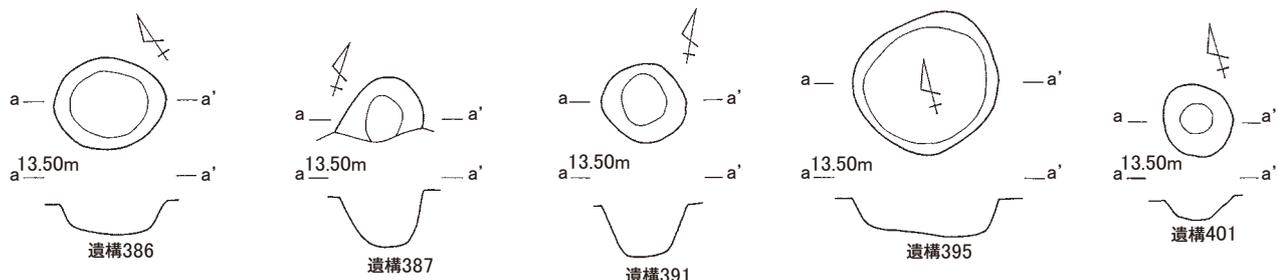
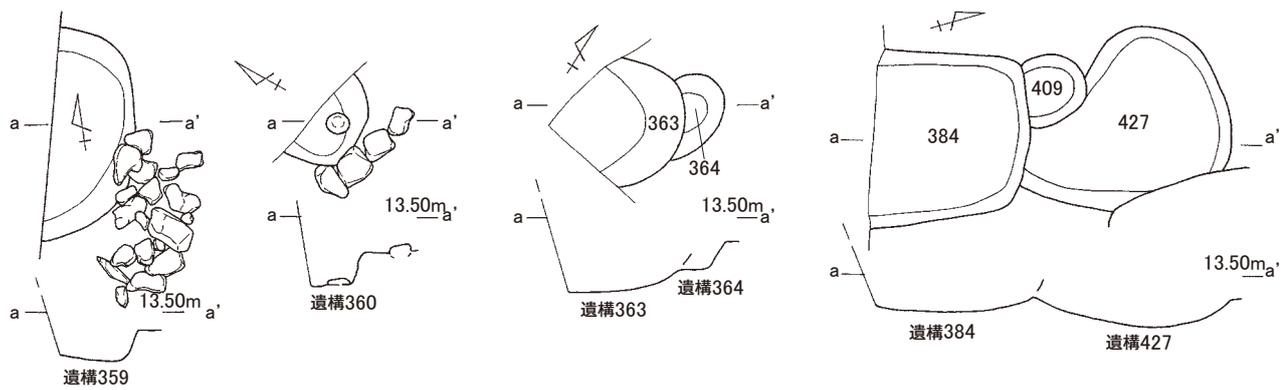
円形を呈するピットである。遺構覆土は泥岩粒・泥岩・炭化物を含む暗茶褐色弱粘質土。出土遺物-9は瀬戸折縁小皿。

遺構395 (図27・図28)

円形を呈する土坑である。遺構覆土は泥岩粒・泥岩・炭化物を含む暗茶褐色弱粘質土。出土遺物-10はかわらけ。その他に青磁碗・常滑片口鉢I類・常滑甕が破片で出土している。

遺構401 (図27・図28)

円形を呈するピットである。遺構覆土は泥岩粒・泥岩・多量の炭化物を含む暗灰色弱粘質土。出土遺



〈遺構435 土層註記〉

- | | |
|-------------|-------------------|
| 1. 暗茶褐色弱粘質土 | 泥岩粒・泥岩多量・炭化物・燒土粒 |
| 2. 暗灰色弱粘質土 | 泥岩粒・泥岩・炭化物・燒土粒 |
| 3. 暗灰色弱粘質土 | 泥岩粒多量・泥岩多量・炭化物・玉石 |
| 4. 暗茶褐色弱粘質土 | 泥岩粒多量・泥岩・炭化物少量 |
| 5. 茶灰色粘質土 | 泥岩粒少量・泥岩少量・炭化物少量 |



図27 第4面遺構

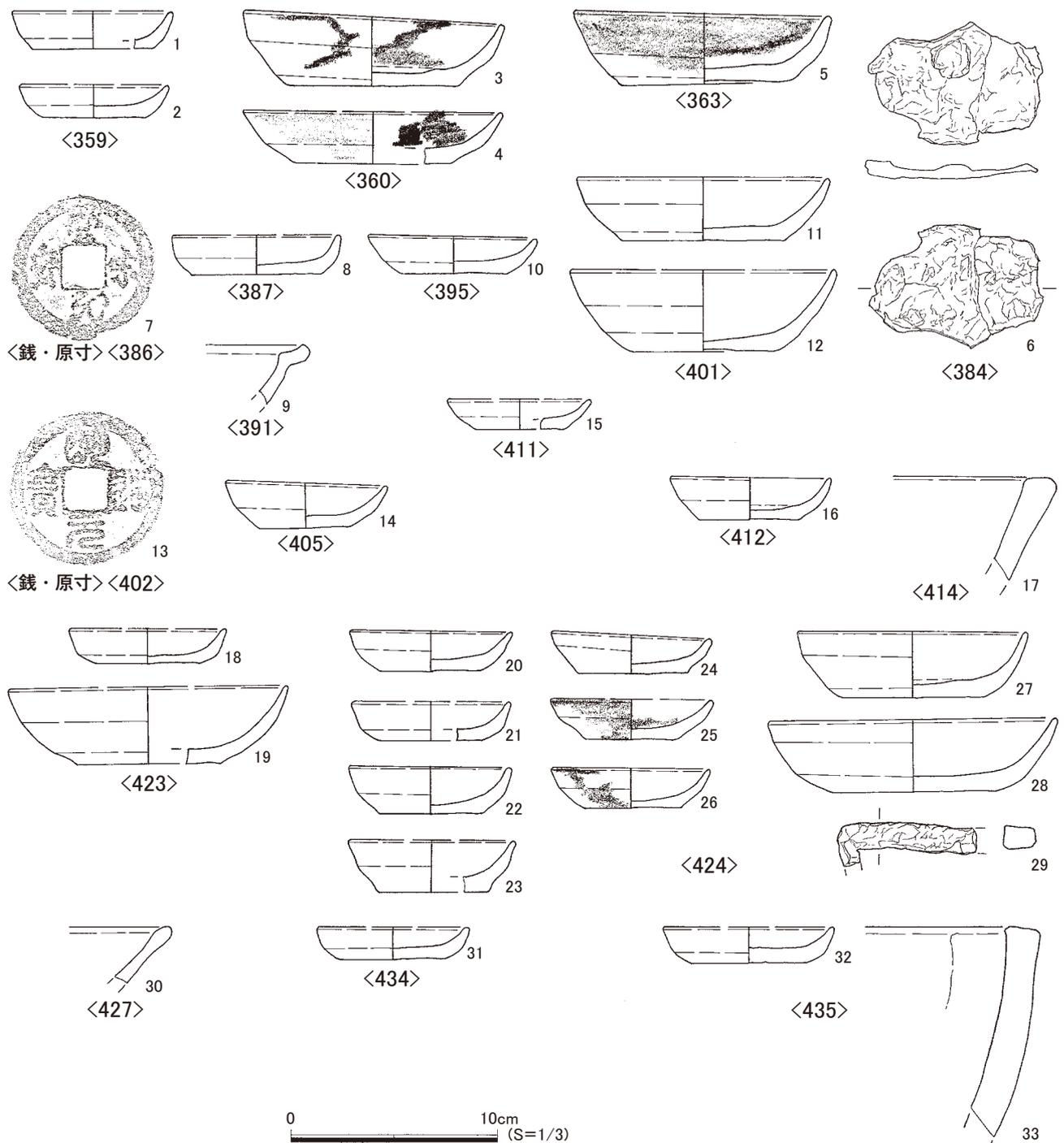


図28 第4面. 遺構 出土遺物

物-11・12はかわらけ。

遺構402 (図28)

個別に図示していない。土坑である。覆土内に大型の泥岩を含むが、地業の一環であった可能性もある。遺構覆土は泥岩粒・泥岩・炭化物を含む灰色弱粘質土。出土遺物-13は銭。その他にかわらけ・手づくね成形の白かわらけ・常滑甕が破片で出土している。

遺構405 (図27・図28)

円形を呈するピットである。遺構覆土は泥岩粒・泥岩少量・炭化物を含む灰色弱粘質土。出土遺物-14はかわらけ。

遺構409 (図27)

円形を呈するピットである。遺構384に切られる。遺構覆土は泥岩粒少量・炭化物多量を含む暗灰色弱粘質土。遺物はかわらけ・常滑甕が破片で出土している。

遺構411 (図27・図28)

楕円形を呈するピットである。遺構覆土は泥岩粒・泥岩少量・炭化物少量を含む灰色弱粘質土。出土遺物-15はかわらけ。その他に常滑甕・常滑片口鉢Ⅱ類が破片で出土している。

遺構412 (図27・図28)

円形を呈するピットである。遺構覆土は泥岩粒・泥岩少量・炭化物を含む灰色弱粘質土。出土遺物-16はかわらけ。

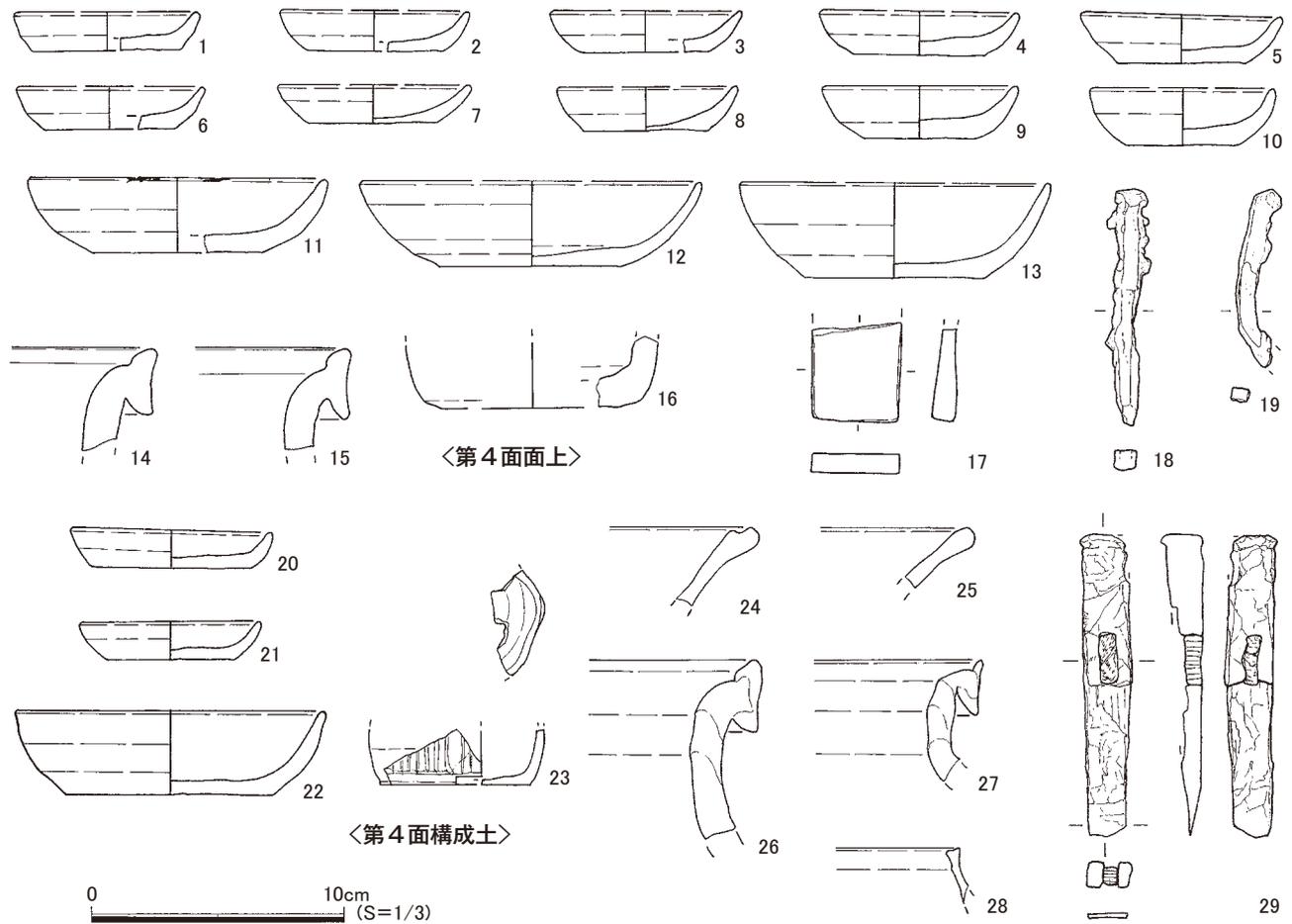


図29 第4面. 面上・構成土出土遺物

遺構414 (図27・図28)

楕円を呈する土坑である。遺構覆土は泥岩粒・泥岩少量・炭化物を含む灰色弱粘質土。出土遺物-17は土器質火鉢。その他にかわらけが破片で出土している。

遺構423 (図27・図28)

不正円形を呈する土坑である。遺構覆土は泥岩粒・泥岩・炭化物を含む暗茶褐色弱粘質土。出土遺物-18・19はかわらけ。

遺構424 (図27・図28)

方形を呈する土坑である。遺構覆土は泥岩粒・泥岩少量・炭化物を含む暗茶褐色弱粘質土。覆土内にかわらけを多く含んでいた。出土遺物-20～28はかわらけ。29は鉄製品、掛け金具。図示できたかわ

らは8点であるが、その他にかわらけ(大) 93・かわらけ(小) 25個、常滑甕・瓦器質火鉢が破片で出土している。

遺構427(図27・図28)

遺構384・遺構409に切られ形状規模は不明、土坑である。遺構覆土は泥岩粒・泥岩・炭化物を含む暗茶褐色弱粘質土。出土遺物-30は山茶碗。その他にかわらけ・常滑片口鉢Ⅱ類・常滑甕が破片で出土している。

遺構434(図27・図28)

遺構が調査区外に延び。一部遺構420に切られるために形状・規模は不明、ピットである。遺構覆土

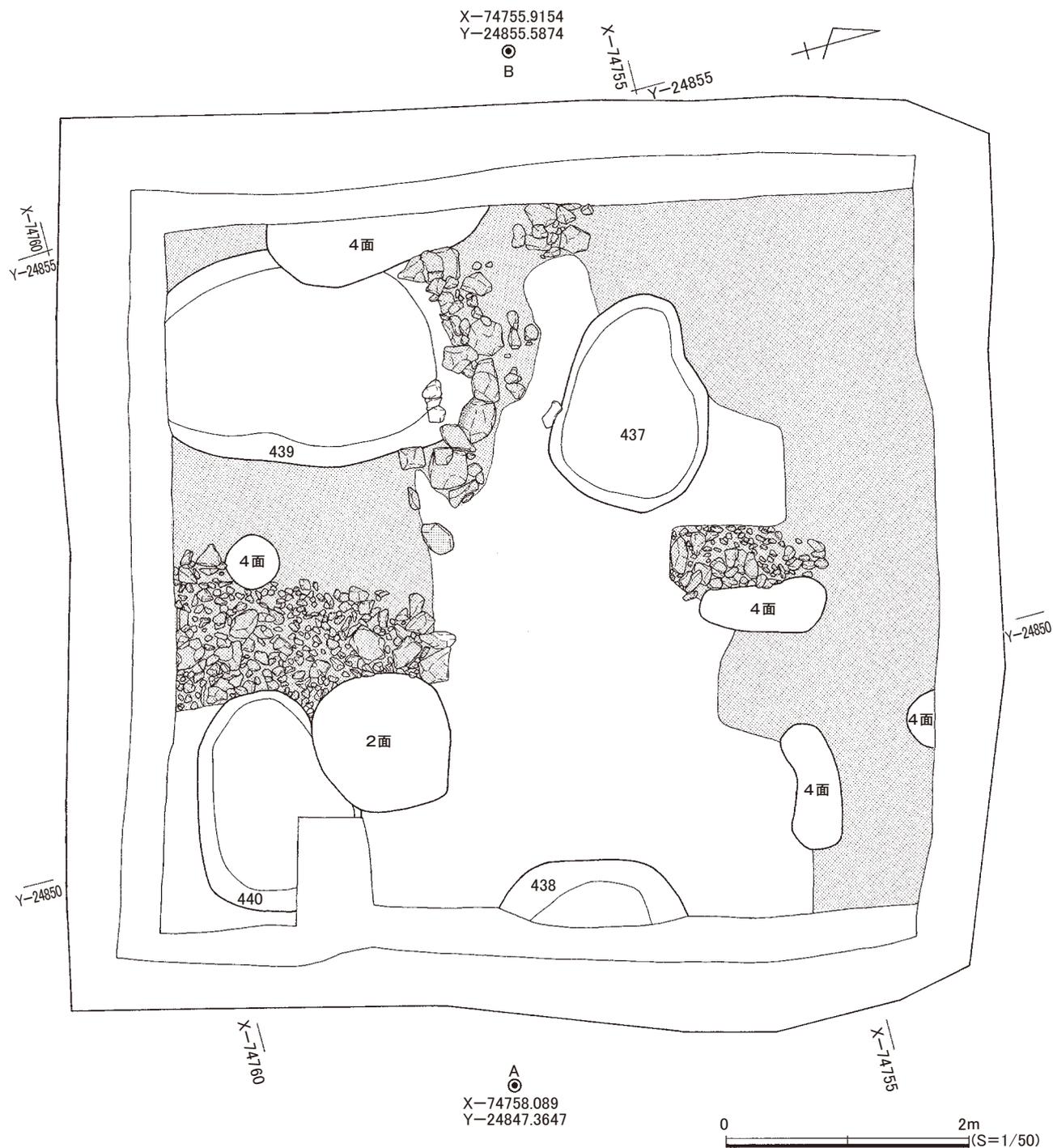


図30 第5面全測図

は泥岩粒・泥岩・炭化物多量を含む暗茶褐色弱粘質土。出土遺物-31はかわらけ。

遺構435 (図27・図28)

調査区外に遺構が延び。形状・規模は不明、土坑である。遺構覆土泥岩粒・泥岩・炭化物を含む暗茶褐色弱粘質土。遺構上層に大型の泥岩・破碎泥岩を含む。地業の一環であったかもしれない。出土遺物-32はかわらけ・33は瓦器質火鉢。その他に青白磁壺・常滑甕・石製品砥石が破片で出土している。

第4面面上出土遺物 (図29)

1～13はかわらけ。14・15は常滑甕。16は土器質壺。17は石製品砥石。18・19は鉄製品釘。

第4面構成土出土遺物 (図29)

20～22はかわらけ。23は白磁香炉。24は瀬戸片口鉢。25は常滑片口鉢I類。26・27は常滑甕。28は東海系鏝鍋。29は不明鉄製品。その他に青白磁梅瓶・常滑片口鉢II類・常滑壺・瓦器碗・瓦器質火鉢・石製品砥石・滑石鍋・鉄製品釘が破片で出土している。

5. 第5面の遺構と遺物 (図30～図33)

第5面は泥岩粒・破碎泥岩・泥岩を多く含んだ堅く締まった地業である。発見した遺構は大型の土坑4基であるが、いずれの遺構覆土も泥岩を多く含んだ覆土であり、地業の一環であった可能性を考えている。調査区中央付近に破碎泥岩を厚く敷き詰め、やや盛りあがった地業が断続的に南北に走ることを確認した。道路遺構の可能性も考えたが、上層の遺構によって壊されており調査区壁の堆積土層でも確認は出来なかった。また、第5面構成土下層には炭化物層が広がることを観察しているが、調査区の約北半分に約10cm、南半分は20～25cmと、南側に向かって厚く炭化物層は堆積していた。発見した遺物は、かわらけ・手づくね・青磁・白磁・青白磁・瀬戸・常滑・山茶碗・瓦器・瓦器質火鉢・石製品・鉄製品である。第5面確認レベルは海拔13.20m。

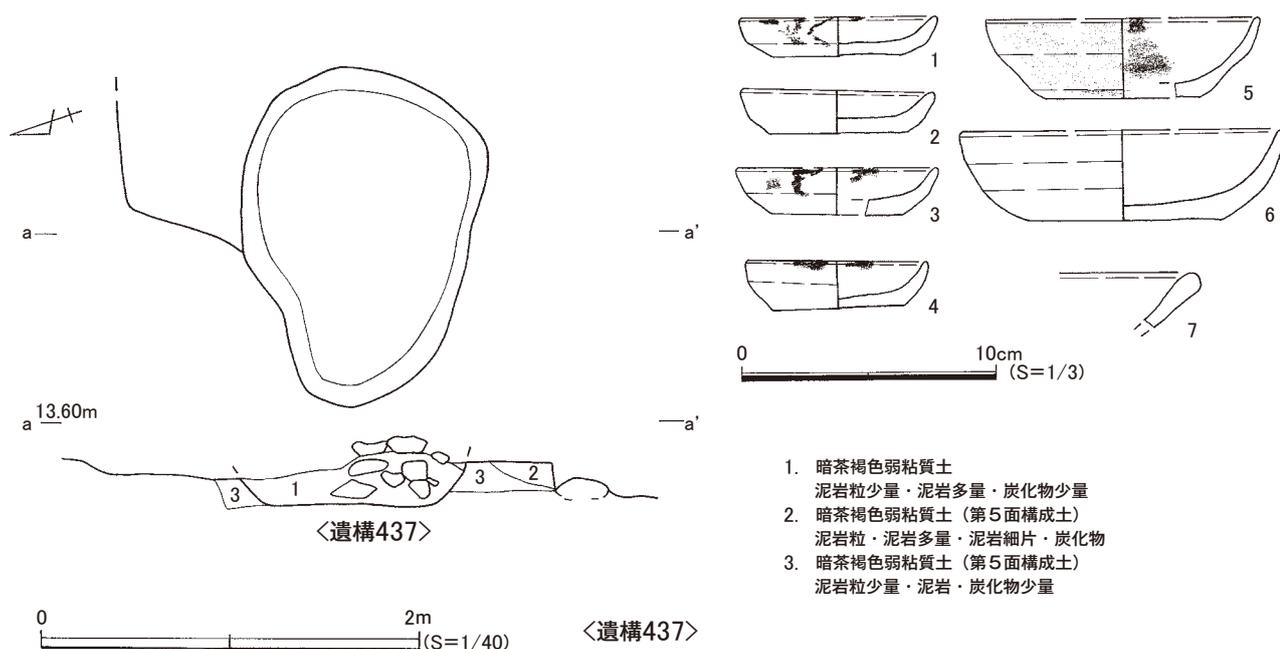
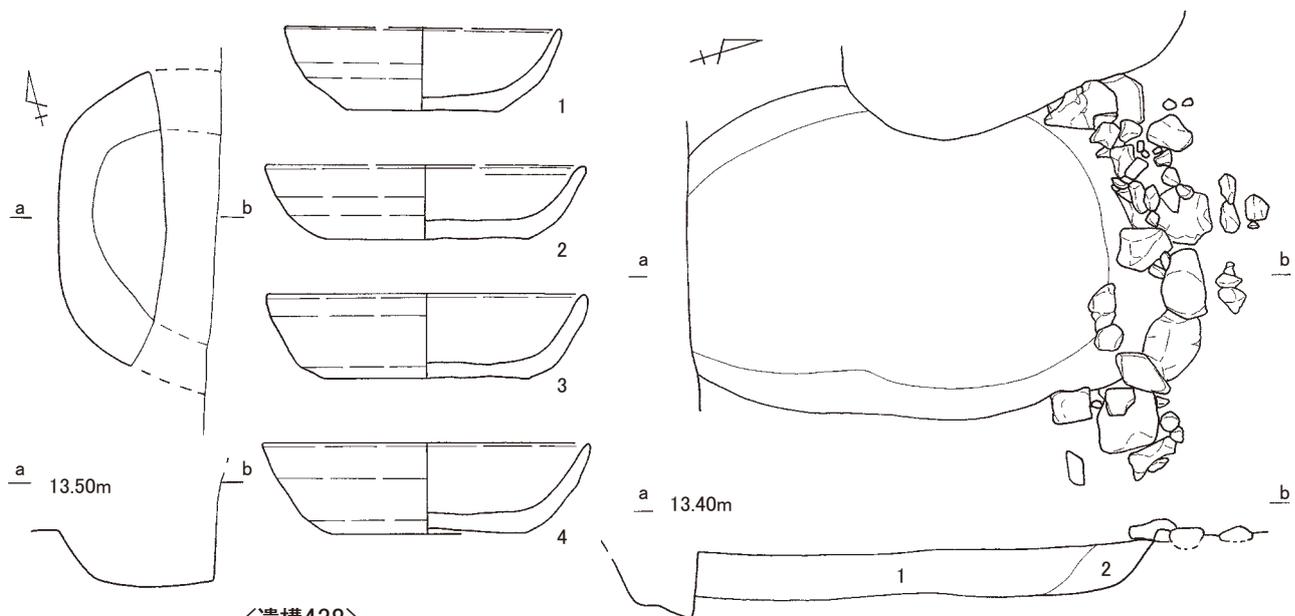
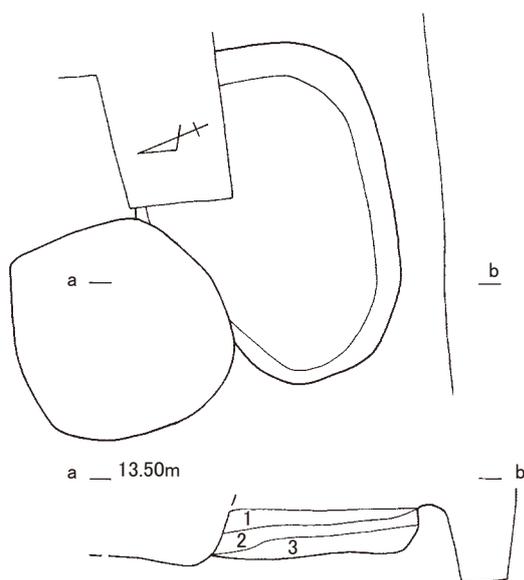


図31 第5面遺構437

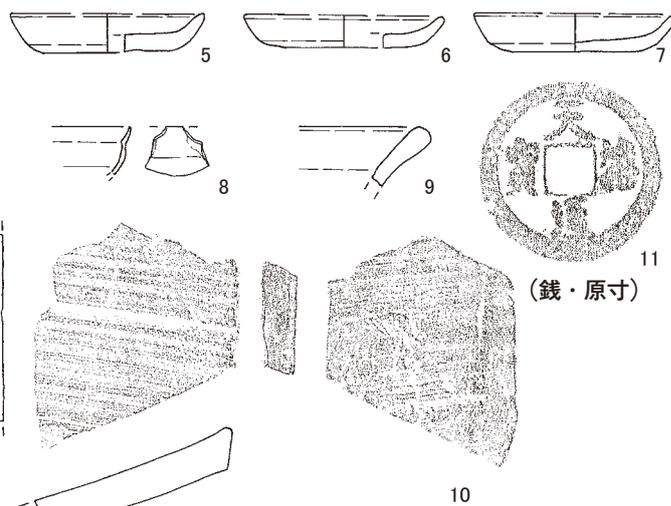


〈遺構438〉

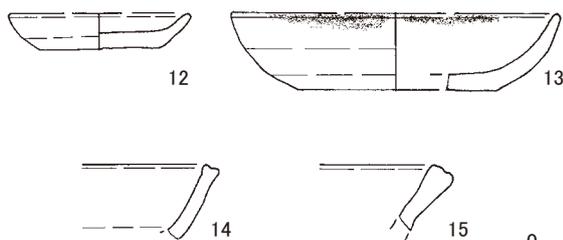
- 1. 暗茶褐色弱粘質土
泥岩粒少量・泥岩・玉石・炭化物
- 2. 暗茶褐色弱粘質土
泥岩粒少量・炭化物多量



- 1. 茶褐色弱粘質土
泥岩粒多量・泥岩多量・炭化物少量
- 2. 暗灰色弱粘質土
泥岩粒・泥岩・炭化物少量
- 3. 暗灰色弱粘質土
泥岩粒多量・泥岩・炭化物少量



〈遺構439〉



〈遺構440〉

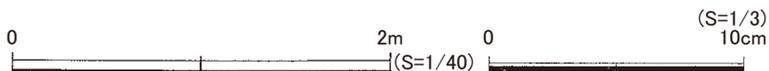
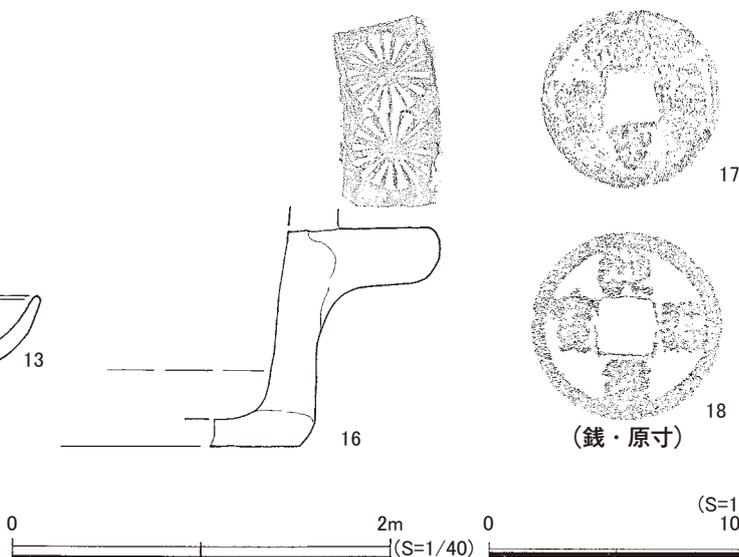


図32 第5面. 遺構438・遺構439・遺構440

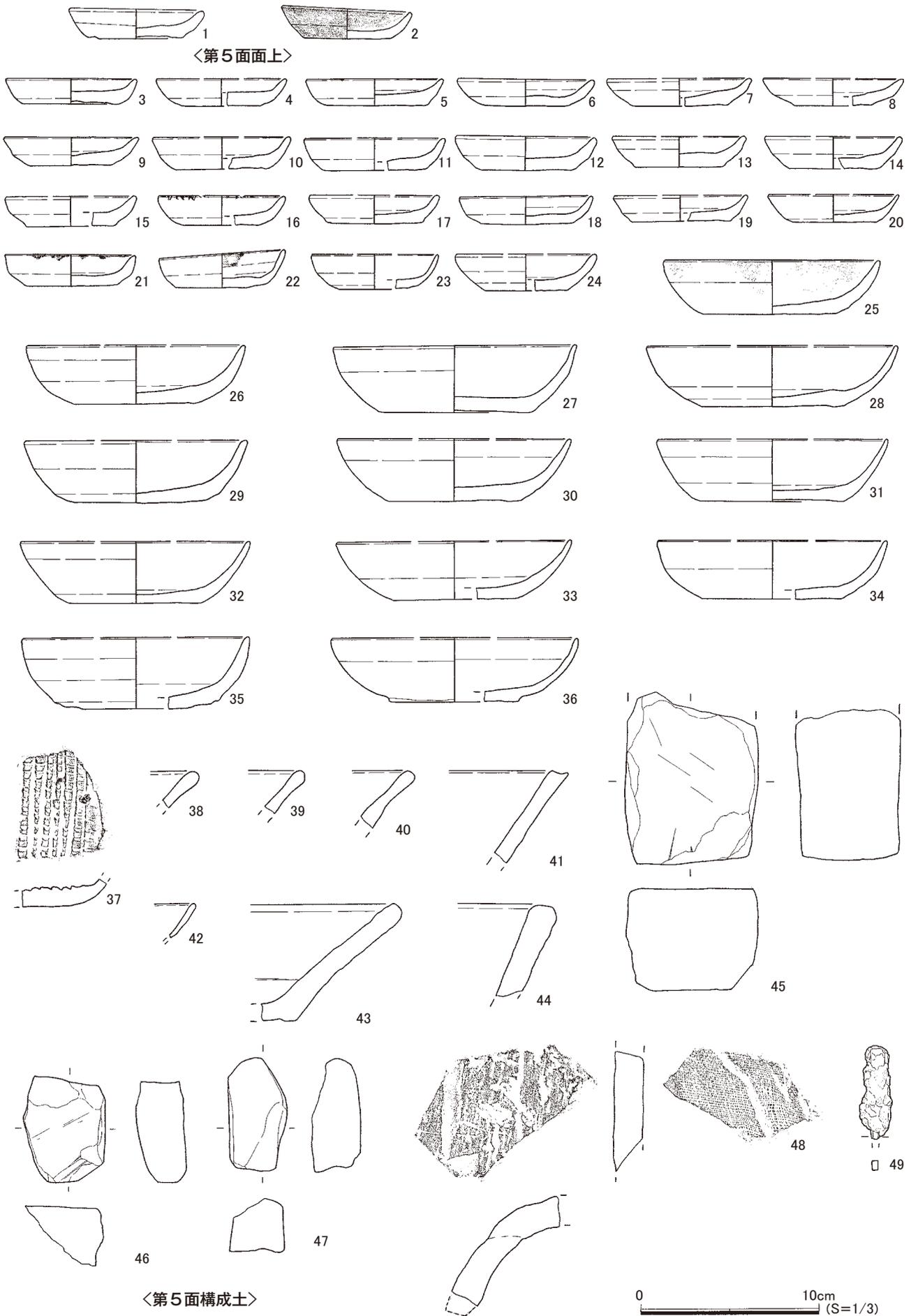


図33 第5面. 面上・構成土出土遺物

遺構437 (図31)

楕円形を呈する土坑である。遺構覆土は泥岩粒・泥岩多量・炭化物を含む暗茶褐色弱粘質土。遺構覆土内に多量に泥岩を含み、地業の一環であったかもしれない。出土遺物-1～6はかわらけ。7は常滑片口鉢Ⅰ類。その他に青白磁梅瓶・瓦器質火鉢・鉄製品釘を破片で出土している。

遺構438 (図32)

調査区外に遺構が延び形状・規模は不明。土坑である。遺構覆土は泥岩粒・泥岩多量・炭化物を含む暗茶褐色弱粘質土。地業の一環であったかもしれない。出土遺物-1～4はかわらけ。その他に常滑甕を破片で出土している。

遺構439 (図32)

楕円形を呈する土坑である。遺構覆土は泥岩粒・破碎泥岩・泥岩・玉石多量・炭化物を含む暗茶褐色弱粘質土。出土遺物-5～7はかわらけ。8は瀬戸・器種不明、入子か。19は常滑片口鉢Ⅰ類。10は女瓦。11は銭。その他に青磁鎬蓮弁文碗・白磁口元皿・瀬戸壺・常滑甕・瓦器碗・瓦器質火鉢・鉄製品釘が破片で出土している。

遺構440 (図32)

楕円形を呈する土坑である。遺構覆土は泥岩粒多量・破碎泥岩多量・泥岩多量・炭化物を含む暗灰色弱粘質土。地業の一環であったかもしれない。出土遺物-12・13はかわらけ。14は瀬戸卸皿。15は常滑片口鉢Ⅰ類。16は瓦器質火鉢。17・18は銭。その他に常滑甕が破片で出土している。

第5面面上出土遺物 (図33)

1・2はかわらけ。2は内外面に油煤痕。

第5面構成土出土遺物 (図33)

1～36はかわらけ。37は瀬戸卸皿。38～40は常滑片口鉢Ⅰ類。41は常滑片口鉢Ⅱ類。42は瓦器質黒縁皿。43・44は瓦器質火鉢。45～47は石製品砥石。48は男瓦。49は鉄製品釘。その他にてづくね・青磁折縁皿・青磁壺・青白磁梅瓶・常滑甕・山茶碗が破片で出土している。

6. 第6面の遺構と遺物 (図34～図39)

第6面は泥岩粒・泥岩を厚く含んだ地業層上で検出したが、粗く大型の泥岩が調査区北側隅に集中する。調査区中央辺りで地業約20cm南に向かって下がり北側は緩く壇状になる。南側には南北に並ぶ不整形の泥岩を確認した。また、地業の境目で溝状の遺構を発見しているが、下層の第6面でも同位置に溝を発見しており、東西に延びる溝であった可能性が高い。北側で発見した遺構の覆土には大きめの炭を含む炭化物が含まれる。発見した遺構は少ないが、遺構覆土の観察から少なくとも3時期に分かれる。発見した遺構はピット17穴・土坑9基・溝状土坑1基である。発見した遺物はかわらけ・手づくね・青磁・白磁・青白磁・常滑・渥美・瓦器・瓦・伊勢系土鍋・石製品・鉄製品・木製品が出土している。第6面確認レベルは海拔13.00m。

遺構442 (図36)

調査区外に遺構が延びてしまい、形状・規模は不明。個別に図面は図示していない。遺構覆土は泥岩粒少量・泥岩・炭化物少量・褐色有機質土少量を含む暗灰色弱粘質土。出土遺物-1はかわらけ。その他に常滑片口鉢Ⅰ類・常滑甕が破片で出土している。

遺構443 (図35・図36)

円形を呈するピットである。遺構覆土は泥岩粒少量・泥岩少量・炭化物・灰色粘土・褐色有機質土を含む灰褐色弱粘質土。出土遺物-2・3はかわらけ。その他に常滑甕が破片で出土している。

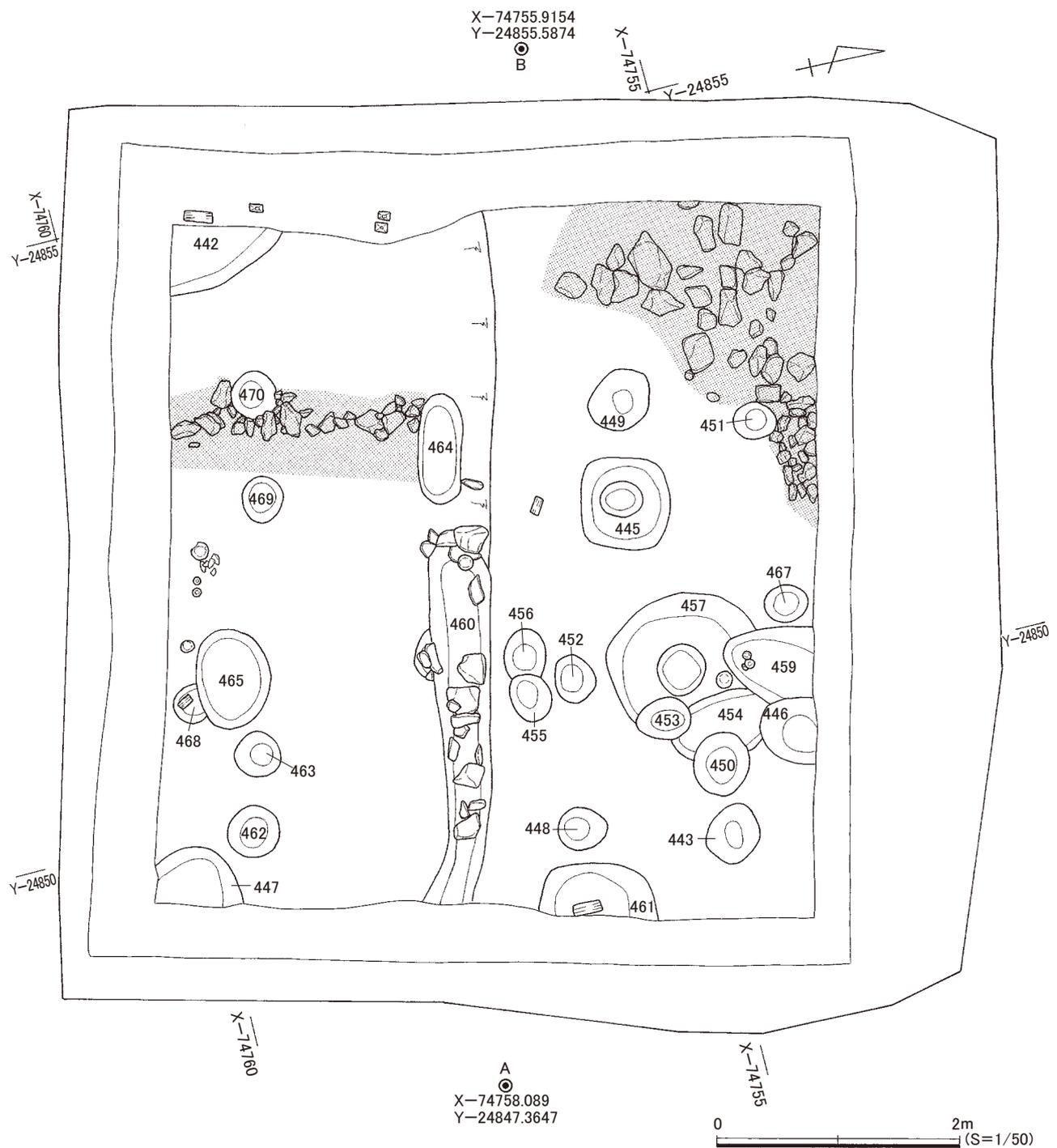


図34 第6面全測図

遺構445 (図35・図36)

方形を呈する土坑である。土坑中央に楕円形のピットを有する。遺構覆土は泥岩粒少量・泥岩微量・炭化物少量・灰色粘土・褐色有機質土を含む暗灰色弱粘質土。遺構中央ピットの遺構覆土内には炭化物・褐色有機質土が多量に含まれていた。柱穴か。出土遺物-4は常滑甕。その他にかわらけが破片で出土

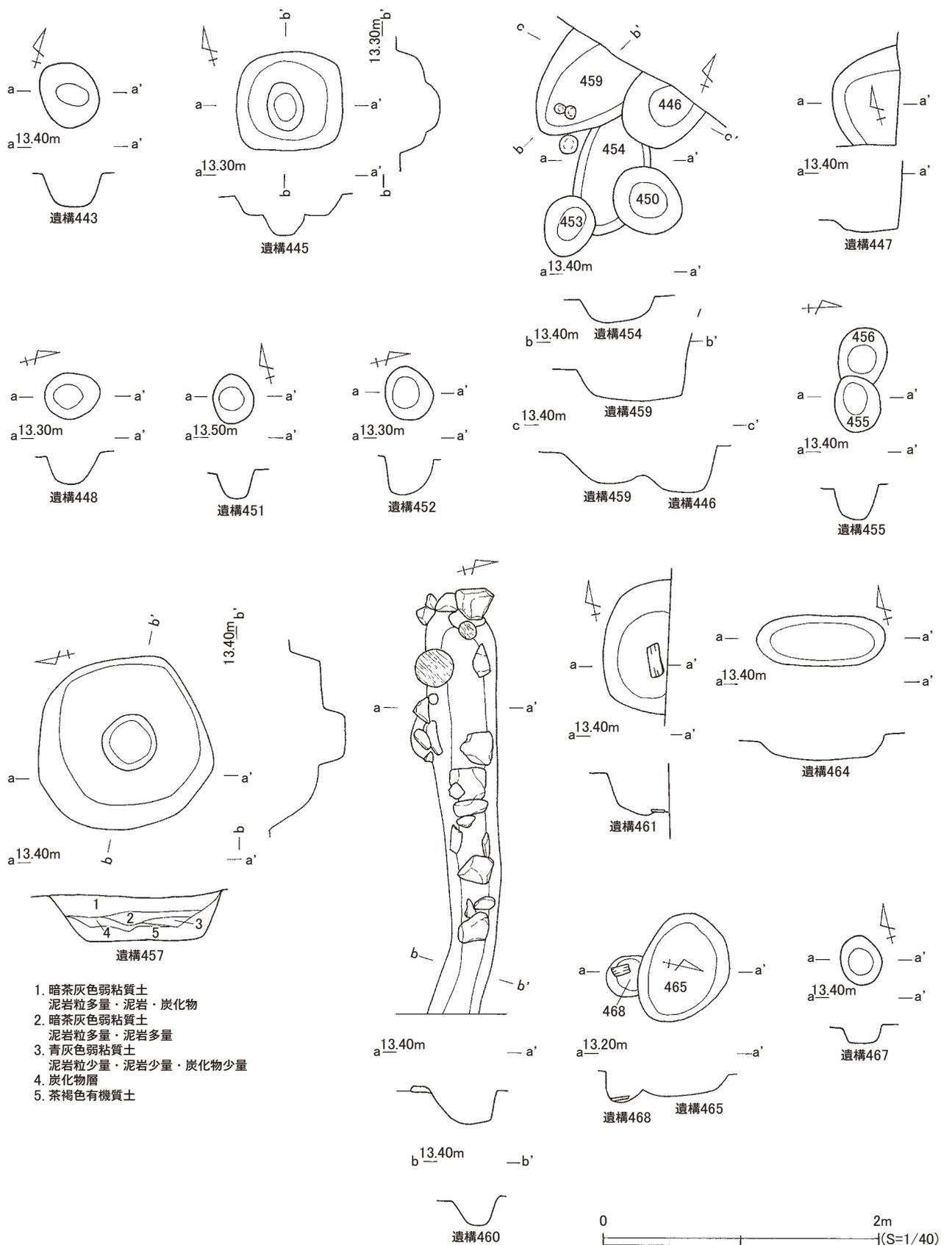


图35 第6面遺構

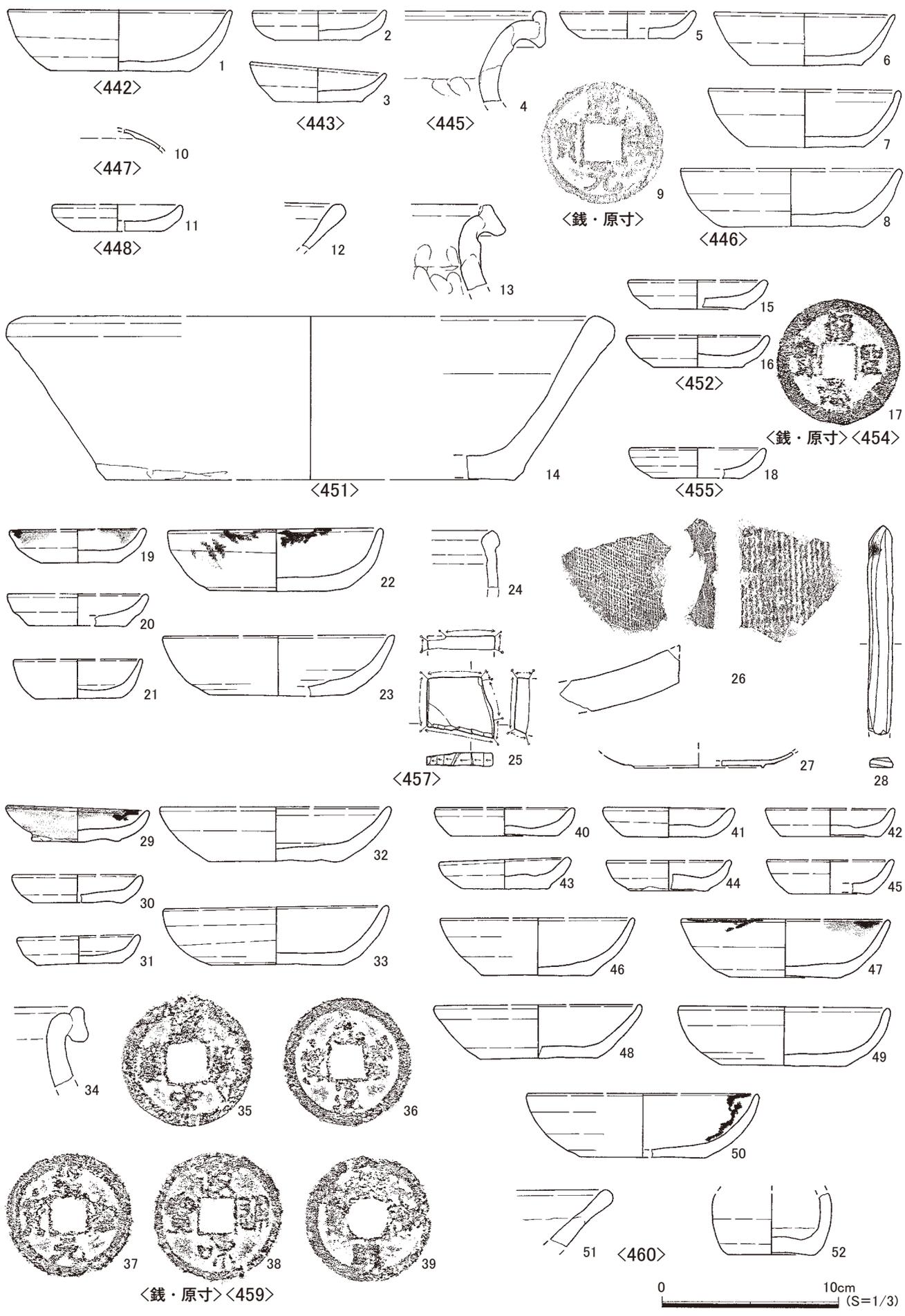


図36 第6面. 遺構出土遺物(1)

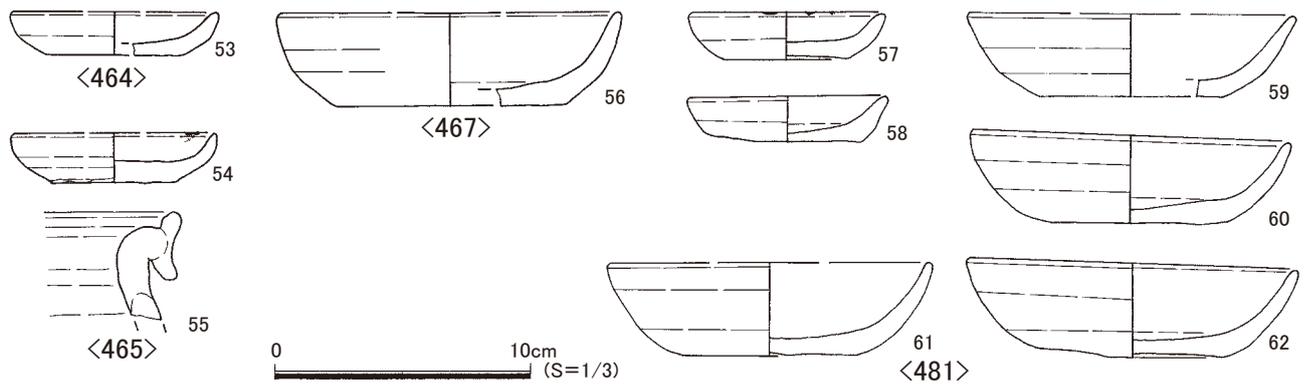


図37 第6面. 遺構出土遺物(2)

している。

遺構446(図35・図36)

調査区外に遺構が延び規模は不明。土坑である。遺構覆土は泥岩粒少量・泥岩少量・炭化物多量・灰色粘土・褐色有機質土少量を含む灰色弱粘質土。出土遺物-5~8はかわらけ。9は銭。その他に青磁鎬蓮弁文碗・常滑片口鉢I類が破片で出土している。

遺構447(図35・図36)

調査区外に遺構が延び規模は不明。土坑である。遺構覆土は泥岩粒少量・泥岩・炭化物多量・灰色粘土・褐色有機質土を含む暗灰色弱粘質土。出土遺物-10は白磁器種不明。その他にかわらけが破片で出土している。

遺構448(図35・図36)

円形を呈するピットである。遺構覆土は泥岩粒・泥岩少量・炭化物多量・灰色粘土・褐色有機質土少量を含む暗灰色弱粘質土。出土遺物-11はかわらけ。

遺構450(図35)

円形を呈するピットである。遺構454を切る。遺構覆土は泥岩粒少量・泥岩少量・炭化物多量・灰色粘土・褐色有機質土を含む暗灰色弱粘質土。遺物はかわらけ・常滑甕が破片で出土している。

遺構451(図35・図36)

円形を呈するピットである。遺構覆土は泥岩粒少量・泥岩少量・炭化物少量・灰色粘土・褐色有機質土少量を含む暗灰色弱粘質土。出土遺物-12は常滑片口鉢I類。13は常滑甕。14は瓦器質火鉢。その他にかわらけが破片で出土している。

遺構452(図35・図36)

円形を呈するピットである。遺構覆土は泥岩粒・泥岩・炭化物・灰色粘土を含む暗灰色弱粘質土。出土遺物-15・16はかわらけ。その他に常滑甕が破片で出土している。

遺構453(図35)

楕円形を呈するピットである。遺構454を切る。遺構覆土は泥岩粒少量・泥岩少量・炭化物・灰色粘土を含む暗灰色弱粘質土。遺物はかわらけ・常滑甕が破片で出土している。

遺構454(図35・図36)

楕円形を呈する土坑である。遺構446・遺構450・遺構453・遺構459に切られる。遺構覆土は泥岩粒少量・泥岩少量・炭化物少量・灰色粘土を含む暗灰色弱粘質土。出土遺物-17は銭。その他にかわらけ・常滑甕が破片で出土している。

遺構 455 (図 35・図 36)

楕円形を呈するピットである。遺構 456 を切る。遺構覆土は泥岩粒少量・泥岩少量・炭化物・灰色粘土を含む暗灰色弱粘質土。出土遺物 - 18 はかわらけ。その他に常滑甕が破片で出土している。

遺構 456 (図 35)

楕円形を呈するピットである。遺構 455 に切られる。遺構覆土は泥岩粒・泥岩少量・炭化物少量・灰色粘土を含む暗灰色弱粘質土。遺物はかわらけが破片で出土している。

遺構 457 (図 35・図 36)

円形を呈する土坑である。土坑中央に円形のピットがあく。遺構覆土は多量の泥岩粒とともに、遺構下層に炭化物・褐色有機質土が多量に堆積する暗茶褐色弱粘質土。中央ピットの遺構覆土は泥岩粒多量・炭化物・灰色粘土を含む暗灰色弱粘質土。出土遺物 - 19 ~ 23 はかわらけ。24 は黄釉盤。25 は石製品砥石。26 は女瓦。27 は漆器皿。28 は木製品用途不明。その他にロクロ成形白かわらけ・青磁鎗蓮弁文碗・白磁口元皿・青白磁梅瓶・常滑甕・瓦器碗・滑石鍋が破片で出土している。

遺構 459 (図 35・図 36)

調査区外に遺構が延び規模は不明。土坑である。遺構覆土は泥岩粒少量・泥岩少量・炭化物多量・灰色粘土を含む暗灰色弱粘質土。出土遺物 - 29 ~ 33 はかわらけ。34 は常滑甕。35 ~ 39 は銭。その他に青磁鎗蓮弁文碗・青白磁梅瓶・鉄滓が破片で出土している。

遺構 460 (図 35・図 36)

溝状の土坑である。遺構プラン確認時には、調査区中央東西に遺構が延びていることを確認していたが、遺構西側は遺存状態が悪く、確認できた範囲を図示している。下層の第 7 面で東西に延びる溝 (遺構 480) を同位置で発見している。遺構覆土は泥岩粒多量・泥岩多量・炭化物多量を含む暗灰色弱粘質土。出土遺物 - 40 ~ 50 はかわらけ。51 は常滑片口鉢 I 類。52 は土製品壺。その他に常滑甕・鉄製品釘・骨製品筭が破片で出土している。

遺構 461 (図 35)

調査区外に遺構が延び規模は不明。土坑である。土坑底面に礎板が遺存していたが、遺構 461 に伴うものは不明。遺構覆土は泥岩粒多量・泥岩少量・炭化物多量を含む暗灰色弱粘質土。炭化物は土坑底面に厚く堆積していた。遺物はかわらけ・常滑甕・瓦器器種不明が破片で出土している。

遺構 464 (図 35・図 37)

楕円形を呈する土坑である。遺構 460 と繋がり区画の溝であったのかもしれないと考えている。遺構覆土は泥岩粒・泥岩少量・炭化物多量・褐色有機質土を含む暗茶灰色弱粘質土。出土遺物 - 53 はかわらけ。その他に青白磁梅瓶・常滑甕・滑石鍋が破片で出土している。

遺構 465 (図 35・図 37)

楕円形を呈する土坑である。遺構 468 を切る。遺構覆土は泥岩粒・泥岩・炭化物少量・灰色粘土を含む暗灰色弱粘質土。出土遺物 - 54 はかわらけ。55 は常滑甕。

遺構 467 (図 35・図 37)

円形を呈するピットである。遺構覆土は泥岩粒少量・泥岩・炭化物少量を含む灰色弱粘質土。出土遺物 - 56 はかわらけ。

遺構 468 (図 35・図 37)

円形を呈するピットである。遺構 465 に切られる。覆土上層に礎板が遺存していた。遺構覆土は泥岩粒少量・泥岩少量・炭化物を含む灰色弱粘質土。57 ~ 62 はかわらけ。

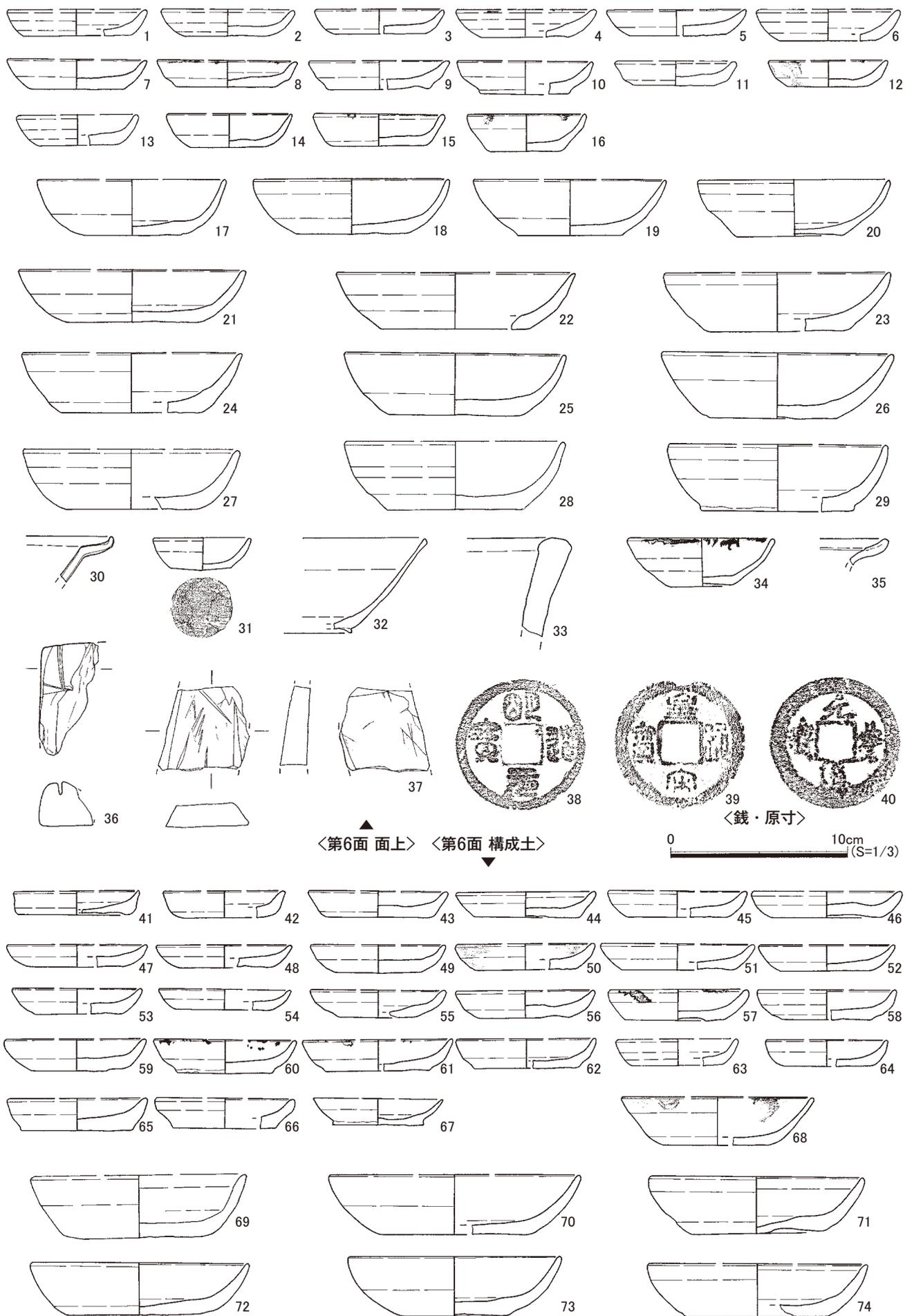


图38 第6面. 面上・構成土出土遺物(1)

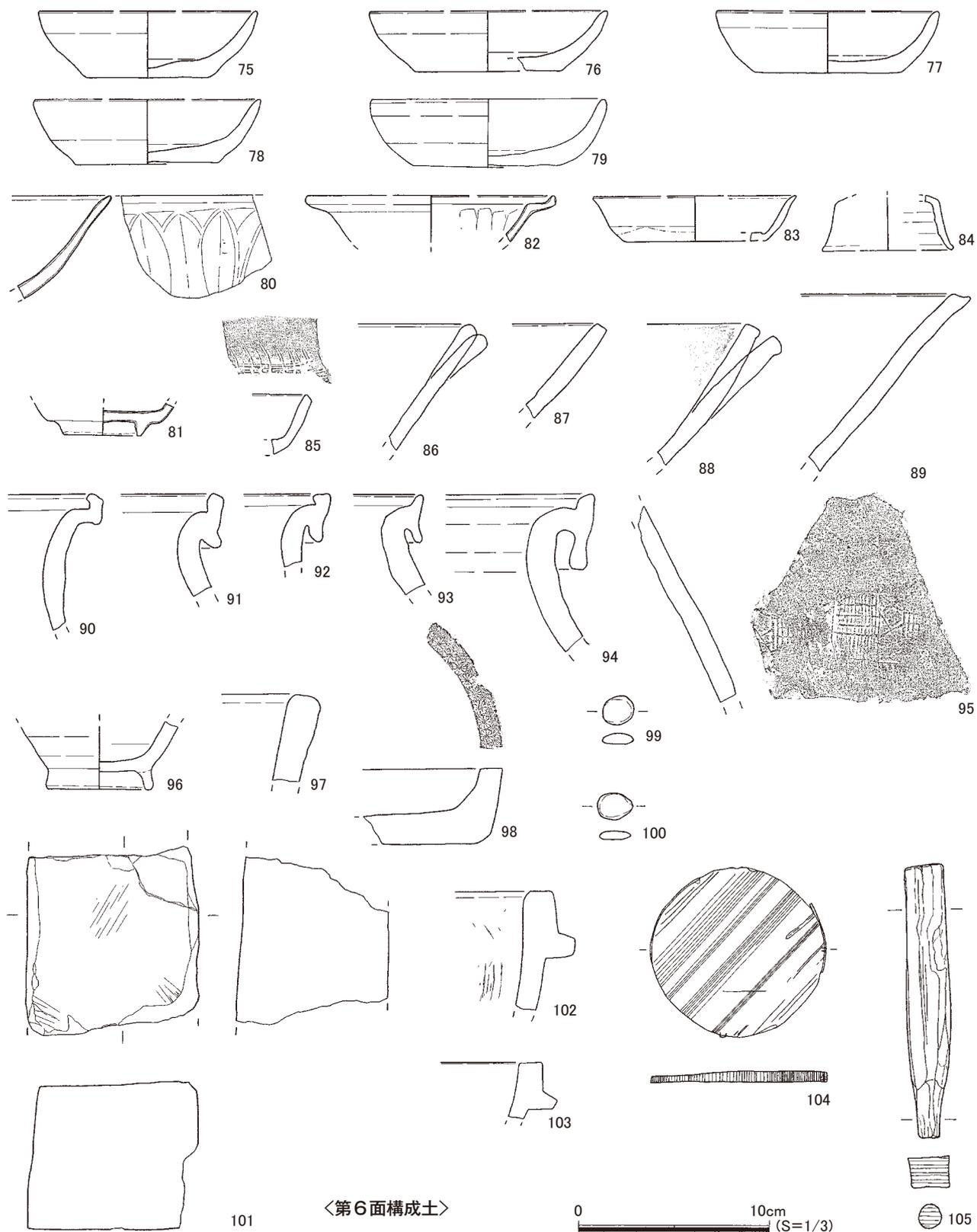


図39 第6面. 面上・構成土出土遺物 (2)

第6面面上出土遺物 (図38)

1～29はかわらけ。30は青磁折縁鉢。31は瀬戸入子。32は山茶碗。33は瓦器質火鉢。34は吉備系椀。35は南伊勢系鍋。36は滑石鍋転用途中。37は石製品砥石。38～40は銭。その他に青白磁壺・常滑片

口鉢Ⅰ類・常滑甕・土師器壺が破片で出土している。

第6面構成土出土遺物 (図38・図39)

41～79はかわらけ。80は青磁鎗蓮弁文碗。81は青磁折腰鉢。82は青磁折縁皿。83は白磁口兀皿。84は青白磁梅瓶蓋。85は瀬戸卸皿。86は常滑片口鉢Ⅰ類。87～89は常滑片口鉢Ⅱ類。90～95は常滑甕。96は渥美壺。97・98は瓦器質火鉢。99・100は石製品基石か。101は石製品砥石。102・103は滑石製鍋。104は木製品曲げ物底板。105は木製品栓。その他にロクロ成形白かわらけ・白磁壺・緑釉器種不明・山茶碗・瀬戸香炉・瀬戸壺・鉄製品釘・鉄滓・銭・木製品(箸状・棒状)・果核・獣骨が破片で出土している。

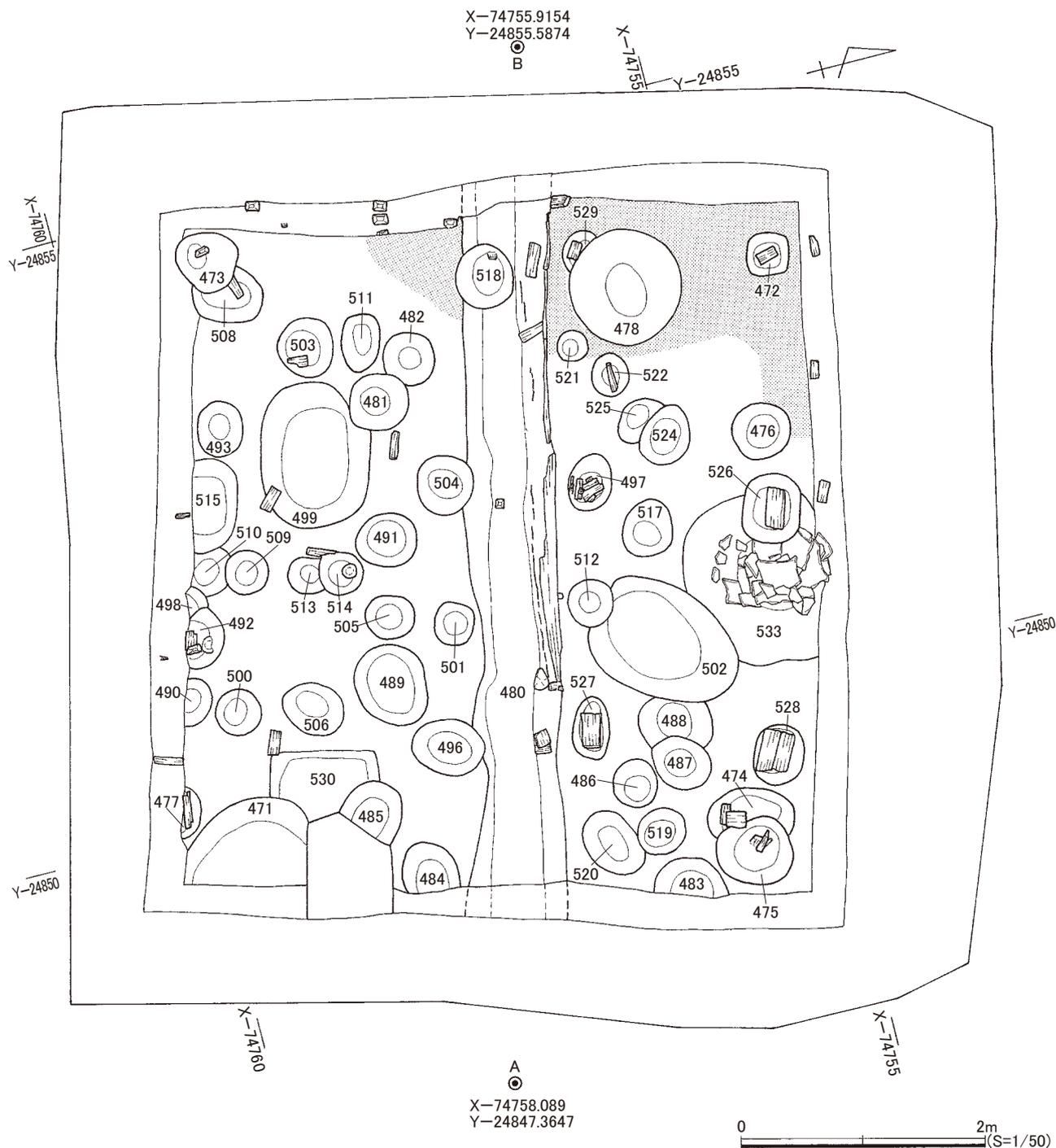


図40 第7面全測図

7. 第7面の遺構と遺物 (図40～図50)

第7面は泥岩粒・破碎泥岩を含んだ黄褐色弱粘質土による地業層で検出した。上層の遺構によって削平を受け、しっかりと遺存する地業は調査区北側に一部が残るのみであったが、調査区壁堆積土層からも第7面の地業を確認している。調査区中央には板材を用いた側壁を持つ東西に延びる溝を検出した。溝壁は2時期に亘っており、短期間に造り替えが行われた様子である。溝を挟んで調査区北側では、礎板が遺存する掘立柱建物址を検出したが、東西、南北ともに調査区外に遺構が延びており、建物の規模はわからない。また、建物址柱穴(遺構526)下層で常滑の甕を据えた土坑を検出した。溝南側でも、礎板の遺存するピット、囲炉裏などを検出しているが、建物址を推定することは出来なかった。第7面の遺構は覆土の観察から4時期に分かれる。発見した遺構は建物1軒・ピット47穴・土坑7基・溝2条・囲炉裏1基である発見した遺物はかわらけ・手づくね・青磁・白磁・青白磁・常滑・渥美・瓦器・瓦・滑石鍋・伊勢系土鍋・石製品・鉄製品・木製品が出土している。第7面確認レベルは海拔12.70m。

遺構471 (図41・図46)

土坑である。調査区外に遺構が延び形状・規模は不明。遺構覆土は泥岩粒・泥岩・炭化物・暗灰色粘土を含む暗青灰色弱粘質土。出土遺物-1・2はかわらけ。3・4は木製品用途不明。

遺構473 (図41・図46)

不正円形を呈するピットである。遺構508を切る。遺構覆土は泥岩粒・泥岩・炭化物微量・暗灰色粘土を含む青灰色粘質土。出土遺物-5・6はかわらけ。7は滑石製鍋転用品、硯か。

遺構474 (図41)

遺構475に切られる。遺構底部に礎板を有するピットである。遺構覆土は泥岩粒・泥岩・暗灰色粘土を含む暗青灰色弱粘質土。遺物はかわらけ・常滑片口鉢Ⅱ類・常滑甕・滑石鍋・木製品・果核・獣骨・貝が破片で出土している。

遺構475 (図41・図46)

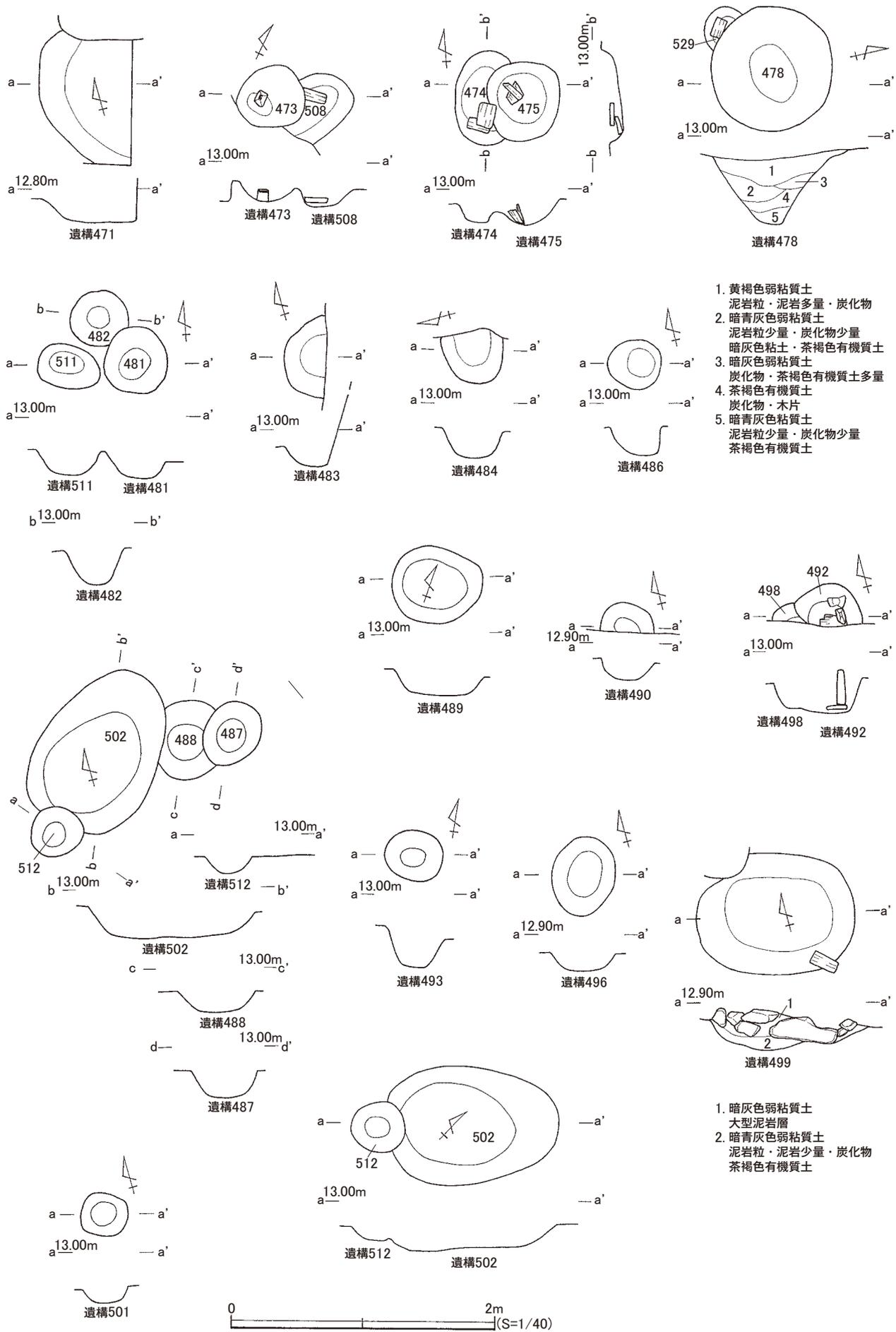
遺構474を切る。遺構底部に礎板を有するピットである。遺構覆土は泥岩粒・泥岩・炭化物・暗灰色粘土・黒色有機質土を含む暗青灰色弱粘質土。出土遺物-8は渥美甕。9は骨製品。その他にかわらけ・ロクロ成形白かわらけ・青白磁梅瓶が破片で出土している。

遺構478 (図41・図46)

円形を呈する土坑である。遺構529を切る。遺構覆土は下層に褐色有機質土が堆積していた(セクション図参照)。出土遺物-10～20はかわらけ。21は青磁鎬蓮弁文碗。22は白磁口兀皿。23は緑釉盤。24～28は箸状木製品。その他に手づくね・青白磁梅瓶・常滑甕・女瓦・木製品が破片で出土し、木製品は図示した箸状木製以外に篋状・棒状木製品・部材などがあり、特に箸状木製品が数多く出土している。

遺構480 (図43・図46・図47)

調査区内を東西に走る溝である。流下方向は不明、底面はほぼ平坦なレベルを保つ。溝北側の側面には側板が遺存していた。側板は溝側面に横板を置き、内側から細かく立てた縦板と杭によって横板を止めている。遺構覆土は底面に褐色有機質土を多く含む暗灰色弱粘質土。出土遺物-29は手づくねかわらけ。30～38はかわらけ。39は青磁無文碗。40は青磁端反碗。41は瓦器碗。42は女瓦。43は滑石製鍋、転用品。44は漆器皿。45は漆器椀。46～49は木製品。溝の掘り方から出土した遺物-50・51はかわらけ。52は常滑甕。53は木製品連歯下駄。その他にてづくね成形の白かわらけ・内折れかわらけ・青磁鎬蓮弁文碗・青磁折縁深皿・白磁口兀皿・常滑片口鉢Ⅰ類・箸状木製品・獣骨・貝が破片で出土している。



1. 黄褐色弱粘質土
泥岩粒·泥岩多量·炭化物
2. 暗青灰色弱粘質土
泥岩粒少量·炭化物少量
3. 暗灰色粘質土
炭化物·茶褐色有機質土
4. 暗灰色弱粘質土
炭化物·茶褐色有機質土多量
5. 茶褐色有機質土
炭化物·木片
6. 暗青灰色粘質土
泥岩粒少量·炭化物少量
7. 茶褐色有機質土

图41 第7面遺構(1)

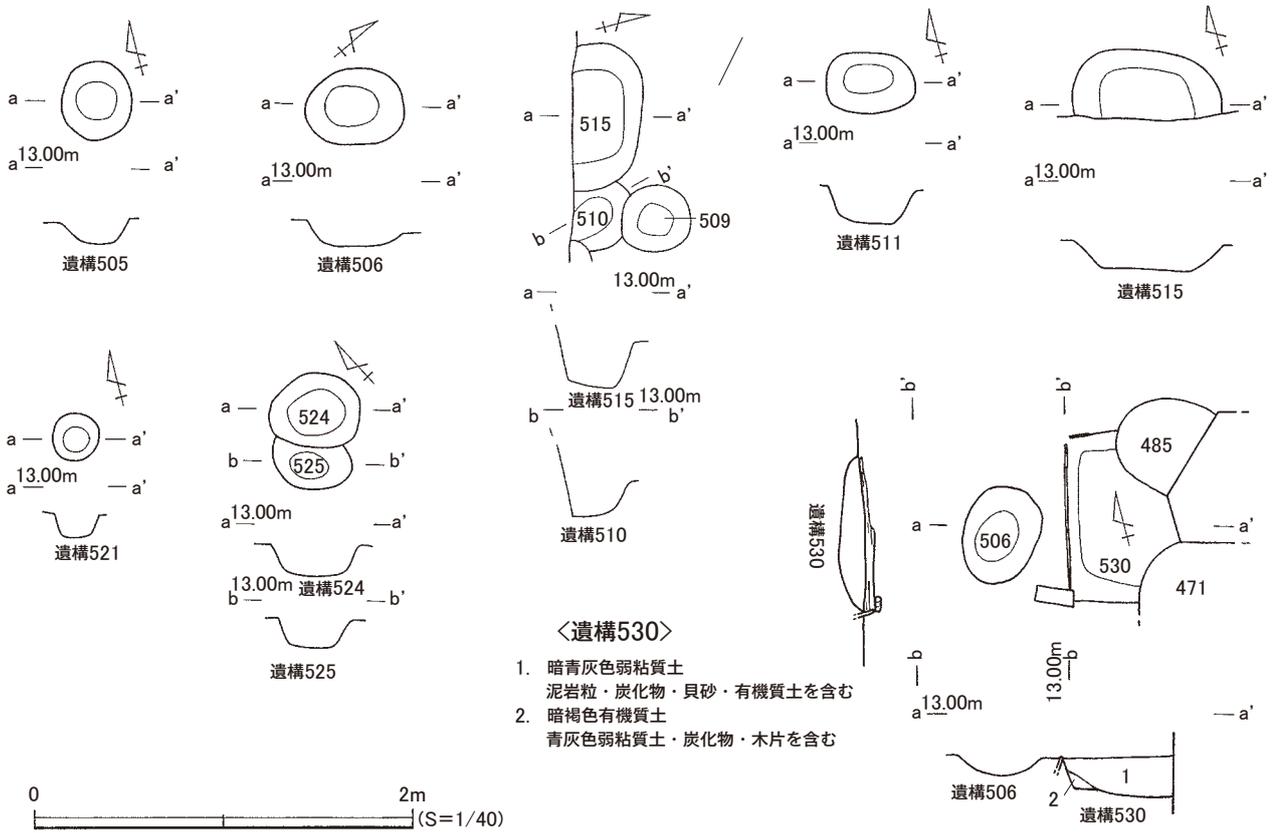


図42 第7面遺構(2)

遺構481(図41)

円形を呈するピットである。遺構482を切る。遺構覆土は泥岩粒・泥岩・炭化物・暗灰色粘土を含む暗青灰色弱粘質土。遺物はかわらけ・瀬戸折縁深皿・箸状木製品・折敷・板草履が破片で出土している。

遺構482(図41・図47)

円形を呈するピットである。遺構481に切られる。遺構覆土は泥岩粒・泥岩・炭化物・暗灰色粘土・褐色有機質土を含む暗青灰色弱粘質土。出土遺物-54は緑釉盤。55は木製品糸巻き部品。その他にかわらけ・青磁鎗蓮弁文碗・常滑甕・箸状木製品が破片で出土している。

遺構483(図41・図47)

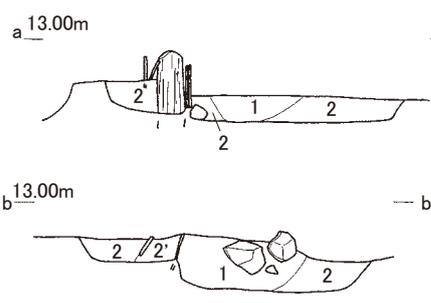
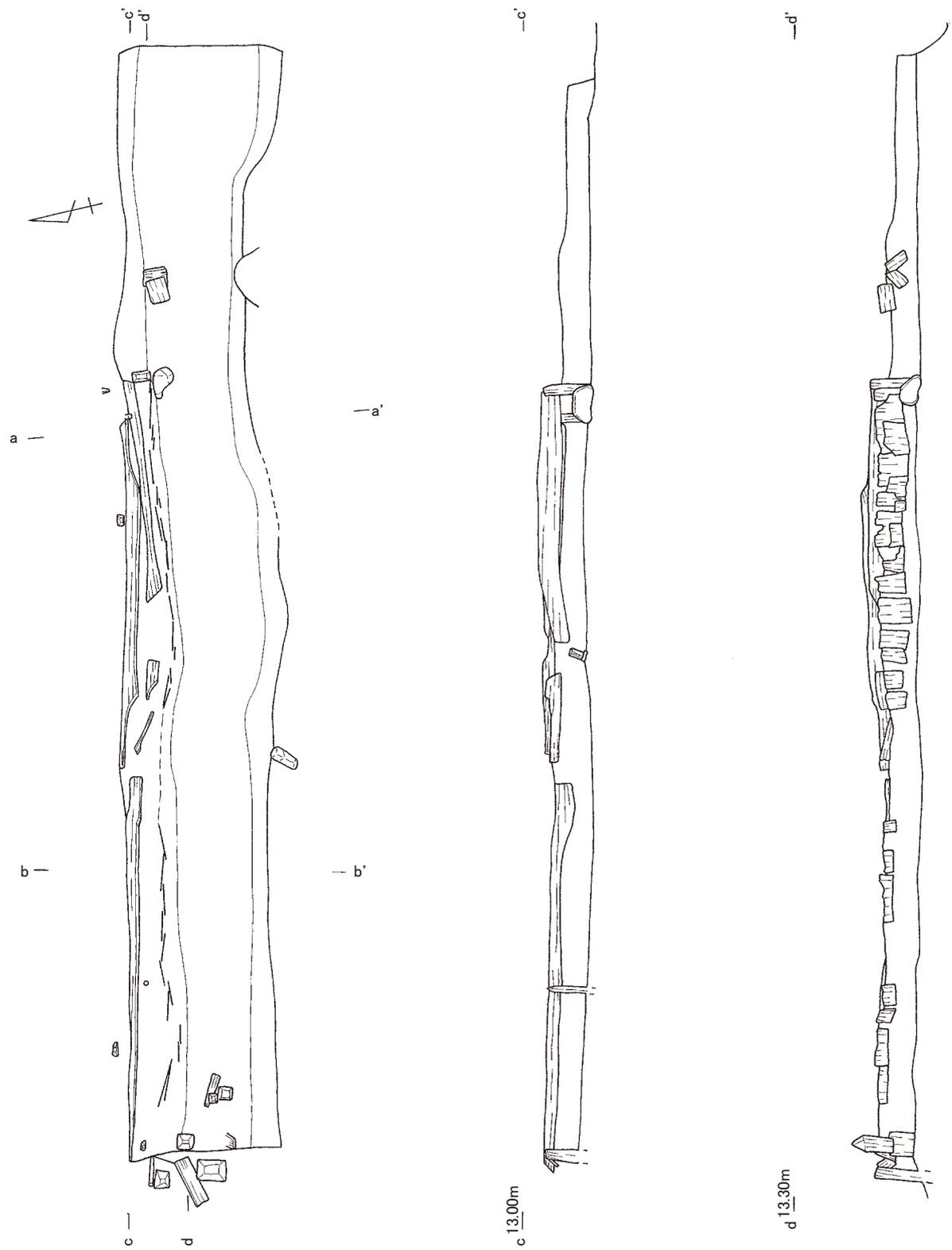
調査区外に遺構が延びてしまい規模、形状は不明。ピットである。遺構覆土は泥岩粒・泥岩・炭化物少量・褐色有機質土を含む暗青灰色弱粘質土。出土遺物-56はかわらけ。その他に白磁壺・青白磁梅瓶・箸状木製品が破片で出土している。

遺構484(図41・図47)

調査区外に遺構が延びてしまい規模、形状は不明。ピットである。遺構覆土は泥岩粒・炭化物微量・暗青灰色粘土・褐色有機質土を多量に含む暗青灰色弱粘質土。出土遺物-57は内折れかわらけ。58は常滑片口鉢Ⅰ類。その他にかわらけ・青磁鎗蓮弁文碗・常滑甕が破片で出土している。

遺構486(図41・図47)

円形を呈するピットである。遺構覆土は泥岩粒・泥岩・炭化物・褐色有機質土を含む暗青灰色弱粘質土。出土遺物-59はかわらけ。60は青白磁合子蓋。その他に常滑甕・滑石製鍋・棒状木製品が破片で出土している。



1. 暗青灰色弱粘質土 泥岩粒、泥岩多量、炭化物、暗灰色粘土・褐色有機質土少量
 2. 暗青灰色弱粘質土 泥岩粒少量、泥岩、炭化物・暗灰色粘土・褐色有機質土少量

1. 暗青灰色弱粘質土 泥岩粒、泥岩多量、炭化物、暗灰色粘土・褐色有機質土少量
 2. 暗青灰色弱粘質土 泥岩粒少量、泥岩、炭化物・暗灰色粘土・褐色有機質土少量
 2'. 暗青灰色弱粘質土 泥岩粒少量、泥岩、炭化物・暗灰色粘土少量、褐色有機質土



图43 第7面. 遺構480

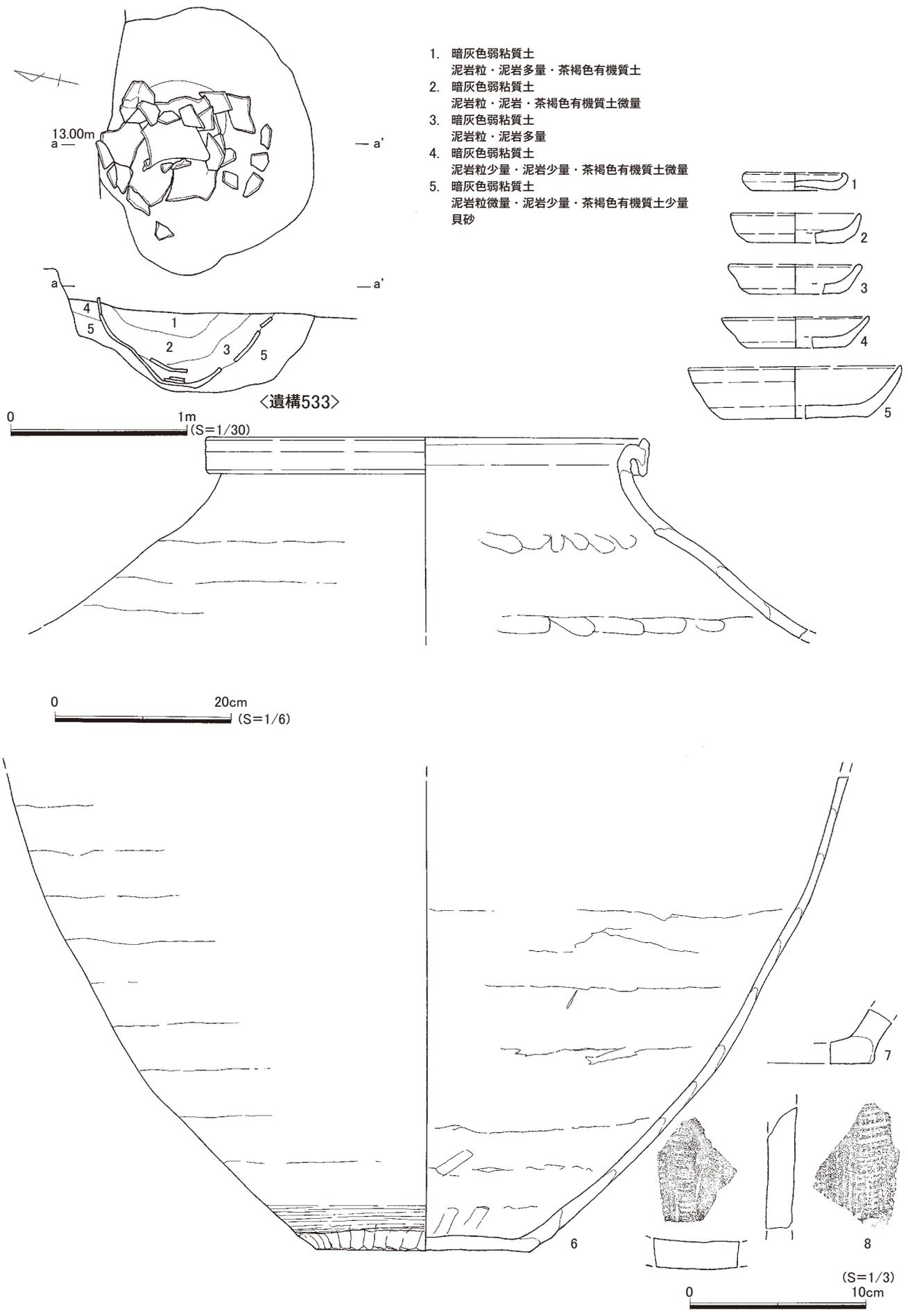


図44 第7面. 遺構533

遺構487 (図41)

円形を呈するピットである。遺構488を切る。遺物はかわらけ・常滑片口鉢Ⅰ類が破片で出土している。

遺構488 (図41・図47)

遺構487・遺構502に切られる、ピットである。遺構覆土は泥岩粒少量・炭化物少量・褐色有機質土少量を含む暗青灰色弱粘質土。出土遺物－61～64はかわらけ。65は鉄製品釘。その他に白磁壺・常滑甕が破片で出土している。

遺構489 (図41・図47)

円形を呈する浅いピットである。遺構覆土は泥岩粒・泥岩・炭化物・褐色有機質土を含む暗青褐色弱粘質土。出土遺物－66・67はかわらけ。68は男瓦。69は漆器皿。その他に箸状木製品・木製品部材が破片で出土している。

遺構490 (図41・図47)

調査区外に遺構が延びてしまい規模、形状は不明。ピットである。遺構覆土は泥岩粒・泥岩多量・炭化物少量・褐色有機質土を含む暗青灰色弱粘質土。出土遺物－70はかわらけ。

遺構492 (図41・図47)

調査区外に遺構が延びてしまい規模、形状は不明。ピットである。ピット底面には礎板が遺存し柱が立つ。柱周囲は泥岩による根固めが行われていたことを、土層堆積状況から確認している。遺構覆土は泥岩粒・泥岩・炭化物・褐色有機質土を含む暗青灰色弱粘質土。出土遺物－71・72はかわらけ。73は青磁鎚蓮弁文碗。その他に常滑甕・箸状木製品・木製品部材が破片で出土している。

遺構493 (図41・図48)

円形を呈するピットである。遺構覆土は泥岩粒・泥岩・炭化物・暗褐色粘土・褐色有機質土を含む暗青灰色弱粘質土。出土遺物－74はかわらけ。75は鉄製品釘。その他に常滑片口鉢Ⅰ類・常滑壺・箸状木製品・棒状木製品が破片で出土している。

遺構496 (図41・図48)

円形を呈するピットである。遺構覆土は泥岩粒・泥岩・炭化物微量・褐色有機質土少量を含む暗青灰色弱粘質土。出土遺物－76は箸状木製品。その他にかわらけ・常滑甕・板草履が破片で出土している。

遺構497 (図45・図48)

後ページ、柱穴列で記載

遺構498 (図41)

調査区外に遺構が延び、遺構492に切られ形状・規模は不明。ピットである。遺構覆土は泥岩粒多量・泥岩・炭化物微量・褐色有機質土を含む暗青灰色弱粘質土。遺物はかわらけが破片で出土している。

遺構499 (図41・図48)

楕円形を呈する土坑である。遺構覆土は上層に大型の不整形な泥岩が堆積し、下層に泥岩粒・泥岩・炭化物・褐色有機質土を含む暗青灰色弱粘質土が堆積していた。出土遺物－79はかわらけ。80は漆器皿。81は木製品円板。82～84は箸状木製品。その他に常滑甕・果核・獣骨・貝が破片で出土している。

遺構501 (図41・図48)

円形を呈するピットである。遺構覆土は泥岩粒・泥岩・炭化物少量・暗灰色粘土を含む暗青灰色弱粘質土。出土遺物－85はかわらけ。86は常滑甕、転用品。その他に箸状木製品・木製品部材が破片で出土している。

遺構502 (図41・図48)

楕円形を呈する土坑である。遺構512に切られる。遺構覆土は泥岩少量・泥岩粒少量・炭化物微量・暗灰色粘土・褐色有機質土を含む暗青灰色弱粘質土。出土遺物-87は漆器雲形。88は木製品。

遺構505 (図42・図48)

円形を呈するピットである。遺構覆土は泥岩粒少量・泥岩・炭化物微量・暗灰色粘土を含む暗青灰色弱粘質土。出土遺物-89は常滑甕。その他にかわらけ・手づくね・箸状木製品・土師器甕が破片で出土している。

遺構506 (図42・図48)

楕円形を呈するピットである。遺構覆土は泥岩粒少量・泥岩・炭化物微量・暗灰色粘土を含む暗青灰色弱粘質土。出土遺物-90・91はかわらけ。その他に手づくね・白磁口元皿・常滑甕・瓦器質火鉢・箸状木製品・棒状木製品が破片で出土している。

遺構508 (図41)

楕円形を呈するピットである。遺構473に切られる。遺構底面に礎板が遺存する。遺構覆土は泥岩粒・泥岩・炭化物少量・暗灰色粘土を含む暗青灰色弱粘質土。遺物はかわらけ・箸状木製品が破片で出土している。

遺構509 (図42)

円形を呈するピットである。遺構510を切る。遺構覆土は泥岩粒少量・泥岩・炭化物多量・暗灰色粘土を含む暗青灰色弱粘質土。出土遺物はない。

遺構510 (図42・図48)

楕円形を呈するピットである。遺構509・遺構515に切られる。遺構覆土は泥岩粒少量・炭化物微量・暗灰色粘土を含む暗青灰色弱粘質土。出土遺物-92はかわらけ。93は箸状木製品。

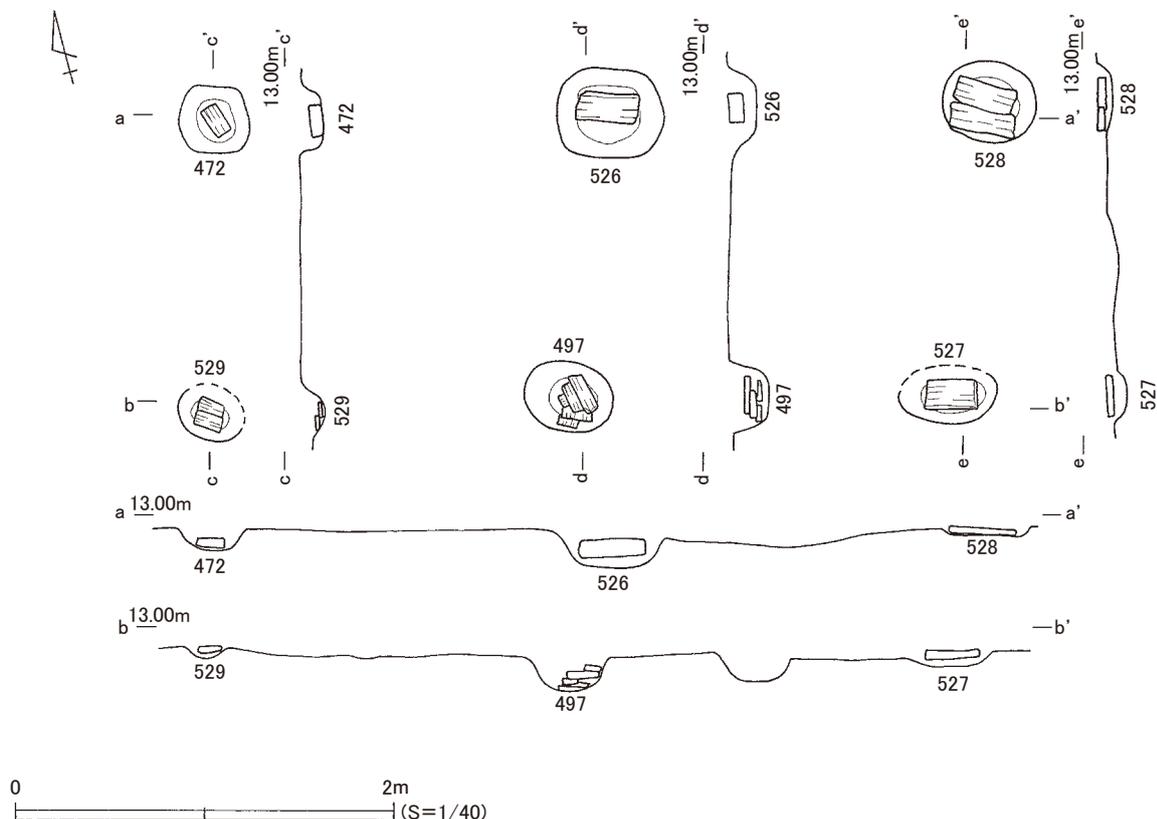


図45 第7面柱穴列

遺構511 (図42・図48)

楕円形を呈するピットである。遺構覆土は泥岩粒少量・炭化物少量・暗灰色粘土を含む暗青灰色弱粘質土。出土遺物－94・95はかわらけ。96は常滑壺。その他に常滑甕・箸状木製品が破片で出土している。

遺構512 (図41)

円形を呈するピットである。遺構502を切る。遺構覆土は泥岩粒少量・炭化物少量・暗灰色粘土を含む暗青灰色弱粘質土。遺物はかわらけ・常滑甕が破片で出土している。

遺構513 (図48)

個別に図示していない。円形を呈するピットである。遺構514に切られる。遺構覆土は泥岩粒少量・炭化物多量・暗灰色粘土を含む暗青灰色弱粘質土。出土遺物－97・98はかわらけ。99・100は箸状木製品。その他に渥美甕・常滑甕が破片で出土している。

遺構514 (図48)

個別に図示していない。円形を呈するピットである。遺構513を切る。遺構覆土は泥岩粒少量・炭化物少量・暗灰色粘土を含む暗青灰色弱粘質土。出土遺物－101はかわらけ。

遺構515 (図42・図48)

調査区外に遺構が延び規模は不明、土坑である。遺構覆土は泥岩粒少量・炭化物少量・暗灰色粘土を含む暗青灰色弱粘質土。出土遺物－102はかわらけ。103は緑釉盤。その他に常滑甕・箸状木製品・棒状木製品が破片で出土している。

遺構521 (図42・図48)

円形を呈するピットである。遺構覆土は泥岩粒少量を含む暗灰色弱粘質土。出土遺物－104は滑石加工途中、スタンプか。その他にかわらけが破片で出土している。

遺構524 (図42・図48)

円形を呈するピットである。遺構525を切る。遺構覆土は泥岩粒少量・炭化物少量・暗灰色粘土を含む暗灰色弱粘質土。出土遺物－105はかわらけ。その他に青白磁梅瓶が破片で出土している。

遺構525 (図42・図48)

円形を呈するピットである。遺構524に切られる。遺構覆土は泥岩粒少量・炭化物少量・暗灰色粘土を含む暗灰色弱粘質土。出土遺物－106は瀬戸四耳壺。その他にかわらけ・滑石鍋が破片で出土している。

遺構530 (図42・図48)

試掘坑によって遺構が切られる。方形を呈し遺構底面は平坦、遺構の北側・西側には側板が遺存する。側板は細い杭によって内側から固定されていた。側板の上部には焼痕が残り、覆土内に炭化物、灰などが遺存していた。囲炉裏であったと考えている。遺構覆土は泥岩粒・泥岩・炭化物・褐色有機質土・貝砂・灰を含む暗青灰色弱粘質土。出土遺物－107～109はかわらけ。110・111は板草履。その他に青磁蓮弁文碗・白磁口元皿・常滑甕・箸状木製品が破片で出土している。

遺構533 (図44)

遺構が調査区外に延び規模は不明、土坑である。遺構内には常滑・甕がほぼ完形の状態で据えられ、甕底部には礎板状の板材が下支えとして置かれていた。建物址の柱穴・遺構526に切られる形で確認したが、建物址に伴う据え甕ではない。遺構覆土は泥岩粒・泥岩・炭化物・褐色有機質土・貝砂を含む暗灰色弱粘質土。出土遺物－1～5はかわらけ。6・7は常滑甕。8は女瓦。その他に内折れかわらけ・青磁鎬蓮弁文碗・青白磁合子蓋・青白磁梅瓶・褐釉壺・瓦器質火鉢・箸状木製品・棒状木製品・貝が破片で出土している。

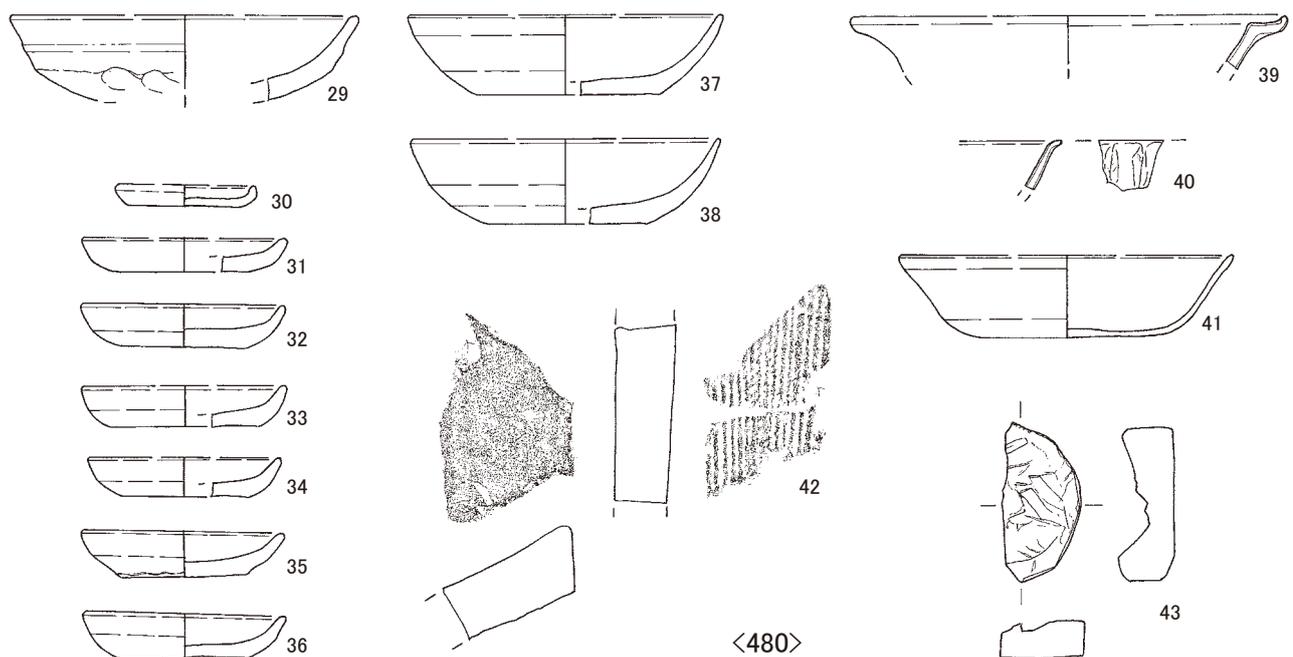
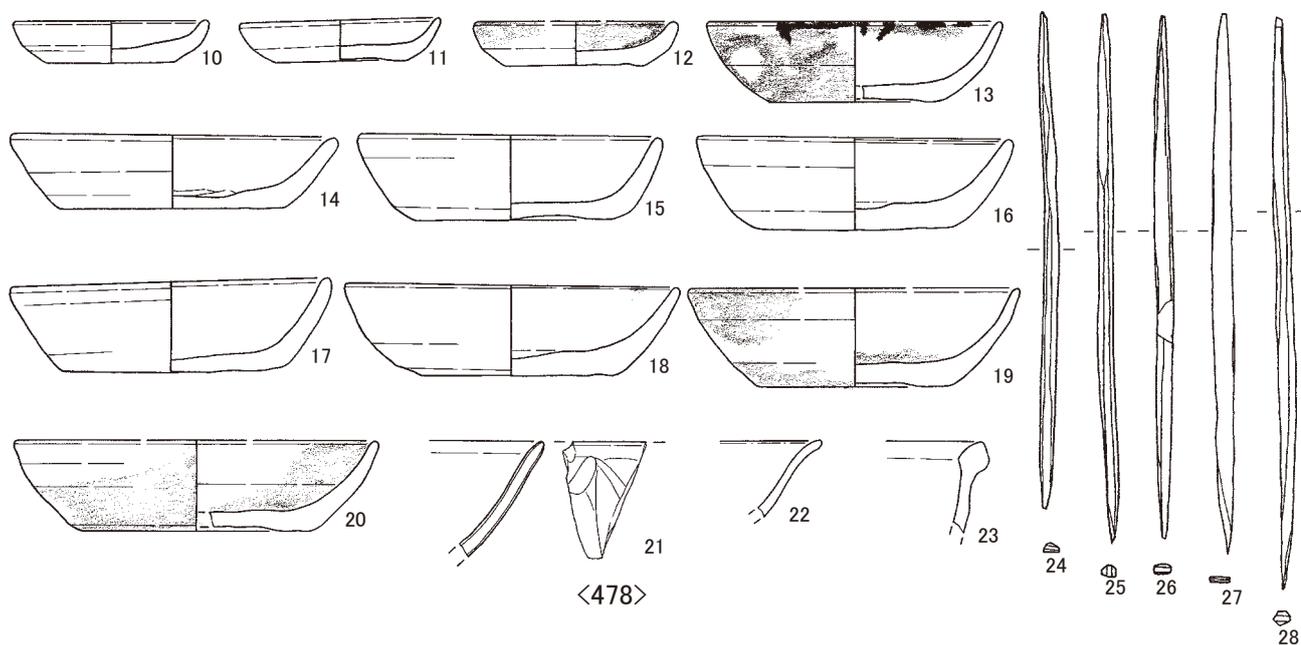
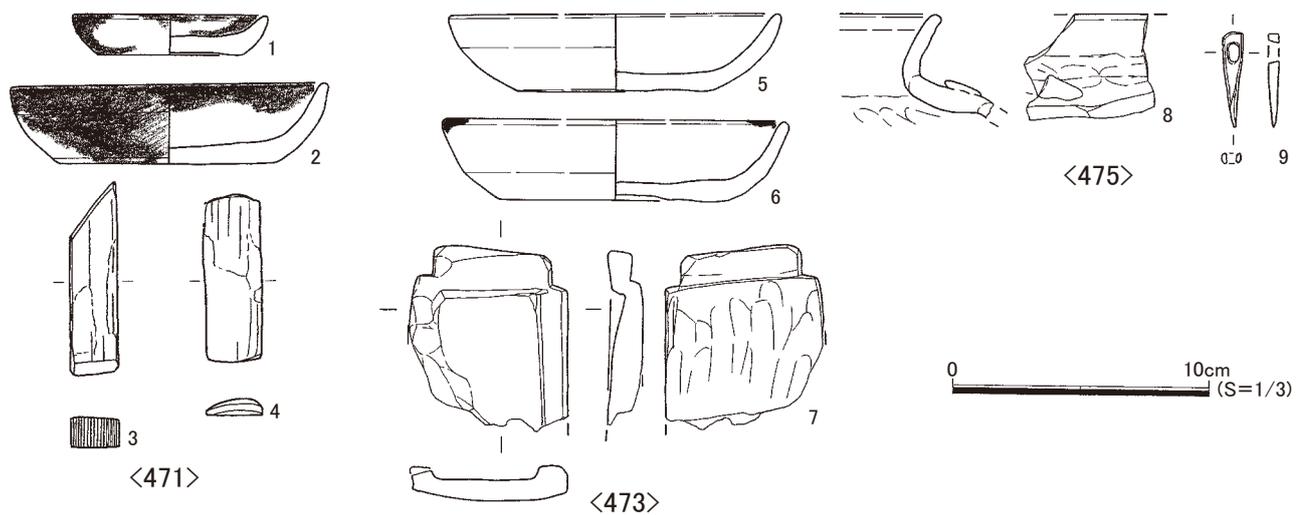


图46 第7面. 遺構出土遺物(1)

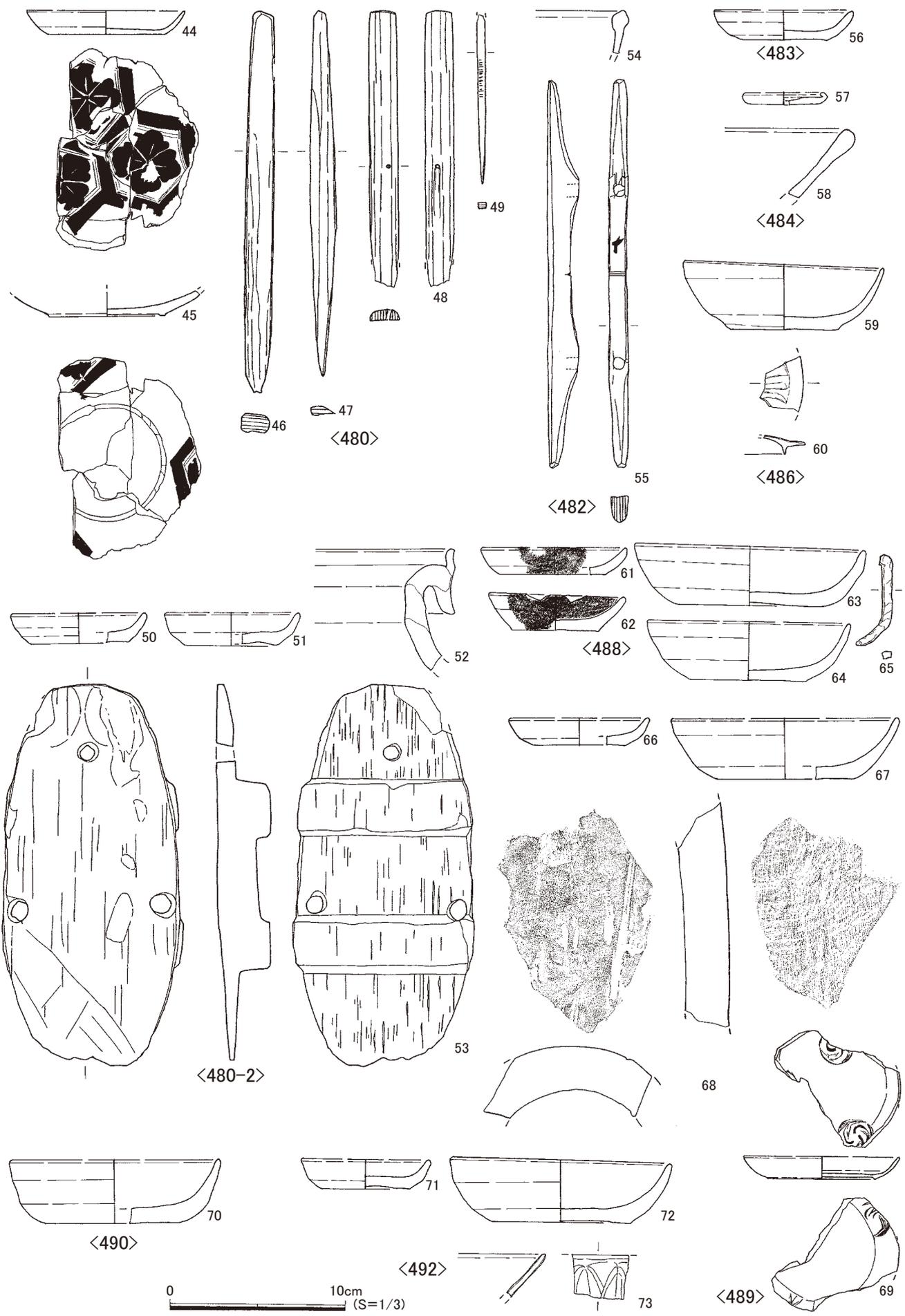


图47 第7面. 遺構出土遺物(2)

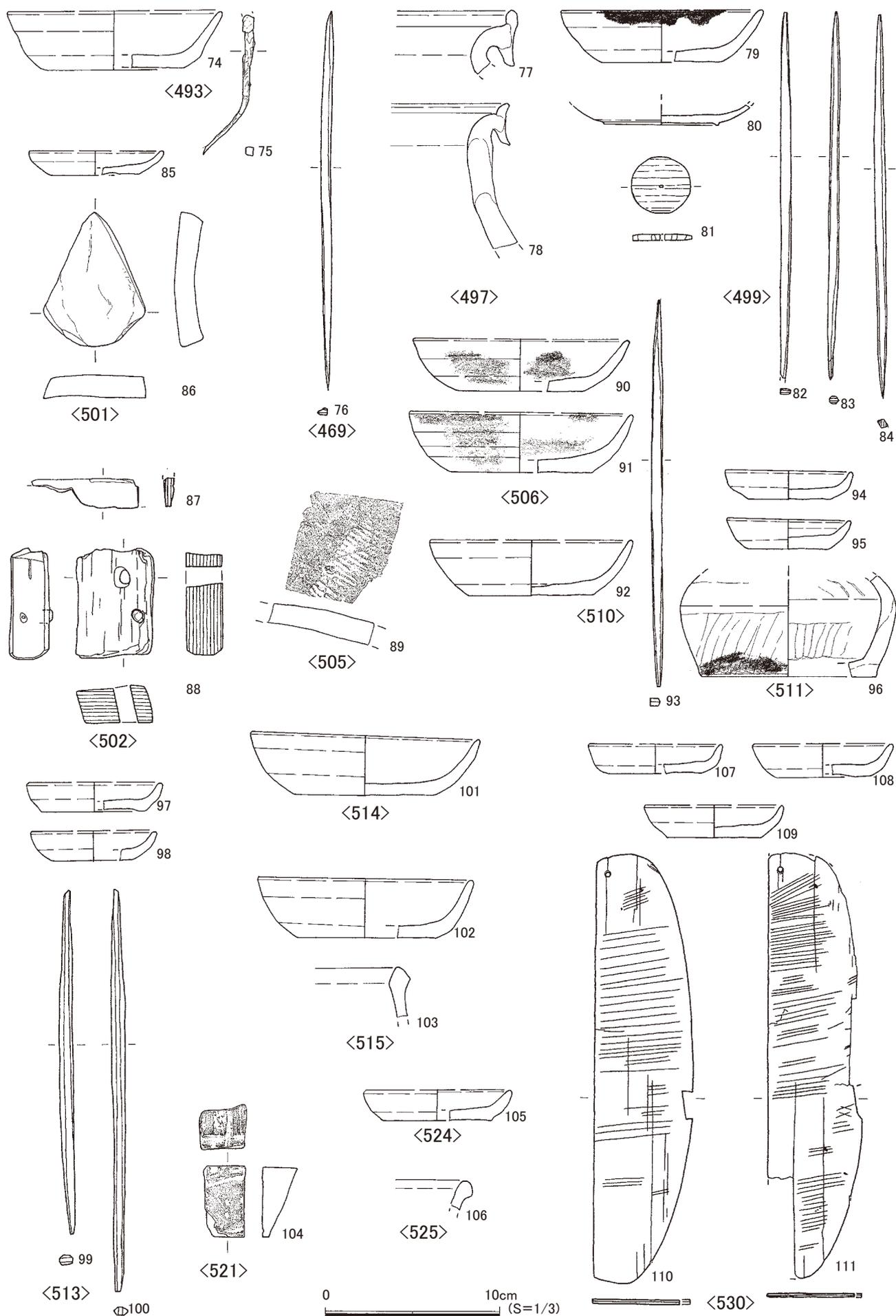


图48 第7面. 遺構出土遺物(3)

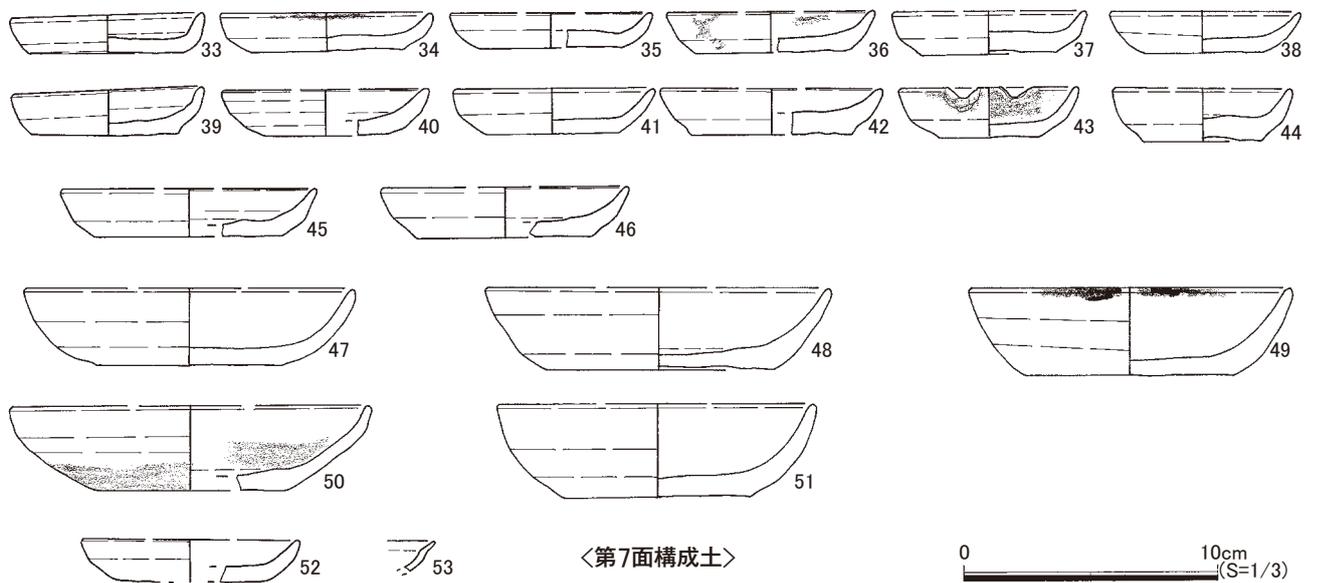
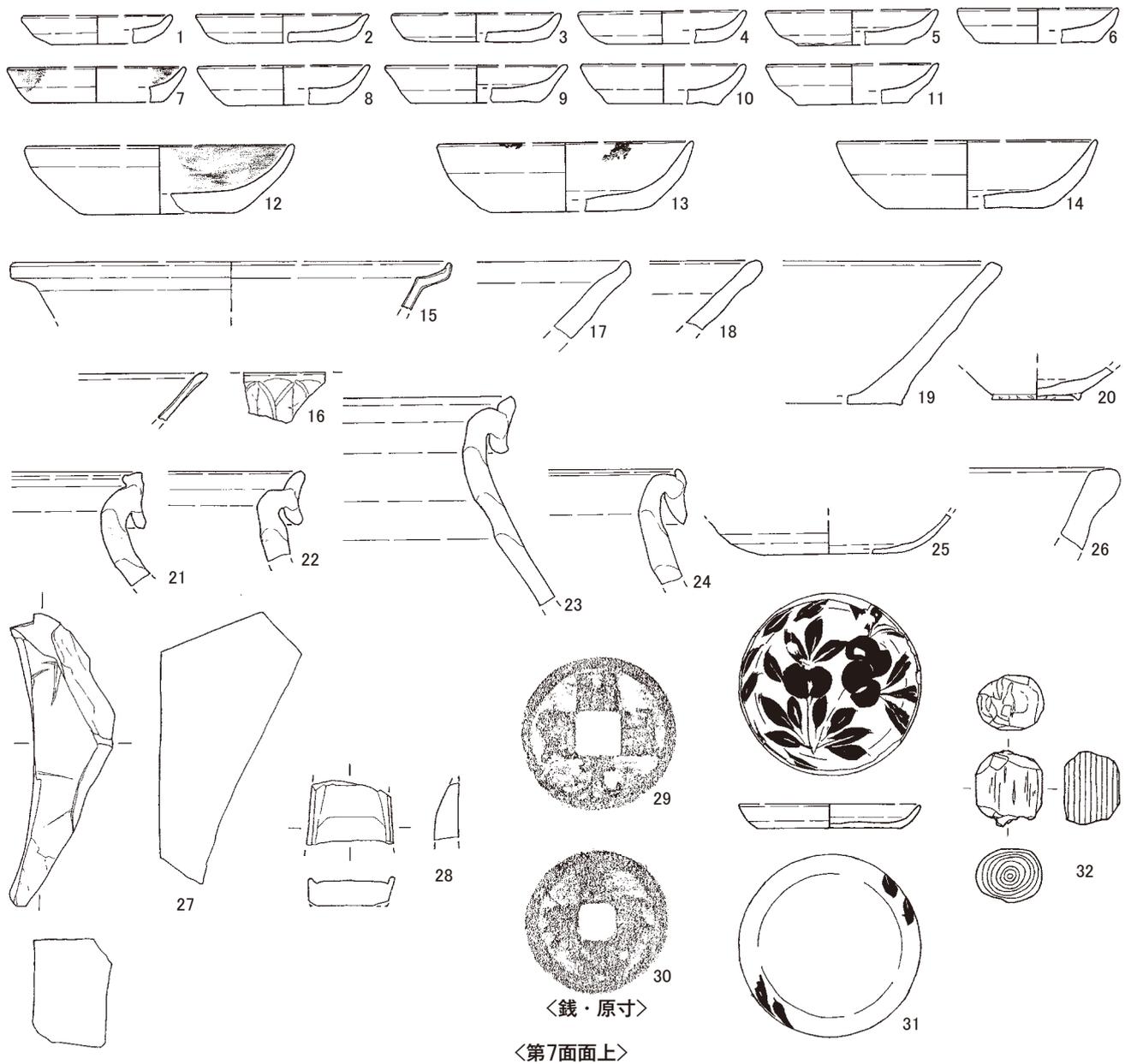


图49 第7面. 面上・構成土出土遺物(1)

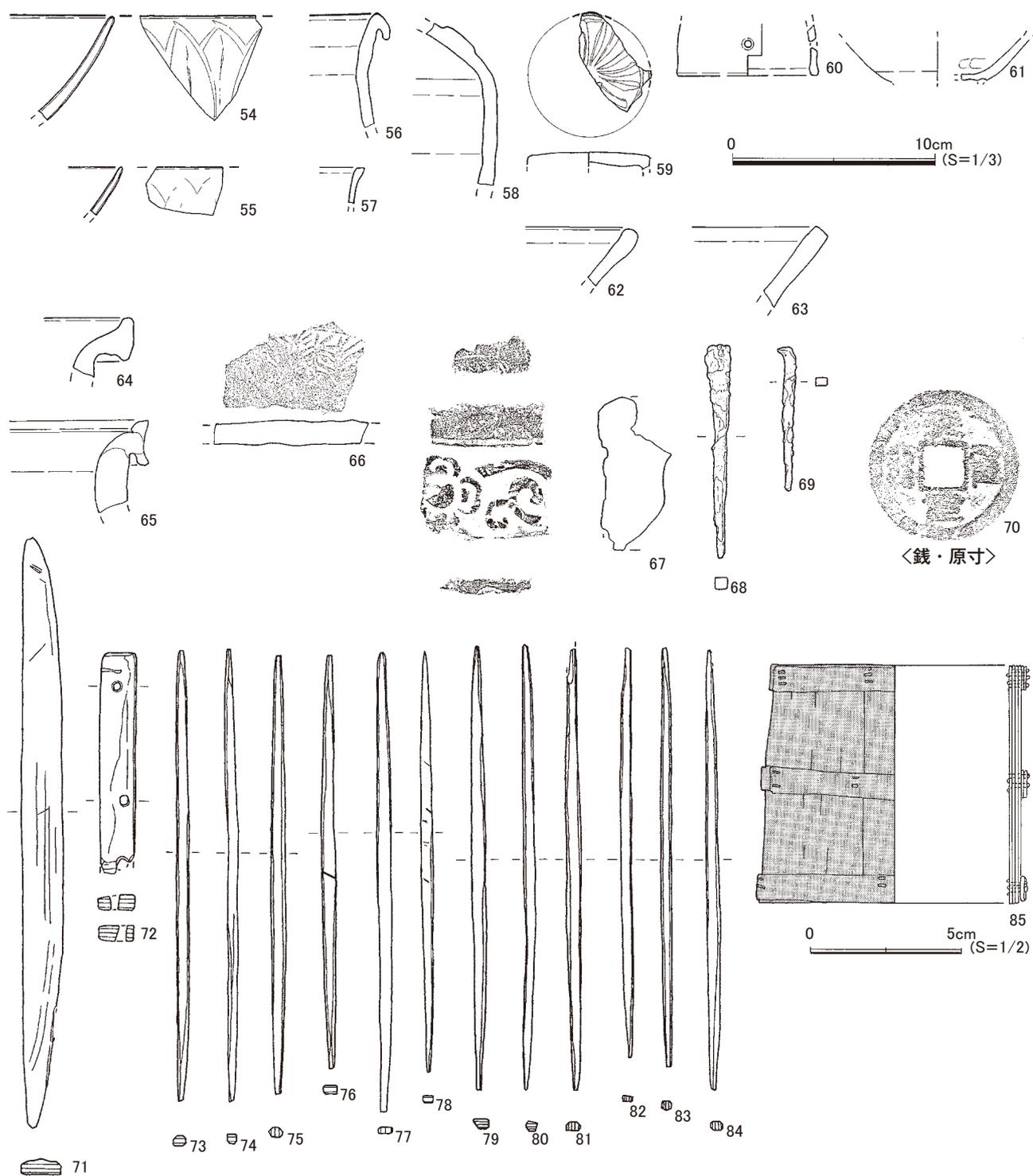


図50 第7面. 構成土出土遺物(2)

柱穴列(遺構472・遺構497・遺構526・遺構527・遺構528・遺構529)(図45・図48)

遺構底面に礎板が遺存する柱穴列である。確認した規模は東西2間(約400cm)、南北1間(約150cm)。

各柱穴の柱間を芯芯距離で計測すると、東西方向は約200cmであった。柱穴底部には礎板が遺存していた。礎板は建材などの端材を使用しており一定の規格を有さず、遺存していた礎板の接合を試みたが接合する礎板はなかった。遺構472は礎板の上に柱痕が遺存し、柱痕の周囲を泥岩によって根固めして

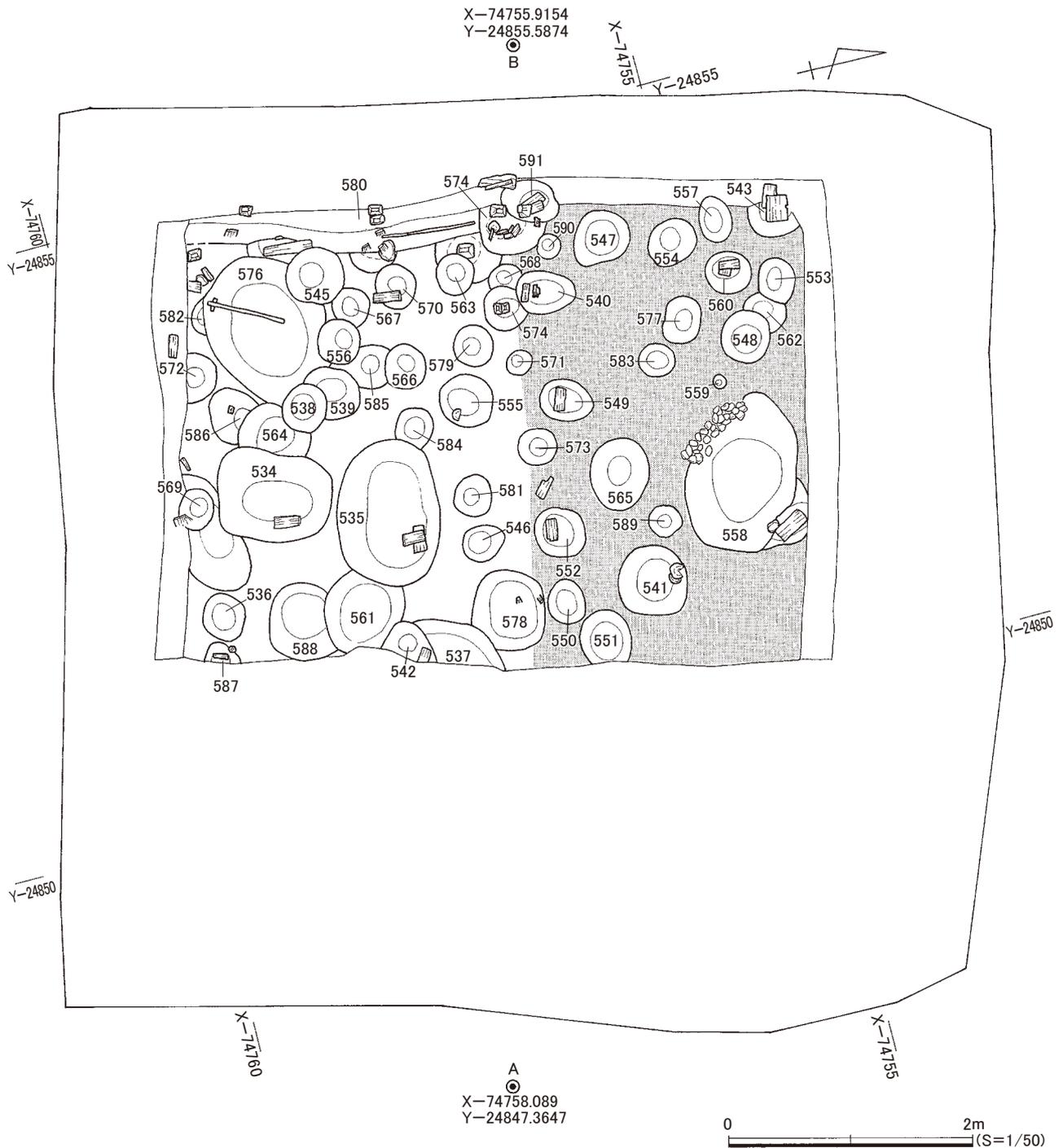


図51 第8面全測図

いたことを覆土堆積状況から確認している。遺構覆土は泥岩粒多量・泥岩多量・炭化物微量・暗灰色粘土を含む暗青灰色弱粘質土。遺物はかわらけ・常滑片口鉢Ⅱ類が破片で出土している。遺構497で検出した礎板は数枚を重ねて使用し、礎板上面に柱痕が残っていた。遺構472同様に柱痕の周囲を泥岩によって根固めしていたことを覆土堆積状況から確認している。遺構覆土は泥岩粒多量・泥岩・暗灰色粘土を含む暗青灰色弱粘質土。出土遺物-77・78は常滑甕。遺構526の遺構覆土は泥岩粒多量・泥岩多量・褐色有機質土をわずかに含む暗青灰色弱粘質土。遺物はかわらけ・手づくねかわらけ・常滑甕が破片で出土している。遺構527の遺構覆土は泥岩粒多量・泥岩多量・褐色有機質土を含む暗青灰色弱粘質土。出

土遺物はない。遺構529は遺構478に切られる。遺構覆土は泥岩粒・泥岩多量・炭化物微量・褐色有機質土を含む暗青灰色弱粘質土。出土遺物はない。

第7面面上出土遺物(図49)

1～14はかわらけ。15は青磁折縁鉢。16は青磁鉢。17～19は常滑片口鉢Ⅰ類。20は山茶碗。21～24は常滑甕。25は瓦器碗。26は土器質火鉢。27は石製品砥石。28は石製品硯。29・30は銭。31は漆器皿。32は木製品。その他にロクロ成形白かわらけ・青白磁梅瓶・渥美甕・常滑片口鉢Ⅱ類・常滑壺・伊勢系土鍋・滑石鍋・軽石・木製品が破片で出土している。

第7面構成土出土遺物(図49・図50)

33～51はかわらけ。52・53は手づくねの白かわらけ。54・55は青磁鎬蓮弁文碗。56～58は白磁壺。59は青白磁梅瓶蓋。60は青白磁天目台。61は褐釉器種不明。62は常滑片口鉢Ⅰ類。63は片口鉢Ⅱ類。64～66は常滑甕。67は字瓦。68・69は鉄製品・釘。70は銭。71～85は木製品。78～84は箸状・85は曲物。その他にてづくね成形白かわらけ・青磁無文碗・白磁碗・白磁口元皿・青白磁梅瓶・青白磁合子・緑釉器種不明・常滑壺・鍔釜・伊勢系土鍋・鑄型・滑石鍋が破片で出土している。

8. 第8面の遺構と遺物(図51～図60)

第8面は泥岩粒・破碎泥岩・貝砂を含む暗灰色弱粘質土で検出した。調査区の北半分は泥岩粒・破碎泥岩によって固く地業される。遺構底面に礎板が遺存するピットを数穴発見しているが、建物址を推定することは出来なかった。しかし、調査区北に位置する遺構558は遺構周囲に黒色の石を配し、遺構覆土には籌木と考える木片が多く廃棄され、便所遺構であった可能性が高く、近辺に住居の存在があったことを裏付ける。調査区南西端には溝を発見している。調査区外に遺構の大半が延びてしまっているために溝の幅、長さ等は不明であるが、1辺5～13cm、残存する長さ43cm～68cmと大型の角材を伴っていることから大きな溝を想定させる。

第8面の遺構は覆土の観察から3時期に分かれる。発見した遺構はピット45穴・土坑10基・溝1条である。発見した遺物はかわらけ・手づくね・青磁・白磁・青白磁・緑釉陶器・褐釉陶器・瀬戸・常滑・渥美・瓦器・瓦・石製品・鉄製品・木製品が出土している。第8面確認レベルは海拔12.50m。

遺構534(図52・図53)

楕円形を呈する土坑である。遺構覆土は泥岩粒少量・泥岩少量・炭化物・褐色有機質土多量を含む暗灰色弱粘質土。出土遺物-1～4はかわらけ。5・6は木製品用途不明。7～10は箸状木製品。11・12は板草履。13は鉄製品。その他に部材・漆製品・篋状木製品・果核・貝が破片で出土し、掲載した箸状木製品は4本だが破片では193本を数えている。

遺構535(図52・図53)

楕円形を呈する土坑である。遺構覆土は多量の褐色有機質土・木片を含む暗褐色弱粘質土。出土遺物-14～15はかわらけ。16は漆器皿。17は篋状木製品。その他に青磁鎬蓮弁文碗・常滑甕・漆器皿・箸状木製品・折敷・貝が破片で出土している。

遺構536(図52・図53)

円形を呈するピットである。遺構覆土は泥岩粒少量・泥岩・暗灰色粘土・貝砂・褐色有機質土を含む暗灰色弱粘質土。出土遺物-18はかわらけ。19は漆器皿。その他に常滑甕・漆器、器種不明・獣骨が破片で出土している。

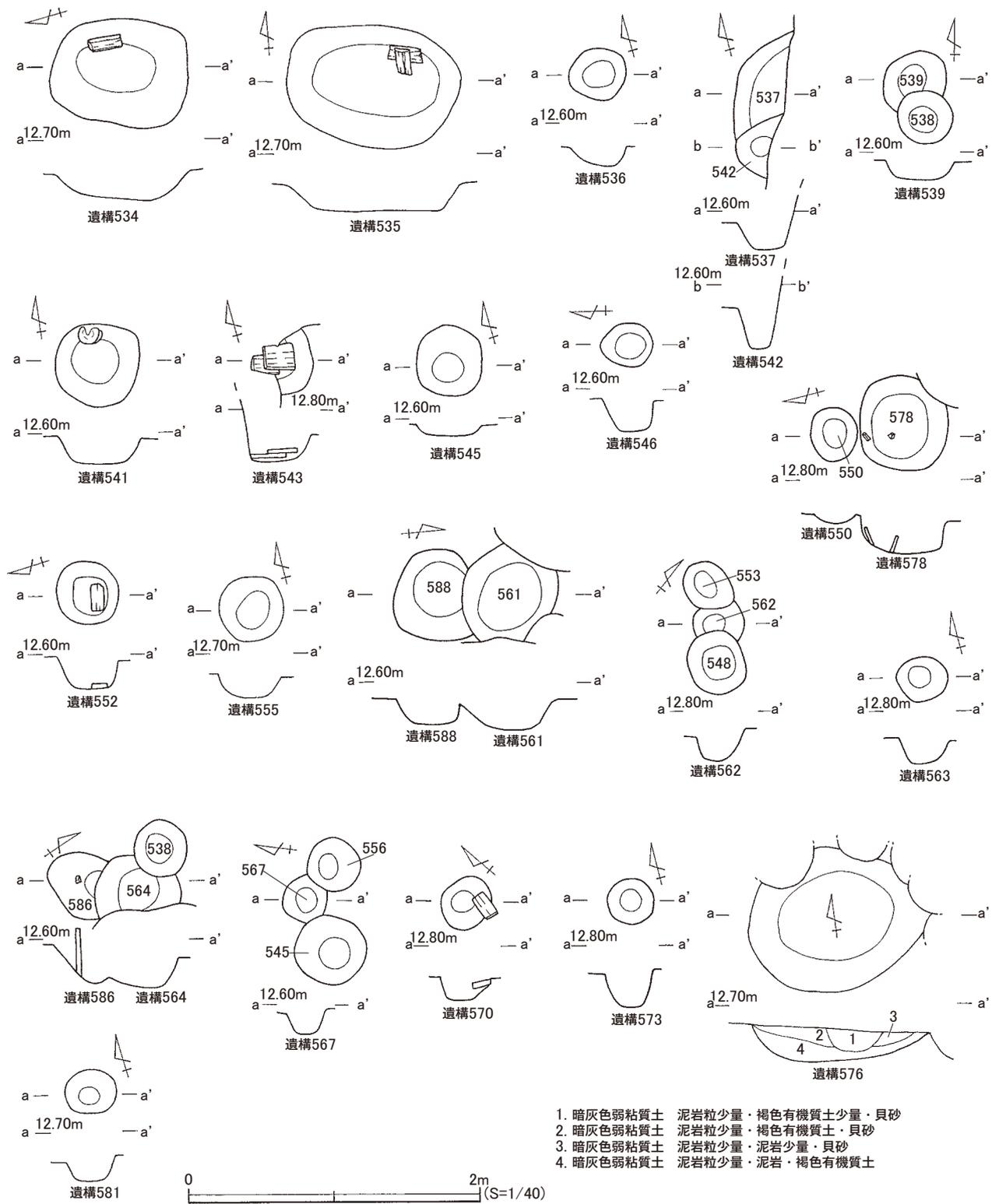


図52 第8面遺構

遺構 537 (図52・図53)

調査区外に遺構が延び形状・規模は不明。土坑である。遺構覆土は泥岩粒少量・泥岩少量・炭化物少量・暗灰色粘土・褐色有機質土多量を含む暗茶褐色弱粘質土。出土遺物-20は常滑片口鉢Ⅰ類。21は山茶碗。22は石製品砥石。その他にかわらけ・常滑甕・箸状木製品・貝が破片で出土している。

遺構 538 (図52)

円形を呈するピットである、遺構539を切る。遺構覆土は泥岩粒少量・炭化物少量・暗灰色粘土・褐

色有機質土を含む暗茶褐色弱粘質土。遺物は箸状木製品が破片で出土している。

遺構 539 (図 52・図 53)

円形を呈するピットである、遺構 538 に切られる。遺構覆土は泥岩粒・泥岩・暗灰色粘土・貝砂・褐色有機質土を含む暗茶褐色弱粘質土。出土遺物 - 23 は常滑片口鉢 I 類。その他にかわらけ・常滑甕・箸状木製品が破片で出土している。

遺構 541 (図 52・図 53)

円形を呈するピットである。遺構覆土は泥岩粒少量・泥岩・暗灰色粘土・貝砂・褐色有機質土少量を含む暗灰色弱粘質土。覆土内で検出したかわらけは、小型のかわらけを合わせ、その上から大型のかわらけで小型のかわらけを蓋をした形で発見された。合わせの小型かわらけの内部には覆土に近似した土が入っていた。出土遺物 - 24 ~ 26 はかわらけ。その他に破片で手づくね・青磁鎬蓮弁文碗・褐釉壺・常滑片口鉢 I 類・常滑甕・土師器甕・貝が破片で出土している。

遺構 542 (図 52・図 53)

調査区外に遺構が延び規模は不明、ピットである。遺構 537 を切る。遺構覆土は泥岩粒・泥岩・暗灰色粘土・貝砂・褐色有機質土少量を含む暗茶褐色弱粘質土。出土遺物 - 27 はかわらけ。その他に手づくねが破片で出土している。

遺構 543 (図 52・図 53)

調査区外に遺構が延び規模は不明、遺構底面に礎板を伴うピットである。遺構覆土は泥岩粒少量・泥岩・暗灰色粘土・貝砂・褐色有機質土少量を含む暗灰色弱粘質土。出土遺物 - 28 はかわらけ。29 は木製品用途不明。その他に常滑甕が破片で出土している。

遺構 545 (図 52・図 53)

円形を呈するピットである。遺構覆土は泥岩粒少量・炭化物微量・暗灰色粘土・褐色有機質土多量を含む暗茶褐色弱粘質土。出土遺物 - 30 はかわらけ。その他に手づくね・常滑甕が破片で出土している。

遺構 546 (図 52・図 53)

円形を呈するピットである。遺構覆土は泥岩粒少量・泥岩・暗灰色粘土・褐色有機質土少量を含む暗茶褐色弱粘質土。出土遺物 - 31 は瀬戸四耳壺。その他にかわらけが破片で出土している。

遺構 548 (図 52)

円形を呈するピットである。遺構 562 を切る。遺構覆土は泥岩粒・泥岩・暗灰色粘土・貝砂・褐色有機質土少量を含む。遺物はかわらけ・常滑甕・板草履・木製品が破片で出土している。

遺構 550 (図 52)

円形を呈するピットである。遺構覆土は泥岩粒少量・貝砂・褐色有機質土を含む暗灰色弱粘質土。出土遺物はない。

遺構 552 (図 52・図 53)

円形を呈するピットである。遺構底面に礎板が遺存する。遺構覆土は泥岩粒少量・泥岩・貝砂・褐色有機質土少量を含む暗灰色弱粘質土。出土遺物 - 32 は鉄製品釘。その他にかわらけが破片で出土している。

遺構 553 (図 52)

円形を呈するピットである。遺構 562 を切る。遺構覆土は泥岩粒少量・貝砂・褐色有機質土少量を含む暗灰色弱粘質土。遺物はかわらけ・青磁壺・渥美甕が破片で出土している。

遺構 555 (図 52・図 53)

円形を呈するピットである。遺構覆土は泥岩粒少量・泥岩・炭化物・暗灰色粘土・貝砂・褐色有機質

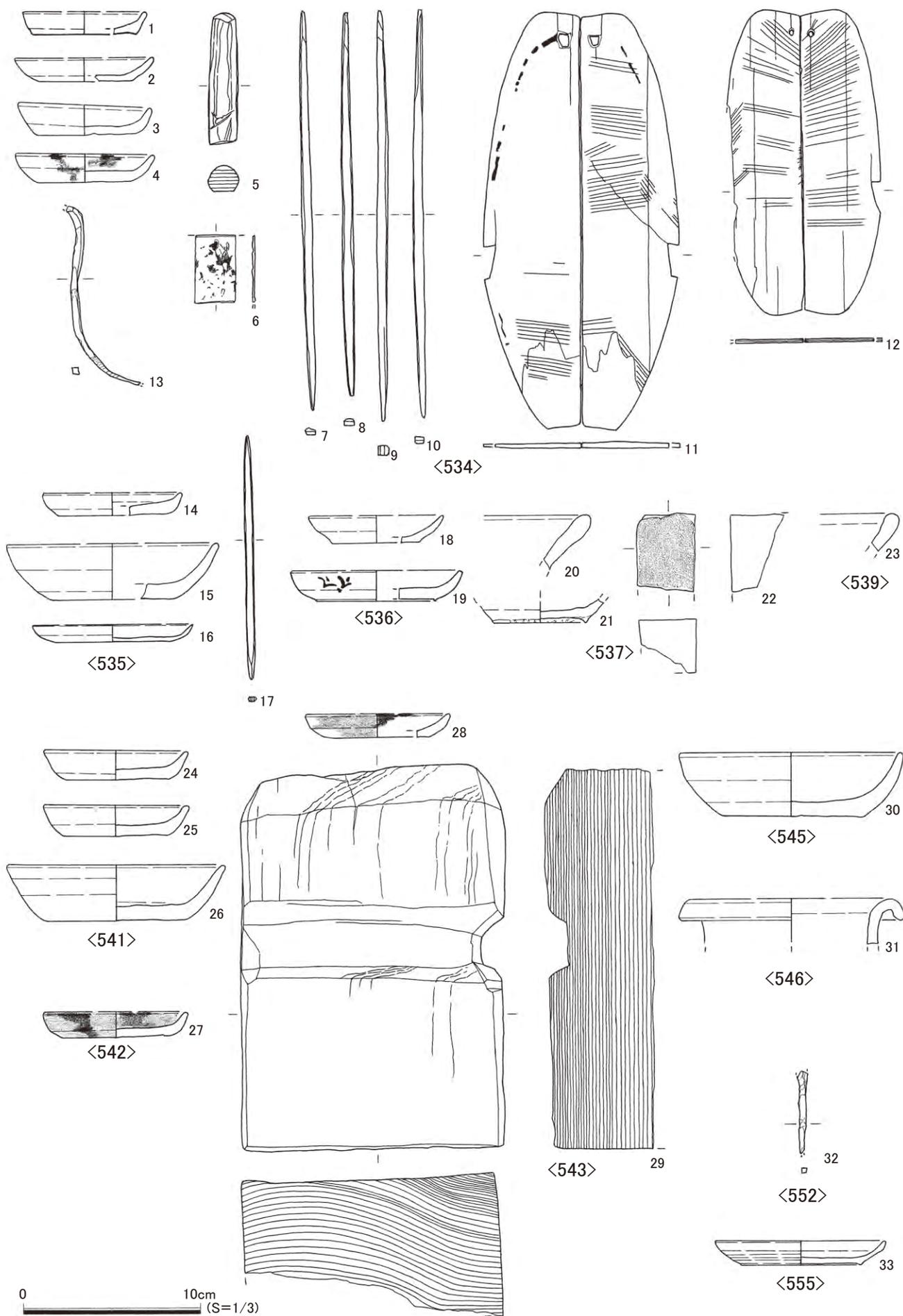


图53 第8面. 遺構出土遺物(1)

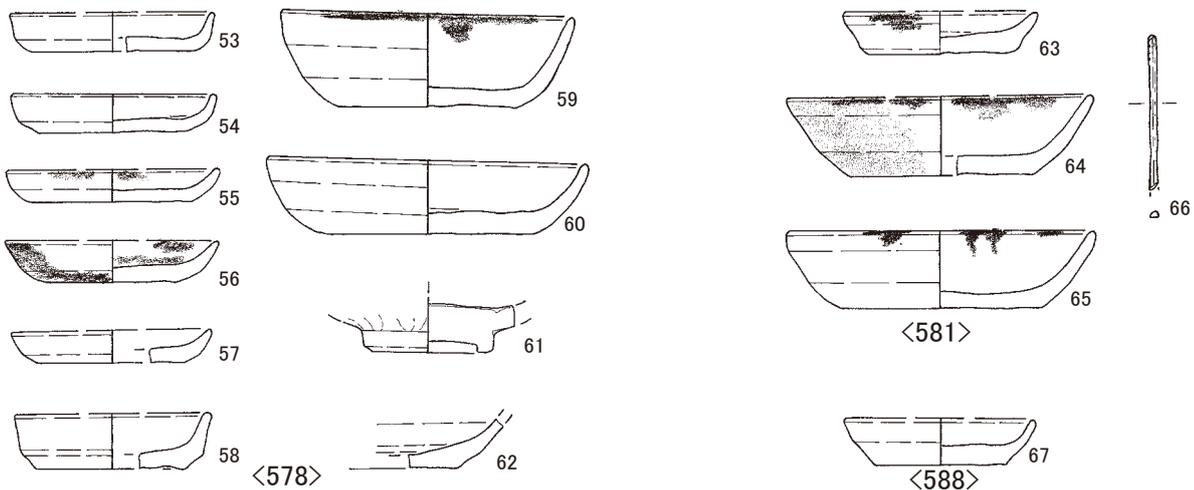
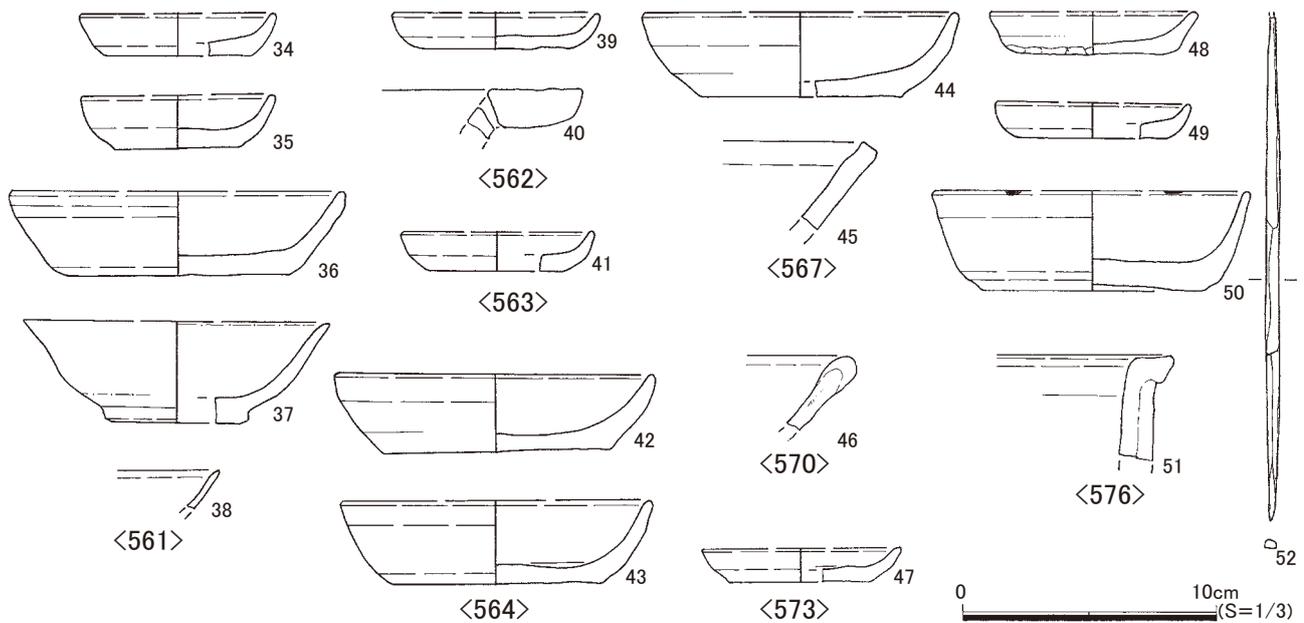


図54 第8面. 遺構出土遺物(2)

土を含む暗褐色弱粘質土。出土遺物-33は漆器皿。その他にかわらけ・漆器、器種不明・貝が破片で出土している。

遺構556 (図52)

円形を呈するピットである。遺構567を切る。遺構覆土は泥岩粒少量・泥岩・暗灰色粘土・貝砂・褐色有機質土少量を含む暗灰色弱粘質土。遺物にかわらけが破片で出土している。

遺構558 (図55)

楕円形を呈する土坑である。遺構上面一部しか遺存していなかったが、黒色の玉石が遺構側面に沿うように置かれていた。また、対面には大型の礎板状の板材を検出している。遺構覆土に褐色有機質土と棒状木製品を多く含み(セクション図参照)、篝火と考えられる棒状木製品の出土から、便所として使用した土坑と考えている。遺構覆土は土層堆積の註記を参照。また、覆土の分析結果を後記している。出土遺物-1~5はかわらけ。6は青磁鎬蓮弁文碗。7・8は木製品・用途不明。9~16は棒状木製品、篝火か。図示した遺物の他にかわらけ(大)38個・かわらけ(小)4個・褐釉壺1個・常滑甕10個・鉄製品釘1本・箸状木製品996本・棒状木製品(篝火)563本・折敷片1・下駄1・板草履4・木製品部材13・棒状木製品(断面扁平径)146本・篋状木製品4本・不明木製品54本・貝2が破片で出土している。

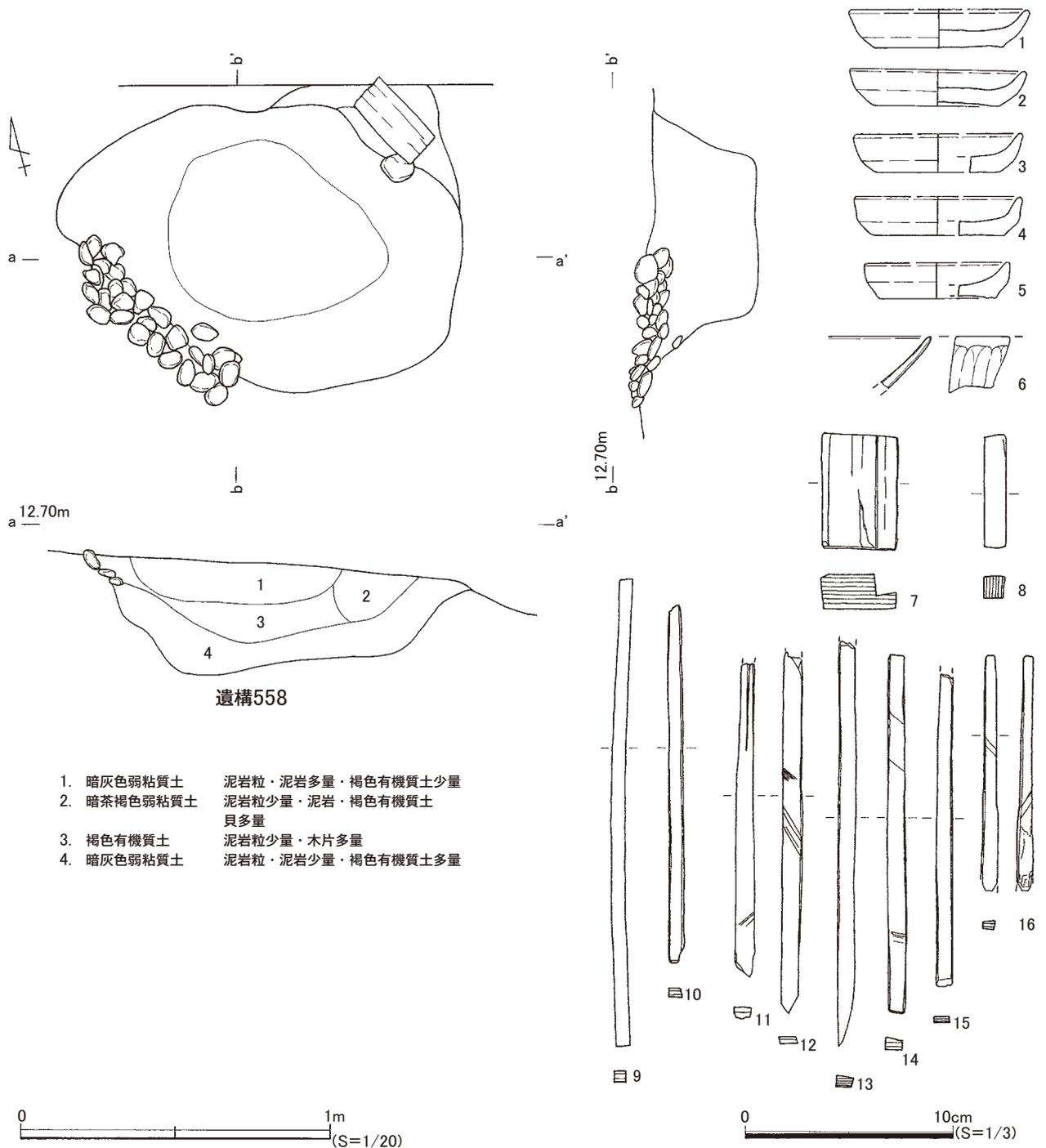


図55 第8面. 遺構558・遺構558出土遺物

遺構561 (図52・図54)

円形を呈する土坑である。遺構覆土は泥岩粒少量・暗褐色粘土・褐色有機質土を含む暗褐色弱粘質土。遺構588を切る。出土遺物34～36はかわらけ。37は白磁口元碗。38は瀬戸入子。その他に箸状木製品・貝が破片で出土している。

遺構562 (図52・図54)

円形を呈するピットである。遺構548・遺構553に切られる。遺構覆土は泥岩粒・暗褐色粘土・褐色有機質土を含む暗灰色弱粘質土。出土遺物39はかわらけ。40は瓦器質火鉢。その他に貝が出土している。

遺構563 (図52・図54)

円形を呈するピットである。遺構覆土は泥岩粒少量・暗灰色粘土・貝砂・褐色有機質土少量を含む暗

灰色弱粘質土。出土遺物－41はかわらけ。その他に手づくね・常滑甕が破片で出土している。

遺構564 (図52・図54)

円形を呈するピットである。遺構586を切り遺構538に切られる。遺構覆土は泥岩粒・泥岩・暗灰色粘土・貝砂・褐色有機質土を含む暗灰色弱粘質土。出土遺物－42・43はかわらけ。

遺構567 (図52・図54)

円形を呈するピットである。遺構545・遺構556に切られる。遺構覆土は泥岩粒少量・暗灰色粘土少量・貝砂少量・褐色有機質土少量を含む暗灰色弱粘質土。出土遺物－44はかわらけ。45は常滑片口鉢Ⅱ類。

遺構570 (図52・図54)

円形を呈するピットである。遺構覆土上層に礎板が遺存する。遺構覆土は泥岩粒少量・泥岩・暗灰色粘土・貝砂少量・褐色有機質土少量を含む暗灰色弱粘質土。出土遺物－46は常滑片口鉢Ⅰ類。その他にかわらけ・常滑甕が破片で出土している。

遺構573 (図52・図54)

円形を呈するピットである。遺構覆土は泥岩粒少量・暗灰色粘土少量・褐色有機質土少量を含む暗灰色弱粘質土。出土遺物－47はかわらけ。その他に手づくね・渥美甕・常滑甕が破片で出土している。

遺構576 (図52・図54)

楕円形を呈する土坑である。遺構覆土は泥岩粒少量・貝砂・有機質土を含む暗灰色弱粘質土。出土遺物－48～50はかわらけ。51は不明陶器。52は箸状木製品。その他に常滑甕・瓦器質火鉢・貝が破片で出土している。

遺構578 (図52・図54)

円形を呈する土坑である。遺構覆土は泥岩粒少量・泥岩・暗灰色粘土・貝砂少量を含む暗灰色弱粘質土。出土遺物－53～60はかわらけ。61は青磁鎚蓮弁文碗。62は緑釉盤。その他に手づくね・青磁器種不明・渥美甕・常滑甕・土師器甕が破片で出土している。

遺構581 (図52・図54)

円形を呈するピットである。遺構覆土は泥岩少量・暗灰色粘土・貝砂を含む暗灰色弱粘質土。出土遺物－63～65はかわらけ。66は骨製品筭。その他に青磁折縁鉢・常滑甕が破片で出土している。

遺構586 (図52)

楕円形を呈するピットである。遺構564に切られる。遺構覆土は泥岩粒・泥岩多量・暗灰色粘土・貝砂・褐色有機質土微量を含む暗灰色弱粘質土。遺物はかわらけ・貝が破片で出土している。

遺構588 (図52・図54)

円形を呈する土坑である。遺構561に切られる。遺構覆土は泥岩粒少量・炭化物・暗灰色粘土・貝砂・褐色有機質土少量を含む暗褐色弱粘質土。出土遺物－67はかわらけ。その他に手づくね・常滑甕が破片で出土している。

遺構568 (図56・図57)

円形を呈する土坑である。遺構591に切られる。遺構内に6本の杭が検出されたが、用途は不明である。溝(遺構580)との関連・新旧も調査区の限界での検出であったため確認できなかった。遺構覆土は泥岩粒少量・泥岩少量・炭化物少量・暗灰色粘土・褐色砂質土を含む暗灰色弱粘質土。遺構検出前の遺構プランでは、遺構591を含めた大型の土坑を想定して掘り進めたため、出土遺物は遺構591出土に一括して掲載したが、図56-4のかわらけは遺構568の覆土中から発見されたものである。

遺構580 (図56・図57)

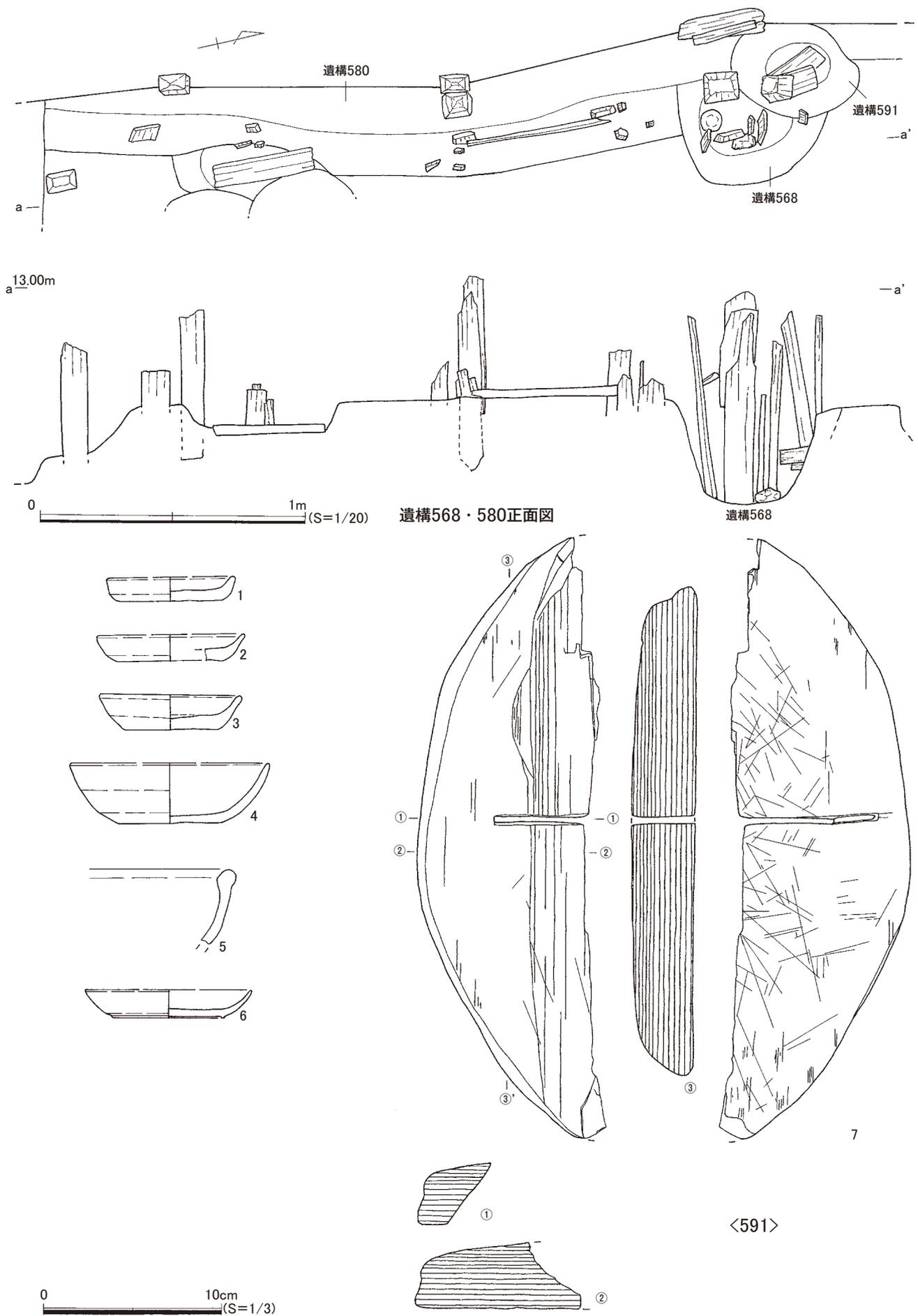


图56 第8面. 遺構568・遺構580・遺構591出土遺物

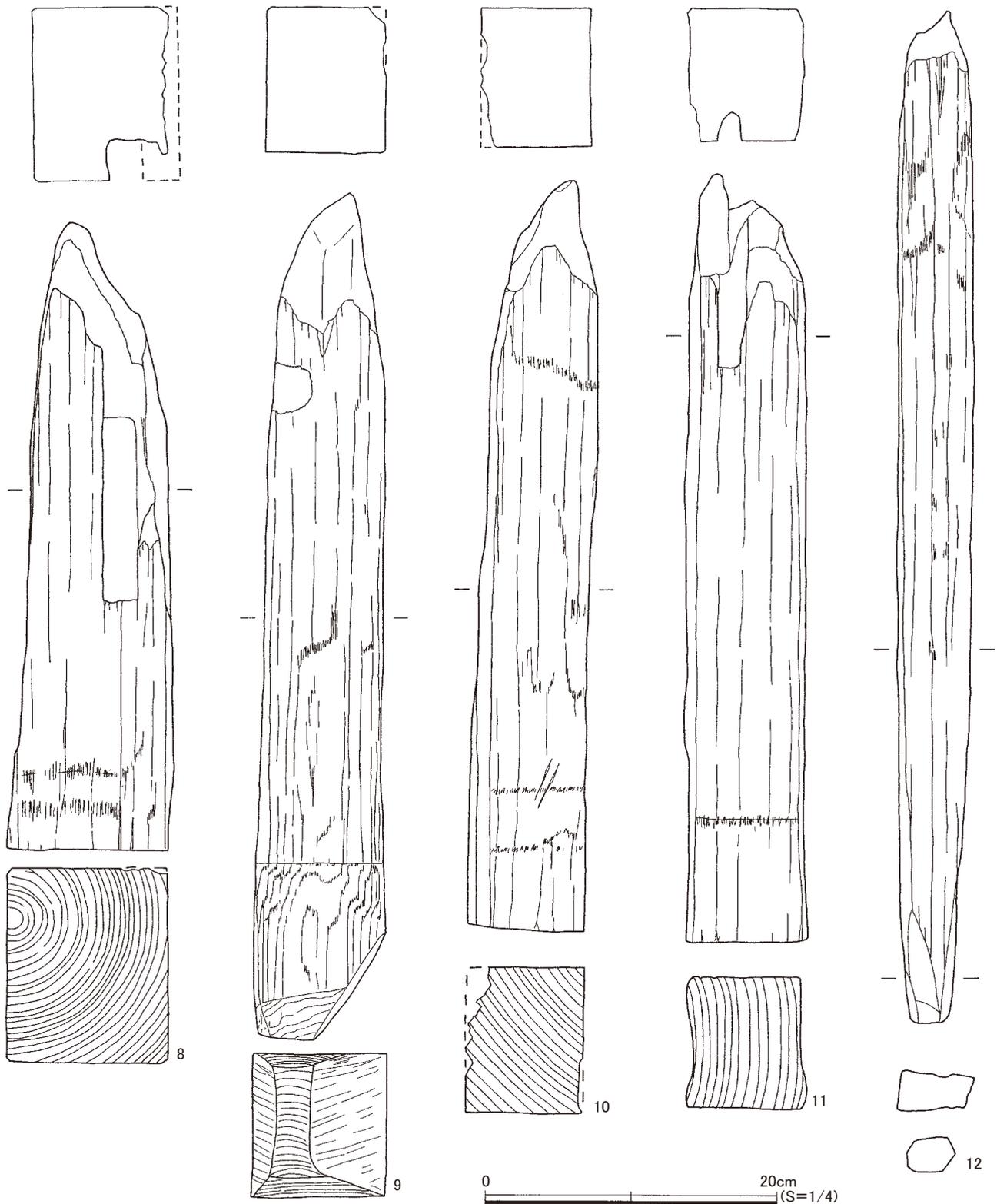


図57 第8面. 遺構580・角柱・杭

南北に延びる溝である。遺構の大半が調査区外に延び溝の幅、長さ、流下方向等は不明、遺構北側は土坑（遺構568・遺構591）に切られる。溝側板は東側側面に一部が残存し、一辺5～13cmという大型の角材が遺構に伴って検出され、角材の大きさから大型の溝が想像される。図57に角材の実測図を掲載したが、遺物採集時に混乱してしまい出土位置は不明となった。遺構覆土は泥岩粒少量・炭化物少量・暗灰色粘土・褐色砂少量・褐色有機質土微量を含む暗灰色弱粘質土。遺物はかわらけ・常滑片口鉢Ⅰ類が破片で出土している。

遺構591 (図56・図57)

円形を呈する土坑である。遺構568・遺構580を切る。遺構底部に礎板、角柱が遺存していた。角柱は溝(遺構580)に伴う材と同等の大きさを持ち、溝に伴う土坑であった可能性もある。遺構覆土は泥岩粒少量・泥岩・炭化物少量・暗灰色粘土・褐色砂少量・褐色有機質土を含む暗灰色弱粘質土。出土遺物-1~4はかわらけ。5は緑釉盤。6は漆器皿。7は木製品用途不明。8~12は木製品建材。その他に手づくね・白磁端反碗・白磁口元皿・常滑片口鉢I類・常滑甕・貝が破片で出土している。

第8面面上出土遺物 (図58)

1~9はかわらけ。10は青磁鎬蓮弁文碗。11は白磁口元皿。12は白磁碗。13は青白磁小皿。14は瀬戸・卸皿。15は瀬戸・入子。16は常滑片口鉢II類。17~19は常滑甕。20・21は瓦器碗。22~25は箸状木製品。その他に手づくね・青磁折腰鉢・青磁、器種不明・青白磁梅瓶・常滑片口鉢I類・常滑壺・女瓦・漆器、器種不明・木製品折敷・棒状木製品が破片で出土している。

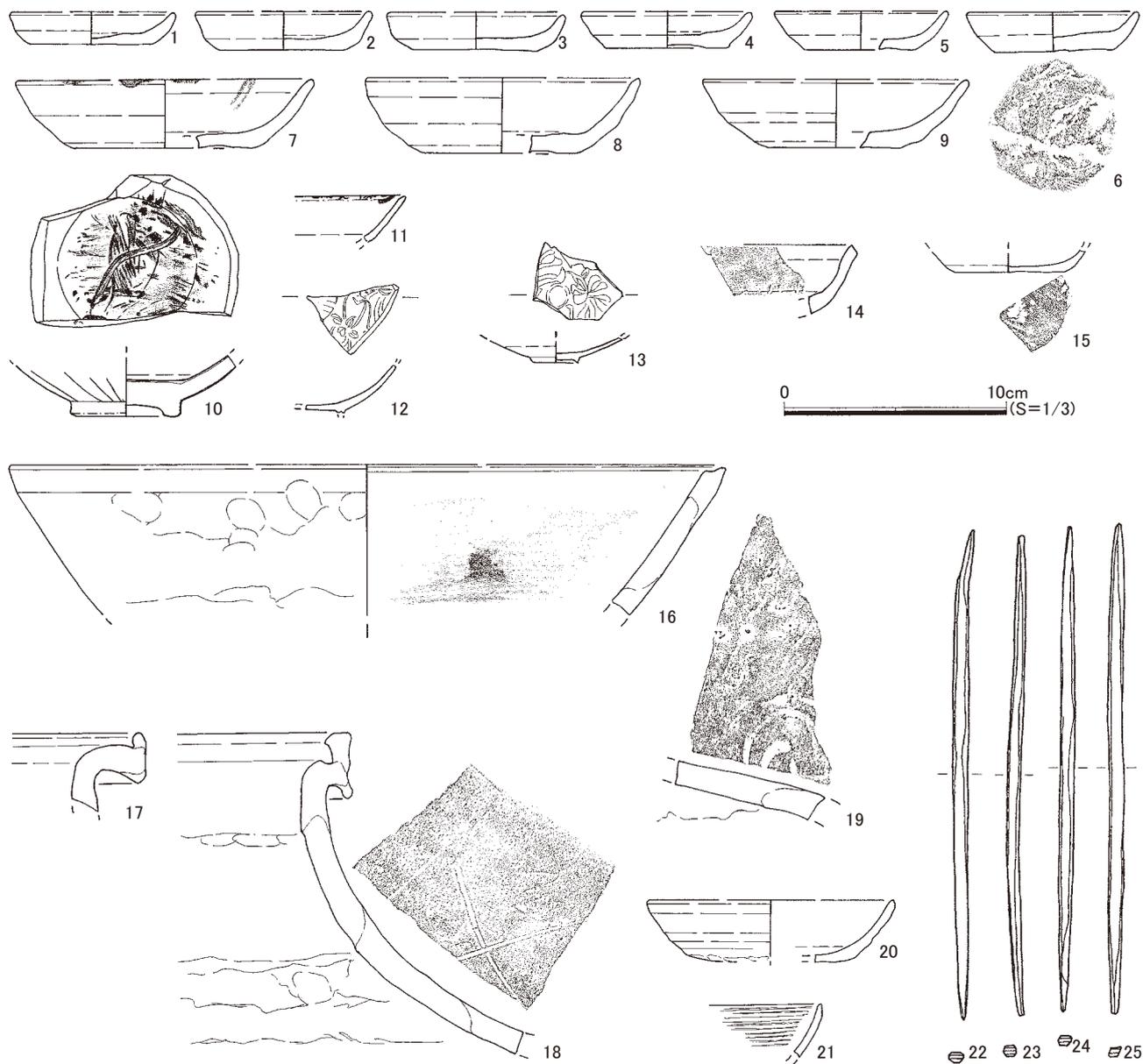


図58 第8面. 面上出土遺物

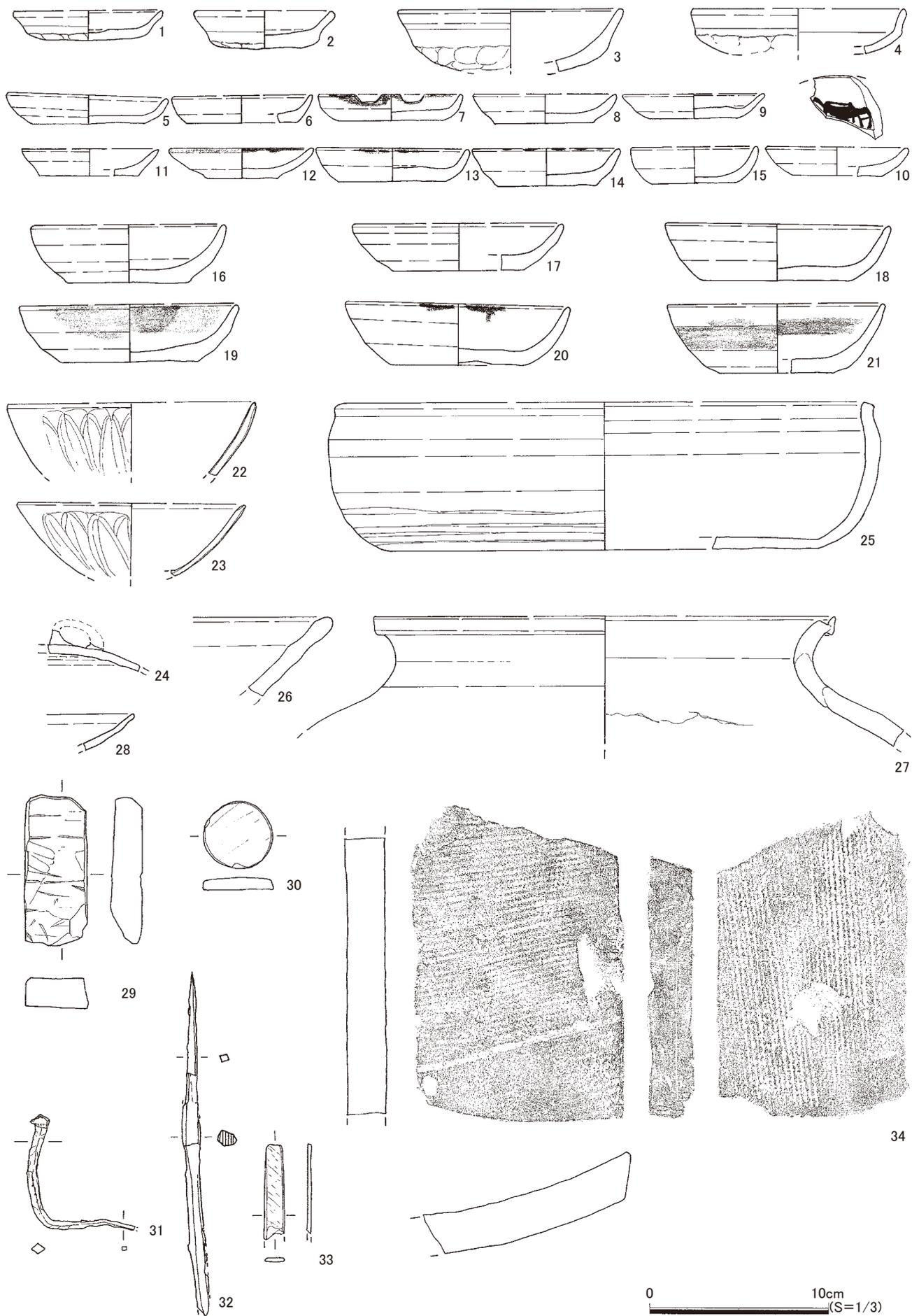


図59 第8面. 構成土出土遺物(1)

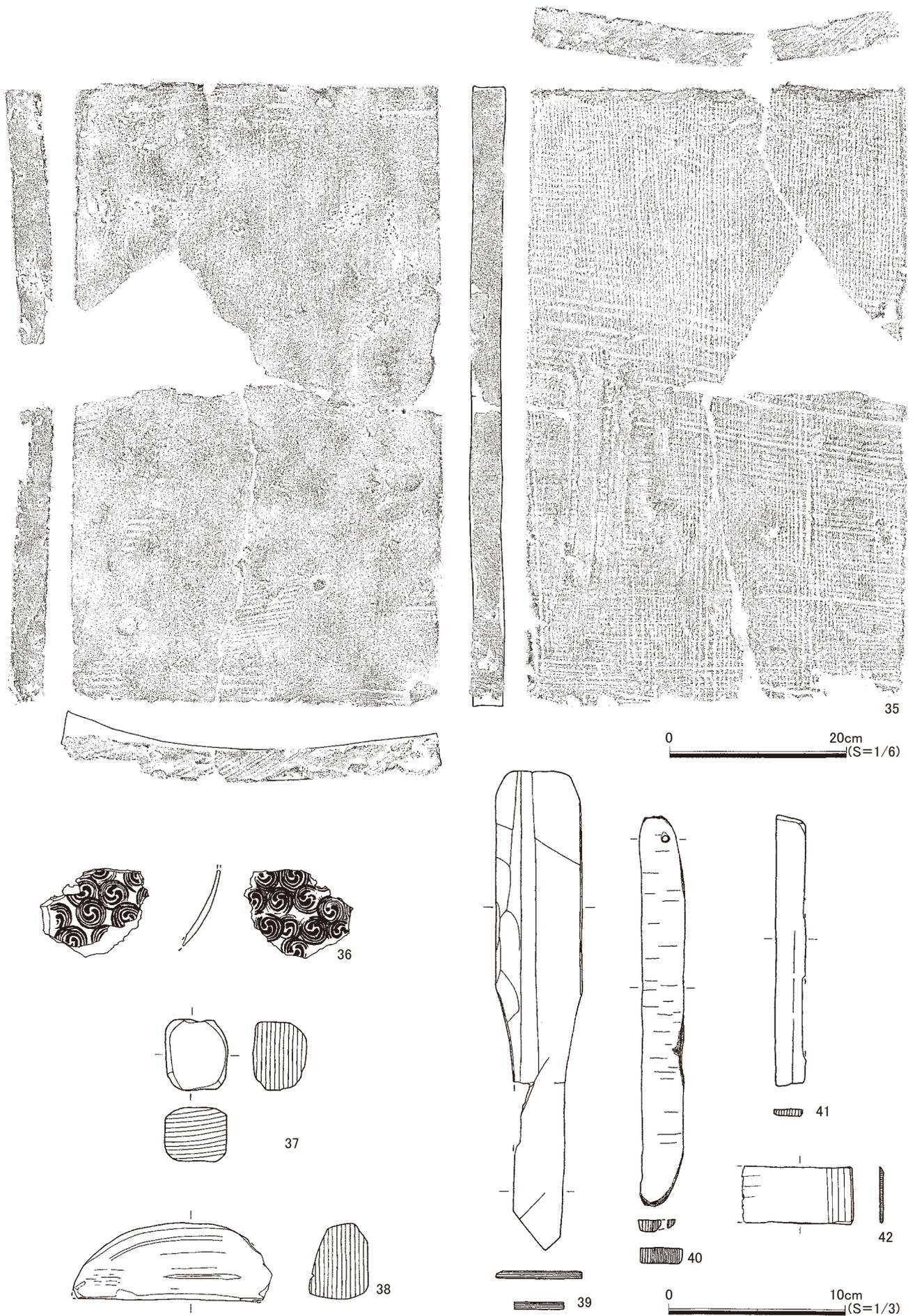
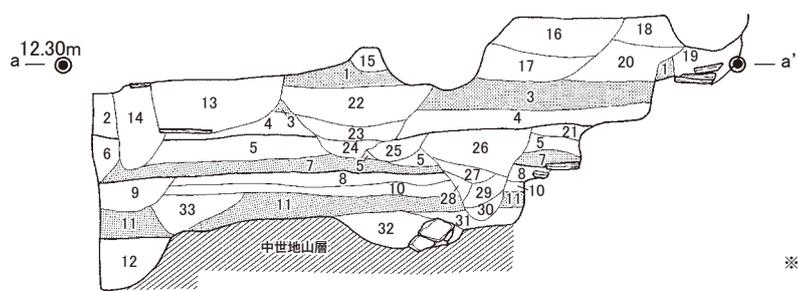
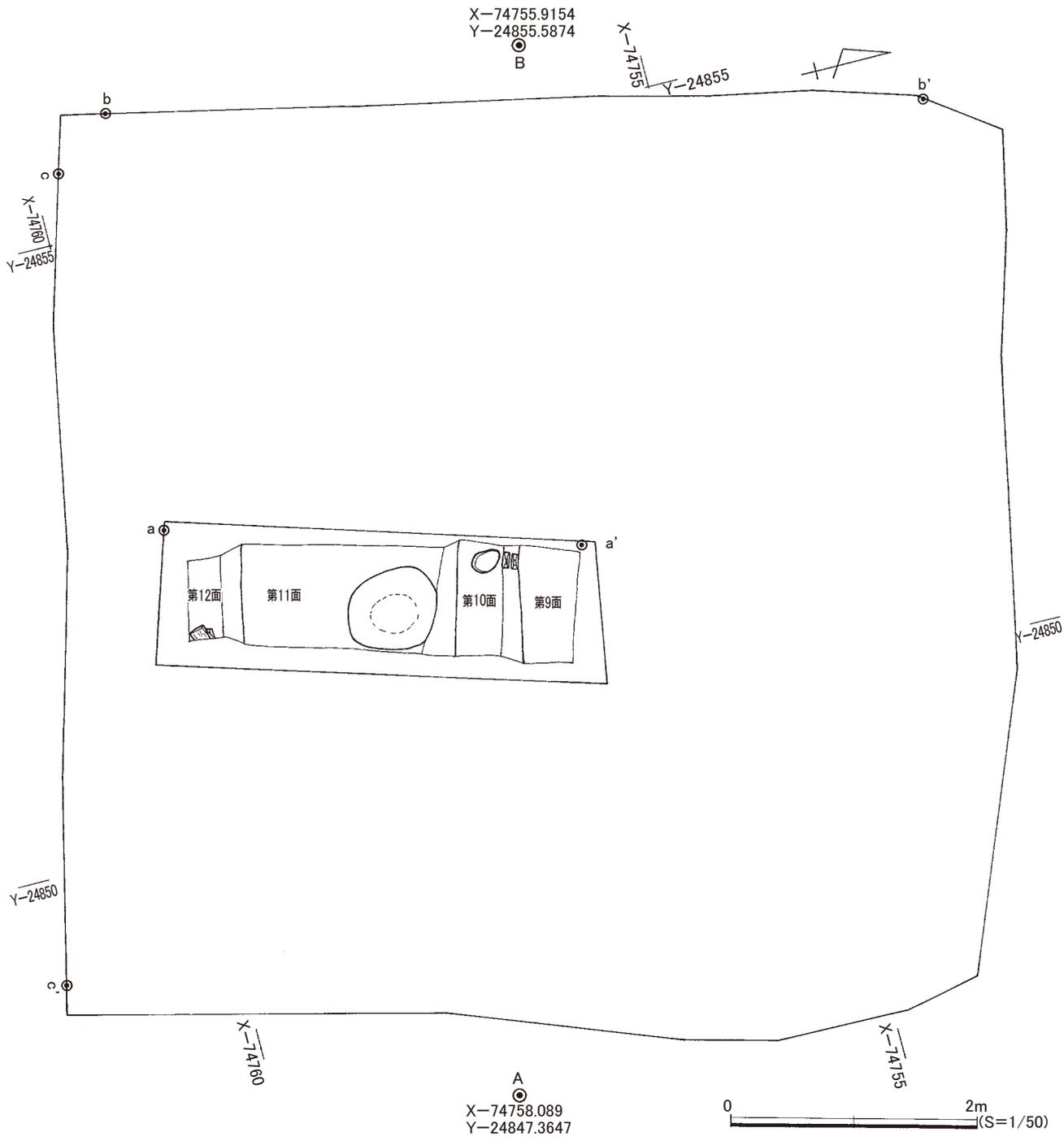


图60 第8面. 構成土出土遺物(2)



※土層注記は92ページに記載

〈トレンチ 西壁セクション図〉



図61 最終トレンチ

第8面構成土出土遺物(図59・図60)

1～21はかわらけ。22・23は青磁鎬蓮弁文碗。24は産地不明、壺。25は瀬戸洗。26は常滑片口鉢Ⅰ類。27は常滑甕。28は灰釉皿。29は石製品砥石。30はかわらけ転用品、円盤。31は鉄製品釘。32は鉄製品錐、木部遺存。33は骨製品筭。34は女瓦。35は熨斗瓦。36は漆器椀。37～41は木製品。37は毬杖の玉か。38は手押木。39は杓子。40～41は用途不明。42は漆製品部材。その他に手づくね・手づくね成形の白かわらけ・青白磁梅瓶・褐釉壺・瓦器碗・鉄製品釘・貝が破片で出土している。

9. 最終トレンチ(図61～図63)

第8面までの調査終了後、調査区中央付近に約300cm×100cmのトレンチを設定し、第8面下層～中世地山までの間に4期の泥岩細片を版築した地業層があることを確認し、それぞれを第9面～第12面として分け遺物の採集を行った。また、調査員・作業員の安全確保のため、確認した各面を平面的に掘り下げることとは出来ず、南に向かって階段状に掘り下げ各面を確認している。

第9面は泥岩細片を多く含む地業層を検出したが、遺構の発見は出来なかった。第10面は礎板・礎石を発見し、ピットなどの遺構があったことが考えられる。第11面は掘り下げて調査することは出来なかったが、約60cm径の円形を呈する土坑プランを確認している。第12面は遺構底部に礎板が遺存するピットを確認した。

第9面構成土出土遺物(図61・図62)

1～6は手づくね。7～14はかわらけ。15は瀬戸壺。16は常滑片口鉢Ⅰ類。17～19は常滑甕。20は渥美甕。21は木製品鞘。22は木製品杓子。その他に青磁鎬蓮弁文碗・瀬戸入子・瀬戸折縁深皿・山茶碗・瓦器碗・漆器、器種不明・木製品部材・棒状木製品・貝が破片で出土している。

第10面構成土(図61・図62・図63)

23～36は手づくね。37～43はかわらけ。44は常滑片口鉢Ⅰ類。45は渥美甕。46は瓦器碗。47は手づくね転用品、円盤。48は女瓦。その他に瀬戸卸皿・渥美壺・常滑甕・木製品曲物底板・獣骨が破片で出土している。

第11面構成土(図61・図63)

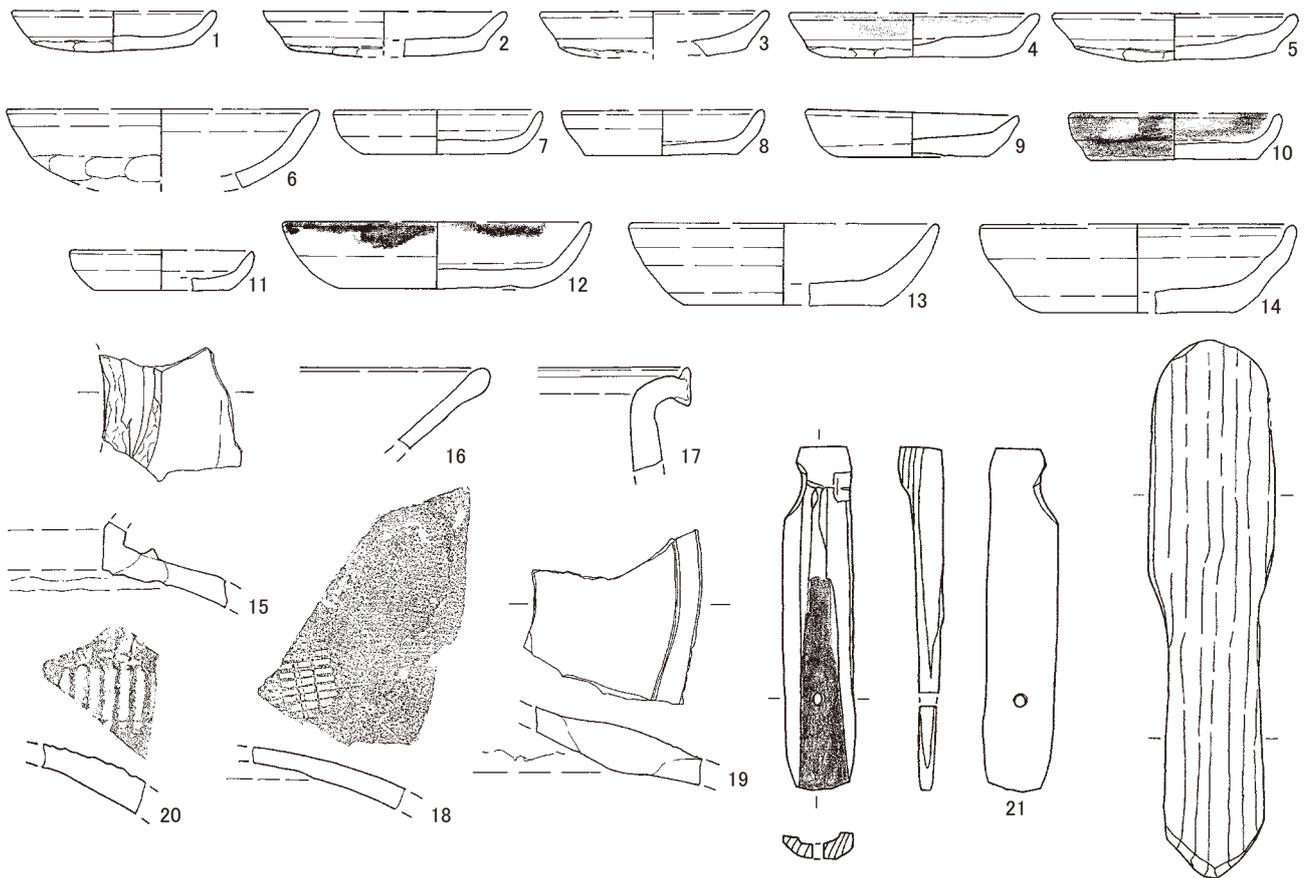
49～52は手づくね。53は白磁四耳壺。その他にかわらけ・渥美甕・常滑片口鉢Ⅰ類・箸状木製品・木製品曲物底板が破片で出土している。

第12面構成土(図61・図63)

54・55は手づくね。56はかわらけ。57は女瓦。その他に渥美甕・常滑片口鉢Ⅱ類・常滑甕・土師器甕・貝が破片で出土している。

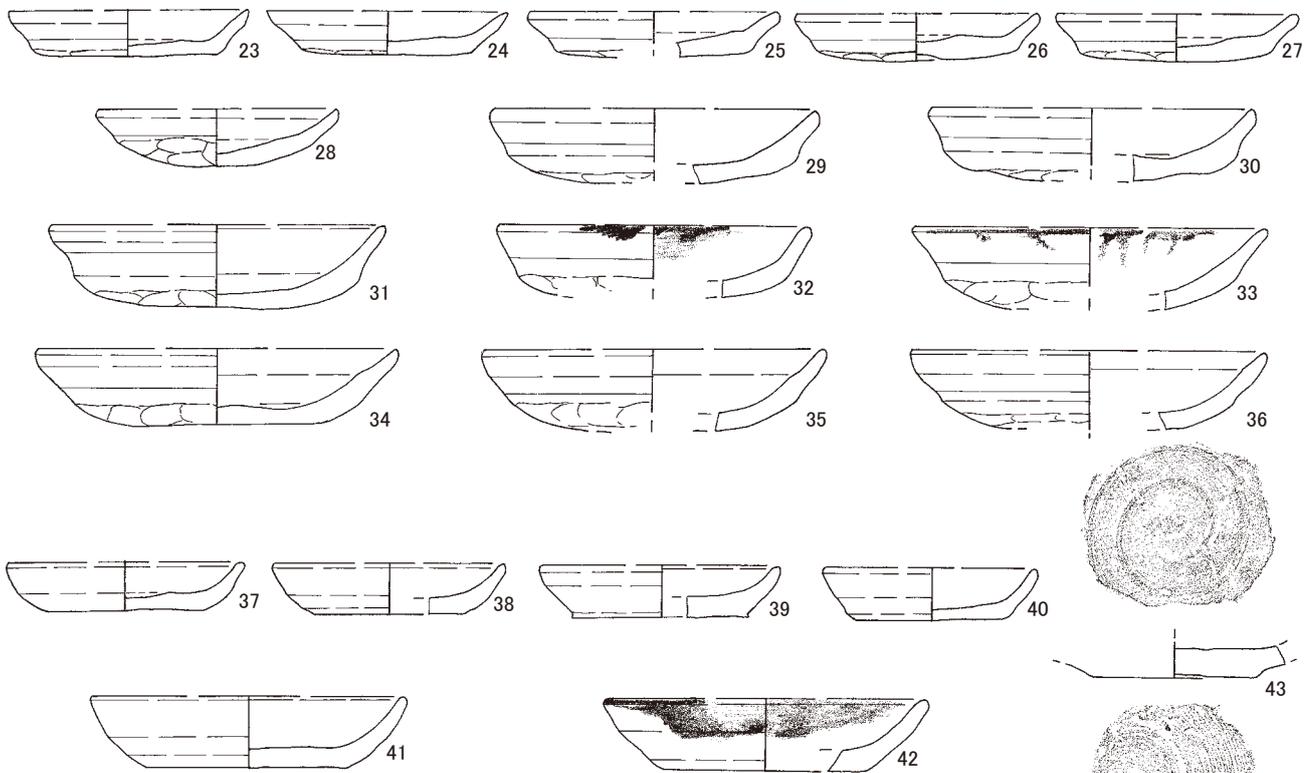
表土採集遺物(図63)

58～64はかわらけ。65は白磁碗。66は青白磁梅瓶蓋。67は青白磁合子蓋。68は瀬戸折縁深皿。69は常滑片口鉢Ⅱ類。70・71は備前播鉢。72は石製品砥石。73は鉄製品鍵か。74・75は銭。



〈第9面構成土〉

0 10cm (S=1/3)



〈第10面構成土〉 (1)

图62 第9面・第10面構成土出土遺物 (1)

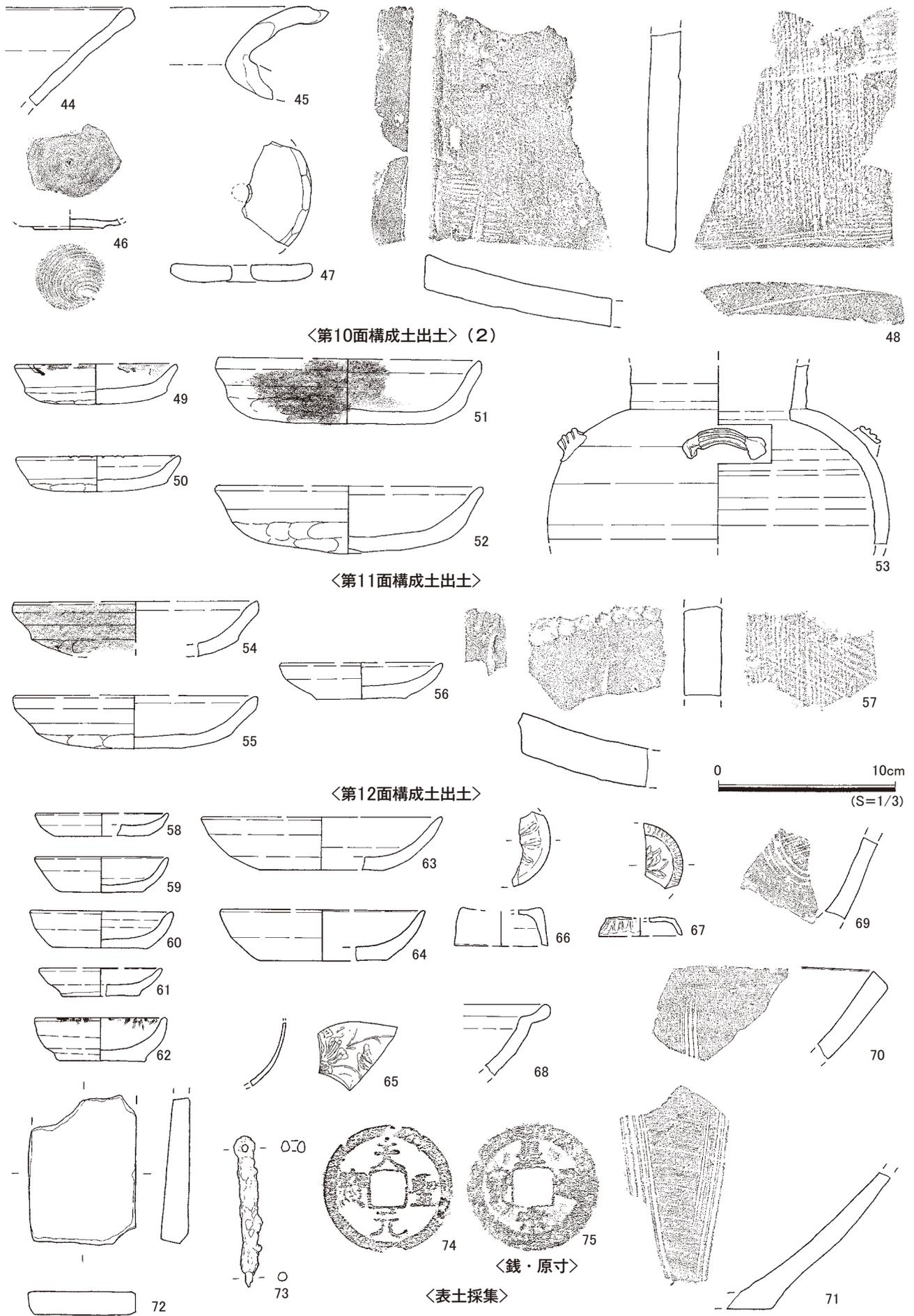


図63 第10面・第11面・第12面構成土出土遺物・表土採集遺物

最終トレンチ・土層注記		
1	泥岩地業層	泥岩細片を多く含む・炭化物・堅く締まる
2	暗灰色弱粘質土	泥岩粒・泥岩・暗褐色有機質土を含む・粘性あり
3	泥岩地業層	泥岩・泥岩細片
4	炭化物層	泥岩粒微量
5	灰色砂質土	泥岩粒・炭化物・締まりあり
6	暗灰色弱粘質土	泥岩少量・炭化物・暗褐色有機質土
7	泥岩地業層	泥岩粒・泥岩細片・褐色砂質土
8	暗灰色弱粘質土	泥岩・貝砂
9	暗灰色弱粘質土	泥岩・泥岩粒・炭化物
10	暗茶灰色弱粘質土	炭化物・暗褐色有機質土
11	泥岩地業層	泥岩・泥岩細片・炭化物
12	灰色弱粘質土	泥岩・貝砂・暗褐色有機質土・灰褐色砂質土
13	暗灰色弱粘質土	泥岩・泥岩粒・貝砂
14	暗灰色弱粘質土	泥岩粒・泥岩細片
15	暗灰色弱粘質土	泥岩・貝砂
16	暗灰色弱粘質土	泥岩・貝砂・暗褐色有機質土・灰褐色砂質土
17	暗灰色弱粘質土	泥岩・泥岩粒・貝砂
18	暗灰色弱粘質土	泥岩・貝砂・暗褐色有機質土
19	暗灰色弱粘質土	泥岩・泥岩粒・貝砂・暗褐色有機質土
20	暗灰色弱粘質土	泥岩・暗褐色有機質土・炭化物
21	炭化物層	暗褐色有機質土
22	暗灰色弱粘質土	泥岩・泥岩粒・貝砂
23	暗褐色有機質土	炭化物・暗褐色有機質土
24	暗灰色弱粘質土	泥岩・暗褐色有機質土
25	暗灰色弱粘質土	泥岩・暗褐色有機質土
26	灰色弱粘質土	泥岩・泥岩粒
27	暗褐色有機質土	貝砂
28	茶灰色弱粘質土	暗褐色弱粘質土・貝砂
29	暗褐色弱粘質土	泥岩・泥岩粒・暗褐色有機質土
30	暗灰色弱粘質土	炭化物・暗褐色有機質土
31	暗灰色弱粘質土	泥岩・泥岩粒・貝砂
32	暗褐色弱粘質土	泥岩・貝砂
33	暗灰色弱粘質土	泥岩・泥岩粒・貝砂

第三章 まとめ

本調査地一帯は源頼朝が大倉の地に開いた御所の西門辺りに位置することから「西御門」と称される。調査地は細く奥深い谷戸の開口部に位置し、この谷戸一帯には現存する来迎寺の他に多くの廃寺の存在が知られ、三浦義村以来の三浦氏の屋敷以下有力御家人の居館があった地といわれている。調査地南に所在する現在の横浜国立大学付属小学校の敷地辺りには13世紀初頭には北条義時の奥州当時館があったと推定され、南西には鶴岡八幡宮、調査地南に接する道路を西に向かうと大臣山を背に抱える保寿院跡、東に向かうと源頼朝墳墓堂であった法華堂と、源頼朝が新亭を構えた大倉の御所がある。神奈川県遺跡台帳によると「大倉幕府跡」は、調査地東に接する南北に走る道路を西限の境としているが、本来「大倉(御所)」の西限は、調査地の南方で東西に走る県道金沢鎌倉線の筋違橋交差点と、調査地西に接する道路を結んだ線であったと考えられる。現在この道は神奈川師範学校(現横浜国立大学付属小学校)設立に伴い分断され現存していない。本調査地は「大倉(御所)」の北限と西限の角地に隣接し、治承四年(1180)10月、鎌倉の地に入った源頼朝が大倉に構えた御所を、若宮大路東の宇都宮辻子に移転(嘉禄元年1225年)するまでの約100年の間、調査地を含む周辺は鎌倉幕府にとって重要な地域であったと考えられる

以下、発見した遺構・遺物について簡単なまとめを行いたい。

1. 検出した遺構と遺物

本報告で第1面から第12面に分けて示した遺構面を、出土した遺物の年代観および、遺構の構築状況から6期に分けた。第8面より下層は調査区内での廃土処理が困難となったために、調査の安全を考慮しトレンチ壁面での土層堆積を観察し地業層を確認している。本調査で出土した遺物は整理箱数にして計59箱、内15箱が木製品であった。

1期は第1面が相当する。

第1面で検出した遺構は、少なくとも3時期の遺構が切り合っていたことや、現代埋土によって壊されているものも多くあったため、調査区全面で発見した多くのピットの数に比して建物址を想定することができなかった。検出したピットのいくつかは礎板を有し、遺構覆土に木質痕と考える有機質土が堆積していたことから、短期間に作り替えられた建物址が複数存在していたと思われる。また、発見した遺物は遺構数に比して出土量が少ない。出土遺物の大半は破片の為に実測できなかったが、かわらけ・手づくね・舶載磁器・国産陶器・瓦器・火鉢・瓦・石製品・鉄製品・鋳型・銭と多種の中世遺物が出土している。1期は出土遺物の観察から概ね15世紀代の年代を与えている。

2期は第2面が相当する。

検出した遺構は2時期に切り合っている。調査区の北側約1/2と、調査区西側で検出した南北に走る溝を挟んだ西側に破碎泥岩を固く敷き詰めた地業を検出した。北側の地業は意図的に掘り下げた後、破碎泥岩を含む土を埋め戻して版築しており珍しい例である。また、地業中央には平面的にかかわらが集中して発見され(遺構231)、そのやや東にはかわらけを遺構覆土内に多く混入する土坑(遺構230)を検出している。どちらも地業の一環による集中廃棄であった可能性もあるが、地鎮等の意図を持って埋納したのかもしれない。泥岩細片による地業が途切れる南側約1/2は、泥岩粒を含む茶褐色粘質土上で土坑・

ピットを複数検出した。検出したピットには柱痕と考えられる褐色有機質土が堆積した覆土が残るもの
がいくつか見られ、地業の南側に建物址の存在を推定できる。調査区西側に南北に延びる溝は、区画の
溝であったと考え調査区西側にも堅く締まった版築に伴う遺構が延びていたと思われる。発見した遺物
の出土量は多く調査区辺での活発な営みを感じさせ、調査区北側で検出した遺構230・遺構231から出
土したかわらけは大・中・小の器形に分化しており、この期を特徴づけるが、その他の出土遺物を観察
すると、14世紀初頭から15世紀初頭に至るまでの遺物が混在しており年代を細分することができなかつ
た。2期は出土遺物の観察から概ね14世紀代の年代が与えられる。

3期は第3面・第4面・第5面が相当する。

第3面は4時期の生活面が切り合って発見された。2期・第2面と同様に調査区の北側1/2に固く締まっ
た地業を検出している。しかし、地業覆土は破碎泥岩とともに不整形な大型の泥岩を多く含み、やや雑
な地業の様相を呈していた。地業の境になる西側と南側に溝状の土坑（遺構286・354）を検出し、区画
の為の遺構を想定して調査を進めたが、狭小な面積内での検出のため判断できなかった。また、調査区
全体に多くのピットを発見したが、調査区外に遺構が延びており建物址を想定することは出来なかった。
しかし、南側の溝状土坑に切られる形で検出した方形の土坑（遺構337）は、遺構周囲をやや不整形な泥岩、
砂質凝灰岩で囲み、遺構覆土には多量の炭化物・炭を含み、竈であった可能性を考えており、建物址を
含む生活痕が存在していたと考えている。

第4面は3時期の生活面が切り合って発見された。調査区の北側1/2に泥岩による地業を検出したが、
不整形な泥岩を多く含み第3面で検出した地業よりも粗い様相を呈する。また、不整形な泥岩を調査
区全体で検出し、北側1/2の地業部分と、南側1/2の境が曖昧である。地業層上で検出した土坑（遺構
424）は報告書に掲載したかわらけの数量は少ないが、破片で（大）93・（中）1・（小）25個を遺構覆土内
に含んでおり、かわらけ集中廃棄の様相を呈していた。

第5面は破碎泥岩による地業が調査区全体に広がり地業範囲が曖昧となる。また、上層で検出した地
業に比べて大型の不整形な泥岩で雑に地業した印象を受ける。検出した遺構も平面的には大型だが深さ
の浅い土坑が中心であり、生活面というより地業の途中層であったかもしれない。調査区のやや中央、
南北に意図的に細かく砕いた泥岩による地業を検出し、当初道路遺構を想定して調査をおこなったが、
調査区外に遺構が延びているかは調査区壁の堆積状況からも確認できず不明となった。

3期は北側1/2は破碎泥岩を使い堅く締まった地業を行い、南側1/2と土地利用を区別していると思わ
れる。第3面検出層から第5面構成土下層まで堆積層は約50cmと厚く堆積し、調査区内だけで判断する
ことは危ういが、短期間に調査地を含む周辺で破碎泥岩を多用した造成が繰り返された様子が窺える。
3期は出土遺物の観察から14世紀前半の年代が与えられる。

4期は第6面・第7面が相当する。

第6面は3時期の生活面が切り合って発見された。部分的に破碎泥岩による粗い地業が残るが、地業
範囲等は曖昧であり上層の地業堆積層が残って検出された可能性もある。遺構検出面は北側1/2がやや
高くなり、南側に対して緩やかな段差を持つ。段差の境界に東西に延びる溝状の遺構（遺構460）を検
出したが、遺構の西は調査区外に延び、東は調査区中央付近で完結し、遺構の規模・性格などは不明と
なった。北側壇上には中央に柱穴と考えるピットを伴う土坑を2基（遺構445・遺構457）検出している。
いずれも調査区外に遺構が延びており建物址の規模は不明ではあるが、大型の建物址の存在をうかがわ

せる。また、北側1/2で検出した遺構の覆土からは、炭化物・炭を多く含む事を確認している。

第7面は4時期の生活面が切り合って発見された。範囲はあいまいだが、調査区北東隅にわずかに破碎泥岩を用いた地業の痕跡が残る。また、調査区中央で部分的に残る地業を含めて南北に分断する形で、東西方向で調査区外に延びる溝（遺構480）を検出した。溝底面のレベルに高低差がなく流下方向は不明である。溝は幅55～68cm、深さ15～20cmの規模で検出し、溝北側には側壁の板材、縦板・横板が遺存していた。溝によって分断された北側には礎板を伴う柱穴を持つ建物址を確認したが、遺構の大半は調査区外に延びてしまっているために、確認できたのは1間×2間だけである。その建物址に切られる形で、ほぼ1個体の常滑甕を据えた土坑（遺構533）も合わせて検出している。検出した甕の底部下には礎板状の板材が下材として敷かれていた。南側でも、礎板を伴うピットを数穴検出したが建物址を想定することができなかった。湧水処理の為に調査区四周に設けた側溝の内、西側側溝で南北に並ぶ角柱を部分的に検出した。側溝覆土には有機質土、木片を多く含んでいたことを確認し、側溝内での部分的な検出ではあるが柱は南北に並ぶ様子を呈しており、南北に延びる溝状の遺構が調査区外に延びていたと考えている。出土遺物の内、外面に黒色系漆を髹漆した丁寧な造りの曲げ物（図50-85）は棗等のやや良品の容器であったと思われる、調査地あるいは周辺の暮らしぶりを想像させる遺物である。4期で出土したかわらけは大・小、二種類の器形以外に、少量ではあるが大あるいは小に分類できない器形（法量）のかわらけが出土しており、かわらけの器形が大・中・小に分化し始める期である。4期は14世紀初頭の年代を与えられる。

5期は第8面が相当する。

第8面は本文中で触れたように、調査に伴う廃土処理の都合から調査区を約半分にして調査している。第8面は3時期の生活面が切り合って発見された。調査区の北側1/2は破碎泥岩による地業がなされ、南側1/2と区画を分けている。この調査区内を二分する区画は5期～2期まで継承されていたことが分かった。調査区西側に、遺構の大半が調査区外に延びてしまっていたが、溝状の遺構を検出している。この西側を溝で区画する土地利用も、地業と同様に5期～2期まで継承されていたようである。狭い面積での調査ではあったが、多くの礎板を遺構底面に伴う遺構を検出している。調査区北側で検出した土坑（遺構558）は、部分的にしか遺存していなかったが、黒色の石によって遺構周囲を縁取り、覆土には褐色有機質土と籌木状の棒状木製品を多く含み、覆土の花粉分析（後述）の結果からも便所遺構だったと考えられる。5期は出土遺物の観察から13世紀後半の年代を与えられる。

6期は第8面調査終了後にトレンチを設定し、トレンチの壁面の堆積土層で確認した第9面～第12面の生活層である。湧水が激しく脆弱な地層であったために平面的にトレンチを掘り下げることができず、階段状に堆積層を確認したため調査面積、採集遺物も僅かであり、遺構・遺物から年代を推定することは困難である。しかし、第9面構成土からは破片も含めて手づくねかわらけの出土量が増加する傾向が見え、その他の出土遺物からは13世紀初頭の年代を示す遺物が出土している。調査面積を広げて平面的に確認することができれば時代を細分することができたかもしれないと残念な思いが残る。6期は出土遺物から13世紀前半から半ばの年代を与えられる。

2. まとめ

限られた面積内での調査では、調査地を含む周辺の様相を細かくとらえることは難しいが、6期にわたる生活層から、遅くとも13世紀前半から15世紀初頭に至るまで、繰り返し破碎泥岩を用いた地業による造成が繰り返されていた様子が窺える。さらに、14世紀代までは調査区の北側1/2は破碎泥岩による地業をし、南側1/2と地業あるいは溝によって区画し、場の使い分けを行っていた様子が分かった。本調査地の東に位置する大倉幕府周辺の調査によって検出される柱穴は、御家人等の屋敷跡を推察できるような平面積が大きく深さもある柱穴を多く認めるが、本調査地点で検出された柱穴は、遺構底面に礎板が遺存するピット、土坑ともに平面積も小さく、浅いピットが大半であり、また、短期間に遺構が切り合っており、簡易な掘立柱建物を繰り返し作っていたと考えられ、屋敷地の主屋から外れた場所であったと考えられる。検出した遺構からは炭化物、あるいは炭が多く混入する覆土を確認し、焼痕の残る木材・製品を多く発見している。調査地近辺では、弘安三年(1280)・応仁四年(1296)・延慶三年(1310)・正和四年(1315)等の多くの火災記事が残されており、火災による影響を示唆しているのかもしれない。出土遺物では点数は少ないが天目茶碗や、棗とも思われる外面黒色漆を髹漆した上質な曲物が出土している。調査地の北側に延びる谷戸奥には廃寺となった寺院址を含め多くの寺院の存在が知られており、喫茶に関連する遺物として注目したい。

註・引用文献・参考文献

- ・「大倉幕府周辺遺跡群」 馬淵和雄 鎌倉市雪ノ下四丁目620番5地点 大倉幕府周辺遺跡群発掘調査団 1991年1月
- ・『鎌倉市史 考古編』 吉川弘文館 1967年
- ・『鎌倉廃寺事典』 (株)有隣堂 1980年
- ・『日本歴史地名大系 14』 平凡社 1984年
- ・以下、調査地近辺の火災記事(『吾妻鏡』より)
 - 「建久二年(1191)三月四日。小町大路あたりから出火した火で鶴岡八幡宮、幕府、北条義時亭などが焼失」
 - 「建保元年(1213)五月の和田合戦で和田義盛、朝夷名義秀が総門を破って乱入、一字残らず消失させている(同月二日の条)」
 - 「同年(1213)十二月二十四日に失火(大倉幕府内)」
 - 「仁治元年(1240)二月二十二日大地震」
 - 「弘安三年(1280)十月二十八日鎌倉大火(八幡宮消失)」
 - 「応仁四年(1296)・延慶三年(1310)・正和四年(1315)八幡宮消失」

出土遺物観察表

図版番号	No.	出土位置 出土層位	種別	口径/長さ	底径/幅	器高/厚さ	観察内容
8	1	第1面 遺構5	かわらけ	(12.90)	8.00	3.50	a:成形・調整 b:胎土・素地・材質 c:色調 d:釉調 e:焼成 f:遺存値 g:備考 a:ロクロ成形・外底回転系切・内底ナデの後見込み周囲をナデ b:微砂・赤色粒・黒色粒・土丹粒・ 海綿骨芯・雲母 c:橙色 e:良好 f:4/5
8	2		鉄製品 釘	5.70	0.30	0.50	g:遺存状態が悪く端部の形状不明両、断面長方形を呈する
8	3	第1面 遺構16	かわらけ	(13.20)	7.00	3.60	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・赤色粒・黒色粒・海綿骨芯・雲母 c: 黄橙色 e:良好 f:5/6
8	4		瀬戸 折縁深皿	-	-	-	b:白色粒・良土 c:黄灰色 d:灰緑色・刷毛塗り f:口縁部片 g:中期Ⅱ期?
8	5	第1面 遺構18	かわらけ	(6.80)	4.40	1.90	a:ロクロ成形・外底回転系切・内底ナデ b:微砂・赤色粒・黒色粒・海綿骨芯・雲母 c:灰黄色 e: 良好 f:1/2
8	6	第1面 遺構29	東幡系 鉢	-	-	-	a:輪積み技法 b:白色粒・暗灰色 c:暗灰色 f:口縁部片
8	7	第1面 遺構46	瓦器質 火鉢	-	-	-	b:白色粒・赤色粒 c:灰黒色 f:口縁部片 g:外面口縁部下に菊花文スタンプ・輪花型
8	8	第1面 遺構48	かわらけ	(7.80)	(5.20)	2.35	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・赤色粒・黒色粒・雲母・海綿骨芯 c: 橙色 e:良好 f:1/3 g:薄手の器壁
8	9	第1面 遺構59	かわらけ	7.70	6.00	1.80	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデの後見込み周囲をナデ b:微砂・赤色粒・黒色粒・雲母・海 綿骨芯 c:黄橙色 e:良好 f:7/8 g:見込み中央に穿孔
8	10	第1面 遺構60	常滑 片口鉢Ⅱ類	(31.20)	-	-	a:輪積み技法・内面ナデ丁寧 b:砂粒・白色粒・石英 c:赤灰色 e:良好・硬質 f:口縁部片 g: 8形式
8	11	第1面 遺構67	かわらけ	(7.80)	(4.70)	2.30	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底強く横ナデ b:微砂・赤色粒・黒色粒・海綿骨芯・雲母 c: 橙色 e:良好 f:1/3 g:やや薄手の器壁
8	12		かわらけ	(7.40)	(4.00)	2.28	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底横ナデ b:微砂・赤色粒・黒色粒・海綿骨芯・雲母 c: 黄橙色 e:良好 f:1/4
8	13	第1面 遺構70	かわらけ	(7.50)	(5.40)	1.70	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底横ナデ b:微砂・赤色粒・黒色粒・海綿骨芯・雲母 c: 橙色 e:良好 f:1/4
8	14		瓦器質 香炉	(7.80)	-	-	b:白色粒・粗土・灰色 c:黒色 e:素地の焼き締まり悪い f:口縁部片 g:口縁部下に剣頭文・連珠・ 菊花文(15弁)を施す
8	15	第1面 遺構74	かわらけ	7.70	4.90	1.85	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底強く横ナデ b:微砂・赤色粒・黒色粒・海綿骨芯・雲母 c: 黄橙色 e:良好 f:7/8
8	16	第1面 遺構75	かわらけ	(13.20)	(7.80)	3.20	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕 b:微砂・赤色粒・土丹粒・海綿骨芯・雲母・良土 c:橙色 e:良好 f:1/3
8	17	第1面 遺構77	かわらけ	(7.80)	(5.00)	1.80	a:ロクロ成形・外底回転系切 b:微砂・赤色粒・黒色粒・土丹粒・海綿骨芯・雲母 c:黄橙色 e: 良好 f:1/4 g:内底面に線刻
8	18	第1面 遺構86	渥美 壺	-	-	-	b:白色粒・黒色粒・灰黒色 c:灰色 e:良好・硬質 f:口縁部小片
8	19	第1面 遺構97	銭	径2.4	孔径0.5×0.5		f:完形 g:紹聖元寶・初鑄年1094年・北宋・篆書
8	20	第1面 遺構98	石製品 火打石	2.90	3.40	2.10	g:火を受けたか不透明な白色に変色
8	21	第1面遺構 99	かわらけ	(7.30)	(4.80)	2.20	a:ロクロ成形・外底回転系切・内底ナデ b:微砂・赤色粒・黒色粒・土丹粒・海綿骨芯・雲母 c:黄 橙色 e:良好 f:1/5 g:外底面黒色に変色
8	22		かわらけ	(10.90)	(6.10)	2.80	a:ロクロ成形・外底回転系切・内底強く横ナデ b:微砂・赤色粒・黒色粒・土丹粒・海綿骨芯・雲母 c: 橙色 e:良好 f:2/3
8	23	瀬戸 入子	入子	(5.30)	(3.60)	1.75	b:黒色粒・灰色・輪花型 f:1/5 g:内面微かに赤色素痕
8	24		常滑 甕	-	-	-	b:白色粒・長石粒・灰褐色 c:暗石褐色 d:自然降灰 f:口縁部片・緑帯幅5.9cm g:8形式
8	25	常滑 片口鉢Ⅱ類	-	-	-	b:微砂・白色粒・暗褐色 c:暗褐色 e:良好・硬質 f:口縁部小片 g:8形式	
8	26	瀬戸 片口鉢	-	-	-	b:白色粒・黒色粒・長石・灰色 c:灰色 e:良好・硬質 f:口縁部小片	
8	27	東幡系 鉢	-	-	-	b:白色粒・灰色 c:灰色 f:口縁部小片 g:東幡系	
8	28	第1面 遺構101	瓦器質 火鉢	-	-	-	b:砂粒・白色粒・黒色粒・雲母・石英・輝粒 c:黒褐色 g:内外面黒色処理
8	29	第1面 遺構107	かわらけ	(13.20)	(8.00)	3.30	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・赤色粒・黒色粒・海綿骨芯・雲母 c: 黄橙色 e:良好 f:1/4 g:内外面底部が黒色に変色、油煤痕か?
8	30	第1面 遺構108	かわらけ	(7.50)	5.70	1.85	a:ロクロ成形・外底回転系切・内底強く横ナデ b:微砂・赤色粒・黒色粒・土丹粒・海綿骨芯・雲母 c: 黄橙色 e:良好 f:1/2
8	31	第1面 遺構109	かわらけ	10.40	6.40	3.20	a:ロクロ成形・外底回転系切・内底横ナデ b:微砂・赤色粒・黒色粒・土丹粒・海綿骨芯・雲母 c: 黄橙色 e:良好 f:2/3 g:内外面共に底部から体部にかけて黒色に変色、油煤痕か?
8	32	第1面 遺構117	かわらけ	(8.30)	(6.10)	1.85	a:ロクロ成形・外底回転系切・内底ナデ b:微砂・赤色粒・黒色粒・海綿骨芯・雲母 c:黄橙色 e: 良好 f:1/3
8	33	かわらけ	(10.60)	(6.50)	3.05	a:ロクロ成形・外底回転系切・内底ナデ b:微砂・赤色粒・黒色粒・土丹粒・海綿骨芯・雲母 c:赤 橙色 e:良好 f:1/3	
8	34	第1面 遺構118	かわらけ	(7.20)	(4.90)	1.65	a:ロクロ成形・外底回転系切・内底ナデ b:微砂・赤色粒・黒色粒・海綿骨芯・雲母 c:橙色 e: 良好 f:1/5
8	35	第1面 遺構124	備前 播鉢	-	-	-	b:砂粒・白色粒・黒色粒・小石・赤灰色 c:赤褐色 e:良好・硬質 f:体部小片 g:8条の条線
8	36	第1面 遺構128	かわらけ	(13.20)	(7.00)	3.45	a:ロクロ成形・外底回転系切・内底ナデ b:微砂・赤色粒・黒色粒・海綿骨芯・雲母 c:橙色 e: 良好 f:1/3
8	37	第1面 遺構131	銭	径2.4	孔径0.8×0.75		g:熙寧元寶・北宋・1068年
8	38	第1面 遺構140	かわらけ	(12.20)	6.70	3.45	a:ロクロ成形・外底回転系切・内底ナデ b:微砂・赤色粒・黒色粒・土丹粒・海綿骨芯・雲母 c:橙 色 e:良好 f:1/3
8	39	第1面 遺構142	かわらけ	(7.60)	(5.60)	2.05	a:ロクロ成形・外底回転系切・内底ナデ b:微砂・赤色粒・黒色粒・海綿骨芯・雲母 c:橙色 e: 良好 f:1/4
8	40		渥美樂 転用品	2.60	4.20	-	b:白色粒・黒色粒・灰色 c:灰色 e:良好・硬質 f:口縁部小片 g:口縁部を砥面として利用
8	41	第1面 遺構143	瀬戸 袴腰型香炉	(14.60)	(8.00)	8.60	a:ロクロ成形・回転系切り・脚部貼り付け b:微砂 c:灰黄色 d:黒褐色を呈する鉄軸を厚くツケ掛け e: 良好 f:1/6・破片2 g:全体の火熱を受け釉だれが目立つ・外底部露胎、脚底部露胎、口縁部輪花型・側面 に蓮弁と花の印花文・中期Ⅱ～Ⅲ?
8	42		かわらけ	(6.80)	(3.60)	1.95	a:ロクロ成形・外底回転系切 b:微砂・赤色粒・黒色粒・海綿骨芯・雲母 c:橙色 e:良好 f:1/3
8	43	第1面 遺構144	かわらけ	(10.20)	7.00	2.40	a:ロクロ成形・外底回転系切・内底ナデ b:微砂・赤色粒・黒色粒・海綿骨芯・雲母 c:黄橙色 e: 良好 f:1/3
8	44	第1面 遺構149	かわらけ	(8.20)	(6.00)	1.95	a:ロクロ成形・外底回転系切・内底ナデ b:微砂・赤色粒・黒色粒・海綿骨芯・雲母 c:橙色 e: 良好 f:1/3
9	45	第1面 遺構152	かわらけ	9.60	6.60	2.90	a:ロクロ成形・外底回転系切・内底ナデ b:微砂・赤色粒・黒色粒・土丹粒・海綿骨芯・雲母 c:橙 色 e:良好 f:7/8

単位:cm/復元:()

図版番号	No.	出土位置 出土層位	種別	口径/長さ	底径/幅	器高/厚さ	観察内容
9	46	第1面 遺構152	瓦器質 火鉢	-	-	-	a: 成形・調整 b: 胎土・素地・材質 c: 色調 d: 釉調 e: 焼成 f: 遺存値 g: 備考 b: 砂粒・赤色粒・白色粒・小石 c: 茶褐色 f: 口縁部片 g: 菊花12弁・ミガキがかけられているが 方向は不明
9	47	第1面 遺構155	石製品 硯	3.70	2.25	(2.05)	g: 黒色粘板岩・鳴滝産・方硯
9	48	第1面 遺構160	かわらけ	(10.60)	(5.80)	2.65	a: ロクロ成形・外底回転糸切・内底ナデ b: 微砂・赤色粒・黒色粒・海綿骨芯・雲母 c: 橙色 e: 良好 f: 1/3 g: 口唇部に油煤痕
9	49	第1面 遺構165	瀬戸 香炉	-	-	-	b: 砂粒・白色粒・灰黄色 d: 暗褐色鉄釉を漬け掛け e: 良好 f: 口縁部破片
9	50	第1面 遺構167	石製品 砥石	(3.40)	3.00	(2.80)	g: 砂岩・長崎笹口産 g: 荒砥
9	51	第1面 遺構169	鉄製品 釘	4.15	0.30	0.25	-
9	52	第1面 遺構175	かわらけ	(12.40)	(7.00)	3.40	a: ロクロ成形・外底回転糸切・内底ナデ b: 微砂・赤色粒・黒色粒・土丹粒・海綿骨芯・雲母 c: 黄 橙色 e: 良好 f: 1/4
9	53		鉄製品 釘	5.00	0.40	0.35	-
9	54	第1面 遺構176	かわらけ	(11.80)	(6.60)	3.30	a: ロクロ成形・外底回転糸切・内底強く横ナデ b: 微砂・赤色粒・黒色粒・海綿骨芯・雲母 c: 黄橙 色 e: 良好 f: 1/3
9	55	第1面 面上	かわらけ	(8.60)	(5.80)	2.30	a: ロクロ成形・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ b: 微砂・赤色粒・黒色粒・土丹粒・粉質・良土 c 橙色 e: 良好 f: 1/4
9	56		瓦器質 火鉢	-	-	-	a: 輪積み技法 b: 白色粒・砂粒 c: 灰色 d: 黒色 e: 軟質 f: 口縁部片 g: 外側面二条の沈線の 間に珠文貼り付け・内外側面横方向の磨き
9	57	第1面 構成土	かわらけ	(7.60)	5.00	1.50	a: ロクロ成形・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ b: 微砂・雲母・赤色粒・白色粒・黒色粒・土丹粒・ 砂質・良土 c 橙色 e: 良好 f: 2/3
9	58		かわらけ	(7.40)	5.20	1.80	a: ロクロ成形・外底回転糸切・板状圧痕・内底強く横ナデ b: 微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・土丹粒・ 砂質・良土 c 淡橙色 e: 良好 f: 4/5
9	59		かわらけ	(7.00)	(4.20)	1.80	a: ロクロ成形・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ b: 微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・砂質・良土 c 橙色 e: 良好 f: 1/4
9	60		かわらけ	(8.20)	(5.20)	2.30	a: ロクロ成形・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ b: 微砂・赤色粒・黒色粒・海綿骨芯・砂質・良 土 c 淡橙色 e: 良好 f: 1/3
9	61		かわらけ	(11.60)	(7.00)	3.20	a: ロクロ成形・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ b: 微砂・赤色粒・黒色粒・白色粒・土丹粒・砂質・ 良土 c 橙色 e: 良好 f: 1/4 g: 口唇部に油煤痕
9	62		常滑 片口鉢Ⅰ類	-	-	-	a: 輪積み技法 b: 雲母・白色粒・小石・灰色 c: 灰色 f: 口縁部片 g: 6a形式
9	63		常滑 片口鉢Ⅱ類	-	-	-	a: 輪積み技法 b: 砂粒・白色粒 c: 暗褐色 d: 暗褐色 e: 硬質・精良 f: 口縁部片 g: 8形式
9	64		常滑 片口鉢Ⅱ類	-	-	-	a: 輪積み技法 b: 砂粒・白色粒 c: 灰色 d: 灰色 e: 硬質・精良 f: 口縁部片 g: 10形式
9	65		常滑 片口鉢Ⅱ類	-	-	-	a: 輪積み技法 b: 砂粒・白色粒 c: 暗灰色 d: 暗褐色 e: 硬質・精良 f: 口縁部片 g: 内面器壁が剥離・ 10形式
9	66		東幡系 鉢	-	-	-	a: 輪積み技法 b: 砂粒・白色粒 c: 暗灰色 d: 暗灰色 e: 硬質 f: 口縁部片 g: 内外面回転整形・ 内面摩耗
9	67		東幡系 鉢	-	-	-	a: 輪積み技法 b: 砂粒・白色粒 c: 暗灰色 d: 暗灰色 e: 硬質 f: 口縁部片 g: 口縁部のみ降灰 により黒色に変色
9	68		土器質 火鉢	-	-	-	a: 輪積み技法 b: 白色粒・砂粒・黒色粒 c: 灰褐色 d: 黄褐色 e: 軟質 f: 口縁部片 g: 外面縦 方向に鑿状工具による整形・内面ナデ痕
9	69		土器質 火鉢	-	-	-	a: 輪積み技法 b: 白色粒・砂粒・小石粒 c: 黄褐色 d: 黄褐色 e: 軟質 f: 口縁部片 g: 内外面 ともに器壁が剥離
9	70		石製品 砥石	-	-	-	上野産・中砥・側面切り出し痕・裏表両面砥面として使用か?
13	1	第2面 遺構185	瓦器質 火鉢	-	-	10.95	b: 砂粒・白色粒・雲母 c: 黒茶褐色 f: 口縁部～底部 g: Ⅲ類・輪花型・足付くが遺存せず・内外 面縦方位のへら磨き・外面黒色処理
13	2	第2面 遺構187	瓦器質 火鉢	-	-	10.70	a: 内面下部ヨコナデ・内面工具によるミガキ b: 砂粒・白色粒・雲母 c: 黒茶褐色 f: 口縁部～底部 g: Ⅲ類・外面黒色処理・16弁の菊花文スタンプ
13	3	第2面 遺構199	備前 播鉢	-	-	-	b: 砂粒・白色粒・黒色粒・小石・灰色 c: 茶褐色 e: 良好・硬質 f: 体部小片 g: 12条の条線
13	4	第2面 遺構207	瀬戸 折縁深皿	-	-	-	a: ロクロ成形 b: 砂粒を多く含む c: 灰白色 d: 灰白緑色 e: 良好 f: 口縁部片 g: 刷毛塗り・中期Ⅲ? f: 1/4 g: 景祐元寶 初鑄年1034 北宋篆書
13	5		銭	-	-	-	
13	6	第2面 遺構211	かわらけ	7.70	5.80	1.70	a: ロクロ成形・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデなし b: 微砂・雲母・赤色粒・土丹粒・砂質・やや 粗土 c: 黄褐色 e: 良好 f: 1/2
13	7	第2面 遺構215	かわらけ	(8.00)	(6.50)	1.50	a: ロクロ成形・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデの後見込み周囲を強くナデ b: 微砂・雲母・赤色粒・ 黒色粒・土丹粒・砂質・やや粗土 c: 橙色 e: 良好 f: 1/4
13	8		かわらけ	(8.00)	(5.40)	1.80	a: ロクロ成形・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ b: 微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨芯・土丹粒・ 砂質・やや粗土 c: 黄褐色 e: 良好 f: 1/3
13	9		かわらけ	(7.20)	(5.00)	1.80	a: ロクロ成形・外底回転糸切・板状圧痕・内底面ナデ b: 微砂多・雲母・赤色粒・海綿骨芯・土丹粒・ 砂質・粗土 c: 淡褐色 e: 良好 f: 1/4
13	10		かわらけ	(7.70)	(6.00)	2.00	a: ロクロ成形・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ b: 微砂多・赤色粒・黒色粒・土丹粒・礫・粉質・ 粗土 c: 黄褐色 e: 良好 f: 1/3
13	11		瀬戸 折縁深皿	-	-	-	a: ロクロ成形 b: 白色粒 c: 黄灰色 d: 淡黄色・刷毛塗り e: 良好 g: 中期前半?・二次焼成に よる釉剥離あり
13	12		常滑 甕	-	-	-	a: 輪積み技法 b: 長石・石英・小石粒 c: 灰黒色 d: 灰黒色 e: 良好・硬質 f: 口縁部片 g: 6a ～6b形式
13	13		常滑 甕	-	-	-	a: 輪積み技法 b: 長石・石英・小石粒 c: 灰黒色 d: 茶褐色 e: 良好・硬質 f: 口縁部片 g: 6b 形式
13	14		常滑 甕	-	-	-	a: 輪積み技法 b: 長石・石英・小石粒 c: 灰黒色 e: 良好・硬質 f: 口縁部片 g: 7～8形式
13	15		常滑 片口鉢Ⅱ類	-	-	-	a: 輪積み技法 b: 長石粒・黒色粒・小石粒 c: 灰褐色 d: 灰褐色 e: 硬質 f: 口縁部片
13	16	第2面 遺構219	かわらけ	(7.4)	(4.80)	1.60	a: ロクロ成形・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ b: 微砂・赤色粒・白色粒・雲母・海綿骨芯・ 土丹粒を多く含む c: 淡褐色 e: 良好 f: 1/3
13	17		瀬戸 卸皿	-	-	-	a: ロクロ成形 b: 微砂・良土 c: 黄灰白色 d: 灰緑色・刷毛塗り f: 注口部片 g: 二次焼成に よる釉剥離あり
13	18		常滑 片口鉢Ⅱ類	-	-	-	a: 輪積み技法 b: 微砂・長石・石英・白色粒・小石粒 c: 灰褐色 d: 灰褐色 e: 硬質 f: 口縁部片 g: 7～8形式・内側面磨減痕
13	19	第2面 遺構222	瓦器質 香炉	(10.80)	-	-	b: 微砂・雲母・白色粒を含む良土 c: 灰色 d: 炭素吸着の黒色処理・不明ながらも磨きが施される e: 良好・硬質 f: 口縁部～体部片・1/4 g: 外側面口縁下に沈着2本+大小の菊花スタンプ(花卉数共 に12弁)+小型連珠貼り付け痕
13	20	第2面 遺構223	かわらけ	(8.00)	(5.20)	2.10	a: ロクロ成形・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ b: 微砂・土丹粒を多く含む c: 灰褐色 e: 良好 f: 1/4 g: 二次焼成の為か、断面に至るまで黒色に変色・内面やや磨減

単位: cm/復元: ()

図版 番号	No.	出土位置 出土層位	種別	口径/長さ	底径/幅	器高/厚さ	観察内容
13	21	第2面 遺構226	かわらけ	(13.40)	(8.20)	3.50	a:成形・調整 b:胎土・素地・材質 c:色調 d:釉調 e:焼成 f:遺存値 g:備考 a:ロクロ成形・外底回転糸切り・板状圧痕・内底強く横ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・海綿骨芯・土丹粒・粉質・良土 c:橙色 e:良好 f:2/3
13	22	第2面 遺構229	かわらけ	7.20	5.30	1.50	a:ロクロ成形・外底回転糸切り・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・白色粒・海綿骨芯・粉質 c:淡黄橙色 e:良好 f:2/3
13	23		かわらけ	(7.40)	(5.20)	2.30	a:ロクロ成形・外底回転糸切り・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・海綿骨芯・土丹粒・粉質・やや良土 c:黄橙色 e:良好 f:1/2・外面と内面口唇部が黒色に変色
13	24		かわらけ	(13.40)	(8.00)	3.75	a:ロクロ成形・外底回転糸切り・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・海綿骨芯・土丹粒・粉質・粗土 c:黄橙色 e:良好 f:1/2・口唇部を打ち撞いている
13	25	第2面 遺構234	かわらけ 耳皿	(3.20)	(3.30)	(0.90)	a:手づくね成形 b:微砂・雲母・赤色粒・海綿骨芯・土丹粒・粉質・粗土 c:黄橙色 e:良好 f:約1/2 g:内外面指頭による調整痕・器壁が黒変している部分あり
13	26		鉄製品 釘	4.80	0.60	0.60	g:頭頂部折れ曲がり、先端欠損
13	27	第2面 遺構235	かわらけ	7.80	5.00	1.95	a:ロクロ成形・外底回転糸切り・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・海綿骨芯・土丹粒・粉質・やや粗土 c:黄橙色 e:良好 f:2/3 g:火熱を受け器表面は黒色に変色
13	28		かわらけ	7.50	4.80	1.80	a:ロクロ成形・外底回転糸切り・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・海綿骨芯・土丹粒・小石粒・砂質・やや粗土 c:黄橙色 e:良好 f:完形
13	29		かわらけ	7.30	5.40	2.00	a:ロクロ成形・外底回転糸切り・板状圧痕・内底強く横ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・海綿骨芯・土丹粒・砂質・粗土 c:橙色 e:良好 f:完形
13	30		かわらけ	7.30	4.90	2.00	a:ロクロ成形・外底回転糸切り・板状圧痕・内底強く横ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・海綿骨芯・土丹粒・小石粒・砂質・粗土 c:黄橙色 e:良好 f:完形
13	31		かわらけ	(7.40)	5.00	2.00	a:ロクロ成形・外底回転糸切り・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・粉質・良土 c:橙色 e:良好 f:1/3
13	32		かわらけ	6.80	4.60	2.00	a:ロクロ成形・外底回転糸切り・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・海綿骨芯・粉質・良土 c:橙色 e:良好 f:完形(口縁部一部欠損)・薄手の側壁
13	33		瀬戸 卸皿	(14.20)	-	-	a:ロクロ成形 b:良土 c:淡黄色 d:灰緑色の釉をツケ掛け g:後期前半か?
13	34	第2面 遺構238	かわらけ	(8.60)	(6.20)	1.40	a:ロクロ成形・外底回転糸切り・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・海綿骨芯・土丹粒・砂質・粗土 c:黄橙色 e:良好 f:1/4
13	35	第2面 遺構243	かわらけ	(7.00)	(4.60)	2.10	a:ロクロ成形・外底回転糸切り・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・海綿骨芯・土丹粒・粉質・やや粗土 c:橙色 e:良好 f:1/3
13	36		かわらけ	(7.40)	(4.80)	1.70	a:ロクロ成形・外底回転糸切り・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・海綿骨芯・小石粒・粉質・やや粗土 c:淡黄色 e:やや甘い f:1/3
13	37		かわらけ	7.50	4.20	2.30	a:ロクロ成形・外底回転糸切り・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・白色粒・海綿骨芯・土丹粒・礫・砂質・粗土 c:橙色 e:良好 f:完形 g:内底に小孔4か所・器壁に2か所・外底面に貫通してない孔1ヶ所・外側面に貫通してない孔2か所
13	38		白磁 皿	-	-	-	b:黒色微砂を僅かに含む c:白色 d:青みを帯びた灰白色・不透明 e:堅緻 f:体部片 g:内外面共に傷が残る
13	39		瀬戸 卸皿	-	-	-	a:ロクロ成形 b:軟質 c:淡黄灰色 d:灰緑色の釉をツケ掛け e:良好 f:口縁部片
13	40		瀬戸 卸皿	-	(10.00)	-	a:ロクロ成形・底部回転糸切り b:軟質 c:淡黄灰色 d:灰緑色の釉をツケ掛け e:良好 f:底部1/4片 g:内底部使用痕不明・外面に釉だれ
13	41		銭	外径2.55	孔径0.55×0.55		f:完形 g:聖元元寶 初鑄年1101 北宋 楷書
13	42	第2面 遺構244	瀬戸 片口鉢	-	-	-	a:輪積み技法 b:黒色粒・白色粒・長石 c:灰色 d:灰色 e:硬質 f:口縁部片 g:内側面に磨減痕
13	43	第2面 遺構246	かわらけ	7.75	5.80	1.90	a:ロクロ成形・外底回転糸切り・板状圧痕・内底強く横ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・海綿骨芯・土丹粒・砂質・やや粗土 c:灰黄色 e:良好 f:完形 g:火熱を受け全体的に黒色に変色
13	44		かわらけ	8.80	5.50	1.75	a:ロクロ成形・外底回転糸切り・板状圧痕・内底強く横ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・海綿骨芯・土丹粒・砂質・粗土 c:淡青色 e:良好 f:完形
13	45		かわらけ	(10.80)	(6.40)	2.80	a:ロクロ成形・外底回転糸切り・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・海綿骨芯・土丹粒・粉質・やや粗土 c:橙色 e:良好 f:1/2
14	46	第2面 遺構248	かわらけ	7.50	5.40	1.55	a:ロクロ成形・外底回転糸切り・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・海綿骨芯・土丹粒・粉質・粗土 c:橙色 e:良好 f:完形
14	47		かわらけ	(8.00)	5.20	1.80	a:ロクロ成形・外底回転糸切り・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・海綿骨芯・土丹粒・粉質・粗土 c:黄橙色 e:良好 f:1/2
14	48		かわらけ	(7.60)	5.20	2.00	a:ロクロ成形・外底回転糸切り・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・海綿骨芯・土丹粒・粉質・粗土 c:黄橙色 e:良好 f:1/2
14	49		かわらけ	(10.80)	(6.00)	3.00	a:ロクロ成形・外底回転糸切り・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・海綿骨芯・土丹粒・砂質・やや粗土 c:橙色 e:良好 f:1/2
14	50		かわらけ	13.80	8.40	3.55	a:ロクロ成形・外底回転糸切り・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・白色粒・海綿骨芯・土丹粒・粉質・やや粗土 c:橙色 e:良好 f:2/3
14	51		かわらけ	13.30	8.00	3.25	a:ロクロ成形・外底回転糸切り・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・海綿骨芯・土丹粒・粉質・やや粗土 c:橙色 e:良好 f:完形
14	52		かわらけ	13.00	7.80	3.75	a:ロクロ成形・外底回転糸切り・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・海綿骨芯・土丹粒・やや粗土 c:橙色 e:良好 f:3/4
14	53		かわらけ	(13.00)	(8.10)	3.35	a:ロクロ成形・外底回転糸切り・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・海綿骨芯・土丹粒・粗土 c:淡黄橙色 e:やや良好 f:1/2・内面に線刻あり
14	54	第2面 遺構251	かわらけ	(7.60)	4.90	2.20	a:ロクロ成形・外底回転糸切り・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・海綿骨芯・砂質・良土 c:橙色 e:良好 f:1/3・内底面に貫通してないが小孔あり
14	55		かわらけ	7.10	4.20	2.20	a:ロクロ成形・外底回転糸切り・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・海綿骨芯・土丹粒・粉質・やや粗土 c:黄橙色 e:良好 f:2/3
14	56		かわらけ	(7.40)	5.40	1.80	a:ロクロ成形・外底回転糸切り・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・白色粒・黒色粒・海綿骨芯・土丹粒・粗土 c:黄橙色 e:良好 f:1/3 g:全体的に器表が黒色に変色
14	57		かわらけ	(13.00)	8.40	3.55	a:ロクロ成形・外底回転糸切り・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・海綿骨芯・礫・砂質・やや粗土 c:橙色 e:良好 f:1/2
14	58		かわらけ	-	-	-	g:かわらけ底部に鉄塊(刀子か?)が付着
14	59		瀬戸 卸皿	(15.20)	-	-	a:ロクロ成形 b:微砂・やや粗土 c:黄灰色 d:灰緑色の釉をツケ掛け e:良好・硬質 f:口縁部片 g:中期Iか?
14	60		瀬戸 卸皿	-	-	-	a:ロクロ成形 b:微砂・やや粗土 c:黄灰色 d:暗:灰緑色の釉をツケ掛け e:良好・硬質 f:口縁部片 g:中期I~IIか?
14	61		常滑 甕	-	-	-	a:輪積み技法 b:長石・砂粒 c:灰黒色 d:暗褐色 e:硬質 f:口縁部片 g:8形式
14	62	第2面 遺構252	かわらけ	7.80	5.40	2.00	a:ロクロ成形・外底回転糸切り・板状圧痕・内底強く横ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・海綿骨芯・土丹粒・粉質・やや粗土 c:橙色 e:良好 f:完形
14	63		かわらけ	(7.00)	(4.20)	1.85	a:ロクロ成形・外底回転糸切り・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨芯・土丹粒・粉質・やや粗土 c:黄橙色 e:良好 f:1/2
14	64		鉄製品 釘	6.00	0.40	0.30	g:端部欠損
15	1	第2面 遺構230	かわらけ	7.80	5.10	1.65	a:ロクロ成形・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・土丹粒・海綿骨芯・砂質・良土 c:黄橙色 e:良好 f:完形

単位: cm/ 復元: ()

図版番号	No.	出土位置 出土層位	種別	口径/長さ	底径/幅	器高/厚さ	観察内容
							a:成形・調整 b:胎土・素地・材質 c:色調 d:釉調 e:焼成 f:遺存値 g:備考
15	2	第2面 遺構230	かわらけ	(8.50)	(5.20)	1.80	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底強く横ナデ b:微砂・赤色粒・黒色粒・土丹粒・海綿骨芯・砂質・やや粗土 c:橙色 e:良好 f:1/3
15	3		かわらけ	7.30	4.70	1.70	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底強く横ナデ b:微砂・赤色粒・黒色粒・土丹粒・海綿骨芯・砂質・やや粗土 c:淡橙色 e:良好 f:完形
15	4		かわらけ	(7.20)	5.00	1.70	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底強く横ナデ b:微砂・赤色粒・黒色粒・土丹粒・海綿骨芯・砂質・やや粗土 c:淡橙色 e:良好 f:2/3
15	5		かわらけ	(7.30)	(4.40)	1.85	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底強く横ナデ b:微砂・赤色粒・黒色粒・土丹粒・海綿骨芯・砂質・良土 c:橙色 e:良好 f:1/4
15	6		かわらけ	7.20	5.00	1.55	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・土丹粒・海綿骨芯・砂質・良土 c:橙色 e:良好 f:1/2
15	7		かわらけ	7.60	4.80	1.75	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・土丹粒・海綿骨芯・砂質・良土 c:黄橙色 e:良好 f:完形 g:口唇部3か所に薄く油煤痕
15	8		かわらけ	7.20	4.80	1.90	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・土丹粒・海綿骨芯・砂質・良土 c:黄橙色 e:良好 f:完形
15	9		かわらけ	7.40	5.10	1.80	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・土丹粒・海綿骨芯・砂質・良土 c:橙色 e:良好 f:完形
15	10		かわらけ	7.40	4.70	1.70	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底強く横ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・土丹粒・海綿骨芯・砂質・良土 c:黄橙色 e:良好 f:完形
15	11		かわらけ	(7.20)	(3.80)	1.90	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底強く横ナデ b:微砂・赤色粒・黒色粒・土丹粒・海綿骨芯・砂質・良土 c:橙色 e:良好 f:1/3
15	12		かわらけ	(7.40)	(3.40)	2.20	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・海綿骨芯・砂質・やや粗土 c:灰黄色 e:良好 f:1/3
15	13		かわらけ	7.30	4.20	2.10	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨芯・砂質・良土 c:橙色 e:良好 f:完形
15	14		かわらけ	8.00	4.90	2.00	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・土丹粒・海綿骨芯・砂質・良土 c:橙色 e:良好 f:完形 g:口唇部油煤痕
15	15		かわらけ	7.40	4.20	2.10	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨芯・砂質・良土 c:橙色 e:良好 f:完形
15	16		かわらけ	7.50	5.10	2.20	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底強く横ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・土丹粒・海綿骨芯・砂質・良土 c:黄橙色 e:良好 f:完形
15	17		かわらけ	7.20	4.50	2.10	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデの後見込み周囲をナデ b:微砂・赤色粒・黒色粒・土丹粒・海綿骨芯・砂質・やや粗土 c:淡橙色 e:良好 f:完形
15	18		かわらけ	(7.00)	(4.20)	1.95	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底強く横ナデ b:微砂・赤色粒・黒色粒・土丹粒・海綿骨芯・砂質・やや粗土 c:淡橙色 e:良好 f:1/4
15	19		かわらけ	7.40	5.20	2.20	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・土丹粒・海綿骨芯・砂質・良土 c:橙色 e:良好 f:完形
15	20		かわらけ	7.80	5.10	2.45	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底強く横ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・土丹粒・海綿骨芯・砂質・良土 c:黄橙色 e:良好 f:完形
15	21		かわらけ	7.60	5.20	2.40	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底強く横ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・土丹粒・海綿骨芯・砂質・良土 c:黄橙色 e:良好 f:完形
15	22		かわらけ	6.80	4.70	2.00	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・土丹粒・海綿骨芯・砂質・良土 c:橙色 e:良好 f:完形
15	23		かわらけ	(7.00)	(4.60)	2.00	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底強く横ナデ b:微砂・赤色粒・黒色粒・土丹粒・海綿骨芯・砂質・やや粗土 c:淡橙色 e:良好 f:1/3
15	24		かわらけ	(7.00)	(3.60)	2.10	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底強く横ナデ b:微砂・黒色粒・砂質・やや粗土 c:淡橙色 e:良好 f:1/4 g:内外面黒色に変色・口唇部全体に油煤痕
15	25		かわらけ	7.70	5.20	2.20	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨芯・砂質・良土 c:淡橙色 e:良好 f:完形
15	26		かわらけ	(7.50)	(4.90)	2.28	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨芯・良土 c:黄橙色 e:良好 f:1/3
15	27		かわらけ	(11.40)	(6.50)	3.30	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨芯・砂質・良土 c:赤橙色 e:良好 f:1/3
15	28		かわらけ	11.00	6.60	3.00	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・土丹粒・砂質・良土 c:橙色 e:良好 f:4/5
15	29	かわらけ	(11.80)	(7.20)	3.00	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底強く横ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・土丹粒・砂質・良土 c:橙色 e:良好 f:1/3	
15	30	かわらけ	11.20	5.40	3.10	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・砂質・良土 c:橙色 e:良好 f:完形・内外面約半分が黒色に変色	
15	31	かわらけ	(10.80)	6.20	3.10	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底強く横ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨芯・土丹粒・砂質・良土 c:淡橙色 e:良好 f:3/4	
15	32	かわらけ	(10.80)	(5.80)	3.05	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨芯・砂質・良土 c:黄橙色 e:良好 f:1/4	
15	33	かわらけ	11.10	7.00	3.10	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨芯・土丹粒・砂質・良土 c:黄灰色 e:やや甘い f:3/4	
15	34	かわらけ	13.20	9.20	3.20	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・土丹粒・砂質・良土 c:淡橙色 e:良好 f:3/4	
15	35	かわらけ	13.20	7.40	3.30	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底強く横ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・土丹粒・砂質・良土 c:橙色 e:良好 f:5/6	
15	36	かわらけ	(13.20)	(8.00)	3.20	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨芯・砂質・良土 c:淡橙色 e:良好 f:2/3	
15	37	かわらけ	13.00	8.60	3.60	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・土丹粒・砂質・良土 c:橙色 e:良好 f:5/6・粗い器肌	
15	38	かわらけ	13.60	8.60	3.50	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・土丹粒・砂質・良土 c:橙色 e:良好 f:3/4	
15	39	かわらけ	(13.40)	7.70	3.20	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨芯・砂質・良土 c:黄橙色 e:良好 f:3/4	
15	40	かわらけ	(12.40)	(6.20)	3.85	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨芯・砂質・良土 c:橙色 e:良好 f:1/4	
15	41	かわらけ	(12.50)	(7.20)	3.35	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨芯・砂質・良土 c:黄橙色 e:良好 f:4/5	
15	42	かわらけ	12.20	8.00	3.20	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデの後見込み周囲を強くナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨芯・土丹粒・砂質・良土 c:黄灰色 e:良好 f:1/3	
15	43	かわらけ	(12.20)	(7.50)	3.50	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨芯・砂質・良土 c:橙色 e:良好 f:1/4	
15	44	かわらけ	12.80	7.60	3.20	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底強く横ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨芯・土丹粒・砂質・良土 c:橙色 e:良好 f:5/6	
15	45	かわらけ	(12.70)	(6.80)	3.65	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨芯・砂質・良土 c:黄橙色 e:良好 f:1/2	
15	46	かわらけ	13.10	8.00	3.40	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底強く横ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・土丹粒・砂質・良土 c:橙色 e:良好 f:3/4	
15	47	かわらけ	(13.00)	(7.00)	3.00	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨芯・砂質・良土 c:黄橙色 e:良好 f:1/10	

単位: cm/復元: ()

図版 番号	No.	出土位置 出土層位	種別	口径/長さ	底径/幅	器高/厚さ	観察内容
15	48	第2面 遺構230	かわらけ	(12.70)	(6.80)	3.25	a:成形・調整 b:胎土・素地・材質 c:色調 d:釉調 e:焼成 f:遺存値 g:備考 a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨芯・砂質・ 良土 c:黄橙色 e:良好 f:3/4
15	49		かわらけ	13.20	7.80	3.70	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・土丹粒・砂質・ 良土 c:橙色 e:良好 f:5/6・外側面回転系切・痕が明瞭に残る・内外面口唇部一か所に油煤痕
15	50		かわらけ	(13.20)	(7.40)	3.20	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨芯・砂質・ 良土 c:黄橙色 e:良好 f:1/3
15	51		かわらけ	(13.40)	8.20	3.30	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨芯・砂質・ 良土 c:橙色 e:良好 f:3/4
15	52		かわらけ	(13.60)	(7.80)	3.30	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨芯・砂質・ 良土 c:黄橙色 e:良好 f:1/4
15	53		かわらけ	(12.40)	(7.20)	3.40	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨芯・砂質・ 良土 c:橙色 e:良好 f:1/4
15	54		かわらけ	13.40	8.20	3.60	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・砂質・良土 c: 赤橙色 e:良好 f:3/4
15	55		かわらけ	13.00	7.20	3.40	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨芯・土丹粒・ 砂質・やや粗土 c:淡橙色 e:良好 f:3/4
15	56		かわらけ	13.50	7.60	3.30	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・土丹粒・砂質・ やや粗土 c:橙色 e:良好 f:3/4
15	57		かわらけ	(13.60)	7.80	3.30	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨芯・土丹粒・ 砂質・やや粗土 c:灰黄色 e:良好 f:1/3
15	58		かわらけ	13.40	7.80	3.70	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・土丹粒・砂質・ 良土 c:橙色 e:良好 f:3/4
15	59		かわらけ	(13.50)	(7.70)	3.30	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨芯・砂質・ 良土 c:灰黄色 e:良好 f:1/2
15	60		かわらけ	(13.30)	(7.20)	3.20	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨芯・砂質・ 良土 c:黄橙色 e:良好 f:1/4
16	61		第2面 遺構231	かわらけ	(13.20)	(7.60)	3.50
16	62	かわらけ		(12.50)	(6.20)	3.50	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨芯・砂質・ 良土 c:橙色 e:良好 f:1/4
16	63	常滑 片口鉢Ⅱ類		-	-	-	a:輪積み技法 b:砂粒・白色粒 c:暗灰色 d:暗赤褐色 e:硬質 f:口縁部片 g:8形式・内側 面摩耗痕
16	64	瓦器質 火鉢		-	-	-	a:輪積み技法 b:小石粒・輝粒 c:灰色 d:灰黒色 e:軟質 f:口縁部片 g:Ⅲ類・外側面に不 明瞭な菊花文の押印・外側面火熱を受け器表が剥離している
16	65	瓦器質 火鉢		-	-	-	a:輪積み技法 b:小石粒・輝粒 c:灰色 d:黒褐色 e:軟質 f:口縁部片 g:胴部外面に不明瞭な菊花 文の押印が重なって押されている・火熱を受けたために器壁が剥離している
16	66	鉄製品 釘		(4.50)	(0.50)	(0.20)	端部欠損
17	1	かわらけ		(7.80)	5.20	1.50	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・砂質・やや粗土 c: 橙色 e:良好 f:3/4・内底に強く回転ナデが残る
17	2	かわらけ		7.60	5.20	1.70	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデの後見込み周囲をナデ b:微砂・雲母赤色粒・黒色粒・ 海綿骨芯・砂質・良土 c:橙色 e:良好 f:5/6
17	3	かわらけ		(8.00)	(4.80)	2.00	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・赤色粒・黒色粒・砂質・やや粗土 c: 淡橙色 e:良好 f:1/3・火熱の為に内底面器表が剥離
17	4	かわらけ		(7.80)	(5.20)	2.00	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・土丹粒を含む砂質気 味の胎土・やや粗土 c:黄橙色 e:良好 f:1/4
17	5	かわらけ		(8.00)	(5.20)	2.00	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・海綿骨芯・土丹粒・砂質・ やや粗土 c:黄橙色 e:良好 f:1/3
17	6	かわらけ		(8.00)	(5.20)	2.20	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・海綿骨芯・小石粒・粉質・ やや粗土 c:黄橙色 e:良好 f:1/2
17	7	かわらけ		(8.40)	5.40	3.00	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・赤色粒・黒色粒・小石粒・粉質・やや 粗土 c:黄灰色 e:やや甘い f:1/3
17	8	かわらけ		7.80	5.20	2.10	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨芯・土丹粒・ 砂質・良土 c:橙色 e:良好 f:3/4
17	9	かわらけ	(7.90)	4.4	2.10	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・白色粒・粉質気味の胎土・ 良土 c:橙色 e:良好 f:3/4	
17	10	かわらけ	(7.20)	(4.60)	2.00	a:ロクロ成形・外底回転系切・不明瞭な板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・白色粒・砂質・ 良土 c:橙色 e:良好 f:1/3	
17	11	かわらけ	7.80	5.20	1.80	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・赤色粒・黒色粒・砂質・良土 c:橙色 e:良好 f:完形・口唇部1ヶ所に濃い油煤痕	
17	12	かわらけ	7.60	5.00	1.70	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデの後見込み周囲をナデ b:微砂・赤色粒・黒色粒・ 砂質・良土 c:橙色 e:良好 f:完形	
17	13	かわらけ	7.60	4.80	1.80	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・赤色粒・黒色粒・砂質・良土 c:橙色 e:良好 f:1/2・器形の歪み大きい	
17	14	かわらけ	(7.20)	5.20	1.60	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデの後見込み周囲をナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・ 砂質・やや粗土 c:橙色 e:良好 f:1/3・外側面器壁が黒色に変色	
17	15	かわらけ	(7.40)	(4.40)	2.00	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・白色粒・砂質・良土 c: 橙色 e:良好 f:1/2・内外面一部黒色に変色	
17	16	かわらけ	7.00	4.70	1.70	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・白色粒・海綿骨芯・粉質気味の胎土・ 良土 c:橙色 e:良好 f:完形・内底ナデの後、見込み周囲を強くナデで整形しているために中央部 が盛り上がる	
17	17	かわらけ	(7.60)	(4.40)	1.80	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・海綿骨芯・粉質・良土 c: 黄橙色 e:良好 f:1/2	
17	18	かわらけ	(7.40)	(5.40)	2.00	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底強く横ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・白色粒・海綿骨芯・ 土丹粒・粉質・やや粗土 c:橙色 e:良好 f:1/3	
17	19	かわらけ	(7.40)	(4.80)	2.10	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨芯・土丹粒・ 砂質・粗土 c:橙色 e:良好 f:2/3	
17	20	かわらけ	(7.00)	(4.40)	2.00	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・海綿骨芯・土丹粒・粉質・ やや粗土 c:黄橙色 e:良好 f:1/4	
17	21	かわらけ	(7.20)	(4.60)	2.00	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・土丹粒・砂質・良土 c: 黄橙色 e:良好 f:1/2	
17	22	かわらけ	(7.40)	(5.20)	2.20	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・白色粒・土丹粒・海綿骨芯・ 砂質・やや粗土 c:黄橙色 e:良好 f:1/4	
17	23	かわらけ	(7.40)	4.80	2.10	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底強く横ナデ b:微砂・赤色粒・黒色粒・砂質・良土 c: 黄灰色 e:やや甘い f:2/3	
17	24	かわらけ	(7.00)	4.60	2.10	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・白色粒・海綿骨芯・粉質・ やや良土 c:赤橙色 e:良好 f:3/4	
17	25	かわらけ	(7.80)	(5.00)	2.20	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・海綿骨芯・粉質・良土 c: 黄橙色 e:良好 f:1/4・やや蓮手の器壁	
17	26	かわらけ	7.60	4.80	2.20	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨芯・土丹粒・ 砂質・良土 c:橙色 e:良好 f:3/4	

単位: cm/ 復元: ()

図版番号	No.	出土位置 出土層位	種別	口径/長さ	底径/幅	器高/厚さ	観察内容
17	27	第2面 遺構 2 3 1	かわらけ	7.30	4.40	2.40	a:成形・調整 b:胎土・素地・材質 c:色調 d:釉調 e:焼成 f:遺存値 g:備考 a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・赤色粒・黒色粒・砂質・やや粗土 c: 黄灰色 e:やや甘い f:完形・口唇部1ヶ所に油煤痕
17	28		かわらけ	(7.80)	4.60	2.30	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・赤色粒・黒色粒・海綿骨芯・砂質・良土 c: 赤褐色 e:良好 f:3/4
17	29		かわらけ	(7.80)	(4.80)	2.30	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・赤色粒・黒色粒・砂質・良土 c:橙色 e:良好 f:1/3
17	30		かわらけ	(9.20)	(5.00)	2.40	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・海綿骨芯・粉質・良土 c:黄 褐色 e:良好 f:1/3・内外面口唇部一部に油煤痕
17	31		かわらけ	10.40	6.40	2.90	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨芯・砂質・ 良土 c:褐色 e:良好 f:3/4・器形の歪み大きい
17	32		かわらけ	(10.70)	(6.40)	2.80	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・海綿骨芯・土丹粒・粉質・ やや粗土 c:灰黄色 e:やや甘い f:1/4
17	33		かわらけ	10.70	6.40	2.90	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底強く横ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨芯・ 砂質・良土 c:褐色 e:良好 f:完形
17	34		かわらけ	10.80	6.40	2.90	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨芯・砂質・ 良土 c:淡褐色 e:良好 f:3/4・器形の歪み大きい
17	35		かわらけ	11.60	6.20	2.90	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデの後見込み周囲をナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・ 砂質・良土 c:褐色 e:良好 f:4/5・口唇部1ヶ所に油煤痕・内面器壁が剥離
17	36		かわらけ	12.20	7.60	3.10	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・赤色粒・黒色粒・海綿骨芯・砂質・良土 c: 赤褐色 e:良好 f:完形・器形の歪み大きい
17	37		かわらけ	(11.60)	7.00	3.50	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・赤色粒・黒色粒・海綿骨芯・土丹粒・砂質・ 粗土 c:灰黄色 e:やや甘い f:2/3
17	38		かわらけ	12.00	7.60	3.20	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底強く横ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨芯・ 砂質・良土 c:褐色 e:良好 f:完形
17	39		かわらけ	(12.00)	7.20	3.00	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・赤色粒・黒色粒・小石粒・砂質・粗土 c: 淡褐色 e:やや甘い f:2/3
17	40		かわらけ	14.00	8.40	3.50	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・赤色粒・黒色粒・海綿骨芯・砂質・良土 c: 褐色 e:良好 f:4/5・器形の歪み大きい
17	41		かわらけ	(13.60)	7.60	3.60	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨芯・砂質・ 良土 c:褐色 e:良好 f:3/4
17	42		かわらけ	(14.00)	(8.60)	3.30	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・海綿骨芯・土丹粒・粉質・ やや粗土 c:淡褐色 e:やや甘い f:2/3
17	43		かわらけ	(13.40)	8.00	3.10	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底強く横ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨芯・ 砂質・良土 c:褐色 e:良好 f:1/2
17	44		かわらけ	13.00	8.20	3.70	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底強く横ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・砂質・ 良土 c:褐色 e:良好 f:1/2
17	45		かわらけ	(13.40)	8.20	3.20	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・砂質・良土 c: 褐色 e:良好 f:2/3
17	46		かわらけ	(13.20)	8.20	3.20	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・赤色粒・黒色粒・海綿骨芯・砂質・良土 c: 褐色 e:良好 f:1/3
18	47	かわらけ	(12.80)	(8.00)	3.50	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデの後見込み周囲をナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・ 海綿骨芯・砂質・やや粗土 c:淡褐色 e:良好 f:1/3	
18	48	かわらけ	13.40	8.40	3.40	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨芯・砂質・ 良土 c:褐色 e:良好 f:4/5	
18	49	かわらけ	13.00	7.80	3.20	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・土丹粒・砂質・ やや粗土 c:褐色 e:良好 f:4/5	
18	50	瀬戸 折縁深皿	-	-	-	a:ロクロ成形 b:砂粒・良土 c:淡黄白色 d:灰緑色の灰釉を刷毛塗り f:口縁部片 g: 中期前半?	
18	51	瀬戸 卸皿	-	-	-	a:ロクロ成形 b:砂粒・良土 c:灰黄色 d:灰緑色の灰釉刷毛塗り f:口縁部片 g:外側面施釉薄く、 露胎部多・中期	
18	52	瀬戸 卸皿	-	-	-	a:ロクロ成形 b:砂粒・良土 c:灰黄色 d:灰緑色の灰釉刷毛塗り f:口縁部片 g:中期	
18	53	常滑 片口鉢Ⅱ類	-	-	-	a:輪積み技法 b:微砂・長石・石英・小石粒 c:明茶色 d:暗褐色 e:硬質 f:口縁部片 g:8形式?	
18	54	女瓦	-	-	2.00	a:凸面縄目吹き・離れ砂・凹面布目ナデ消し・離れ砂付着挟端部水切りあり b:灰色 微砂・白色粒・ 小石粒/やや良土 e:軟質 g:I期A類	
18	55	かわらけ転用 円盤状土製品	3.40	3.30	0.80	a:回転系切 b:微砂・赤色粒・雲母・粉質気味・良土 c:褐色 e:良好 g:かわらけ底部を加工・ 内外面共に磨滅痕	
18	56	石製品 火打石	(3.50)	(2.70)	(1.90)	b:石英質	
18	57	鉄製品 釘	(6.10)	0.95	0.50	g:頭頂は折れ曲がり、先端欠損	
18	58	鉄製品 釘	6.30	0.30	0.20	g:断面方形	
18	59	第2面 面上	かわらけ	(7.20)	(5.00)	1.60	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・砂質・良土 c 淡褐色 e:良好 f:1/4
18	60		かわらけ	(7.20)	(5.40)	1.60	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・赤色粒・黒色粒・海綿骨芯・砂質・良 土 c 淡褐色 e:良好 f:1/4
18	61		かわらけ	(6.20)	(4.00)	1.90	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・赤色粒・黒色粒・海綿骨芯・砂質・良 土 c 赤褐色 e:良好 f:1/5
18	62		青白磁 梅瓶・蓋	径3.6	-	1.50	b:精良堅緻 c:白色 d:青灰色 e:良好 f:1/3 g:口唇部火熱を受けて黒色に炭化・内面・ 口唇部露胎・景徳鎮、側面上部に穿孔あり
18	63		瀬戸 卸皿	-	-	-	a:ロクロ成形 b:微砂・良土 c:黄灰色 d:灰緑色 f:口縁部片 g:中Ⅲ期・外面釉刷毛塗り
18	64		常滑 片口鉢Ⅱ類	-	-	-	a:輪積み技法 b:砂粒・白色粒 c:茶褐色 d:茶褐色 e:硬質 f:口縁部片 g:外面上部は指頭 による回転ナデ・外面下部は指頭による縦ナデ整形・内面摩耗・8形式
18	65		東幡系 鉢	-	-	-	a:輪積み技法 b:砂粒・白色粒 c:灰色d暗:灰色 e:硬質・精良 f:口縁部片 g:外面回転ナデ による整形・内面摩耗
18	66	銅製品 鋳	1.20	最大径 0.7	最小径 0.1	頭部円形・飾り鋳	
18	67	鉄製品 釘	(4.60)	(0.30)	(0.30)	頭部欠損	
18	68	第2面 構成土	かわらけ	(7.80)	(5.40)	1.50	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・赤色粒・黒色粒・海綿骨芯・砂質・良 土 c 褐色 e:良好 f:1/3
18	69		かわらけ	(7.80)	4.60	1.90	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・赤色粒・黒色粒・土丹粒・砂質・良土 c 褐色 e:良好 f:1/4
18	70		かわらけ	(8.20)	5.40	1.80	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・砂質・良土 c 淡褐色 e:良好 f:1/2
18	71		かわらけ	7.60	5.00	2.00	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデの後見込み周囲をナデ b:微砂・赤色粒・黒色粒・ 小石粒・海綿骨芯・砂質・良土 c 赤褐色 e:良好 f:完形

単位: cm/復元: ()

図版番号	No.	出土位置 第2面 出土層位	種別	口径/長さ	底径/幅	器高/厚さ	観察内容
18	72	第2面 構成土	かわらけ	(7.80)	4.80	2.10	a:成形・調整 b:胎土・素地・材質 c:色調 d:釉調 e:焼成 f:遺存値 g:備考 a:ロクロ成形・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨芯・砂質・ 良土 c:橙色 e:良好 f:1/3
18	73		かわらけ	(7.40)	(5.40)	2.00	a:ロクロ成形・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・砂質・良土 c 赤橙色 e:良好 f:2/3
18	74		かわらけ	7.60	5.00	2.10	a:ロクロ成形・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデの後見込み周囲をナデ b:微砂・赤色粒・黒色粒・ 小石粒・海綿骨芯・砂質・良土 c 赤橙色 e:良好 f:完形
18	75		かわらけ	8.00	5.20	2.10	a:ロクロ成形・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・赤色粒・黒色粒・粉質・良土 c 淡橙色 e: 良好 f:2/3
18	76		かわらけ	(7.80)	(5.00)	2.20	a:ロクロ成形・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・赤色粒・黒色粒・海綿骨芯・砂質・良 土 c 橙色 e:良好 f:1/3
18	77		かわらけ	(7.00)	(4.40)	1.80	a:ロクロ成形・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨芯・粉質・ 良土 c 淡橙色 e:良好 f:1/2 g:外面全体と内面一部に油煤痕
18	78		かわらけ	(7.20)	5.00	2.10	a:ロクロ成形・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・砂質・良土 c 橙色 e:良好 f:1/2 g:内面器壁が剥離
18	79		かわらけ	(7.00)	(5.00)	2.20	a:ロクロ成形・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・砂質・良土 c 赤橙色 e:良好 f:1/3
18	80		かわらけ	(12.00)	(7.20)	3.30	a:ロクロ成形・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・砂質・良土 c 赤橙色 e:良好 f:1/5
18	81		かわらけ	(11.80)	(7.20)	3.40	a:ロクロ成形・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨芯・砂質・ 良土 c 橙色 e:良好 f:1/3
18	82		白かわらけ	-	(4.60)	-	a:ロクロ成形・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・黒色粒・砂質・やや粗土 c 赤橙色 e: 良好 f:1/5 g:白かわらけ
18	83		白磁 壺	-	-	-	a:ロクロ成形 b:精良堅緻 c:灰色 d:灰青色 f:口縁部片 g:内面黒色に変色
18	84		瀬戸 鉢	-	-	-	a:ロクロ成形 b:微砂・良土 c:灰色 d:灰緑色 f:胴部片 g:内外面釉刷毛塗り・外面器壁が 剥離
18	85		瀬戸 卸皿	-	-	-	a:ロクロ成形 b:微砂・良土 c:黄灰色 d:灰緑色 f:口縁部片 g:外面釉刷毛塗り/口唇部やや 外反
18	86		瀬戸 卸皿	-	-	-	a:ロクロ成形 b:微砂・良土 c:灰色 d:灰緑色 f:口縁部片 g:外面釉刷毛塗り・片口口部 分貼り付け
18	87		瀬戸 水注1類	-	-	-	a:ロクロ成形 b:微砂・良土 c:灰色 d:灰緑色 f:胴部片 g:肩部に三条の沈線後1期
18	88		常滑 片口鉢II類	-	-	-	a:輪積み技法 b:砂粒・白色粒 c:赤褐色 d:褐色 e:硬質 f:口縁部片 g:8形式
18	89		常滑 片口鉢II類	-	-	-	a:輪積み技法 b:砂粒・白色粒 c:褐色 d:茶褐色 e:硬質 f:口縁部片 g:9形式
18	90	常滑 片口鉢II類	-	-	-	a:輪積み技法 b:砂粒・白色粒 c:暗褐色 d:褐色 e:硬質 f:口縁部片 g:外面器壁が剥離・ 9形式	
18	91	常滑 片口鉢II類	-	-	-	a:輪積み技法 b:砂粒・白色粒・小石粒 c:灰色 d:灰色 e:硬質 f:口縁部片 g:9形式	
18	92	常滑 片口鉢II類	-	-	-	a:輪積み技法 b:砂粒・白色粒 c:暗褐色 d:赤褐色 e:硬質 f:口縁部片 g:内面摩耗・9形 式	
18	93	常滑 甕	-	-	-	a:輪積み技法 b:砂粒・白色粒・小石粒 c:灰褐色 d:暗緑褐色 e:硬質 f:胴部片 g:格子の 叩き文	
18	94	山茶碗	-	-	-	a:ロクロ成形 b:精良 c:灰色 d:灰白色 e:硬質 f:口縁部片 g:東濃型	
18	95	山茶碗	-	4.60	-	a:ロクロ成形 b:精良 c:灰色 d:灰白色 e:硬質 f:底部片 g:東濃型・高台部貼り付け・高 台部モミガラ痕・外底部糸切り・内底強く横ナデ痕	
18	96	東轆系 鉢	-	-	-	a:輪積み技法 b:砂粒・白色粒 c:灰色 d:灰色 e:硬質 f:口縁部片 g:口縁部のみ降灰により 黒色に変色	
18	97	瓦器質 火鉢	-	-	-	a:輪積み技法 b:白色粒・砂粒・雲母・黒色粒 c:淡褐色 d:黒色 e:軟質 f:胴部片 g:菊花 文のスタンプ(破片の爲花弁数不明)・内外側面縦方向の磨き	
18	98	石製品 硯	-	-	-	鳴滝産系・側面切り出し痕	
18	99	石製品 滑石製スタンプ	-	-	-	用途不明・草花文と波	
18	100	女瓦	-	-	1.70	a:凸面縦方向のナデ整形・離れ砂・凹面離れ砂付着 b:灰黒色 微砂・白色粒・小石粒・良土 c:灰 黒色 e:硬質	
22	1	第3面 遺構255	瀬戸 卸皿	-	-	-	a:ロクロ成形 b:微砂 c:灰色 d:灰緑色の灰釉を薄く刷毛塗り e:硬質 f:口縁部片 g:前期 IV~中期前半
22	2		常滑 甕	-	-	-	a:輪積み技法 b:長石・砂粒・石英・白色粒・小石粒 c:暗褐色 d:暗赤褐色 e:硬質 f:胴部片 g: 叩き文・格子文
22	3		常滑 甕	-	-	-	a:輪積み技法 b:長石・砂粒・石英・白色粒・小石粒 c:灰色 d:暗茶褐色 e:硬質 f:胴部片 g: 叩き文・格子文
22	4	第3面 遺構258	かわらけ	(7.80)	(5.80)	2.10	a:ロクロ成形・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・黒色粒・海綿骨芯・土丹粒・砂質・ 粗土 c:黄褐色 e:良好 f:1/4
22	5		かわらけ	(7.60)	(5.00)	1.70	a:ロクロ成形・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・土丹粒・砂質・ 良土 c:赤褐色 e:良好 f:1/5
22	6	第3面 遺構260	かわらけ	(8.40)	(5.40)	1.60	a:ロクロ成形・外底回転糸切・板状圧痕・内底強く横ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・土丹粒・ 砂質・やや粗土 c:灰黄色 e:やや甘い f:1/3
22	7		白磁 口元皿	(9.40)	-	-	a:ロクロ成形・黒色微砂を僅かに含む c:灰白色 d:青みを帯びた灰白色・不透明 e:堅緻 f: 口縁部片g外側面に釉だれ
22	8		かわらけ	(8.80)	(6.40)	(1.60)	a:ロクロ成形・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・土丹粒・砂質・ 良土 c:橙色 e:良好 f:1/3
22	9	第3面 遺構264	鉄製品 釘	(4.30)	0.60	0.60	端部欠損
22	10		かわらけ	(10.80)	(6.40)	3.00	a:ロクロ成形・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・土丹粒・砂質・ 良土 c:赤褐色 e:良好 f:1/4・やや薄手の器壁
22	11		白磁 口元皿	-	-	-	a:ロクロ成形 b:黒色微砂を僅かに含む c:灰白色 d:青みを帯びた灰白色・不透明 e:堅緻 f: 口縁部片
22	12	第3面 遺構270	かわらけ	11.80	7.20	3.10	a:ロクロ成形・外底回転糸切・板状圧痕・内底強く横ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨芯・ 土丹粒・砂質・良土 c:橙色 e:良好 f:5/6
22	13	第3面 遺構271	かわらけ	(8.00)	(5.20)	2.10	a:ロクロ成形・外底回転糸切・板状圧痕・内底横ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨芯・土丹粒・ 砂質・良土 c:淡褐色 e:良好 f:1/4
22	14		かわらけ	(7.60)	5.20	2.20	a:ロクロ成形・外底回転糸切・板状圧痕・内底横ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・土丹粒・砂質・ 良土 c:橙色 e:良好 f:2/3・外側面にやや強めの回転ナデによる稜線が入る
22	15		かわらけ	7.20	4.60	2.10	a:ロクロ成形・外底回転糸切・板状圧痕・内底強く横ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・砂質・ 良土 c:橙色 e:良好 f:完形・薄手の器壁を持つ
22	16		かわらけ	7.60	4.40	2.30	a:ロクロ成形・外底回転糸切・板状圧痕・内底横ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・土丹粒・砂質・良 土 c:橙色 e:良好 f:3/4・外側面にやや強めの回転ナデによる稜線が入る

単位: cm/ 復元: ()

図版番号	No.	出土位置 出土層位	種別	口径/長さ	底径/幅	器高/厚さ	観察内容
22	17	第3面 遺構271	かわらけ	(9.00)	(4.60)	2.30	a:成形・調整 b:胎土・素地・材質 c:色調 d:釉調 e:焼成 f:遺存値 g:備考 a:ロクロ成形・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・土丹粒・砂質・ 良土 c:橙色 e:良好 f:1/6
22	18		かわらけ	(13.80)	(6.60)	3.30	a:ロクロ成形・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・土丹粒・砂質・ 良土 c:橙色 e:良好 f:1/2
22	19	第3面 遺構273	かわらけ	(7.80)	(5.20)	1.60	a:ロクロ成形・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・土丹粒・砂質・ 良土 c:淡橙色 e:良好 f:1/5
22	20	第3面 遺構276	かわらけ	(7.60)	(5.00)	1.60	a:ロクロ成形・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・土丹粒・砂質・ 良土 c:橙色 e:良好 f:1/4
22	21	第3面 遺構278	銭	径2.5	孔径0.5×0.5		f:完形 g:至道元寶・初鑄年995年・北宋・草書
22	22	第3面 遺構280	かわらけ	(7.40)	4.40	1.80	a:ロクロ成形・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・土丹粒・砂質・ 良土 c:橙色 e:良好 f:1/2
22	23		かわらけ	(13.60)	8.20	3.50	a:ロクロ成形・外底回転糸切・板状圧痕・内底横ナデの後見込み周囲をナデ b:微砂・赤色粒・黒色粒・ 土丹粒・砂質・良土 c:橙色 e:良好 f:1/2
22	24	第3面 遺構284	かわらけ	7.40	5.00	1.70	a:ロクロ成形・外底回転糸切・板状圧痕・内底横ナデの後見込み周囲をナデ b:微砂・赤色粒・黒色粒・ 海綿骨芯・土丹粒・砂質・良土 c:橙色 e:良好 f:完形・内外面器壁が黒色に変色
22	25		かわらけ	(13.80)	(8.40)	3.30	a:ロクロ成形・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・赤色粒・黒色粒・海綿骨芯・土丹粒・砂質・ やや粗土 c:灰黄色 e:良好 f:1/5
22	26	第3面 遺構286	常滑 甕	-	-	-	a:輪積み技法 b:長石粒・白色粒 c:暗褐色 d:暗褐色 e:良好・硬質 f:胴部片 g:四角の枠 の中に10弁の菊花文の押印が2個
22	27		常滑 片口鉢Ⅱ類	-	-	-	a:輪積み技法 b:長石粒・黒色粒 c:暗褐色 d:暗赤褐色 e:硬質 f:口縁部片
22	28		銭	孔径(0.6)		f:1/2 g:開■■■■	
22	29		銭	径2.4	孔径0.7×0.7		f:完形 g:元祐通寶・初鑄年1084年・北宋・行書
22	30		銭	径2.5	孔径0.6×0.6		f:完形 g:元祐通寶・初鑄年1086年・北宋・篆書
22	31		銭	径2.5	孔径0.7×0.7		f:完形 g:元祐通寶・初鑄年1086年・北宋・篆書
22	32	第3面 遺構287	かわらけ	8.00	5.00	2.60	a:ロクロ成形・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・土丹粒・砂質・ 良土 c:淡橙色 e:良好 f:1/2・やや薄手の器壁を持つ・内外面ともに黒色に変色
22	33		かわらけ	8.20	5.20	2.40	a:ロクロ成形・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨芯・砂質・ やや粗土 c:橙色 e:良好 f:ほぼ完形
22	34		かわらけ	13.00	8.40	3.70	a:ロクロ成形・外底回転糸切・板状圧痕・内底強く横ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・土丹粒・ 砂質・良土 c:橙色 e:良好 f:3/4・内面摩耗している
22	35		かわらけ	(14.00)	(8.20)	4.10	a:ロクロ成形・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・土丹粒・砂質・ やや粗土 c:橙色 e:良好 f:1/4
22	36	第3面 遺構290	かわらけ	(7.40)	(5.00)	1.90	a:ロクロ成形・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・砂質・やや粗土 c: 黄灰色 e:良好 f:1/4
22	37	第3面 遺構291	かわらけ	(7.80)	(5.00)	1.60	a:ロクロ成形・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・土丹粒・砂質・ やや粗土 c:淡橙色 e:良好 f:1/3
22	38	第3面 遺構292	瓦器質 火鉢	-	-	-	a:輪積み技法 b:小石粒・白色粒・砂粒 c:灰色 d:黒褐色 e:軟質 f:口縁部片 g:胴部外面 に不明瞭な菊花文の押印・火熱を受けたために器壁が剥離している
22	39		鉄製品 釘	(4.80)	(0.60)	(0.30)	両端部欠損
22	40	第3面 遺構293	かわらけ	(7.40)	(5.20)	1.70	a:ロクロ成形・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・砂質・やや粗土 c: 淡橙色 e:やや甘い f:1/5
22	41	第3面 遺構301	瓦器質 火鉢	(33.60)	(30.00)	10.50	a:輪積み技法 b:小石粒・砂粒 c:灰色 d:外面黒色・内面灰色 e:軟質 f:口縁部～底部にかけ てg鈎の上面に16弁の:菊花文の押印・鈎部に貫通孔あり・内面・外面ともに磨きの痕・火熱を受け たために器表は剥離している・底部ハナレ砂付着
23	42	第3面 遺構302	かわらけ	(7.80)	5.00	1.50	a:ロクロ成形・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・土丹粒・砂質・ やや粗土 c:淡橙色 e:やや甘い f:1/5
23	43		かわらけ	7.40	4.60	2.50	a:ロクロ成形・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・土丹粒・砂質・ 良土 c:橙色 e:良好 f:5/6・器形に歪みあり・やや薄手の器壁を持つ
23	44		かわらけ	10.80	6.60	2.90	a:ロクロ成形・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデの後見込み周囲をナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・ 海綿骨芯・砂質・やや粗土 c:灰黄色 e:やや甘い f:1/4
23	45		かわらけ	(11.00)	6.80	2.70	a:ロクロ成形・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・土丹粒・砂質・ やや粗土 c:淡橙色 e:良好 f:1/3
23	46		かわらけ	13.00	7.40	3.60	a:ロクロ成形・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・砂質・良土 c: 橙色 e:良好 f:完形
23	47		かわらけ	(13.20)	7.40	3.40	a:ロクロ成形・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデの後見込み周囲をナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・ 土丹粒・砂質・良土 c:橙色 e:良好 f:1/2・内底に針状の道具で刻まれた線刻あり
23	48		東幡系鉢 転用品	(2.50)	(3.80)	(1.10)	鉢の口縁部頂部全体に摩耗痕
23	49	第3面 遺構304	かわらけ	7.20	5.20	1.80	a:ロクロ成形・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデの後見込み周囲をナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・ 土丹粒・砂質・粗土 c:淡橙色 e:やや甘い f:4/5
23	50	第3面 遺構308	鉄製品 釘	3.20	0.40	0.20	断面方形
23	51	第3面 遺構311	かわらけ	(7.60)	(5.20)	1.60	a:ロクロ成形・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・赤色粒・黒色粒・海綿骨芯・砂質・や や粗土 c:淡橙色 e:やや甘い f:1/5
23	52		かわらけ	(7.60)	(5.20)	1.60	a:ロクロ成形・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデの後見込み周囲をナデ b:微砂・赤色粒・黒色粒・ 砂質・やや粗土 c:灰黄色 e:やや甘い f:1/4
23	53		かわらけ	(7.80)	(5.00)	1.60	a:ロクロ成形・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・砂質・やや粗土 c: 灰黄色 e:やや甘い f:1/4・外側面、外底面黒色に変色
23	54	第3面 遺構312	かわらけ	(9.00)	(6.20)	2.00	a:ロクロ成形・外底回転糸切・板状圧痕・内底強い横ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・土丹粒・ 砂質・やや粗土 c:灰黄色 e:やや甘い f:1/3
23	55		かわらけ	(7.80)	(5.20)	2.00	a:ロクロ成形・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデの後見込み周囲をナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・ 土丹粒・砂質・良土 c:橙色 e:良好 f:1/4
23	56		鉄製品 用途不明	径(4.8)	-	(0.50)	腐食が激しく、原型不明両、鉄製品の蓋か?
23	57	第3面 遺構314	瀬戸 用途不明	-	-	0.4	b:砂粒・白色粒 c:灰色 d:無釉 e:良好 f:底部径は3.4cm g:瀬戸入子の底部片を円盤状に 加工している・内外底面に不明瞭な線刻あり
23	58	第3面 遺構315	かわらけ	(14.20)	(7.80)	3.30	a:ロクロ成形・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデの後見込み周囲をナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・ 土丹粒・砂質・良土 c:橙色 e:良好 f:1/4
23	59		石製品 砥石	(5.00)	3.00	(0.80)	鳴滝産・仕上砥・側面切り取り痕
23	60		かわらけ 転用品	径3.6	0.80		a:外底回転糸切 b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・土丹粒 c:橙色 e:良好 f:底部片を転用・ 丁寧な加工・残存1/2
23	61	第3面 遺構318	かわらけ	(7.80)	(7.60)	1.60	a:ロクロ成形・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・土丹粒・砂質・ 良土 c:橙色 e:良好 f:1/3
23	62	第3面 遺構318	銭	径2.4	孔径0.6×0.6		f:完形 g:元豊通寶・初鑄年1078年・北宋・行書

単位: cm/復元: ()

図版番号	No.	出土位置 出土層位	種別	口径/長さ	底径/幅	器高/厚さ	観察内容
23	63	第3面 遺構3 1 9	常滑 甕	(43.40)	-	-	a:成形・調整 b:胎土・素地・材質 c:色調 d:釉調 e:焼成 f:遺存値 g:備考 a:輪積み技法 b:砂粒・白色粒・黒色粒・小石粒 c:暗褐色 d:暗赤褐色 e:硬質 f:口縁部片 g: 8形式
23	64		石製品 砥石	(2.30)	3.20	(0.60)	鳴滝産・仕上げ・側面切り取り痕・表裏を砥面として使用
23	65	第3面 遺構3 2 1	かわらけ	11.50	6.60	3.10	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底強く横ナデ b:微砂・赤色粒・黒色粒・土丹粒・粉質・ 良土 c:橙色 e:良好 f:3/4
23	66	第3面 遺構3 2 2	かわらけ	(7.20)	(4.60)	1.80	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・土丹粒・砂質・ 良土 c:橙色 e:良好 f:1/4
23	67	第3面 遺構3 2 4	石製品 砥石	(5.00)	(4.60)	(2.20)	天草産・中砥・赤色流紋あり・一面のみ砥面が残る
23	68		銭	径2.5	孔径0.6×0.6		f:完形 g:元祐通寶・初鑄年1086年・北宋・行書
23	69	第3面 遺構3 2 5	かわらけ	(7.40)	(4.80)	1.70	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・粉質・やや粗土 c: 黄灰色 e:やや甘い f:1/3
23	70		かわらけ	(7.00)	(5.00)	1.90	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・土丹粒・粉質・ 良土 c:橙色 e:良好 f:1/4
23	71		かわらけ	(11.40)	(7.20)	3.30	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・土丹粒・粉質・ 良土 c:橙色 e:良好 f:2/3・外側面器壁が黒色に変色
23	72		かわらけ	-	(8.00)	-	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底強く横ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・土丹粒・ 粉質・良土 c:橙色 e:良好 f:1/4・内外面ともに胴部下部まで油煤痕
23	73		鉄製品 釘	(4.40)	(0.40)	(0.50)	g:両端部欠損
23	74	第3面 遺構3 2 6	常滑 甕	-	-	-	a:輪積み技法 b:砂粒・白色粒 c:暗褐色 d:暗赤褐色 e:硬質 f:口縁部片 g:6a形式
23	75	第3面 遺構3 3 0	かわらけ	(7.60)	(5.20)	1.80	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・土丹粒・粉質・ 良土 c:橙色 e:良好 f:1/4
23	76		かわらけ	(7.80)	(5.20)	2.10	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・土丹粒・砂質・ やや粗土 c:淡褐色 e:良好 f:1/5
23	77	第3面 遺構3 3 7	かわらけ	(7.80)	(5.20)	2.00	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・赤色粒・黒色粒・土丹粒・粉質・良土 c: 淡褐色 e:良好 f:1/4
23	78		かわらけ	7.40	4.60	1.90	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・赤色粒・黒色粒・土丹粒・砂質・良土 c: 橙色 e:良好 f:完形
23	79		かわらけ	(7.00)	(4.20)	2.00	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・土丹粒・粉質・ 良土 c:橙色 e:良好 f:1/4
23	80		かわらけ	(11.80)	(7.60)	3.40	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・土丹粒・粉質・ 良土 c:橙色 e:良好 f:1/4
23	81	第3面 遺構3 4 6	かわらけ	(8.20)	(5.40)	1.90	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・土丹粒・砂質・ 良土 c:橙色 e:良好 f:1/4
23	82		かわらけ	(7.00)	(5.00)	1.60	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・土丹粒・砂質・ 良土 c:橙色 e:良好 f:1/4
23	83	第3面 遺構3 5 3	瓦器質 火鉢	-	-	-	a:輪積み技法 b:小石粒・白色粒・砂粒 c:灰色 d:黒褐色 e:軟質 f:口縁部片 g:内外面器 壁に不明瞭ながら磨き痕あり
23	84	第3面 遺構3 5 5	かわらけ	(8.00)	(5.00)	1.70	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・土丹粒・砂質・ やや粗土 c:灰黄色 e:やや甘い f:1/3
23	85	第3面 遺構3 5 7	かわらけ	(8.20)	(5.60)	1.90	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・土丹粒・海綿骨芯・ 砂質・やや粗土 c:灰黄色 e:やや甘い f:1/3
23	86		かわらけ	10.80	6.40	2.80	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・土丹粒・砂質・ 良土 c:橙色 e:良好 f:完形
24	1	第3面 面上	かわらけ	(7.20)	(5.00)	1.70	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:赤色粒・黒色粒・海綿骨芯・雲母・粉質・粗土 c: 橙色 e:良好 f:1/5
24	2		かわらけ	(7.60)	(5.00)	1.90	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:赤色粒・黒色粒・海綿骨芯・雲母・粉質・良土 c: 黄褐色 e:良好 f:1/4
24	3		かわらけ	(7.60)	(4.40)	1.80	a:ロクロ成形・外底回転系切・内底ナデ b:赤色粒・黒色粒・海綿骨芯・雲母・粉質・粗土 c:黄橙 色 e:良好 f:1/3 g:口縁部にスリ痕あり
24	4		かわらけ	6.90	4.60	2.10	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:赤色粒・黒色粒・雲母・粉質・粗土 c:黄橙 色 e:良好 f:4/5 g:3破片を接合
24	5		かわらけ	(6.40)	(4.00)	2.00	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:赤色粒・黒色粒・土丹粒・海綿骨芯・雲母・砂質・ 粗土 c:橙色 e:良好 f:1/3
24	6		かわらけ	(11.00)	(6.80)	3.00	a:ロクロ成形・外底回転系切 b:微砂・赤色粒・海綿骨芯・雲母・砂質・粗土 c:橙色 e:やや甘い f: 1/5
24	7		かわらけ	(11.40)	(6.00)	3.50	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:赤色粒・黒色粒・海綿骨芯・雲母・砂質・粗土 c: 橙色 e:良好 f:1/3
24	8		かわらけ	(12.00)	(6.80)	3.10	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・赤色粒・黒色粒・海綿骨芯・雲母・粉質・ 粗土 c:黄褐色 e:良好 f:1/4 g:内面黒色に変色
24	9		かわらけ	(12.60)	(7.10)	3.50	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・赤色粒・黒色粒・雲母・粉質・良土 c: 橙色 e:良好 f:1/3
24	10		かわらけ	(12.20)	(6.70)	3.20	a:ロクロ成形・外底回転系切・内底ナデ b:赤色粒・黒色粒・白色粒・海綿骨芯・雲母・粉質・粗土 c: 橙色 e:良好 f:1/3
24	11		常滑 片口鉢Ⅱ類	-	-	-	b:白色粒・小石粒・長石・石英・灰茶色 c:明茶色 e:良好 f:口縁部片 g:8形式
24	12		瓦器質 火鉢	-	-	-	b:赤色粒・白色粒・小石粒・粗土・灰褐色 c:灰黒色 e:やや甘い f:口縁部～胴部片 g:内面に 調整痕・外側面に11弁の菊花文(径2.5cm)・黒色処理・Ⅲ類
24	13		石製品 砥石	1.30	1.50	0.40	基石様の黒色で扁平な形
24	14		石製品 砥石	(3.00)	2.70	0.50	c:緑白色 f:破片 g:鳴滝産・頁岩
24	15		銭	径(2.4)	孔径(0.8×0.8)		f:3/4 g:皇宋通寶・北宋・1038年
24	16		漆器製品 皿	(10.60)	(5.00)	(2.70)	g:内外面黒色漆髹漆・内面梅文・枝文・波文・外面波文を施文
24	17	第3面 構成土	かわらけ	(6.90)	(5.50)	1.30	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底強く横ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨芯・ 砂質・粗土 c:灰褐色 e:良好 f:1/3・内外綿薄く黒色に変色
24	18		かわらけ	(7.40)	(6.60)	1.00	a:ロクロ成形・外底回転系切・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・砂質・やや粗土 c:赤褐色 e: 良好 f:1/5・胎土に雑物を非常に多く含む・器高が低く、口径・底径に差が少なく、 一般的なかわらけの器形と異なる
24	19		かわらけ	(7.20)	(5.00)	1.50	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:雲母・赤色粒・黒色粒・土丹粒・海綿骨芯・ 粉質・良土 c:黄褐色 e:良好 f:1/2
24	20		かわらけ	(7.80)	(5.40)	1.60	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・土丹粒・海綿骨芯・ 砂質・粗土 c:橙色 e:良好 f:1/3
24	21		かわらけ	7.20	5.40	1.80	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・小石粒・海綿骨芯・ 砂質・良土 c:淡褐色 e:良好 f:5/6 g:内側面に糸痕

単位: cm/ 復元: ()

図版番号	No.	出土位置 出土層位	種別	口径/長さ	底径/幅	器高/厚さ	観察内容
24	22	第3面 構成土	かわらけ	(7.80)	(6.00)	1.90	a:成形・調整 b:胎土・素地・材質 c:色調 d:釉調 e:焼成 f:遺存値 g:備考 a:ロクロ成形・外底回転系切り・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・小石粒・海綿骨芯・砂質・やや粗土 c:灰黄色 e:良好 f:1/4
24	23		かわらけ	(7.40)	(5.00)	1.90	a:ロクロ成形・外底回転系切り・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・白色粒・黒色粒・海綿骨芯・砂質・粗土 c:淡橙色 e:やや甘い f:1/4
24	24		かわらけ	(8.00)	5.20	1.80	a:ロクロ成形・外底回転系切り・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・赤色粒・黒色粒・海綿骨芯・粉質・良土 c:橙色 e:良好 f:2/3
24	25		かわらけ	(7.80)	5.20	2.00	a:ロクロ成形・外底回転系切り・板状圧痕・内底強く横ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨芯・粉質・粗土 c:黄橙色 e:良好 f:2/3
24	26		かわらけ	7.30	4.50	1.90	a:ロクロ成形・外底回転系切り・板状圧痕・内底強く横ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨芯・砂質・粗土 c:灰黄色 e:良好 f:5/6
24	27		かわらけ	(7.60)	(5.00)	1.90	a:ロクロ成形・外底回転系切り・板状圧痕・内底強く横ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・砂質・やや粗土 c:灰黄色 e:良好 f:1/4
24	28		かわらけ	(7.40)	(5.00)	1.90	a:ロクロ成形・外底回転系切り・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・砂質・粗土 c:灰黄色 e:良好 f:1/3
24	29		かわらけ	(7.80)	6.00	2.00	a:ロクロ成形・外底回転系切り・板状圧痕・内底強く横ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・土丹粒・海綿骨芯・砂質・粗土 c:黄橙色 e:良好 f:2/3
24	30		かわらけ	(7.20)	5.60	1.80	a:ロクロ成形・外底回転系切り・板状圧痕・内底強く横ナデの後見込み周囲をナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨芯・砂質・やや粗土 c:灰黄色 e:良好 f:5/6
24	31		かわらけ	(7.80)	(5.20)	1.60	a:ロクロ成形・外底回転系切り・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・黒色粒・海綿骨芯・砂質・やや粗土 c:黄橙色 e:良好 f:1/2
24	32		かわらけ	(7.60)	(4.60)	1.70	a:ロクロ成形・外底回転系切り・板状圧痕・内底強く横ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨芯・砂質・良土 c:橙色 e:良好 f:2/3
24	33		かわらけ	7.40	5.20	1.80	a:ロクロ成形・外底回転系切り・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・小石粒・海綿骨芯・砂質・やや粗土 c:灰黄色 e:良好 f:完形
24	34		かわらけ	7.80	5.60	2.00	a:ロクロ成形・外底回転系切り・板状圧痕・内底強く横ナデ b:微砂・赤色粒・黒色粒・海綿骨芯・砂質・良土 c:黄橙色 e:良好 f:2/3・内外面一部に油煤痕
24	35		かわらけ	(7.60)	(5.00)	1.90	a:ロクロ成形・外底回転系切り・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・小石粒・海綿骨芯・砂質・良土 c:橙色 e:良好 f:1/4
24	36		かわらけ	(7.00)	4.50	1.90	a:ロクロ成形・外底回転系切り・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・土丹粒・海綿骨芯・砂質・粗土 c:橙色 e:やや甘い f:2/3
24	37		かわらけ	(7.60)	5.40	1.90	a:ロクロ成形・外底回転系切り・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨芯・粉質・粗土 c:橙色 e:やや甘い f:2/3
24	38		かわらけ	(7.80)	(6.00)	1.90	a:ロクロ成形・外底回転系切り・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・砂質・粗土 c:黄橙色 e:良好 f:1/3・内底面ナデの後見込み周囲を強くナデ
24	39		かわらけ	(7.80)	(4.80)	1.80	a:ロクロ成形・外底回転系切り・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・黒色粒・海綿骨芯・砂質・やや粗土 c:灰黄色 e:良好 f:1/3
24	40		かわらけ	(7.40)	(5.00)	1.80	a:ロクロ成形・外底回転系切り・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨芯・砂質・粗土 c:橙色 e:良好 f:1/2
24	41		かわらけ	(7.40)	(4.60)	1.50	a:ロクロ成形・外底回転系切り・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・白色粒・黒色粒・海綿骨芯・砂質・粗土 c:灰褐色 e:良好 f:1/3
24	42		かわらけ	(7.80)	(5.00)	1.60	a:ロクロ成形・外底回転系切り・板状圧痕・内底ナデ b:雲母・赤色粒・黒色粒・土丹粒・砂質・良土 c:橙色 e:良好 f:1/3
24	43		かわらけ	(7.40)	(4.40)	1.70	a:ロクロ成形・外底回転系切り・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・小石粒・海綿骨芯・砂質・やや粗土 c:赤橙色 e:良好 f:1/4
24	44	かわらけ	(7.40)	(5.00)	1.80	a:ロクロ成形・外底回転系切り・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・小石粒・海綿骨芯・砂質・良土 c:赤橙色 e:良好 f:1/4 g:硬質な胎土・薄い器壁を持つ器形	
24	45	かわらけ	(6.80)	4.70	1.70	a:ロクロ成形・外底回転系切り・板状圧痕・内底強く横ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・砂質・良土 c:赤褐色 e:良好 f:5/6	
24	46	かわらけ	(7.00)	4.70	2.00	a:ロクロ成形・外底回転系切り・板状圧痕・内底強く横ナデ b:微砂・赤色粒・白色粒・海綿骨芯・粉質・良土 c:赤褐色 e:良好 f:2/3	
24	47	かわらけ	(7.00)	(4.40)	2.00	a:ロクロ成形・外底回転系切り・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・砂質・良土 c:橙色 e:良好 f:1/4	
24	48	かわらけ	(7.20)	(5.00)	2.10	a:ロクロ成形・外底回転系切り・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・砂質・粗土 c:灰褐色 e:良好 f:1/3	
24	49	かわらけ	7.60	4.90	2.30	a:ロクロ成形・外底回転系切り・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・小石粒・海綿骨芯・砂質・良土 c:橙色 e:良好 f:完形	
24	50	かわらけ	(7.40)	(4.00)	2.40	a:ロクロ成形・外底回転系切り・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・小石粒・海綿骨芯・砂質・粗土 c:橙色 e:良好 f:1/2・器壁丸く内反して立ち上がる	
24	51	かわらけ	(8.20)	(5.00)	2.40	a:ロクロ成形・外底回転系切り・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・赤色粒・黒色粒・小石粒・海綿骨芯・砂質・粗土 c:橙色 e:良好 f:1/2・外底面と外側面下部が黒色に変色	
24	52	かわらけ	7.60	4.80	2.60	a:ロクロ成形・外底回転系切り・板状圧痕・内底強く横ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・砂質・粗土 c:黄褐色 e:良好 f:完形	
24	53	かわらけ	(6.80)	(3.40)	2.10	a:ロクロ成形・外底回転系切り・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・小石粒・海綿骨芯・砂質・やや粗土 c:赤褐色 e:良好 f:1/4	
24	54	かわらけ	(6.40)	(3.80)	2.20	a:ロクロ成形・外底回転系切り・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・黒色粒・海綿骨芯・粉質・良土 c:褐色 e:やや甘い f:1/3	
24	55	かわらけ	(6.20)	(4.20)	2.00	a:ロクロ成形・外底回転系切り・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・黒色粒・海綿骨芯・砂質・良土 c:褐色 e:良好 f:1/4	
24	56	かわらけ	(12.30)	(7.80)	2.90	a:ロクロ成形・外底回転系切り・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・小石粒・海綿骨芯・砂質・やや粗土 c:灰黄色 e:やや甘い f:1/3 g:内側面に煤痕	
24	57	かわらけ	(12.20)	(8.00)	2.90	a:ロクロ成形・外底回転系切り・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・白色粒・小石粒・海綿骨芯・砂質・粗土 c:褐色 e:良好 f:1/3	
24	58	かわらけ	(12.20)	(8.00)	2.90	a:ロクロ成形・外底回転系切り・板状圧痕・内底強く横ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨芯・粉質・良土 c:褐色 e:良好 f:1/3	
24	59	かわらけ	(12.80)	(8.00)	3.30	a:ロクロ成形・外底回転系切り・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・粉質・良土 c:黄褐色 e:良好 f:2/3	
24	60	かわらけ	(12.20)	(7.60)	2.90	a:ロクロ成形・外底回転系切り・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・赤色粒・黒色粒・海綿骨芯・砂質・良土 c:褐色 e:良好 f:1/3	
24	61	かわらけ	(12.40)	(7.00)	3.40	a:ロクロ成形・外底回転系切り・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨芯・粉質・良土 c:淡褐色 e:良好 f:1/2	
24	62	かわらけ	(12.80)	(7.80)	3.60	a:ロクロ成形・外底回転系切り・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨芯・砂質・やや粗土 c:淡褐色 e:良好 f:1/3	
24	63	かわらけ	(12.30)	(6.60)	3.65	a:ロクロ成形・外底回転系切り・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨芯・砂質・良土 c:灰黄色 e:良好 f:1/2	
24	64	かわらけ	(12.60)	(7.00)	2.90	a:ロクロ成形・外底回転系切り・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・砂質・やや粗土 c:淡褐色 e:良好 f:1/3	
24	65	かわらけ	(13.00)	(7.80)	3.10	a:ロクロ成形・外底回転系切り・板状圧痕・内底強く横ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・砂質・やや粗土 c:赤褐色 e:良好 f:1/3	
24	66	かわらけ	(11.80)	(6.00)	3.30	a:ロクロ成形・外底回転系切り・板状圧痕・内底強く横ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・海綿骨芯・砂質・良土 c:赤褐色 e:良好 f:1/3	

単位: cm/復元: ()

図版 番号	No.	出土位置 出土層位	種別	口径/長さ	底径/幅	器高/厚さ	観察内容 a:成形・調整 b:胎土・素地・材質 c:色調 d:釉調 e:焼成 f:遺存値 g:備考
24	67	第3面 構成土	かわらけ	(12.80)	(7.00)	3.50	a:ロクロ成形・外底回転系切り・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・砂質・やや粗土 c:赤褐色 e:良好 f:1/5
24	68		かわらけ	(13.40)	(7.00)	3.50	a:ロクロ成形・外底回転系切り・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・小石粒・海綿骨芯・砂質・やや粗土 c:褐色 e:良好 f:1/3
25	69	第4面 遺構359	瀬戸 卸皿	-	-	-	a:ロクロ成形 b:良土・灰白色 c:灰緑色 e:良好・軟質 f:口縁部片 g:中Ⅲ期
25	70		瀬戸 卸皿	-	-	-	a:ロクロ成形 b:良土・灰白色 c:灰緑色 e:良好・軟質 f:口縁部片 g:中Ⅳ期
25	71		瀬戸 片口鉢	-	-	-	a:ロクロ成形 b:微砂 c:灰色 e:硬質 f:口縁部片
25	72		常滑 壺	-	-	-	a:輪積み技法 b:長石・白色粒・石英・小石粒 c:茶褐色 d:灰褐色 e:硬質 f:口縁部片 g:6b形式・縁部一部欠損
25	73		常滑 壺	-	-	-	a:輪積み技法 b:長石・白色粒・石英・小石粒 c:暗灰色 d:暗灰色 e:硬質 f:口縁部片 g:6b形式
25	74		常滑 壺	-	-	-	a:輪積み技法 b:長石・白色粒・石英・小石粒 c:暗褐色 d:赤褐色 e:硬質 f:口縁部片 g:6b形式
25	75		常滑 壺	-	-	-	a:輪積み技法 b:長石・白色粒・石英・小石粒 c:暗褐色 d:暗褐色 e:硬質 f:口縁部片 g:6b形式
25	76		常滑 壺	-	-	-	a:輪積み技法 b:長石・白色粒・石英・小石粒 c:暗褐色 d:暗灰色 e:硬質 f:口縁部片 g:7形式
25	77		常滑 壺	-	-	-	a:輪積み技法 b:長石・白色粒・石英・小石粒 c:灰色 d:灰色 e:硬質 f:胴部片 g:10弁の菊文の叩き文
25	78		土器質 火鉢	-	-	-	a:輪積み技法 b:黒色粒・白色粒・小石粒 c:灰色 d:暗灰色 e:軟質 f:底部片 g:Ib類・外底部砂付着
25	79		瓦器質 火鉢	-	-	-	b:砂粒・小石粒 c:灰白色 d: e:軟質 f:口縁部片 g:内外面黒色処理・外側面に16弁の菊花文スタンプ・内外面共に縦方向のへら磨き・Ⅲ類
25	80		瓦器質 火鉢	-	-	-	b:砂粒・小石粒 c:灰白色 d: e:軟質 f:口縁部片 g:内外面黒色処理・外面12弁の菊花文スタンプ・内面縦方向のへら磨き・Ⅲ類
25	81		瓦器質 火鉢	-	-	-	b:砂粒・小石粒 c:赤褐色 d: e:軟質 f:口縁部片 g:内面縦方向のへら磨き・外側面黒色処理・外側面に16弁の菊花文スタンプ・Ⅲ類
25	82		瓦器質 火鉢	-	-	-	b:砂粒・小石粒 c:灰白色 d: e:軟質 f:胴部 g:内外面黒色処理を施されるが、外側面下部は火熱の為か処理剥離・内外面共に横方向のへら磨き・鑄部に孔が開く・ⅣC類
25	83		瓦器質 火鉢	-	-	-	b:砂粒・小石粒 c:灰白色 d: e:軟質 f:口縁部片 g:鑄部に16弁の菊花スタンプ文・鑄部に孔が開く・内外面横方向の磨き・内外面黒色処理・ⅣC類
25	84		龜山 壺	-	-	-	a:輪積み技法 b:長石・白色粒・石英・小石粒 c:灰色 d:灰色 e:硬質 f:胴部片
25	85		瓦器碗	-	(4.60)	-	a:ロクロ成形・外底面回転系切り・内底面ナデ無し b:白色粒・精良 c:灰白色 e:良好 f:1/3・口唇部黒縁
25	86		かわらけ 転用品	2.60	2.20	1.10	a:ロクロ成形・外底面回転系切り b:微砂・雲母・黒色粒・砂質・やや粗土 c:褐色 g:ロクロ成形のかわらけ底部を円盤状に加工
25	87	石製品 砥石	(4.00)	5.60	(5.00)	天草産・中砥	
25	88	鉄製品 釘	9.00	0.70	0.50		
25	89	鉄製品 釘	(7.60)	0.60	0.50	端部欠損	
25	90	銭	径2.30	孔径0.7×0.7		f:完形 g:紹定通寶・初鑄年1228年・南宋・背二	
25	91	銭	径2.45	孔径0.6×0.75		f:完形 g:景德元寶・初鑄年1004年・北宋	
25	92	銭	径2.35	孔径0.6×0.6		f:完形 g:元豐通寶・初鑄年1078年・北宋・行書	
25	93	銭	径2.4	孔径0.7×0.6		f:完形 g:祥符通寶・初鑄年1009年・北宋	
25	94	銭	径2.35	孔径0.6×0.5		f:1/2 g:淳化元寶・初鑄年990年・北宋・草書	
28	1	第4面 遺構359	かわらけ	(7.60)	(6.00)	1.80	a:ロクロ成形・外底回転系切り・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・土丹粒・砂質・やや粗土 c:灰黄色 e:やや甘い f:1/6
28	2		かわらけ	(7.00)	(5.00)	1.60	a:ロクロ成形・外底回転系切り・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・土丹粒・砂質・良土 c:褐色 e:良好 f:1/2
28	3	第4面 遺構360	かわらけ	12.40	8.40	3.30	a:ロクロ成形・外底回転系切り・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・土丹粒・海綿骨芯・砂質・やや粗土 c:淡褐色 e:良好 f:完形・内外面ともに黒色に変色・内面口唇部1ヶ所に油煤痕
28	4		かわらけ	(12.40)	(7.60)	2.50	a:ロクロ成形・外底回転系切り・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・土丹粒・砂質・良土 c:褐色 e:良好 f:1/4内外面煤痕
28	5	第4面 遺構363	かわらけ	12.20	8.00	3.30	a:ロクロ成形・外底回転系切り・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・土丹粒・海綿骨芯・砂質・やや粗土 c:淡褐色 e:良好 f:1/5・内外面ともに黒色に変色
28	6	第4面 遺構384	鉄製品 用途不明	-	-	-	鑄造に伴う鉄滓か?鉄製品・蓋の一部か?
28	7	第4面 遺構386	銭	径2.4	孔径0.6×0.6		f:完形 g:聖宋元寶・初鑄年1101年・北宋・行書
28	8	第4面 遺構387	かわらけ	(8.00)	(6.20)	1.90	a:ロクロ成形・外底回転系切り・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・土丹粒・砂質・やや粗土 c:淡褐色 e:良好 f:1/4
28	9	第4面 遺構391	瀬戸 折縁皿	-	-	-	b:砂粒・c黄・灰色 d:灰緑色 e:良好 f:口縁部片 g:外側面釉塗塗り
28	10	第4面 遺構395	かわらけ	8.00	5.00	1.80	a:ロクロ成形・外底回転系切り・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・土丹粒・海綿骨芯・砂質・良土 c:淡褐色 e:良好 f:完形
28	11	第4面 遺構401	かわらけ	12.00	7.80	3.00	a:ロクロ成形・外底回転系切り・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・粉質・良土 c:褐色 e:良好 f:1/2
28	12		かわらけ	(12.60)	(6.60)	3.90	a:ロクロ成形・外底回転系切り・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨芯・砂質・やや粗土 c:褐色 e:良好 f:2/3・薄い器壁
28	13	第4面 遺構402	銭	径2.6	孔径0.6×0.6		f:完形 g:明道元寶・初鑄年1032年・北宋・篆書
28	14	第4面 遺構405	かわらけ	7.70	4.40	2.10	a:ロクロ成形・外底回転系切り・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨芯・砂質・やや粗土 c:淡褐色 e:良好 f:完形
28	15	第4面 遺構411	かわらけ	(6.80)	(4.20)	1.40	a:ロクロ成形・外底回転系切り・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨芯・砂質・やや粗土 c:淡褐色 e:良好 f:1/4
28	16	第4面 遺構412	かわらけ	7.60	4.80	2.10	a:ロクロ成形・外底回転系切り・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・砂質・良土 c:淡褐色 e:良好 f:4/5・内側面一部が黒色に変色
28	17	第4面 遺構414	土器質 火鉢	-	-	-	a:輪積み技法 b:雲母・小石粒・白色粒・砂粒 c:褐色 d:黒褐色 e:軟質 f:口縁部片 g:内外面器壁・回転ナデ・外面薄く指頭によるナデも残る
28	18	第4面 遺構423	かわらけ	(7.40)	(5.00)	1.70	a:ロクロ成形・外底回転系切り・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨芯・砂質・やや粗土 c:淡褐色 e:良好 f:1/4

単位: cm/ 復元: ()

図版番号	No.	出土位置 出土層位	種別	口径/長さ	底径/幅	器高/厚さ	観察内容
28	19	第4面 遺構4 2 3	かわらけ	(13.40)	(7.00)	3.60	a:成形・調整 b:胎土・素地・材質 c:色調 d:釉調 e:焼成 f:遺存値 g:備考 a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨芯・砂質・ やや粗土 c:淡橙色 e:良好 f:1/6
28	20	第4面 遺構4 2 4	かわらけ	7.70	4.80	1.90	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨芯・砂質・ やや粗土 c:淡橙色 e:良好 f:2/3
28	21		かわらけ	(7.40)	(5.00)	1.80	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨芯・砂質・ 良土 c:橙色 e:良好 f:1/5
28	22		かわらけ	7.60	4.80	2.20	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・粉質・良土 c: 橙色 e:良好 f:完形
28	23		かわらけ	(7.80)	(5.20)	2.50	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・砂質・良土 c:淡: 橙色 e:良好 f:1/5
28	24		かわらけ	7.60	5.20	1.80	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・砂質・やや粗土 c: 淡橙色 e:良好 f:完形
28	25		かわらけ	(7.80)	(4.20)	1.90	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨芯・砂質・ やや粗土 c:淡橙色 e:良好 f:1/4・内外側面黒色に変色・煤付着か?
28	26		かわらけ	7.40	4.40	1.90	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・粉質・良土 c: 橙色 e:良好 f:完形・外側面煤付着
28	27		かわらけ	11.00	7.00	3.10	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・砂質・やや粗土 c: 淡橙色 e:良好 f:完形
28	28		かわらけ	13.80	8.00	3.40	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨芯・砂質・ 良土 c:橙色 e:良好 f:完形
28	29		鉄製品 掛け金具	(8.00)	(1.50)	(1.20)	遺存状態悪く原型は不明・掛け金具の一部と考えている
28	30	第4面 遺構4 2 7	山茶碗	-	-	-	a:ロクロ成形 b:微砂・白色粒 c:灰色 d:暗灰色 e:硬質 f:口縁部片
28	31	第4面 遺構4 3 4	かわらけ	(7.20)	(5.20)	1.50	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・砂質・やや粗土 c: 淡橙色 e:良好 f:1/3
28	32	第4面 遺構4 3 5	かわらけ	(8.20)	(5.60)	1.70	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨芯・砂質・ 良土 c:橙色 e:良好 f:1/2
28	33		瓦器質 火鉢	-	-	-	a:輪積み技法 b:雲母・小石粒・白色粒・砂粒 c:橙色 d:黒褐色 e:軟質 f:口縁部片g輪花状 になる器形・押印、脚の形状は遺存していなかったため不明・内面磨き痕・外面器壁が剥離
29	1	第4面 面上	かわらけ	(7.20)	(6.00)	1.50	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・赤色粒・黒色粒・土丹粒・粉質・良土 c: 黄褐色 e:良好 f:1/4
29	2		かわらけ	(7.60)	(5.40)	1.60	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・赤色粒・黒色粒・粉質・良土 c:黄橙: 色 e:良好 f:1/4
29	3		かわらけ	(7.40)	(5.00)	1.60	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・土丹粒・粉質・ 良土 c:橙色 e:良好 f:1/6
29	4		かわらけ	(7.80)	5.20	1.70	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・赤色粒・黒色粒・海綿骨芯・粉質・良土 c: 黄褐色 e:良好 f:1/2
29	5		かわらけ	7.80	5.20	1.90	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨芯・砂質・ 良土 c:黄褐色 e:良好 f:4/5・内底ナデの後見込み周囲をナデ
29	6		かわらけ	(7.40)	(5.20)	1.60	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・土丹粒・海綿骨芯・ 砂質・良土 c:橙色 e:良好 f:1/6
29	7		かわらけ	(7.60)	(5.20)	1.50	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨芯・粉質・ 良土 c:黄褐色 e:良好 f:1/4
29	8		かわらけ	(7.00)	(5.00)	1.70	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・土丹粒・海綿骨芯・ 粉質・良土 c:橙色 e:良好 f:1/4
29	9		かわらけ	7.80	4.40	2.00	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨芯・砂質・ 良土 c:橙色 e:良好 f:完形
29	10		かわらけ	(7.20)	4.60	2.20	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・赤色粒・黒色粒・海綿骨芯・砂質・良土 c: 橙色 e:良好 f:1/2
29	11		かわらけ	(11.80)	(6.80)	2.90	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・土丹粒・海綿骨芯・ 砂質・良土 c:黄褐色 e:良好 f:1/4・口唇部油煤痕
29	12		かわらけ	(13.40)	7.20	3.30	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・土丹粒・粉質・ 良土 c:橙色 e:良好 f:3/4
29	13		かわらけ	(12.20)	7.20	3.80	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・赤色粒・黒色粒・土丹粒・粉質・良土 c: 橙色 e:良好 f:1/2
29	14		常滑 甕	-	-	-	a:輪積み技法 b:砂粒・白色粒・石英 c:暗灰色 d:暗灰色 e:硬質 f:口縁部片 g:6b形式
29	15		常滑 甕	-	-	-	a:輪積み技法 b:砂粒・白色粒・石英 c:暗灰色 d:暗褐色 e:硬質 f:口縁部片 g:6b形式
29	16		土器質 壺	-	(7.00)	-	a:ロクロ成形・外底面回転系切 b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・砂質・やや粗土 c:黄褐色 e: 良好 f:底部片 g:破片の為器形は不明・壺か?
29	17		石製品 砥石	(3.90)	3.50	0.75	鳴滝産・仕上砥・両面砥面として使用・側面切り出し痕
29	18		鉄製品 釘	9.40	0.50	0.50	-
29	19		鉄製品 釘	(7.10)	0.70	0.60	端部欠損
29	20	第4面 構成土	かわらけ	7.80	6.40	1.50	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・白色粒・赤色粒・黒色粒・土丹粒・ 砂質・良土 c:橙色 e:良好 f:完形・内底ナデの後・見込み周囲をナデ
29	21		かわらけ	7.00	5.00	1.50	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・白色粒・黒色粒・海綿骨芯・粉質・ 良土 c:橙色 e:良好 f:1/2
29	22		かわらけ	12.20	8.20	3.30	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・土丹粒・砂質・ やや粗土 c:黄褐色 e:良好 f:2/3
29	23		白磁 香炉	-	6.00	-	a:型作り b:微砂・精良・堅緻 c:白色 d:薄い白緑色 e:良好 f:1/4 g:六角形を呈する・ 底部軸なし・外側面蓮弁文
29	24		瀬戸 片口鉢	-	-	-	a:ロクロ成形 b:白色粒・黒色粒 c:灰色 d:灰色 e:軟質 f:口縁部片
29	25		常滑 片口鉢I類	-	-	-	a:輪積み技法 b:微砂・白色粒・黒色粒 c:灰黒色 d:灰黒色 e:硬質 f:縁部片 g:6a形 式
29	26		常滑 甕	-	-	-	a:輪積み技法 b:砂粒・白色粒 c:黒褐色 d:黒褐色 e:硬質 f:口縁部片 g:縁部幅2.80cm・ 6b形式
29	27		常滑 甕	-	-	-	a:輪積み技法 b:砂粒・白色粒 c:灰黒色 d:暗赤褐色 e:硬質 f:口縁部片 g:縁部幅 2.20cm・7形式
29	28		東海系 鈔鍋	-	-	-	b:微砂・黒色粒・白色粒 c:黒褐色 g:器表面は乳白色を呈する
29	29		鉄製品	(12.00)	(1.50)	(0.80)	g:用途不明品・端部鋭利に尖らせている・ほぼ中央部分貫通し、木材が遺存していた・工具か?
31	1	第5面 遺構4 3 7	かわらけ	(7.80)	(5.00)	1.50	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・砂質・良土 c: 橙色 e:良好 f:1/3・外面に油煤痕

単位: cm/復元: ()

図版番号	No.	出土位置 出土層位	種別	口径/長さ	底径/幅	器高/厚さ	観察内容
							a:成形・調整 b:胎土・素地・材質 c:色調 d:釉調 e:焼成 f:遺存値 g:備考 a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・赤色粒・黒色粒・土丹粒・砂質・良土 c: 橙色 e:良好 f:1/2
31	2	第5面 遺構4 3 7	かわらけ	7.60	5.20	1.70	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・土丹粒・砂質・ やや粗土 c:灰黄色 e:良好 f:1/4・内外面に油煤痕
31	3		かわらけ	(7.80)	(5.00)	1.80	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・土丹粒・砂質・ 良土 c:橙色 e:良好 f:完形・口唇部1ヶ所に油煤痕
31	4		かわらけ	7.00	5.20	1.80	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・土丹粒・砂質・ 良土 c:橙色 e:良好 f:完形・口唇部1ヶ所に油煤痕
31	5		かわらけ	(10.60)	(6.00)	3.10	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・砂質・やや粗土 c: 淡橙色 e:良好 f:1/4・外側面と口唇部に油煤痕
31	6		かわらけ	(12.60)	7.60	3.40	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底強く横ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨芯・ 粉質・良土 c:橙色 e:良好 f:2/3
31	7		常滑 片口鉢I類	-	-	-	a:輪積み技法 b:砂粒・白色粒・黒色粒 c:灰色 d:灰色 e:硬質 f:口縁部片
32	1	第5面 遺構4 3 8	かわらけ	(10.60)	(6.00)	3.20	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・粉質・良土 c: 橙色 e:良好 f:1/3・内底面に鉄分附着
32	2		かわらけ	(12.40)	(8.00)	2.80	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・砂質・良土 c: 淡橙色 e:良好 f:1/2
32	3		かわらけ	12.40	8.00	3.30	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底強く横ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・砂質・ 良土 c:淡橙色 e:良好 f:1/2・外側面に植物遺体痕か?黒く変色
32	4		かわらけ	12.60	7.80	3.50	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨芯・粉質・ 良土 c:橙色 e:良好 f:完形
32	5	第5面 遺構4 3 9	かわらけ	(7.40)	(5.00)	1.50	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・黒色粒・土丹粒・海綿骨芯・砂質・ 良土 c:橙色 e:良好 f:1/3
32	6		かわらけ	(7.60)	(4.80)	1.20	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・土丹粒・粉質・ 良土 c:橙色 e:良好 f:1/5
32	7		かわらけ	(7.80)	5.00	1.40	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・粉質・良土 c: 橙色 e:良好 f:1/2
32	8		瀬戸 器種不明	-	-	-	b:精良 c:灰色 d:灰色 e:硬質 f:口縁部・輪花型になる入子か?・内外面ともに無釉
32	9		常滑 片口鉢I類	-	-	-	a:輪積み技法 b:微砂・白色粒 c:灰色 d:灰色 e:硬質 f:口縁部 g:内面摩耗痕
32	10		女瓦	-	-	1.40	a:凸面縄目の強い糸切り・離れ砂・凹面離れ砂付着挟端部削り b:灰色 微砂・白色粒・小石粒・良土 e: 軟質 g:I期A類
32	11		銭	2.40	孔径0.6×0.6		f:完形 g:天禧通寶・初鑄年1111年・北宋・篆書
32	12	第5面 遺構4 4 0	かわらけ	(7.00)	(4.60)	1.40	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・土丹粒・海綿骨芯・ 粉質・良土 c:橙色 e:良好 f:1/2
32	13		かわらけ	(12.80)	(8.00)	3.00	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底強く横ナデ b:微砂・赤色粒・黒色粒・海綿骨芯・砂質・ 良土 c:橙色 e:良好 f:1/3・口唇部、一部黒く変色
32	14		瀬戸 卸皿	-	-	-	b:微砂・黒色粒・精良c黄・灰色 d:黄灰色 e:良好・軟質 f:口縁部片
32	15		常滑 片口鉢I類	-	-	-	a:輪積み技法 b:微砂・白色粒 c:灰色 d:灰色 e:硬質 f:口縁部片
32	16		瓦器質 火鉢	-	-	-	a:輪積み技法 b:小石粒・白色粒・砂粒 c:灰色 d:暗灰色 e:軟質 f:胴部片 g:鋳付き・鋳 部に16弁の菊花の押印・底部離れ砂付着・内面磨き痕・外側面火熱を受けたためか白色に変色し磨き 痕は不明瞭・脚付きの器形と思われる・IVC類
32	17		銭	径2.4	孔径0.6×0.6		f:完形 g:政和元寶・初鑄年1111年・北宋・篆書
32	18		銭	径2.5	孔径0.7×0.7		f:完形 g:明道元寶・初鑄年1032年・北宋・篆書
33	1	第5面 面上	かわらけ	7.40	5.40	1.60	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・黒色粒・海綿骨芯・砂質・やや 粗土 c:灰褐色 e:良好 f:完形 g:内外面ともに器壁が黒色に変色
33	2		かわらけ	7.20	5.00	1.60	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデの後見込み周囲を強くナデ b:微砂・白色粒・黒色粒・ 土丹粒・砂質・良土 c:橙色 e:良好 f:完形・外面と内面口唇部が黒色に変色
33	3	第5面 構成土	かわらけ	(7.20)	5.60	1.40	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨芯・砂質・ 粗土 c:赤褐色 e:良好 f:3/5
33	4		かわらけ	(7.20)	(4.60)	1.50	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨芯・土丹粒・ 粉質・粗土 c:黄褐色 e:良好 f:1/3・内外面黒色に変色
33	5		かわらけ	7.60	5.70	1.50	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・海綿骨芯・粉質・良土 c:黄 褐色 e:良好 f:完形・内外面口唇部に油煤痕
33	6		かわらけ	(7.50)	5.00	1.50	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨芯・土丹粒・ 粉質・粗土 c:黄褐色 e:良好 f:3/4・内底ナデの後・見込み周囲を強くナデ
33	7		かわらけ	(8.00)	(5.20)	1.50	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨芯・土丹粒・ 粉質・粗土 c:橙色 e:良好 f:1/4・内底ナデの後・見込み周囲を強くナデ
33	8		かわらけ	(7.80)	(4.40)	1.50	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨芯・粉質・ 粗土 c:黄褐色 e:良好 f:1/4
33	9		かわらけ	(7.40)	4.60	1.60	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・土丹粒・海綿骨芯・ 粉質・良土 c:黄褐色 e:良好 f:3/5
33	10		かわらけ	(7.60)	(5.00)	1.80	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨芯・砂質・ 良土 c:橙色 e:良好 f:1/4・外側面一部黒色に変色
33	11		かわらけ	(7.80)	(5.60)	1.80	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨芯・粉質・ 良土 c:黄褐色 e:良好 f:1/4
33	12		かわらけ	7.80	5.20	1.90	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・土丹粒・砂質・ 粗土 c:赤褐色 e:やや甘い f:1/4
33	13		かわらけ	(7.40)	5.00	1.70	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨芯・砂質・ 粗土 c:黄褐色 e:良好 f:1/4・口唇部打ち掻け
33	14		かわらけ	(7.50)	(4.90)	1.80	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨芯・土丹粒・ 粉質・良土 c:黄褐色 e:良好 f:1/3
33	15		かわらけ	(7.20)	(4.80)	1.70	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨芯・砂質・ 粗土 c:橙色 e:良好 f:1/5
33	16		かわらけ	(7.00)	(4.00)	1.70	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨芯・粉質・ 良土 c:黄褐色 e:良好 f:1/4・内外面口唇部に油煤痕
33	17		かわらけ	(7.20)	5.50	1.60	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨芯・土丹粒・ 粉質・粗土 c:橙色 e:良好 f:1/2・内外面器壁に油煤痕
33	18		かわらけ	7.40	5.40	1.70	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・海綿骨芯・赤色粒・黒色粒・土丹粒・ 砂質・粗土 c:橙色 e:良好 f:4/5・内外面に油煤痕
33	19		かわらけ	(7.40)	(5.50)	1.50	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・海綿骨芯・土丹粒・粉質・ 粗土 c:橙色 e:良好 f:1/3
33	20		かわらけ	(7.20)	4.60	1.60	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨芯・土丹粒・ 粉質・良土 c:橙色 e:良好 f:1/4
33	21		かわらけ	(7.20)	5.00	1.80	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨芯・土丹粒・ 粉質・粗土 c:橙色 e:良好 f:2/3・内外面口唇部油煤付着

単位: cm/復元:()

図版番号	No.	出土位置 出土層位	種別	口径/長さ	底径/幅	器高/厚さ	観察内容
							a: 成形・調整 b: 胎土・素地・材質 c: 色調 d: 釉調 e: 焼成 f: 遺存値 g: 備考
33	22	第5面 構成土	かわらけ	7.10	5.40	2.20	a: ロクロ成形・外底回転系切り・板状圧痕・内底ナデ b: 微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨芯・土丹粒・粉質・粗土 c: 黄橙色 e: 良好 f: 完形・内面口唇部に煤付着内底面ナデの後、見込み周囲をナデ
33	23		かわらけ	(7.00)	(4.00)	2.00	a: ロクロ成形・外底回転系切り・板状圧痕・内底ナデ b: 微砂・雲母・赤色粒・白色粒・黒色粒・海綿骨芯・砂質・良土 c: 橙色 e: 良好 f: 1/4・薄手の器壁
33	24		かわらけ	(7.80)	(4.70)	2.10	a: ロクロ成形・外底回転系切り・板状圧痕・内底強く横ナデ b: 微砂・雲母・白色粒・赤色粒・黒色粒・海綿骨芯・土丹粒・粉質・粗土 c: 黄橙色 e: 良好 f: 1/2
33	25		かわらけ	12.00	8.00	3.90	a: ロクロ成形・外底回転系切り・板状圧痕・内底強く横ナデ b: 微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨芯・砂質・粗土 c: 黄橙色 e: 良好 f: 4/5・内外面に油煤痕
33	26		かわらけ	(12.20)	7.60	3.30	a: ロクロ成形・外底回転系切り・板状圧痕・内底強く横ナデ b: 微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨芯・粉質・良土 c: 黄橙色 e: 良好 f: 1/3
33	27		かわらけ	13.50	8.50	3.90	a: ロクロ成形・外底回転系切り・板状圧痕・内底ナデ b: 微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・砂質・良土 c: 橙色 e: 良好 f: 4/5
33	28		かわらけ	(14.00)	8.00	3.40	a: ロクロ成形・外底回転系切り・板状圧痕・内底強く横ナデ b: 微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨芯・砂質・粗土 c: 橙色 e: 良好 f: 2/3
33	29		かわらけ	(12.40)	8.00	3.50	a: ロクロ成形・外底回転系切り・板状圧痕・内底強く横ナデナデ b: 微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨芯・土丹粒・小石粒・砂質・粗土 c: 黄橙色 e: 良好 f: 2/3
33	30		かわらけ	(13.00)	7.60	3.50	a: ロクロ成形・外底回転系切り・板状圧痕・内底ナデ b: 微砂・雲母・赤色粒・白色粒・黒色粒・海綿骨芯・砂質・粗土 c: 橙色 e: 良好 f: 1/3
33	31		かわらけ	(12.80)	(8.20)	3.50	a: ロクロ成形・外底回転系切り・板状圧痕・内底ナデ b: 微砂・雲母・白色粒・赤色粒・黒色粒・小石粒・粉質・粗土 c: 黄橙色 e: 良好 f: 3/5
33	32		かわらけ	(12.80)	(7.40)	(3.50)	a: ロクロ成形・外底回転系切り・板状圧痕・内底強く横ナデ b: 微砂・雲母・白色粒・赤色粒・黒色粒・粉質・良土 c: 黄橙色 e: やや甘い f: 1/4
33	33		かわらけ	(11.80)	(6.00)	3.30	a: ロクロ成形・外底回転系切り・板状圧痕・内底強く横ナデ b: 微砂・雲母・赤色粒・土丹粒・海綿骨芯・粉質・粗土 c: 橙色 e: 良好 f: 1/4
33	34		かわらけ	(12.80)	(7.90)	3.30	a: ロクロ成形・外底回転系切り・板状圧痕・内底ナデ b: 微砂・雲母・赤色粒・白色粒・粉質・粗土 c: 橙色 e: 良好 f: 1/3・内底ナデの後、見込み周囲をナデ・内面口唇部外側に油煤痕
33	35		かわらけ	(12.60)	(9.60)	4.00	a: ロクロ成形・外底回転系切り・板状圧痕・内底強く横ナデ・底部貼り付け b: 微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・小石粒・海綿骨芯・粉質・良土 c: 黄橙色 e: 良好 f: 3/5
33	36		かわらけ	(13.80)	(7.40)	3.60	a: ロクロ成形・外底回転系切り・板状圧痕・内底ナデ b: 微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・砂質・粗土 c: 黄橙色 e: 良好 f: 1/5・内面黒色に変色
33	37		瀬戸 御血	-	-	-	a: ロクロ成形・底部回転系切り b: 黒色微砂・やや粗土 c: 白橙色 d: 灰緑色 e: 良好・軟質 f: 底部片
33	38		常滑 片口鉢Ⅰ類	-	-	-	a: 輪積み技法 b: 長石・白色粒・石英・小石粒 c: 灰色 d: 灰色 e: 硬質 f: 口縁部片 g: 4形式
33	39		常滑 片口鉢Ⅰ類	-	-	-	a: 輪積み技法 b: 長石・石英・白色粒 c: 灰色 d: 灰色 e: 硬質 f: 口縁部片 g: 4形式
33	40		常滑 片口鉢Ⅰ類	-	-	-	a: 輪積み技法 b: 長石・砂粒・石英・小石粒 c: 灰色 d: 灰色 e: 硬質 f: 口縁部片 g: 4形式
33	41		常滑 片口鉢Ⅱ類	-	-	-	a: 輪積み技法 b: 長石・砂粒・石英・小石粒 c: 灰褐色 d: 茶褐色 e: 硬質 f: 口縁部片 g: 5形式
33	42		瓦器質 黒縁皿	-	-	-	b: 黒色微粒・赤色粒・良土 c: 灰色 e: 良好 f: 口縁部片 g: 和泉Ⅲ-2?
33	43		瓦器質 火鉢	-	-	-	a: b: 黒色粒・白色粒・やや粗土 c: 灰色 e: 良好 f: 口縁部～底部にかけて g: 火熱を受けたためか、内外面ともに剥離・器表が荒れる。内面下部摩擦痕
33	44		瓦器質 火鉢	-	-	-	b: 白色粒・黒色粒・小石粒・粗土 c: 灰白色 e: 良好 f: 口縁部
33	45		石製品 砥石	(9.70)	(7.50)	(5.70)	b: 伊予産・凝灰岩・中砥
33	46		石製品 砥石	(5.90)	(4.50)	(3.20)	b: 伊予産・凝灰岩・中砥
33	47		石製品 砥石	(6.50)	(3.00)	(2.70)	b: 伊予産・凝灰岩・中砥
33	48		男瓦	-	-	(2.70)	b: 砂粒・白色粒・良土 c: 灰色 e: 硬質 g: 凸面叩き痕+横位ナデ・凹面布目痕・離れ砂付着
33	49		鉄製品 釘	(5.30)	(0.40)	(0.50)	g: 断面四角形を呈する
36	1	第6面 遺構4 4 2	かわらけ	12.60	8.00	3.40	a: ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b: 微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・土丹粒・海綿骨芯・砂質・良土 c: 淡橙色 e: 良好 f: 完形
36	2	第6面 遺構4 4 3	かわらけ	(7.40)	4.80	1.60	a: ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b: 微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・土丹粒・海綿骨芯・砂質・良土 c: 淡橙色 e: 良好 f: 1/3
36	3		かわらけ	7.60	5.00	1.90	a: ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b: 微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・土丹粒・砂質・良土 c: 橙色 e: 良好 f: 完形
36	4	第6面 遺構4 4 5	常滑 甕	-	-	-	a: 輪積み技法 b: 砂粒・白色粒・黒色粒 c: 暗褐色 d: 暗褐色 e: 硬質 f: 縁部部 g: 6a形式
36	5	第6面 遺構4 4 6	かわらけ	(7.60)	(5.20)	1.50	a: ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b: 微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・土丹粒・海綿骨芯・砂質・良土 c: 橙色 e: 良好 f: 1/4
36	6		かわらけ	10.20	6.40	2.90	a: ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b: 微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・土丹粒・海綿骨芯・粉質・良土 c: 橙色 e: 良好 f: 完形
36	7		かわらけ	(10.80)	(6.60)	3.20	a: ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデの後見込み周囲をナデ b: 微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・粉質・良土 c: 橙色 e: 良好 f: 1/3
36	8		かわらけ	(12.40)	(8.20)	3.30	a: ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b: 微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・土丹粒・海綿骨芯・砂質・良土 c: 橙色 e: 良好 f: 3/4
36	9		銭	径2.4	孔径0.6×0.6		f: 完形 g: 熙寧元寶・初鑄年1068年・北宋・真書
36	10	第6面 遺構4 4 7	白磁 器種不明	-	-	-	a: ロクロ成形 b: 精良土 c: 灰白色 d: 透明 e: 硬質・良好 f: 胴部片 g: 壺か?
36	11	第6面 遺構4 4 8	かわらけ	(7.20)	(5.00)	1.50	a: ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b: 微砂・雲母・赤色粒・海綿骨芯・土丹粒・粉質・やや粗土 c: 黄橙色 e: 良好 f: 1/4
36	12	第6面 遺構4 5 1	常滑 片口鉢Ⅰ類	-	-	-	b: 砂粒・黒色粒・白色小石粒 c: 黄灰色 e: やや軟質 f: 口縁部片 e: 6形式
36	13		常滑 甕	-	-	-	a: 輪積み技法 b: 砂粒・白色粒・小石粒・礫 c: 灰色 d: 褐色 e: 硬質 f: 口縁部片 g: 6b形式・口縁部の磨減が激しい
36	14		瓦器質 火鉢	(33.00)	(23.20)	9.20	b: 砂粒・小石粒 c: 灰白色 d: e: 軟質 f: 1/6 g: 胴部下部蹄状工具によるナデ整形か?・内底下部磨減痕・I b類
36	15	第6面 遺構4 5 2	かわらけ	(7.80)	(5.20)	1.60	a: ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b: 微砂・雲母・赤色粒・海綿骨芯・砂質・やや粗土 c: 淡黄橙色 e: 良好 f: 1/4
36	16		かわらけ	(7.90)	(5.10)	1.80	a: ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b: 微砂・雲母・赤色粒・海綿骨芯・小石粒・砂質・やや粗土 c: 淡黄橙色 e: 良好 f: 1/4
36	17	第6面 遺構4 5 4	銭	径2.1	孔径0.6×0.6		f: 完形 g: 紹聖元寶・初鑄年1094年・北宋・篆書
36	18	第6面 遺構4 5 5	かわらけ	(7.60)	(5.20)	1.70	a: ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b: 微砂・雲母・赤色粒・海綿骨芯・土丹粒・砂質・やや粗土 c: 淡黄橙色 e: 良好 f: 1/4

単位: cm/復元: ()

図版番号	No.	出土位置 出土層位	種別	口径/長さ	底径/幅	器高/厚さ	観察内容
							a:成形・調整 b:胎土・素地・材質 c:色調 d:釉調 e:焼成 f:遺存値 g:備考 a:ロクロ成形・外底回転系切り・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・海綿骨芯・土丹粒・砂質・やや粗土 c:淡黄橙色 e:良好 f:1/3 g:内壁に薄く外側面一部が黒色に変色
36	19	第6面 遺構457	かわらけ	(7.60)	4.50	1.90	a:ロクロ成形・外底回転系切り・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・海綿骨芯・土丹粒・粉質・やや粗土 c:淡黄橙色 e:良好 f:1/3 g:内壁に薄く外側面一部が黒色に変色
36	20		かわらけ	(7.80)	(5.60)	1.80	a:ロクロ成形・外底回転系切り・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・海綿骨芯・土丹粒・粉質・やや粗土 c:淡黄橙色 e:良好 f:1/4
36	21		かわらけ	(7.20)	4.90	2.20	a:ロクロ成形・外底回転系切り・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・白色粒・粉質・良土 c:淡黄橙色 e:良好 f:1/3 g:内外面共に磨減が激しく整形痕不明、薄い器壁
36	22		かわらけ	11.90	8.00	3.60	a:ロクロ成形・外底回転系切り・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・白色粒・土丹粒・粉質・粗土 c:黄橙色 e:良好 f:完形 g:内面口唇部、見込み一部に油煤痕か?黒色の付着物あり
36	23		かわらけ	(13.00)	(7.80)	3.40	a:ロクロ成形・外底回転系切り・板状圧痕・内底強く横ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・海綿骨芯・土丹粒・粉質・粗土 c:淡黄橙色 e:良好 f:1/4
36	24		黄釉 盤	-	-	-	b:砂粒・白色粒・小石粒 c:灰黄色 d:灰黄色 e:良好 f:口縁部片
36	25		石製品 砥石	(3.30)	3.80	(0.80)	b:流紋岩質細粒凝灰岩・硬質 c:灰色 g:鳴滝奥殿産・仕上げの仕上げと両小口を意図的に平刃物上の工具で削りだし、途中折取りか?上小口、側面にも二次加工痕
36	26		瓦瓦	-	-	1.95	b:微砂・白色粒・雲母・良土 c:灰色 e:硬質 g:永福寺瓦A類・凸面縄目痕と叩きの離れ砂・凹面布目痕・端部ヘラケズリ
36	27		漆器製品 皿	-	(7.40)	-	g:内外面黒色漆髹漆・無文
36	28		木製品 用途不明	(11.90)	(1.40)	(0.50)	g:端部焼痕・不整形
36	29	第6面 遺構459	かわらけ	7.90	5.00	2.00	a:ロクロ成形・外底回転系切り・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・海綿骨芯・小石粒・砂質・粗土 c:黄灰色 e:良好 f:完形 g:内外面に油煤痕
36	30		かわらけ	(7.20)	(5.10)	1.60	a:ロクロ成形・外底回転系切り・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・海綿骨芯・土丹粒・粉質・やや粗土 c:淡橙色 e:良好 f:1/3
36	31		かわらけ	(6.80)	(4.80)	1.60	a:ロクロ成形・外底回転系切り・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・海綿骨芯・土丹粒・砂質・やや粗土 c:暗黄橙色 e:良好 f:1/3
36	32		かわらけ	(13.00)	(7.60)	3.10	a:ロクロ成形・外底回転系切り・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・海綿骨芯・土丹粒・粉質・粗土 c:淡橙色 e:良好 f:2/3
36	33		かわらけ	12.60	7.70	3.30	a:ロクロ成形・外底回転系切り・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・海綿骨芯・土丹粒・砂質・粗土 c:黄橙色 e:良好 f:2/3
36	34		常滑 甕	-	-	-	b:砂粒・白色粒小石粒・長石 c:暗灰色 d:暗褐色 e:硬質 f:口縁部片 g:緑帯部に厚く降灰釉
36	35		銭	径2.55	孔径0.7×0.7		f:完形 g:皇宋通宝・初鑄年1038年・北宋・真書・表面摩耗痕
36	36		銭	径2.5	孔径0.6×0.65		f:完形 g:元豐通寶・初鑄年1078年・北宋・行書・表面に摩耗痕
36	37		銭	径2.45	孔径0.6×0.6		f:完形 g:紹聖元寶・初鑄年1094年・北宋・行書
36	38		銭	径2.5	孔径0.6×0.6		f:完形 g:政和通寶・初鑄年1111年・北宋・篆書
36	39	銭	径2.5	孔径0.7×0.7		f:完形 g:■■■■寶・行書・裏面摩耗痕・表面に小孔2か所	
36	40	第6面 遺構460	かわらけ	(7.70)	(6.00)	1.60	a:ロクロ成形・外底回転系切り・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・海綿骨芯・土丹粒・砂質・粗土 c:黄灰色 e:良好 f:1/2
36	41		かわらけ	7.30	5.40	1.70	a:ロクロ成形・外底回転系切り・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・海綿骨芯・土丹粒・砂質・粗土 c:黄灰色 e:良好 f:4/5・口縁部一部欠損・器表面摩耗が著しく整形痕不明瞭・内底ナデの後見込み周囲を強くナデ
36	42		かわらけ	(7.30)	5.60	1.60	a:ロクロ成形・外底回転系切り・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・海綿骨芯・土丹粒・砂質・粗土 c:淡黄橙色 e:良好 f:2/3・内底ナデの後見込み周囲を強くナデ
36	43		かわらけ	7.20	5.10	1.65	a:ロクロ成形・外底回転系切り・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・海綿骨芯・土丹粒・砂質・粗土 c:黄灰色 e:良好 f:2/3・器表面摩耗が著しく整形痕不明瞭・内底ナデの後見込み周囲を強くナデ
36	44		かわらけ	(7.10)	(4.60)	1.70	a:ロクロ成形・外底回転系切り・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・海綿骨芯・土丹粒・砂質・粗土 c:淡黄灰色 e:良好 f:1/2・内底ナデの後見込み周囲を強くナデ
36	45		かわらけ	(7.10)	(4.60)	1.90	a:ロクロ成形・外底回転系切り・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・白色粒・小石粒・土丹粒・砂質・粗土 c:淡黄橙色 e:良好 f:1/3
36	46		かわらけ	(10.80)	(6.20)	3.25	a:ロクロ成形・外底回転系切り・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・白色粒・土丹粒・砂質・やや粗土 c:淡黄橙色 e:良好 f:1/2・内外面摩耗の為整形痕不明瞭
36	47		かわらけ	(11.60)	(6.50)	3.30	a:ロクロ成形・外底回転系切り・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・海綿骨芯・土丹粒・礫・粉質・粗土 c:暗褐色 e:良好 f:1/3・内外面口唇部に油煤付着
36	48		かわらけ	(11.60)	(6.60)	3.00	a:ロクロ成形・外底回転系切り・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・土丹粒・砂質・やや粗土 c:淡橙色 e:良好 f:1/3・内面摩耗の為整形痕不明瞭
36	49		かわらけ	(11.80)	(7.10)	3.30	a:ロクロ成形・外底回転系切り・板状圧痕・内底強く横ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・海綿骨芯・土丹粒・礫・粉質・粗土 c:黄灰色 e:良好 f:1/3
36	50	かわらけ	(13.00)	(7.20)	3.65	a:ロクロ成形・外底回転系切り・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・白色粒・粉質・良土 c:橙色 e:良好 f:1/3・内側面に黒色の付着物	
36	51	常滑 片口鉢I類 土製品 壺	-	-	-	a:輪積み技法 b:長石・砂粒・石英・小石粒 c:灰色 d:灰色 e:硬質 f:口縁部片 g:6a形式	
36	52	土製品 壺	-	5.00	-	a:外底回転系切り・内外面指頭による丁寧なナデ整形 b:微砂・雲母・赤色粒・白色粒・土丹粒・砂質・粉質・やや粗土 c:黄橙色 e:良好 f:口縁部のみ欠損 g:外側面火熱を受け黒色に変色している部分あり	
37	53	第6面 遺構464	かわらけ	(8.00)	(5.40)	1.60	a:ロクロ成形・外底回転系切り・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・白色粒・土丹粒・砂質・粗土 c:黄灰色 e:良好 f:1/3・器表面摩耗が著しく整形痕不明瞭
37	54	第6面 遺構465	かわらけ	(7.80)	5.00	1.95	a:ロクロ成形・外底回転系切り・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・海綿骨芯・土丹粒・粉質・やや粗土 c:黄橙色 e:良好 f:4/5・内面口唇部にわずかに油煤付着・内底面ナデの後、見込み周囲を強くナデ
37	55	常滑 甕	-	-	-	a:輪積み技法 b:砂粒・白色粒c暗:灰色 d:暗褐色 e:硬質 f:口縁部片 g:6b~7形式	
37	56	第6面 遺構467	かわらけ	(13・6)	(9.00)	3.60	a:ロクロ成形・外底回転系切り・板状圧痕・内底強く横ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・海綿骨芯・土丹粒・粉質・やや粗土 c:黄橙色 e:良好 f:1/3
37	57	第6面 遺構481	かわらけ	7.60	5.10	1.80	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨芯・砂質・やや粗土 c:橙色 e:良好 f:完形 g:内面器壁剥離・口唇部4か所に油煤痕
37	58	かわらけ	7.70	6.20	1.75	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底強く横ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨芯・砂質・粗土 c:黄灰色 e:やや甘い f:完形 g:内面器壁剥離	
37	59	かわらけ	(12.70)	(7.30)	3.20	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・砂質・良土 c:淡橙色 e:良好 f:1/3	
37	60	かわらけ	12.50	7.90	3.40	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底強く横ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨芯・砂質・良土 c:橙色 e:良好 f:完形	
37	61	かわらけ	(12.60)	(7.00)	3.60	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底強く横ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨芯・砂質・良土 c:橙色 e:良好 f:5/6	
37	62	かわらけ	12.90	7.40	3.65	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨芯・砂質・良土 c:橙色 e:良好 f:5/6	
38	1	第6面 面上	かわらけ	(7.80)	(6.20)	1.40	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨芯・砂質・良土 c:橙色 e:良好 f:1/3

単位: cm/ 復元: ()

図版番号	No.	出土位置 出土層位	種別	口径/長さ	底径/幅	器高/厚さ	観察内容
							a:成形・調整 b:胎土・素地・材質 c:色調 d:釉調 e:焼成 f:遺存値 g:備考
38	2	第6面 面上	かわらけ	(7.40)	(4.60)	1.50	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨芯・砂質・やや粗土 c:橙色 e:良好 f:2/3
38	3		かわらけ	(7.20)	(5.00)	1.40	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・砂質・良土 c:橙色 e:良好 f:1/4
38	4		かわらけ	(7.80)	(5.00)	1.55	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨芯・砂質・良土 c:黄褐色 e:良好 f:1/4 g:口唇部に薄く油煤痕
38	5		かわらけ	(7.80)	(5.60)	1.50	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨芯・砂質・良土 c:淡褐色 e:良好 f:1/3
38	6		かわらけ	(8.00)	(5.50)	1.75	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨芯・砂質・良土 c:黄褐色 e:良好 f:1/3
38	7		かわらけ	(7.80)	(5.40)	1.70	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・土丹粒・海綿骨芯・砂質・やや粗土 c:黄褐色 e:良好 f:1/2
38	8		かわらけ	(7.80)	(5.60)	1.50	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・土丹粒・砂質・やや粗土 c:黄褐色 e:良好 f:2/3 g:口唇部残部に油煤痕
38	9		かわらけ	(7.80)	(5.80)	1.60	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・砂質・良土 c:淡褐色 e:良好 f:1/4
38	10		かわらけ	(7.60)	(5.00)	1.90	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・砂質・やや粗土 c:灰褐色 e:良好 f:1/3
38	11		かわらけ	(6.70)	(4.60)	1.40	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨芯・砂質・粗土 c:黄褐色 e:良好 f:1/2
38	12		かわらけ	(6.60)	(5.00)	1.50	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨芯・砂質・粗土 c:灰褐色 e:良好 f:1/4 g:外側面・口唇部に油煤痕
38	13		かわらけ	(6.80)	(4.30)	1.70	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨芯・砂質・やや粗土 c:黄褐色 e:良好 f:1/3
38	14		かわらけ	(7.00)	(4.40)	1.90	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底強く横ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・砂質・良土 c:橙色 e:良好 f:1/2 g:硬質な胎土で薄手の器壁を持つ器形・外側面に煤痕
38	15		かわらけ	7.40	5.50	1.90	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・海綿骨芯・砂質・やや粗土 c:赤褐色 e:良好 f:完形内外口唇部に油煤痕
38	16		かわらけ	6.60	4.00	2.10	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・海綿骨芯・砂質・良土 c:赤褐色 e:良好 f:5/6 g:口唇部2か所に油煤痕・硬質な胎土で薄手の器壁を持つ器形
38	17		かわらけ	(10.60)	6.00	3.20	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・粉質・良土 c:淡褐色 e:良好 f:3/4
38	18		かわらけ	11.00	6.80	3.10	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・粉質・良土 c:淡褐色 e:良好 f:5/6
38	19		かわらけ	(10.80)	6.00	3.20	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・粉質・良土 c:淡褐色 e:良好 f:2/3
38	20		かわらけ	10.80	6.00	3.15	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨芯・砂質・良土 c:赤褐色 e:良好 f:5/6 g:薄手の器壁を立ち上げ・硬質な胎土
38	21		かわらけ	(12.80)	(7.60)	3.00	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底強く横ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨芯・砂質・良土 c:灰褐色 e:良好 f:5/7 g:外面・内側面黒色に変色
38	22	かわらけ	(13.40)	(8.40)	3.20	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底面ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨芯・砂質・やや粗土 c:淡褐色 e:良好 f:1/4	
38	23	かわらけ	(12.80)	(7.60)	3.40	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底強く横ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨芯・砂質・良土 c:橙色 e:良好 f:1/3	
38	24	かわらけ	(12.40)	(8.00)	3.40	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨芯・砂質・やや粗土 c:淡褐色 e:良好 f:1/4	
38	25	かわらけ	12.40	7.60	3.50	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底強く横ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・砂質・良土 c:淡褐色 e:良好 f:5/6	
38	26	かわらけ	13.00	7.30	3.70	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底強く横ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・海綿骨芯・砂質・やや粗土 c:赤褐色 e:良好 f:完形	
38	27	かわらけ	(12.20)	(7.80)	3.40	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨芯・砂質・良土 c:橙色 e:良好 f:1/3	
38	28	かわらけ	(12.40)	(7.80)	3.80	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨芯・砂質・やや粗土 c:橙色 e:良好 f:1/2	
38	29	かわらけ	(12.20)	(8.80)	3.80	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底強く横ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨芯・砂質・良土 c:橙色 e:良好 f:1/3	
38	30	青磁 折縁鉢	-	-	-	a:ロクロ成形 b:黒色粒・精良堅緻 c:灰白色 d:灰緑色・半透明 f:口縁部片 g:内外面ともに無文	
38	31	瀬戸 入子	5.40	3.50	1.80	a:ロクロ成形・内底ナデなし b:微砂・黒色粒・良土 c:灰色 f:4/5 g:底面篋削りで糸切り痕を消している	
38	32	山茶碗	-	-	-	a:ロクロ成形 b:良土 c:灰色 d:灰色 f:口縁部片 g:高台部モミガラ痕	
38	33	瓦器質 火鉢	-	-	-	b:白色粒・黒色粒・小石粒・粗土 c:暗灰色 e:良好 f:口縁部 g:内外面共に横方向に整形痕・1c類	
38	34	吉備系 碗	8.20	3.60	2.70	a:ロクロ成形・回転系切 b:微砂・精良堅緻 c:灰白色 d:灰白色 e:良好 f:底部片 g:吉備系土師質土器碗・口唇部全体に油煤痕	
38	35	南伊勢系 土鍋	-	-	-	b:雲母・黒色粒・良土 c:灰黒色 f:口縁部片	
38	36	滑石鍋 転用品	(6.20)	(3.20)	2.50	滑石鍋加工途中の端材か	
38	37	石製品 砥石	(4.60)	4.70	1.50	伊予産・中砥・砥面は1面のみ遺存・側面切り出し痕	
38	38	銭	径2.5	孔径0.7×0.8		f:完形 g:明道元寶・初鑄年1032年・北宋・篆書	
38	39	銭	径2.4	孔径0.7×0.7		f:完形 g:皇宋通寶・初鑄年1038年・北宋・篆書	
38	40	銭	径2.45	孔径0.7×0.7		f:完形 g:元豐通寶・初鑄年1078年・北宋・行書	
38	41	第6面 構成土	かわらけ	(7.00)	(6.40)	1.40	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・赤色粒・黒色粒・海綿骨芯・砂質・やや粗土 c:橙色 e:良好 f:4/5
38	42		かわらけ	(6.80)	(4.60)	1.50	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・土丹粒・砂質・やや粗土 c:淡褐色 e:良好 f:1/5
38	43		かわらけ	(7.80)	(6.60)	1.50	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底強く横ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨芯・土丹粒・小石粒・砂質・やや粗土 c:黄褐色 e:良好 f:1/2
38	44		かわらけ	7.80	6.00	1.45	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨芯・土丹粒・砂質・良土 c:淡褐色 e:良好 f:完形
38	45		かわらけ	(7.80)	(5.80)	1.50	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底面ナデ b:微砂・雲母・黒色粒・土丹粒・海綿骨芯・砂質・良土 c:橙色 e:良好 f:1/2
38	46		かわらけ	(8.40)	(6.40)	1.50	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデの後見込み周囲を強くナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨芯・土丹粒・砂質・良土 c:橙色 e:良好 f:2/3
38	47		かわらけ	(7.80)	(5.60)	1.80	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・砂質・良土 c:橙色 e:良好 f:1/2

単位: cm/復元: ()

図版番号	No.	出土位置 出土層位	種別	口径/長さ	底径/幅	器高/厚さ	観察内容
38	48	第6面 構成土	かわらけ	(7.60)	(5.40)	1.30	a:成形・調整 b:胎土・素地・材質 c:色調 d:釉調 e:焼成 f:遺存値 g:備考 a:ロクロ成形・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・赤色粒・黒色粒・海綿骨芯・砂質・良土 c:赤褐色 e:良好 f:1/4
38	49		かわらけ	(7.60)	(5.00)	1.60	a:ロクロ成形・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨芯・砂質・やや粗土 c:赤褐色 e:やや甘い f:2/3
38	50		かわらけ	(7.80)	(5.60)	1.50	a:ロクロ成形・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・土丹粒・海綿骨芯・砂質・やや粗土 c:淡褐色 e:良好 f:1/4 g:内外側面に油煤痕
38	51		かわらけ	(8.60)	(6.40)	1.50	a:ロクロ成形・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・赤色粒・黒色粒・海綿骨芯・砂質・やや粗土 c:褐色 e:良好 f:1/2
38	52		かわらけ	(7.60)	(5.20)	1.50	a:ロクロ成形・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨芯・砂質・良土 c:褐色 e:良好 f:1/4
38	53		かわらけ	(7.20)	(5.20)	1.50	a:ロクロ成形・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・赤色粒・黒色粒・海綿骨芯・土丹粒・砂質・やや粗土 c:黄褐色 e:良好 f:1/3
38	54		かわらけ	(7.40)	(5.40)	1.20	a:ロクロ成形・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨芯・砂質・粗土 c:淡褐色 e:良好 f:1/5
38	55		かわらけ	(7.60)	(4.40)	1.50	a:ロクロ成形・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・土丹粒・海綿骨芯・砂質・良土 c:淡褐色 e:良好 f:1/4
38	56		かわらけ	(7.80)	(5.00)	1.60	a:ロクロ成形・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・土丹粒・砂質・やや粗土 c:赤褐色 e:良好 f:2/3 g:内面黒色に変色・一部に油煤痕
38	57		かわらけ	7.90	5.70	1.80	a:ロクロ成形・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・黒色粒・海綿骨芯・砂質・やや粗土 c:褐色 e:良好 f:完形 g:口唇部1ヶ所に油煤痕
38	58		かわらけ	(7.80)	(5.00)	1.70	a:ロクロ成形・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨芯・海綿骨芯・砂質・良土 c:淡褐色 e:良好 f:1/3
38	59		かわらけ	(7.90)	(5.30)	1.90	a:ロクロ成形・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨芯・砂質・良土 c:黄褐色 e:良好 f:3/4
38	60		かわらけ	(8.00)	(5.40)	1.90	a:ロクロ成形・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・海綿骨芯・砂質・良土 c:黄褐色 e:良好 f:3/4 g:口唇部に油煤痕
38	61		かわらけ	(8.40)	(6.00)	1.80	a:ロクロ成形・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・黒色粒・土丹粒・砂質・やや粗土 c:黄褐色 e:良好 f:1/4 g:口唇部に油煤痕
38	62		かわらけ	(7.80)	(5.90)	1.70	a:ロクロ成形・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・黒色粒・土丹粒・砂質・やや粗土 c:褐色 e:良好 f:1/4
38	63		かわらけ	(6.80)	(5.20)	1.50	a:ロクロ成形・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨芯・砂質・良土 c:褐色 e:良好 f:1/4
38	64		かわらけ	(6.80)	(5.40)	1.50	a:ロクロ成形・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・赤色粒・黒色粒・海綿骨芯・土丹粒・砂質・良土 c:褐色 e:良好 f:1/2
38	65		かわらけ	(7.80)	(6.40)	1.80	a:ロクロ成形・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・海綿骨芯・砂質・やや粗土 c:黄褐色 e:良好 f:1/2
38	66		かわらけ	(7.80)	(5.80)	1.80	a:ロクロ成形・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・黒色粒・砂質・良土 c:黄褐色 e:良好 f:1/5
38	67		かわらけ	(7.40)	(5.20)	1.50	a:ロクロ成形・外底回転糸切・板状圧痕・内底弱いナデ b:微砂・赤色粒・黒色粒・海綿骨芯・砂質・粗土 c:淡褐色 e:良好 f:1/2 g:焼き締まり硬質な胎土
38	68		かわらけ	(10.80)	(6.00)	2.70	a:ロクロ成形・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨芯・砂質・やや粗土 c:黄褐色 e:良好 f:1/3 g:口唇部と内底一部に油煤痕
38	69		かわらけ	(12.10)	(8.50)	3.55	a:ロクロ成形・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨芯・砂質・良土 c:褐色 e:良好 f:2/3
38	70		かわらけ	(14.20)	(8.00)	3.40	a:ロクロ成形・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨芯・砂質・良土 c:褐色 e:良好 f:1/3
38	71		かわらけ	12.00	8.00	3.30	a:ロクロ成形・外底回転糸切・板状圧痕・内底強く横ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨芯・砂質・良土 c:赤褐色 e:良好 f:5/6
38	72	かわらけ	12.30	8.20	3.00	a:ロクロ成形・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨芯・砂質・良土 c:黄褐色 e:良好 f:4/5	
38	73	かわらけ	12.00	6.40	3.40	a:ロクロ成形・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨芯・砂質・良土 c:褐色 e:良好 f:5/6	
38	74	かわらけ	(12.40)	(8.40)	3.00	a:ロクロ成形・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨芯・砂質・粗土 c:灰褐色 e:良好 f:1/4	
39	75	かわらけ	(11.40)	(6.40)	3.50	a:ロクロ成形・外底回転糸切・板状圧痕・内底強く横ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨芯・砂質・やや粗土 c:褐色 e:良好 f:1/4	
39	76	かわらけ	(12.40)	(7.80)	3.20	a:ロクロ成形・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・小石粒・海綿骨芯・砂質・粗土 c:灰褐色 e:良好 f:1/4	
39	77	かわらけ	(11.60)	(7.80)	3.30	a:ロクロ成形・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨芯・砂質・粗土 c:灰褐色 e:良好 f:1/3	
39	78	かわらけ	(11.80)	7.60	3.40	a:ロクロ成形・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨芯・砂質・やや粗土 c:褐色 e:良好 f:2/3・口唇部僅かに油煤痕	
39	79	かわらけ	12.30	7.80	3.55	a:ロクロ成形・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨芯・砂質・やや粗土 c:灰黄色 e:良好 f:5/6	
39	80	青磁 鎗蓮弁文碗	-	-	-	a:ロクロ成形 b:黒色微砂を僅かに含む c:灰白色 d:灰緑色・透明 e:堅緻 f:口縁部片 g:外面蓮弁文・内面無文・竜泉窯	
39	81	青磁 折腰鉢	-	(4.00)	-	a:ロクロ成形 b:良土 c:黄褐色 d:青灰色 e:やや軟質 f:底部片 g:内外面とも無文・高台内部も施釉あり・高台部露胎	
39	82	青磁 折縁皿	(13.00)	-	-	a:ロクロ成形 b:黒色微砂を僅かに含む c:灰白色 d:暗緑色・透明 e:堅緻 f:口縁部片 g:外面無文・内面蓮弁文・竜泉窯	
39	83	白磁 口元皿	(10.60)	(7.40)	2.40	a:ロクロ成形 b:黒色微砂を僅かに含む c:灰白色 d:灰色・透明 e:堅緻 f:胴部片 g:口縁部・底部露胎	
39	84	青白磁 梅瓶	(6.80)	-	-	a:ロクロ成形 b:精良土 c:灰白色 d:灰青色 e:硬質 f:1/5 g:蓋部分・頂部文様不明	
39	85	瀬戸 卸皿	-	-	-	a:ロクロ成形 b:砂粒・白色粒 c:灰色 d:灰褐色 e:硬質 f:口縁部片 g:中I期	
39	86	常滑 片口鉢I類	-	-	-	a:輪積み技法 b:砂粒・白色粒・石英 c:灰色 d:灰色 e:硬質 f:口縁部片 g:6a形式・内側面摩耗	
39	87	常滑 片口鉢II類	-	-	-	a:輪積み技法 b:砂粒・白色粒・石英 c:暗褐色 d:暗赤褐色 e:硬質 f:口縁部片 g:7形式・外側面縦方向に篋状工具による整形痕・内側面火熱を受け煤付着	
39	88	常滑 片口鉢II類	-	-	-	a:輪積み技法 b:砂粒・白色粒・石英 c:暗褐色 d:暗褐色 e:硬質 f:口縁部片 g:6形式 g:口唇部から内外面上部にかけて煤付着	
39	89	常滑 片口鉢II類	-	-	-	a:輪積み技法 b:砂粒・白色粒・石英 c:灰色 d:暗褐色 e:硬質 f:口縁部片	
39	90	常滑 甕	-	-	-	a:輪積み技法 b:砂粒・白色粒・石英 c:暗褐色 d:暗赤褐色 e:硬質 f:口縁部片 g:6a形式	
39	91	常滑 甕	-	-	-	a:輪積み技法 b:砂粒・白色粒・石英 c:暗褐色 d:暗褐色 e:硬質 f:口縁部片 g:6b形式	
39	92	常滑 甕	-	-	-	a:輪積み技法 b:砂粒・白色粒・石英 c:灰色 d:暗褐色 e:硬質 f:口縁部片 g:6b形式	

単位: cm/ 復元: ()

図版番号	No.	出土位置 出土層位	種別	口径/長さ	底径/幅	器高/厚さ	観察内容
39	93	第6面 構成土	常滑 甕	-	-	-	a:成形・調整 b:胎土・素地・材質 c:色調 d:釉調 e:焼成 f:遺存値 g:備考 a:輪積み技法 b:砂粒・白色粒・石英 c:暗褐色 d:暗赤褐色 e:硬質 f:口縁部片 g:6b形式
39	94		常滑 甕	-	-	-	a:輪積み技法 b:砂粒・白色粒・小石粒 c:灰褐色 d:灰褐色 e:硬質 f:口縁部片 g:7形式
39	95		常滑 甕	-	-	-	a:輪積み技法 b:砂粒・白色粒・石英 c:暗褐色 d:暗褐色 e:硬質 f:胴部片 g:細かい格子の叩き文
39	96		渥美 壺	-	(5.40)	-	a:輪積み技法 b:精良 c:灰色 d:暗灰色 e:硬質 f:底部片 g:高台内部露胎
39	97		瓦器質 火鉢	-	-	-	b:砂粒・黒色粒・小石粒 c:灰色 d:暗灰色 e:硬質 f:口縁部片 g:I b類
39	98		瓦器質 火鉢	-	-	-	b:砂粒・白色粒・雲母 c:暗灰色 d:暗灰色 e:軟質 f:胴部片 g:口唇部に12弁の菊花文スタンプ・沈線・斜線が廻る・破片の為復元実測できなかったが、口径約16cmを推定している。器高の低さから考えて香炉の可能性もある・底部篋削り・外側面篋による整形
39	99		石製品 碁石	1.70	1.50	0.60	石英・白色
39	100		石製品 石	1.70	1.40	0.40	安山岩・黒色・碁石か?
39	101		石製品 碁石	(9.50)	9.00	7.80	天草産・中砥(規格としては三寸角の為荒砥の可能性もある)
39	102		滑石製 鍋	-	-	-	加工途中・両側面に切り出し痕
39	103	滑石製 鍋	-	-	-	鍋の鋳部・加工痕などは見られず	
39	104	木製品 曲物	8.90	9.30	0.60	曲物底板・側面三か所に木釘痕(内二か所に木釘遺存する)	
39	105	木製品 栓	14.40	2.10	1.70	端部直径1.2cm	
44	1	第7面 遺構5 3 3	かわらけ	(5.40)	(5.00)	1.00	a:ロクロ成形・外底回転系切 b:微砂・白色粒・黒色粒・海綿骨芯・砂質・良土 c:橙色 e:良好 f:1/4 g:外底削られ不形
44	2		かわらけ	(7.20)	(5.40)	1.60	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕 b:微砂・白色粒・黒色粒・土丹粒・海綿骨芯・砂質・良土 c:橙色 e:良好 f:1/4
44	3		かわらけ	(7.20)	(5.00)	1.60	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕 b:微砂・白色粒・黒色粒・土丹粒・海綿骨芯・雲母・砂質・良土 c:黄灰色 e:良好 f:1/6
44	4		かわらけ	(8.20)	(5.60)	1.70	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕 b:微砂・白色粒・黒色粒・海綿骨芯・土丹粒・砂質・良土 c:黄灰色 e:やや良好 f:1/4
44	5		かわらけ	(12.00)	(8.40)	2.90	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕 b:微砂・白色粒・黒色粒・土丹粒・砂質・良土 c:橙色 e:良好 f:1/4
44	6		常滑 甕	(50.00)	24.00	-	b:白色粒・黒色粒・小石粒・橙色(胎芯は黒い部分あり) c:赤褐色～橙色 d:白～黄褐色の降灰釉 g:底部外面に灰がつく
44	7		常滑 甕	-	-	-	b:砂・白色粒・黒色粒・灰色・精良土 c:茶褐色 d:光沢ありの茶褐色 f:底部小片 g:底部に離れ砂付着
44	8		女瓦	-	-	1.50	a:凸面:離れ砂・縄目・糸切痕凹面:離れ砂・糸切痕をナゲ消している b:精良土・暗灰色 c:暗灰色 g:永福寺I期・二次的に火を受ける(煤痕あり)
46	1	第7面 遺構4 7 1	かわらけ	7.50	5.60	1.55	a:ロクロ成形・外底回転系切り・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・白色粒・海綿骨芯・土丹粒・粉質・粗土 c:赤褐色 e:良好 f:完形・口唇部一部欠損 g:内外面に油煤痕・内底ナデの後、見込み周囲を強くナゲ
46	2		かわらけ	12.20	8.40	3.10	a:ロクロ成形・外底回転系切り・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・白色粒・海綿骨芯・土丹粒・砂質・粗土 c:赤褐色 e:良好 f:2/3・器形に歪みあり・内面上部・外側面全体に油煤痕
46	3		木製品 用途不明	7.50	1.90	1.20	g:端部斜めに整形
46	4		木製品 用途不明	6.70	2.30	0.65	g:断面かまぼこ型
46	5	第7面 遺構4 7 3	かわらけ	(12.80)	8.00	3.00	a:ロクロ成形・外底回転系切り・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・白色粒・海綿骨芯・土丹粒・砂質・やや粗土 c:暗褐色 e:良好 f:2/3・内外面ともに器表が黒色に変色
46	6		かわらけ	(13.20)	(9.00)	3.15	a:ロクロ成形・外底回転系切り・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・白色粒・海綿骨芯・土丹粒・砂質・粗土 c:黄灰色 e:良好 f:1/2・内外面口唇部に一部油煤痕
46	7		石製品	(6.90)	1.20	6.20	b:西彼杵産 c:銀灰色 g:滑石鍋胴部を硯状に加工途中か?軟質な石材のため実用目的でなかった可能性もある
46	8	第7面 遺構4 7 5	渥美 甕	-	-	-	b:微砂・白色粒・小石粒 c:灰色 d:灰色 e:硬質・堅緻 f:口縁部片 g:把手?貼り付け
46	9	第7面 遺構4 7 8	骨製品	3.65	0.80	0.40	g:用途不明品・全体に整形が粗い・孔の数値-長さ0.7×幅0.5×厚さ0.4
46	10	第7面 遺構4 7 8	かわらけ	7.50	5.00	1.65	a:ロクロ成形・外底回転系切り・板状圧痕・内底強く横ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・白色粒・海綿骨芯・土丹粒・砂質・粗土 c:橙色 e:良好 f:1/2
46	11		かわらけ	7.70	5.10	1.60	a:ロクロ成形・外底回転系切り・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・海綿骨芯・土丹粒・礫・砂質・粗土 c:黄褐色 e:良好 f:完形・内底面ナデの後、見込み周囲を強くナゲ
46	12		かわらけ	(7.70)	(5.40)	1.70	a:ロクロ成形・外底回転系切り・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・白色粒・海綿骨芯・土丹粒・粉質・粗土 c:黄褐色 e:良好 f:1/4・内外面が黒色に変色
46	13		かわらけ	(11.40)	(6.40)	3.10	a:ロクロ成形・外底回転系切り・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・土丹粒・砂質・やや粗土 c:淡黄褐色 e:良好 f:1/4・外側面全体と内外面口唇部に厚く油煤痕・口唇部一部打ち掛け
46	14		かわらけ	12.60	8.80	2.90	a:ロクロ成形・外底回転系切り・板状圧痕・内底強く横ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・白色粒・海綿骨芯・土丹粒・砂質・粗土 c:淡黄褐色 e:良好 f:完形・口唇部一部欠損・内底見込みに線刻によるキズ多数
46	15		かわらけ	11.80	8.00	3.30	a:ロクロ成形・外底回転系切り・板状圧痕・内底強く横ナデ b:微砂・雲母・海綿骨芯・土丹粒・砂質・やや粗土 c:黄灰色 e:やや甘い f:完形
46	16		かわらけ	12.20	7.60	3.60	a:ロクロ成形・外底回転系切り・板状圧痕・内底強く横ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・白色粒・海綿骨芯・土丹粒・礫・砂質・粗土 c:濃褐色 e:良好 f:完形
46	17		かわらけ	12.40	9.00	3.55	a:ロクロ成形・外底回転系切り・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・白色粒・海綿骨芯・土丹粒・砂質・やや粗土 c:暗褐色 e:良好 f:2/3
46	18		かわらけ	13.00	7.80	3.50	a:ロクロ成形・外底回転系切り・板状圧痕・内底強く横ナデ b:微砂・雲母・海綿骨芯・土丹粒・粉質・やや粗土 c:黄褐色 e:良好 f:4/5
46	19		かわらけ	(12.80)	(7.60)	3.80	a:ロクロ成形・外底回転系切り・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・海綿骨芯・粉質・良土 c:淡黄褐色 e:良好 f:1/3・外面全体と内面見込みが黒色に変色
46	20	かわらけ	(14.20)	(8.70)	3.50	a:ロクロ成形・外底回転系切り・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・白色粒・砂質・良土 c:黄灰色 e:やや甘い f:1/3・内外面全体が黒色に変色	
46	21	青磁 鎗蓮弁文碗	-	-	-	a:ロクロ成形 b:黒色微砂・精良堅緻 c:灰白色 d:暗灰緑色・半透明 f:口縁部片	
46	22	白磁 口元皿	-	-	-	b:黒色微砂多数・精良堅緻 c:灰白色 d:灰白色・一部二次焼成により茶色に変色・気泡あり f:口縁部片 g:口唇部釉掻き取り露胎	
46	23	緑釉 盤	-	-	-	b:白色粒・黒色粒・粗胎 c:黄灰色 d:黒緑色 e:硬質 f:口縁部片 g:口縁部玉縁状に整形・内面は銀化	

単位: cm/復元: ()

図版 番号	No.	出土位置 出土層位	種別	口径/長さ	底径/幅	器高/厚さ	観察内容 a:成形・調整 b:胎土・素地・材質 c:色調 d:釉調 e:焼成 f:遺存値 g:備考
46	24	第7面 遺構478	木製品 箸状	19.40	0.60	0.40	g:断面扁平
46	25		木製品 箸状	20.70	0.60	0.45	g:断面円形
46	26		木製品 箸状	20.40	0.65	0.40	g:断面扁平
46	27		木製品 箸状	21.20	0.80	0.25	g:断面扁平・端部へラ状に尖る
46	28		木製品 箸状	22.30	0.70	0.55	g:断面円形
46	29	第7面 遺構480	かわらけ	(13.40)	-	-	a:てづくね成形 b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・土丹粒・砂質・良土 c:灰橙色 e:良好 f:1/6・ 底面指頭痕
46	30		かわらけ	(5.20)	(4.20)	0.80	a:ロクロ成形・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・赤色粒・黒色粒・白色粒・砂質・良土 c:橙色 e:良好 f:2/3 g:口唇部油煤痕・外面火熱を受け器壁剥離口唇部内折れ
46	31		かわらけ	(7.80)	(5.00)	1.30	a:ロクロ成形・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨芯・土丹粒・ 砂質・やや粗土 c:灰黄色 e:やや甘い f:1/6
46	32		かわらけ	7.80	5.00	1.70	a:ロクロ成形・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・黒色粒・海綿骨芯・砂質・良土 c: 橙色 e:良好 f:1/2
46	33		かわらけ	(7.80)	(6.00)	1.60	a:ロクロ成形・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・赤色粒・黒色粒・海綿骨芯・土丹粒・砂質・ やや粗土 c:橙色 e:やや甘い f:1/4
46	34		かわらけ	(7.40)	(5.00)	1.50	a:ロクロ成形・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・土丹粒・砂質・ やや粗土 c:灰黄色 e:やや甘い f:1/4
46	35		かわらけ	7.80	5.00	1.80	a:ロクロ成形・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨芯・土丹粒・ 砂質・やや粗土 c:灰黄色 e:やや甘い f:3/4
46	36		かわらけ	7.80	5.20	1.70	a:ロクロ成形・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・小石粒・海綿骨芯・ 砂質・やや粗土 c:灰黄色 e:やや甘い f:完形
46	37		かわらけ	(12.20)	(7.20)	3.10	a:ロクロ成形・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨芯・土丹粒・ 砂質・粗土 c:灰黄色 e:やや甘い f:1/2
46	38		かわらけ	(12.00)	(6.40)	3.20	a:ロクロ成形・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨芯・土丹粒・ 砂質・良土 c:赤橙色 e:良好 f:1/2
46	39		青磁 無文鉢	(17.00)	-	-	a:ロクロ成形 b:黒色粒・精良土 c:灰白色 d:青緑色 e:硬質・良好 f:口縁部片 g:竜泉窯
46	40		青磁 端反碗	-	-	-	a:ロクロ成形 b:黒色粒精良土 c:青緑色 e:硬質・良好 f:口縁部片・外側面蓮弁文・竜泉窯
46	41		瓦器碗	(13.00)	6.40	3.20	a:ロクロ成形・外底回転糸切・b:微砂・黒色粒・白色粒・精良土 c:乳白色 e:硬質・良好 f:1/3・ 外側面ロクロ整形痕が明瞭に残る・外面口唇部不明瞭だが黒色に変色
46	42		女瓦	-	-	2.30	a:凸面縄目叩き痕・離れ粒・凹面ナデ縦位→離れ粒付着 b:黄橙色 微砂・白色粒・輝粒・良土 e: 良好 g:I期A類
46	43	石製品 用途不明	径4.8	-	-	滑石(鍋か?)を円形に加工途中	
47	44	漆器製品 皿	(9.00)	6.60	1.35	f:1/2 g:内外面黒色漆髹漆・無文	
47	45	漆器製品 椀	-	(6.60)	-	f:1/2 g:内外面黒色漆髹漆・内面亀甲花文を赤色系漆によって施文	
47	46	木製品 用途不明	21.60	1.60	1.10	g:端部へラ状に切り出される	
47	47	木製品 用途不明	20.70	1.50	0.50	g:端部へラ状に切り出される	
47	48	木製品 用途不明	(15.50)	1.60	0.60	g:断面かまぼこ型・木釘痕残る	
47	49	木製品 用途不明	(9.60)	0.45	0.35	g:側面に刻みが残る	
47	50	かわらけ	(7.40)	(5.60)	1.70	a:ロクロ成形・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・赤色粒・白色粒・黒色粒・土丹粒・海綿骨芯・ 砂質・やや粗土 c:黄灰色 e:やや甘い f:1/6	
47	51	かわらけ	(7.60)	(5.40)	1.80	a:ロクロ成形・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・赤色粒・白色粒・黒色粒・土丹粒・海綿骨芯・ 砂質・良土 c:赤橙色 e:良好 f:1/2	
47	52	常滑 甕	-	-	-	a:輪積み技法 b:砂粒・白色粒・黒色粒 c:黒褐色 d:赤褐色 e:硬質 f:口縁部片 g:7形式	
47	53	木製品 下駄	21.50	10.00	3.00	g:連歯下駄・台部中央が張り出し・長円形を呈する	
47	54	第7面 遺構482	緑釉 盤	-	-	-	b:砂粒・白色粒 c:灰色 d:暗緑色 e:良好 f:口縁部片 g:火熱を受け釉は変色している・泉州 磁窯窯
47	55		木製品 織機	22.00	1.05	1.40	糸巻きの一部・側面2か所に木釘残存・端部に墨痕
47	56	第7面 遺構483	かわらけ	(7.60)	(5.00)	1.70	a:ロクロ成形・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・土丹粒・砂質・ 粗土 c:灰色 e:やや甘い f:1/4
47	57	第7面 遺構484	かわらけ	(4.40)	(3.80)	0.60	a:ロクロ成形・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・砂質・良土 c:灰黄色 e:良好 f:1/4・ 口唇部内折れ型・ミニかわらけ
47	58		常滑 片口鉢1類	-	-	-	a:輪積み技法 b:砂粒・黒色粒・良土 c:灰色 d:暗灰色 e:良好 f:口縁部片 g:外側面口唇 部に煤痕・6a期
47	59	第7面 遺構486	かわらけ	11.40	6.00	3.60	a:ロクロ成形・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・粉質・良土 c: 橙色 e:良好 f:4/5
47	60		青白磁 合子・蓋	-	-	-	a:ロクロ成形 b:精良土 c:灰白色 d:灰緑色 e:硬質・良好 f:縁部片 g:火熱を受け施釉は銀化・ 蓮弁文
47	61	第7面 遺構488	かわらけ	(8.20)	(6.00)	1.50	a:ロクロ成形・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨芯・砂質・ 良土 c:黒褐色 e:良好 f:1/8・断面も含め器表全体が黒色に変色・油煤痕あり
47	62		かわらけ	7.60	5.00	2.00	a:ロクロ成形・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨芯・土丹粒・ 砂質・良土 c:暗橙色 e:良好 f:5/6・内外面口唇部全体に厚く油煤痕
47	63		かわらけ	13.00	8.40	3.30	a:ロクロ成形・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・赤色粒・黒色粒・海綿骨芯・土丹粒・砂質・ 粗土 c:灰黄色 e:やや甘い f:1/2
47	64		かわらけ	(11.40)	6.60	3.30	a:ロクロ成形・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・粉質・良土 c: 橙色 e:良好 f:2/3
47	65		鉄製品 釘	(5.80)	(0.40)	(0.40)	
47	66	第7面 遺構489	かわらけ	(7.80)	(5.20)	1.50	a:ロクロ成形・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・赤色粒・黒色粒・砂質・良土 c:赤橙 色 e:良好 f:1/3
47	67		かわらけ	(12.80)	(7.80)	3.40	a:ロクロ成形・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨芯・砂質・ 良土 c:橙色 e:良好 f:1/3
47	68		男瓦	-	-	2.50	a:凸面縦ナデ・凹面縦目痕・抜き痕あり・側面整形不明 b:灰色・砂粒・輝粒・良土 c:黒色 e: 良好 g:I期A類

単位: cm/ 復元: ()

図版番号	No.	出土位置 出土層位	種別	口径/長さ	底径/幅	器高/厚さ	観察内容 a: 成形・調整 b: 胎土・素地・材質 c: 色調 d: 釉調 e: 焼成 f: 遺存値 g: 備考
47	69	第7面 遺構4 8 9	漆器製品 皿	(8.80)	6.20	1.25	f: 2/3内外面黒色漆髹漆・内面3か所、外面2か所に図案化した沢瀉文様を赤色系漆によって施文
47	70	第7面 遺構4 9 0	かわらけ	(11.80)	(8.00)	3.50	a: ロクロ成形・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ b: 微砂・赤色粒・黒色粒・白色粒・土丹粒・小石粒・砂質・やや粗土 c: 橙色 e: 良好 f: 1/4
47	71	第7面 遺構4 9 2	かわらけ	(7.20)	5.00	1.60	a: ロクロ成形・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ b: 微砂・赤色粒・白色粒・黒色粒・砂質・やや粗土 c: 橙色 e: 良好 f: 1/4
47	72		かわらけ	12.40	8.00	3.50	a: ロクロ成形・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ b: 微砂・雲母・赤色粒・白色粒・黒色粒・海綿骨芯・砂質・やや粗土 c: 灰黄色 e: 良好 f: 3/4
47	73		青磁 鎗蓮弁文碗	-	-	-	a: ロクロ成形 b: 黒色粒・精良土 c: 灰白色 d: 灰緑色 e: 硬質・良好 f: 口縁部片 g: 竜泉窯
48	74	第7面 遺構4 9 3	かわらけ	(13.20)	(8.00)	3.20	a: ロクロ成形・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ b: 微砂・赤色粒・白色粒・黒色粒・土丹粒・海綿骨芯・砂質・やや粗土 c: 灰黄色 e: やや甘い f: 1/3
48	75		鉄製品 釘	(9.00)	(0.40)	0.50	端部欠損
46	76	第7面 遺構4 9 6	木製品 箸状	21.50	0.55	0.35	g: 断面扁平
48	77	第7面 遺構4 9 7	常滑 甕	-	-	-	a: 輪積み技法 b: 砂粒・白色粒・黒色粒 c: 暗灰色 d: 暗赤褐色 e: 硬質 f: 口縁部片 g: 7形式
48	78		常滑 甕	-	-	-	a: 輪積み技法 b: 砂粒・白色粒・黒色粒 c: 暗灰色 d: 暗赤褐色 e: 硬質 f: 口縁部片 g: 7形式
48	79	第7面 遺構4 9 9	かわらけ	(11.40)	(7.00)	2.90	a: ロクロ成形・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ b: 微砂・赤色粒・白色粒・黒色粒・土丹粒・砂質・良土 c: 赤褐色 e: 良好 f: 1/3 g: 内外口唇部に厚く油煤痕
48	80		漆器製品 皿	-	(6.60)	-	g: 内外面黒色漆髹漆・無文
48	81		木製品	3.15	3.35	0.35	g: 紡輪? 曲物の底板? ・中央に孔が開く
48	82		木製品 箸状	(20.60)	0.60	0.30	g: 断面扁平
48	83		木製品 箸状	20.70	0.50	0.45	g: 断面円形
48	84		木製品 箸状	21.70	0.60	0.45	g: 断面方形
48	85	第7面 遺構5 0 1	かわらけ	(7.40)	(5.00)	1.30	a: ロクロ成形・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ b: 微砂・赤色粒・白色粒・黒色粒・土丹粒・砂質・良土 c: 赤褐色 e: 良好 f: 1/3
48	86		常滑 転用品	7.70	5.80	1.30	b: 砂粒・黒色粒・白色粒 c: 暗褐色 d: 暗褐色 g: 常滑甕胴部片・断面すべてが磨滅
48	87	第7面 遺構5 0 2	漆器製品 雲形	6.10	1.70	0.60	g: 器面黒色漆髹漆
48	88		木製品 用途不明	(6.20)	(4.45)	2.10	g: 鉄釘が遺存
48	89	第7面 遺構5 0 5	常滑 甕	-	-	-	a: 輪積み技法 b: 砂粒・白色粒・黒色粒 c: 黒褐色 d: 褐色 e: 硬質 f: 胴部片 g: 平行文に斜線の叩き文
48	90	第7面 遺構5 0 6	かわらけ	(12.20)	(7.20)	2.90	a: ロクロ成形・外底回転糸切・板状圧痕・内底強く横ナデ b: 微砂・赤色粒・白色粒・黒色粒・土丹粒・海綿骨芯・砂質・やや粗土 c: 灰黄色 e: やや甘い f: 1/4 g: 内外面黒色に変色
48	91		かわらけ	(12.60)	(8.20)	3.30	a: ロクロ成形・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ b: 微砂・赤色粒・白色粒・黒色粒・海綿骨芯・砂質・良土 c: 橙色 e: 良好 f: 1/3 g: 内外面黒色に変色・内面火熱を受けたためか器壁が剥離
48	92	第7面 遺構5 1 0	かわらけ	(11.40)	(7.20)	3.10	a: ロクロ成形・外底回転糸切・板状圧痕・内底強く横ナデ b: 微砂・雲母・赤色粒・白色粒・黒色粒・土丹粒・海綿骨芯・砂質・やや粗土 c: 黄褐色 e: 良好 f: 1/3
48	93		木製品 箸状	(21.90)	0.60	0.45	g: 断面方形
48	94	第7面 遺構5 1 1	かわらけ	7.20	5.00	1.50	a: ロクロ成形・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ b: 微砂・赤色粒・白色粒・黒色粒・土丹粒・海綿骨芯・砂質・やや粗土 c: 灰黄色 e: 良好 f: 完形 g: 内底横ナデの後、見込み周囲をナデ
48	95		かわらけ	7.00	4.80	1.60	a: ロクロ成形・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ b: 微砂・赤色粒・白色粒・黒色粒・土丹粒・海綿骨芯・砂質・やや粗土 c: 灰黄色 e: 良好 f: 完形 g: 内底横ナデの後、見込み周囲をナデ
48	96		常滑 小壺	-	(10.00)	-	a: 輪積み技法 b: 砂粒・黒色粒 c: 黒褐色 d: 黒褐色 e: 硬質 f: 胴部片 g: 胴部下部は縦位のへら状工具による調整・肩部より上方は回転ナデ
48	97	第7面 遺構5 1 3	かわらけ	(7.40)	(6.00)	1.60	a: ロクロ成形・外底回転糸切・板状圧痕・内底強く横ナデ b: 微砂・赤色粒・白色粒・黒色粒・小石粒・粉質・良土 c: 黄褐色 e: 良好 f: 1/3
48	98		かわらけ	(7.00)	4.40	1.70	a: ロクロ成形・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ b: 微砂・黒色粒・土丹粒・砂質・やや粗土 c: 灰黄色 e: やや甘い f: 1/5
48	99		木製品 箸状	19.50	0.75	0.60	g: 断面円形
48	100		木製品 箸状	22.70	0.80	0.50	g: 断面円形
48	101	第7面 遺構5 1 4	かわらけ	13.00	8.00	3.30	a: ロクロ成形・外底回転糸切・板状圧痕・内底強く横ナデ b: 微砂・雲母・赤色粒・白色粒・黒色粒・土丹粒・海綿骨芯・粉質・良土 c: 橙色 e: 良好 f: 完形
48	102	第7面 遺構5 1 5	かわらけ	12.20	8.00	3.30	a: ロクロ成形・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ b: 微砂・赤色粒・白色粒・黒色粒・土丹粒・海綿骨芯・砂質・やや粗土 c: 橙色 e: 良好 f: 3/4
48	103		緑釉 盤	-	-	-	b: 砂粒・黒色粒 c: 灰色 d: 暗緑色 e: 良好 f: 口縁部片 g: 火熱を受け釉は変色している・泉州磁窯窯
48	104	第7面 遺構5 2 1	滑石 加工品	(4.00)	(2.40)	(2.00)	加工途中の端材か? 加工痕あり
48	105	第7面 遺構5 2 4	かわらけ	(8.20)	(6.00)	1.70	a: ロクロ成形・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ b: 微砂・赤色粒・白色粒・黒色粒・土丹粒・砂質・良土 c: 黄褐色 e: 良好 f: 1/4
48	106	第7面 遺構5 2 5	瀬戸 四耳壺	-	-	-	a: ロクロ成形 b: 微砂・良土 c: 灰色 d: 灰緑色 f: 口縁部片 g: 前Ⅲ期か?
48	107	第7面 遺構5 3 0	かわらけ	(7.60)	(5.20)	1.60	a: ロクロ成形・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ b: 微砂・雲母・赤色粒・白色粒・黒色粒・土丹粒・砂質・やや粗土 c: 灰黄色 e: やや甘い f: 1/4
48	108		かわらけ	(7.80)	(5.40)	1.90	a: ロクロ成形・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ b: 微砂・赤色粒・白色粒・黒色粒・土丹粒・海綿骨芯・砂質・良土 c: 橙色 e: 良好 f: 1/4
48	109		かわらけ	(7.80)	5.40	1.80	a: ロクロ成形・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ b: 微砂・雲母・赤色粒・白色粒・黒色粒・土丹粒・海綿骨芯・砂質・やや粗土 c: 灰黄色 e: やや甘い f: 2/3
48	110		木製品 板草履	24.30	5.65	0.25	g: 側縁部曲線的・端部全体が丸みを帯びる・切り取り部前方に深く切り込む
48	111		木製品 板草履	24.00	5.40	0.20	g: 側縁部直線的・端部側縁部にかけて丸みを帯びる・切り取り部不明
49	1	第7面 面上	かわらけ	(6.80)	(4.20)	1.30	a: ロクロ成形・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ b: 微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨芯・砂質・やや粗土 c: 灰黄色 e: 良好 f: 1/5
49	2		かわらけ	(7.80)	(5.20)	1.30	a: ロクロ成形・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ b: 微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨芯・砂質・良土 c: 橙色 e: 良好 f: 1/4

単位: cm/復元: ()

図版番号	No.	出土位置 出土層位	種別	口径/長さ	底径/幅	器高/厚さ	観察内容
							a:成形・調整 b:胎土・素地・材質 c:色調 d:釉調 e:焼成 f:遺存値 g:備考 a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨芯・砂質・ やや粗土 c:淡橙色 e:良好 f:1/4
49	3	第7面 面上	かわらけ	(7.60)	(6.60)	1.30	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨芯・砂質・ やや粗土 c:淡橙色 e:良好 f:1/4
49	4		かわらけ	(7.60)	(5.40)	1.50	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨芯・砂質・ やや粗土 c:灰黄色 e:良好 f:1/4
49	5		かわらけ	(7.80)	(5.00)	1.60	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底強く横ナデ b:微砂・赤色粒・黒色粒・海綿骨芯・砂質・ 良土 c:赤橙色 e:良好 f:1/3
49	6		かわらけ	(7.20)	(5.80)	1.60	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨芯・砂質・ やや粗土 c:橙色 e:良好 f:1/5
49	7		かわらけ	(8.00)	(6.00)	1.60	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・砂質・やや粗土 c: 淡橙色 e:良好 f:1/5 g:内外面口唇部に油煤痕
49	8		かわらけ	(7.80)	(5.40)	1.80	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・赤色粒・黒色粒・海綿骨芯・砂質・良土 c: 赤橙色 e:良好 f:2/3
49	9		かわらけ	(8.20)	(6.20)	1.70	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨芯・砂質・ 粗土 c:灰黄色 e:良好 f:1/4
49	10		かわらけ	(7.40)	(5.40)	1.80	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨芯・砂質・ やや粗土 c:橙色 e:良好 f:1/3
49	11		かわらけ	(7.80)	(5.00)	1.80	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨芯・砂質・ 良土 c:橙色 e:良好 f:1/3
49	12		かわらけ	(12.20)	(7.60)	3.20	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・黒色粒・海綿骨芯・砂質・良土 c:灰 褐色 e:良好 f:1/2 内面に煤付着
49	13		かわらけ	(11.60)	(7.80)	3.20	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨芯・砂質・ 良土 c:橙色 e:良好 f:1/3 内外面口唇部に油煤痕
49	14		かわらけ	(11.80)	(7.80)	3.15	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨芯・砂質・ 良土 c:橙色 e:良好 f:1/2
49	15		青磁 折縁鉢	-	-	-	a:ロクロ成形 b:精良堅緻 c:白色 d:青緑色・不透明 e:良好 f:口縁部片 g:竜泉窯・内外 面無文
49	16		青磁 鉢	-	-	-	a:ロクロ成形 b:精良堅緻 c:白色 d:青緑色 e:良好 f:口縁部片 g:竜泉窯・外面蓮弁文
49	17	常滑 片口鉢I類	-	-	-	a:輪積み技法 b:微砂・白色粒 c:灰色 d:暗灰色 e:硬質 f:口縁部片	
49	18	常滑 片口鉢I類	-	-	-	a:輪積み技法 b:微砂・白色粒 c:灰色 d:灰色 e:硬質 f:口縁部片 g:内面火熱を受け器面 剥離	
49	19	常滑 片口鉢I類	-	-	-	a:輪積み技法 b:微砂・白色粒 c:灰色 d:灰色 e:硬質 f:胴部片 g:内面下部から内底にか けて摩耗	
49	20	山茶碗	-	(4.00)	-	a:ロクロ成形・内底ナデ b:微砂・良土 c:灰色 d:灰色 f:底部片 g:底部系切り痕・高台畳 み付けにモミガラ痕	
49	21	常滑 甕	-	-	-	a:輪積み技法 b:微砂・白色粒 c:灰色 d:灰褐色 e:硬質 f:口縁部片 g:6b形式	
49	22	常滑 甕	-	-	-	a:輪積み技法 b:微砂・白色粒 c:暗褐色 d:赤褐色 e:硬質 f:口縁部片 g:6b形式	
50	23	常滑 甕	-	-	-	a:輪積み技法 b:砂粒・白色粒 c:暗褐色 d:茶褐色 e:硬質 f:縁部片 g:7形式	
49	24	常滑 甕	-	-	-	a:輪積み技法 b:微砂・白色粒・黒色粒 c:暗褐色 d:灰褐色 e:硬質 f:口縁部片 g:6b形 式	
49	25	瓦器碗	-	(6.00)	-	a:ロクロ成形・回転系切り b:微砂・精良堅緻 c:灰白色 d:灰白色 e:良好 f:底部片	
49	26	土器質 火鉢	-	-	-	b:赤色粒・白色粒・黒色粒 c:橙色 d:橙色 e:良好 f:口縁部片	
49	27	石製品 砥石	(13.50)	(2.50)	(6.50)	伊子産・中砥・砥面が大きくカーブしている	
49	28	石製品 硯	-	4.00	1.20	赤間産・破片ではあるが丁寧な造り・硯箱に合わせた規格か	
49	29	鏡	径2.4	孔径0.7×0.7		f:完形 g:開元通寶・初鑄年960年・南唐・隸書	
49	30	鏡	径2.2	孔径0.5×0.5		f:完形 g:熙寧元寶・初鑄年1068年・北宋・真書	
49	31	漆器製品 皿	(8.30)	6.60	1.10	f:完形 g:内外面黒色漆髹漆・内面橘文・外面葉文を赤色漆によって施文	
49	32	木製品 用途不明	3.45	3.05	2.45	g:椀柱の玉か	
49	33	第7面 構成土	かわらけ	7.50	6.30	1.50	a:ロクロ成形・外底回転系切り・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・海綿骨芯・土丹粒・砂質・ 粗土 c:暗黄褐色 e:良好 f:完形・口唇部一部欠損
49	34		かわらけ	8.20	6.00	1.50	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・赤色粒・黒色粒・土丹粒・砂質・良土 c: 赤褐色 e:良好 f:完形 g:口唇部1ヶ所に油煤痕
49	35		かわらけ	(7.80)	(5.60)	1.40	a:ロクロ成形・外底回転系切り・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・海綿骨芯・砂質・ やや粗土 c:黄褐色 e:良好 f:1/4 g:内底面に黒色の付着物あり・漆か?
49	36		かわらけ	(8.00)	(6.00)	1.60	a:ロクロ成形・外底回転系切り・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・赤色粒・黒色粒・海綿骨芯・砂質・ 粗土 c:灰褐色 e:良好 f:1/4 g:内側面と外側面に油煤痕
49	37		かわらけ	(7.60)	(5.20)	1.60	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・赤色粒・黒色粒・土丹粒・砂質・良土 c: 橙色 e:良好 f:1/2
49	38		かわらけ	7.40	4.80	1.60	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・赤色粒・黒色粒・土丹粒・砂質・良土 c: 赤褐色 e:良好 f:完形
49	39		かわらけ	7.40	5.80	1.80	a:ロクロ成形・外底回転系切り・板状圧痕・内底強く横ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・土丹粒・ 海綿骨芯・砂質・良土 c:淡褐色 e:良好 f:完形
49	40		かわらけ	(8.00)	(4.80)	1.80	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・黒色粒・砂質・やや粗土 c:赤褐色 e: 良好 f:1/4
49	41		かわらけ	7.00	5.20	1.70	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・赤色粒・土丹粒・砂質・良土 c:橙色 e:良好 f:完形
49	42		かわらけ	(8.60)	(6.40)	1.80	a:ロクロ成形・外底回転系切り・板状圧痕・内底強く横ナデ b:微砂・雲母・黒色粒・土丹粒・海綿骨芯・ 砂質・やや粗土 c:淡褐色 e:良好 f:1/4
49	43		かわらけ	(7.00)	(4.00)	1.90	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・赤色粒・黒色粒・砂質・良土 c:橙色 e:良好 f:1/2 g:1か所打ち掻け・内壁一部に油煤痕・外側面薄く黒色に変色
49	44		かわらけ	(7.00)	(4.60)	2.00	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底強く横ナデ b:微砂・赤色粒・砂質・良土 c:赤褐色 e:良好 f:1/4
49	45		かわらけ	(10.00)	(7.40)	1.90	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・黒色粒・砂質・やや粗土 c:赤褐色 e: 良好 f:1/4
49	46		かわらけ	(9.60)	(7.00)	2.00	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・黒色粒・砂質・やや粗土 c:赤褐色 e: 良好 f:1/4
49	47		かわらけ	(12.80)	7.40	3.00	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底強く横ナデ b:微砂・赤色粒・黒色粒・海綿骨芯・砂質・ 良土 c:橙色 e:良好 f:1/3
49	48		かわらけ	(13.40)	9.00	3.20	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・黒色粒・土丹粒・砂質・やや粗土 c: 灰黄色 e:良好 f:2/3

単位: cm/ 復元: ()

図版 番号	No.	出土位置 出土層位	種別	口径/長さ	底径/幅	器高/厚さ	観察内容
49	49	第7面 構成土	かわらけ	12.60	8.20	3.40	a:成形・調整 b:胎土・素地・材質 c:色調 d:釉調 e:焼成 f:遺存値 g:備考 a:ロクロ成形・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・黒色粒・土丹粒・砂質・良土 c: 橙色 e:良好 f:完形 g:口唇部1ヶ所に油煤痕
49	50		かわらけ	(14.00)	(7.40)	3.30	a:ロクロ成形・外底回転糸切・板状圧痕・内底強く横ナデ b:微砂・黒色粒・海綿骨芯・砂質・良土 c: 橙色 e:良好 f:1/3 g:内外面共に下部が黒色に変色
49	51		かわらけ	12.40	(7.40)	3.60	a:ロクロ成形・外底回転糸切・板状圧痕・内底強く横ナデ b:微砂・赤色粒・黒色粒・海綿骨芯・砂質・ 良土 c:赤橙色 e:良好 f:1/3
49	52		白かわらけ	(8.40)	(6.00)	1.70	a:てづくね成形 b:黒色粒・粉質・やや粗土 c:白色 e:良好 f:1/4 g:内底面ナデあり・ 外底面ナデ不明・白かわらけ
49	53		白かわらけ	-	-	-	a:てづくね成形 b:良土 c:白色 e:良好 f:口縁部片 g:白かわらけ
50	54		青磁 鎗蓮弁文碗	-	-	-	a::ロクロ成形 b:黒色微砂を僅かに含む c:灰白色 d:灰緑色・透明 e:堅緻 f:口縁部片 g: 外面蓮弁文・内面無文
50	55		青磁 鎗蓮弁文碗	-	-	-	a::ロクロ成形 b:黒色微砂を僅かに含む c:暗灰色 d:青緑色・不透明 e:堅緻 f:口縁部片 g: 外面蓮弁文・内面無文・火熱を受け器壁全体がガラス化している
50	56		白磁 壺	-	-	-	a::ロクロ成形 b:黒色微砂を僅かに含む c:灰白色 d:青みを帯びた灰白色・不透明 e:堅緻 f: 口縁部片
50	57		白磁 壺	-	-	-	a::ロクロ成形 b:黒色微砂を僅かに含む・精良堅緻 c:白色 d:灰白色・透明 e:堅緻 f:口 縁部片
50	58		白磁 壺	-	-	-	a::ロクロ成形 b:黒色微砂を僅かに含む c:灰白色 d:灰白色・不透明 e:堅緻 f:胴部片 g: 肩部に耳が付く・四耳壺か
50	59		青白磁 梅瓶・蓋	-	-	-	b:精良堅緻 c:灰白色 d:灰青色・薄く施釉 f:1/3・蓋内側は無釉
50	60		青白磁 天目台	-	(7.00)	-	a::ロクロ成形 b:黒色微砂を僅かに含む c:灰白色 d:青みを帯びた灰白色・不透明 e:堅緻 f: 底部片 g:火熱を受け外面釉がガラス化・内面露胎・胴部に丁寧に整形された孔があく・景徳鎮
50	61		褐釉 器種不明	-	-	-	a:ロクロ成形 b:微砂・精良堅緻 c:灰色 d:褐色 e:良好 f:底部片 g:外側面火熱を受け器 壁がガラス化・器種は壺になると思われる・底部が遺存していないが高台が付く形状と思われる・舶載品
50	62		常滑 片口鉢Ⅰ類	-	-	-	a:輪積み技法 b:微砂・白色粒・黒色粒 c:灰黒色 d:灰色 e:硬質 f:口縁部片 g:6a形式
50	63		常滑 片口鉢Ⅱ類	-	-	-	a:輪積み技法 b:微砂・白色粒 c:暗褐色 d:灰褐色 e:硬質 f:口縁部片 g:6b形式
50	64		常滑 甕	-	-	-	a:輪積み技法 b:砂粒・白色粒・石英 c:暗灰色 d:暗赤褐色 e:硬質 f:口縁部片 g:6a形 式
50	65	常滑 甕	-	-	-	a:輪積み技法 b:砂粒・白色粒 c:暗褐色 d:茶褐色 e:硬質 f:縁部片	
50	66	常滑 甕	-	-	-	a:輪積み技法 b:砂粒・白色粒 c:灰色 d:灰色 e:硬質 f:胴部片 g:叩き文あり・文様不明	
50	67	字瓦	-	-	-	b:灰色微砂・白色粒・小石粒・良土 e:軟質 g:1期・瓦頭部幅7.5・内区幅4.5	
50	68	鉄製品 釘	10.50	0.60	0.60		
50	69	鉄製品 釘	7.10	0.60	0.40		
50	70	銭	径2.5	孔径0.6×0.6		f:完形 g:天聖元寶 1023年篆書	
50	71	木製品 用途不明	29.10	2.00	0.75	g:断面かまぼこ型	
50	72	木製品 用途不明	(10.90)	1.75	0.75	g:器面に2か所孔が開く・残存端部にも1ヶ所孔か	
50	73	木製品 箸状	22.20	0.55	0.50	g:断面円形	
50	74	木製品 箸状	22.40	0.50	0.45	g:断面方形	
50	75	木製品 箸状	21.60	0.70	0.45	g:断面円形	
50	76	木製品 箸状	20.40	0.70	0.45	g:断面方形	
50	77	木製品 箸状	22.70	0.70	0.35	g:断面方形	
50	78	木製品 箸状	20.80	0.55	0.35	g:断面方形	
50	79	木製品 箸状	21.90	0.70	0.45	g:断面不整形	
50	80	木製品 箸状	22.00	0.65	0.45	g:断面円形	
50	81	木製品 箸状	(21.80)	0.70	0.45	g:断面方形	
50	82	木製品 箸状	20.20	0.50	0.30	g:断面方形	
50	83	木製品 箸状	21.60	0.50	0.45	g:断面円形	
50	84	木製品 箸状	21.70	0.60	0.45	g:断面円形	
50	85	木製品 曲物	(9.5)	-	7.90	蓋・底板ともに遺存していない。外面黒色漆髹漆。内面木地のまま。内径(8.50) 厚さ0.10	
53	1	第8面 遺構534	かわらけ	(6.80)	(6.00)	1.10	a:ロクロ成形・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・赤色粒・黒色粒・砂質・良土 c:橙色 e: 良好 f:1/4・硬質で精良な胎土
53	2		かわらけ	(7.80)	(5.40)	1.30	a:ロクロ成形・外底回転糸切・板状圧痕・内底強く横ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・白色粒・砂質・ 良土 c:灰色 e:良好・硬質 f:1/4・器壁薄く精良な胎土・13世紀中
53	3		かわらけ	7.40	5.60	1.60	a:ロクロ成形・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・赤色粒・白色粒・黒色粒・土丹粒・海綿骨芯・ 砂質・やや粗土黄灰色 e:やや甘い f:完形
53	4		かわらけ	7.60	5.20	1.60	a:ロクロ成形・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデの後見込み周囲をナデ b:微砂・赤色粒・白色粒・ 黒色粒・土丹粒・海綿骨芯・砂質・良土 c:橙色 e:良好 f:完形・内外側面に油煤痕
53	5		木製品 用途不明	7.20	1.65	1.45	
53	6		漆器製品 用途不明	(2.30)	(3.80)	(1.50)	g:一面に黒色漆が部分的に付着

単位:cm/復元:()

図版 番号	No.	出土位置 出土層位	種別	口径/長さ	底径/幅	器高/厚さ	観察内容 a:成形・調整 b:胎土・素地・材質 c:色調 d:釉調 e:焼成 f:遺存値 g:備考
53	7	第8面 遺構534	木製品 箸状	22.40	0.55	0.40	g:断面方形
53	8		木製品 箸状	21.50	0.60	0.40	g:断面方形
53	9		木製品 箸状	23.00	0.65	0.60	g:断面方形
53	10		木製品 箸状	22.90	0.55	0.40	g:断面方形
53	11		木製品 板草履	23.30	11.15	0.40	g:側縁部曲線的・端部山型に切り込む・切り取り部前方に深く切り込む・藁痕遺存
53	12		木製品 板草履	17.10	(8.30)	0.20	g:側縁部曲線的・端部山型に切り込む・切り取り部前方に深く切り込む・藁痕遺存
53	13		鉄製品 用途不明	(11.50)	0.40	0.30	用途不明・端部鋭利に尖っている
53	14	第8面 遺構535	かわらけ	(7.80)	(6.40)	1.70	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・白色粒・黒色粒・土丹粒・海綿骨芯・砂質・粗土c灰黄色 e:やや甘い f:1/3
53	15		かわらけ	(11.80)	(7.00)	3.10	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・白色粒・黒色粒・土丹粒・海綿骨芯・砂質・粗土c灰黄色 e:やや甘い f:1/4
53	16		漆器製品 皿	(9.10)	6.40	1.00	f:1/2 g:内面赤色系漆・外面黒色漆・無文
53	17		木製品 へら状	13.80	0.45	0.30	g:断面円形・端部丁寧なケズリ整形
53	18	第8面 遺構536	かわらけ	(7.40)	(5.00)	1.50	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・黒色粒・粉質・良土c淡橙色 e:良好 f:1/4・薄手で硬質な質感を持つ胎土
53	19		漆器製品 皿	(9.40)	(6.80)	1.75	g:内外面黒色漆・外面赤色漆による施文・文様種不明
53	20	第8面 遺構537	常滑 片口鉢I類	-	-	-	a:輪積み技法 b:砂粒・白色粒・黒色粒 c:暗灰色 d:暗灰色 e:硬質 f:口縁部片 g:5a形式
53	21		山茶碗	-	5.20	-	a:ロクロ成形 b:白色粒・黒色粒・精良 c:灰色 e:良好・硬質 f:底部片 g:外底部系切り痕をへら状工具でナデ消している・内底立ち上りに強くナデが入る・高台部モミガタ痕・高台底部も含めた外側面に煤付着
53	22	石製品 砥石	(4.50)	(3.00)	(3.00)	天草産・中砥・赤色流紋あり・一面のみ砥面が残る・切断痕あり	
53	23	第8面 遺構539	常滑 片口鉢I類	-	-	-	a:輪積み技法 b:砂粒・白色粒・黒色粒 c:暗灰色 d:暗灰色 e:硬質 f:口縁部片 g:5a形式
53	24		かわらけ	8.00	6.20	1.60	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底強く横ナデ b:微砂・赤色粒・白色粒・黒色粒・土丹粒・砂質・やや粗土c灰黄色 e:良好 f:完形
53	25	第8面 遺構541	かわらけ	8.00	6.00	1.60	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底強く横ナデ b:微砂・赤色粒・白色粒・黒色粒・土丹粒・砂質・やや粗土c灰黄色 e:良好 f:完形
53	26		かわらけ	12.20	8.00	3.20	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底強く横ナデ b:微砂・赤色粒・白色粒・黒色粒・土丹粒・海綿骨芯・砂質・良土c橙色 e:良好 f:3/4 g:内底面に白色の付着物あり
53	27		かわらけ	(8.00)	6.20	1.40	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・白色粒・黒色粒・土丹粒・海綿骨芯・砂質・やや粗土c橙色 e:良好 f:1/6・内外面全体に油煤痕付着
53	28	第8面 遺構543	かわらけ	(8.00)	(5.80)	1.30	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・白色粒・黒色粒・土丹粒・海綿骨芯・砂質・やや粗土c橙色 e:やや甘い f:1/3・外底面を除く内外面全体に油煤痕付着
53	29		木製品 用途不明	21.60	14.70	6.10	g:方形を呈する・中央を削りだしている・加工途中か
53	30	第8面 遺構545	かわらけ	12.40	8.00	3.60	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・赤色粒・白色粒・黒色粒・土丹粒・海綿骨芯・砂質・良土c赤橙色 e:良好 f:完形
53	31	第8面 遺構546	瀬戸 四耳壺	(11.20)	-	-	a:ロクロ成形 b:白色粒・良土 c:灰色 d:暗灰色 f:口縁部片 g:前IA期
53	32	第8面 遺構552	鉄製品 釘	(4.70)	(0.30)	(0.30)	g:完形
53	33	第8面 遺構555	漆器製品 皿	9.70	6.80	1.40	f:完形 g:内外面黒色漆・無文・外側面に顕著に削り痕残る。
54	34	第8面 遺構561	かわらけ	(7.40)	(5.80)	1.60	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・赤色粒・白色粒・黒色粒・砂質・粗土c灰黄色 e:やや甘い f:1/4・外側面黒色に塗色
54	35		かわらけ	(7.40)	5.00	2.00	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・白色粒・黒色粒・土丹粒・小石粒・海綿骨芯・砂質・粗土c灰黄色 e:やや甘い f:3/4
54	36		かわらけ	13.30	8.80	3.30	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底強く横ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・白色粒・黒色粒・土丹粒・小石粒・海綿骨芯・砂質・粗土c灰黄色 e:やや甘い f:3/4
54	37	第8面 遺構562	白磁 口元碗	(12.00)	(5.00)	4.00	a:ロクロ成形 b:黒色粒・精良堅緻 c:灰白色 d:灰緑色・透明 f:胴部片・火熱を受けたためか釉剥離・内面見込みに沈澱が廻る・釉ツケ掛け・胴部下部和高台部無釉
54	38		瀬戸 入子	-	-	-	a:ロクロ成形 b:微砂・良土 c:灰色 d:灰色 f:口縁部片
54	39	第8面 遺構563	かわらけ	(8.00)	(5.80)	1.30	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・白色粒・砂質・良土c橙色 e:良好 f:1/4
54	40		瓦器質 火鉢	-	-	-	a:輪積み技法 b:白色粒・砂粒 c:灰色 d:明灰色 e:軟質 f:鑄部片 g:鑄付き・鑄付げ根に穿孔あり
54	41	第8面 遺構564	かわらけ	(7.40)	(5.40)	1.50	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・白色粒・黒色粒・土丹粒・砂質・やや粗土c灰黄色 e:やや甘い f:1/5
54	42		かわらけ	12.40	9.00	3.00	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・白色粒・黒色粒・土丹粒・海綿骨芯・砂質・粗土c灰黄色 e:やや甘い f:1/3
54	43	第8面 遺構567	かわらけ	(12.00)	(8.40)	3.10	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・白色粒・海綿骨芯・砂質・粗土c灰黄色 e:やや甘い f:1/3
54	44		かわらけ	(12.20)	(8.00)	3.20	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・赤色粒・白色粒・砂質・良土c淡橙色 e:良好 f:1/3
54	45	第8面 遺構570	常滑 片口鉢II類	-	-	-	a:輪積み技法 b:砂粒・白色粒 c:暗褐色 d:暗赤褐色 e:硬質 f:口縁部片
54	46		常滑 片口鉢I類	-	-	-	a:輪積み技法 b:砂粒・白色粒・黒色粒 c:灰色 d:灰色 e:硬質 f:口縁部片 g:6a形式
54	47	第8面 遺構573	かわらけ	(7.60)	(5.60)	1.30	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・赤色粒・白色粒・海綿骨芯・砂質・粗土c灰黄色 e:やや甘い f:1/3
54	48		かわらけ	(8.00)	(5.60)	1.60	a:てづくね成形・内底ナデ b:微砂・赤色粒・白色粒・海綿骨芯・砂質・良土c灰黄色 e:やや甘い f:1/4
54	49	第8面 遺構576	かわらけ	(7.40)	(6.00)	1.30	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・白色粒・砂質・良土c橙色 e:良好 f:1/6
54	50		かわらけ	(12.40)	(8.80)	3.90	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底強く横ナデ b:微砂・赤色粒・白色粒・砂質・良土c淡橙色 e:良好 f:1/2 g:口唇部一部に薄く油煤痕・器形の歪み大
54	51	不明陶器	-	-	-	a:輪積み技法 b:輝粒・白色粒・雲母 c:褐色 d:褐色 e:良好・硬質 f:口縁部片 g:外側面火熱を受け器壁が剥離・胎土は常滑製品に近似・粗くがきつた胎土	

単位: cm/ 復元: ()

図版番号	No.	出土位置 出土層位	種別	口径/長さ	底径/幅	器高/厚さ	観察内容 a:成形・調整 b:胎土・素地・材質 c:色調 d:釉調 e:焼成 f:遺存値 g:備考
54	52	第8面 遺構576	木製品 箸状	(19.70)	0.50	0.30	端部欠損・肩端部は削りだし
54	53	第8面 遺構578	かわらけ	(7.80)	(6.40)	1.50	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・赤色粒・白色粒・海綿骨芯・砂質・やや粗土 c 淡橙色 e:良好 f:1/3
54	54		かわらけ	7.80	5.80	1.50	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・赤色粒・白色粒・海綿骨芯・砂質・良土 c 淡橙色 e:良好 f:1/2
54	55		かわらけ	(8.20)	(6.40)	1.30	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・赤色粒・白色粒・土丹粒・砂質・やや粗土 c 灰黄色 e:良好 f:1/2 g:内外面黒色に変色・口唇部に油煤痕
54	56		かわらけ	(8.20)	5.00	1.60	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底強く横ナデ b:微砂・赤色粒・白色粒・砂質・やや粗土 c 灰黄色 e:良好 f:1/2 g:外底部火熱を受け黒色に変色し器壁が剥離・口唇部・内底部に油煤痕
54	57		かわらけ	(7.60)	(5.80)	1.30	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・白色粒・海綿骨芯・砂質・やや粗土 c 灰黄色 e:良好 f:1/4
54	58		かわらけ	(7.40)	(5.80)	2.10	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・赤色粒・白色粒・海綿骨芯・砂質・粗土 c 灰黄色 e:やや甘い f:1/4
54	59		かわらけ	11.40	7.00	3.70	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・赤色粒・白色粒・海綿骨芯・砂質・やや粗土 c 灰黄色 e:良好 f:5/6 g:内面火熱を受け器壁が全体的に剥離・口唇部一部に油煤痕
54	60		かわらけ	12.40	8.20	2.90	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・白色粒・海綿骨芯・砂質・良土 c 淡橙色 e:良好 f:2/3
54	61		青磁 鍋連弁文碗	-	4.40	-	a:ロクロ成形 b:黒色粒・精良堅緻 c:暗灰色 d:青緑色・半透明 f:底部片 g:高台部ヘラケズリ・高台部内面無釉・外側面蓮弁文・内面無文
54	62		緑釉 盤	-	-	-	b:砂粒・黒色粒 c:褐色 d:暗緑色 e:良好 f:底部片 g:外底部無釉・泉州磁窯窯・内面見込みに二重の沈線が廻る
54	63	第8面 遺構581	かわらけ	(7.40)	6.00	1.60	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・白色粒・砂質・やや粗土 c 灰黄色 e:良好 f:1/2 g:内面火熱を受け器壁が剥離・口唇部油煤痕
54	64		かわらけ	(12.00)	(7.40)	3.10	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・赤色粒・白色粒・海綿骨芯・砂質・やや粗土 c 灰黄色 e:良好 f:1/4 g:外面黒色に変色・口唇部に厚く油煤痕
54	65		かわらけ	(12.00)	(8.00)	2.90	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・赤色粒・白色粒・海綿骨芯・砂質・やや粗土 c 橙色 e:やや甘い f:1/3 g:内面黒色に変色・口唇部一部に厚く油煤痕
54	66		骨製品 筭	(6.20)	0.30	0.20	両端部欠損
54	67	第8面 遺構588	かわらけ	(7.40)	(5.20)	1.80	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・白色粒・砂質・良土 c 灰黄色 e:良好 f:2/5
55	1	第8面 遺構558	かわらけ	(8.40)	(6.00)	1.70	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデの後見込み周囲をナデ b:微砂・赤色粒・白色粒・黒色粒・土丹粒・海綿骨芯・砂質・やや粗土 c 橙色 e:良好 f:1/2
55	2		かわらけ	8.20	6.00	1.70	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデの後見込み周囲をナデ b:微砂・赤色粒・白色粒・黒色粒・土丹粒・海綿骨芯・砂質・粗土 c 灰褐色 e:やや甘い f:4/5
55	3		かわらけ	(8.00)	(6.00)	1.80	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・赤色粒・白色粒・黒色粒・土丹粒・海綿骨芯・砂質・やや粗土 c 淡橙色 e:良好 f:1/3
55	4		かわらけ	(7.80)	(6.40)	1.80	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・白色粒・黒色粒・土丹粒・小石粒・海綿骨芯・砂質・粗土 c 灰黄色 e:やや甘い f:3/4
55	5		かわらけ	(6.80)	(5.60)	1.70	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデの後見込み周囲をナデ b:微砂・赤色粒・白色粒・黒色粒・土丹粒・海綿骨芯・砂質・やや粗土 c 橙色 e:やや甘い f:1/2
55	6		青磁 鍋連弁文碗	-	-	-	a:ロクロ成形 b:精良堅緻 c:灰白色 d:暗緑色・半透明 f:口縁部片・火熱を受けたためか釉剥離
55	7		木製品 用途不明	5.50	3.65	1.70	g:端材か
55	8		木製品 用途不明	5.45	1.05	1.05	g:断面方形・端材か
55	9		木製品 用途不明	22.40	0.65	0.60	g:断面方形・ちゅう木か
55	10		木製品 用途不明	17.10	0.65	0.45	g:断面方形・ちゅう木か
55	11		木製品 用途不明	(15.00)	0.90	0.60	g:断面方形・側面に刻み・ちゅう木か
55	12		木製品 用途不明	(17.30)	1.00	0.30	g:断面方形・側面に刻み・ちゅう木か
55	13		木製品 用途不明	(19.50)	0.75	0.50	g:断面方形・端部ヘラ状に整形
55	14		木製品 用途不明	17.20	0.85	0.60	g:断面方形・ちゅう木か
55	15		木製品 用途不明	(15.00)	0.75	0.30	g:断面方形・ちゅう木か
55	16		木製品 用途不明	(11.35)	0.80	0.40	g:断面方形・ちゅう木か
56	1	第8面 遺構591	かわらけ	(7.00)	(5.80)	(1.30)	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・白色粒・砂質・良土 c 橙色 e:良好 f:1/3
56	2		かわらけ	(8.20)	(6.00)	1.40	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・赤色粒・白色粒・海綿骨芯・砂質・良土 c 淡橙色 e:良好 f:1/3
56	3		かわらけ	7.90	5.40	1.90	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデの後見込み周囲をナデ b:微砂・赤色粒・白色粒・砂質・良土 c 淡橙色 e:良好 f:2/3
56	4		かわらけ	(11.20)	6.00	3.40	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・砂質・良土 c 淡橙色 e:良好 f:4/5 g:薄い器壁
56	5		緑釉 盤	-	-	-	b:砂粒・黒色粒 c:褐色 d:暗緑色 e:良好 f:口縁部片 g:外側面火熱を受け器壁が剥離・胴部下部露胎・泉州磁窯窯
56	6		漆器製品 皿	(9.30)	6.30	1.60	g:内外面黒色漆髹漆・無文
56	7		木製品 用途不明	33.90	9.50	3.80	g:半円形を呈する・中央部に切りこみあり・断面かまぼこ型・側面に刃物痕・蓋か
57	8		木製品 建材	(43.00)	11.70	13.40	柱底面は平面に切断・上部は腐食していた・柱材として再利用か?下部に柄が穿ってある・柄計測値長さ(12.8)幅(2.2)深さ(2.8)
57	9		木製品 建材	(58.20)	8.10	10.20	柱底面は削り出し尖らせている・上部は腐食
57	10		木製品 建材	(51.40)	(8.00)	(10.00)	柱底面は平面に切断・上部は腐食
57	11		木製品 建材	(52.80)	(6.80)	(9.00)	柱底面は平面に切断・腐食していたために不明瞭となったが、柱上部にほぞ穴痕あり
57	12		木製品 建材	(68.50)	(5.00)	(3.00)	端部削り出し尖らせている・側面丁寧に成形・杭状
58	1	第8面 面上	かわらけ	(7.40)	(5.40)	1.40	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・赤色粒・黒色粒・土丹粒・砂質・粗土 c:灰黄色 e:やや甘い f:1/4 g:外面と内底が黒色に変色

単位:cm/復元:()

図版番号	No.	出土位置 出土層位	種別	口径/長さ	底径/幅	器高/厚さ	観察内容
58	2	第8面 面上	かわらけ	(7.60)	(5.80)	1.70	a:成形・調整 b:胎土・素地・材質 c:色調 d:釉調 e:焼成 f:遺存値 g:備考 a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・土丹粒・砂質・粗土 c:淡橙色 e:やや甘い f:1/3
58	3		かわらけ	(7.80)	(5.60)	1.60	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・赤色粒・黒色粒・土丹粒・砂質・やや粗土 c:橙色 e:良好 f:1/2 g:内面黒色に変色
58	4		かわらけ	(7.40)	(5.40)	1.60	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底強く横ナデ b:微砂・赤色粒・黒色粒・土丹粒・海綿骨芯・砂質・良土 c:橙色 e:良好 f:1/2
58	5		かわらけ	(7.40)	(5.00)	1.70	a:ロクロ成形・内底ナデ・外底の整形が雑 b:微砂・雲母・黒色粒・砂質・やや粗土 c:灰色 e:良好 f:1/3
58	6		かわらけ	7.40	5.40	1.70	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底強く横ナデ b:微砂・赤色粒・黒色粒・土丹粒・小石粒・海綿骨芯・砂質・良土 c:橙色 e:甘い f:完形 g:外底部糸切りの糸が粘土内に巻き込まれ、粘土が剥離した状態で焼成している
58	7		かわらけ	(13.20)	(8.00)	3.00	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・赤色粒・黒色粒・土丹粒・海綿骨芯・砂質・やや粗土 c:橙色 e:良好 f:1/3 g:口唇部油煤痕
58	8		かわらけ	(12.20)	(7.00)	3.30	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・土丹粒・砂質・粗土 c:灰黄色 e:やや甘い f:1/4
58	9		かわらけ	11.80	(6.00)	3.00	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・赤色粒・黒色粒・土丹粒・海綿骨芯・砂質・粗土 c:橙色 e:やや甘い f:1/3
58	10		青磁 鍋蓋弁文碗	-	4.60	-	a:ロクロ成形 b:精良堅緻 c:白色 d:青緑色・不透明 e:良好 f:底部片 g:竜泉窯・内外面無文・内面見込みに赤色系漆付着
58	11		白磁 口瓦皿	-	-	-	a:ロクロ成形 b:精良堅緻 c:灰白色 d:透明 f:口縁部片 g:口唇部に漆付着
58	12	白磁 碗	-	-	-	a:ロクロ成形 b:精良堅緻 c:灰白色 d:透明 f:底部片 g:内面草花の印花文	
58	13	青白磁 小皿	-	2.00	-	a:ロクロ成形 b:精良堅緻 c:灰白色 d:淡青色 f:口縁部片 g:高台部外面、内面ともに露胎・内面草花の印花文	
58	14	瀬戸 削皿	-	-	-	a:ロクロ成形 b:微砂・良土 c:灰色 d:灰色 f:口縁部片 g:前中期・内外面に火熱を受け釉剥離	
58	15	瀬戸 入子	-	(5.00)	-	a:ロクロ成形・底部筋による整形 b:微砂・良土 c:灰色 d:灰色 f:底部片 g:断面に黒色系漆付着、修復痕か	
58	16	常滑 片口鉢Ⅱ類	(30.00)	-	-	a:輪積み技法 b:砂粒・白色粒 c:茶褐色 d:黒褐色 e:硬質 f:口縁部片 g:内面黒色に変色	
58	17	常滑 甕	2.30cm・6a形式	-	-	a:輪積み技法 b:砂粒・白色粒・黒色粒 c:灰黒色 d:暗緑色 e:硬質 f:口縁部片 g:緑帯幅降灰釉が厚くかかる	
58	18	常滑 甕	-	-	-	a:輪積み技法 b:砂粒・白色粒・黒色粒 c:赤褐色 d:暗褐色 e:硬質 f:口縁部片 g:胴部肩部に×の窯印・緑帯幅3.0cm・6b形式	
58	19	常滑 甕	-	-	-	a:輪積み技法 b:砂粒・白色粒 c:灰褐色 d:緑褐色 e:硬質 f:胴部片 g:文様不明の窯印あり	
58	20	瓦器 碗	(11.00)	(6.00)	(2.80)	a:ロクロ成形・底部ナデによる整形・内底ナデなし b:微砂・白色粒・良土 c:灰色 f:口縁部片 g:外側面煤付着	
58	21	瓦器 碗	-	-	-	a:ロクロ成形 b:微砂・良土 c:灰色 f:口縁部片 g:内外面炭素吸着による黒色処理・内外面共に横方向の磨きあり	
58	22	木製品 箸状	21.90	0.70	0.45	g:断面扁平	
58	23	木製品 箸状	21.40	0.60	0.45	g:断面円形	
58	24	木製品 箸状	21.70	0.60	0.45	g:断面円形	
58	25	木製品 箸状	21.80	0.65	0.45	g:断面方形	
59	1	第8面 構成土	かわらけ	(8.40)	(5.40)	1.60	a:てづくね成形・内底ナデ b:微砂・白色粒・黒色粒・海綿骨芯・砂質・良土 c:橙色 e:良好 f:1/3 g:口唇部油煤痕
59	2		かわらけ	(7.60)	(4.00)	2.00	a:てづくね成形・内底ナデ b:微砂・雲母・黒色粒・砂質・良土 c:橙色 e:良好 f:1/3
59	3		かわらけ	(12.60)	-	-	a:てづくね成形・外底部指頭による整形 b:微砂・赤色粒・黒色粒・土丹粒・砂質・やや粗土 c:灰黄色 e:良好 f:1/4
59	4		白かわらけ	(11.80)	-	-	a:てづくね成形・外底指頭による整形・内底ナデ b:微砂・赤色粒・黒色粒・土丹粒・海綿骨芯・砂質・良土 c:白色 e:良好 f:1/5
59	5		かわらけ	8.90	6.40	1.60	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・赤色粒・黒色粒・土丹粒・海綿骨芯・砂質・やや粗土 c:灰黄色 e:やや甘い f:完形
59	6		かわらけ	(7.80)	(6.40)	1.50	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・赤色粒・白色粒・砂質・やや粗土 c:灰黄色 e:やや甘い f:1/4
59	7		かわらけ	8.00	6.00	1.50	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底強く横ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・砂質・やや粗土 c:灰黄色 e:良好 f:完形 g:口唇部全体に油煤痕
59	8		かわらけ	(7.80)	5.60	1.60	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・赤色粒・黒色粒・土丹粒・砂質・粗土 c:灰黄色 e:やや甘い f:1/2
59	9		かわらけ	(7.80)	(5.00)	1.40	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底強く横ナデ b:微砂・赤色粒・黒色粒・土丹粒・海綿骨芯・砂質・やや粗土 c:灰黄色 e:やや甘い f:2/3
59	10		かわらけ	(7.80)	(5.00)	1.60	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・砂質・やや粗土 c:赤褐色 e:やや甘い f:1/6 g:内底に墨書・判読不明
59	11		かわらけ	(7.60)	(5.60)	1.50	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・砂質・良土 c:淡橙色 e:良好 f:1/4
59	12		かわらけ	7.80	4.00	1.70	a:ロクロ成形・外底回転系切・内底弱くナデ b:微砂・砂質・良土 c:橙色 e:良好 f:5/6 g:口径:底径比が大きい・堅く焼き締まり硬質な胎土・口唇部全体に油煤痕
59	13		かわらけ	8.40	6.00	1.80	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・赤色粒・黒色粒・土丹粒・砂質・良土 c:橙色 e:やや甘い f:完形 g:口唇部2か所と内底一部に油煤痕
59	14		かわらけ	(8.20)	5.40	2.10	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底強く横ナデ b:微砂・赤色粒・白色粒・海綿骨芯・砂質・やや粗土 c:灰黄色 e:良好 f:1/2 g:口唇部数か所に油煤痕
59	15		かわらけ	(7.00)	(4.80)	2.00	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・赤色粒・黒色粒・粉質・やや粗土 c:灰黄色 e:やや甘い f:1/2
59	16		かわらけ	(10.80)	(6.60)	3.20	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・赤色粒・黒色粒・土丹粒・砂質・やや粗土 c:橙色 e:やや甘い f:1/3 g:内外面ともに黒色に変色
59	17		かわらけ	(11.60)	(7.40)	3.60	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・赤色粒・黒色粒・土丹粒・砂質・やや粗土 c:灰黄色 e:やや甘い f:1/4
59	18		かわらけ	12.40	8.60	3.10	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・赤色粒・白色粒・海綿骨芯・砂質・良土 c:橙色 e:良好 f:5/6
59	19		かわらけ	(12.20)	7.60	3.10	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・赤色粒・黒色粒・土丹粒・小石粒・砂質・やや粗土 c:淡褐色 e:良好 f:1/7 g:内面と外側面に黒色に変色
59	20		かわらけ	12.40	7.60	3.40	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・赤色粒・黒色粒・白色粒・海綿骨芯・雲母・土丹粒・砂質・良土 c:橙色 e:良好 f:2/3 g:口唇部油煤痕
59	21		かわらけ	(12.00)	(6.40)	3.80	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・赤色粒・黒色粒・土丹粒・砂質・やや粗土 c:橙色 e:良好 f:1/3 g:外側面と内側面に煤痕

単位: cm/ 復元: ()

図版番号	No.	出土位置 出土層位	種別	口径/長さ	底径/幅	器高/厚さ	観察内容	
59	22	第8面 構成土	青磁 鍋連弁文碗	(14.00)	-	-	a:成形・調整 b:胎土・素地・材質 c:色調 d:釉調 e:焼成 f:遺存値 g:備考 a:ロクロ成形 b:精良堅緻 c:白色 d:青緑色・不透明 f:口縁部片 g:外面蓮弁、やや雑な 片切り形・内面無文・内底見込みに沈線が廻る	
59	23		青磁 鍋連弁文碗	(12.80)	-	-	a:ロクロ成形 b:精良堅緻 c:灰黒色 d:灰緑色・不透明 f:口縁部片 g:外面丁寧で細い鍋連弁文・ 内面無文	
59	24		産地不明 壺	-	-	-	a:輪積み技法 b:微砂・白色粒・小石粒 c:暗褐色 e:良好 f:胴部片 g:肩部に跡の跡・船載 陶器	
59	25		瀬戸 洗 常滑	(29.40)	(24.00)	8.20	a:ロクロ成形 b:微砂・黒色粒・良土 c:灰色 d:灰色・刷毛塗り f:1/3	
59	26		常滑 片口鉢I類	-	-	-	a:輪積み技法 b:砂粒・白色粒・黒色粒・小石粒 c:灰色 d:灰色 e:硬質 f:口縁部片	
59	27		常滑 甕	(25.80)	-	-	a:輪積み技法 b:砂粒・白色粒 c:灰褐色 d:緑褐色 e:硬質 f:口縁部片 g:5形式	
59	28		灰釉 皿	-	-	-	a:ロクロ成形 b:微砂・精良 c:灰色 d:灰色 e:硬質 f:口縁部片 g:内外面釉刷毛塗り	
59	29		石製品 磁石	(8.90)	3.50	1.70	鳴滝産・仕上げ・黄白色を呈しやや軟質・砥面に粗く傷が残る切り出し痕も残っていないため製品を新 たに加工しようとした様子が窺える	
59	30		かわらけ 転用品	径4.0	-	0.60	a:ロクロ成形のかわらけ底部を円形に丁寧な整形 b:微砂・赤色粒・黒色粒・海綿骨芯・砂質・やや 粗土 c:橙色 e:良好	
59	31		鉄製品 釘	(11.20)	0.50	0.50	完形品	
59	32		鉄製品 錐	19.50	1.05	0.85	f:完形 g:金属部分と木部分の接合状況は腐食によって不明・差し込みと思われる	
59	33		骨製品 筭	(5.30)	1.10	0.20	端部欠損	
59	34		女瓦	-	-	2.20	a:凸面縦方向のナデ整形・離れ砂・凹面離れ砂付着 b:灰黒色 微砂・白色粒・小石粒・良土 c:灰 黒色 e:硬質	
60	35		熨斗瓦	35.00	21.50	1.80	a:凸面縄目痕・横ナデ・凹面離れ砂付着・布目痕・縦方向のナデ・側面削り整形 b:灰色 微砂・白色粒・ 良土 c:灰黒色 e:良好 g:四側面ともに整形した後に焼成を行っていると思われ、註文で製作した 熨斗瓦と思われる・完形	
60	36		漆器製品 椀	-	-	-	f:破片 g:内外面黒色漆髹漆・内外面に巴紋のスタンプを赤色系漆で隙間なく押印施文	
60	37		木製品 用途不明	4.00	3.50	3.00	f:完形 g:毬杖の玉か	
60	38		木製品 織機	(11.00)	4.35	3.30	手押木	
60	39		木製品 用途不明	27.00	4.85	0.40	g:杓子状に整形・端部鋭角に切り出している	
60	40		木製品 用途不明	21.90	2.40	0.90	g:断面中央部方形・端部かまぼこ型・端部に1ヶ所孔が開く・側面焼痕	
60	41		木製品 用途不明	15.30	1.60	0.40	g:断面方形	
60	42		漆器製品 部材	(6.00)	(3.20)	0.20	g:器面黒色漆髹漆・端部に線刻が残る	
62	1		第9面 構成土	かわらけ	(7.80)	(3.60)	1.50	a:てづくね成形・外底指頭による整形・内底ナデ b:微砂・赤色粒・黒色粒・土丹粒・砂質・良土 c: 灰黄色 e:良好 f:1/3
62	2			かわらけ	(9.60)	(4.10)	1.70	a:てづくね成形・外底指頭による整形 b:微砂・赤色粒・黒色粒・土丹粒・小石粒・砂質・やや粗土 c: 灰黄色 e:良好 f:1/4
62	3	かわらけ		(8.80)	(4.00)	1.70	a:てづくね成形・外底指頭による整形・内底ナデ b:微砂・赤色粒・黒色粒・土丹粒・砂質・やや粗土 c: 灰黄色 e:良好 f:1/5	
62	4	かわらけ		(9.80)	(6.60)	1.70	a:てづくね成形・外底指頭による整形・内底ナデ b:微砂・赤色粒・黒色粒・土丹粒・小石粒・砂質・ やや粗土 c:灰黄色 e:やや甘い f:1/2 g:口唇部油煤痕	
62	5	かわらけ		(9.40)	(4.20)	1.80	a:てづくね成形・外底指頭による整形・内底ナデ b:微砂・赤色粒・黒色粒・土丹粒・砂質・良土 c: 橙色 e:良好 f:1/2	
62	6	かわらけ		(12.00)	-	-	a:てづくね成形・外底指頭による整形 b:微砂・赤色粒・黒色粒・土丹粒・小石粒・砂質・やや粗土 c: 橙色 e:良好 f:1/5	
62	7	かわらけ		8.00	6.00	1.70	a:ロクロ成形・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・赤色粒・黒色粒・土丹粒・海綿骨芯・砂質・ やや粗土 c:灰黄色 e:良好 f:完形	
62	8	かわらけ		(7.80)	(6.00)	1.70	a:ロクロ成形・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・土丹粒・砂質・ 良土 c:橙色 e:良好 f:1/2	
62	9	かわらけ		8.30	6.00	1.70	a:ロクロ成形・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・赤色粒・黒色粒・土丹粒・海綿骨芯・砂質・ 粗土 c:橙色 e:やや甘い f:完形 g:雑な整形	
62	10	かわらけ		(8.20)	(6.40)	1.80	a:ロクロ成形・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・赤色粒・黒色粒・土丹粒・海綿骨芯・砂質・ やや粗土 c:灰黄色 e:良好 f:1/4 g:内外面全体に油煤痕	
62	11	かわらけ		(7.00)	(5.40)	1.50	a:ロクロ成形・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・赤色粒・黒色粒・土丹粒・海綿骨芯・砂質・ 良土 c:橙色 e:良好 f:1/4	
62	12	かわらけ		(12.00)	7.80	1.60	a:ロクロ成形・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・土丹粒・砂質・ 良土 c:橙色 e:良好 f:2/3 g:口唇部厚く油煤痕	
62	13	かわらけ		(12.00)	(8.00)	3.20	a:ロクロ成形・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・赤色粒・黒色粒・土丹粒・海綿骨芯・砂質・ 良土 c:橙色 e:良好 f:1/4	
62	14	かわらけ		(12.20)	(7.60)	3.40	a:ロクロ成形・外底回転糸切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・赤色粒・黒色粒・土丹粒・海綿骨芯・砂質・ 良土 c:橙色 e:良好 f:1/4	
62	15	瀬戸 壺		-	-	-	b:微砂 c:灰色 d:灰緑色 e:軟質 f:胴部片 g:断面三角を呈する粘土貼り付けが肩部を一周する・ 内面雑な整形	
62	16	常滑 片口鉢I類		-	-	-	a:輪積み技法 b:砂粒・白色粒・小石粒 c:茶褐色 d:暗褐色 e:硬質 f:口縁部片 g:内側面摩耗・5 形式	
62	17	常滑 甕		-	-	-	a:輪積み技法 b:砂粒・白色粒 c:灰色 d:暗褐色 e:硬質 f:口縁部片 g:5形式	
62	18	常滑 甕		-	-	-	a:輪積み技法 b:砂粒・白色粒 c:灰褐色 d:赤褐色 e:硬質 f:胴部片 g:格子状の叩き文	
62	19	常滑 甕		-	-	-	a:輪積み技法 b:砂粒・白色粒・小石粒 c:暗褐色 d:緑褐色 e:硬質 f:胴部片 g:肩部に二 条の沈線が廻る	
62	20	瀬戸 甕		-	-	-	a:輪積み技法 b:砂粒・白色粒 c:灰褐色 d:暗褐色 e:硬質 f:胴部片 g:格子状の叩き文	
62	21	木製品 鞘		13.40	2.80	1.75	g:焼痕	
62	22	木製品 杓子		21.00	5.00	0.70	-	
62	23	第10面 構成土		かわらけ	(9.40)	(7.00)	1.70	a:てづくね成形・外底指頭による整形・内底ナデ b:微砂・赤色粒・黒色粒・土丹粒・海綿骨芯・砂質・ 粗土 c:灰黄色 e:良やや甘い f:1/4

単位: cm/復元: ()

図版 番号	No.	出土位置 出土層位	種別	口径/長さ	底径/幅	器高/厚さ	観察内容
62	24	第10面 構成土	かわらけ	(9.40)	(6.20)	1.60	a:成形・調整 b:胎土・素地・材質 c:色調 d:釉調 e:焼成 f:遺存値 g:備考 a:てづくね成形・外底指頭による整形・内底ナデ b:微砂・赤色粒・黒色粒・土丹粒・海綿骨芯・砂質・ 良土 c:橙色 e:良好 f:1/4
62	25		かわらけ	(9.60)	(6.60)	(1.70)	a:てづくね成形・外底指頭による整形・内底ナデ b:微砂・赤色粒・黒色粒・土丹粒・海綿骨芯・砂質・ やや粗土 c:灰黄色 e:良好 f:1/4
62	26		かわらけ	(9.40)	(3.40)	1.80	a:てづくね成形・外底指頭による整形・内底ナデ b:微砂・赤色粒・黒色粒・土丹粒・海綿骨芯・砂質・ 粗土 c:淡橙色 e:良好 f:1/4
62	27		かわらけ	(9.40)	(4.00)	1.80	a:てづくね成形・外底指頭による整形・内底ナデ b:微砂・赤色粒・黒色粒・土丹粒・海綿骨芯・砂質・ やや粗土 c:淡橙色 e:良好 f:1/4
62	28		かわらけ	(9.40)	(3.00)	2.20	a:てづくね成形・外底指頭による整形・内底ナデ b:微砂・赤色粒・黒色粒・土丹粒・海綿骨芯・砂質・ 良土 c:橙色 e:良好 f:1/4
62	29		かわらけ	(12.60)	(5.00)	2.80	a:てづくね成形・外底指頭による整形・内底ナデ b:微砂・赤色粒・黒色粒・土丹粒・海綿骨芯・砂質・ やや粗土 c:淡橙色 e:良好 f:1/3
62	30		かわらけ	(12.60)	(4.80)	2.80	a:てづくね成形・外底指頭による整形・内底ナデ b:微砂・赤色粒・黒色粒・土丹粒・海綿骨芯・砂質・ やや粗土 c:淡橙色 e:良好 f:1/4
62	31		かわらけ	(13.00)	(6.00)	3.20	a:てづくね成形・外底指頭による整形・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・土丹粒・砂質・ やや粗土 c:灰黄色 e:良好 f:1/3
62	32		かわらけ	(12.20)	(5.40)	-	a:てづくね成形・外底指頭による整形・内底ナデ b:微砂・赤色粒・黒色粒・土丹粒・砂質・やや粗土 c: 灰黄色 e:良好 f:1/4 g:口唇部に油煤痕
62	33		かわらけ	(13.80)	(6.00)	3.20	a:てづくね成形・外底指頭による整形・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・土丹粒・砂質・ やや粗土 c:灰黄色 e:良好 f:1/4 g:口唇部に油煤痕
62	34		かわらけ	(14.00)	(7.60)	3.00	a:てづくね成形・外底指頭による整形・内底ナデ b:微砂・赤色粒・黒色粒・土丹粒・海綿骨芯・砂質・ やや粗土 c:灰黄色 e:良好 f:1/4
62	35		かわらけ	(13.40)	(4.80)	3.20	a:てづくね成形・外底指頭による整形・内底ナデ b:微砂・赤色粒・黒色粒・土丹粒・海綿骨芯・砂質・ 良土 c:赤橙色 e:良好 f:1/5
62	36		かわらけ	(13.80)	(6.00)	3.10	a:てづくね成形・外底指頭による整形・内底ナデ b:微砂・赤色粒・黒色粒・土丹粒・海綿骨芯・砂質・ 良土 c:橙色 e:良好 f:1/5
62	37		かわらけ	(9.20)	(6.40)	1.90	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底強く横ナデ b:微砂・赤色粒・黒色粒・土丹粒・海綿骨芯・ 砂質・良土 c:淡橙色 e:良好 f:1/2
62	38		かわらけ	(9.00)	(5.80)	1.90	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・赤色粒・黒色粒・海綿骨芯・土丹粒・砂質・ 良土 c:橙色 e:良好 f:1/4
62	39		かわらけ	(9.40)	(7.00)	2.00	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・赤色粒・黒色粒・砂質・良土 c:赤橙 色 e:良好・堅く焼き締まる f:1/4
62	40	かわらけ	(8.20)	(6.00)	2.00	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・赤色粒・黒色粒・土丹粒・海綿骨芯・砂質・ やや粗土 c:淡橙色 e:良好 f:1/4	
62	41	かわらけ	(12.40)	(8.00)	2.80	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・赤色粒・黒色粒・土丹粒・海綿骨芯・砂質・ やや粗土 c:淡橙色 e:良好 f:1/3	
62	42	かわらけ	(12.60)	(8.00)	2.80	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・土丹粒・砂質・ 粗土 c:黄灰色 e:良好 f:1/5 g:内面全体と、外側面上部に油煤痕	
62	43	かわらけ	-	6.40	-	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底回転ナデ b:微砂・雲母・赤色粒・黒色粒・土丹粒・ 海綿骨芯・砂質・やや粗土 c:淡橙色 e:良好 f:底部のみ g:硬く焼き締まる	
63	44	常滑 片口鉢Ⅰ類	-	-	-	a:輪積み技法 b:砂粒・白色粒・小石粒 c:灰色 d:灰色 e:硬質 f:口縁部片 g:5形式	
63	45	渥美 甕	-	-	-	a:輪積み技法 b:砂粒・白色粒・小石粒・やや粗土 c:暗褐色 d:黒褐色 e:硬質 f:口縁部片 g: 1a期	
63	46	瓦器碗	-	3.80	-	a:ロクロ成形・外底回転系切・内底回転ナデ b:微砂・良土 c:白色 e:良好 f:底部のみ g: 硬く焼き締まる	
63	47	かわらけ 転用品	径(8.0)	孔径 (1.0)	1.00	a:てづくね成形・内底ナデ b:微砂・赤色粒・黒色粒・砂質・やや粗土 c:黄灰色 e:良好 f:1 /3 g:かわらけ底部を円盤状に加工・中心に孔が貫通	
63	48	女瓦	-	-	1.80	a:凸面縄目痕・横位のナデ整形・離れ砂・凹面離れ砂付着・布目痕・縦位のナデ・側面削りナデ・端面 削り b:灰色 微砂・砂粒・小石粒・良土 c:灰黒色 e:硬質	
63	49	第11面 構成土	かわらけ	(9.00)	(5.00)	2.20	a:てづくね成形・外底指頭による整形・内底ナデ b:微砂・赤色粒・黒色粒・土丹粒・海綿骨芯・砂質・良土 c: 灰黄色 e:良好 f:1/4 g:口唇部に油煤痕
63	50		かわらけ	9.20	6.50	2.00	a:てづくね成形・外底指頭による整形・内底ナデ b:微砂・赤色粒・黒色粒・土丹粒・海綿骨芯・砂質・ 良土 c:赤橙色 e:良好 f:完形口唇部に細かく刻みが入る・内底中央にも4条の線刻
63	51		かわらけ	(14.80)	(8.40)	3.60	a:てづくね成形・外底指頭による整形・内底ナデ b:微砂・雲母・黒色粒・土丹粒・海綿骨芯・砂質・ 粗土 c:灰黄色 e:良好 f:2/3 g:外側面全体と内壁に油煤痕
63	52		かわらけ	(15.00)	8.30	3.80	a:てづくね成形・外底指頭による整形・内底ナデ b:微砂・赤色粒・黒色粒・土丹粒・海綿骨芯・砂質・ 粗土 c:灰黄色 e:良好 f:4/5
63	53		白磁 四耳壺	-	-	-	a:ロクロ成形 b:精良堅緻 c:灰白色 d:透明 f:胴部片 g:肩部に耳貼り付け
63	54	第12面 構成土	かわらけ	(13.60)	(7.00)	-	a:てづくね成形・外底指頭による整形・内底ナデ b:微砂・雲母・白色粒・土丹粒・海綿骨芯・砂質・ 粗土 c:灰黄色 e:良好 f:1/6 g:外側面油煤痕
63	55		かわらけ	(13.60)	(7.40)	3.00	a:てづくね成形・外底指頭による整形・内底ナデ b:微砂・赤色粒・黒色粒・土丹粒・砂質・粗土 c: 灰黄色 e:良好 f:1/4
63	56		かわらけ	(9.00)	(5.00)	2.00	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・赤色粒・黒色粒・土丹粒・海綿骨芯・砂質・ 粗土 c:淡橙色 e:良好 f:2/3
63	57		女瓦	-	-	2.10	a:凸面縄目痕・ナデ不明・離れ砂・凹面離れ砂付着・縦位のナデ・側面削りナデ b:灰黒色 微砂・砂粒・ 白色粒・良土 c:灰黒色 e:硬質
63	58	表採	かわらけ	(7.40)	(5.40)	1.30	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・黒色粒・砂質・良土 c:淡橙色 e: 良好 f:1/4
63	59		かわらけ	7.40	4.60	2.00	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・黒色粒・海綿骨芯・砂質・良土 c:橙 色 e:良好 f:1/3
63	60		かわらけ	7.90	5.40	2.05	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデの後見込み周囲をナデ b:微砂・赤色粒・海綿骨芯・ 土丹粒・雲母・良土 c:黄橙色 e:良好 f:5/6
63	61		かわらけ	(6.80)	(4.40)	1.60	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・黒色粒・砂質・やや粗土 c:赤橙色 e: 良好 f:1/3
63	62		かわらけ	7.20	5.10	2.40	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・赤色粒・海綿骨芯・土丹粒・雲母・良土 c: 橙色 e:良好 f:5/6 g:全体に煤けている・内外口唇部油煤痕
63	63		かわらけ	(13.40)	(7.00)	3.00	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・赤色粒・黒色粒・海綿骨芯・雲母・良土 c: 橙色 e:良好 f:1/3
63	64		かわらけ	(11.40)	(7.40)	2.90	a:ロクロ成形・外底回転系切・板状圧痕・内底ナデ b:微砂・黒色粒・砂質・やや粗土 c:赤橙色 e: 良好 f:1/3
63	65		白磁 碗	-	-	-	a:ロクロ成形 b:黒色微砂を僅かに含む c:灰白色 d:白色・透明 e:堅緻 f:胴部片 g:外 面無文・内面印花文
63	66		青白磁 梅瓶	(5.20)	-	-	a:ロクロ成形 b:黒色微砂を僅かに含む c:灰白色 d:青白色・透明 e:堅緻 f:1/2 g: 蓋
63	67		青白磁 合子	(4.80)	-	-	b:黒色微砂を僅かに含む c:灰白色 d:青白色・半透明 e:堅緻 f:1/2 g:内面露胎・蓋部 分
63	68	瀬戸 折縁深皿	-	-	-	a:ロクロ成形 b:微砂・やや粗土 c:黄灰色 d:灰黄色の釉を刷毛塗り e:良好・硬質 f:口縁 部片 g:中期Ⅰか?	

単位: cm/ 復元: ()

図版 番号	No.	出土位置 出土層位	種別	口径/長さ	底径/幅	器高/厚さ	観察内容 a: 成形・調整 b: 胎土・素地・材質 c: 色調 d: 釉調 e: 焼成 f: 遺存値 g: 備考
63	69	表探	常滑 片口鉢Ⅱ類	-	-	-	a: 輪積み技法 b: 黒色粒・白色粒 c: 暗褐色 d: 赤褐色 e: 硬質 f: 体部に窯印?
63	70		備前 播鉢	-	-	-	a: 輪積み技法 b: 黒色粒・白色粒 c: 暗褐色 d: 暗褐色 e: 硬質 f: 口縁部片
63	71		備前 播鉢	-	-	-	a: 輪積み技法 b: 黒色粒・白色粒 c: 暗灰色 d: 暗灰色 e: 硬質 f: 底部片
63	72		石製品 砥石	(8.50)	6.10	1.30	産地不明・仕上砥・裏表両面砥面として使用・側面切り出し痕
63	73		鉄製品 用途不明	(8.50)	1.20	0.70	端部に孔があく・鍵か
63	74		銭	径2.45	孔径0.65 × 0.7		f: 完形 g: 天聖元寶・初鑄年1023年・北宋・草書
63	75		銭	径2.5	孔径0.7 × 0.7		f: 完形 g: 皇宋通寶・初鑄年1038年・北宋・真書

単位: cm/復元: ()

遺構計測表

遺構番号	面	長軸	短軸	深さ	遺構番号	面	長軸	短軸	深さ	遺構番号	面	長軸	短軸	深さ
1	1面	(35.0)	(8.0)	11.0	54	1面	24.0	(20.0)	9.5	107	1面	38.0	31.0	14.8
2	1面				55	1面	30.0	23.0	6.0	108	1面	40.0	26.0	13.8
3	1面				37.0	(18.0)	14.6	56	1面	29.0	(24.0)	15.1	109	1面
4	1面	35.0	26.0	10.2	57	1面	41.0	35.0	14.3	110	1面	45.0	34.0	10.2
5	1面	(62.0)	58.0	26.3	58	1面	33.0	(19.0)	10.4	111	1面	28.0	(13.0)	9.7
6	1面	35.0	26.0	9.4	59	1面	35.0	26.0	13.9	112	1面	46.0	40.0	8.0
7	1面	28.0	28.0	6.0	60	1面	44.0	30.0	11.9	113	1面	46.0	31.0	10.0
8	1面	32.0	29.0	12.4	61	1面	48.0	42.0	13.5	114	1面	50.0	40.0	17.7
9	1面	42.0	(37.0)	15.6	62	1面	33.0	30.0	5.7	115	1面	40.0	39.0	10.0
10	1面	48.0	33.0	9.5	63	1面	(32.0)	(32.0)	30.2	116	1面	49.0	39.0	12.8
11	1面	25.0	25.0	11.8	64	1面	55.0	43.0	14.0	117	1面	44.0	(33.0)	9.5
12	1面	(42.0)	58.0	13.5	65	1面	33.0	30.0	15.6	118	1面	25.0	25.0	9.8
13	1面	40.0	36.0	16.5	66	1面	41.0	36.0	10.5	119	1面	30.0	(20.0)	13.0
14	1面	32.0	30.0	6.6	67	1面	90.0	84.0	13.5	120	1面	27.0	28.0	10.4
15	1面	52.0	(33.0)	12.1	68	1面	30.0	28.0	9.8	121	1面	28.0	(13.0)	7.5
16	1面	43.0	39.0	11.5	69	1面	34.0	30.0	7.5	122	1面	32.0	(13.0)	11.0
17	1面	40.0	(18.0)	14.5	70	1面	25.0	25.0	14.8	123	1面	36.0	(25.0)	8.4
18	1面	(50.0)	(38.0)	28.7	71	1面	52.0	35.0	10.8	124	1面	101.0	63.0	12.0
19	1面	32.0	29.0	21.0	72	1面	24.0	22.0	7.4	125	1面	30.0	28.0	7.7
20	1面	29.0	20.0	15.1	73	1面	34.0	32.0	9.0	126	1面	66.0	46.0	6.4
21	1面	37.0	27.0	8.5	74	1面	42.0	42.0	17.0	127	1面	(34.0)	26.0	12.0
22	1面	28.0	24.0	11.1	75	1面	30.0	30.0	16.2	128	1面	35.0	35.0	6.0
23	1面	61.0	61.0	25.5	76	1面	27.5	25.0	7.7	129	1面	35.0	35.0	9.0
24	1面	32.0	28.0	16.2	77	1面	44.0	42.0	16.0	130	1面	57.0	42.0	6.5
25	1面				78	1面	43.0	37.0	10.5	131	1面	39.0	37.0	13.5
26	1面				32.0	28.0	12.3	79	1面	28.0	28.0	13.0	132	1面
27	1面				80	1面	35.0	35.0	13.5	133	1面	25.0	25.0	18.5
28	1面				(57.0)	50.0	22.3	81	1面	31.0	28.0	8.0	134	1面
29	1面	39.0	28.0	25.5	82	1面	34.0	26.0	24.2	135	1面	76.0	(45.0)	9.0
30	1面	30.0	30.0	9.6	83	1面	33.0	32.0	13.8	136	1面	40.0	(32.0)	5.5
31	1面	32.0	30.0	11.1	84	1面	32.0	(28.0)	30.5	137	1面	18.0	(14.0)	8.7
32	1面	34.0	28.0	7.7	85	1面	62.0	48.0	29.6	138	1面	27.0	25.0	10.0
33	1面	28.0	25.0	16.8	86	1面	57.0	(28.0)	9.8	139	1面	27.0	27.0	8.5
34	1面	(42.0)	31.0	10.6	87	1面	35.0	33.0	20.0	140	1面	44.0	38.0	16.5
35	1面	34.0	(22.0)	10.0	88	1面	58.0	(45.0)	15.0	141	1面	33.0	32.0	不明
36	1面	37.0	30.0	10.6	89	1面	38.0	27.0	27.3	142	1面	32.0	22.0	12.0
37	1面	24.0	(24.0)	19.3	90	1面	50.0	44.0	10.8	143	1面	41.0	33.0	10.5
38	1面	34.0	31.0	18.9	91	1面	37.0	35.0	15.3	144	1面	50.0	34.0	10.7
39	1面	39.0	30.0	13.0	92	1面	33.0	22.0	10.5	145	1面	30.0	30.0	13.0
40	1面	33.0	24.0	10.0	93	1面	34.0	30.0	7.9	146	1面	25.0	(15.0)	7.5
41	1面	29.0	28.0	14.5	94	1面	30.0	29.0	18.3	147	1面	45.0	(23.0)	13.0
42	1面	35.0	34.0	13.5	95	1面	(44.0)	49.0	10.5	148	1面	(40.0)	(30.0)	13.5
43	1面	30.0	28.0	11.5	96	1面	(46.0)	50.0	18.9	149	1面	74.0	59.0	17.5
44	1面	(35.0)	38.0	22.5	97	1面	75.0	56.0	11.7	150	1面	52.0	(19.0)	15.0
45	1面	36.0	35.0	24.1	98	1面	(69.0)	75.0	18.0	151	1面	35.0	29.0	18.0
46	1面	34.0	29.0	27.2	99	1面	126.0	115.0	33.0	152	1面	55.0	38.0	14.0
47	1面	40.0	34.0	19.5	100	1面	30.0	30.0	16.7	153	1面	31.0	28.0	17.7
48	1面	54.0	52.0	10.6	101	1面	(98.0)	(72.0)	9.4	154	1面	36.0	28.0	16.5
49	1面	40.0	37.0	11.0	102	1面	49.0	(38.0)	19.1	155	1面	41.0	(32.0)	20.0
50	1面	40.0	35.0	13.1	103	1面	41.0	35.0	13.0	156	1面	40.0	39.0	16.1
51	1面	25.0	21.0	8.8	104	1面	51.0	42.0	7.2	157	1面	29.0	(24.0)	16.5
52	1面	29.0	26.0	8.5	105	1面	(25.0)	(7.0)	11.0	158	1面	(24.0)	(13.0)	10.5
53	1面	30.0	29.0	8.0	106	1面	35.0	(19.0)	11.0	159	1面	24.0	(8.0)	12.0

(単位：cm)

遺構 番号	面	長軸	短軸	深さ	遺構 番号	面	長軸	短軸	深さ	遺構 番号	面	長軸	短軸	深さ
160	1面	(75.0)	(45.0)	10.0	212	2面	40.0	39.0	12.5	265	3面	37.0	35.0	27.6
161	1面	(39.0)	44.0	17.5	213	2面	39.0	39.0	13.6	266	3面	34.0	33.0	23.7
162	1面	42.0	(12.0)	19.0	214	2面	38.0	30.0	14.0	267	3面	43.0	35.0	19.5
163	1面	28.0	(14.0)	11.5	215	2面	165.0	145.0	62.1	268	3面	42.0	36.0	15.4
164	1面	(48.0)	37.0	21.0	216	2面	(108.0)	(18.0)	20.1	269	3面	(27.0)	27.0	11.2
165	1面	34.0	20.0	13.0	217	2面	47.0	44.0	11.3	270	3面	48.0	36.0	16.8
166	1面	27.0	26.0	16.0	218	2面	(35.0)	(25.0)	13.9	271	3面	37.0	37.0	13.0
167	1面	40.0	33.0	21.5	219	2面	54.0	(52.0)	21.2	272	3面	39.0	31.0	11.3
168	1面	45.0	38.0	16.5	220	2面	(25.0)	25.0	15.0	273	3面	69.0	(42.0)	12.2
169	1面	(36.0)	49.0	18.5	221	2面	28.0	27.0	9.6	274	3面	28.0	28.0	14.0
170	1面	(34.0)	38.0	10.0	222	2面	47.0	41.0	14.6	275	3面	52.0	47.0	33.4
171	1面	(40.0)	30.0	15.2	223	2面	39.0	38.0	13.3	276	3面	35.0	(19.0)	11.2
172	1面	32.0	(23.0)	12.7	224	2面	90.0	63.0	15.5	277	3面	41.0	39.0	21.8
173	1面	38.0	-	13.0	225	2面	(57.0)	50.0	14.3	278	3面	61.0	53.0	15.8
174	1面	23.0	23.0	18.5	226	2面	(46.0)	82.0	14.7	279	3面	44.0	39.0	12.6
175	1面	115.0	(65.0)	7.8	227	2面	(20.0)	42.0	16.1	280	3面	39.0	(21.0)	9.2
176	1面	37.0	30.0	9.5	228	2面	28.0	26.0	16.2	281	3面	39.0	(25.0)	19.4
177	1面	48.0	39.0	16.7	229	2面	672.0	35.0~70.0	11.0~14.0	282	3面	(83.0)	(42.0)	15.5
178	1面	71.0	(46.0)	21.5	230	2面	88.0	85.0	23.0	283	3面	53.0	47.0	16.3
179	1面	38.0	(17.0)	22.0	231	2面				284	3面	42.0	34.0	12.7
180	2面	35.0	35.0	8.4	232	2面				285	3面	28.0	(17.0)	8.2
181	2面	(45.0)	(15.0)	7.0	233	2面	(27.0)	40.0	40.4	286	3面	154.0	30.0	12.0
182	2面	(32.0)	28.0	13.8	234	2面	32.0	31.0	20.4	287	3面	49.0	32.0	21.6
183	2面	45.0	(22.0)	27.5	235	2面	50.0	(29.0)	7.5	288	3面	(27.0)	37.0	13.8
184	2面	(33.0)	42.0	11.4	236	2面	40.0	31.0	12.0	289	3面	47.0	42.0	17.6
185	2面	50.0	47.0	30.4	237	2面	40.0	(32.0)	5.3	290	3面	48.0	(21.0)	16.8
186	2面	36.0	28.0	10.2	238	2面	37.0	37.0	20.3	291	3面	56.0	(36.0)	22.0
187	2面	(84.0)	65.0	16.2	239	2面	54.0	54.0	21.0	292	3面	35.0	33.0	24.8
188	2面	(22.0)	40.0	7.5	240	2面	52.0	33.0	14.4	293	3面	58.0	48.0	33.0
189	2面	(45.0)	51.0	10.5	241	2面	(47.0)	-	9.5	294	3面	32.0	27.0	16.7
190	2面				242	2面	28.0	(14.0)	3.0	295	3面	30.0	21.0	8.5
191	2面	42.0	38.0	14.0	243	2面	(100)	(58.0)	28.6	296	3面	38.0	30.0	17.7
192	2面	(35.0)	56.0	14.0	244	2面	37.0	27.0	13.7	297	3面	65.0	59.0	35.5
193	2面	40.0	(40.0)	14.8	245	2面	119.0	98.0	12.9	298	3面	44.0	37.0	13.8
194	2面	23.0	23.0	14.5	246	2面	86.0	65.0	6.2	299	3面	35.0	35.0	14.4
195	2面	65.0	59.0	11.0	247	2面	33.0	30.0	-	300	3面	53.0	44.0	23.0
196	2面	42.0	(27.0)	12.7	248	2面	37.0	35.0	22.9	301	3面	48.0	40.0	8.5
197	2面	(42.0)	50.0	14.3	249	2面	48.0	(28.0)	26.2	302	3面	73.0	64.0	25.4
198	2面	70.0 18.0	57.0 17.0	13.4 29.8	250	2面				303	3面	46.0	35.0	14.4
					251	2面	105.0	(25.0)	14.2	304	3面	36.0	(20.0)	9.3
199	2面	40.0	38.0	29.9	252	2面	38.0	32.0	14.2	305	3面	(25.0)	-	12.2
200	2面	28.0	27.0	11.7	253	3面	48.0	43.0	14.2	306	3面	29.0	27.0	10.6
201	2面	48.0	25.0	14.8	254	3面	33.0	33.0	8.2	307	3面	19.0	17.0	10.8
202	2面	35.0	25.0	13.4	255	3面	40.0	37.0	14.6	308	3面	23.0	(12.0)	10.0
203	2面	105.0	85.0	9.3	256	3面	25.0	25.0	10.0	309	3面	52.0	39.0	16.2
204	2面	32.0	28.0	9.9	257	3面	45.0	35.0	8.4	310	3面	32.0	31.0	14.3
205	2面	(41.0)	36.0	12.5	258	3面	(35.0)	-	21.4	311	3面	55.0	50.0	19.3
206	2面	32.0	30.0	11.9	259	3面	46.0	36.0	28.7	312	3面	(57.0)	50.0	23.7
207	2面	(43.0)	40.0	16.8	260	3面	(51.0)	55.0	17.1	313	3面	27.0	24.0	24.4
208	2面	(33.0)	29.0	10.0	261	3面	43.0	32.0	19.7	314	3面	(37.0)	35.0	12.3
209	2面	33.0	(23.0)	14.7	262	3面				315	3面	54.0	51.0	23.8
210	2面	68.0	62.0	15.9	263	3面				316	3面	43.0	(24.0)	16.4
211	2面	55.0	55.0	18.2	264	3面	45.0	38.0	15.0	317	3面	46.0	(31.0)	17.3

(単位：cm)

遺構番号	面	長軸	短軸	深さ	遺構番号	面	長軸	短軸	深さ	遺構番号	面	長軸	短軸	深さ
318	3面	45.0	40.0	27.0	371	4面	35.0	33.0	25.2	424	4面	118.0	96.0	10.2
319	3面	57.0	54.0	14.9	372	4面	25.0	24.0	19.1	425	4面	35.0	31.0	25.2
320	3面	44.0	41.0	22.7	373	4面	35.0	33.0	9.8	426	4面	53.0	48.0	30.8
321	3面	56.0	56.0	31.4	374	4面	(78.0)	(50.0)	22.5	427	4面	(105.0)	95.0	18.5
322	3面	(39.0)	33.0	17.6	375	4面	35.0	(22.0)	14.2	428	4面	51.0	(48.0)	20.2
323	3面	35.0	35.0	9.5	376	4面	44.0	42.0	18.4	429	4面	43.0	(13.0)	18.5
324	3面	50.0	50.0	13.0	377	4面	33.0	30.0	17.9	430	4面	25.0	19.0	6.2
325	3面	41.0	(17.0)	16.2	378	4面	44.0	43.0	22.3	431	4面	(89.0)	48.0	23.1
326	3面	68.0	(52.0)	9.8	379	4面	37.0	32.0	6.5	432	4面	47.0	38.0	22.3
327	3面	48.0	(24.0)	18.6	380	4面	34.0	25.0	13.7	433	4面	31.0	30.0	19.0
328	3面	(38.0)	40.0	20.0	381	4面	39.0	33.0	23.6	434	4面	(48.0)	(37.0)	9.7
329	3面	21.0	(14.0)	17.0	382	4面	(34.0)	57.0	15.7	435	4面	189.0	(93.0)	38.8
330	3面	50.0	(47.0)	18.7	383	4面	43.0	35.0	10.7	436	5面			
331	3面	(45.0)	46.0	17.1	384	4面	(82.0)	89.0	9.5	437	5面	176.0	121.0	18.2
332	3面	45.0	35.0	17.2	385	4面	40.0	37.0	14.8	438	5面	(152.0)	(82.0)	32.4
333	3面	30.0	28.0	12.5	386	4面	56.0	47.0	18.6	439	5面	(252.0)	(174.0)	26.2
334	3面	25.0	25.0	10.9	387	4面	45.0	(34.0)	29.1	440	5面	180.0	(133.0)	17.6
335	3面	29.0	25.0	14.7	388	4面	23.0	22.0	16.9	441	6面			
336	3面	31.0	27.0	15.2	389	4面	50.0	42.0	15.0	442	6面	(90.0)	(58.0)	9.0
337	3面	85.0	(43.0)	19.5	390	4面	30.0	29.0	15.8	443	6面	48.0	39.0	26.0
338	3面	33.0	27.0	17.3	391	4面	42.0	39.0	26.1	444	6面			
339	3面	40.0	37.0	17.4	392	4面	37.0	34.0	15.8	445	6面	76.0 36.0	72.0 27.0	22.2 19.5
340	3面	37.0	37.0	12.7	393	4面	48.0	35.0	18.0	446	6面	(46.0)	54.0	34.7
341	3面	55.0	42.0	16.9	394	4面	29.0	28.0	13.0	447	6面	(72.0)	(47.0)	8.1
342	3面	38.0	36.0	12.7	395	4面	78.0	76.0	18.4	448	6面	40.0	34.0	26.2
343	3面	42.0	41.0	14.8	396	4面	29.0	24.0	7.9	449	6面	55.0	47.0	21.2
344	3面	38.0	(30.0)	22.1	397	4面	40.0	27.0	19.6	450	6面	51.0	46.0	14.5
345	3面	(67.0)	(56.0)	11.0	398	4面	47.0	45.0	16.7	451	6面	37.0	30.0	19.8
346	3面	(132.0)	108.0	26.6	399	4面	34.0	33.0	10.1	452	6面	39.0	34.0	27.4
347	3面	29.0	20.0	11.1	400	4面	39.0	29.0	12.0	453	6面	45.0	36.0	23.3
348	3面	37.0	32.0	22.5	401	4面	37.0	35.0	14.0	454	6面	(85.0)	50.0	14.0
349	3面	44.0	34.0	18.8	402	4面	58.0	46.0	7.9	455	6面	40.0	33.0	24.0
350	3面	63.0	(42.0)	36.8	403	4面	(30.0)	59.0	18.1	456	6面	(37.0)	33.0	24.5
351	3面	39.0	35.0	28.2	404	4面	26.0	25.0	14.0	457	6面	125.0 42.0	125.0 40.0	37.7 55.3
352	3面	47.0	(28.0)	10.5	405	4面	39.0	24.0	13.8	458	6面			
353	3面	45.0	45.0	22.7	406	4面	35.0	34.0	10.2	459	6面	(76.0)	64.0	18.5
354	3面	255.0	25.0~38.0	10.0	407	4面	42.0	33.0	22.8	460	6面	(310.0)	48.0~32.0	28.0
355	3面	35.0	33.0	20.9	408	4面	44.0	-	15.4	461	6面	96.0	(43.0)	32.1
356	3面	(70.0)	39.0	14.0	409	4面	(33.0)	38.0	11.1	462	6面	41.0	41.0	15.8
357	3面	(66.0)	39.0	15.0	410	4面	-	-	-	463	6面	39.0	36.0	22.3
358	3面	20.0	17.0	8.2	411	4面	48.0	39.0	11.8	464	6面	91.0	37.0	14.6
359	4面	113.0	(43.0)	13.0	412	4面	42.0	(36.0)	16.1	465	6面	81.0	63.0	14.5
360	4面	(25.0)	55.0	16.5	413	4面	41.0	39.0	14.8	466	6面			
361	4面	-	-	19.6	414	4面	65.0	53.0	7.5	467	6面	37.0	30.0	11.1
362	4面	29.0	(18.0)	20.2	415	4面	46.0	44.0	10.0	468	6面	31.0	(22.0)	22.1
363	4面	(63.0)	(59.0)	22.6	416	4面	22.0	17.0	8.0	469	6面	37.0	35.0	17.8
364	4面	(22.0)	38.0	14.6	417	4面	40.0	38.0	14.1	470	6面	36.0	35.0	10.7
365	4面	49.0	36.0	17.9	418	4面	32.0	20.0	11.7	471	7面	(93.0)	(70.0)	17.4
366	4面	57.0	55.0	19.7	419	4面	45.0	40.0	20.8	472	7面	35.0	35.0	10.9
367	4面	44.0	37.0	18.8	420	4面	(43.0)	(32.0)	8.3	473	7面	49.0	49.0	-
368	4面	49.0	44.0	14.6	421	4面	24.0	18.0	13.3	474	7面	68.0	(26.0)	13.2
369	4面	24.0	22.0	23.7	422	4面	(34.0)	(34.0)	12.3					
370	4面	40.0	34.0	19.6	423	4面	117.0	45.0	16.7					

(単位：cm)

遺構番号	面	長軸	短軸	深さ	遺構番号	面	長軸	短軸	深さ	遺構番号	面	長軸	短軸	深さ
475	7面	64.0	56.0	17.0	528	7面	49.0	38.0	-	581	8面	38.0	30.0	15.4
476	7面	48.0	47.0	8.7	529	7面	(15.0)	35.0	8.6	582	8面	(30.0)	(9.0)	19.1
477	7面	(42.0)	(17.0)	16.2	530	7面	88.0	(55.0)	20.1	583	8面	29.0	27.0	13.2
478	7面	98.0	91.0	57.0	531	8面				584	8面	(30.0)	29.0	8.7
479	7面				532	8面				585	8面	35.0	(30.0)	12.3
480	7面	575.0	55.0~68.0	14.0	533	8面				586	8面	43.0	(35.0)	18.8
481	7面	48.0	46.0	15.8	534	8面	92.0	71.0	20.7	587	8面	28.0	10.0	-
482	7面	43.0	41.0	27.3	535	8面	118.0	83.0	20.4	588	8面	63.0	(45.0)	16.3
483	7面	62.0	(19.0)	15.6	536	8面	39.0	35.0	14.7	589	8面	27.0	27.0	10.8
484	7面	(40.0)	45.0	21.7	537	8面	(59.0)	(34.0)	14.0	590	8面	19.0	19.0	13.0
485	7面	(42.0)	48.0	27.4	538	8面	39.0	37.0	9.7					
486	7面	38.0	38.0	24.3	539	8面	45.0	(26.0)	10.0					
487	7面	52.0	41.0	18.2	540	8面	50.0	35.0	22.8					
488	7面	63.0	(28.0)	19.5	541	8面	58.0	(54.0)	18.6					
489	7面	69.0	58.0	19.8	542	8面	45.0	(22.0)	30.9					
490	7面	40.0	(22.0)	12.7	543	8面	(44.0)	(30.0)	16.8					
491	7面	48.0	44.0	15.7	544	8面								
492	7面	(50.0)	(32.0)	19.0	545	8面	48.0	45.0	8.0					
493	7面	43.0	37.0	30.8	546	8面	35.0	29.0	22.2					
494	7面				547	8面	49.0	(43.0)	21.5					
495	7面				548	8面	48.0	37.0	12.0					
496	7面	57.0	48.0	13.0	549	8面	45.0	35.0	10.5					
497	7面	46.0	37.0	15.0	550	8面	36.0	29.0	4.7					
498	7面	(25.0)	(13.0)	20.5	551	8面	(45.0)	41.0	11.9					
499	7面	118.0	90.0	24.5	552	8面	42.0	42.0	20.6					
500	7面	37.0	36.0	14.3	553	8面	38.0	29.0	26.4					
501	7面	35.0	31.0	16.0	554	8面	(40.0)	34.0	21.2					
502	7面	(116.0)	90.0	18.5	555	8面	44.0	44.0	16.4					
503	7面	47.0	46.0	15.1	556	8面	35.0	33.0	14.0					
504	7面	49.0	45.0	14.4	557	8面	38.0	25.0	32.4					
505	7面	41.0	36.0	14.5	558	8面								
506	7面	52.0	40.0	9.8	559	8面	11.0	9.0	10.3					
507	7面				560	8面	37.0	34.0	30.2					
508	7面	(58.0)	45.0	18.9	561	8面	70.0	(56.0)	13.3					
509	7面	36.0	36.0	17.2	562	8面	35.0	-	20.9					
510	7面	(39.0)	(31.0)	20.4	563	8面	35.0	28.0	34.8					
511	7面	48.0	31.0	18.8	564	8面	58.0	(38.0)	22.1					
512	7面	40.0	37.0	18.1	565	8面	58.0	48.0	22.8					
513	7面	(25.0)	28.0	-	566	8面	36.0	32.0	14.2					
514	7面	37.0	34.0	-	567	8面	32.0	29.0	17.3					
515	7面	78.0	(36.0)	16.3	568	8面	28.0	(20.0)	16.3					
516	7面				569	8面	33.0	27.0	20.3					
517	7面	47.0	42.0	11.5	570	8面	38.0	33.0	16.0					
518	7面	52.0	47.0	11.0	571	8面	20.0	20.0	17.0					
519	7面	45.0	38.0	16.3	572	8面	40.0	(23.0)	24.0					
520	7面	56.0	40.0	12.4	573	8面	34.0	30.0	22.9					
521	7面	25.0	21.0	11.0	574	8面	35.0	34.0	7.8					
522	7面	35.0	30.0	-	575	8面								
523	7面				576	8面	(115.0)	98.0	37.6					
524	7面	49.0	39.0	14.6	577	8面	40.0	(29.0)	17.9					
525	7面	39.0	(22.0)	11.8	578	8面	64.0	60.0	19.8					
526	7面	56.0	47.0	16.3	579	8面	33.0	32.0	10.7					
527	7面	52.0	29.0	6.2	580	8面								

(単位：cm)

西御門遺跡（遺構 558）の花粉分析とプラント・オパール分析

森 将志 (パレオ・ラボ)

1. はじめに

神奈川県鎌倉市に所在する西御門遺跡において、遺構 558 から花粉分析用とプラント・オパール分析用の試料が採取された。以下では、採取された試料について行った花粉分析とプラント・オパール分析の結果を示し、遺構 558 の性質および遺跡周辺の古植生について検討した。

2. 試料と方法

分析試料は、遺構 558 から採取された黒褐色 (10YR2/2) 有機質土 1 点である。この試料について、以下の手順で分析を行った。

2-1. 花粉分析

試料(湿重量約 3g)を遠沈管にとり、10%水酸化カリウム溶液を加え 10 分間湯煎する。水洗後、46%フッ化水素酸溶液を加え 1 時間放置する。水洗後、比重分離(比重 2.1 に調整した臭化亜鉛溶液を加え遠心分離)を行い、浮遊物を回収し水洗する。水洗後、酢酸処理を行い、続いてアセトリシス処理(無水酢酸 9 : 濃硫酸 1 の割合の混酸を加え 20 分間湯煎)を行う。水洗後、残渣にグリセリンを滴下し保存用とする。検鏡は、この残渣より適宜プレパラートを作製して行った。プレパラートは全面を検鏡し、その間に現れる花粉・孢子・寄生虫卵を全て数えた。また、保存状態の良好な花粉・寄生虫卵を選んで単体標本(PLC.1179 ~ 1186)を作製し、写真を図版 1 に載せた。単体標本はパレオ・ラボに保管されている。

2-2. プラント・オパール分析

秤量した試料を乾燥後、再び秤量する(絶対乾燥重量測定)。別に試料約 1g(秤量)をトールビーカーにとり、約 0.02g のガラスビーズ(直径約 0.04mm)を加える。これに 30%の過酸化水素水を約 20 ~ 30cc 加え、脱有機物処理を行う。処理後、水を加え、超音波ホモジナイザーによる試料の分散後、沈降法により 0.01mm 以下の粒子を除去する。この残渣よりグリセリンを用いて適宜プレパラートを作製し、検鏡した。同定および計数は、機動細胞珪酸体由来するプラント・オパールについて、ガラスビーズが 300 個に達するまで行った。また、保存状態の良好な植物珪酸体を選んで写真を撮り、図版 2 に載せた。

3. 結果

3-1. 花粉分析

試料から検出された花粉・孢子の分類群数は、樹木花粉 10、草本花粉 18、形態分類のシダ植物孢子 2 の総計 30 である。また、3 種類の寄生虫卵を確認した。これら花粉・シダ植物孢子・寄生虫卵の一覧を表 1 に、分布図を図 1 に示した。分布図の樹木花粉・草本花粉・シダ植物孢子は全花粉孢子総数を基数とした百分率で示してある。また、図表においてハイフン(-)で結んだ分類群はそれら分類群間の区別が困難なものを示す。さらに、クワ科とマメ科の花粉には樹木起源と草本起源のものがあるが、各々に分けるのが困難なため、便宜的に草本花粉に一括して入れてある。

今回の分析試料は樹木花粉の含有量が少なく、草本花粉の含有量が多い。草本花粉ではイネ科が最も多く産出しており、74%の産出率を示す。次いでヨモギ属とアカザ科・ヒユ科の産出が多く、それぞれ 11%と 8%の産出率である。その他では栽培植物のソバ属やキュウリ属、ベニバナ属がわずかに産出し

ている。樹木花粉ではマツ属複維管束亜属の産出が最も多く、2%の産出率を示す。また、プレパラートの全面を検鏡する間に、回虫卵が183個、鞭虫卵が1115個、肝吸虫卵が9個確認できた。

3-2. プラント・オパール分析

同定・計数された各植物のプラント・オパール個数とガラスビーズ個数の比率から試料1g当りの各プラント・オパール個数を求めた。一覧表を表2に、分布図を図2に示した。以下に示す各分類群のプラント・オパール個数は、試料1g当りの検出個数である。

検鏡の結果、イネ機動細胞珪酸体とネザサ節型機動細胞珪酸体、ササ属型機動細胞珪酸体、他のタケ亜科機動細胞珪酸体、キビ族機動細胞珪酸体、ウシクサ族機動細胞珪酸体の6種類の機動細胞珪酸体が確認できた。イネ機動細胞珪酸体は100,000個、ネザサ節型機動細胞珪酸体は29,500個、ササ属型機動細胞珪酸体は11,400個、他のタケ亜科機動細胞珪酸体は2,300個、キビ族機動細胞珪酸体は193,100個、ウシクサ族機動細胞珪酸体は70,400個の産出量である。それ以外では、イネの籾殻に形成される植物珪酸体（イネ穎破片）やイネ型短細胞珪酸体列片、棒状珪酸体、ポイント型珪酸体などの産出が見られた。

表1 産出花粉孢子寄生虫卵一覧表

学名	和名	遺構558
樹木		
Abies	モミ属	2
Tsuga	ツガ属	5
Pinus subgen. Diploxylon	マツ属複維管束亜属	39
Cryptomeria	スギ属	5
Salix	ヤナギ属	1
Betula	カバノキ属	1
Quercus subgen. Lepidobalanus	コナラ属コナラ亜属	2
Quercus subgen. Cyclobalanopsis	コナラ属アカガシ亜属	5
Ulmus - Zelkova	ニレ属-ケヤキ属	1
Ligustrum	イボタノキ属	1
草本		
Gramineae	イネ科	1226
Moraceae	クワ科	1
Polygonum sect. Persicaria - Echinocaulon	サナエタデ節-ウナギツカミ節	4
Polygonum sect. Reynoutria	イタドリ節	1
Fagopyrum	ソバ属	10
Chenopodiaceae - Amaranthaceae	アカザ科-ヒユ科	133
Caryophyllaceae	ナデシコ科	1
Brassicaceae	アブラナ科	6
Leguminosae	マメ科	1
Solanum	ナス属	1
Plantago	オオバコ属	1
Galium	ヤエムグラ属	2
Cucumis	キュウリ属	1
Ambrosia - Xanthium	ブタクサ属-オナモミ属	2
Carthamus	ベニバナ属	1
Artemisia	ヨモギ属	181
Tubuliflorae	キク亜科	8
Liguliflorae	タンポポ亜科	10
シダ植物		
monolete type spore	単条溝孢子	1
trilete type spore	三条溝孢子	4
Arboreal pollen	樹木花粉	62
Nonarboreal pollen	草本花粉	1590
Spores	シダ植物孢子	5
Total Pollen & Spores	花粉・孢子総数	1657
Unknown pollen	不明花粉	2
寄生虫卵		
	回虫卵	183
	鞭虫卵	1115
	肝吸虫卵	9

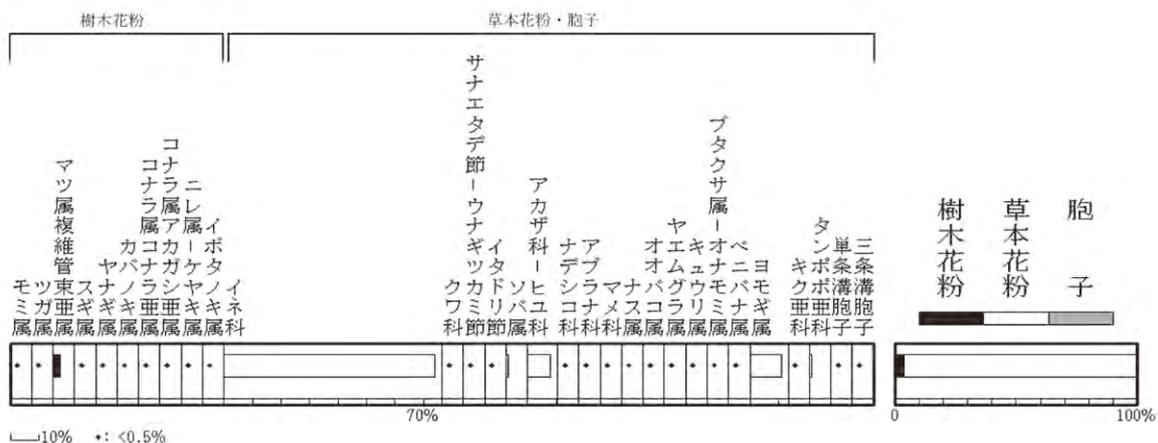


図1 西御門遺跡（遺構558）における花粉分布図

樹木花粉・草本花粉・孢子の産出率は産出花粉孢子総数を基数として百分率で示した

表2 試料1g当りのプラント・オパール個数

イネ (個/g)	イネ穎破片 (個/g)	ネザサ節型 (個/g)	ササ属型 (個/g)	他のタケ亜科 (個/g)	キビ族 (個/g)	ウシクサ族 (個/g)	棒状珪酸体 (個/g)	ポイント型珪酸体 (個/g)	イネ型短細胞 (個/g)
100,000	6,800	29,500	11,400	2,300	193,100	70,400	15,900	11,400	2,300

4. 考察

今回の分析試料には、寄生虫卵が大量に含まれていた。鎌倉時代の鎌倉では市内各地で寄生虫卵が大量に産出しており（鈴木，2008）、遺構558から寄生虫卵が産出するのは一般的な現象であると考えられるが、花粉分析の結果と併せて考えると、遺構558はトイレ遺構である可能性もある。例えば、トイレ遺構であれば、そこから産出する花粉化石は人が排泄した植物に由来すると思われる。花粉分析の結果では、

イネ科やソバ属、アカザ科・ヒユ科、アブラナ科、ナス属、キュウリ属、ベニバナ属など食用や薬用となる分類群が多く産出しており、特にイネ科は突出した産出率を示している。粃殻内には大量の花粉が残存しているため、花粉が付着した米粒を人が食し、その花粉が排泄されたためにイネ科の突出した産出を示しているのではなかろうか。

あるいは、プラント・オパール分析の結果においてイネ穎破片の産出が見られるため、遺構558内には粃殻が存在していたと考えられ、粃殻からイネ科花粉が供給された可能性も考えられる。また、プラント・オパール分析結果では、イネやキビ族、ウシクサ族の機動細胞珪酸体の産出量が多く、イネやキビ族、ウシクサ族の葉身が遺構558内に多く存在していたと考えられる。遺構558はトイレ遺構である可能性もあるので、イネやキビ族、ウシクサ族の糞などが人為的に投棄されていた状況も推測される。

以上は産出した植物化石をトイレ遺構との関わりで検討したが、遺跡周辺の古植生についても検討する。産出花粉のほとんどが草本花粉で占められる中、樹木花粉ではマツ属複維管束亜属の産出が目立つ。よって、遺跡周辺にはニヨウマツ林が分布していたと考えられる。プラント・オパール分析の結果ではネザサ節型機動細胞珪酸体の産出が見られ、ニヨウマツ林が発達するような日の当る明るい場所にネザサ節型のササ類も生育していたと思われる。なお、鎌倉周辺ではスギ林・照葉樹林がニヨウマツ林へと交代するのが13世紀中頃と推測されているため（鈴木，1999）、マツ属複維管束亜属が多く産出する本試料は、13世紀中頃以降の堆積物であると思われる。

引用文献

- 鈴木 茂 (1999) 神奈川県鎌倉市における鎌倉時代の森林破壊. 国立歴史民俗博物館研究報告第81集, 131-139.
 鈴木 茂 (2008) 鎌倉の遺跡と寄生虫卵. 考古論業神奈河第16集, 77-83.

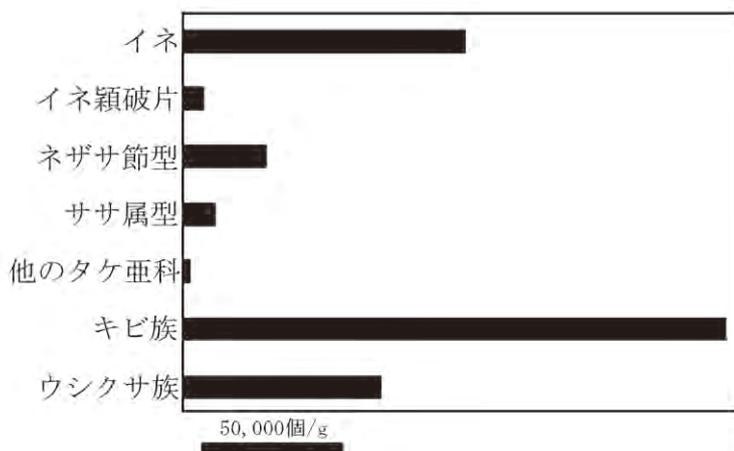
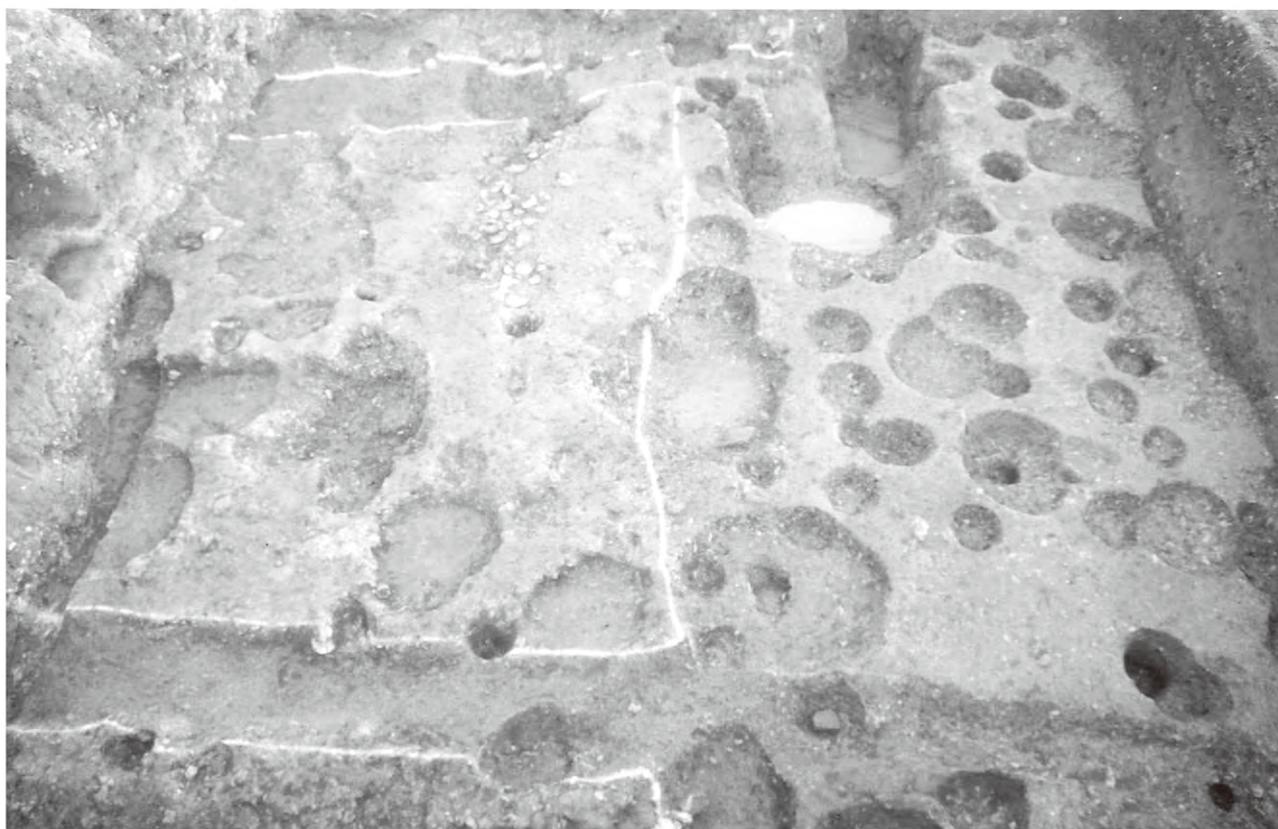


図2 西御門遺跡（遺構558）における植物珪酸体分布図



第1面全景 (南から)



第2面全景 (西から)



第3面全景(南から)



第4面全景(南から)



第5面全景（南から）



第6面全景（南から）



第7面全景 (西から)



第8面全景 (西から)



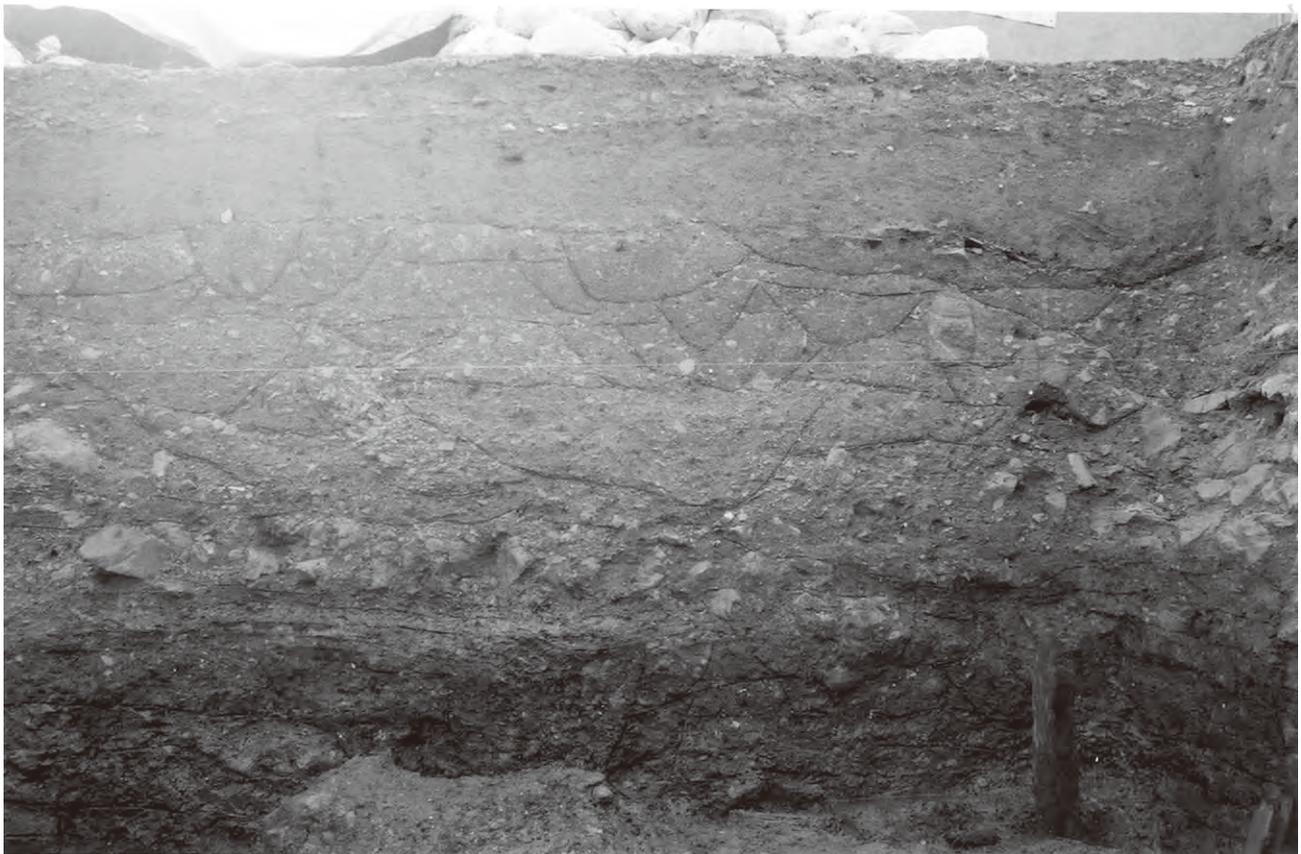
最終トレンチ全景（南から）



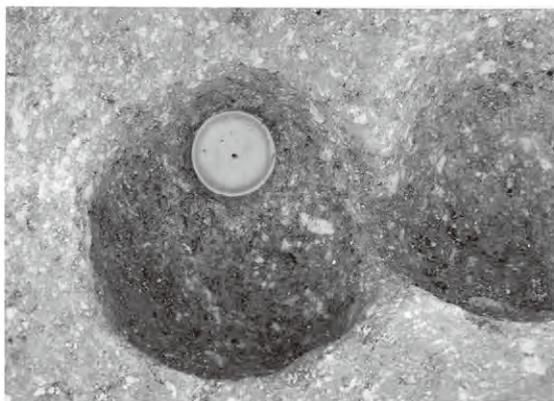
最終トレンチ 西壁Section



調査区南壁（東半分）



調査区南壁（西半分）



第1面・遺構19



第1面・遺構78



第1面・遺構73・74・75・77・78



第1面・遺構99



第2面・遺構207



第2面・遺構215 覆土堆積状況



第2面・遺構230 覆土堆積状況



第2面・遺構230 (かわらけ集中出土)



第2面・遺構229



第2面・遺構235



第2面・遺構251



第2面・遺構233 覆土堆積状況(柱痕)



第3面・遺構255



第3面・遺構286



第3面・遺構337 覆土堆積状況



第3面・遺構354



第4面・遺構424



第4面・遺構435 覆土堆積状況



第5面 泥岩地業(道路状)



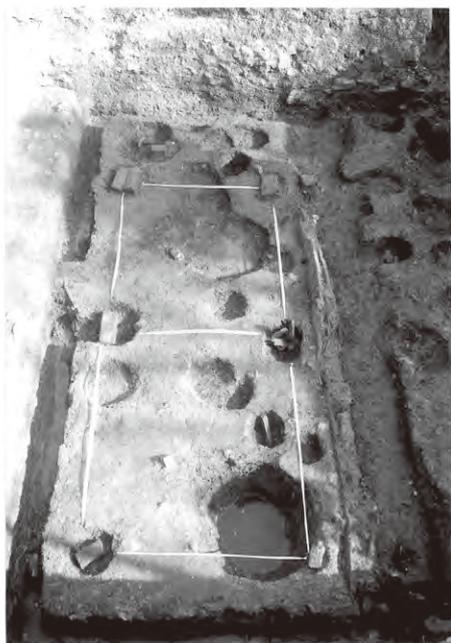
第6面・遺構457



第6面・遺構459



第6面・遺構460



第7面・柱穴列
(遺構472・497・526・527・528・529)



第7面・遺構473



第7面・遺構492



第7面・遺構497



第7面・遺構523

第7面・遺構533



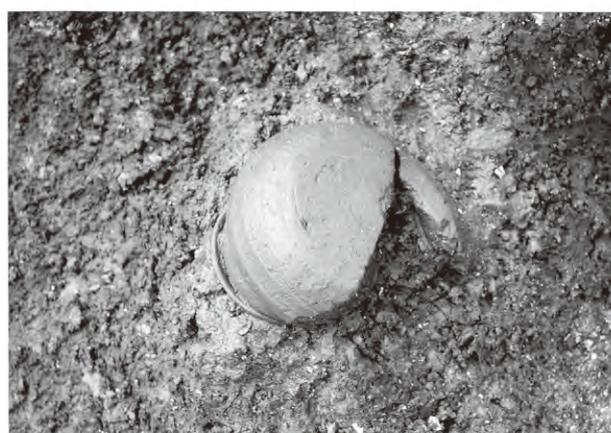
第7面・遺構522 覆土堆積状況



第7面・遺構522



第8面・遺構541・かわらけ出土状況
(横から)



第8面・遺構541・かわらけ出土状況
(上から)



第8面・遺構558



第8面・遺構558・玉石出土状況



第8面・遺構574



第8面・遺構580・杭・角材出土状況



第8面・遺構580・横板出土状況



第8面・遺構580・横板出土状況

▼第1面



△遺構 5

8-1



△遺構 16

8-3



△遺構 99

8-24



9-56

△第1面面上



9-57



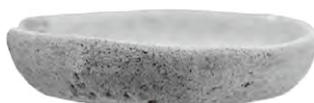
9-58

△第1面構成土



△遺構 59

8-9



△遺構 109

8-31



8-13



△遺構 70

8-14



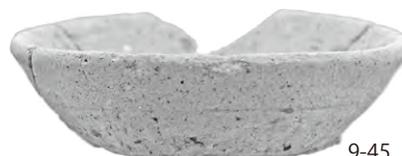
8-15

△遺構 74



8-44

△遺構 149



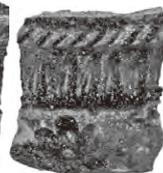
9-45

△遺構 152



8-41

△遺構 143



9-70

▼第2面



13-6

△遺構 211



13-12



13-14



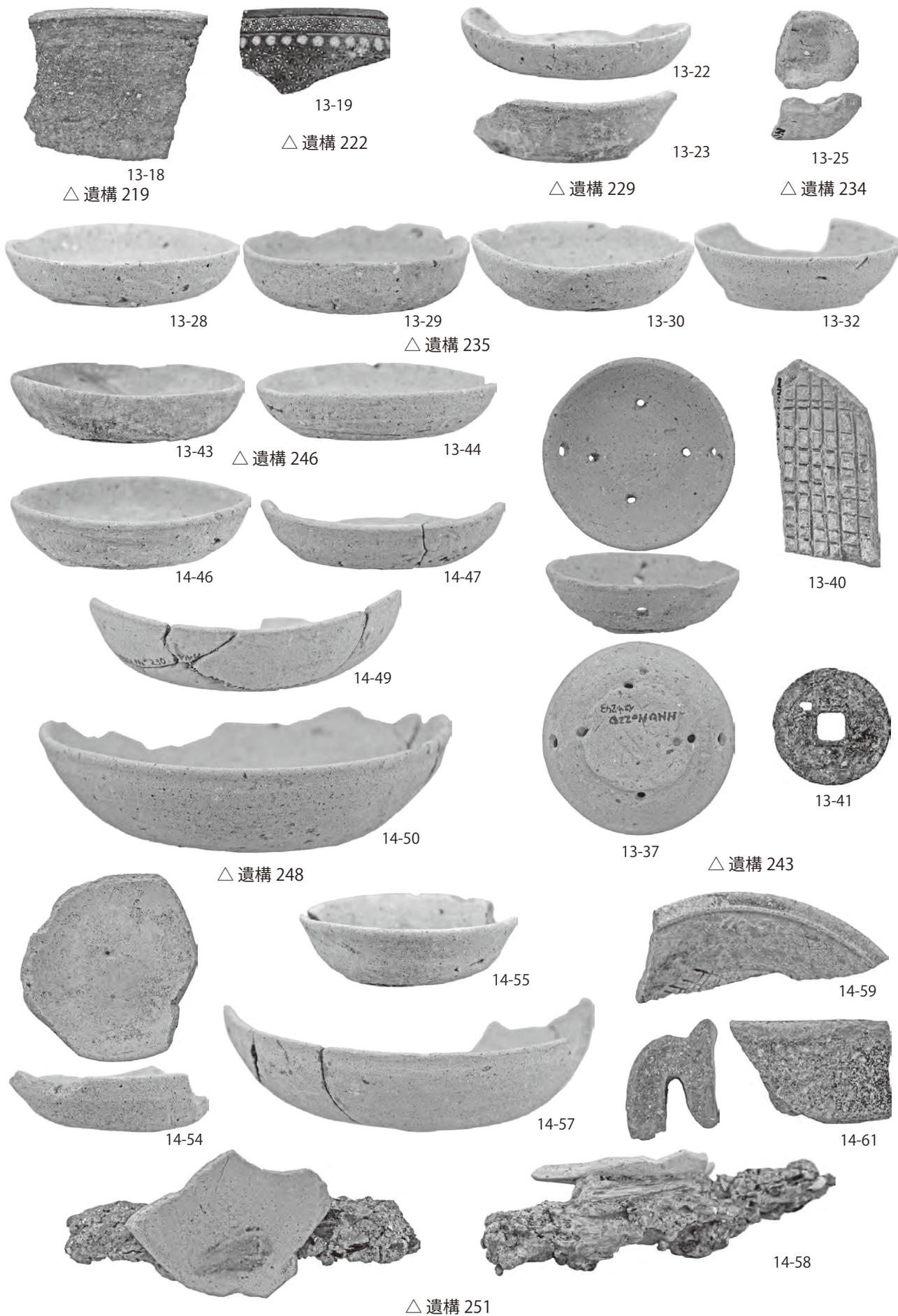
13-13

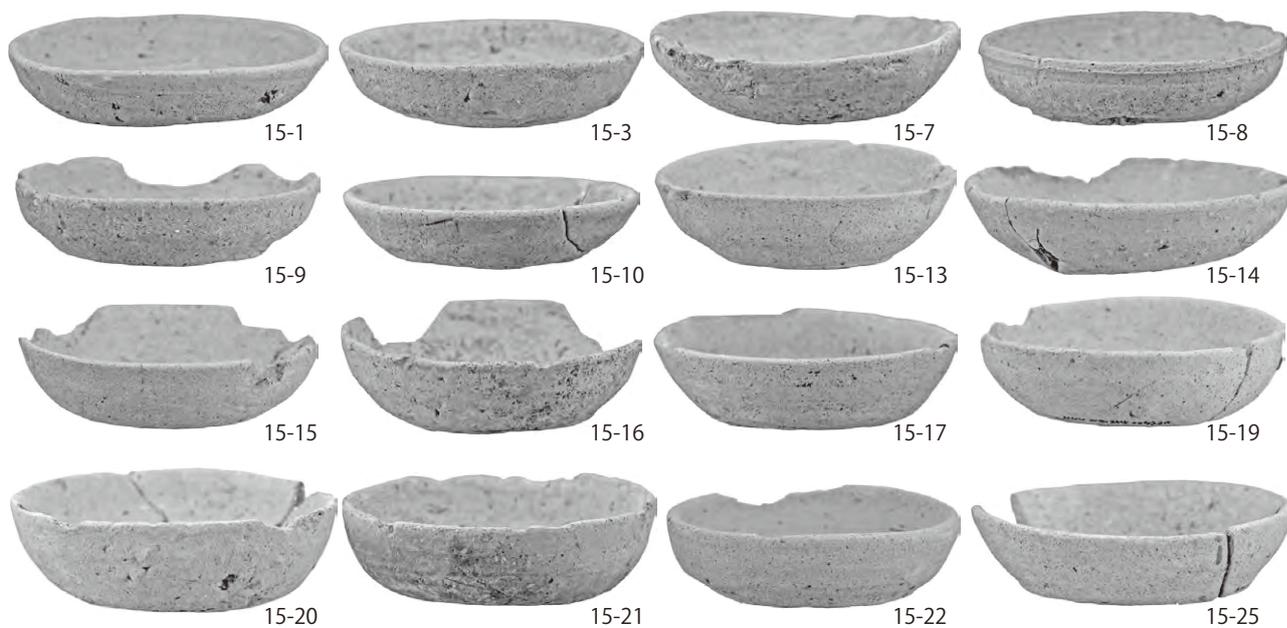
△遺構 215



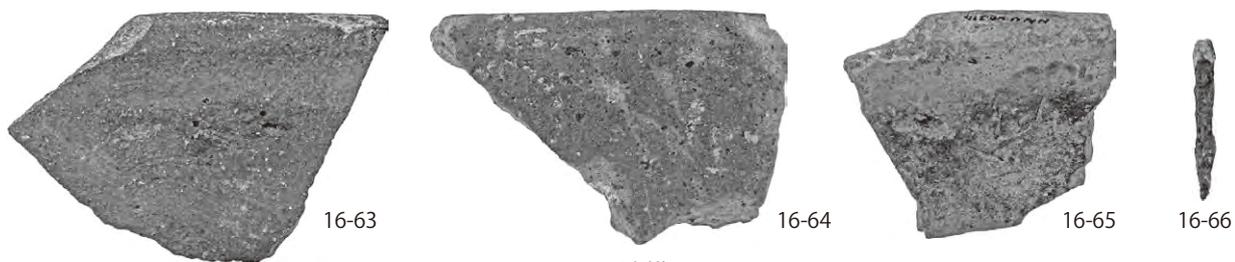
13-15

图版 14

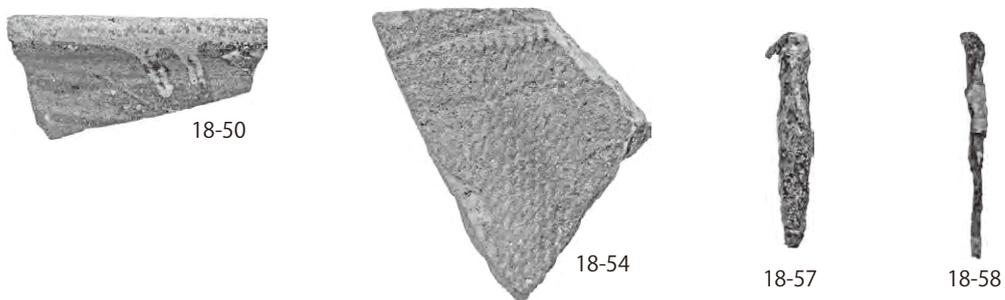
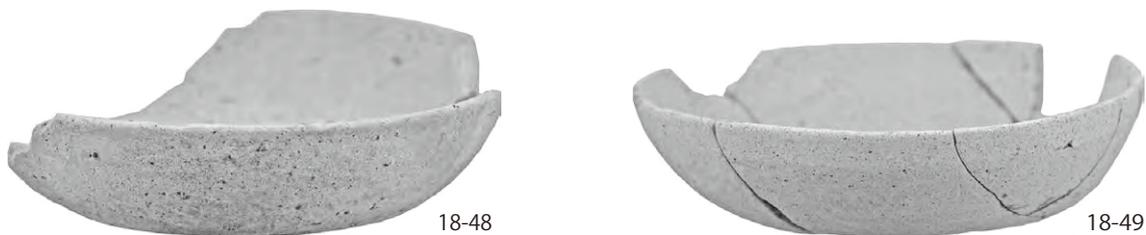
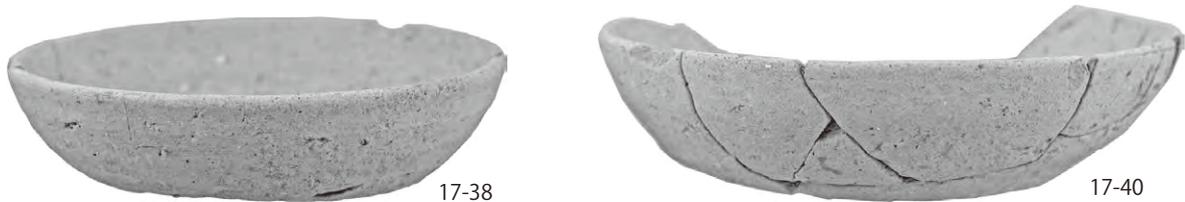
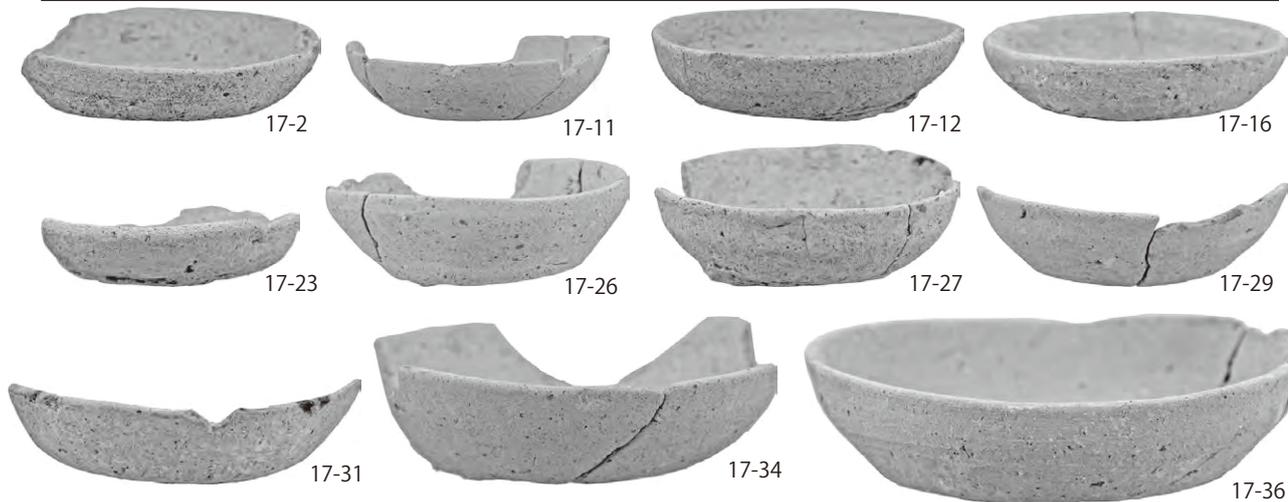




△遺構 230



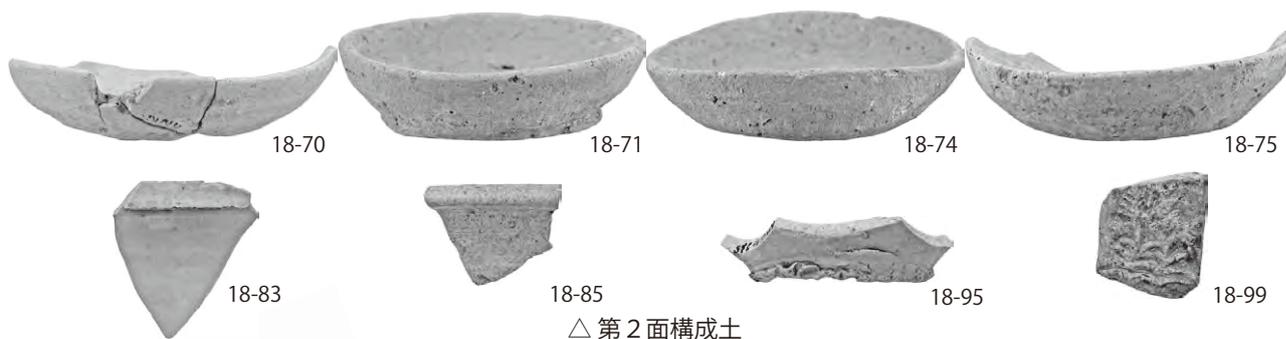
△ 遺構 230



△ 遺構 231

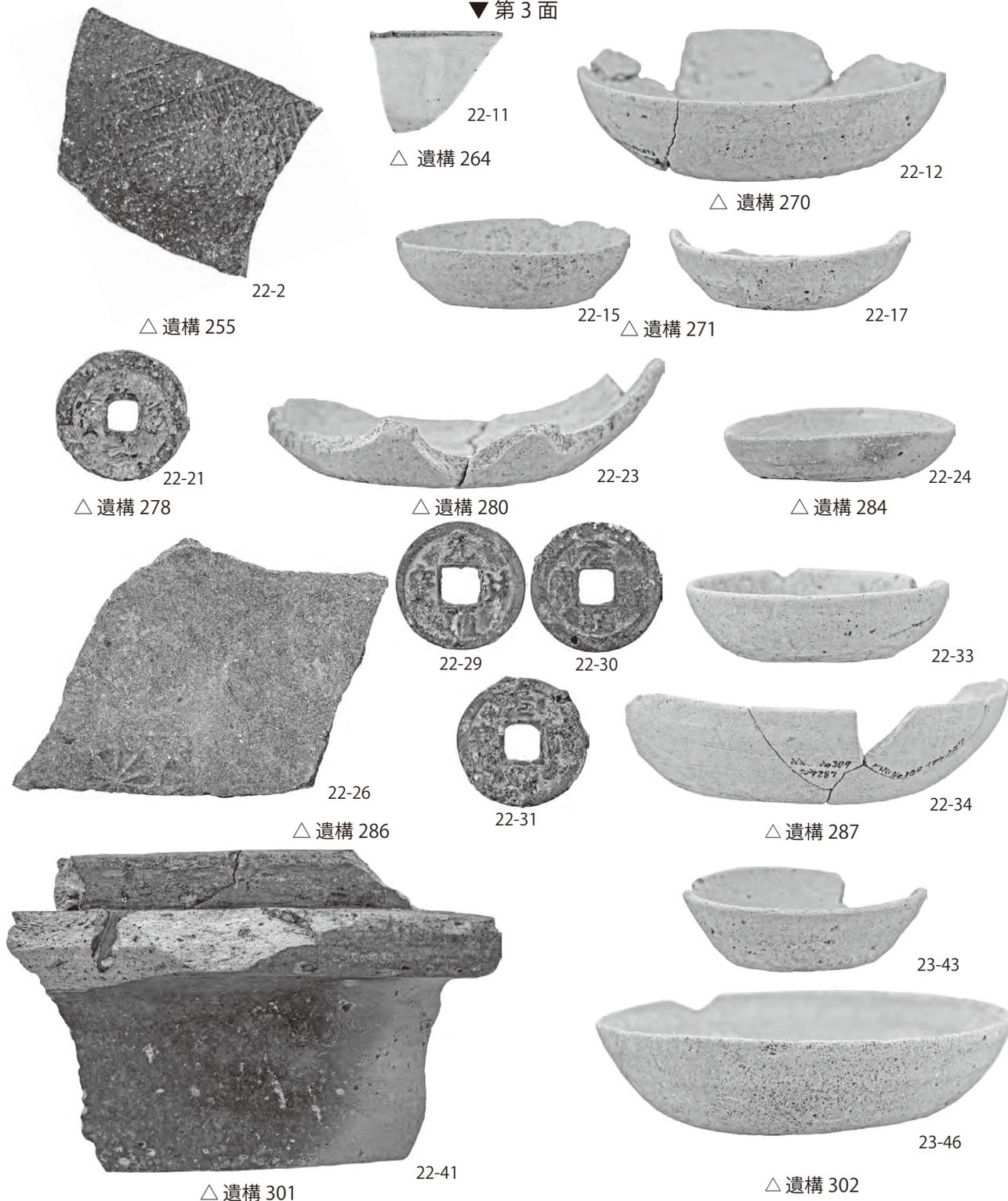


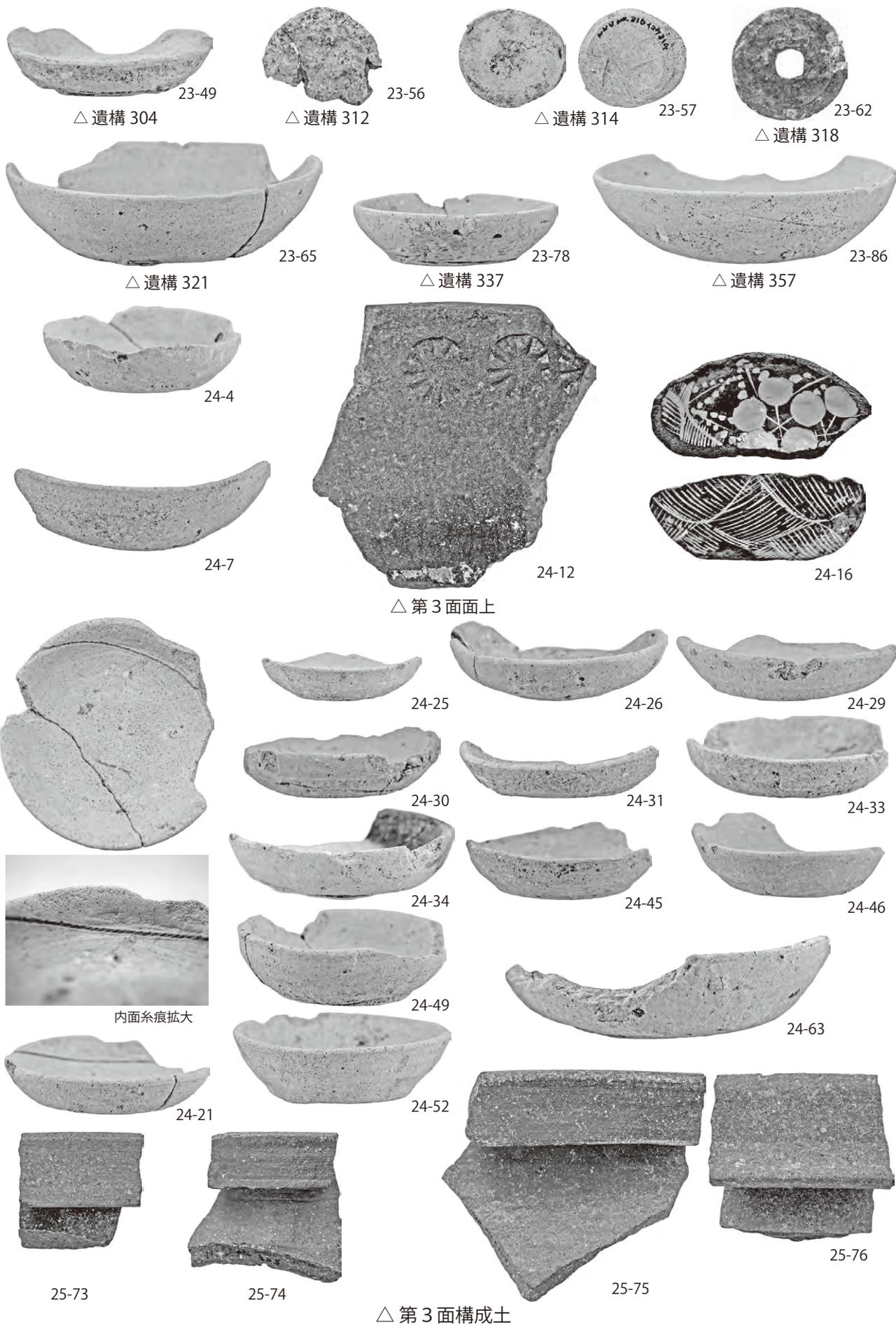
△ 第 2 面面上

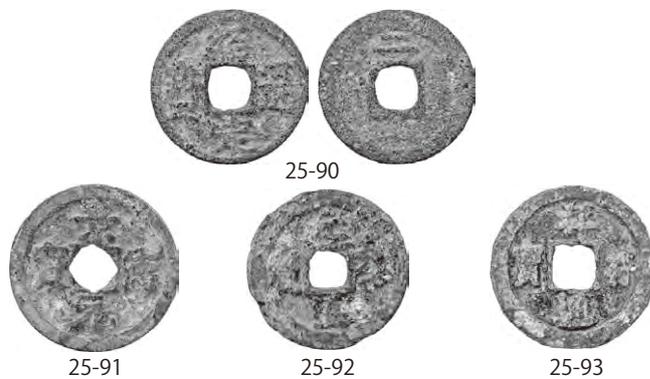
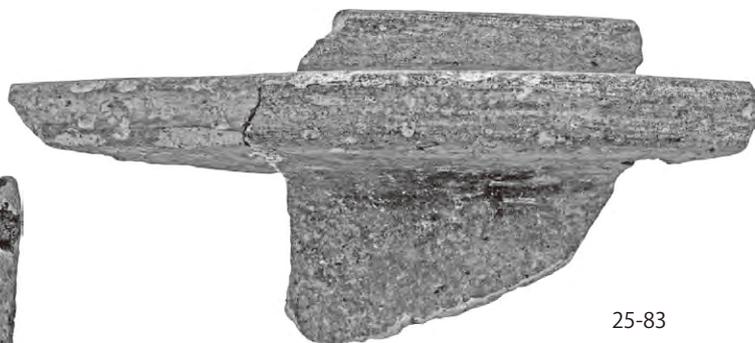
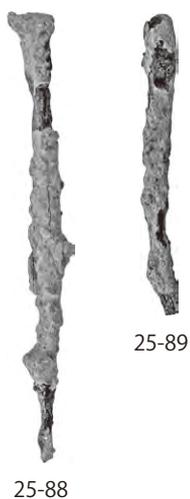
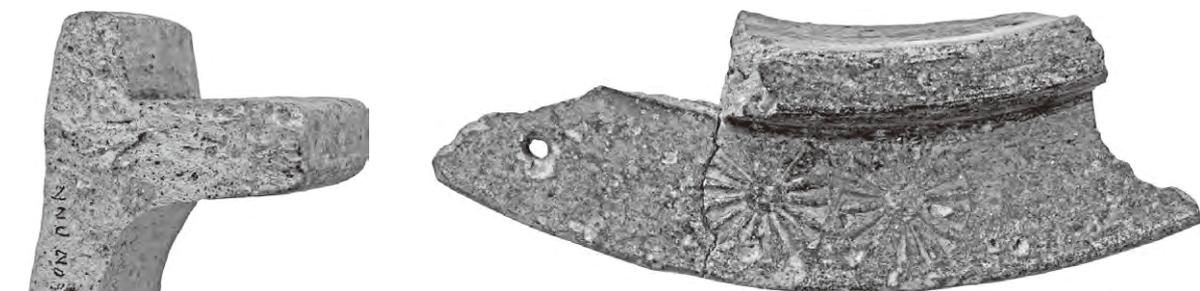
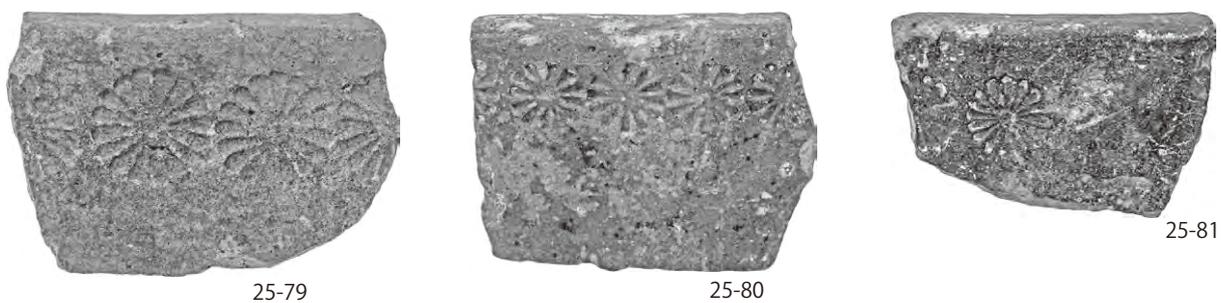


△ 第2面構成土

▼ 第3面







△ 第3面構成土

▼ 第4面



△ 遺構 360

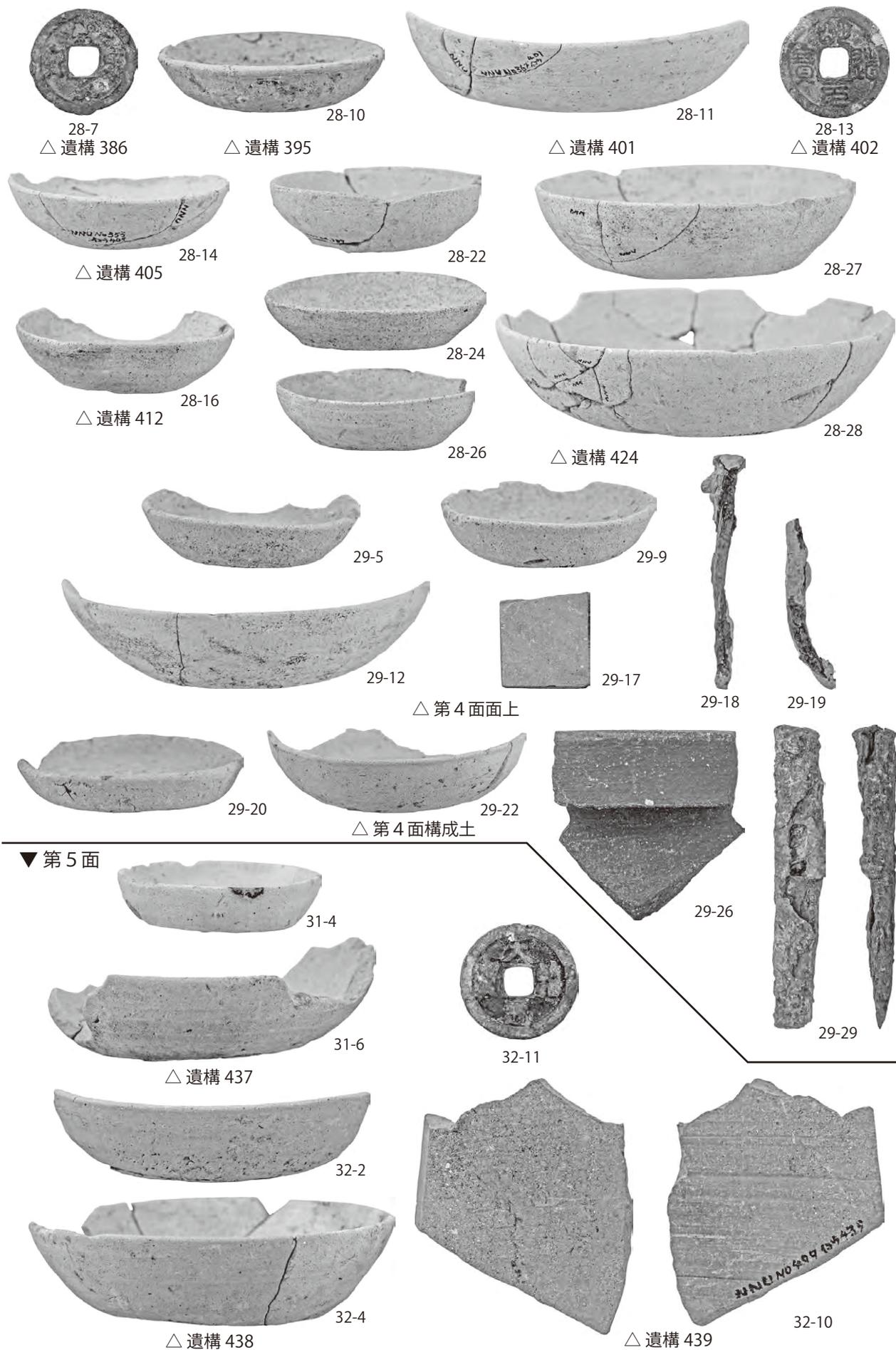


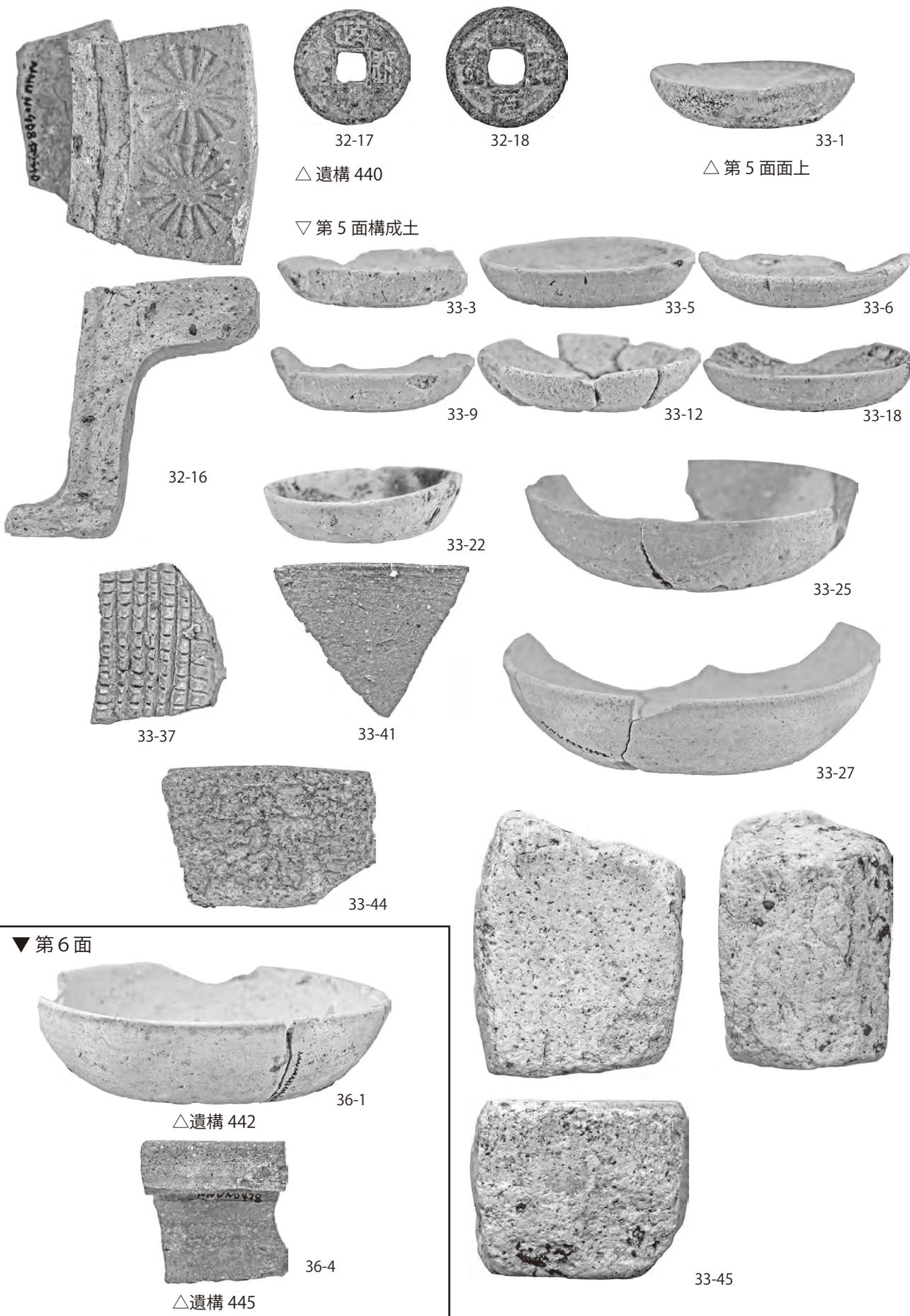
△ 遺構 363



◁ 遺構 384

図版20





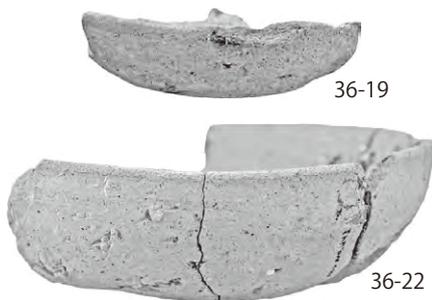


36-6

△遺構 446



36-9



36-19

36-22

△遺構 457



36-29



36-35



36-36



36-33



36-37

△遺構 459



36-38



36-39



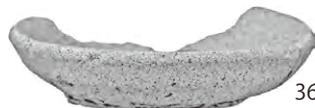
36-41



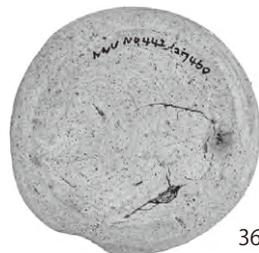
36-43



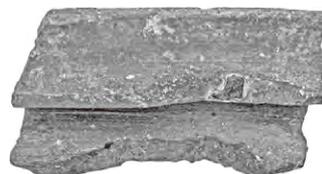
37-54



36-43

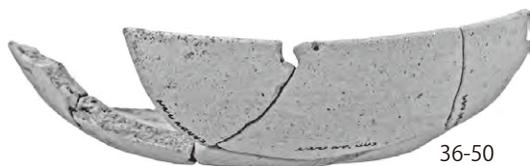


36-52



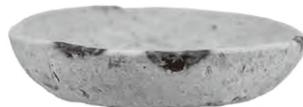
37-55

△遺構 465

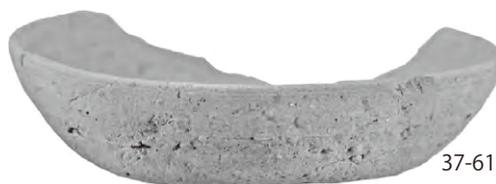


36-50

△遺構 460



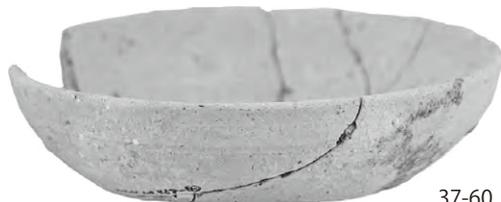
37-57



37-61



37-58

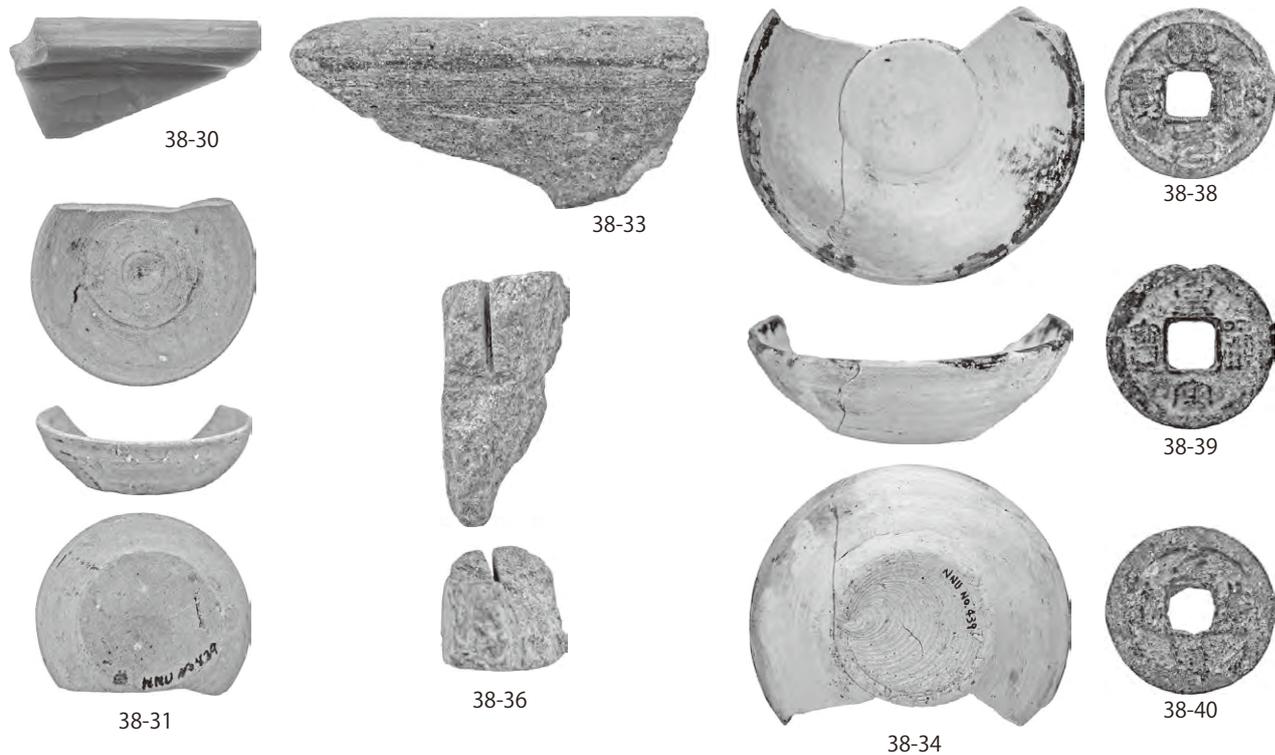
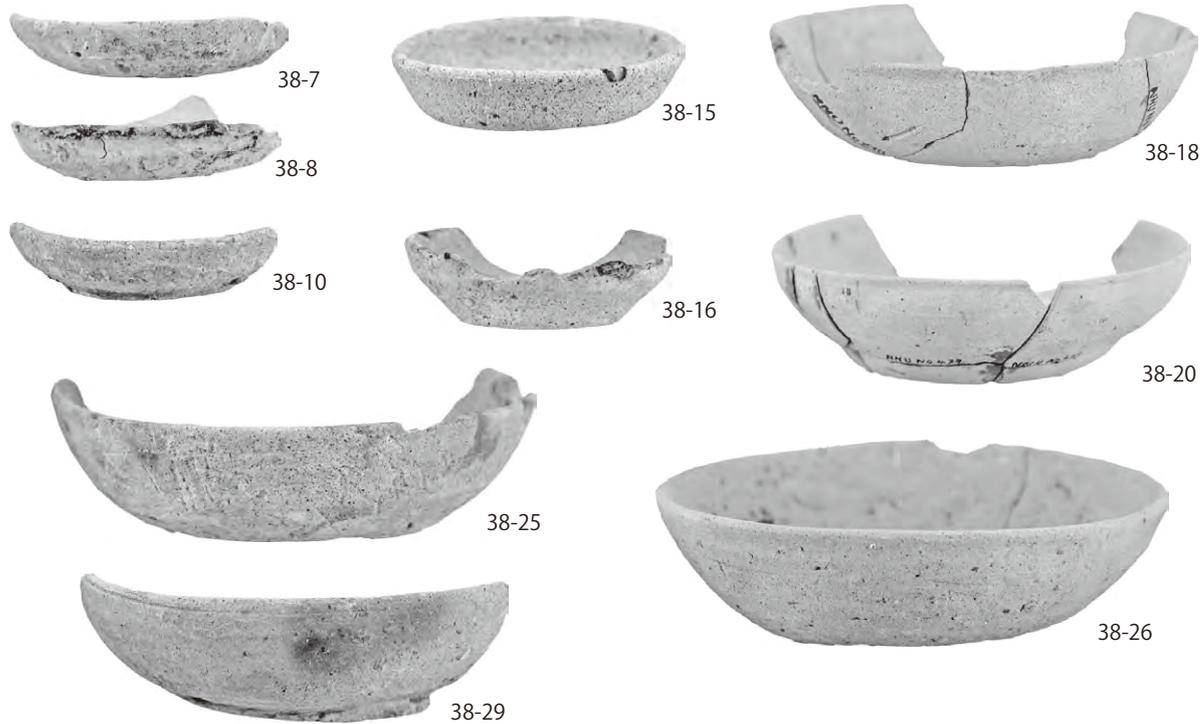


37-60

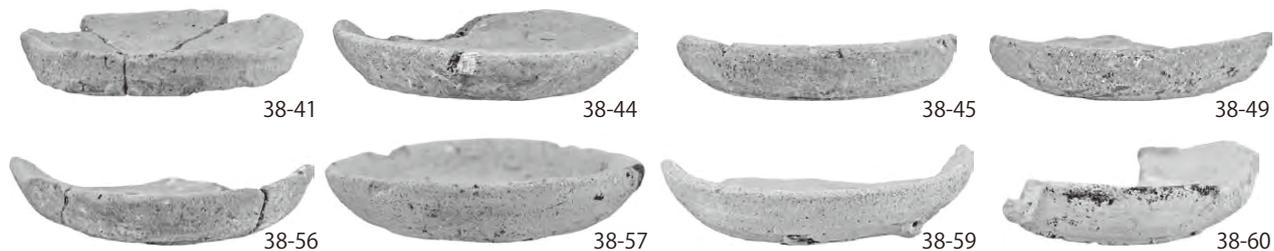
△遺構 481



37-62



△ 第6面面上



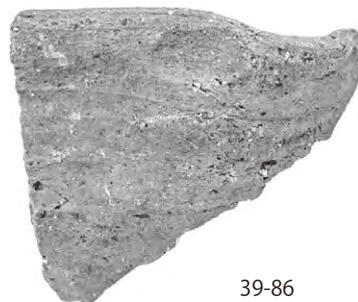
△ 第6面構成土



38-69



39-80



39-86



38-71



39-82



38-72



39-88



39-91



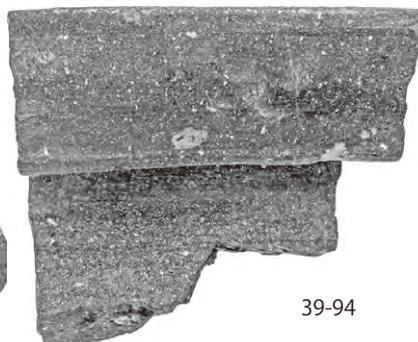
38-73



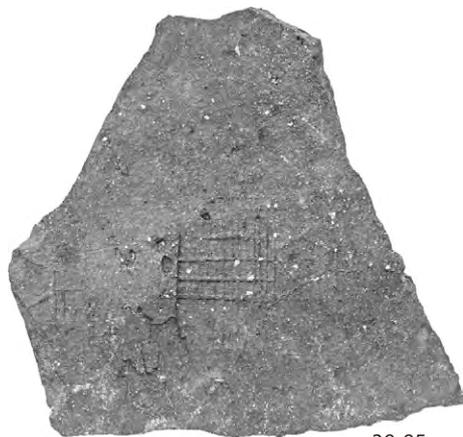
39-79



39-89



39-94



39-95



39-99



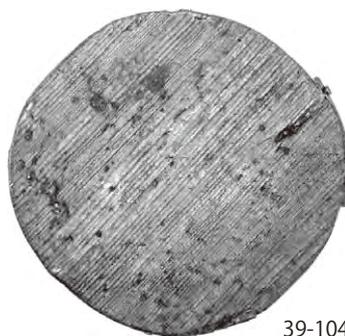
39-100



39-98



39-102



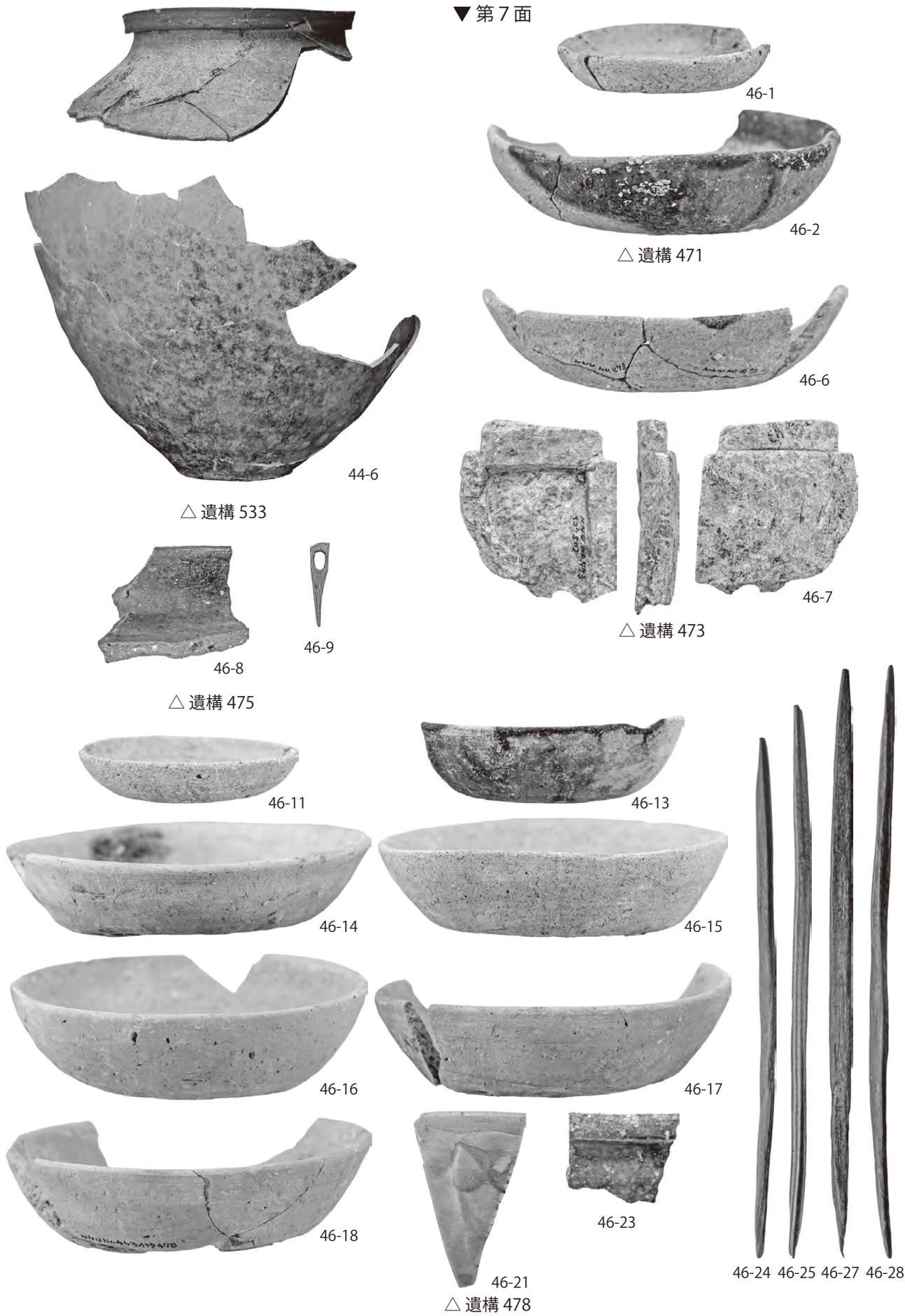
39-104

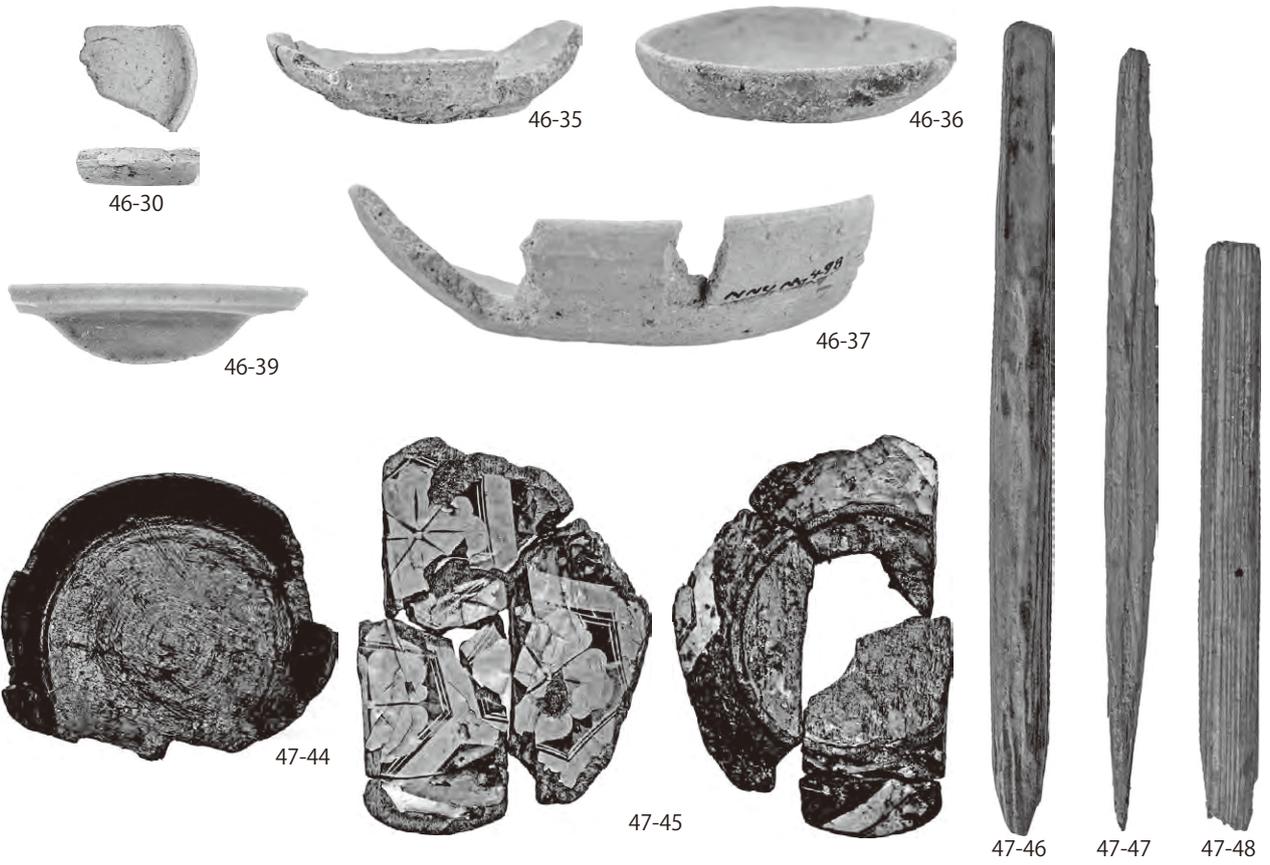


39-105

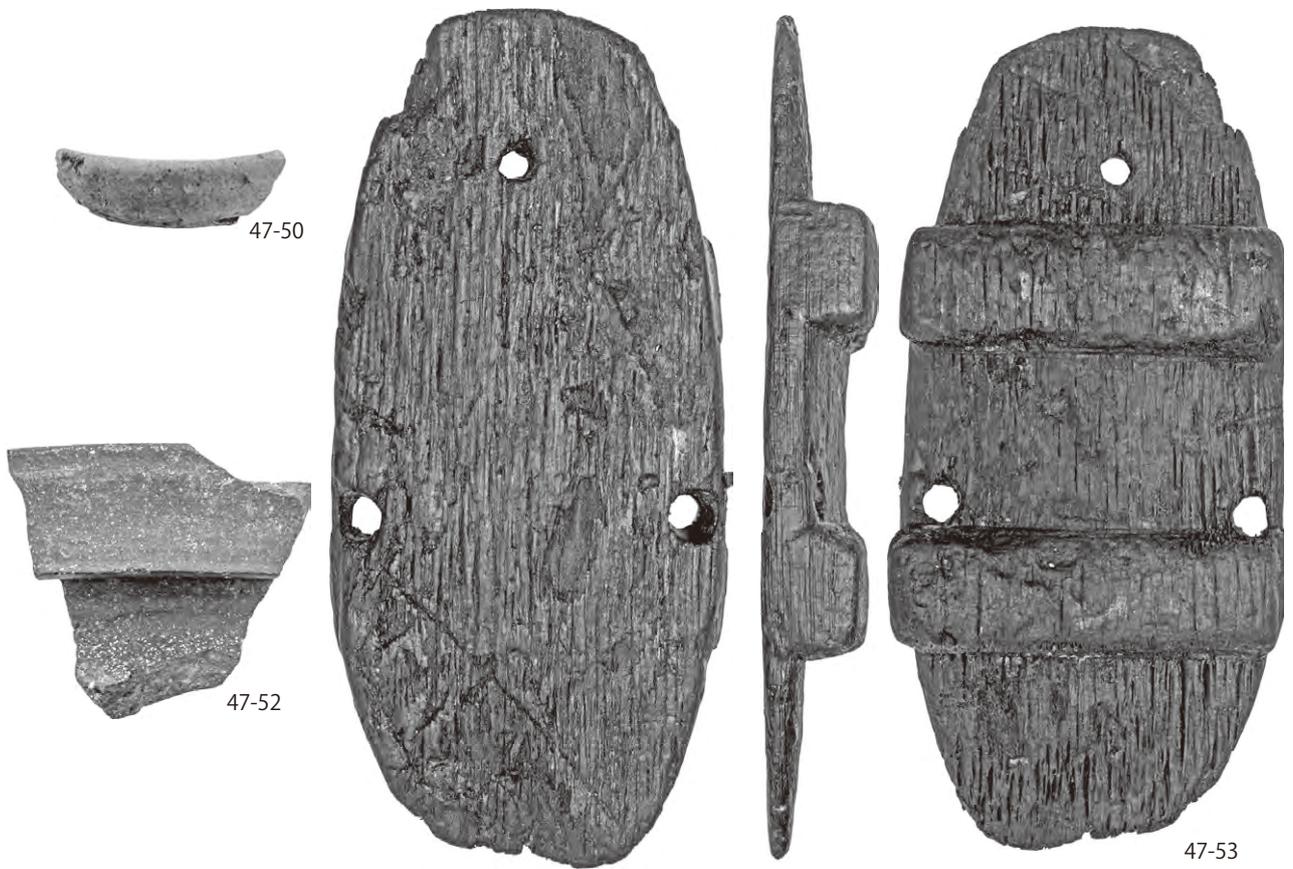
△ 第6面構成土

▼ 第 7 面

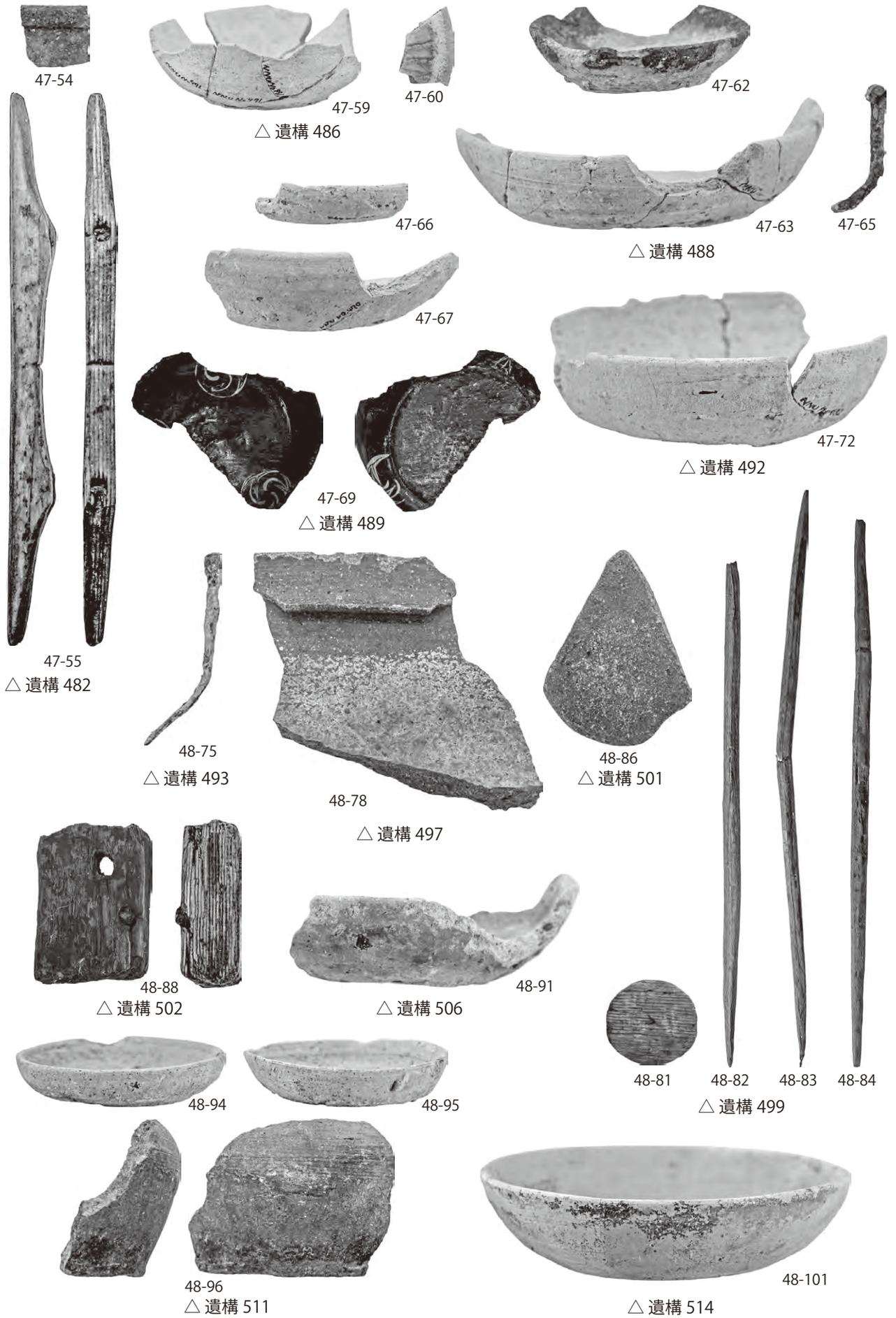




△ 遺構 480



△ 遺構 480-2





48-102



48-108



48-103

△遺構 515



48-109



48-110



48-111

△遺構 530



49-8



49-13



49-14



49-15



49-19



49-16



49-23



49-24



49-28



49-27



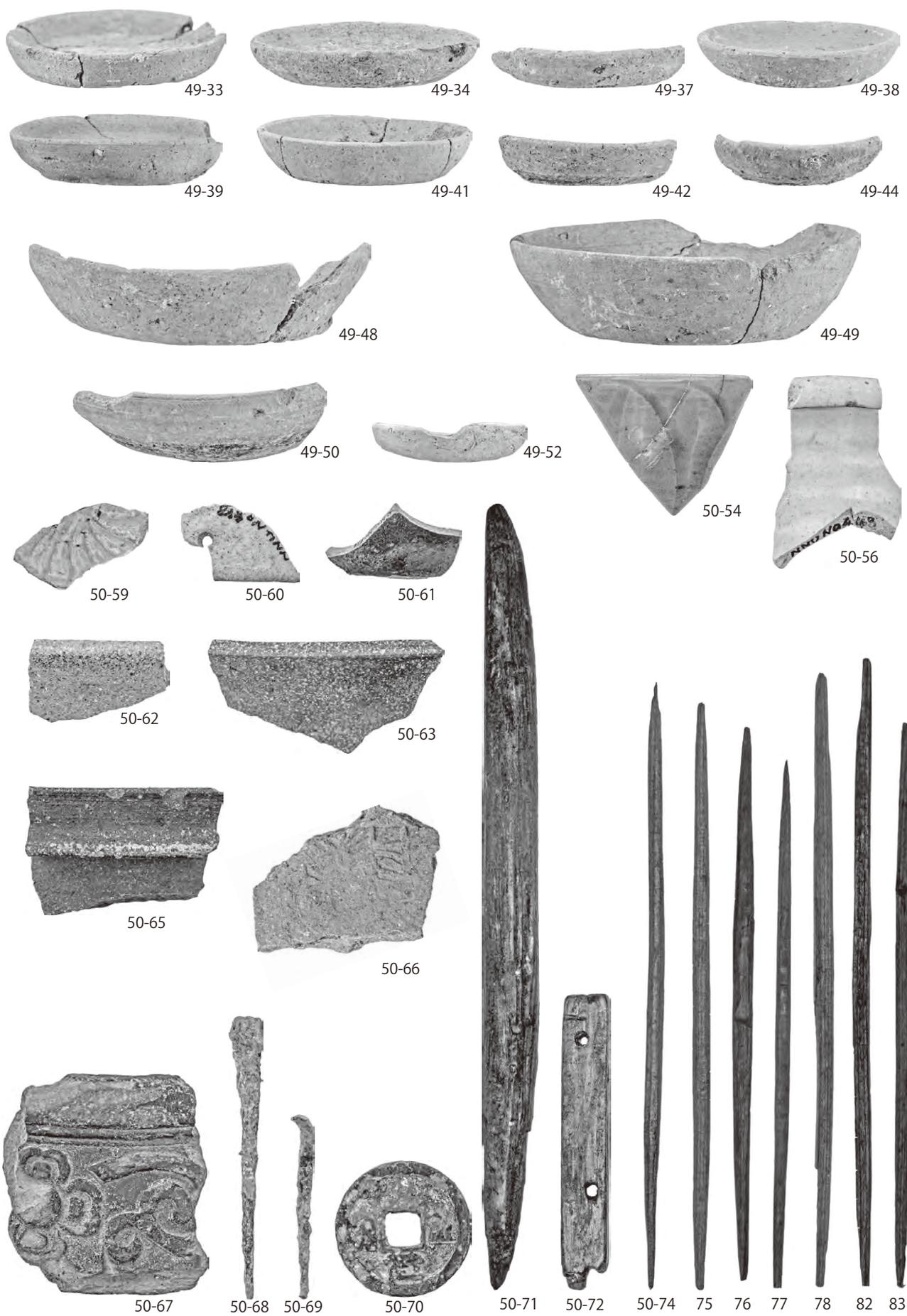
49-31



△第7面面上



49-32



△第7面構成土



図50-87 曲物出土状況
第7面 構成土出土

上から →



← 横から
(外面・黒色系漆髹漆)

▼第8面



53-3



53-4



53-6



53-13



53-7 8 9 10



53-11

△遺構 534



53-12



53-16

△遺構 535



53-24



53-25



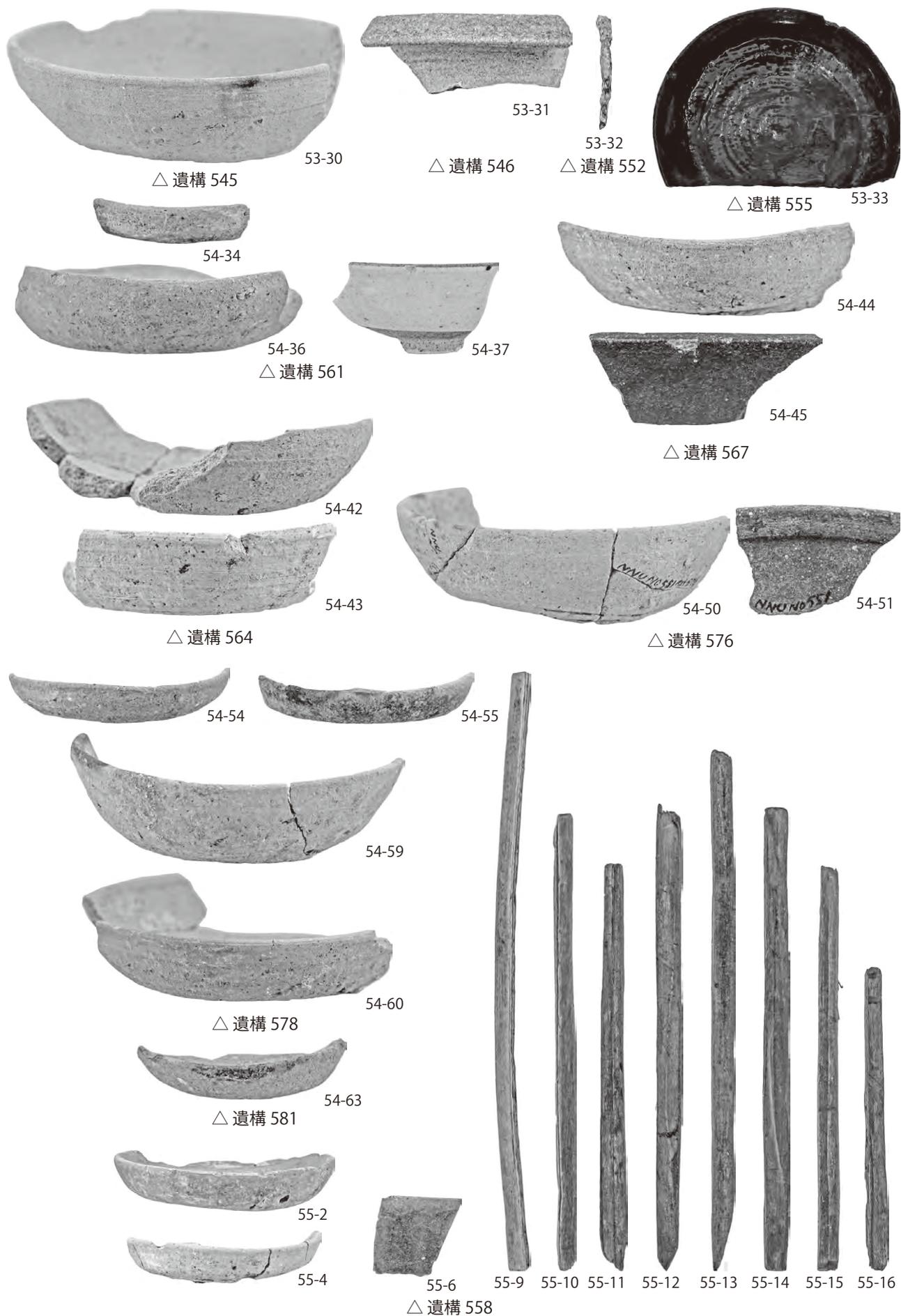
53-26

△遺構 541



△遺構 543

53-29



▼第8面



56-2



56-3



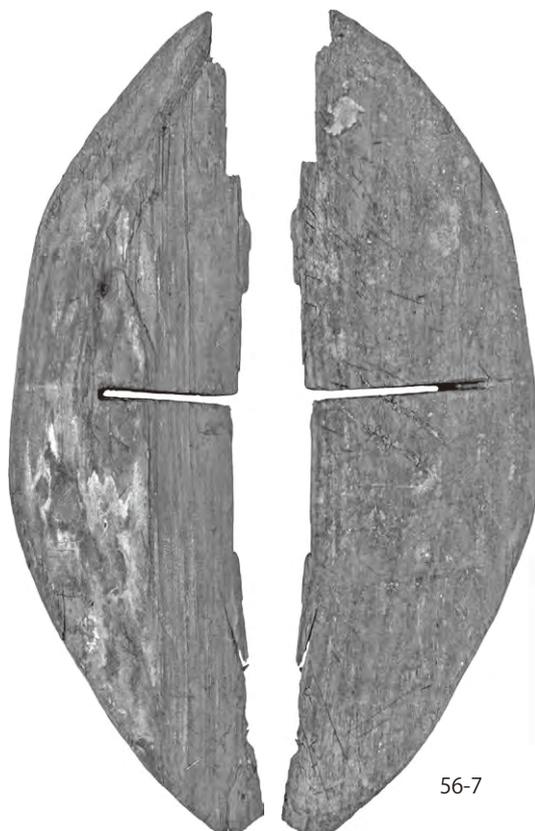
56-4



56-5



56-6



56-7



57-8



57-9



57-10



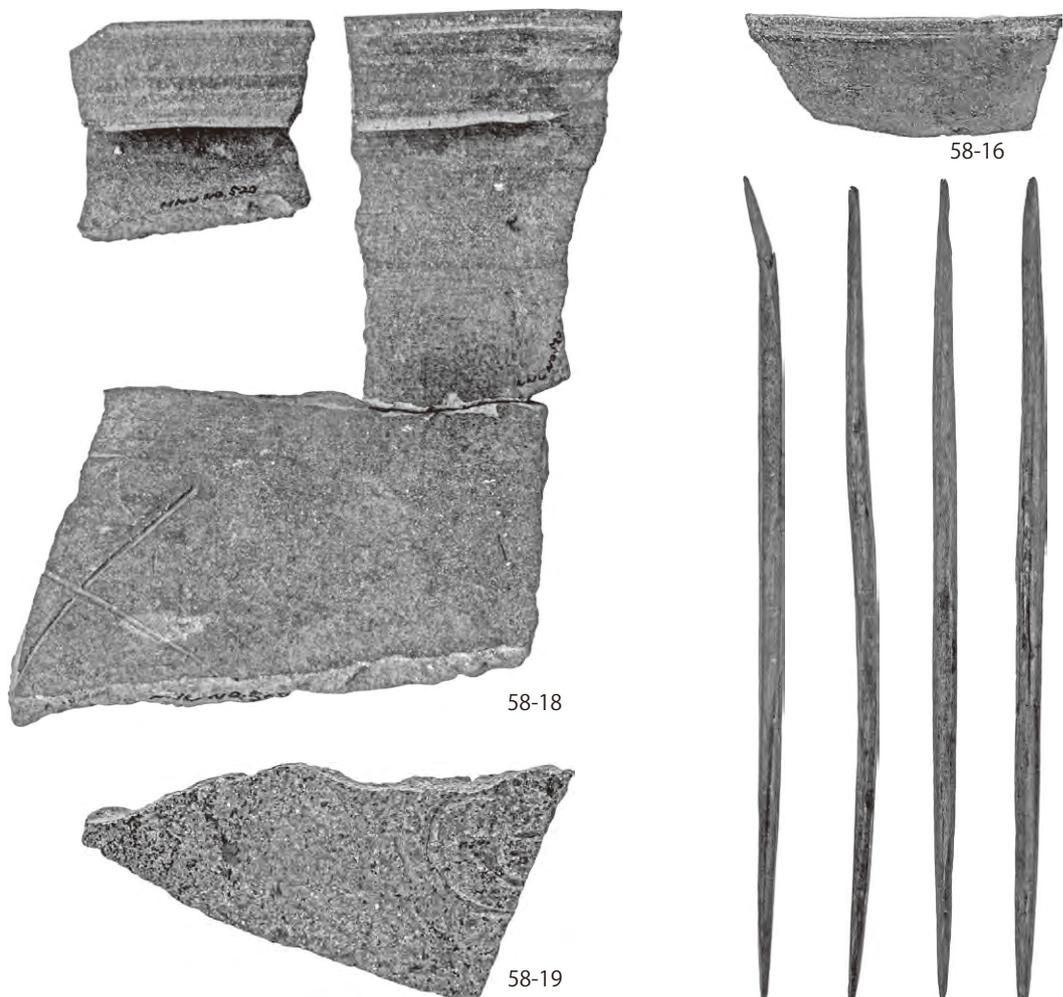
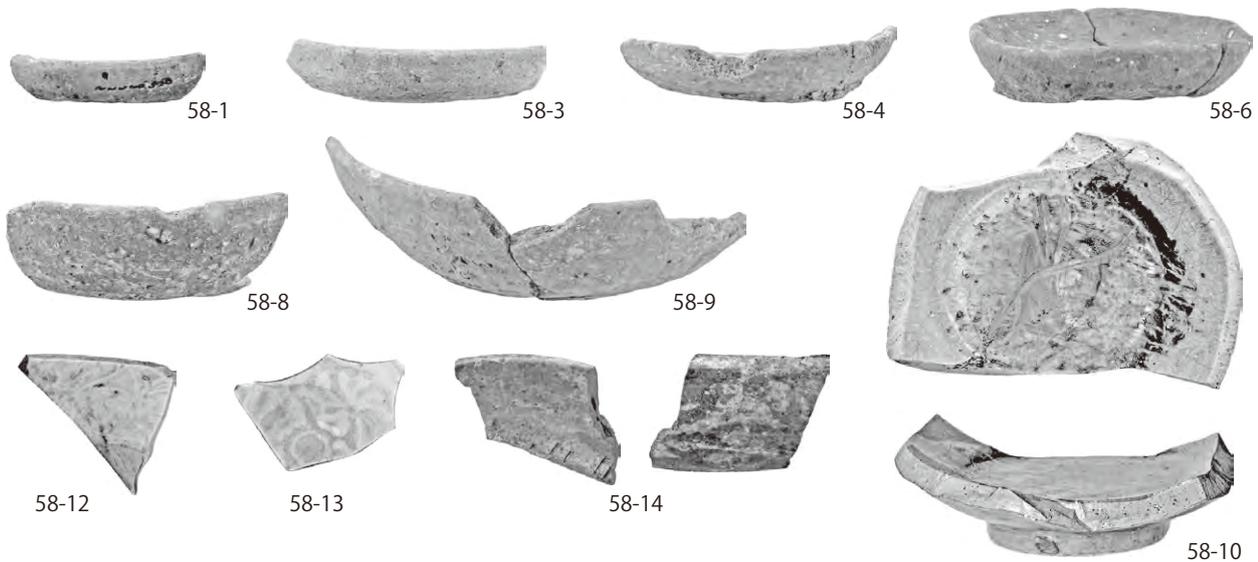
57-11



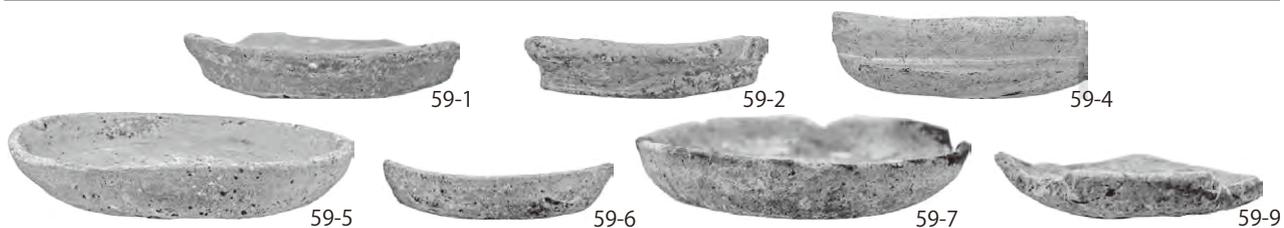
57-12

△遺構 591

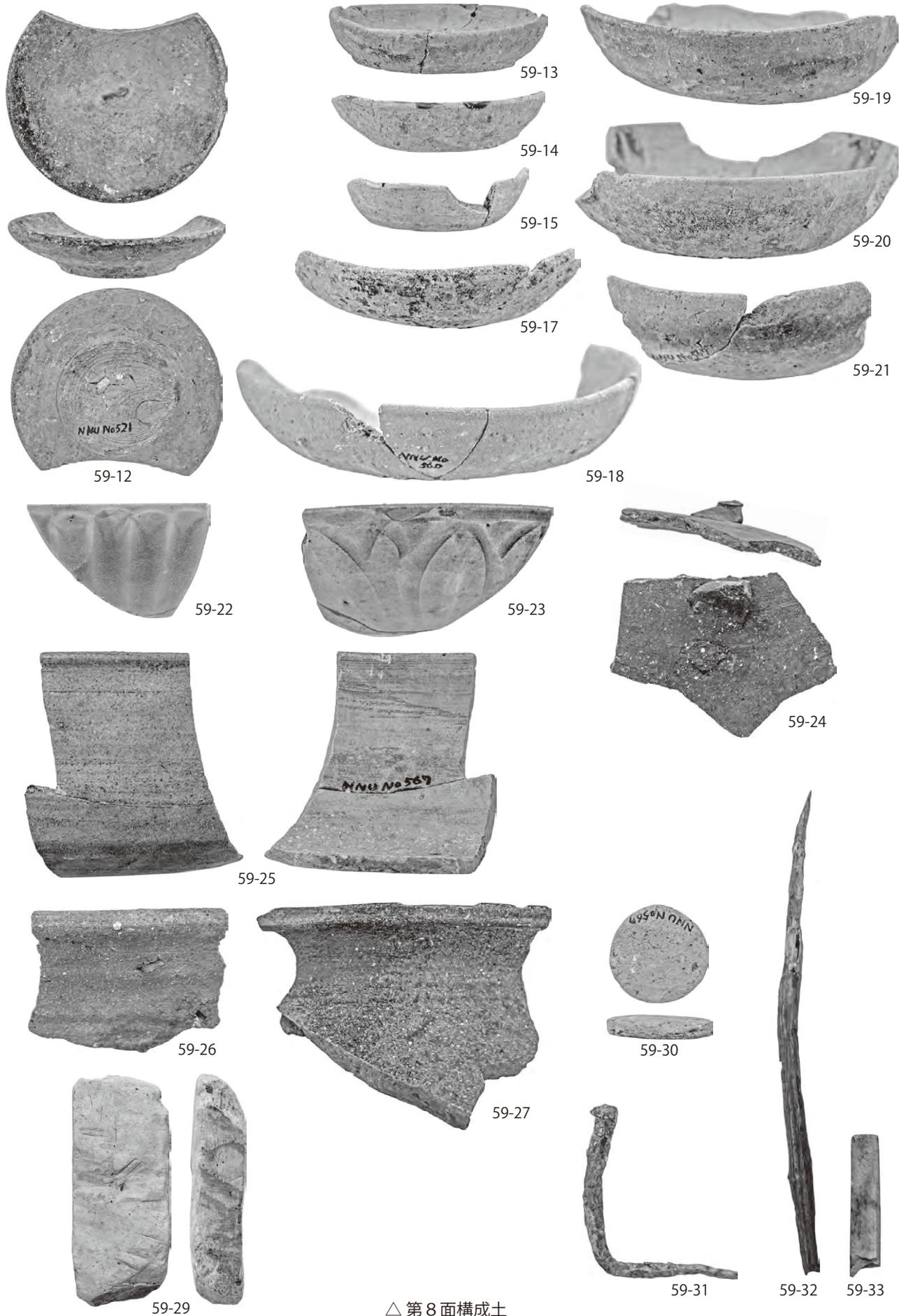
图版34



△ 第8面上



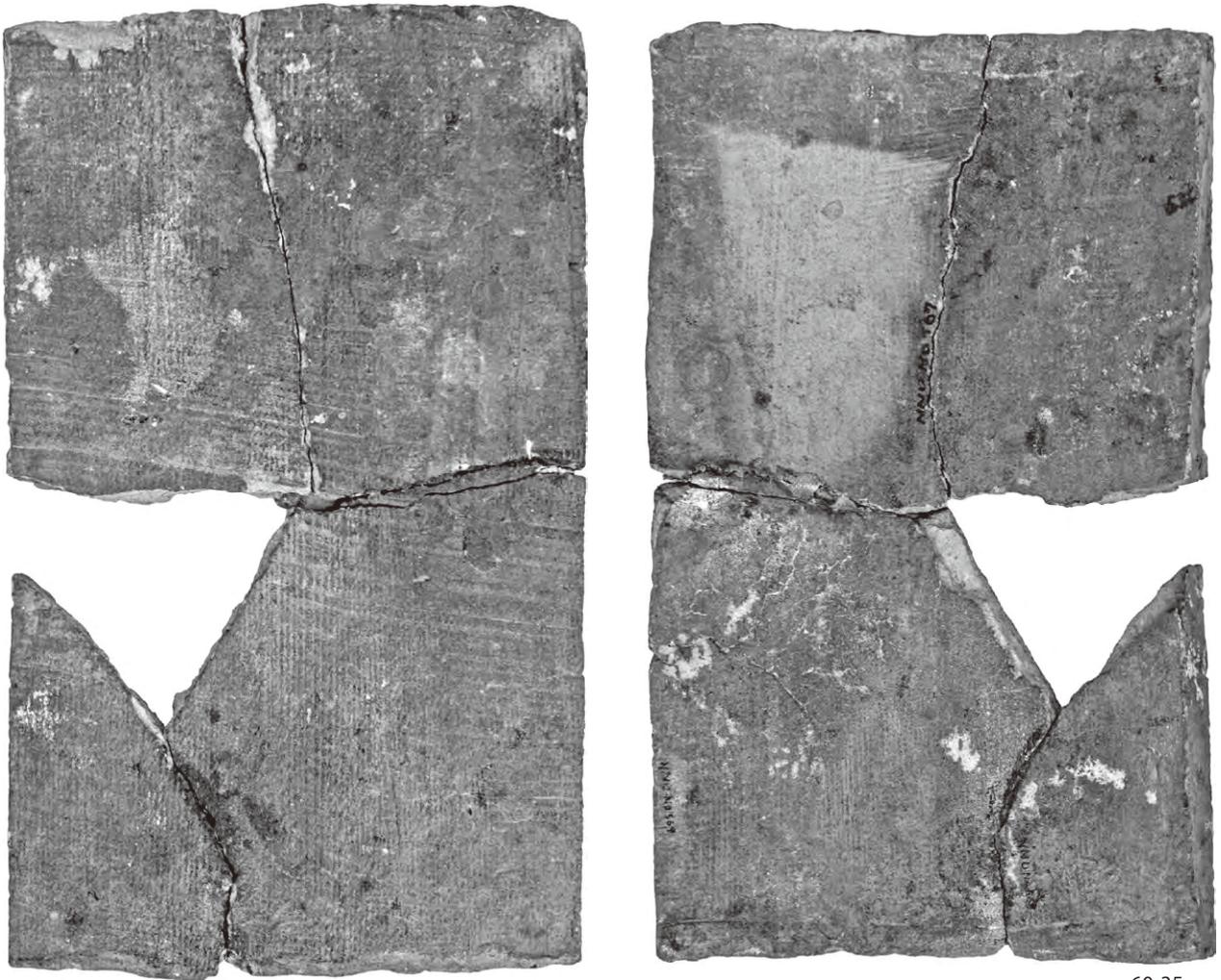
△ 第8面構成土



△ 第 8 面構成土



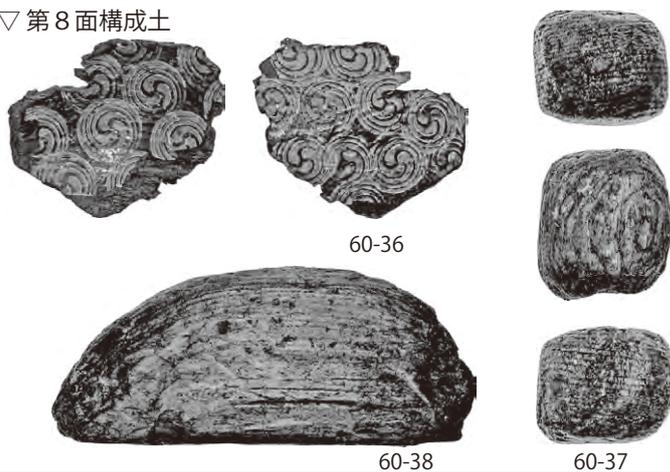
59-34



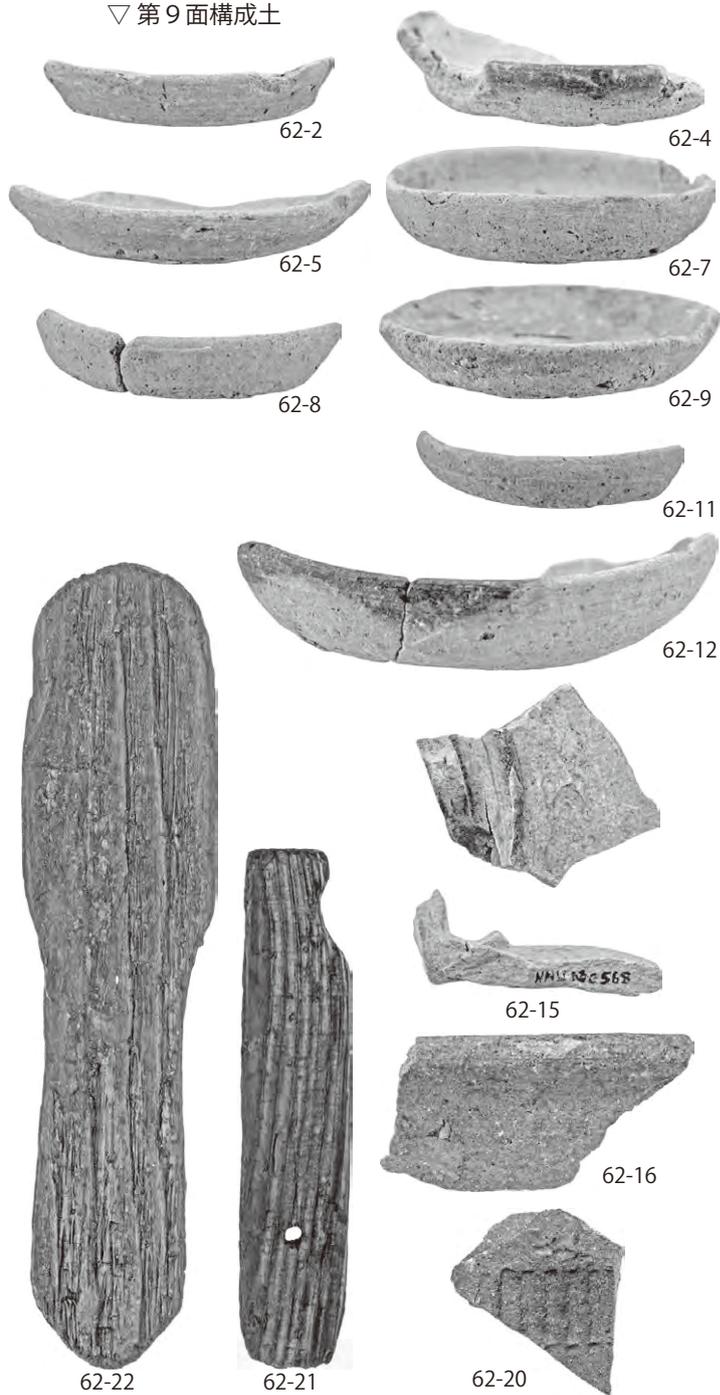
60-35

△ 第8面構成土

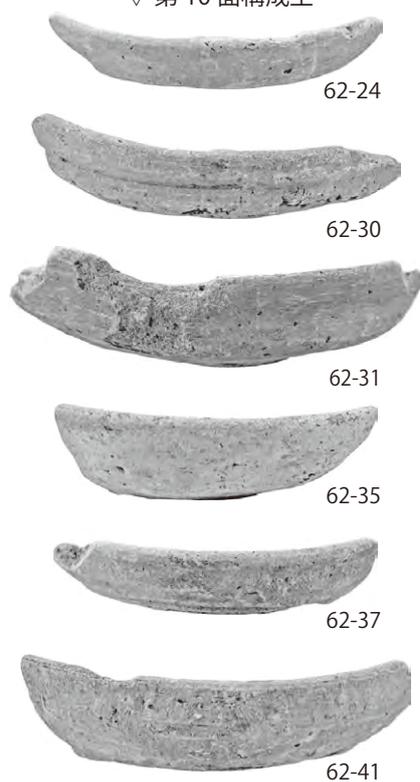
▽ 第8面構成土



▽ 第9面構成土



▽ 第10面構成土





△第10面構成土



△第11面構成土

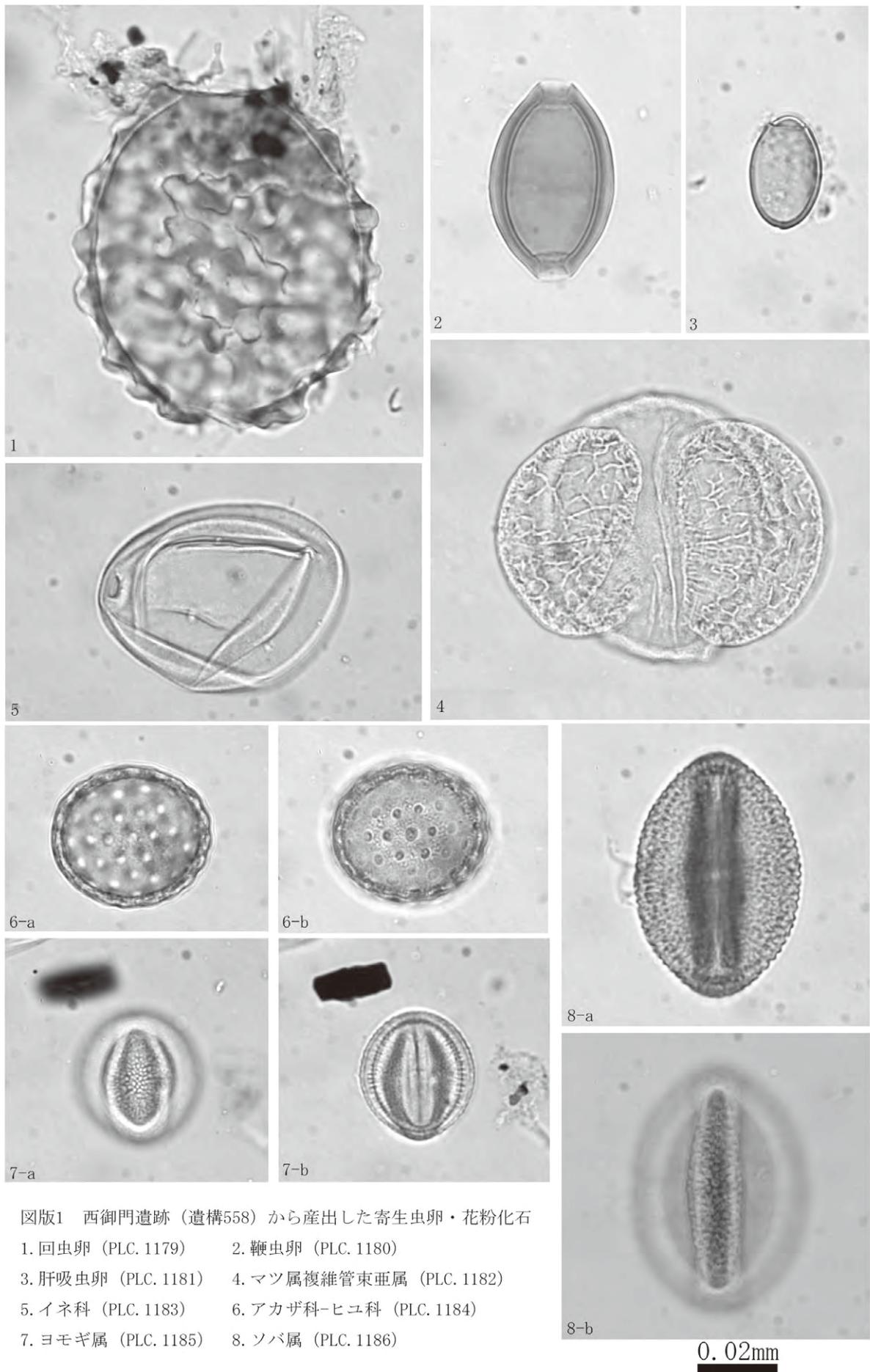


△第12面構成土

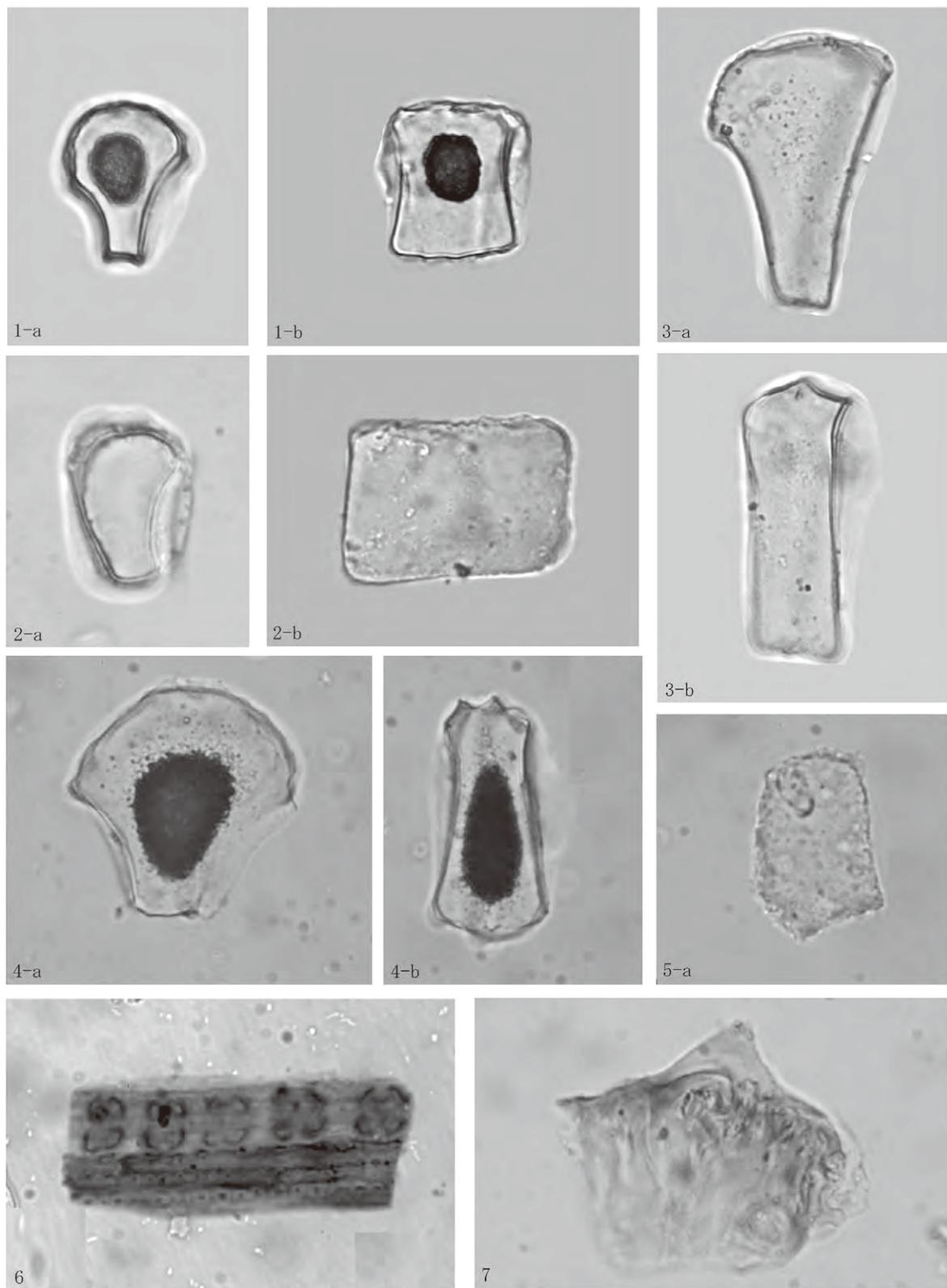


△表採





図版1 西御門遺跡（遺構558）から産出した寄生虫卵・花粉化石
 1. 回虫卵 (PLC. 1179) 2. 鞭虫卵 (PLC. 1180)
 3. 肝吸虫卵 (PLC. 1181) 4. マツ属複維管束亜属 (PLC. 1182)
 5. イネ科 (PLC. 1183) 6. アカザ科-ヒユ科 (PLC. 1184)
 7. ヨモギ属 (PLC. 1185) 8. ソバ属 (PLC. 1186)



0.02mm

図版2 西御門遺跡（遺構558）から産出した植物珪酸体

- | | | |
|----------------------|----------------|-----------------|
| 1. イネ機動細胞珪酸体 | 2. キビ族機動細胞珪酸体 | 3. ウシクサ族機動細胞珪酸体 |
| 4. ネザサ節型機動細胞珪酸体 | 5. ササ属型機動細胞珪酸体 | 6. イネ型短細胞珪酸体列片 |
| 7. イネ穎破片 a. 断面 b. 側面 | | |

西御門遺跡 (No.325)

西御門一丁目 681 番 1 地点

例 言

1. 本報は鎌倉市西御門一丁目681番1地点に所在する遺跡の発掘調査である。
2. 発掘調査は個人専用住宅にかかる建築範囲約153㎡を対象とし、平成18年10月23日から平成19年1月25日にかけて実施した。

3. 現地での調査体制は以下の通り。

担当者	福田誠
調査員	石元道子・小野夏菜・菊川泉・古田土俊一・鈴木絵美・梶岡溪音
作業員	浅香文保・赤坂進・天野隆男・石井清司・川島仁司・鯉沼稔

4. 本報作成は以下の分担で行った。

遺物実測	石元道子・岩崎卓治・岡田慶子・小野夏菜・菅野知子・梶岡溪音・松吉里永子
遺物図版作成	渡辺美佐子
遺構図版作成	渡辺美佐子・伊丹まどか・後藤健・古田土俊一
観察表	渡辺美佐子・平山千絵・森谷十美
遺構写真	古田土俊一
遺物写真	須佐仁和
写真図版作成	小野夏菜・梶岡溪音
執筆・編集	古田土俊一・松吉大樹・伊丹まどか

5. 出土品など発掘調査資料は、鎌倉市教育委員会が管理・保存している。

6. 本報図版の遺構・遺物の縮尺は次の通り。

遺構全測図：1／80 個別遺構図：1／40 実測遺物図：1／3 銭1／1
なお各挿図にはスケールを表示してある。

7. ・復原して実測した遺物に関しては、計測値に（ ）を付して表してある。

- ・出土した遺物は、破片と実測した遺物の総数を合わせてグラフ化した。
- ・木製品は、比較的遺存度の高いものだけを選んで実測した。
- ・ロクロ成形かわらけの底径は、回転糸切りの外径部分で。手づくね成形かわらけの底径は、器面が接地した箇所計測している。また、「かわらけ」と表記したものはロクロ成形のかわらけを示し、手づくね成形のかわらけは「手づくね」としている。
- ・出土した遺物に関しては観察表に詳細をまとめて報告している。
- ・それぞれの陶磁器に関しては、生産地での編年を参考に観察表にその期を示したが、破片の為不安の残るものに関しては割愛した。常滑は中野晴久氏、瀬戸製品に関しては藤澤良祐氏の編年に基づいて分類した。
- ・遺物写真は縮尺比率を考慮せずに掲載しているため、法量は観察表を参照していただきたい。
- ・全測図に示した記号の内、< P >はピットの略。

8. 発掘調査及び、報告書作成に関しては次の方々よりご教授、ご協力を賜りました。記して深く感謝いたします。(敬称略・五十音順)

薄井和男・太田美智子・大三輪龍哉・小川裕久・熊谷満・齋木秀雄・汐見一夫・須佐直子・鈴木弘太・中三川昇・野本賢二・浜野浩美・原廣志・松尾宣方・馬淵和雄・山口正紀

※報告書刊行にいたる間、原廣志氏には多大なるご支援・ご教示をいただきました。この場を借りて、あらためてお礼申しあげます。

目 次

本 文 目 次

第一章	遺跡の位置と歴史的環境	179
	1. 歴史的環境 (図1)	
	2. 調査の経過と測量軸の設定 (図2)	
	3. 堆積土層 (図3)	
第二章	検出遺構と出土遺物	185
第三章	まとめ	250
	遺物観察表	
	遺物出土数量比率表	
	遺構計測表	

挿 図 目 次

図1 調査地と周辺の遺跡図.....177	図26 第3面・かわらけ集中出土遺構・出土遺物...210
図2 グリッド配置図.....181	図27 第3面・個別遺構図・出土遺物(1).....211
図3 堆積土層図.....183	図28 第3面・個別遺構出土遺物(2).....212
図4 第1面全測図.....184	図29 第3面・面上出土遺物(1).....214
図5 第1面・池状遺構.....186	図30 第3面面上出土(2)・炭化物層・ 第3面構成土(1)・出土遺物.....215
図6 第1面・池状遺構出土遺物(1).....187	図31 第3面構成土出土遺物(2).....216
図7 第1面・池状遺構出土遺物(2).....188	図32 第3面構成土出土遺物(3).....217
図8 第1面・池状遺構出土遺物(3).....189	図33 第4面全測図.....218
図9 第1面・池状遺構出土遺物(4).....190	図34 第4面個別遺構図.....220
図10 第1面・池状遺構出土遺物(5).....191	図35 第4面個別遺構出土遺物.....222
図11 第1面・溝1・ピット20・溝1出土遺物(1)....192	図36 第4面面上出土遺物(1).....224
図12 第1面・溝1出土遺物(2).....193	図37 第4面面上出土遺物(2).....225
図13 第1面・土坑6・出土遺物.....194	図38 第4面構成土出土遺物(1).....226
図14 土坑40・出土遺物.....196	図39 第4面構成土出土遺物(2).....227
図15 第1面個別遺構図.....197	図40 第4面構成土出土遺物(3).....228
図16 第1面・遺構出土遺物.....198	図41 第4面構成土出土遺物(4).....229
図17 第1面・面上出土遺物.....199	図42 第4面構成土出土遺物(5).....230
図18 第1面構成土出土遺物(1).....201	図43 第4面構成土出土遺物(6).....231
図19 第1面構成土出土遺物(2).....202	図44 第4面構成土出土遺物(7).....232
図20 第2面全測図.....203	図45 第5面全測図.....234
図21 第2面・土坑17・出土遺物.....205	図46 第5面井戸1・P241・出土遺物.....235
図22 第2面・個別遺構図・出土遺物.....206	図47 第5面・溝3・出土遺物(1).....236
図23 第2面面上・構成土出土遺物(1).....207	図48 第5面溝3・出土遺物(2).....237
図24 第2面構成土出土遺物(2).....208	図49 第5面 柱穴列1・2・3・出土遺物...238
図25 第3面全測図.....209	

図50	第5面個別遺構・出土遺物	240
図51	第5面面上・構成土出土遺物(1)	241
図52	第5面構成土出土遺物(2)	242
図53	第6面全測図	243
図54	第6面 個別遺構・構成土(1)出土遺物	245

図55	第6面 構成土出土遺物(2)	246
図56	第7面全測図	247
図57	第7面個別遺構・面上出土遺物	248
図58	表土採集遺物	249

図版 目次

図版1	第1面全景・第1面遺構・ 第2面全景・第2面遺構	291
図版2	第2面遺構・第3面全景・ 第3面遺構・調査地周辺遠景	292
図版3	第4面全景・第4面遺構・5面全景	293
図版4	第5面遺構・第6面遺構・第7面遺構	294
図版5	第6面全景・第7面全景	295
図版6	第1面池状遺構出土遺物	296
図版7	第1面池状遺構出土遺物	297
図版8	第1面池状遺構出土遺物	298
図版9	第1面溝1出土遺物	299
図版10	第1面土坑6・土坑12・土坑15・ 土坑40・溝状土坑2出土遺物	300
図版11	第1面ピット8・ピット47・ ピット49・ピット56・面上出土遺物	301
図版12	第1面面上・構成土出土遺物	302
図版13	第1面構成土出土遺物	303
図版14	第1面構成土出土遺物	304
図版15	第1面構成土・第2面土坑17出土遺物	305
図版16	第2面ピット151・面上・ 構成土出土遺物	306
図版17	第2面構成土出土遺物・第3面 かわらけ集中出土遺構出土遺物	307
図版18	第3面かわらけ集中出土遺構・ 土坑26・土坑29・土坑30・ 土坑31・土坑32・土坑33出土遺物	308
図版19	土坑33・ピット185・ピット190・ ピット198・面上出土遺物	309

図版20	第3面面上出土遺物	310
図版21	第3面炭化物範囲・構成土出土遺物	311
図版22	第3面構成土出土遺物	312
図版23	第3面構成土・第4面土坑34・ 土坑36・土坑39・ピット201・ ピット206出土遺物	313
図版24	第4面ピット208・ピット209・ ピット213・ピット219・ ピット225・ピット226・ ピット227・ピット228・ ピット232・面上出土遺物	314
図版25	第4面面上出土遺物	315
図版26	第4面面上・構成土出土遺物	316
図版27	第4面構成土出土遺物	317
図版28	第4面構成土出土遺物	318
図版29	第4面構成土出土遺物	319
図版30	第4面構成土出土遺物	320
図版31	第4面構成土・第5面井戸1出土遺物	321
図版32	第5面井戸1・ピット241・ 溝3出土遺物	322
図版33	第5面溝3出土遺物	323
図版34	第5面溝3出土遺物	324
図版35	第5面ピット264・ピット281・ 面上・構成土・第6面構成土出土遺物	325
図版36	第6面構成土・第7面溝4・ ピット303・面上出土遺物	326
図版37	第7面面上出土遺物・表土採集遺物	327

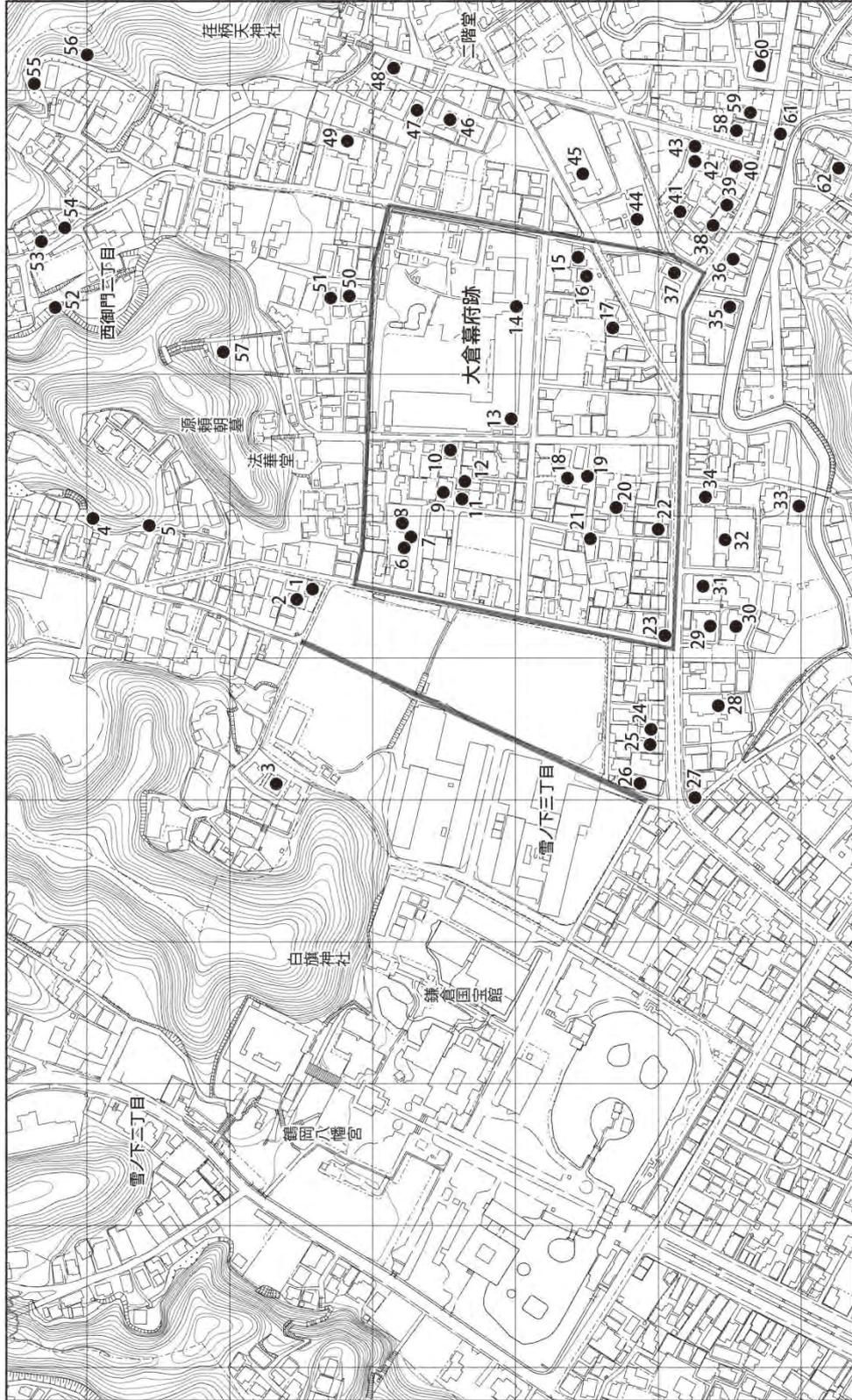


図1 調査地と周辺の遺跡図

<調査地点一覧>

- 西御門遺跡 1.西御門一丁目11番14 2.西御門一丁目681番1(本調査地点)
- 保寿院跡 3.西御門一丁目922番4(宮田・滝澤2007『市緊急報告書』23)
- 西御門東やぐら群4.西御門一丁目22番1、23番(鈴木2005『西御門東やぐら群』) 5.西御門一丁目22番1、23番(鈴木2005『西御門東やぐら群』)
- 大倉幕府跡 6.雪ノ下三丁目693番8(押木2014『市緊急報告書』31) 7.雪ノ下三丁目693番1(宮田・滝沢2013『大倉幕府跡(No.253)発掘調査報告書』) 8.雪ノ下三丁目694番18(宮田・安藤2013『大倉幕府跡(No.253)発掘調査報告書』) 9.雪ノ下三丁目694番18地点 10.雪ノ下三丁目704番3外(福田2011『市緊急報告書』27) 11.雪ノ下三丁目701番14(宮田・滝沢2005『市緊急報告書』21) 12.雪ノ下三丁目701番1(馬淵2005『市緊急報告書』21) 13.雪ノ下三丁目707番1(宮田1992『神奈川県埋蔵文化財調査報告』34) 14.雪ノ下三丁目 清泉小学校内(『鎌倉市埋蔵文化財調査年報』I) 15.雪ノ下三丁目637番4(熊谷2011『市緊急報告書』27) 16.雪ノ下三丁目637番6外(未報告) 17.雪ノ下三丁目635番2外(斉木2012『大倉幕府跡発掘調査報告書-鎌倉市雪ノ下三丁目635番2外地点-』) 18.雪ノ下三丁目648番3(未報告) 19.雪ノ下三丁目648番8(未報告) 20.雪ノ下三丁目629番1(宮田他2011『大倉幕府跡発掘調査報告書』) 21.雪ノ下三丁目651番8(汐見1999『市緊急報告書』15) 22.雪ノ下三丁目618番8、653番10(未報告) 23.雪ノ下三丁目618番4(汐見2002『市緊急報告書』18)
- 大倉幕府周辺遺跡群 24.雪ノ下三丁目607番1(斉木・降矢2004『市緊急報告書』20) 25.雪ノ下三丁目607番(菊川1994『市緊急報告書』10) 26.雪ノ下三丁目606番1(菊川1993『市緊急報告書』9) 27.雪ノ下四丁目600番(未報告) 28.雪ノ下四丁目610番2(市教委立会調査) 29.雪ノ下四丁目620番1(1981『掘り出された鎌倉』) 30.雪ノ下四丁目620番2(1989『武士の都 鎌倉 よみがえる中世3』) 31.雪ノ下四丁目620番5(馬淵1998『市緊急報告書』14) 32.雪ノ下四丁目581番5(斉木2007『大倉幕府周辺遺跡発掘調査報告書-雪ノ下4-581-5地点-』) 33.雪ノ下四丁目580番10(原2001『市緊急報告書』17) 34.雪ノ下四丁目581番2(未報告) 35.雪ノ下四丁目570番1(馬淵2013『市緊急報告書』30) 36.雪ノ下四丁目567番7(馬淵2004『市緊急報告書』20) 37.雪ノ下四丁目569番1(馬淵1990『大倉幕府周辺遺跡群 雪ノ下字大倉耕地569番1地点発掘調査』) 38.雪ノ下字大倉耕地562番16(福田2001『市緊急報告書』17) 39.雪ノ下字天神前562番29(福田1996『市緊急報告書』12) 40.雪ノ下字大倉耕地565-4(菊川1991『市緊急報告書』7) 41.雪ノ下字天神前562番30(『第18回鎌倉市遺跡調査研究発表会』) 42.二階堂字荏柄3番6外(未報告) 43.二階堂字荏柄3番6外(未報告) 44.二階堂字荏柄38-1(馬淵1993『市緊急報告書』9) 45.二階堂字荏柄38番2(未報告) 46.二階堂字荏柄27-3の一部(原2006『市緊急報告書』22) 47.二階堂字荏柄76番4(宮田2007 神奈川県埋蔵文化財調査報告51) 48.二階堂荏柄76番8地点(伊丹2013『市緊急報告書』30) 49.二階堂字荏柄58-4外(原2002『市緊急報告書』18)
- 大倉幕府北遺跡 50.西御門二丁目756番10(宮田・滝沢2009『市緊急報告書』25) 51.西御門二丁目756番6(宮田・滝沢2009『市緊急報告書』25) 52.西御門二丁目816番1(宮田2000『大倉幕府北遺跡発掘調査報告書』) 53.西御門二丁目796番1外(宮田2002『大倉幕府北遺跡発掘調査報告書』) 54.西御門二丁目796番1外(宮田2002『大倉幕府北遺跡発掘調査報告書』)
- 大倉幕府北やぐら群55.西御門二丁目792番2(鈴木2004『大倉幕府北やぐら群』) 56.西御門二丁目792番2(鈴木2004『大倉幕府北やぐら群』)
- 北条義時法華堂跡 57.二階堂字西御門686番(福田2005『北条義時法華堂跡確認調査報告書』)
- 横小路周辺遺跡58.二階堂字荏柄10-1(原2003『市緊急報告書』19) 59.二階堂字荏柄10-6(福田2000『市緊急報告書』16) 60.二階堂字荏柄9-1(菊川1990『市緊急報告書』6) 61.雪ノ下五丁目557番1(手塚1998『市緊急報告書』14)
- 田楽辻子周辺遺跡 62.浄明寺一丁目556番6外(押木2012『市緊急報告書』28)

第一章 遺跡の位置と歴史的環境

1. 歴史的環境 (図1)

本調査地点は、源頼朝が大倉の地に造営した御所の西門に当たることから「西御門」という地名で呼ばれる地域である。JR鎌倉駅より北北東に1kmに所在する横浜国立大学付属小・中学校の北隣に位置しており、鶴岡八幡宮を先端に持つ大臣山の丘陵と源頼朝の法華堂を先端に持つ丘陵とに挟まれた谷戸の開口部に当たる。大小7つほどの支谷によって形成されるこの谷戸には時宗寺院である来迎寺などが建つほか、最奥の丘陵斜面に朱垂木やぐらが現存するなど、現在でも多くの歴史を残す地域である。

頼朝の設置した大倉幕府は、「西御門」のほか「東御門」「南御門」の地名からおおよその範囲が推定されており、頼朝の墓が建つ丘陵下の東西道、筋替橋から六浦へ向かう道(現県道金沢鎌倉線)をそれぞれ南北の範囲とし、二階堂大路への分岐点から東御門川に沿い、筋替橋から小町大路の延長線上に北上する西御門川沿いが東西の範囲であったと考えられている。幕府西限となる道は明治期の神奈川師範学校(現横浜国立大学付属小学校)設立に伴って失われてしまったが、本調査地点はこの道と大倉幕府北限の道が交錯する幕府推定地北西角となる地点でもある。

本調査地は大倉幕府跡の西方、西御門地域にあたる。当地名の由来は、大倉幕府の西門に因むと伝えるが(『新編相模国風土記稿』)、大倉幕府に隣接する地域であったため、御家人の屋敷地に関する記載が多い。その初見は『吾妻鏡』文治二年(1186)正月五日条である。壇ノ浦合戦後、源義経に予同していた平時実は生捕りにされ、「美濃藤次安平西御門家」に預けられていた。美濃藤次安平については未詳であるが、同年五月廿九日条・同六月二日条に「美濃国石田郷」・「美濃国大野郡石太郷」を濫妨している記事があることから、美濃国の御家人であったかもしれない。また幕府の重臣三浦氏の屋敷も当地に存在していた。『吾妻鏡』貞応三年(1224)九月五日条には「三浦駿河前司義村西御門家焼亡」とあり、伝領された三浦氏屋敷地は、宝治合戦に際しても放火され焼け落ちている(註1)。当地には天野景村の宿所もあった(註2)。天野景村は、金沢流北条氏の北条実時の小舅であるが、頼朝法華堂前には北条実時邸が存在していた記述も見られることから(註3)、大倉幕府を中心とする御家人同士の地縁的関係も窺えよう(永井2006)。そしてまた、北条実時夫人である金沢殿が、延慶三年六月四日に醍醐寺親玄との間で「名越新善光寺下毘沙門堂入地」と「西御門小笠原谷御地陸戸主」を相博・交換していることから、金沢北条氏の西御門に対する意識が強かったことも想定される(註4)。また、金沢実時の孫にあたる頼朝法華堂別当顕弁は、西御門に御坊を有していた(註5)。そして金沢氏の人々がやりとりしている書状には「西御門殿」に宛てたものがあるが、出自などについては未詳(註6)。西御門には金沢北条氏の縁者が多く住んでいた可能性が指摘できよう。金沢北条氏の他には、工藤氏と二階堂氏が西御門に住していた(註7)。両氏は出自が一緒であり、当地における血縁的集住関係も垣間見ることができよう。西御門は大倉幕府近辺という地勢もあって、幕府関連の記述も見られる。和田合戦後の実検は当地で行われている(註8)。西御門には西大路と称する道が通っていたらしく、それは藤原頼経亭の西側を走っていた(註9)。

西御門には多数の寺社も存在していた。現存する来迎寺には、明治の神仏分離の際に頼朝法華堂から移された木造如意輪観音坐像・木造地藏菩薩坐像・木造跋陀婆羅尊者像が安置されている。また、巖上地藏はもと報恩寺の本尊で、南北朝期の宅間浄宏作と伝える。報恩寺は、義堂周信を開山、上杉能憲を開基とする臨濟宗寺院で、報恩護国禅寺とも称したが現在は廃寺となっている。創建は応安四年(1371)十月十五日、仏殿の立柱は永和二年(1376)十月十三日とする(『空華日用工夫略集』)。康暦元年(1379)

三月には、上杉能憲の弟にして関東管領であった上杉憲春が、室町将軍足利義満に反しようとした鎌倉公方足利氏満を諫めるため、当寺で自害している(『群書類従』第二十輯)。室町期に入ると西御門は紛争が発端する地として史料上に出ていることが多い。応永廿三年(1416)十月の上杉禅秀の乱に際しては、足利満隆が挙兵したのは「御所西御門保寿院」であったし、一方の足利持氏方は、西御門に火をかけ保寿院に押し寄せる談義をしていた(註10)。保寿院は鶴岡八幡宮の裏、現市立第二中学校の西南にあった禅宗寺院である。開山は義堂周信。応安元年(一三六八)十月五日、関東公方足利基氏の母の遺命によって、西御門の別殿が保寿院となった(『空華日用工夫略集』)。『新編相模国風土記稿』によれば、後に瑞泉寺の塔頭となり次第に廃寺となったと伝える。享徳三年(1454)十二月廿七日には、関東管領上杉憲忠が鎌倉公方足利成氏によって殺害され享徳の乱が始まった(註11)。また本間遠江守に宛てた、年末詳八月七日付「上杉憲忠書状」は「就西御門江御移、嚴重仁被成下御内書候、上意之至、誠以忝畏入存候」と足利成氏の西御門における動向を伝える(註12)。当地には他に太平寺・高松寺の尼寺があったが、今は廃寺となっている。また、現在の八雲神社には鎌倉幕府の御家人であった後藤氏を縁とする、大門寺があったと想定されている(高橋2010)。西御門地域には上記の様に、御家人や足利氏の足跡が史料上に残されている。

(松吉大樹)

【参考文献】

永井晋『金沢北条氏の研究』(八木書店、2006年)。

高橋慎一郎『中世都市の力 京・鎌倉と寺社』(高志書院選書4、高志書院、2010年)。

【註】

(註1)『吾妻鏡』宝治元年六月四日、同十五日条。

(註2)『関東往還記』二月廿七日条。

(註3)『吾妻鏡』宝治元年正月十三日条。

(註4)延慶三年六月四日付「金沢実時後室代成覚相博状」(『鎌倉遺文』24009号文書)。同年九月十五日付「関東御教書」(『実相院及東寺宝菩提院文書』『神奈川県史資料編2』1788号文書)。

(註5)(元徳三年六月十一日)「顕弁四十九日仏事廻向文」(「金沢文庫文書」『鎌倉遺文』31442号文書)。

(註6)(元応元年ヵ)十月十六日付「金沢貞顕書状」(「金沢文庫文書」『鎌倉遺文』27166号文書)。

(註7)文永三年六月十日付「二階堂行久讓状」(「二階堂文書」『鎌倉遺文』9542号文書)。元亨三年十一月三日付「工藤貞行讓状」(「陸奥遠野南部文書」『鎌倉遺文』28573号文書)。

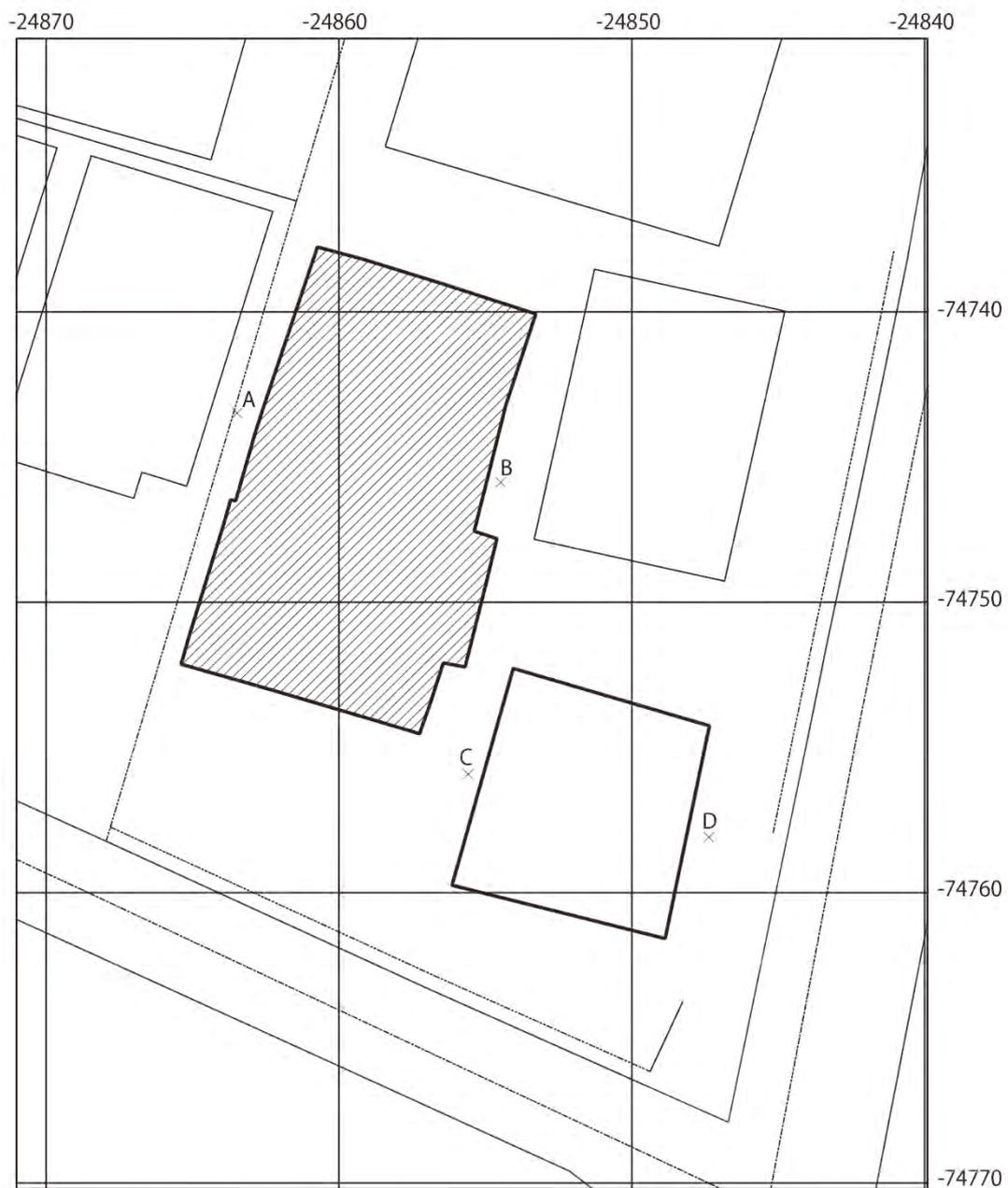
(註8)『吾妻鏡』建暦三年五月四日条。

(註9)『吾妻鏡』貞応二年正月廿日条、同廿五日条。

(註10)「湘山星移集」(『続群書類従』第二十一輯、合戦部)

(註11)「康富記」(『増補史料大成』38)。

(註12)「喜連川文書」(『神奈川県史資料編3下』6100号文書)。



日本測地系

	x	y
A	-75100.109	-24570.063
B	-75102.496	-24561.063
C	-75112.545	-24562.176
D	-75114.718	-24553.953

世界測地系

	x	y
A	-74743.4794	-24863.4739
B	-74745.8669	-24854.4742
C	-74755.9154	-24855.5874
D	-74758.089	-24847.3647

図2 グリッド配置図

2. 調査の経過と測量軸の設定 (図2)

本調査は鎌倉市西御門一丁目681番1地点における、個人専用住宅建設に伴う発掘調査である。調査期間は平成18年10月23日から平成19年1月25日までの約3ヵ月間で、調査面積は約153㎡、現地表海拔は14,80mであった。調査開始にあたって調査区に任意の方眼軸を設け、基本点Aと、見返り点Bを設定し遺構の測量・図面作成に使用した。基本点Aと見返り点Bは鎌倉市4級基準点成果表に基づき国土座標に倣った座標値の移設を行ったが、成果表は日本測地系(座標AREA 9)の国土座標値を使用しているため、本報告作成に際しては国土地理院が公開する座標変換ソフト「WEB版TKY2JGD」で世界測地系第IX形に変換し、図2に表記した。

3. 堆積土層 (図3)

調査区西壁で確認した土層堆積図を用いて堆積状況を上層より説明する。

調査前現地表海拔は約14.80mであった。第1面検出までの土層は現代の攪乱と客土が約90cmの厚さで堆積していた。現代の堆積土を重機によって取り除いた後、泥岩粒、泥岩による比較的しっかりとした地業面(14・16層)を検出し第1面とした。第1面の構成土は泥岩粒・泥岩で構成された堅く締まった明茶褐色弱粘質土と暗褐色弱粘質土で構成される。約20～30cmの厚さで堆積していた。調査区北側は東西に延びる池状遺構によって後述する第4面まで大半が削平を受けている。第2面は第25層上層を調査面にした。第1面同様に泥岩粒・泥岩によって固く締まった地業を観察したが、第1面に比べると不整形な大型泥岩を多く含む雑な印象を受ける。第2面の構成土は約40cmの厚さで堆積し、泥岩粒・大型泥岩、暗褐色弱粘質土で構成される。第3面は第45層上層を調査面とした。第1面で発見した池状遺構の北側は地業の検出が曖昧であったが、南側は大型の泥岩を多く含む灰色粘質土によって構成され、第2面よりもさらに雑な地業である。また、調査区東側には炭化物が広く堆積した空間が広がり、遺構覆土にも炭化物が多く含まれることを観察している。第3面の構成土は約15cmの厚さで堆積していた。第4面は第38層上層を調査面にした。第4面は調査区中央辺りに泥岩粒、泥岩を含む薄い地業を確認したが、大半は炭化物を多く含む灰褐色弱粘質土を構成土に持ち地業の様子が見られなかった。第4面の構成土は約50cmの厚さで堆積していた。第5面は廃土を調査区内で処理する関係から、調査区の北側半分を調査対象とした。第5面は第50層・第55層上層を調査面とした。第5面の構成土は泥岩粒・泥岩を含む固く締まった暗灰色褐色弱粘質土である。第4面掘り下げ途中の第71層上層で生活面を検出しているが、地業層としては脆弱な層であったこと等から、この層で検出した遺構は第5面で検出した遺構と合わせて報告している。第5面の構成土は約30cmの厚さで堆積していた。第6面以下の層は調査区東側に約1m×5.5mの試掘坑を設け確認している。第6面は第57層上層を調査面とした。泥岩粒を含む堅く締まった地業層である。第6面構成土は泥岩粒、泥岩、炭化物とともに、灰褐色砂質土、貝砂を含む。第6面の構成土は約50cmの厚さで堆積していた。第7面は第62層・第63層上層を調査面とした。構成土は泥岩粒、泥岩、炭化物を含む黒褐色弱粘質土。湧水の為かやや脆弱な様子ではあったが泥岩粒、泥岩による地業を観察し、第7面構成土以下の層は炭化物、暗褐色砂質土、貝砂を多く含む暗灰褐色弱粘質土が堆積していることを確認した。

No	色調	含有物
1	明灰褐色弱粘質土	泥岩粒・炭化物
2	明茶褐色弱粘質土	泥岩粒・泥岩・炭化物・焼土粒 (池状遺構)
3	灰褐色弱粘質土	泥岩粒・炭化物 (池状遺構)
4	灰褐色弱粘質土	泥岩粒・炭化物 (池状遺構)
5	暗褐色弱粘質土	泥岩粒・泥岩 (池状遺構)
6	灰褐色粘質土	泥岩粒 (池状遺構)
7	褐色粘質土	泥岩粒少量・炭化物微量 (池状遺構)
8	暗褐色粘質土	泥岩粒少量 (池状遺構)
9	暗褐色弱粘質土	泥岩粒少量 (池状遺構)
10	暗褐色弱粘質土	泥岩粒・炭化物微量 (池状遺構)
11	暗灰色粘質土	泥岩粒・泥岩を多く含む (池状遺構)
12	暗褐色弱粘質土	泥岩粒・炭化物 (池状遺構)
13	暗褐色粘質土	泥岩粒 (池状遺構)
14	明茶褐色弱粘質土	泥岩粒多量・泥岩・焼土・炭化物多量 (第1面構成土)
15	茶褐色弱粘質土	泥岩粒
16	泥岩層	泥岩粒・泥岩・暗褐色弱粘質土 (第1面構成土)
17	暗褐色弱粘質土	泥岩粒・泥岩・炭化物微量
18	茶灰色砂質土	泥岩粒・炭化物少量
19	茶灰色砂質土	泥岩粒微量
20	茶灰色砂質土	泥岩粒微量・炭化物微量
21	茶灰色弱粘質土	泥岩粒・炭化物微量
22	茶褐色弱粘質土	泥岩粒・炭化物
23	茶褐色弱粘質土	泥岩粒・炭化物微量
24	茶灰色弱粘質土	泥岩粒・炭化物
25	泥岩層	泥岩粒・泥岩・暗褐色弱粘質土 (第2面構成土)
26	茶灰色弱粘質土	泥岩粒少量・炭化物
27	暗茶褐色弱粘質土	泥岩粒・炭化物少量
28	灰褐色弱粘質土	泥岩粒 (土杭25)
29	暗茶褐色弱粘質土	泥岩粒・焼土粒多量・炭化物
30	茶灰色弱粘質土	泥岩粒・炭化物少量
31	茶灰色弱粘質土	泥岩粒・炭化物
32	茶灰色弱粘質土	泥岩粒・泥岩・炭化物
33	茶灰色弱粘質土	泥岩粒・炭化物微量
34	茶灰色弱粘質土	泥岩粒・炭化物微量
35	茶灰色弱粘質土	泥岩粒・炭化物微量
36	茶褐色弱粘質土	泥岩粒・焼土・炭化物多量
37	茶褐色弱粘質土	泥岩粒・焼土・炭化物多量
38	灰褐色弱粘質土	泥岩粒少量・炭化物 (第4面構成土)
39	茶褐色弱粘質土	泥岩粒・炭化物微量
40	泥岩層	泥岩粒・泥岩・暗褐色弱粘質土 (第4面構成土)
41	泥岩層	泥岩粒・泥岩・暗褐色弱粘質土
42	灰色粘質土	泥岩粒・泥岩・炭化物少量 (第3面構成土)
43	暗茶灰色粘質土	泥岩粒微量
44	灰色粘質土	泥岩粒・泥岩
45	泥岩層	大型泥岩・泥岩粒 (第3面構成土)
46	炭化物層	暗褐色弱粘質土少量
47	暗褐色弱粘質土	泥岩粒・泥岩少量・炭化物
48	暗褐色弱粘質土	泥岩粒・泥岩
49	暗灰色粘質土	泥岩粒・泥岩 (第5面構成土)
50	暗灰褐色弱粘質土	泥岩粒多量・泥岩
51	暗灰褐色弱粘質土	泥岩粒多量・泥岩
52	灰褐色砂質土	泥岩粒微量
53	暗灰色弱粘質土	泥岩粒・褐色有機質土 (溝3)
54	暗灰褐色弱粘質土	泥岩粒・泥岩・木片 (第5面構成土)
55	泥岩層	泥岩粒・泥岩・炭化物少量・灰褐色弱粘質土
56	泥岩層	泥岩粒多量・泥岩・灰褐色弱粘質土 (第6面構成土)
57	暗灰色弱粘質土	泥岩粒・炭化物・灰褐色砂・貝砂
58	暗灰色弱粘質土	泥岩粒・泥岩少量
59	暗褐色弱粘質土	泥岩粒・泥岩少量・炭化物・灰褐色砂質土
60	暗褐色弱粘質土	泥岩粒・貝砂・炭化物
61	泥岩層	泥岩粒・泥岩・炭化物
62	黒灰色弱粘質土	泥岩粒・泥岩 (第7面構成土)
63	泥岩層	泥岩粒・泥岩・炭化物 (第7面構成土)
64	暗灰色弱粘質土	泥岩粒・貝砂・灰褐色砂質土
65	灰褐色弱粘質土	泥岩粒・貝砂・灰褐色砂質土
66	灰褐色弱粘質土	泥岩粒・貝砂・灰褐色砂質土
67	灰褐色弱粘質土	泥岩粒・炭化物・灰褐色砂質土
68	暗褐色弱粘質土	泥岩粒・泥岩・炭化物
69	灰褐色弱粘質土	泥岩粒・炭化物
70	灰褐色弱粘質土	泥岩粒・泥岩少量・炭化物・貝砂
71	泥岩層	泥岩粒・泥岩・炭化物 (第5面構成土)

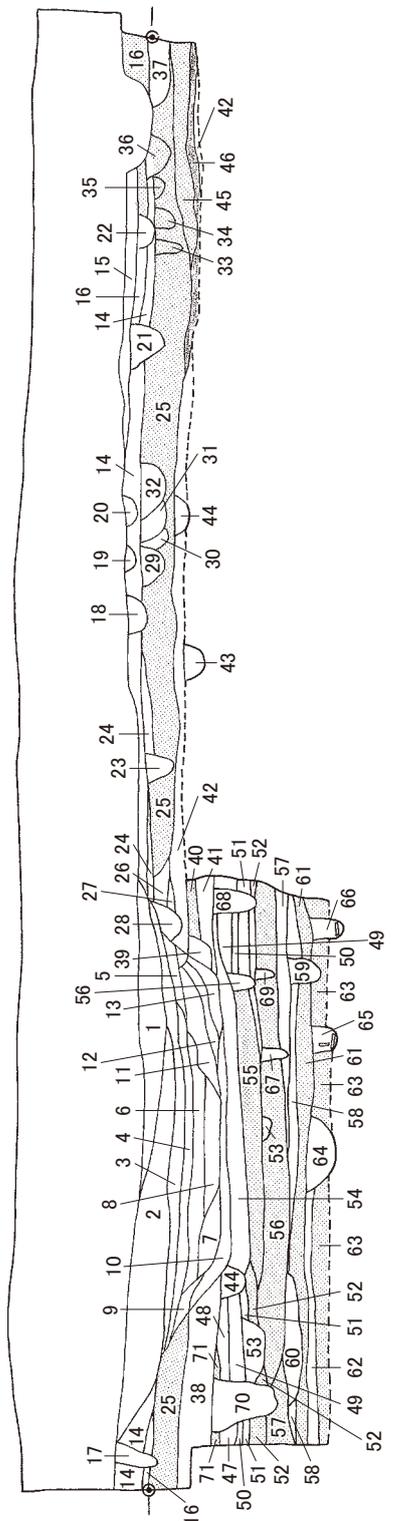


図3 堆積土層図

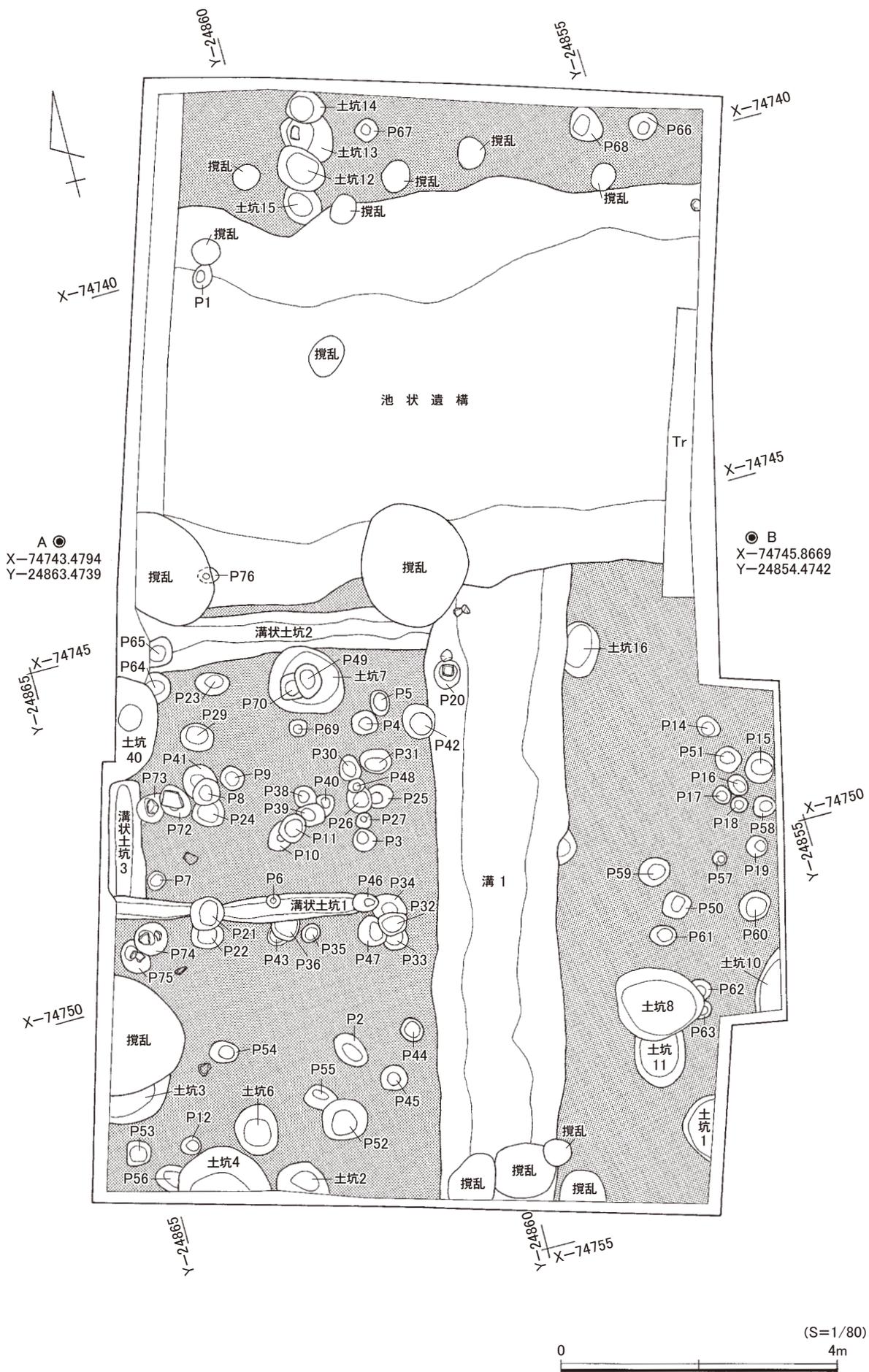


图4 第1面全测图

第二章 検出遺構と出土遺物

1. 第1面の遺構と遺物（図4～図19）

現地地表下約90cmの厚さで堆積していた現代埋土を重機によって掘り下げ、泥岩粒・泥岩・暗褐色弱粘質土で構成された堅く締まった地業層上で第1面を検出した。第1面で検出した遺構は池状遺構1基・溝1条・溝状土坑2基・土坑14基・ピット72穴である。数多くのピットを確認したが、現代の攪乱によって遺構上層が削平を受けており、建物址を推定することは出来なかった。調査区の北側半分は池状遺構が東西に走り、南側半分は南北に走る溝によって分断されていた。溝によって分断された地業の東側はかわらけ細片を地業層内に多く含み、西側は炭化物を地業層内に多く含む。

出土遺物はかわらけ（ロクロ成形・手づくね成形）をはじめ、青磁、白磁、青白磁、黄釉、褐釉、瀬戸、常滑、渥美、備前、東幡系、亀山、山茶碗、瓦、瓦器、土器、石製品（砥石・硯・滑石）、鉄製品、銭、鉄滓、骨角製品、木製品、骨（獣骨）、貝、果核が見られた。第1面確認レベルは海拔約13.90mである。

・池状遺構（図5）

調査区北側で東西に走る遺構である。調査区外に遺構が延びるため規模は不明となった。長さ775cm・幅250～310cm・深さ85cmを測り、断面逆台形を呈する。底面レベルは東西にほぼ水平であった。遺構プラン確認時には形状から河川あるいは溝を想定して掘り進めていったが、遺構覆土の堆積状況、含有物からは河川、あるいは溝を想定できず、遺構名を池状遺構とした。覆土内には新旧の遺物が混在しており、長い間開口していた様子が窺える。遺構覆土は泥岩粒・泥岩・炭化物・焼土粒を含む暗褐色弱粘質土。土層堆積の記録は図3を参照していただきたい。

・出土遺物（図6～図10）

1～39はかわらけ、39は白かわらけ、40は瓦器碗、41～44は青磁碗、45～47は白磁口兀皿、48～50は白磁皿、51～53は白磁壺、54は青白磁梅瓶、55は青白磁壺、56は青白磁器種不明、57は青白磁梅瓶蓋、58は青白磁水注、59は青白磁香炉、60は天目茶碗、61～64は褐釉壺、65～69は瀬戸入子、70・71は緑釉小皿、72・73は瀬戸皿、74～76は瀬戸碗、77～79は瀬戸折縁皿、80～84は瀬戸卸皿、85は瀬戸底卸皿、86は瀬戸瓶子、87は瀬戸水注、88～90は瀬戸瓶子、91～97は常滑甕、98は常滑片口鉢Ⅰ類、99～103は常滑片口鉢Ⅱ類、104は備前播鉢、105・106は東幡系鉢、107～110は瓦器質火鉢、111は土風炉、112～114は吉備系土器碗、115・116は瓦器碗、117は不明陶器、118・119は瓦、120～122は常滑甕・転用品、123～125は石製品・砥石、126は基石か、127～129は銭、130～177は木製品・130～133は箸状、134・135は折敷、136～138は円盤状、139～142は串状、143は草履芯、144～149は棒状・籌木か、150は火付棒か、151・152は串状、153～175は用途不明、176・177は形代。その他に手づくね成形かわらけ・白かわらけ・渥美甕・備前播鉢・亀山甕・火鉢（土器質）・土器碗・石製品硯・骨・果核が破片で出土している。

・溝1（図11）

調査区南側で南北に走る溝である。北は池状遺構に切られ、南は調査区外に延びてしまっているため規模は不明。長さ900cm・幅175～197cm・深さ56～70cmを測る。断面逆台形を呈する。流下方向は不明。遺構覆土は泥岩粒・泥岩・炭化物を含む暗灰褐色弱粘質土。

・出土遺物（図11・図12）

1～41はかわらけ、42は青磁鎚蓮弁文碗、43は青磁香炉か、44は白磁口兀皿、45は白磁皿、46は

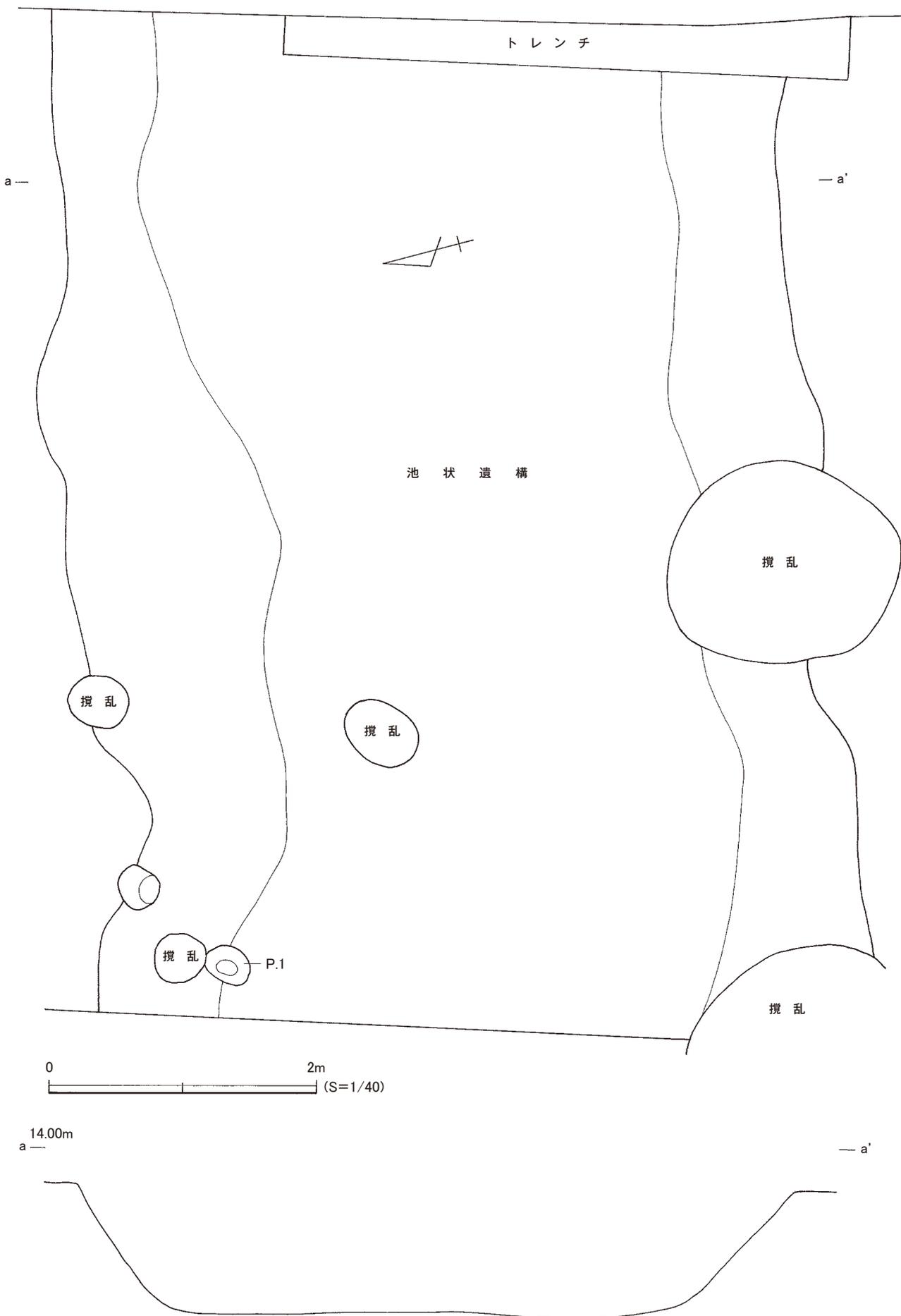


図5 第1面・池状遺構

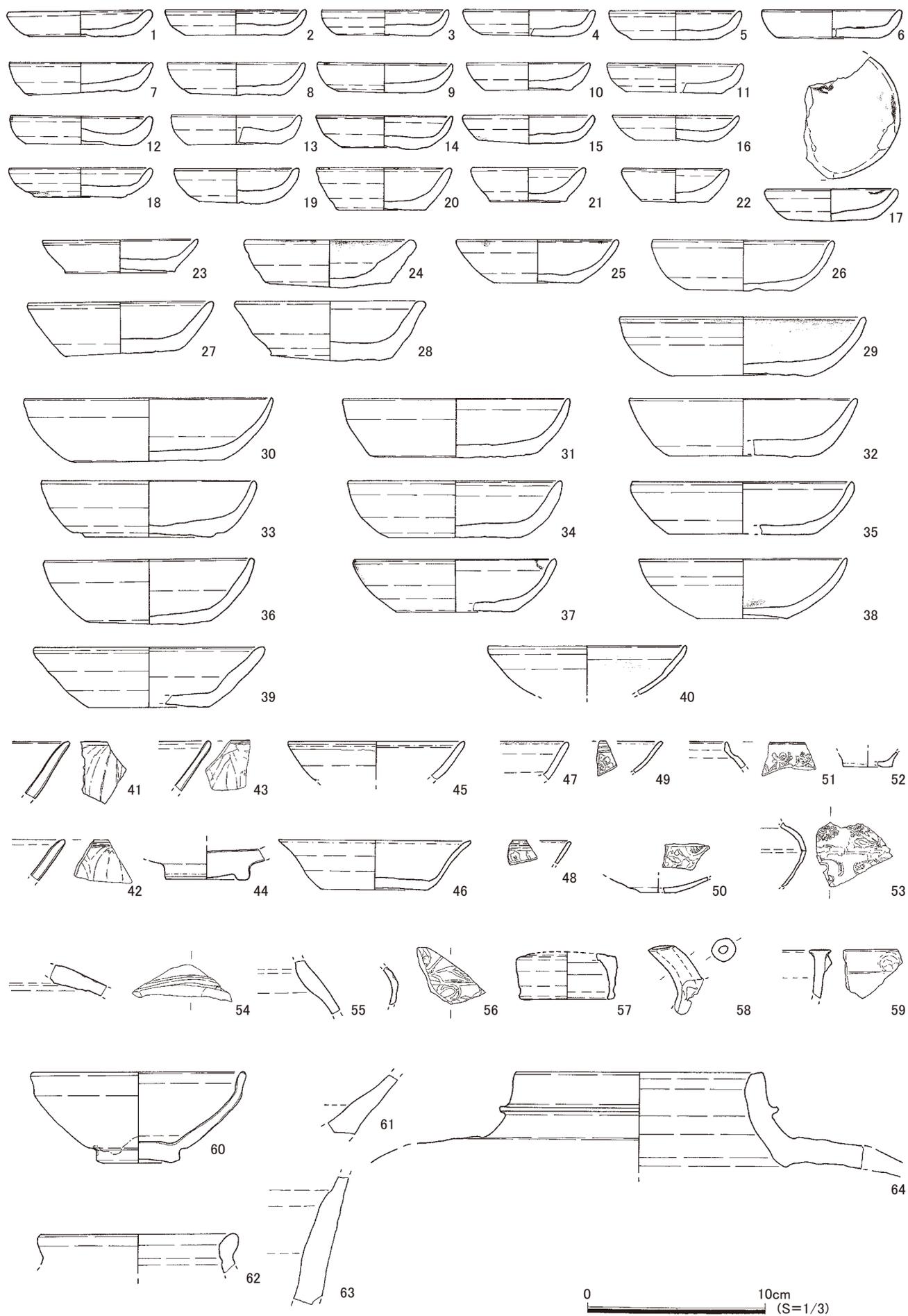


图6 第1面·池状遺構出土遺物(1)

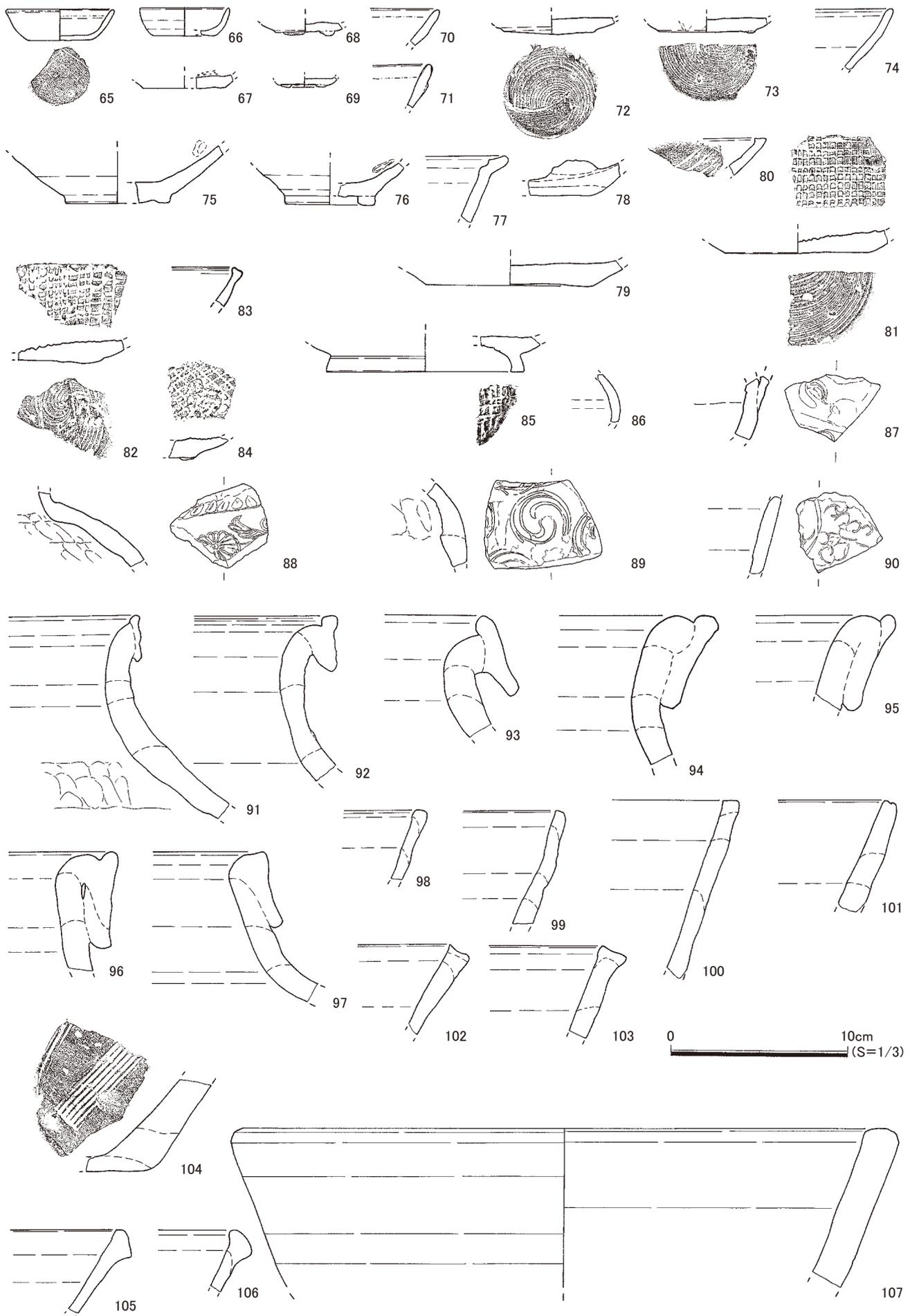


图7 第1面·池状遺構出土遺物(2)

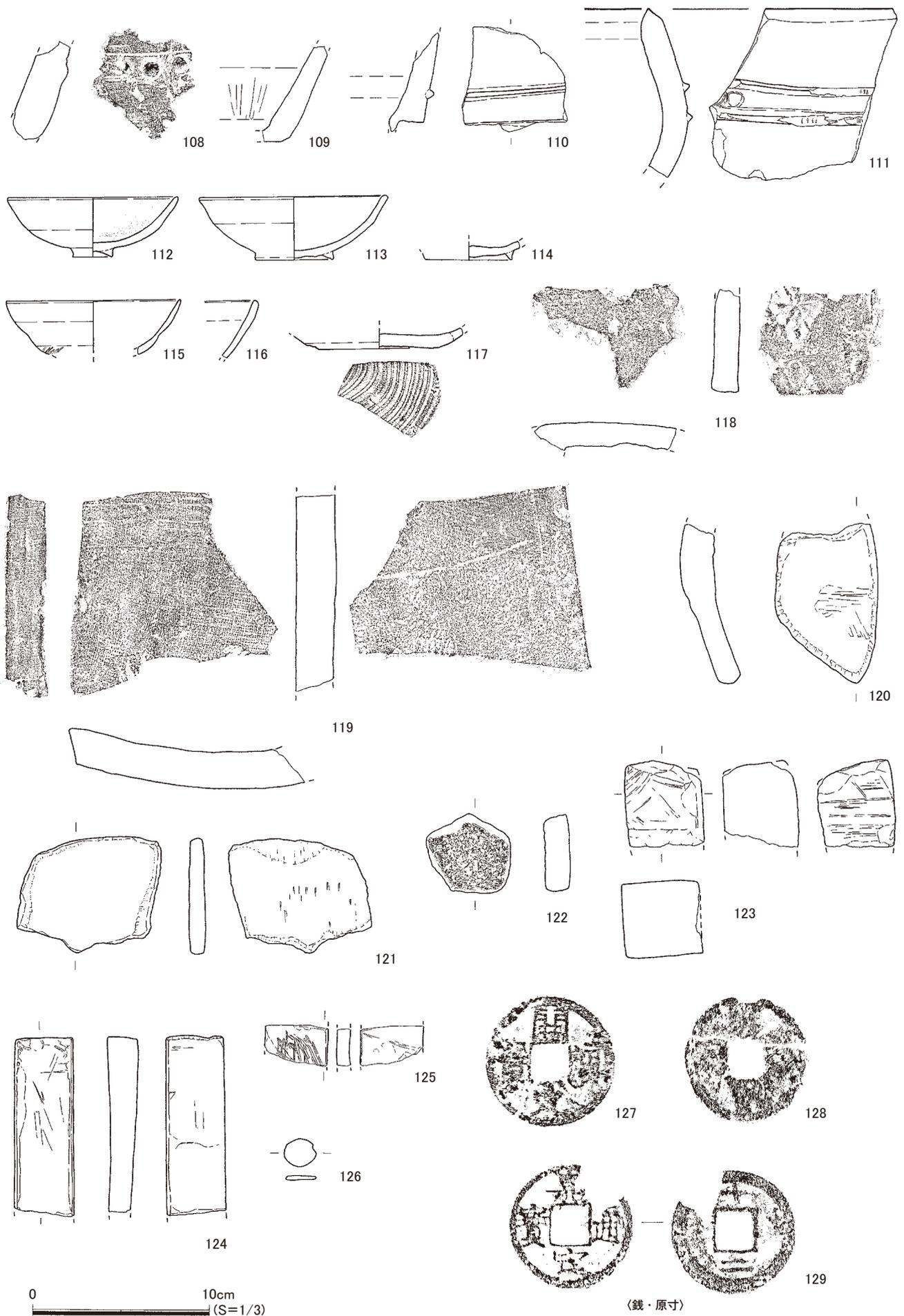


図8 第1面・池状遺構出土遺物(3)

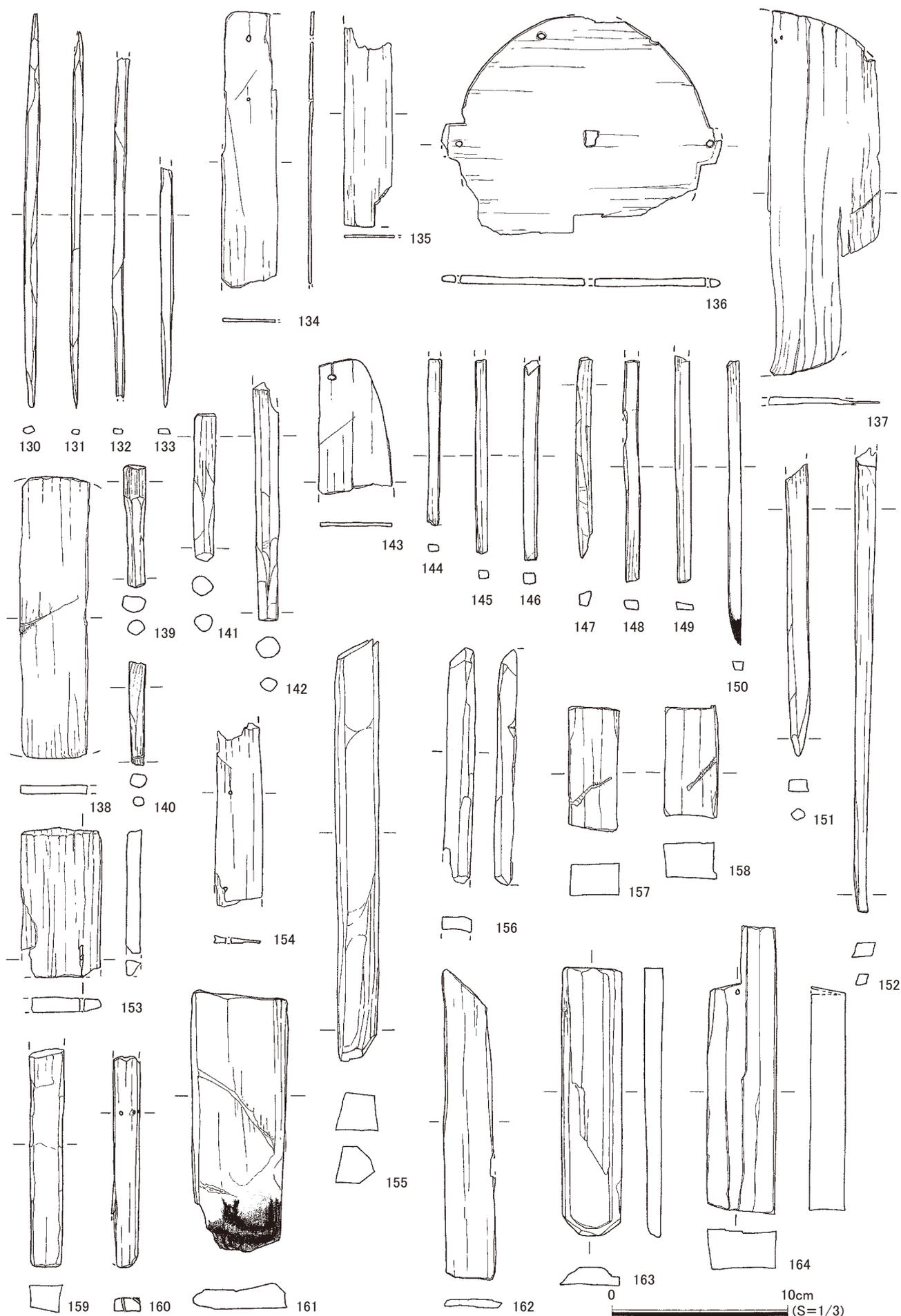


图9 第1面·池状遺構出土遺物(4)

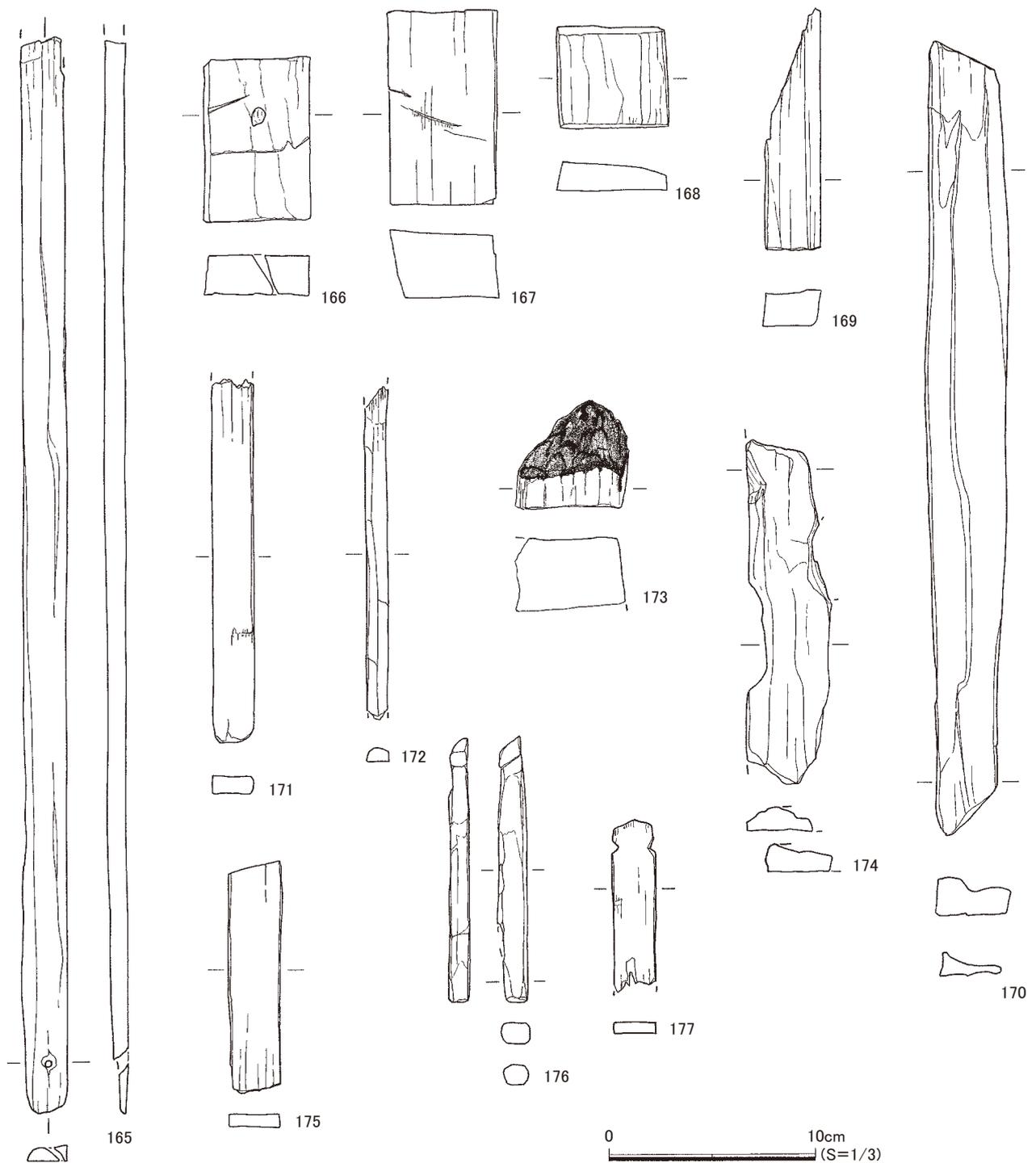


図10 第1面・池状遺構出土遺物(5)

瀬戸平碗、47は縁釉小皿、48は瀬戸折縁小皿、49・50は瀬戸卸皿、51は山茶碗、52は常滑甕、53・54は常滑片口鉢Ⅱ類、55は備前播鉢、56は亀山甕、57は瓦器質火鉢、58は石製品硯、59は石製品砥石、60～63は鉄製品釘、64は鉄製品鍋、65～68は銭。その他にかわらけ・瀬戸器種不明・常滑甕・常滑片口鉢Ⅰ類、Ⅱ類・亀山甕・土器質火鉢が破片で出土している。

・土坑4(図15)

調査区外に遺構が延び規模は不明。長軸144cm・短軸(67)cm・深さ42cmを測る。遺構覆土は泥岩粒、泥岩を含む灰褐色弱粘質土。出土遺物はかわらけが破片で出土している。

・土坑6(図13)

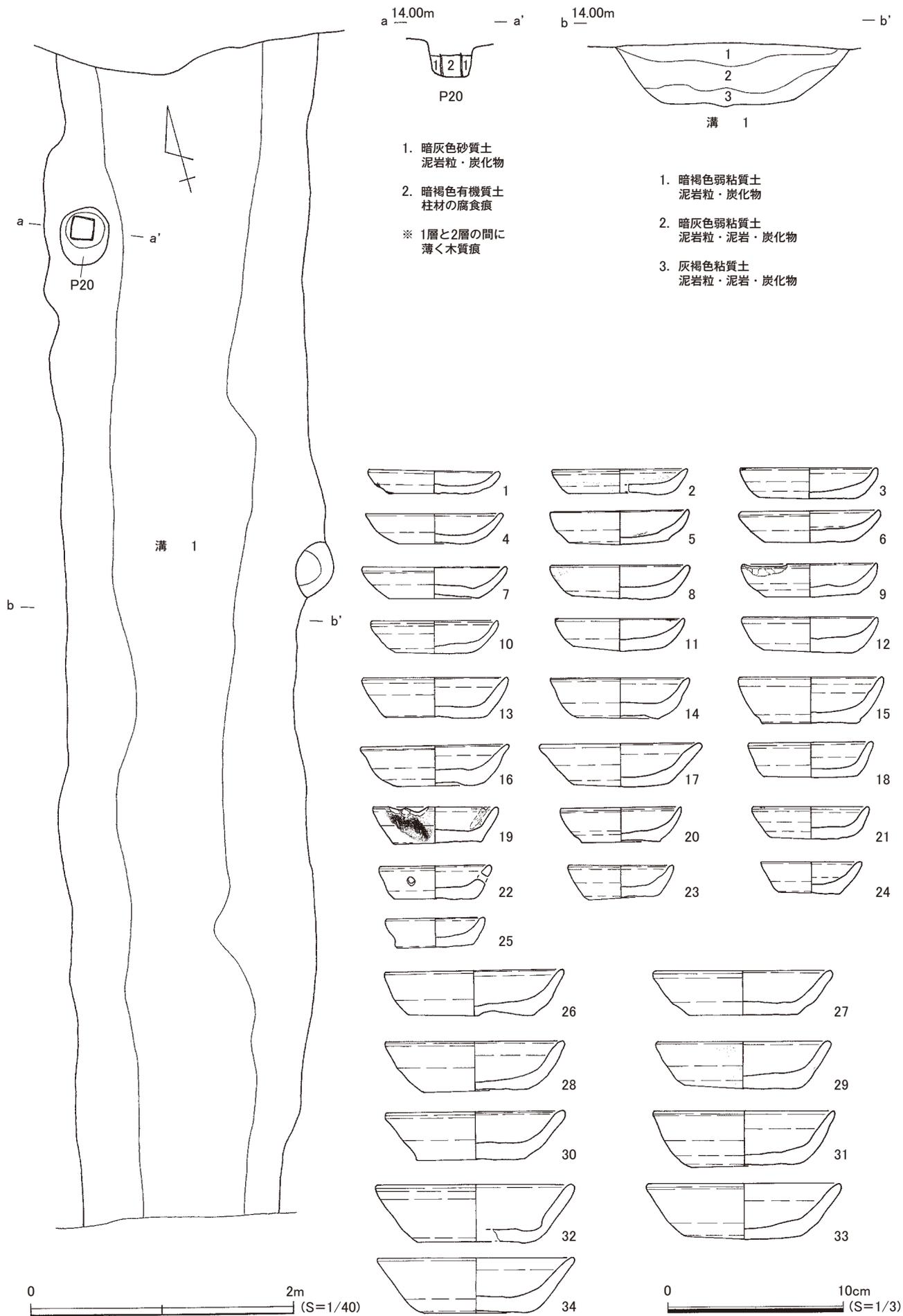


図11 第1面・溝1・ピット20・溝1出土遺物(1)

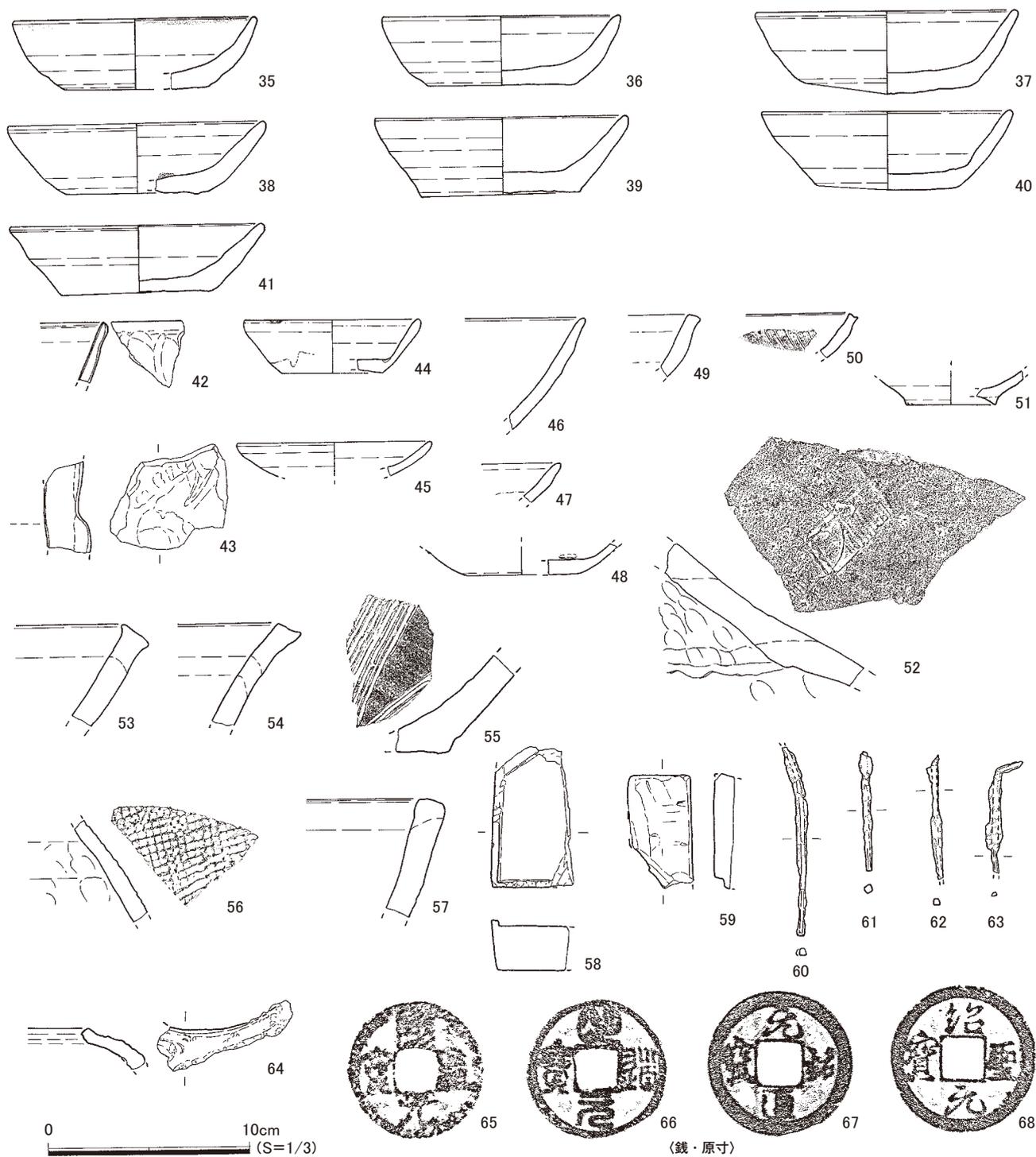


図12 第1面・溝1出土遺物(2)

長軸73cm・短軸64cm・深さ19cmを測り、円形を呈する。底面に常滑甕が据えられていたが、現代埋土によって遺構上部は大きく削平を受けていた。甕の口縁部の形状が2種類出土している。遺構覆土は泥岩粒・炭化物を含む暗灰褐色弱粘質土。

・出土遺物(図13)

1～7は常滑甕、8は亀山甕、9・10は瓦器質火鉢、11は石製品硯。その他かわらけ・鉄製品不明が破片で出土している。

・土坑7(図15)

長軸113cm・短軸95cm・深さ11cmを測り、楕円形を呈する。遺構内にピット49、ピット70を有する。



图13 第1面·土坑6·出土遗物

遺構覆土は泥岩粒・泥岩・炭化物を含む灰褐色弱粘質土。出土遺物は、かわらけ・常滑甕・瓦器質火鉢が破片で出土している。

・土坑8 (図15)

土坑11・ピット62・ピット63を切る。長軸126cm・短軸115cm。深さ24cmを測り、楕円形を呈する。遺構覆土は泥岩粒・泥岩を含む明茶灰色弱粘質土。遺物はかわらけ・常滑甕が破片で出土している。

・土坑11 (図15)

土坑8に切られる。長軸(70)cm・短軸72cm・深さ13cmを測り、楕円形を呈する。遺構覆土は微量の泥岩粒を含む茶褐色弱粘質土。遺物は出土していない。

・土坑12 (図15・図16)

土坑13・土坑15を切る。長軸67cm・短軸55cm・深さ24cmを測り、円形を呈する。遺構覆土は泥岩・褐鉄を含む灰茶色弱粘質土。

・出土遺物 (図16)

4・5はかわらけ。6は常滑甕。

・土坑13 (図15)

土坑12・土坑14に切られる。長軸79cm・短軸(40)cm・深さ14cmを測り、楕円形を呈する。遺構底部に不整形な砂質凝灰岩が遺存する。遺構覆土は泥岩粒・泥岩・炭化物多量を含む灰褐色弱粘質土。遺物はかわらけが破片で出土している。

・土坑14 (図15)

土坑13を切る。長軸53cm・短軸(38)cm・深さ19cmを測り、円形を呈する。遺構覆土は泥岩粒・泥岩・褐鉄・炭化物多量を含む灰褐色弱粘質土。遺物はかわらけ・常滑甕・山茶碗が破片で出土している。

・土坑15 (図15・図16)

遺構12に切られる。長軸54cm・短軸(47)cm・深さ10cmを測り、円形を呈する。遺構覆土は。泥岩粒・泥岩を含む灰褐色弱粘質土。

・出土遺物 (図16)

7は常滑甕。

・土坑40 (図14)

調査区外に遺構が延びているため規模は不明となった。深さ55cmを測る。遺構覆土は泥岩粒・泥岩・炭化物を含む灰褐色弱粘質土。遺構底面に常滑の甕が据えられていたが、甕上部は大半が散逸し遺存していなかった。

・出土遺物 (図14)

1はかわらけ、2は常滑甕。その他に遺物は出土していない。

・溝状土坑1 (図15)

東西に延びる溝状の土坑である。ピット21に切られる。遺構の西側は調査区外に延びてしまい規模は不明。長さ330cm・幅25～28cm・深さ5～10cmを測る。遺構覆土は泥岩粒、泥岩、炭化物を含む茶褐色弱粘質土。遺物はかわらけが破片で出土している。

・溝状土坑2 (図15)

遺構の東は溝1に切られ、西は調査区外に遺構延びてしまっていたために規模は不明。長さ(412)cm・幅57～65cm・深さ25～32cm。底面レベルが東に向かって緩やかに下がることを確認した。遺構覆土は泥岩粒、炭化物を含む暗灰褐色弱粘質土。出土遺物はない。

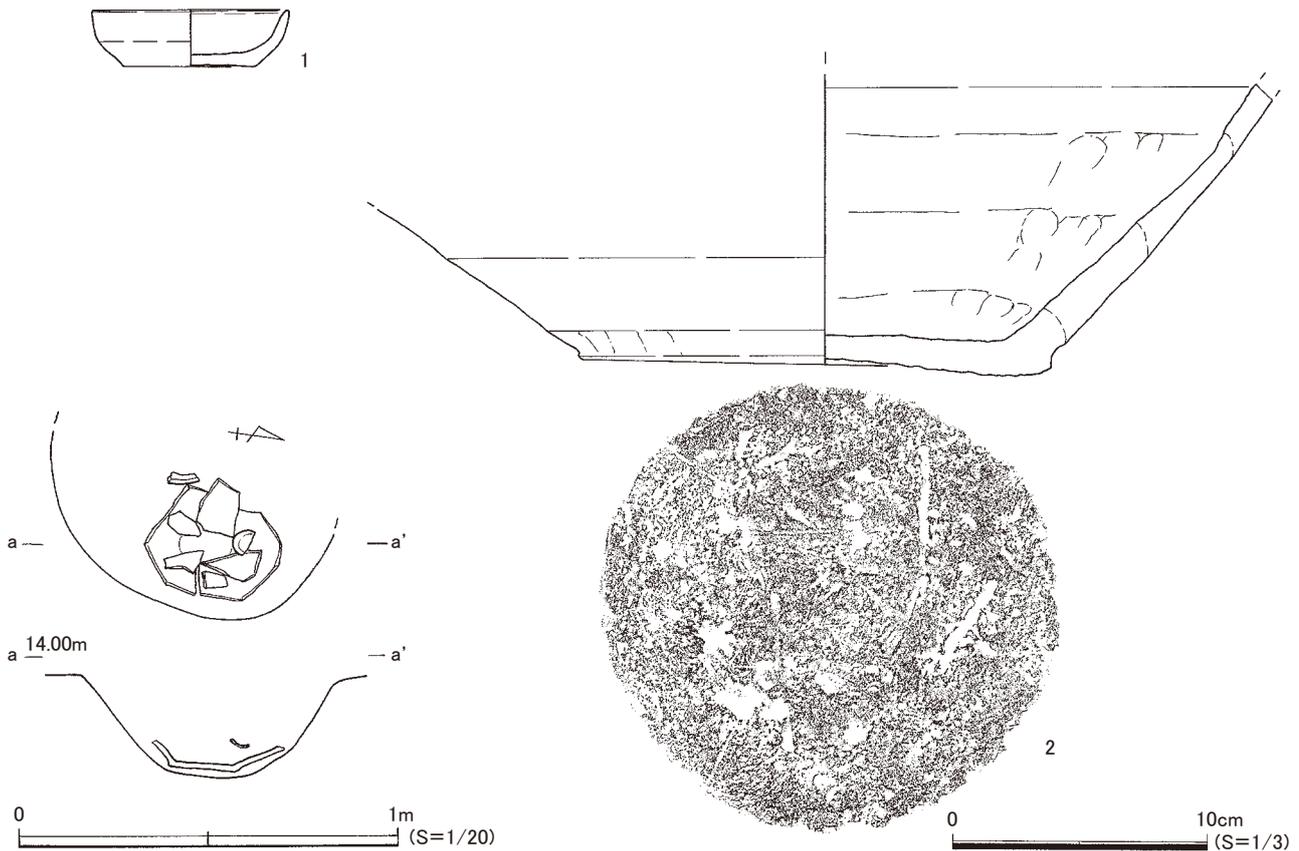


図14 土坑40・出土遺物

・溝状土坑3 (図15・図16)

溝状土坑1に切られる。長さ(100)cm・幅(48)cm・深さ19cm。遺構覆土は泥岩粒、泥岩、炭化物を含む暗灰色弱粘質土。

・出土遺物 (図16)

1はかわらけ・2は常滑甕・3は石製品硯。

・ピット8 (図15・図16)

ピット24・ピット41を切る。長軸43cm・短軸40cm・深さ17cmを測り、円形を呈する。遺構覆土は泥岩粒・炭化物を含む暗灰色弱粘質土。

・出土遺物 (図16)

8はかわらけ・9は天目茶碗。

・ピット20 (図11)

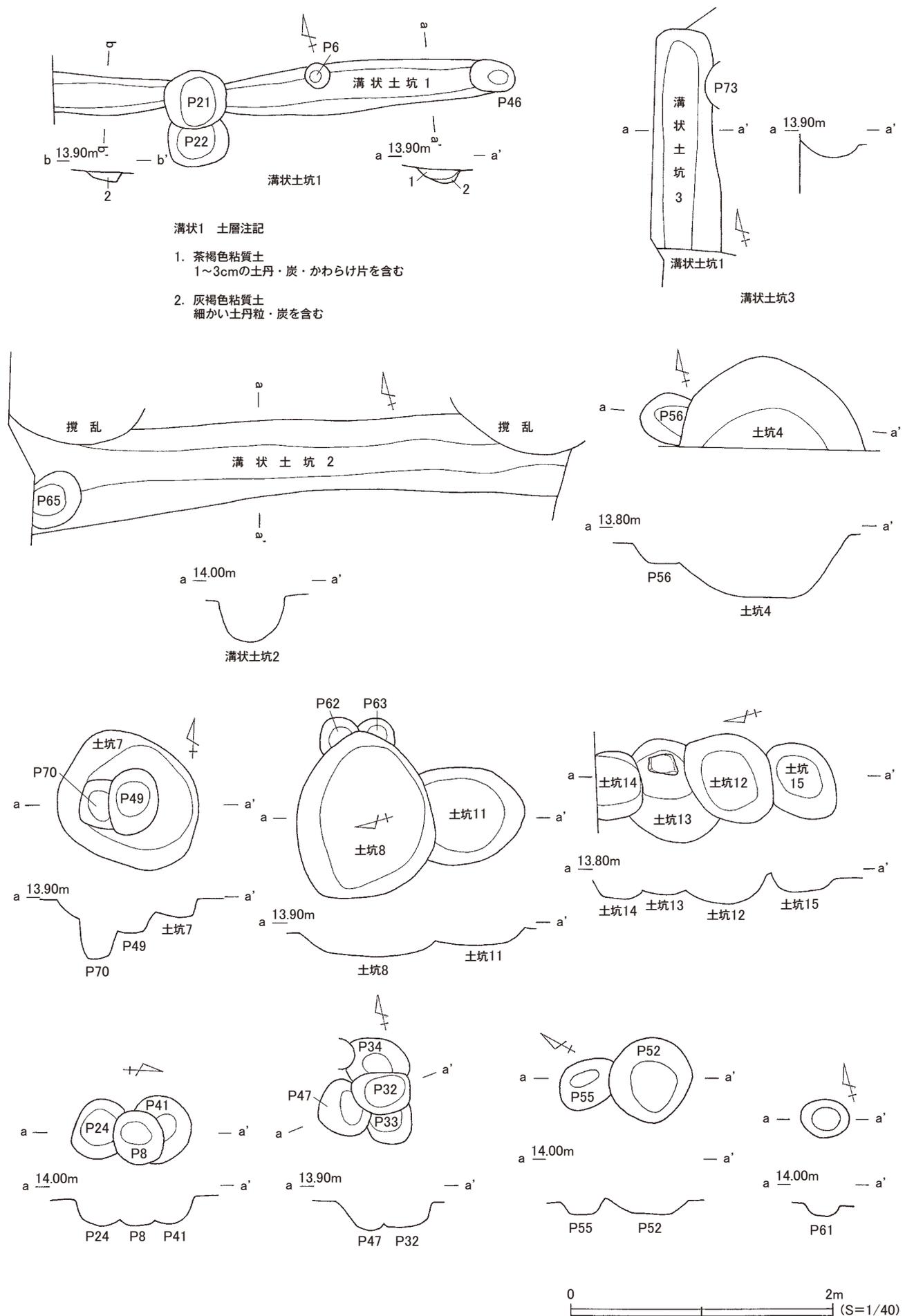
長軸45cm・短軸35cm・深さ6cmを測り、楕円形を呈する。遺構中央に方形に残る堆積土があり、堆積土四周に薄く木質が残存していた。柱痕であったと考えている。柱は約17cm×17cmを測る大型の柱であった。遺構覆土は泥岩粒・炭化物・褐色有機質土を含む暗褐色弱粘質土。遺物はかわらけ・常滑甕・鉄製品不明が破片で出土している。

・ピット21 (図15)

溝状土坑1、ピット22を切る。長軸47cm・短軸42cm・深さ20cmを測り、円形を呈する。遺構覆土は泥岩粒を含む暗灰色弱粘質土。遺物はかわらけが破片で出土している。

・ピット22 (図15)

遺構21に切られる。長軸45cm・短軸(30)cm・深さ18cmを測り、円形を呈する。遺構覆土は泥岩粒



溝状1 土層注記

1. 茶褐色粘質土
1~3cmの土丹・炭・かわらけ片を含む
2. 灰褐色粘質土
細かい土丹粒・炭を含む

図15 第1面個別遺構図

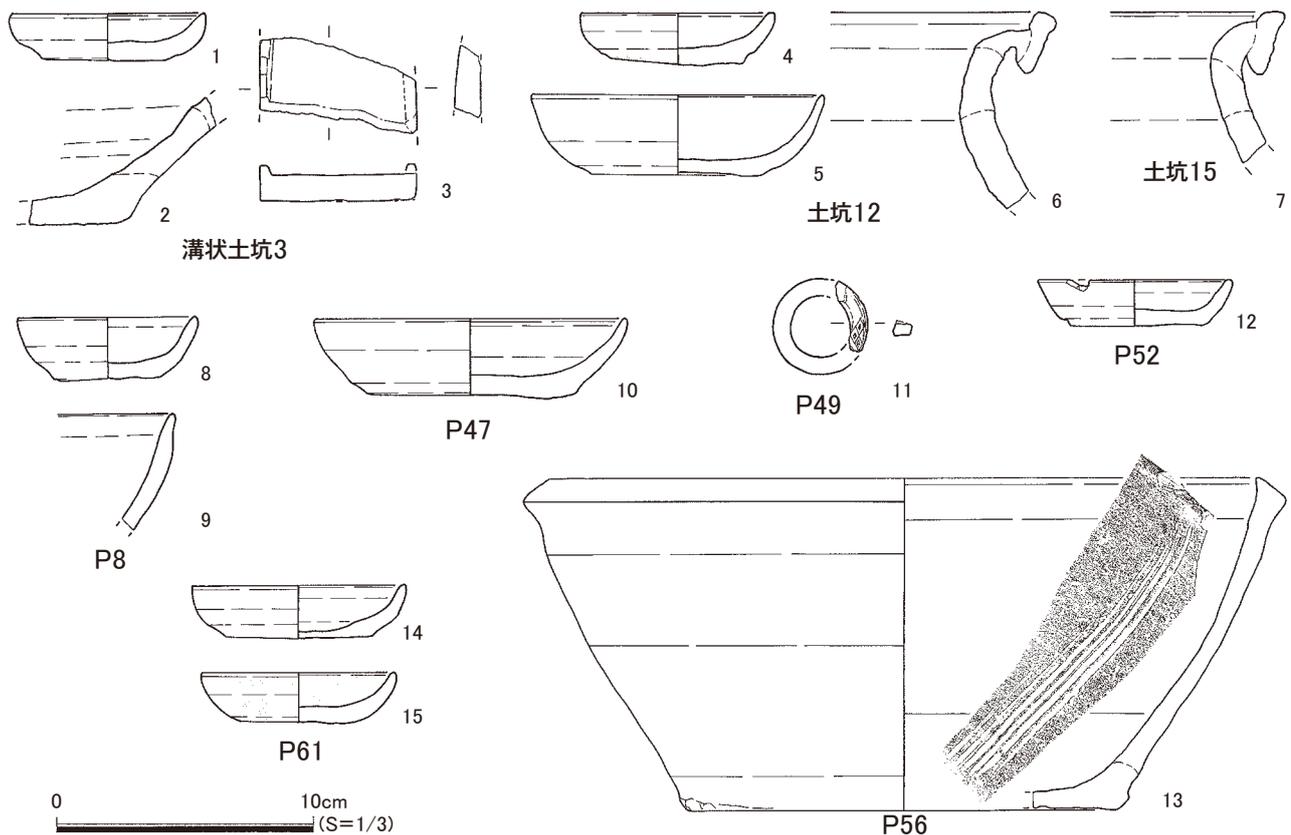


図16 第1面・遺構出土遺物

を含む暗灰色弱粘質土。遺物はかわらけ、常滑甕が破片で出土している。

・ピット24 (図15)

ピット8に切られる。長軸47cm・短軸38cm・深さ18cmを測り、円形を呈する。遺構覆土は泥岩粒・泥岩を含む灰褐色弱粘質土。遺物はかわらけが破片で出土している。

・ピット32 (図15)

ピット33・ピット34・ピット47を切る。長軸(45)cm・短軸(32)cm・深さ14cmを測る。遺構覆土は泥岩粒・泥岩・炭化物を含む灰褐色弱粘質土。遺物はかわらけが破片で出土している。

・ピット33 (図15)

ピット32・ピット47に切られる。長軸35cm・短軸(24)cm・深さ15cmを測り、楕円形を呈する。遺構覆土は泥岩粒・泥岩・炭化物多量を含む灰褐色弱粘質土。遺物は出土していない。

・ピット34 (図15)

ピット32に切られる。長軸44cm・短軸(28)cm・深さ12cmを測り。楕円形を呈する。遺構覆土は泥岩粒・泥岩・炭化物を含む灰褐色弱粘質土。遺物は土製品器種不明が破片で出土している。

・ピット41 (図15)

ピット8に切られる。長軸48cm・短軸(24)cmを測り、楕円形を呈する。遺構覆土は泥岩粒・泥岩を含む暗灰色弱粘質土。遺物はかわらけと白かわらけが破片で出土している。

・ピット47 (図15・図16)

ピット32に切られる。長軸43cm・短軸(42)cm・深さ5cmを測り、円形を呈する。遺構覆土は泥岩粒・泥岩・炭化物・暗灰褐色弱粘質土。

・出土遺物 (図16)

10はかわらけ。その他に常滑甕・瓦が破片で出土している。

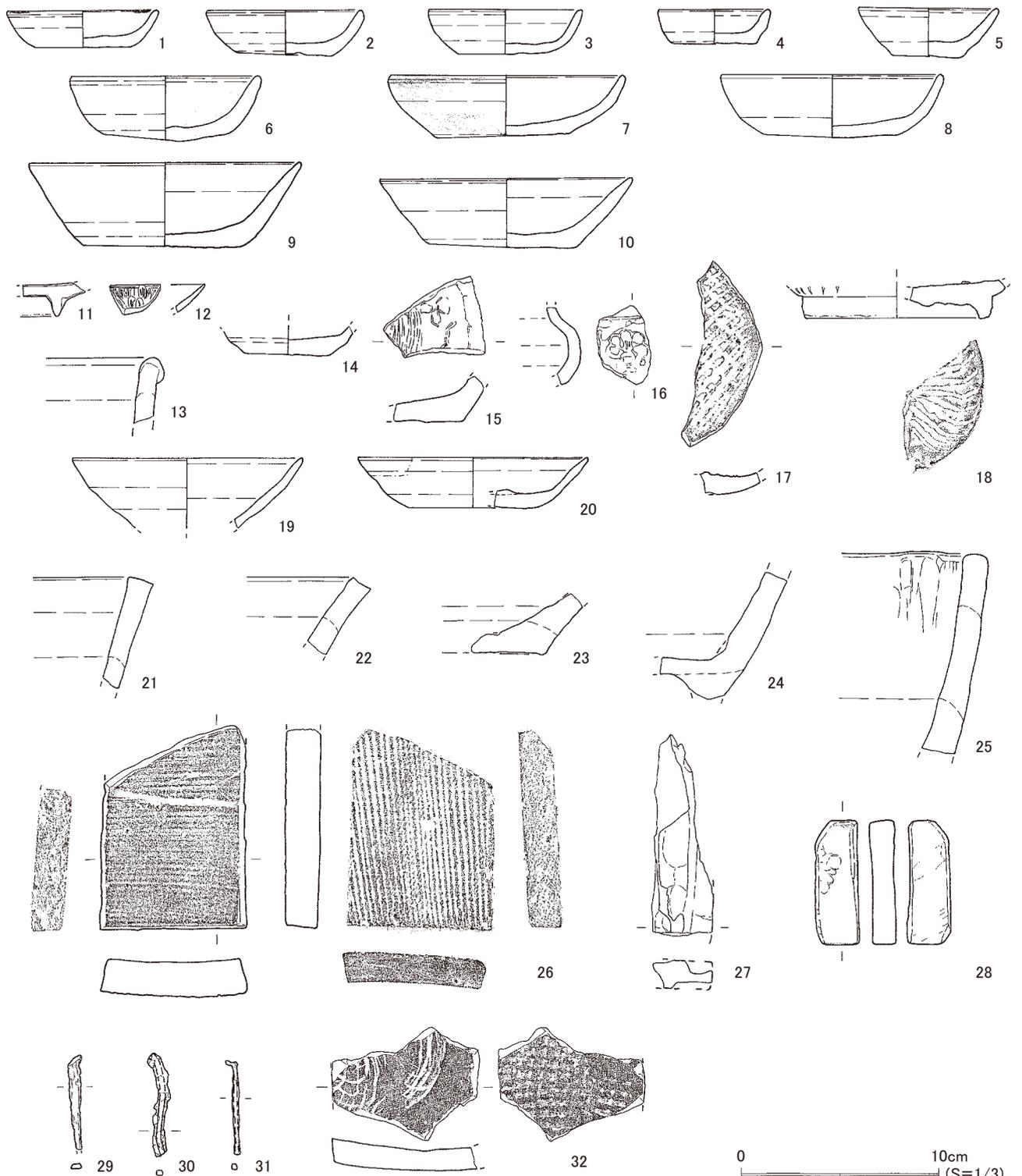


図17 第1面・面上出土遺物

・ピット49 (図15・図16)

長軸48cm・短軸30cm・深さ25cmを測り、楕円形を呈する。ピット70を切る。遺構覆土は泥岩・泥岩粒・炭化物を含む暗灰褐色弱粘質土。

・出土遺物 (図16)

11は骨角製品。

・ピット52 (図15・図16)

ピット55を切る。長軸65cm・短軸65cm・深さ12cmを測り、円形を呈する。遺構覆土は泥岩粒・泥

岩を含む灰褐色弱粘質土。

・**出土遺物 (図 16)**

12はかわらけ。

・**ピット 55 (図 15)**

ピット 52 に切られる。長軸 (38) cm ・短軸 34cm ・深さ 14cm を測り、楕円形を呈する。遺構覆土は泥岩粒 ・泥岩 ・炭化物を含む灰褐色弱粘質土。遺物は出土していない。

・**ピット 56 (図 15 ・ 図 16)**

土坑 4 に切られる。長軸 39cm ・短軸 (35) cm ・深さ 18cm を測り、円形を呈する。遺構覆土は泥岩粒 ・泥岩を含む暗灰色弱粘質土。

・**出土遺物 (図 16)**

13は備前播鉢。その他にかわらけが破片で出土している。

・**ピット 61 (図 15 ・ 図 16)**

長軸 36cm ・短軸 30cm ・深さ 9 cm を測り、楕円形を呈する。遺構覆土は泥岩粒 ・泥岩 ・炭化物を含む灰褐色弱粘質土。

・**出土遺物 (図 16)**

14 ・ 15はかわらけ。その他に土器質火鉢が出土している。

・**ピット 62 (図 15)**

土坑 8 に切られる。長軸 32cm ・短軸 (28) cm ・深さ 10cm を測り、円形を呈する。遺構覆土は泥岩粒少量を含む茶褐色弱粘質土。出土遺物はない。

・**ピット 63 (図 15)**

土坑 8 に切られる。長軸 28cm ・短軸 (15) cm ・深さ 10cm を測り、円形を呈する。遺構覆土は泥岩粒少量を含む茶褐色弱粘質土。出土遺物はない。

・**ピット 65 (図 15)**

溝状土坑 2 を切る。長軸 44cm ・短軸 (32) cm ・深さ 13cm を測り、円形を呈する。遺構覆土は泥岩粒 ・炭化物を含む灰褐色弱粘質土。出土遺物はない。

・**ピット 70 (図 15)**

ピット 49 に切られる。長軸 39cm ・短軸 37cm ・深さ 38cm を測り、円形を呈する。遺構覆土は泥岩粒 ・泥岩を含む暗灰色弱粘質土。遺物はかわらけ、常滑甕が破片で出土している

・**第 1 面面上出土遺物 (図 17)**

第 1 面の遺構精査時に出土した遺物である。

1 ～ 10はかわらけ。11は青磁折腰皿 ・ 12は白磁印花文皿 ・ 13は褐釉壺 ・ 14は瀬戸器種不明 ・ 15は瀬戸折縁皿 ・ 16は瀬戸壺 ・ 17は瀬戸卸皿 ・ 18は瀬戸底卸目皿 ・ 19は瀬戸碗 ・ 20は瀬戸縁釉小皿 ・ 21 ～ 23は常滑片口鉢Ⅱ類 ・ 24 ・ 25は瓦器質火鉢 ・ 26は瓦転用品 ・ 27は石製品硯 ・ 28は滑石鍋転用品 ・ 29 ～ 31は鉄製品釘 ・ 32は須恵器甕転用品。

・**第 1 面構成土出土遺物 (図 18 ～ 図 19)**

第 1 面検出後、第 2 面掘り下げ時に出土した遺物である。

1 ～ 35はかわらけ ・ 36は白かわらけ ・ 37は青磁鎬蓮弁文碗 ・ 38は青磁皿 ・ 39 ～ 40は青磁折縁鉢 ・

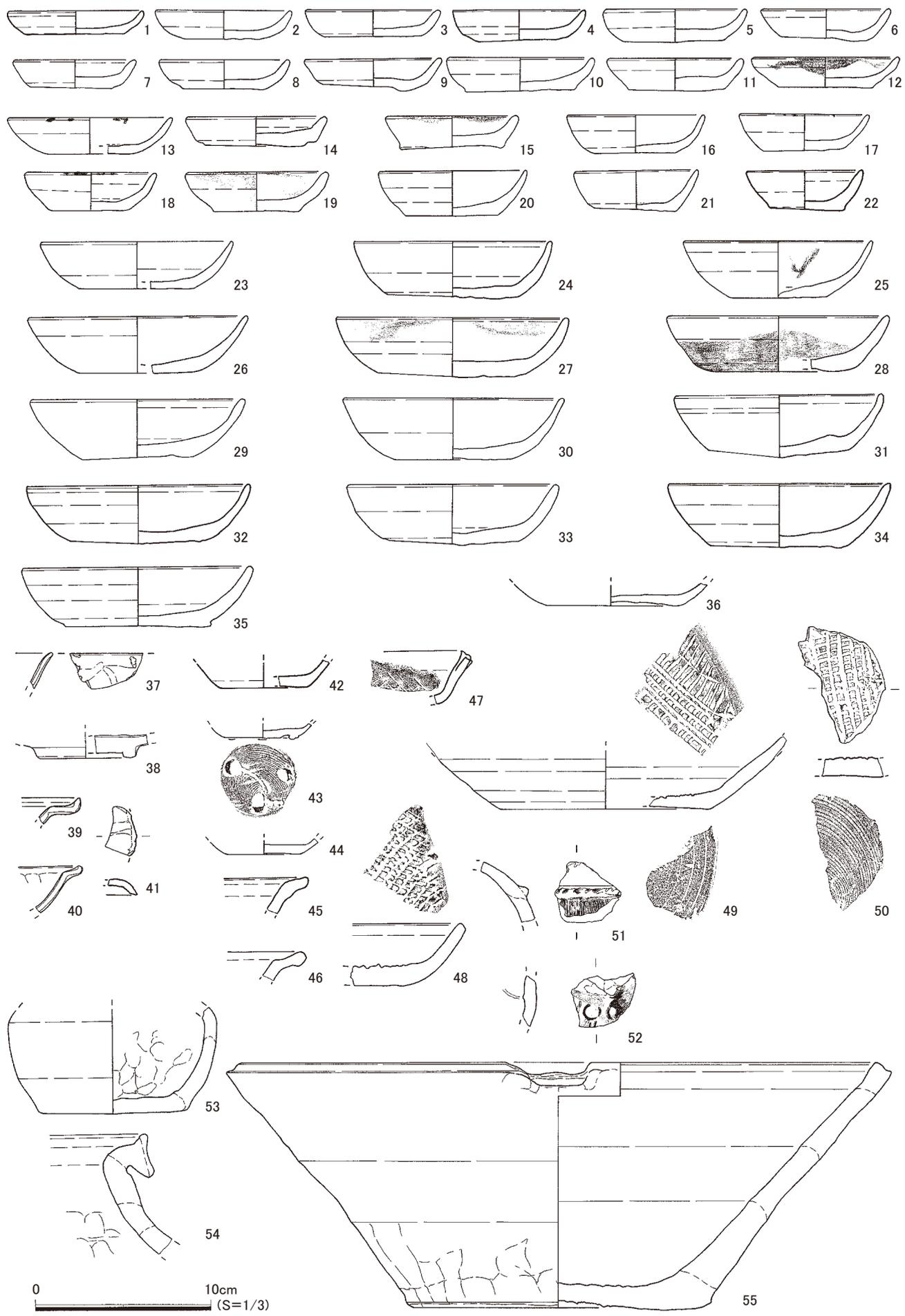


图 18 第 1 面構成土出土遺物 (1)

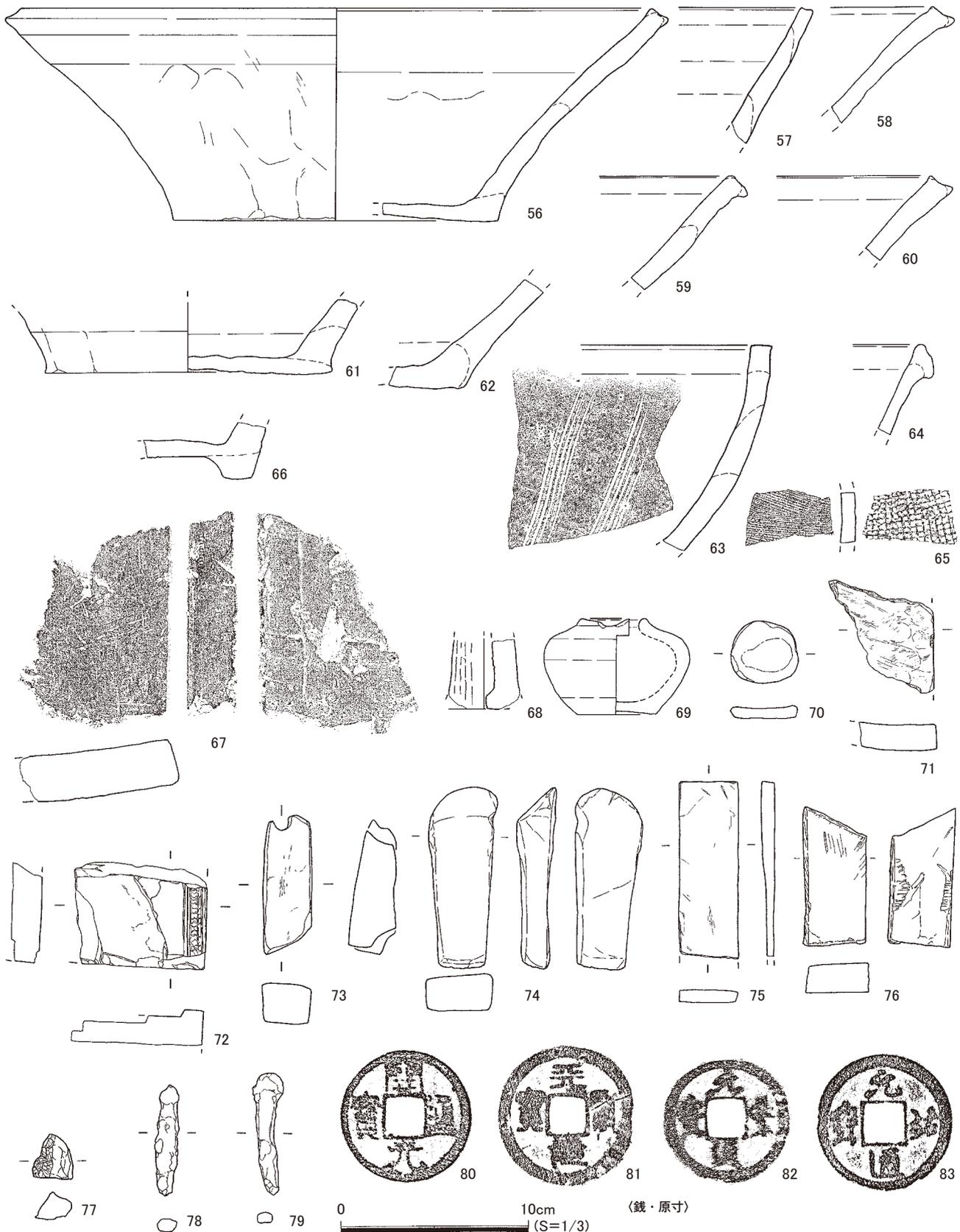


図19 第1面構成土出土遺物(2)

41は青白磁合子蓋・42～44は瀬戸入子・45～46は瀬戸折縁皿・47～50は瀬戸卸皿・51は瀬戸壺・52は瀬戸水注・53は常滑壺・54は常滑甕・55～62は常滑片口鉢Ⅱ類・63は備前播鉢・64は東幡系鉢・65は亀山甕・66は瓦器質火鉢・67は平瓦・68は瓦器質燭台の脚・69は土器質壺・70はかわらけ転用品・

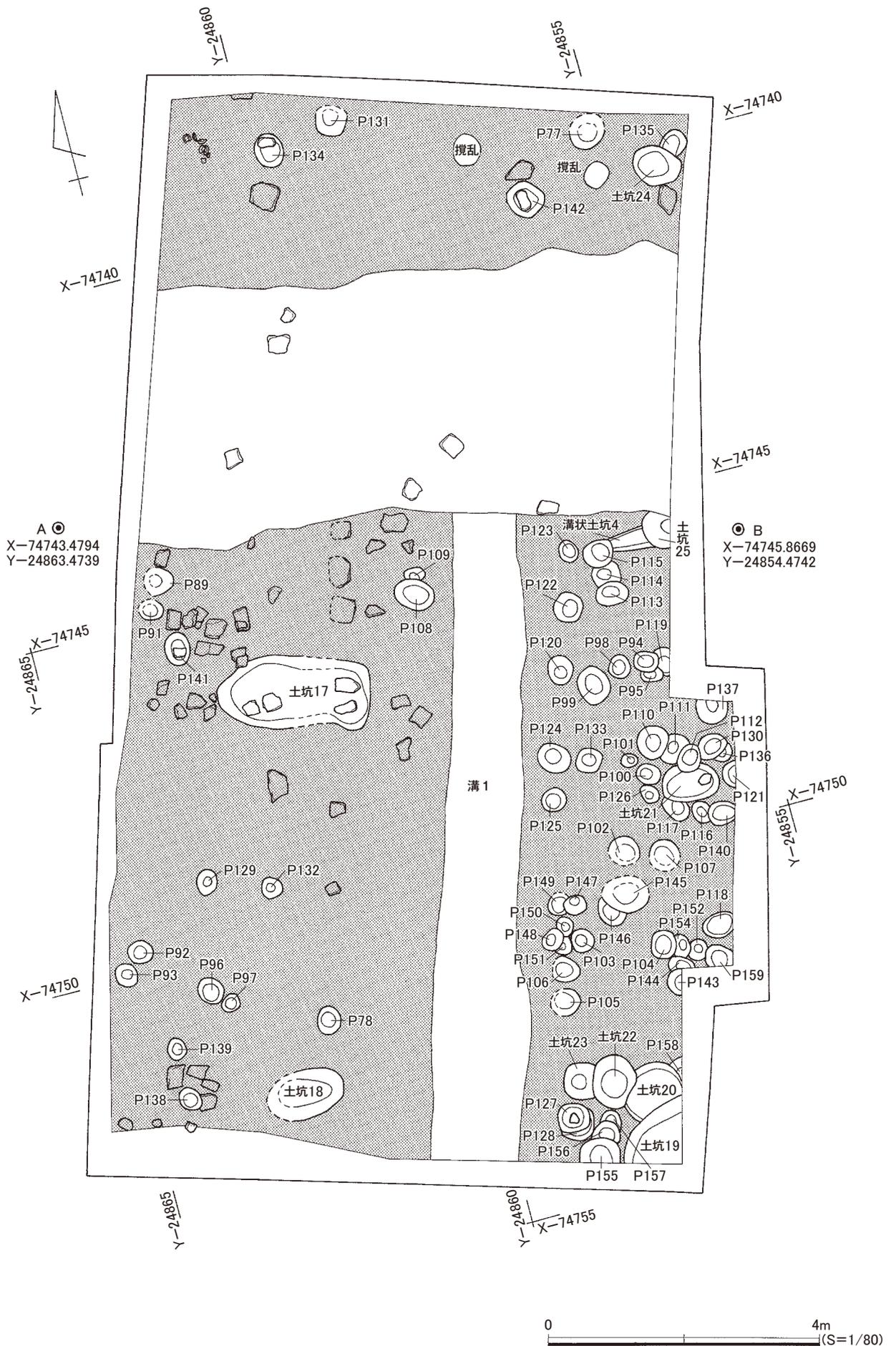


図20 第2面全測図

71は滑石製鍋転用品・72は石製品硯・73～76は石製品砥石・77はチャート・78～79は鉄製品釘・80～83は銭。

2. 第2面の遺構と遺物 (図20～図24)

第2面は泥岩粒・泥岩を含む堅く締まった地業層上で検出したが、大型の不整形な泥岩が地業土に多く混入し、やや雑な印象を受ける。発見した遺構は溝状土坑1基・土坑9基・ピット69穴である。検出したピットの多くは、第1面で検出した南北に走る溝1の東側に集中する。また、地業の様相は第1面同様に溝1の東側はかわらけ細片を地業層内に多く含み、西側は薄い炭化物層が地業全体に広がり、やや大型の不整形な泥岩が地業層上に散逸する粗い地業であった。出土遺物はかわらけ(ロクロ成形・手づくね成形)をはじめ、白磁、青白磁、瀬戸、常滑、渥美、山茶碗、瓦、石製品(砥石・硯)、鉄製品、銭が見られた。第2面確認レベルは海拔約13.60mである。

・溝状土坑4 (図22)

土坑25、ピット115に切られる。長軸(52)cm・短軸28cm・深さ18cmを測る。遺構覆土は泥岩粒・泥岩・炭化物少量を含む灰褐色弱粘質土。

・出土遺物 (図22)

1～2はかわらけ。

・土坑17 (図21)

第1面で検出した南北に走る溝1の西側で確認した遺構である。長軸247cm・短軸138cm・深さ10～15cmを測る。遺構覆土は泥岩粒・泥岩多量・炭化物多量を含む暗灰色弱粘質土。深度は浅い遺構であったが、覆土内にかわらけが大量に含まれ意図的にかわらけを廃棄したと思われる。

・出土遺物 (図21)

1～21はかわらけ・22は白磁壺・23～25は常滑片口鉢Ⅱ類・26はかわらけ転用品・27は鉄製品釘・28は銭。図示したかわらけは22点だが、その他に破片でかわらけ145個、瓦、骨(獣骨)、貝が出土している。

・土坑22 (図22)

長軸78cm・短軸58cm・深さ24cmを測り、楕円形を呈する。遺構覆土は泥岩粒多量・泥岩を含む暗灰色弱粘質土。

・出土遺物 (図22)

3～4はかわらけ。その他に破片で土器質火鉢が出土している。

・土坑24 (図22)

ピット109を切る。長軸64cm・短軸61cm・深さ17cmを測り、不正円形を呈する。遺構覆土は泥岩を含む灰褐色弱粘質土。

・出土遺物 (図22)

5は白磁壺。その他に破片でかわらけが出土している。

・ピット71 (図20)

遺構プランのみの確認であり、個別に図示は出来なかったが、遺構底面に安山岩を3個積み重ねた状態を確認している。検出状況から第2面より上層の遺構であった可能性がある。出土遺物はない。

・ピット106 (図22)

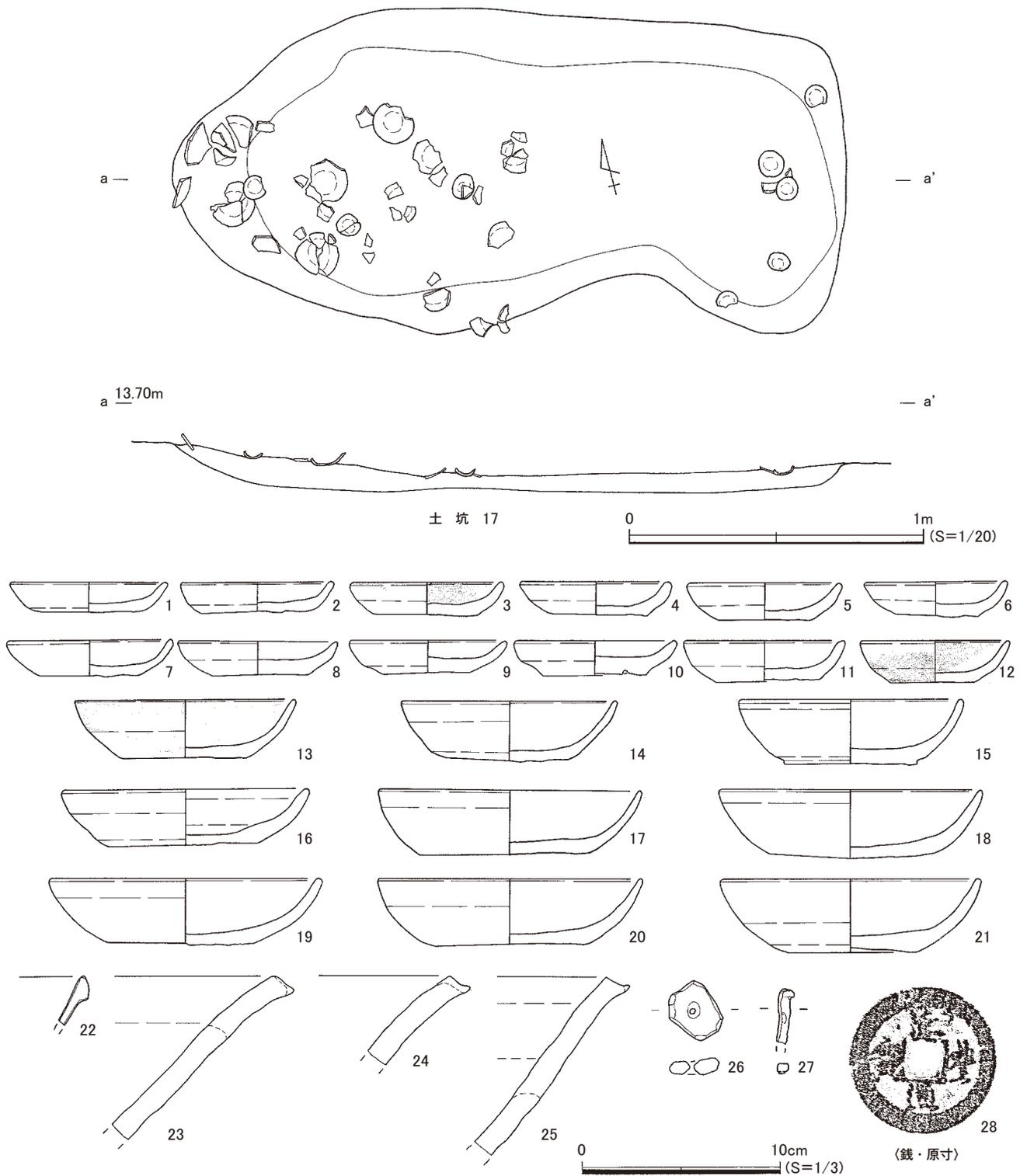


図21 第2面・土坑17・出土遺物

長軸(37)cm・短軸30cm・深さ19cmを測り、円形を呈する。遺構覆土は炭化物を多く含む灰褐色弱粘質土。

・出土遺物(図22)

6～7はかわらけ。

・ピット109(図22)

土坑24に切られる。長軸31cm・短軸(17)センチ・深さ7cmを測り、円形を呈する。遺構覆土は泥岩粒・泥岩を含む暗灰色弱粘質土。出土遺物はない。

・ピット122(図22)

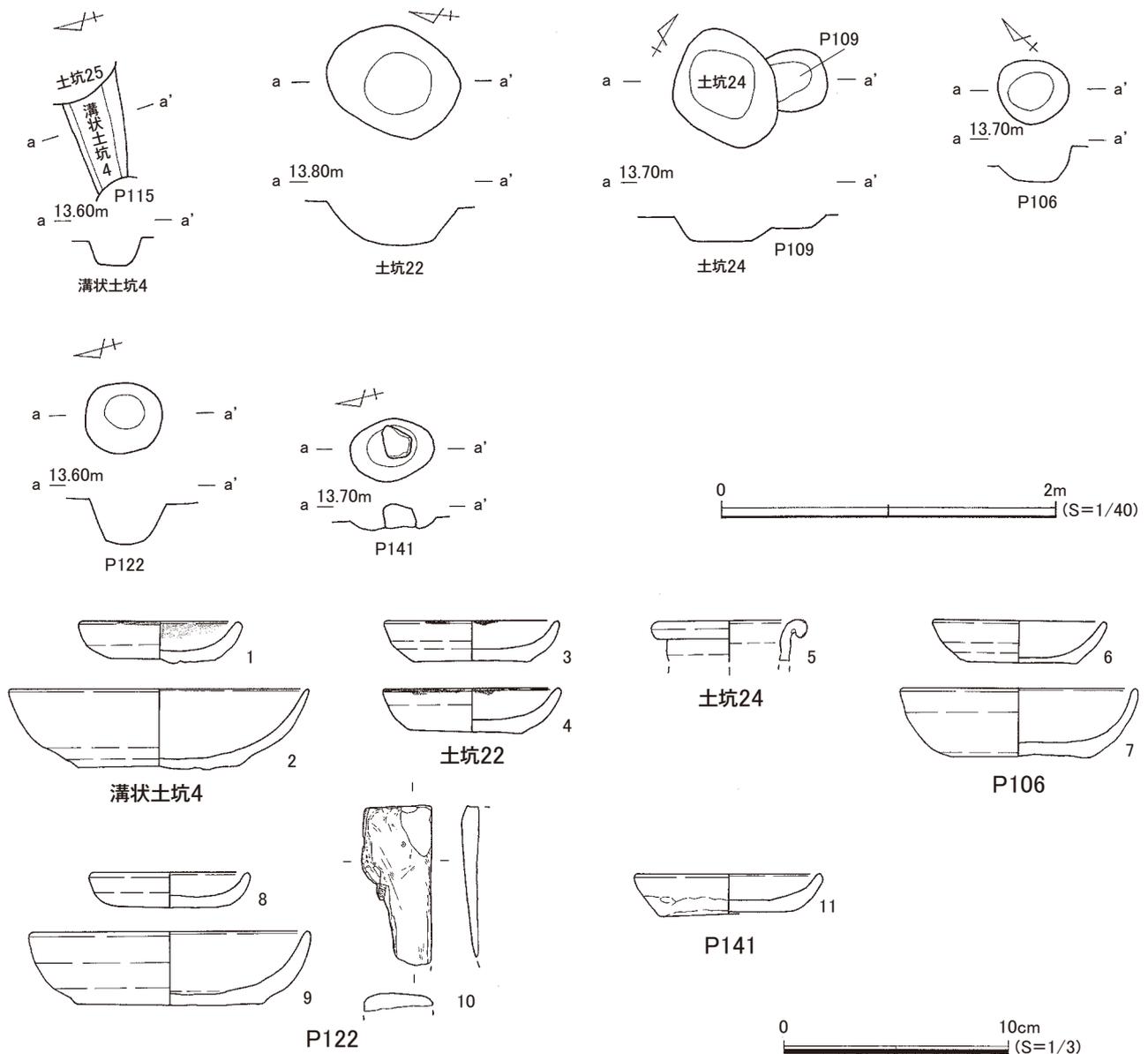


図22 第2面・個別遺構図・出土遺物

長軸44cm・短軸40cm・深さ11cmを測り、円形を呈する。遺構覆土は大型泥岩を含む暗灰色弱粘質土。

・出土遺物(図22)

8～9はかわらけ・10は石製品砥石。

・ピット141(図22)

長軸50cm・短軸37cm・深さ7cmを測り、円形を呈する。遺構覆土は炭化物を多く含む暗灰色弱粘質土。遺構底部には不整形ではあったが砂質凝灰岩が遺存していた。

・出土遺物(図22)

11はかわらけ。その他に破片で常滑甕が出土している。

・第2面面上出土遺物(図23)

第2面精査時に出土した遺物である。

1～12はかわらけ・13は瀬戸皿・14は常滑壺・15は常滑片口鉢Ⅱ類・16～17は銭。

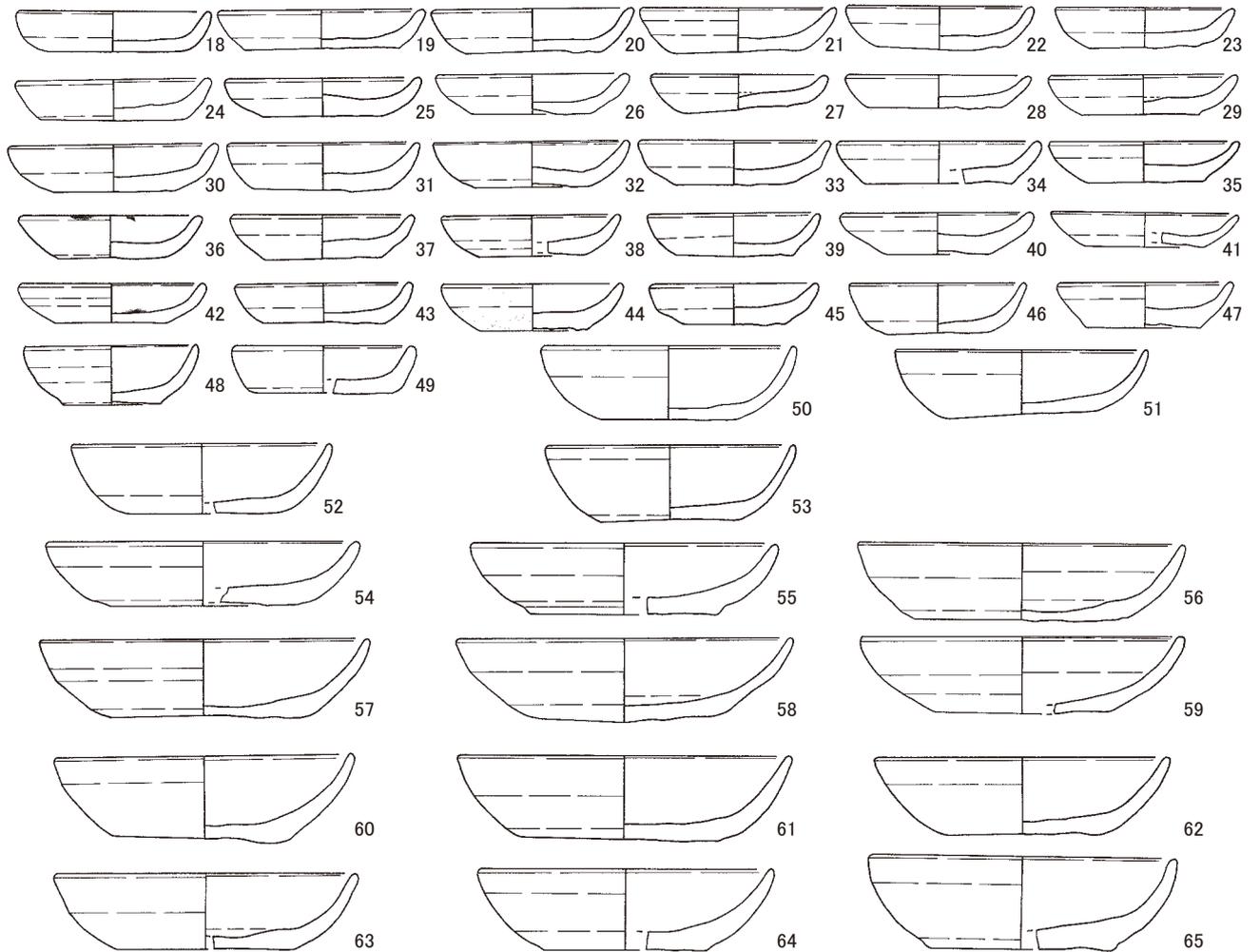
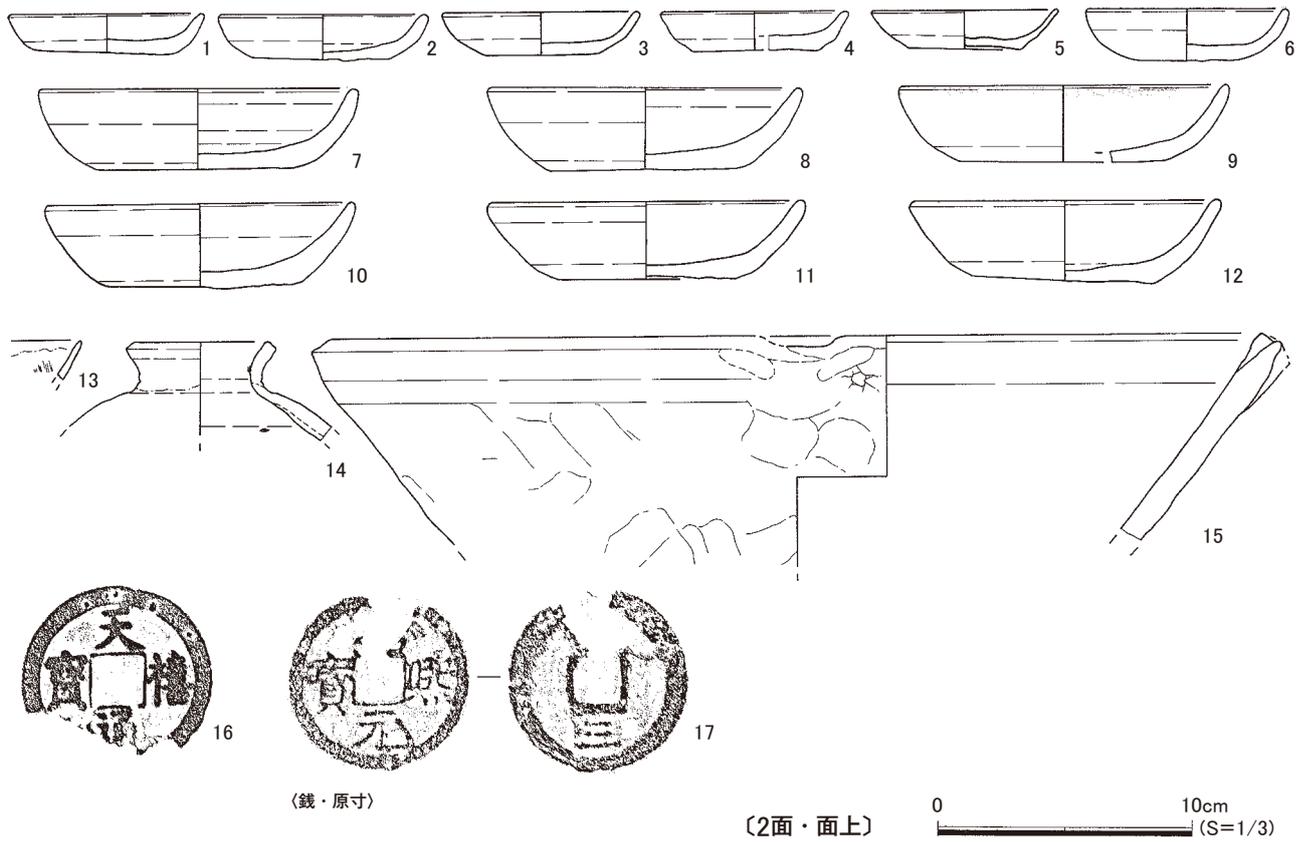


図23 第2面面上・構成土出土遺物(1)

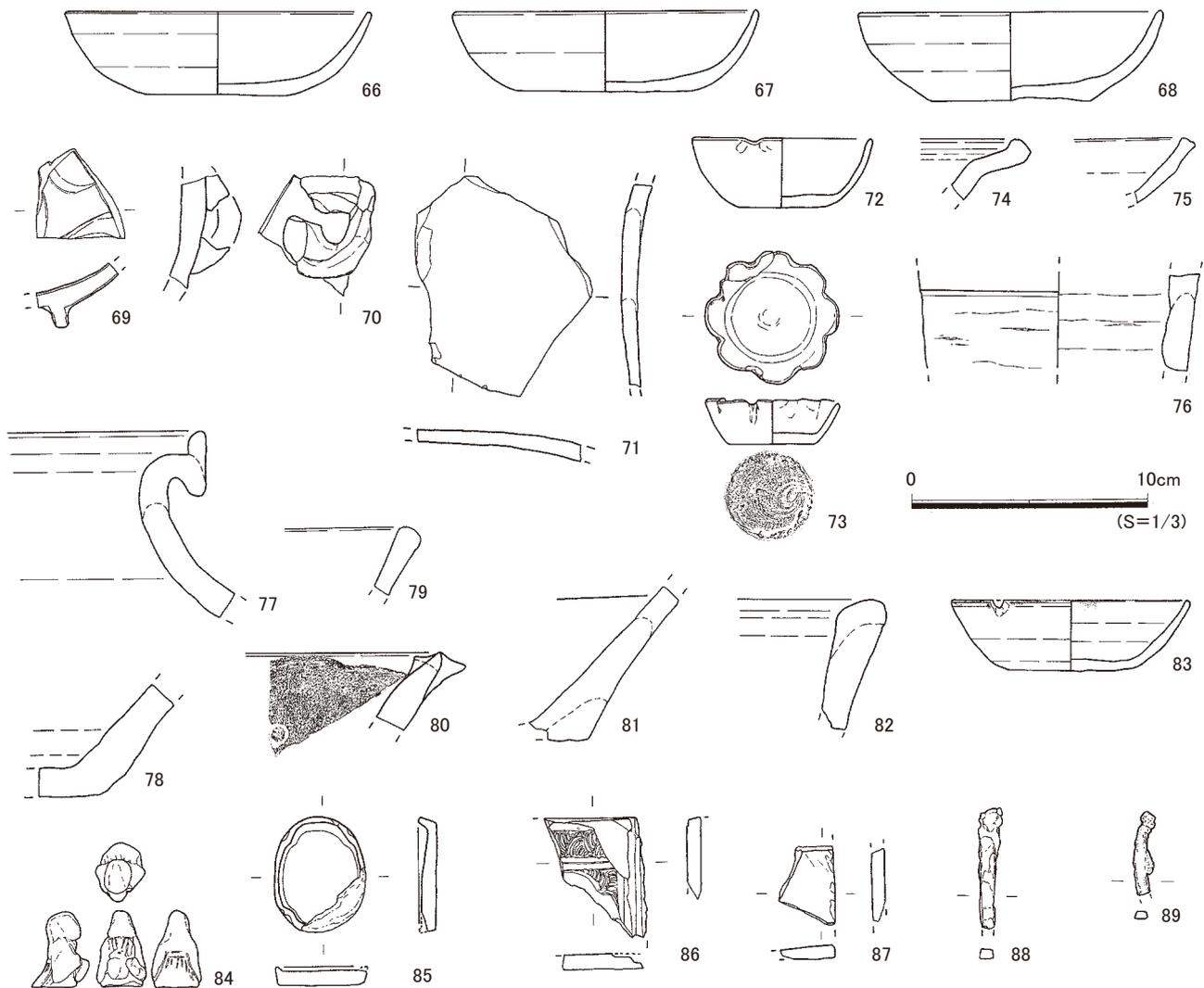


図24 第2面構成土出土遺物(2)

・第2面構成土出土遺物(図23・図24)

第2面検出後、第3面掘り下げ時に出土した遺物である。

1～68はかわらけ・69は青磁櫛搔文碗・70～71は褐釉壺、70は壺の耳環部分・72・73は瀬戸入子・74は瀬戸折縁皿・75は瀬戸卸皿・76は瀬戸瓶子・77は常滑甕・78は常滑片口鉢Ⅰ類・79～81は常滑片口鉢Ⅱ類・82は土器質火鉢・83はかわらけ・84は土製品、人形・85～86は石製品硯・87は石製品砥石・88～89は鉄製品釘。

3. 第3面の遺構と遺物(図25～図32)

第3面は泥岩粒・泥岩と共に炭化物を多く含む地業層上で検出した。発見した遺構は溝状1条・かわらけ集中出土1基・土坑9基・ピット40穴である。検出したピットの多くは、第2面同様に南北に走る溝1の東側に集中する。地業の様相も第1面・第2面と同じく溝1の西側は薄い炭化物層が地業土全体に広がり、一部約20cmの厚さで炭化物が厚く堆積する範囲を確認している。溝1の東側は西側に比べて地業層内に炭化物の混入が少なく、地業土も西側に比べて泥岩細片を使った丁寧な地業であった。出土遺物はかわらけ(ロクロ成形・手づくね成形)をはじめ、白磁、青白磁、瀬戸、常滑、渥美、山茶

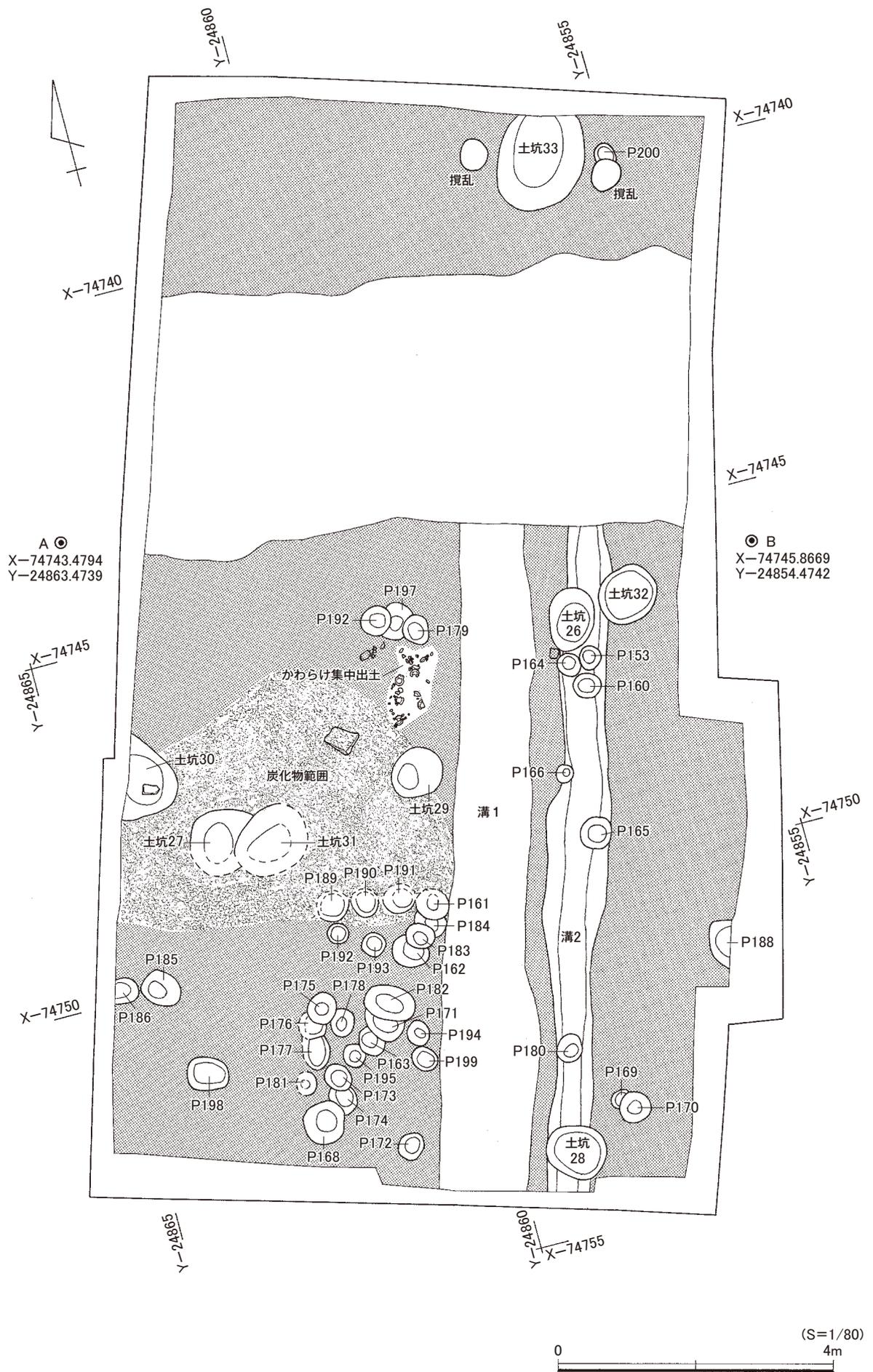


図25 第3面全測図

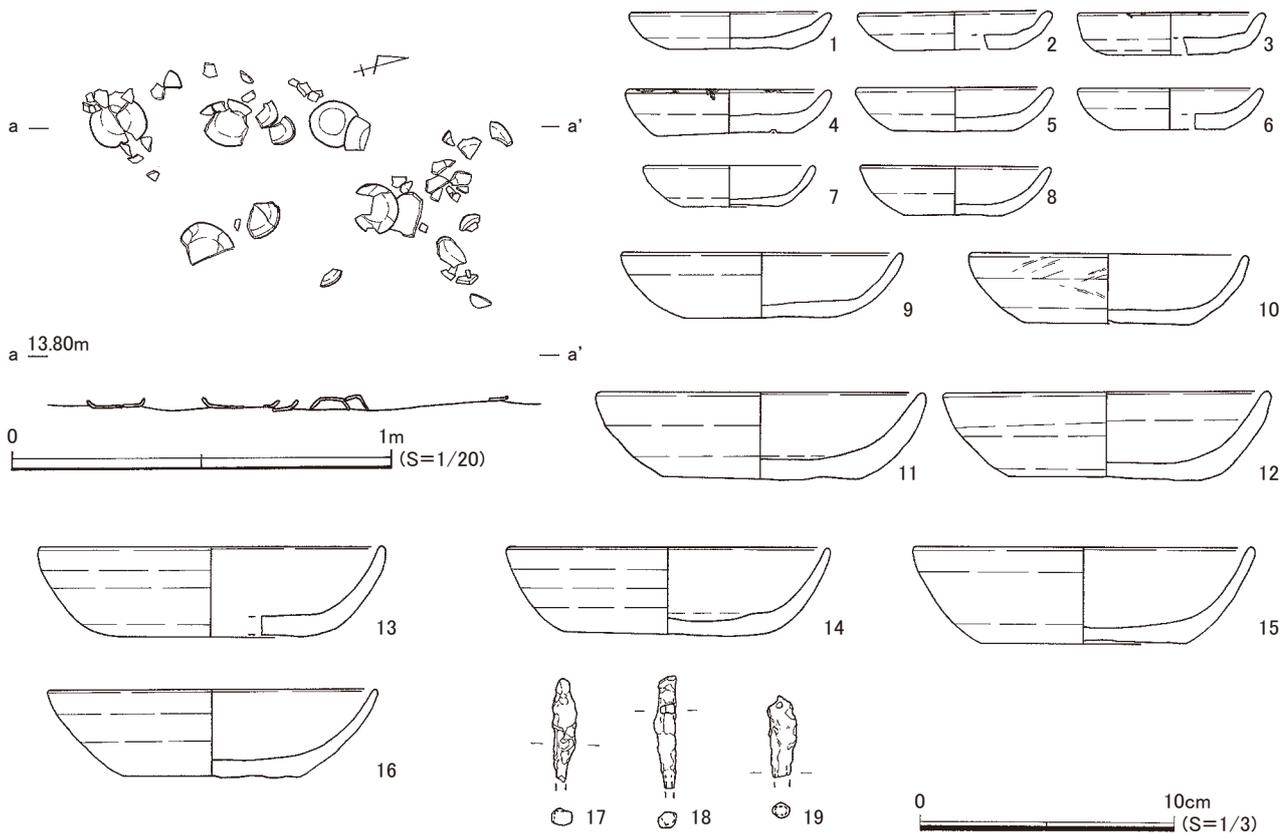


図26 第3面・かわらけ集中出土遺構・出土遺物

碗、瓦、石製品(砥石・硯)、鉄製品、銭が見られた。また、かわらけは破片ではあるが面上から1480個、構成土からは1366個が出土しており、地業土上あるいは、地業層内に数多くのかわらけが見えた。第3面確認レベルは海拔約13.40mである。

・かわらけ集中出土遺構(図26)

第2面で確認した溝1西側の地業層上で検出した遺構である。地業の一環であった可能性もあるが、調査過程でかわらけが第2面地業層を掘りこむ形で集中的に出土したため、遺構として報告している。遺構南に広がる厚く炭化物が堆積する土層同様に、この遺構も多量の炭化物・泥岩粒と一緒にかわらけが出土している。

・出土遺物(図26)

1～16はかわらけ。17～19は鉄製品釘。図示したかわらけは大・小合わせて16点だが、その他に破片で150個のかわらけが出土している。

・土坑26(図27)

溝2を切る。89cm・短軸65cm・深さ11cmを測り、楕円形を呈する。遺構覆土は泥岩粒を含む暗灰色弱粘質土。

・出土遺物(図27)

1～3はかわらけ。

土坑29(図27)

長軸77cm・短軸71cm・深さ23cmを測り、円形を呈する。遺構覆土は泥岩粒・泥岩・炭化物を含む暗灰色弱粘質土。

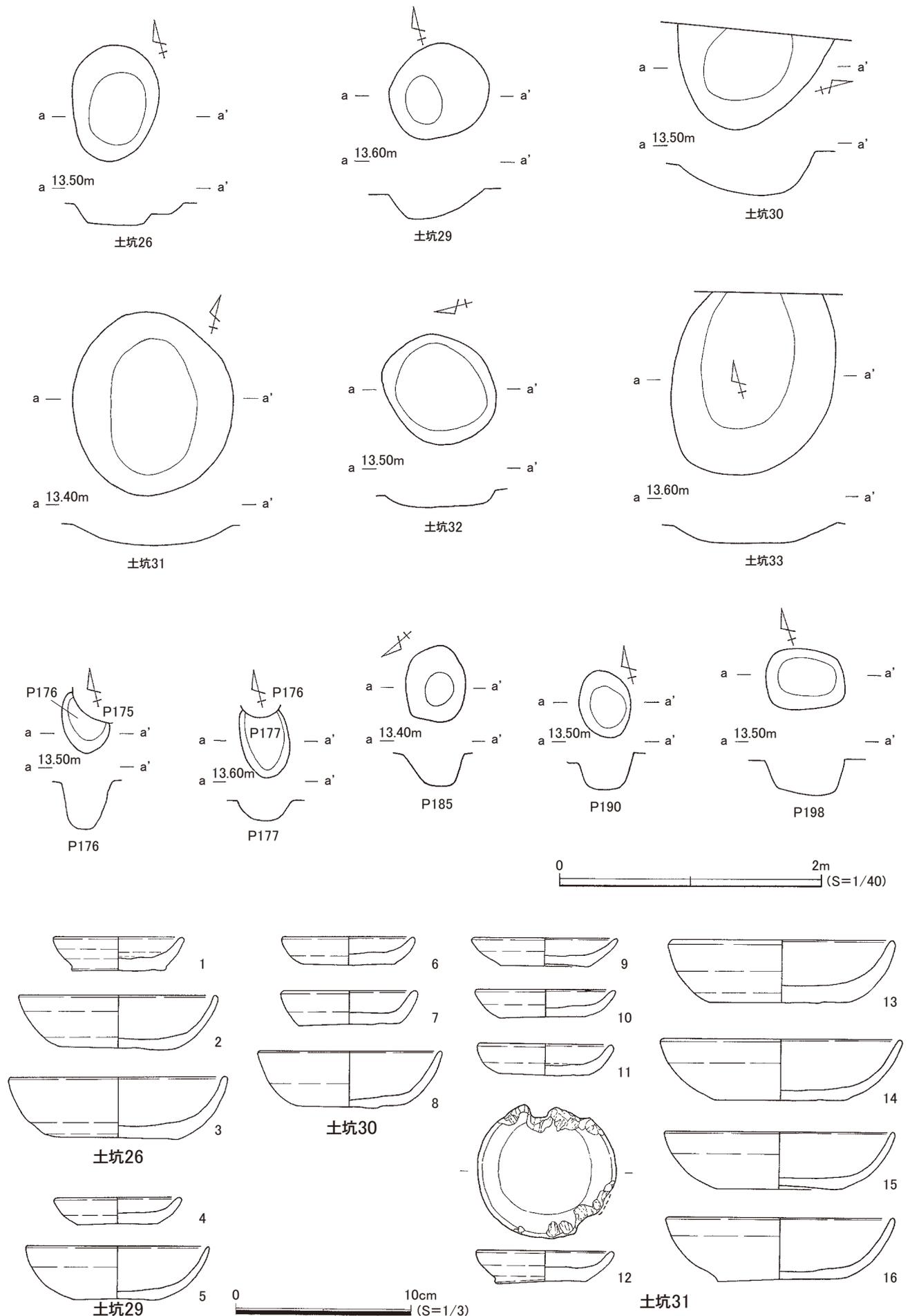
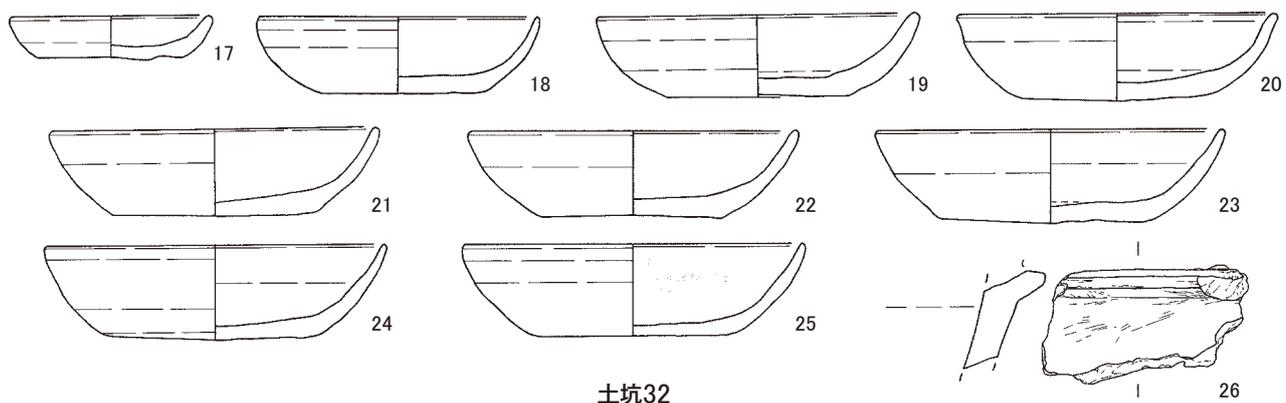
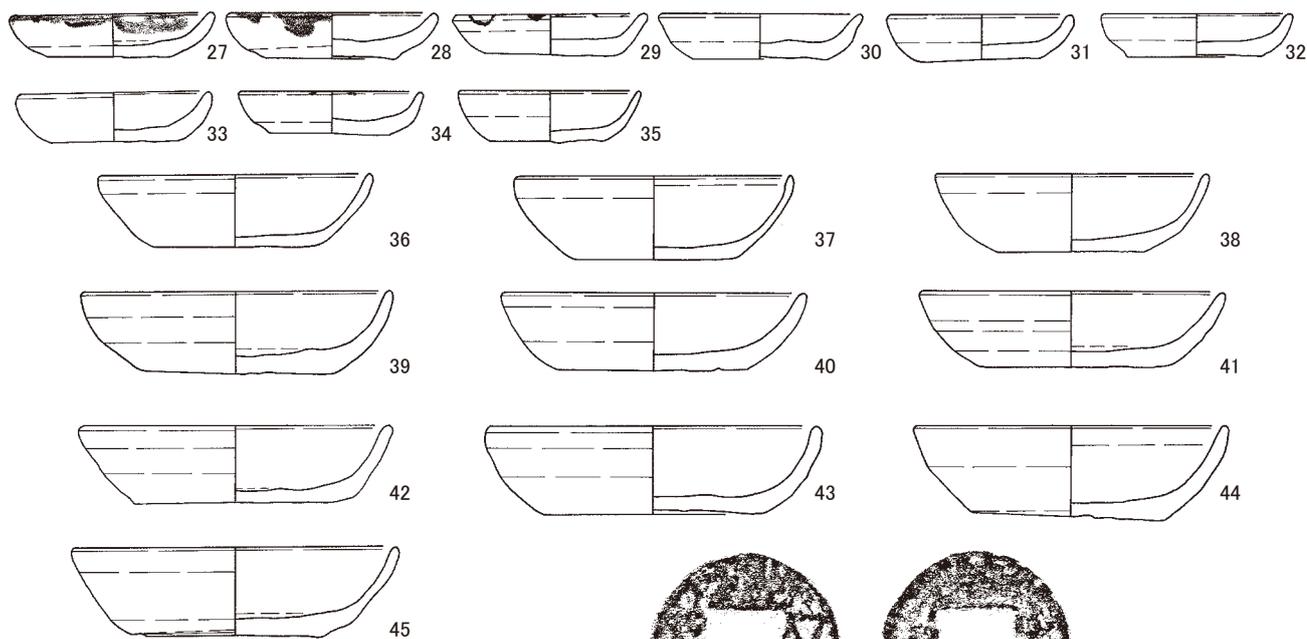


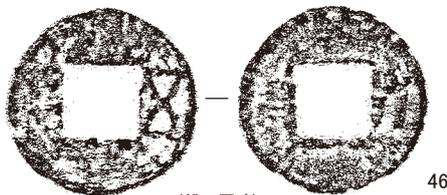
图27 第3面·个别遺構図·出土遺物(1)



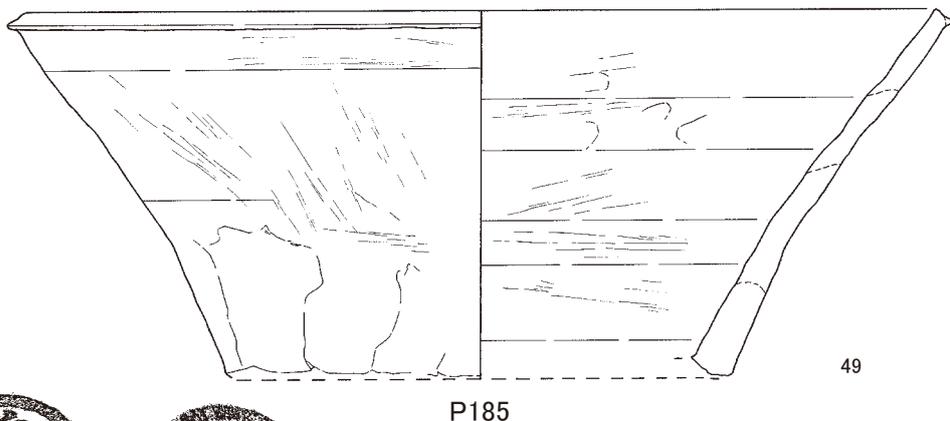
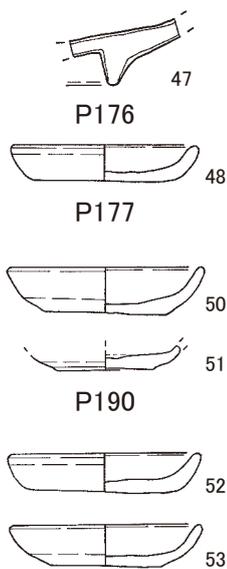
土坑32



土坑33



〈錢·原寸〉



P198

〈錢·原寸〉

0 10cm (S=1/3)

图28 第3面·個別遺構出土遺物(2)

・ **出土遺物 (図27)**

・ 4～5はかわらけ。その他に破片で青磁器種不明が出土している。

土坑30 (図27)

調査区外に遺構が延びてしまい規模は不明。長軸120cm・短軸(70)cm・深さ20cmを測る。遺構覆土は泥岩粒・多量の炭化物を含む暗茶色弱粘質土。

・ **出土遺物 (図27)**

6～8はかわらけ。その他に破片で常滑甕が出土している。

・ **土坑31 (図27)**

土坑27を切る。長軸(70)cm・短軸(60)cm・深さ10cmを測り、円形を呈する。遺構覆土は泥岩粒・多量の炭化物を含む暗灰色弱粘質土。

・ **出土遺物 (図27)**

9～16はかわらけ。その他に破片で常滑甕が出土している。

・ **土坑32 (図27・図28)**

溝2を切る。長軸86cm・短軸78cm・深さ10cmを測り、円形を呈する。遺構覆土は泥岩粒・炭化物を含む暗灰色弱粘質土。

・ **出土遺物 (図28)**

17～25はかわらけ。26は滑石鍋。

・ **土坑33 (図27・図28)**

調査区外に遺構が延びているため規模は不明。長軸140cm・短軸(122)cm・深さ10cmを測る。遺構覆土は泥岩粒・多量の炭化物を含む暗灰色弱粘質土。

・ **出土遺物 (図28)**

27～45はかわらけ。46の銭は五銖銭、出土数の少ない類である。

・ **ピット176 (図27・図28)**

ピット175に切られピット177を切る。長軸(38)cm・短軸(20)cm・深さ38cmを測り、楕円形を呈する。遺構覆土は泥岩粒・泥岩・多量の炭化物を含む暗茶灰色弱粘質土。

・ **出土遺物 (図28)**

47は青磁鉢。

・ **ピット177 (図27・図28)**

ピット176に切られる。長軸(45)cm・短軸35cm・深さ25cmを測り、楕円形を呈する。遺構覆土は泥岩粒・泥岩・炭化物を含む暗茶灰色弱粘質土。

・ **出土遺物 (図28)**

48はかわらけ。その他に破片で常滑甕が出土している。

・ **ピット185 (図27・図28)**

長軸58cm・短軸48cm・深さ24cmを測り、楕円形を呈する。遺構覆土は泥岩粒・泥岩・多量の炭化物を含む灰色弱粘質土。

・ **出土遺物 (図28)**

49は常滑片口鉢Ⅱ類。その他に破片でかわらけが出土している。

・ **ピット190 (図27・図28)**

長軸40cm・短軸25cm・深さ24を測り、楕円形を呈する。遺構覆土は泥岩粒・多量の炭化物を含む暗

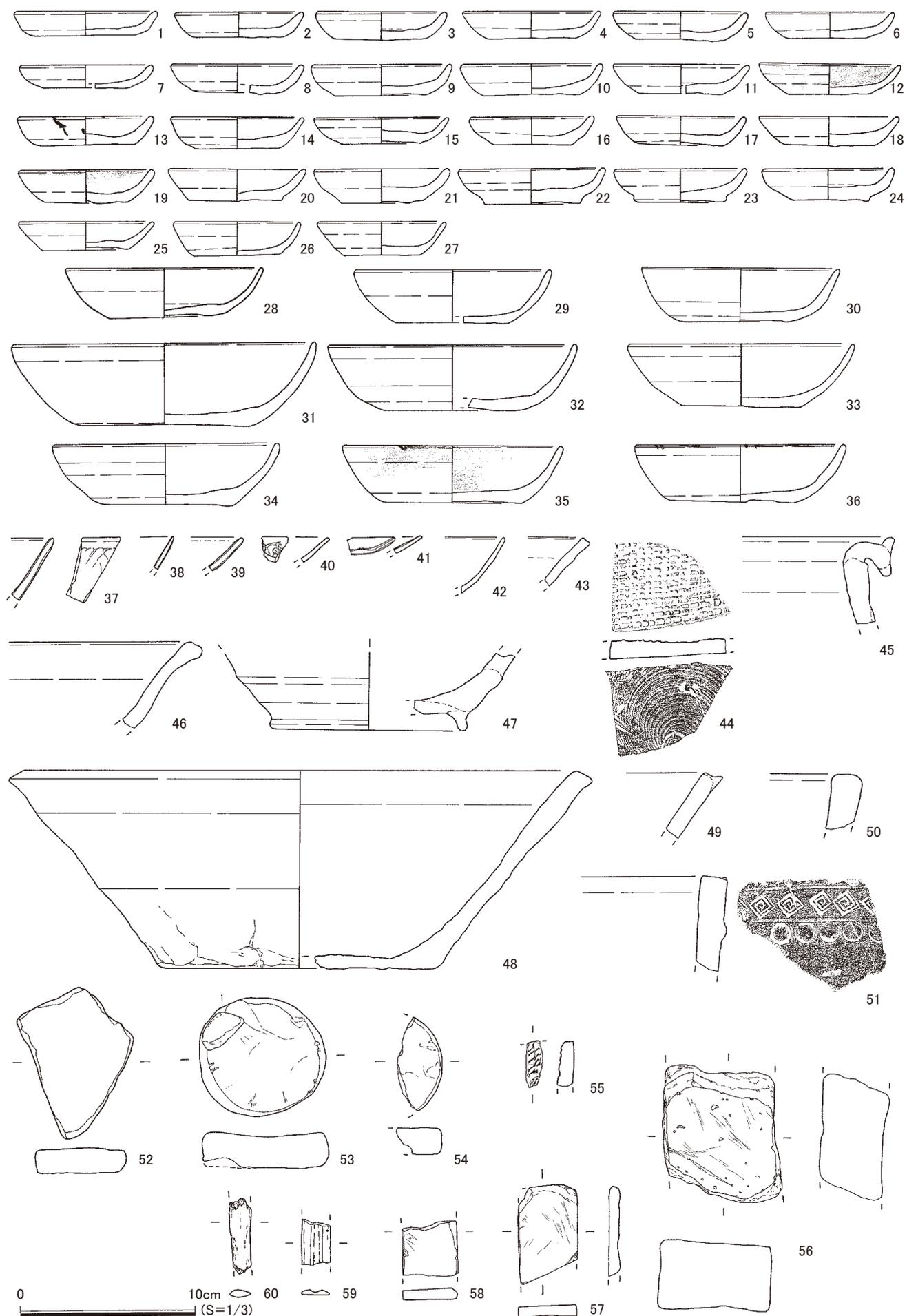
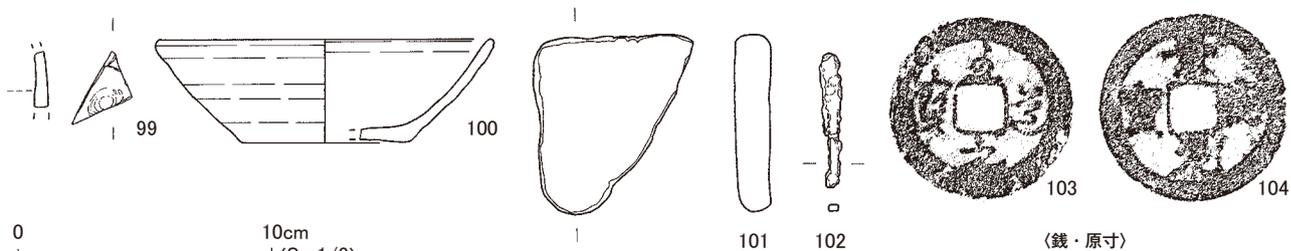
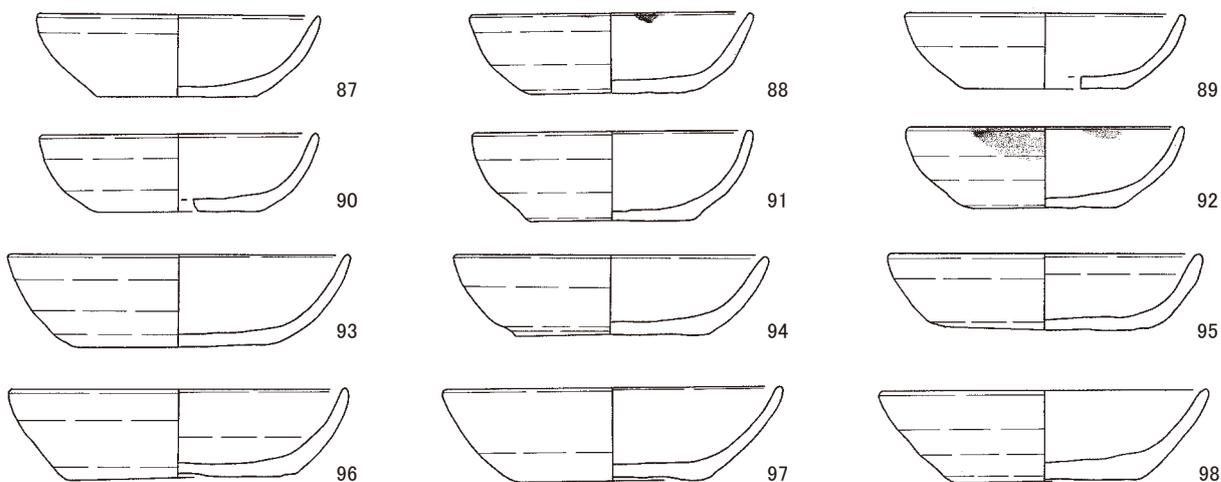
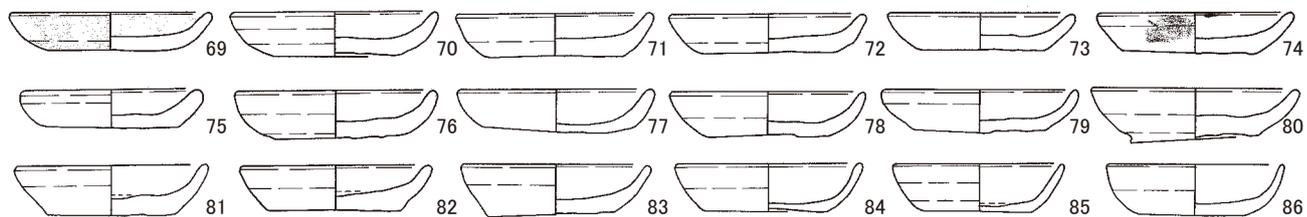
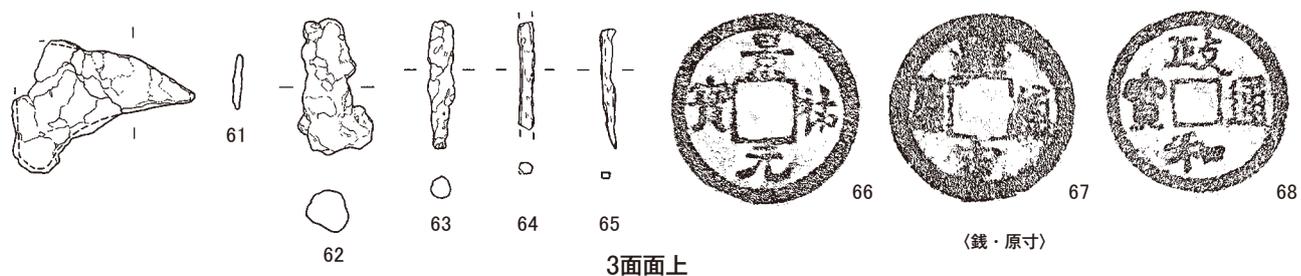


图29 第3面·面上出土遺物(1)



炭化物層

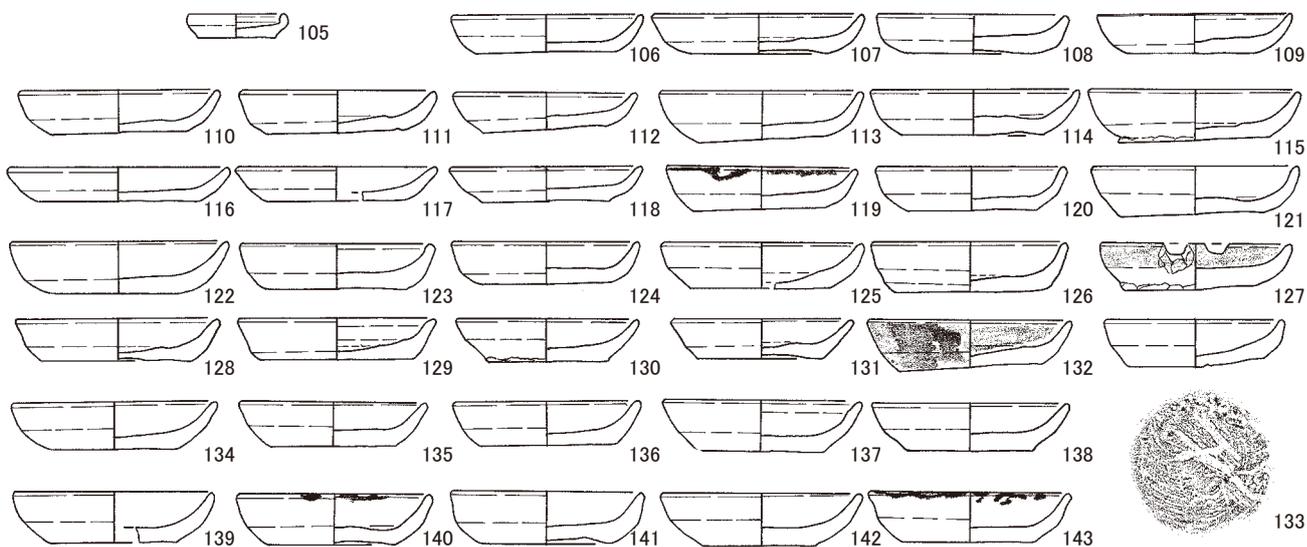


図30 第3面面上出土(2)・炭化物層・第3面構成土(1)・出土遺物

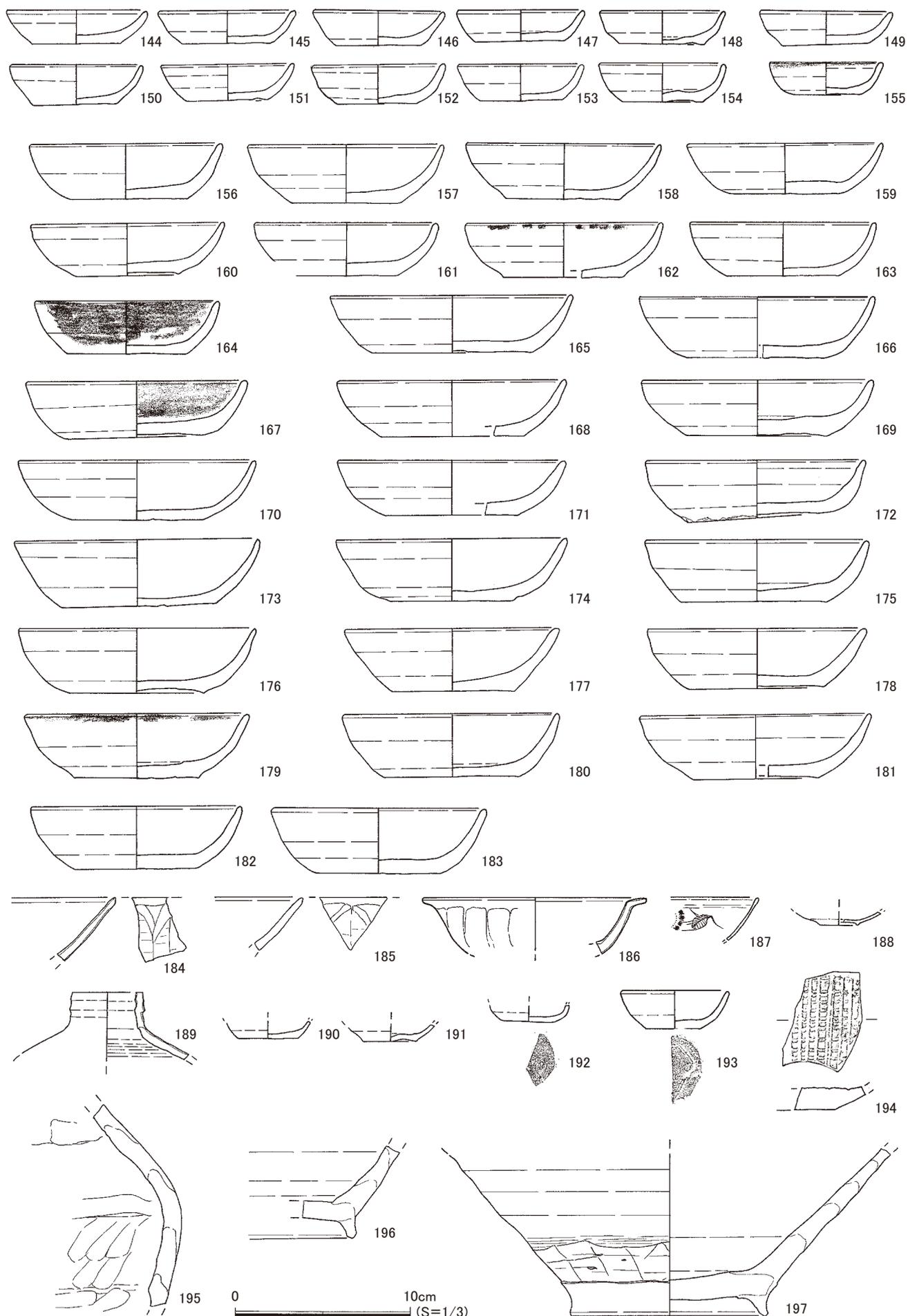


图31 第3面構成土出土遺物(2)

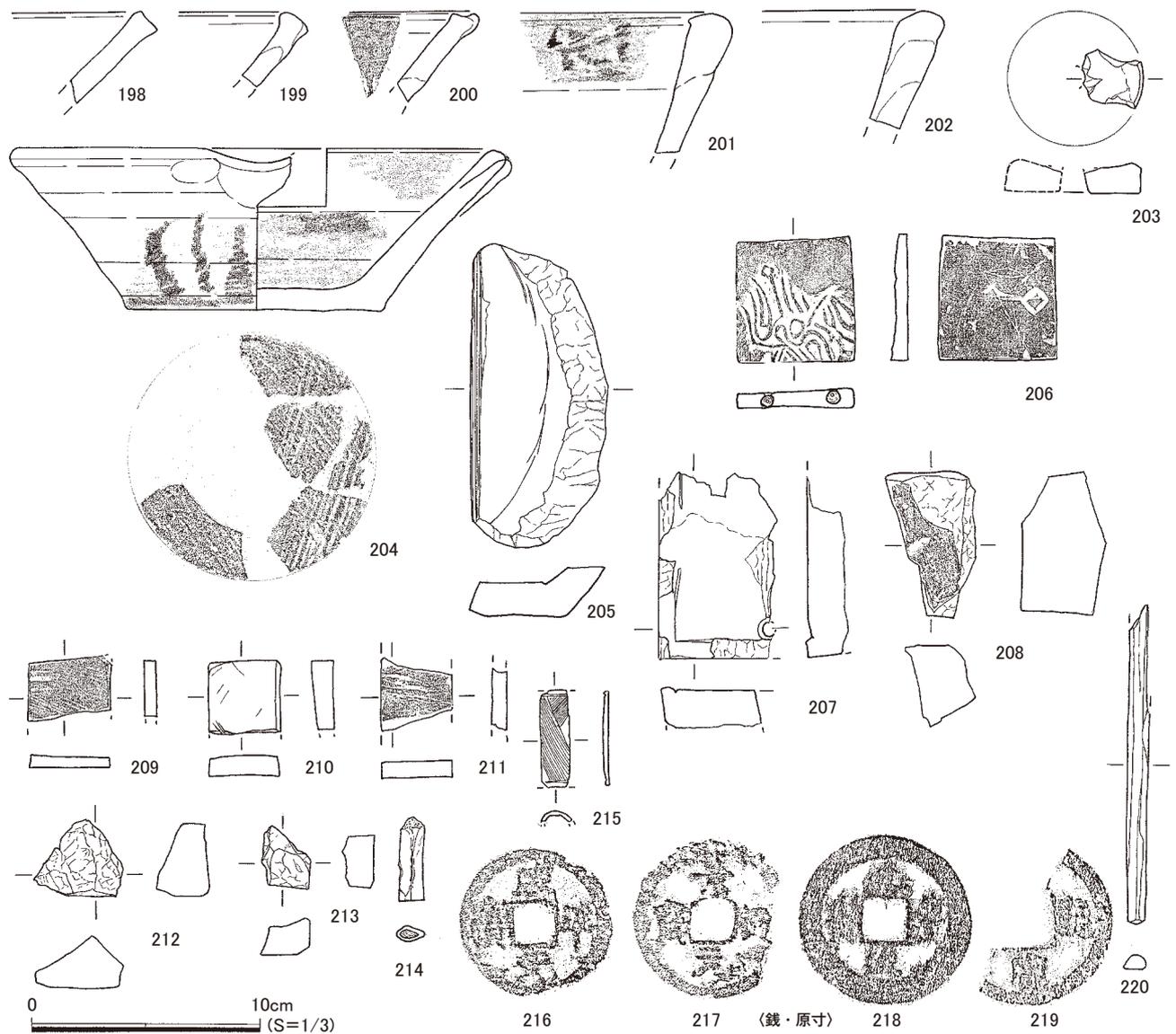


図32 第3面構成土出土遺物(3)

灰色弱粘質土。

・出土遺物(図28)

50はかわらけ・51は瀬戸入子。

・ピット198(図27・図28)

長軸62cm・短軸47cm・深さ32cmを測り、楕円形を呈する。遺構覆土は泥岩粒・泥岩・多量の炭化物を含む茶灰色弱粘質土。

・出土遺物(図28)

52～53はかわらけ・54～55は銭。その他に破片で常滑甕・鉄製品釘が出土している。

・第3面面上出土遺物(図29・図30)

第3面精査時に出土した遺物である。

1～36はかわらけ・37は青磁鎬蓮弁文碗・38は白磁碗・39は白磁口元皿・40は白磁皿・41は青白磁皿・42は瀬戸入子・43～44は瀬戸卸皿・45は常滑甕・46～47は常滑片口鉢Ⅰ類・48～49は常滑片口鉢Ⅱ類・50は土器質火鉢・51は瓦器質火鉢・52は常滑甕転用品・53は泥岩加工品・54は円盤状土製品・55は滑

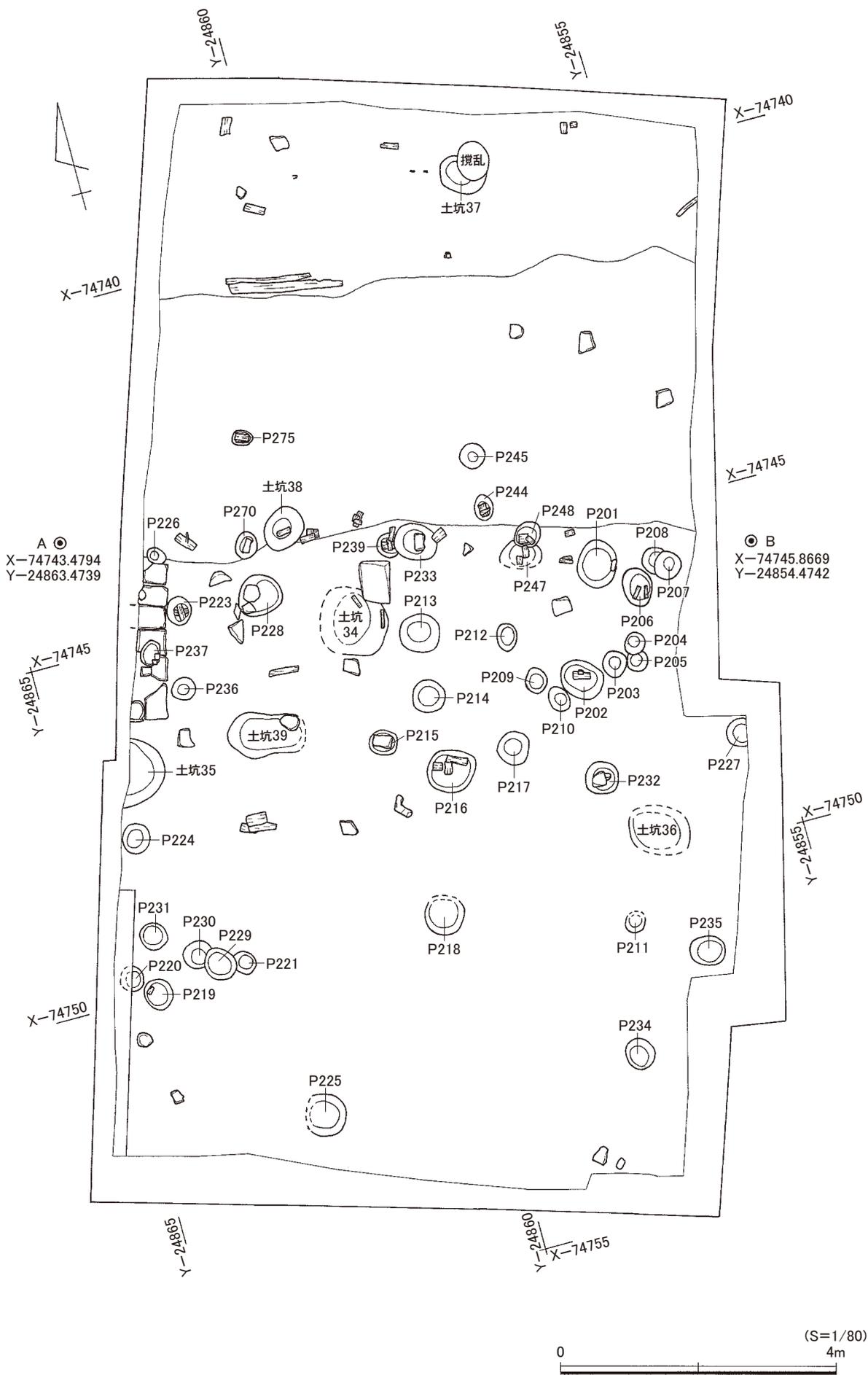


图 33 第 4 面全测图

石製スタンプ片・56～58は石製品砥石・59～60は骨製品・61～65は鉄製品、61は腐食しており製品不明、62～65は釘・66～68は銭。

・第3面炭化物層出土遺物（図25・図30）

第3面面上東側で部分的にはあるが、約20cmの深さをもつ炭化物の厚い堆積層が、約4.8m～3.0mの範囲で広がることを確認した。地業の一環の可能性もあるが、地業層上でこの範囲に集中的に炭化物が堆積していたことから、第3面面上出土遺物と分けて図示した。

69～98はかわらけ・99は青白磁梅瓶・100は山茶碗・101は常滑甕転用品・102は鉄製品釘・103～104は銭。図示したかわらけは30点だが、その他に破片でかわらけが大・小合わせて367個と数多く出土し、常滑甕・常滑片口鉢Ⅰ類・常滑片口鉢Ⅱ類が数点出土している。

・第3面構成土出土遺物（図30～図32）

第3面検出後、第4面掘り下げ時に出土した遺物である。

105～183はかわらけ・184～185は青磁碗・186は青磁鉢・187は白磁口元碗・188は白磁皿・189は青白磁梅瓶・190～193は瀬戸入子・194は瀬戸卸皿・195は常滑甕・196～197は常滑片口鉢Ⅰ類・198～200は常滑片口鉢Ⅱ類・201～202は土器質火鉢・203はかわらけ質円盤・204は土器質片口鉢・205は滑石鍋転用途中・206は滑石製スタンプ・207は石製品硯・208～211は石製品砥石・212～213はチャート・214は加工痕の残る骨・215は骨製品、鞍あるいは化粧刷毛の軸か・216～219は銭・220は串状木製品。

4. 第4面の遺構と遺物（図33～図44）

第4面は少量の泥岩粒・炭化物を含む灰褐色弱粘質土上で遺構を検出した。泥岩粒・泥岩と共に炭化物を含む堅く締まった地業土も部分的にはあるが確認している。発見した遺構は土坑5基・ピット41穴である。遺構内に礎板が遺存するピット、遺構を伴わない礎板状の木製品を面上に多く確認したが、建物址を推定することは出来なかった。また、調査区西壁中央辺で砂質凝灰岩の切り石が並び、石敷きの床を持つ方形建物建築址を想定して調査を進めたが、西壁の堆積土層図からも建物址の壁が立ち上がる事を確認できなかったため、全測図に位置を示すにとどまり、建物址としての報告をしていない。出土遺物はかわらけ（ロクロ成形・手づくね成形）をはじめ、青磁、白磁、青白磁、黄釉、褐釉、瀬戸、常滑、渥美、瓦、瓦器、火鉢、石製品（砥石・硯）、鉄製品、銭、木製品が見られた。第4面確認レベルは海拔約13.20mである。

・土坑34（図34・図35）

長軸103cm・短軸（53）cm・深さ8cmを測り、円形を呈する。土坑の肩に砂質凝灰岩の切り石が置かれたような状態で遺存していたが、土坑との関係は不明。遺構覆土はわずかに泥岩粒を含む暗茶褐色有機質土。遺構覆土からはトイレ遺構であった可能性も考えられる。

・出土遺物（図35）

1は杭、全体に焼痕が残る。その他に破片でかわらけが出土している。

・土坑36（図34・図35）

長軸（75）cm・短軸75cm・深さ7cmを測り、楕円形を呈する。遺構覆土は泥岩粒・泥岩・多量の炭

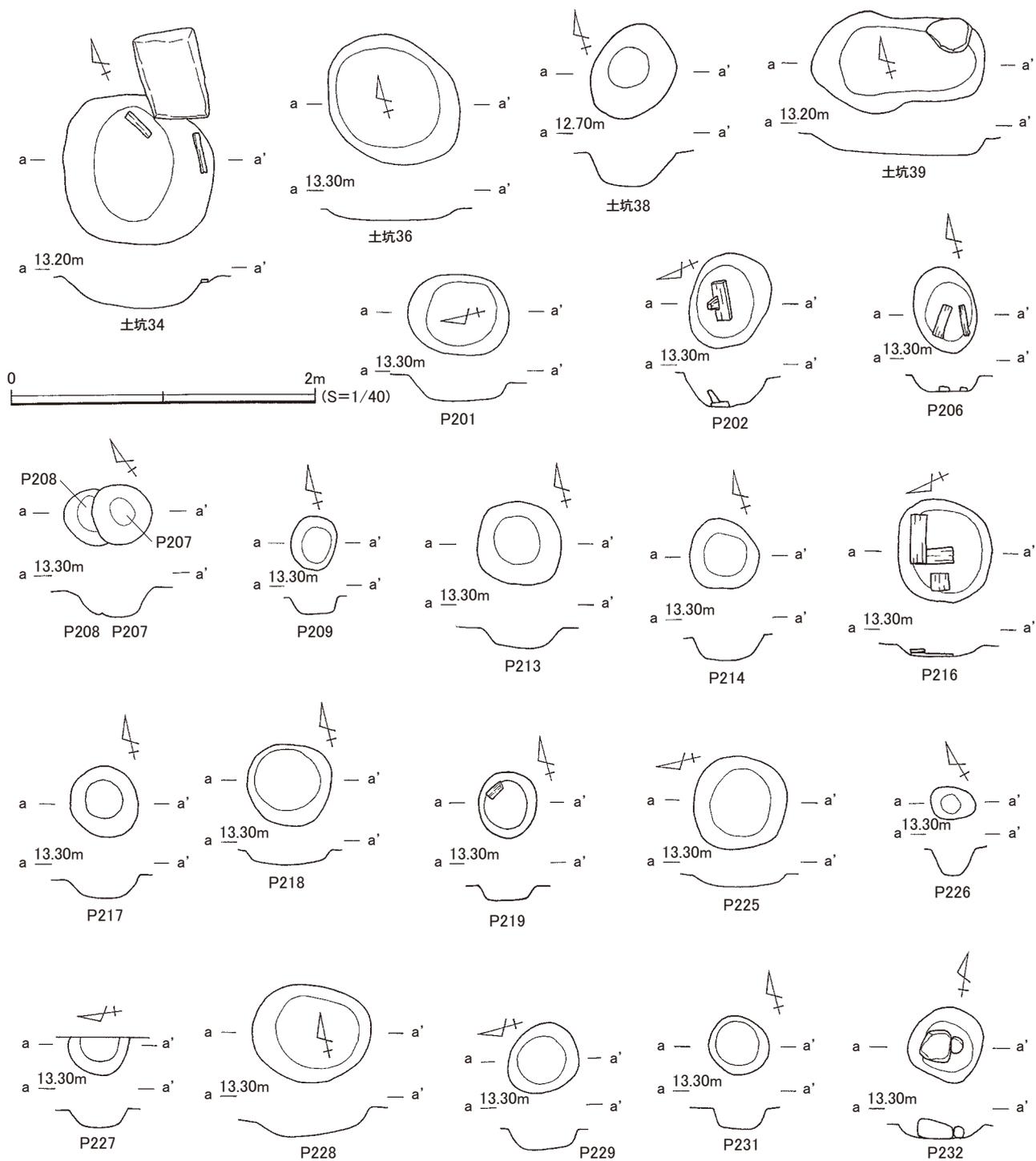


図34 第4面個別遺構図

化物を含む灰褐色弱粘質土。

・出土遺物 (図35)

2は手づくね成形白かわらけ・3は瀬戸壺。その他に破片でかわらけ・常滑甕が出土している。

・土坑38 (図34・図35)

長軸61cm・短軸54cm・深さ25cmを測り、楕円形を呈する。

・出土遺物 (図35)

4は木製品串状。

・土坑39 (図34・図35)

長軸(100) cm・短軸(65) cm・深さ7 cmを測り、楕円形を呈する。遺構覆土は炭化物・茶褐色有機質土を含む暗褐色弱粘質土。

・出土遺物(図35)

5は木製品、曲物の底板か。その他に破片でかわらけが出土している。

・ピット201 (図34・図35)

長軸65cm・短軸54cm・深さ11cm、楕円形を呈するピットである。遺構覆土は泥岩粒・泥岩・炭化物を含む暗灰色弱粘質土。

・出土遺物(図35)

6はかわらけ。その他に破片で常滑片口鉢I類が出土している。

・ピット202 (図34)

長軸65cm・短軸52cm・深さ18cmを測り、楕円形を呈する。遺構底面に礎板と柱が遺存していた。遺構覆土は泥岩粒・泥岩を含む暗灰色弱粘質土。図示できる遺物はなかったが、破片でかわらけが出土している。

・ピット206 (図34・図35)

長軸55cm・短軸39cm・深さ12cmを測り、楕円形を呈する。遺構底面に礎板が遺存していた。遺構覆土は泥岩粒・泥岩・炭化物を含む暗灰色弱粘質土。

・出土遺物(図35)

7はかわらけ。

・ピット207 (図34)

ピット208を切る。長軸40cm・短軸39cm・深さ20cmを測り、円形を呈する。遺構覆土は多量の泥岩粒・泥岩・微量の炭化物を含む暗灰色弱粘質土。図示できる遺物はなかったが、かわらけ・褐釉甕が破片で出土している。

・ピット208 (図34・図35)

ピット207に切られる。長軸37cm・短軸(18) cm・深さ19cmを測る。遺構覆土は泥岩粒・泥岩を含む暗灰色弱粘質土。

・出土遺物(図35)

8はかわらけ。

・ピット209 (図34・図35)

長軸35cm・短軸28cm・深さ10cmを測り、楕円形を呈する。遺構覆土は泥岩粒・泥岩・炭化物を含む暗灰色弱粘質土。

・出土遺物(図35)

9～11はかわらけ。その他に破片で常滑甕・土器質火鉢が出土している。

・ピット213 (図34・図35)

長軸54センチ・短軸54cm・深さ14cmを測り、円形を呈する。遺構覆土は泥岩・炭化物を含む暗灰色弱粘質土。

・出土遺物(図35)

12は石製品硯。その他に破片でかわらけ・常滑甕が出土している。

ピット214 (図34・図35)

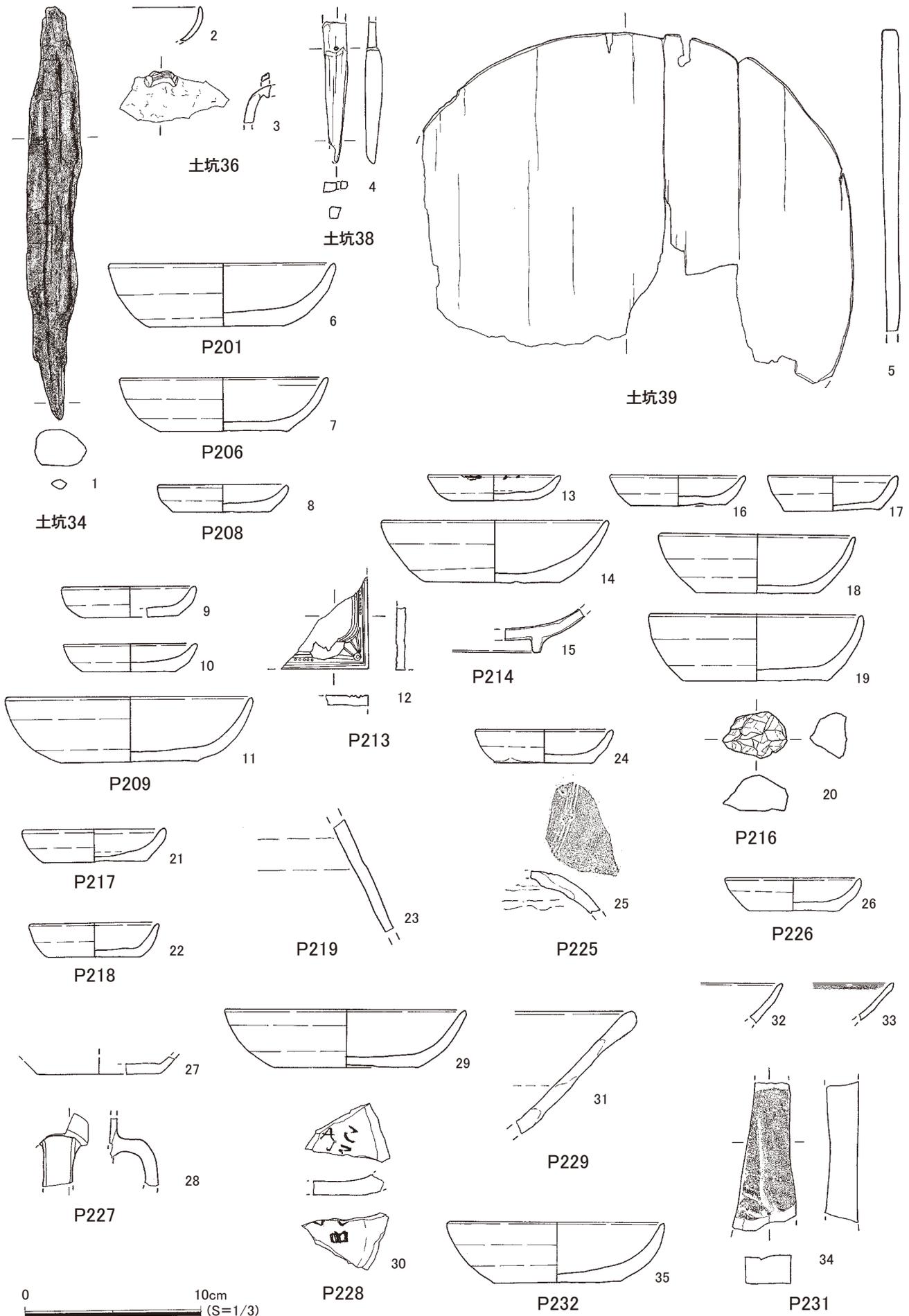


图35 第4面个别遺構出土遺物

長軸45cm・短軸45cm・深さ19cmを測り、円形を呈する。遺構覆土は泥岩粒・泥岩を含む暗灰色弱粘質土。

・**出土遺物 (図35)**

13～14はかわらけ・15は青磁鉢。その他に破片で土器質火鉢が出土している。

・**ピット216 (図34・図35)**

長軸68cm・短軸59cm・深さ9cmを測り、不正円形を呈する。遺構底面に礎板が遺存していた。遺構覆土は泥岩粒・炭化物を含む灰茶色弱粘質土。

・**出土遺物 (図35)**

16～19はかわらけ・20はチャート。

・**ピット217 (図34・図35)**

長軸48cm・短軸45cm・深さ14cmを測り、円形を呈する。遺構覆土は多量の泥岩粒を含む暗灰色弱粘質土。

・**出土遺物 (図35)**

21はかわらけ。その他に破片で常滑甕が出土している。

・**ピット218 (図34・図35)**

長軸55cm・短軸(46)cm・深さ8cmを測り、円形を呈する。遺構覆土は多量の泥岩粒・泥岩を含む暗灰色弱粘質土。

・**出土遺物 (図35)**

22はかわらけ。

・**ピット219 (図34・図35)**

長軸42cm・短軸39cm・深さ9cmを測り、円形を呈する。遺構覆土内の礎板が遺存していた。遺構覆土は泥岩粒・多量の炭化物・多量の木片を含む灰茶色弱粘質土。

・**出土遺物 (図35)**

23は褐釉壺。その他に破片でかわらけが出土している。

・**ピット225 (図34・図35)**

長軸62cm・短軸(52)cm・深さ7cmを測り、円形を呈する。遺構覆土は泥岩粒・多量の炭化物を含む暗灰褐色弱粘質土。

・**出土遺物 (図35)**

24はかわらけ・25は瀬戸壺。

・**ピット226 (図34・図35)**

長軸29cm・短軸20cm・深さ17cmを測り、楕円形を呈する。遺構覆土は砂質凝灰岩細片を多く含む暗茶灰色弱粘質土。

・**出土遺物 (図35)**

26はかわらけ。その他に破片で青白磁器種不明が出土している。

・**ピット227 (図34・図35)**

調査区外に遺構が延びているために規模は不明。長軸39cm・短軸(24)cm・深さ10cmを測る。遺構覆土は泥岩粒・泥岩・炭化物を含む灰褐色弱粘質土。

・**出土遺物 (図35)**

27は白磁口元皿・28は青白磁水注。その他に破片でかわらけが出土している。

・**ピット228 (図34・図35)**

長軸63cm・短軸55cm・深さ18cmを測り、不正円形を呈する。遺構覆土は泥岩粒・泥岩を含む灰褐

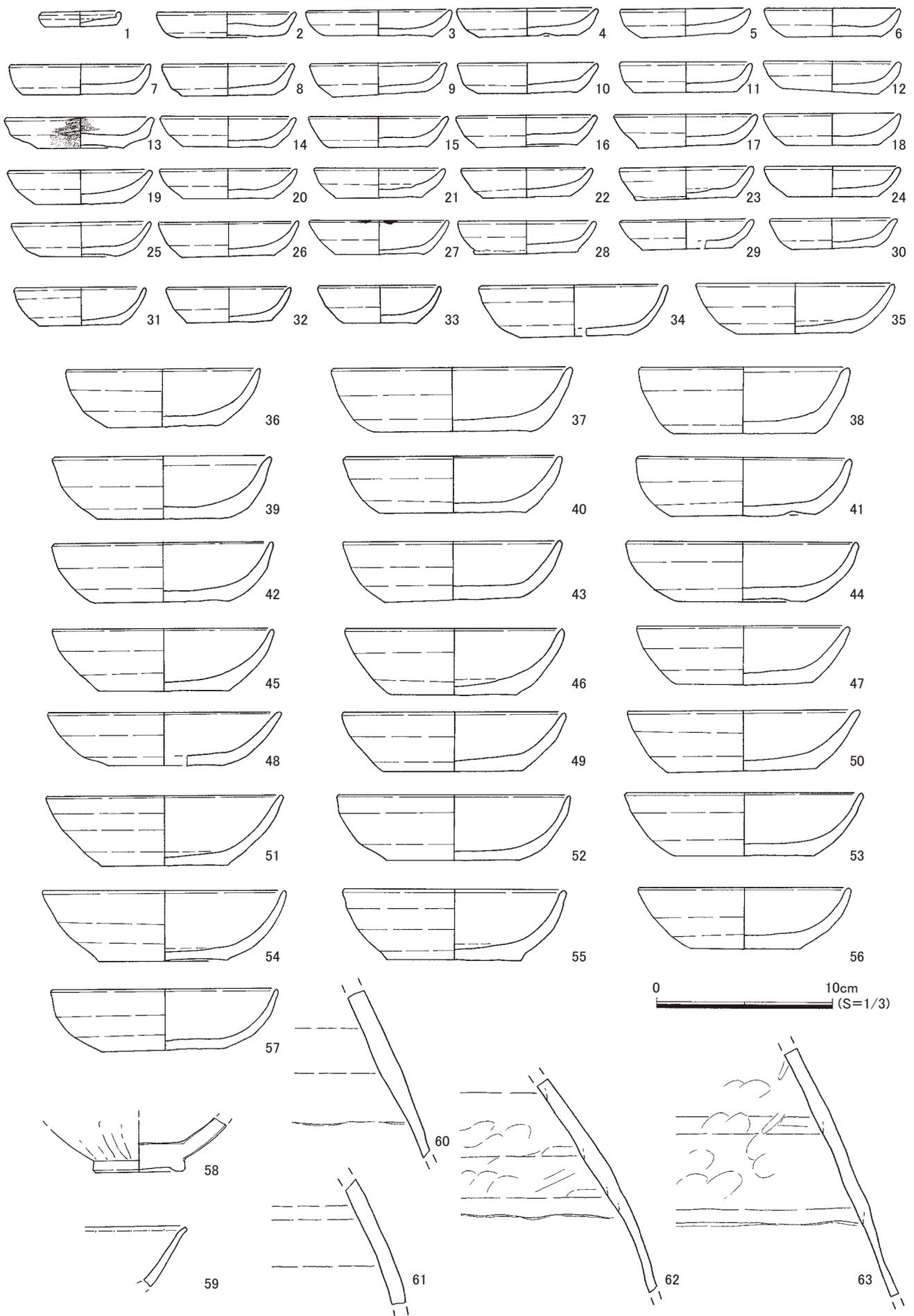


图36 第4面面上出土遺物(1)

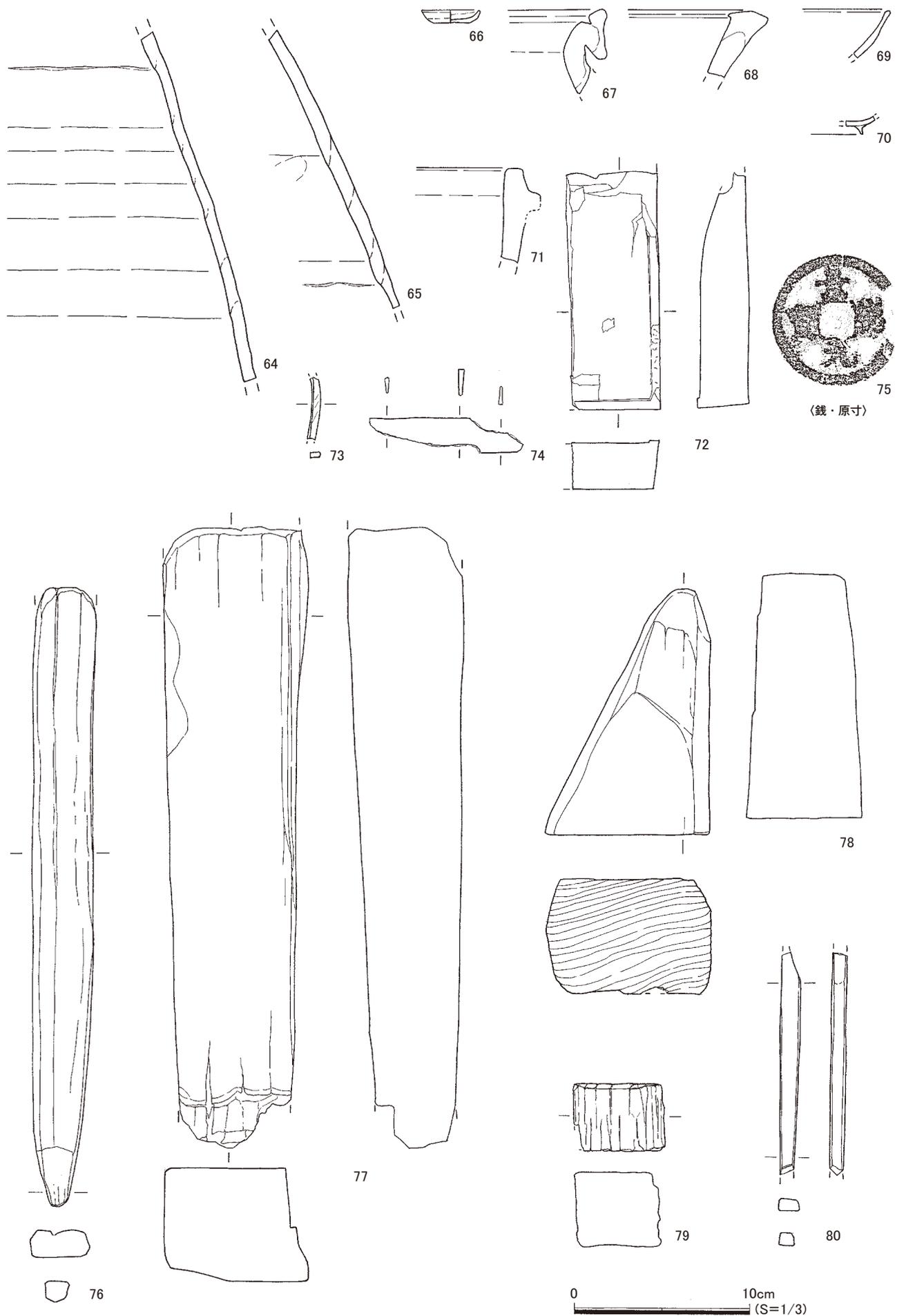


图37 第4面面上出土遺物(2)

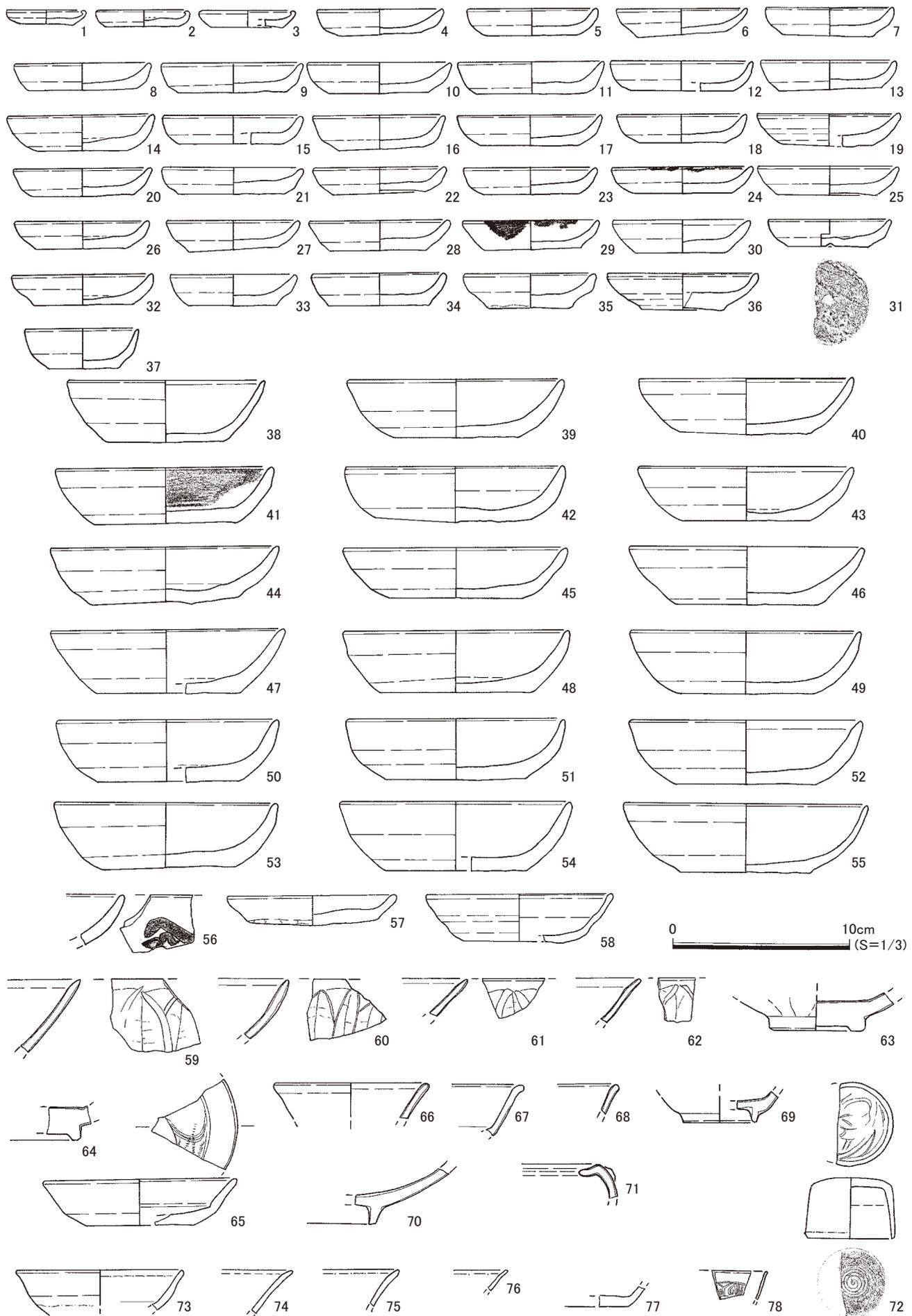


図38 第4面構成土出土遺物(1)

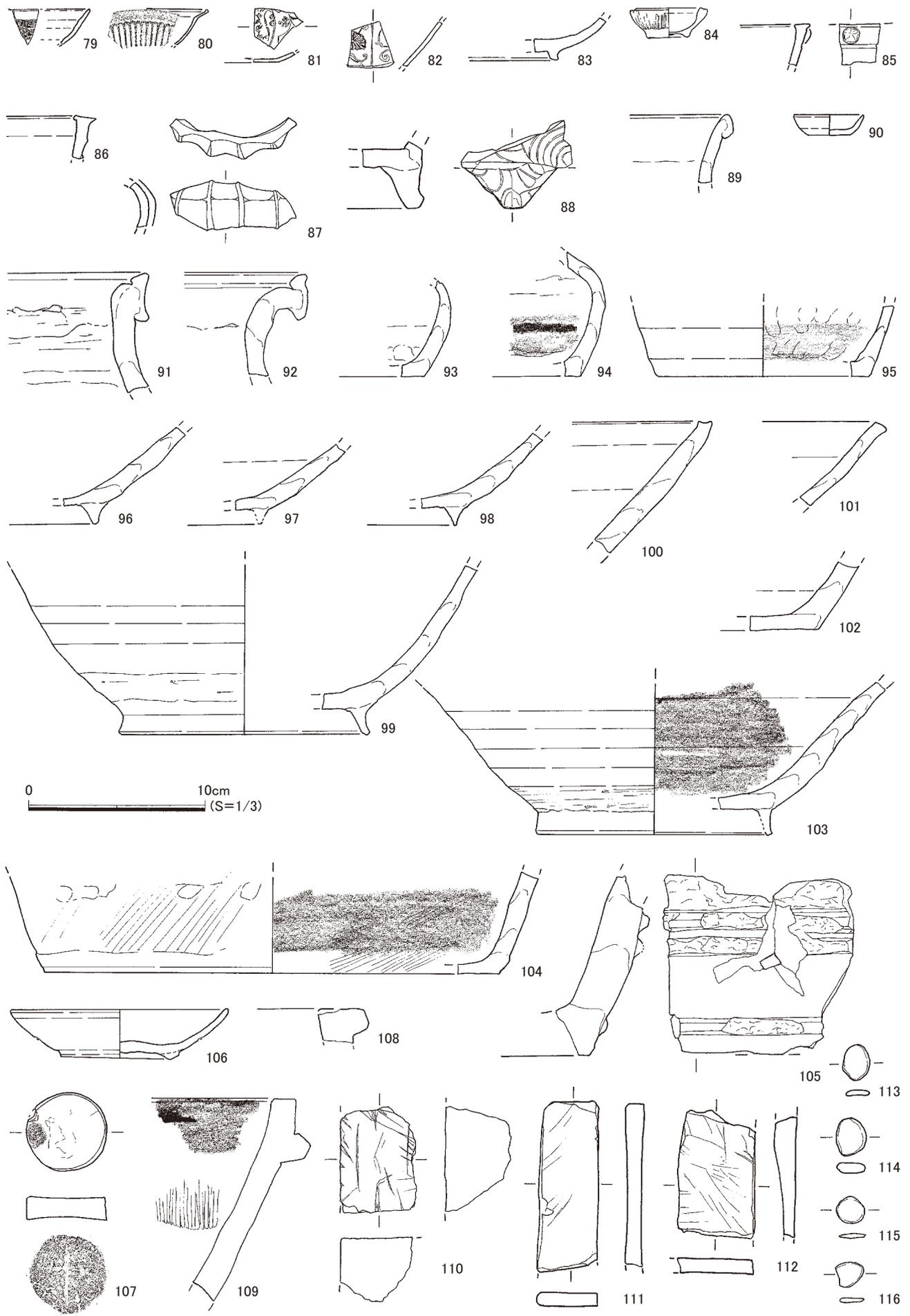


图39 第4面構成土出土遺物(2)

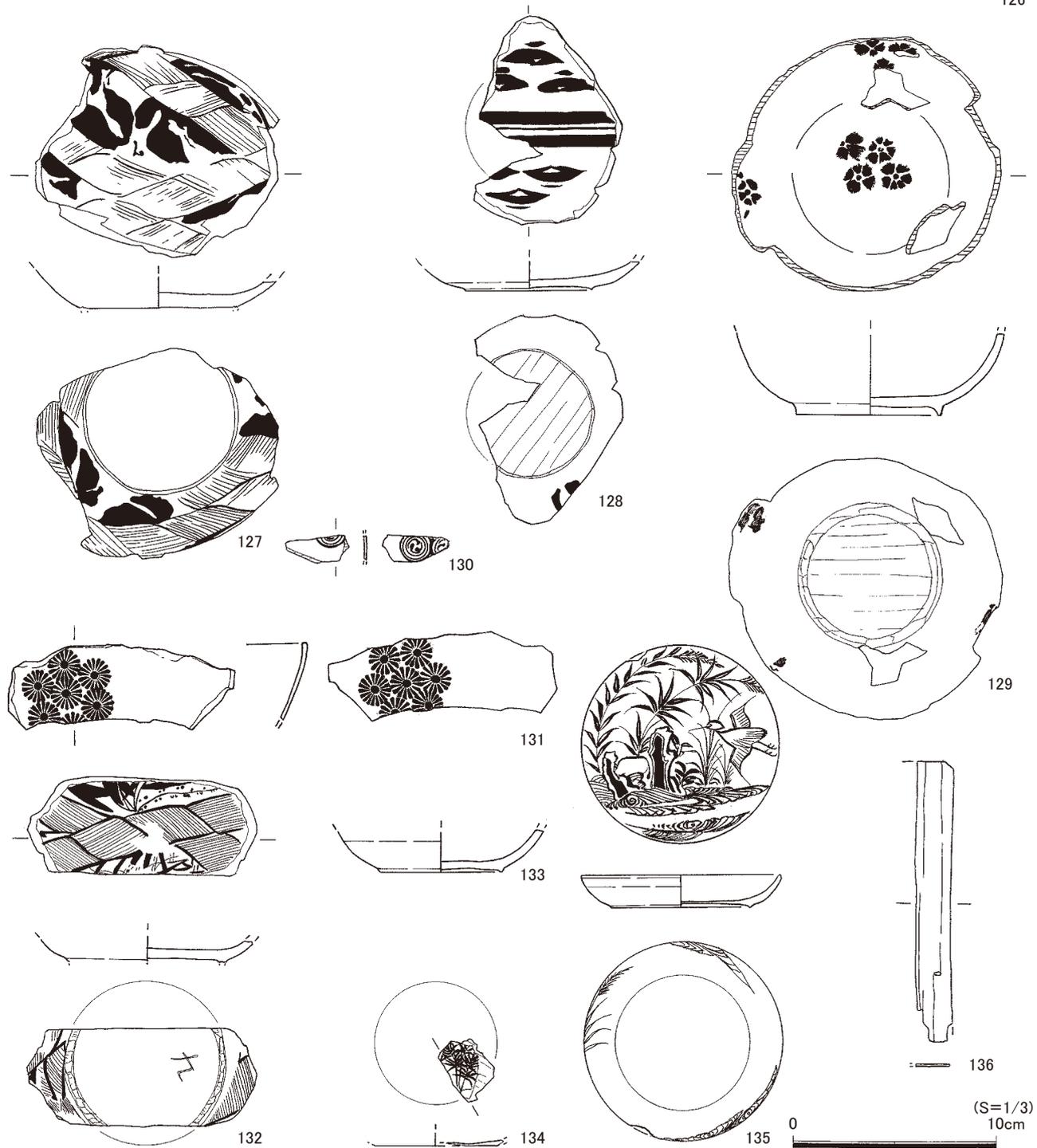
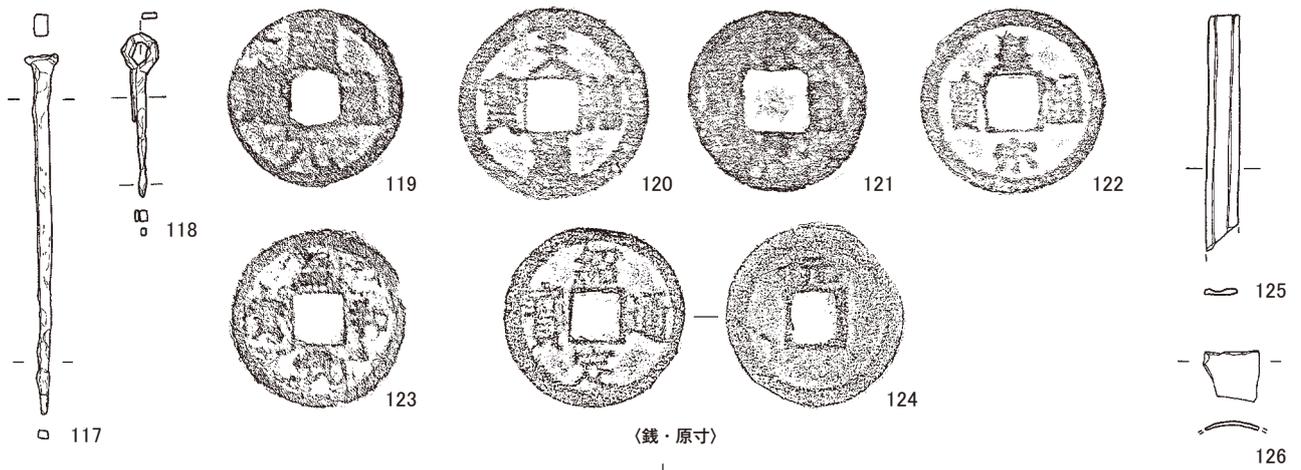


図40 第4面構成土出土遺物(3)

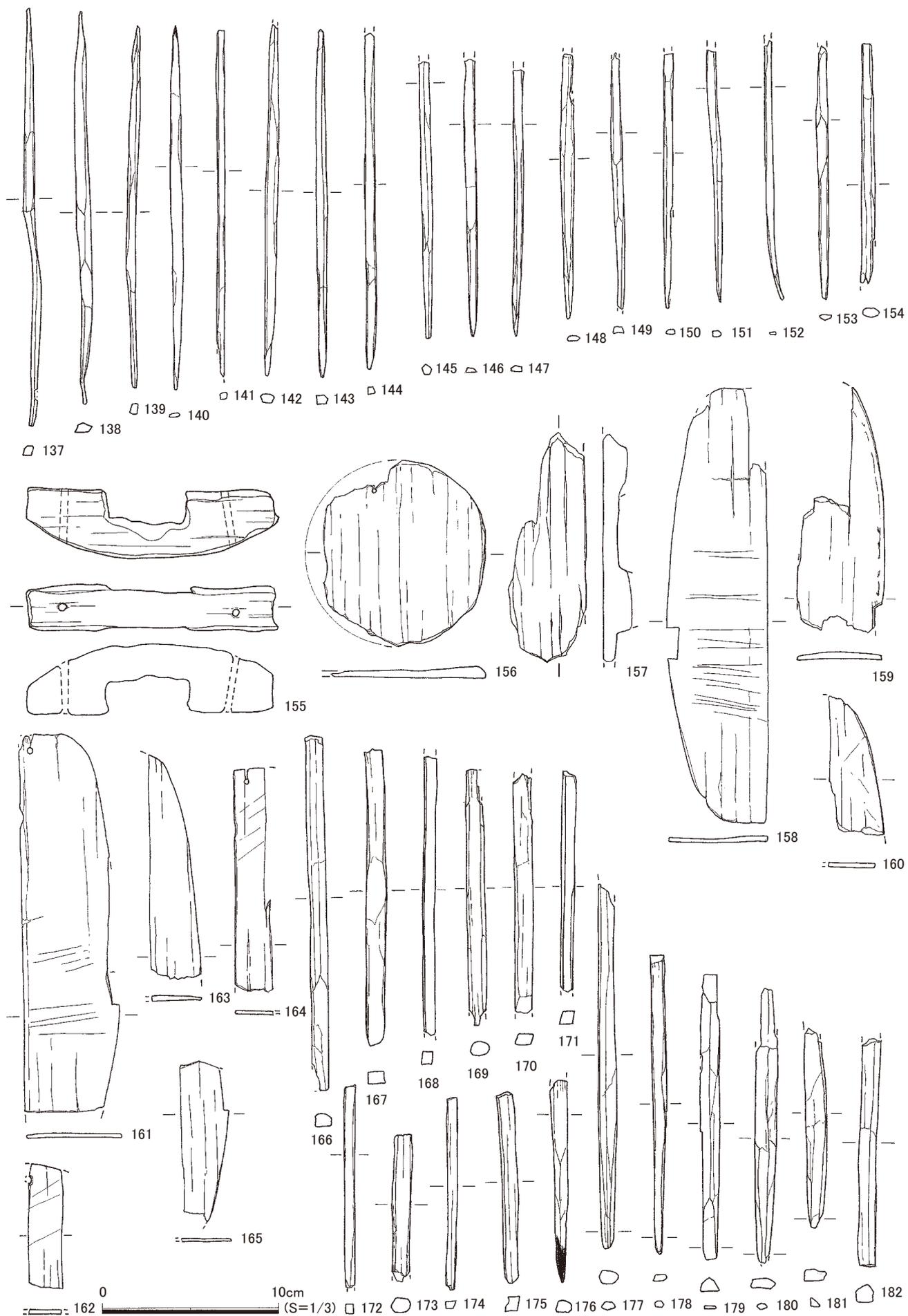


图41 第4面構成土出土遺物(4)

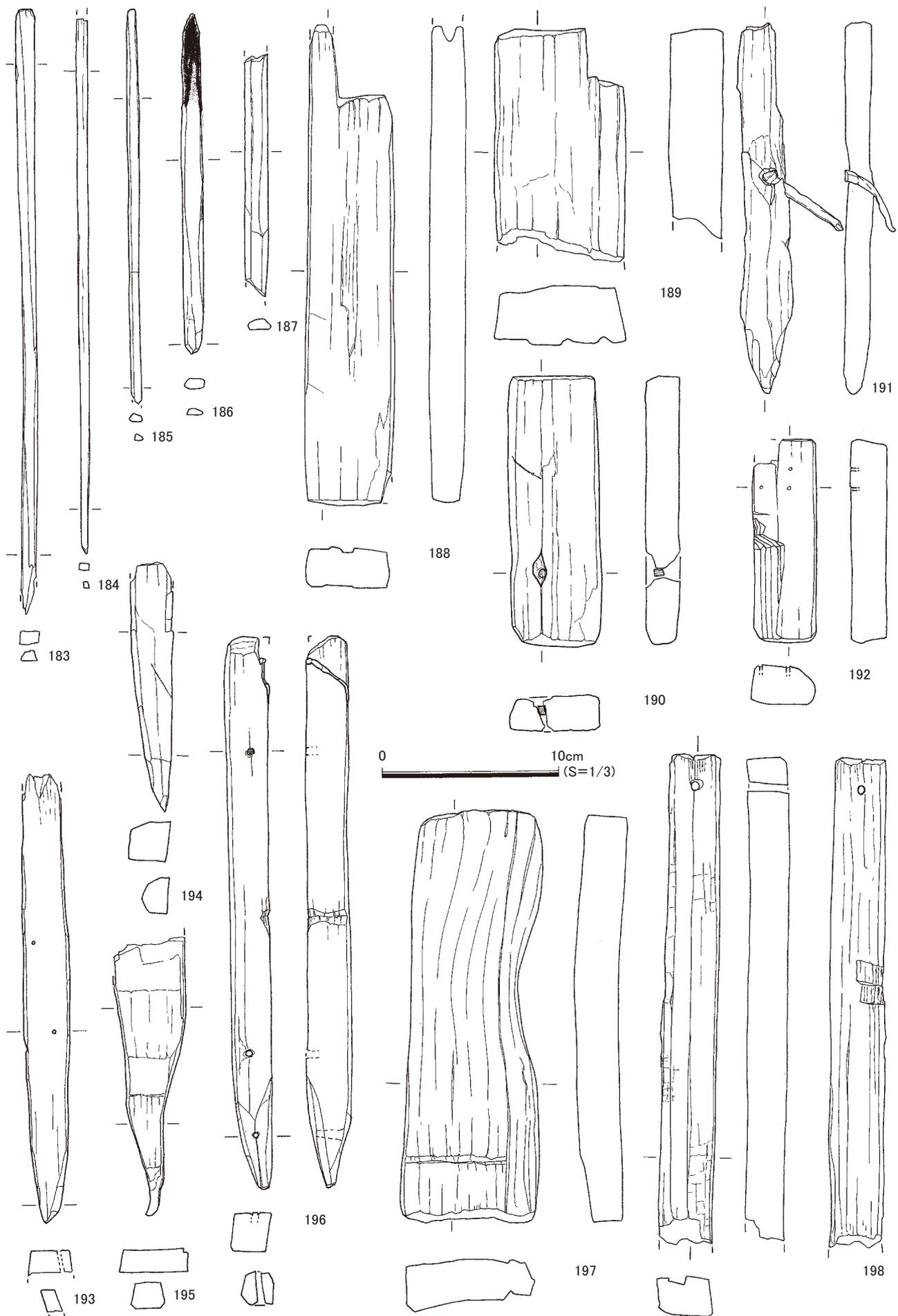


图42 第4面構成土出土遺物(5)

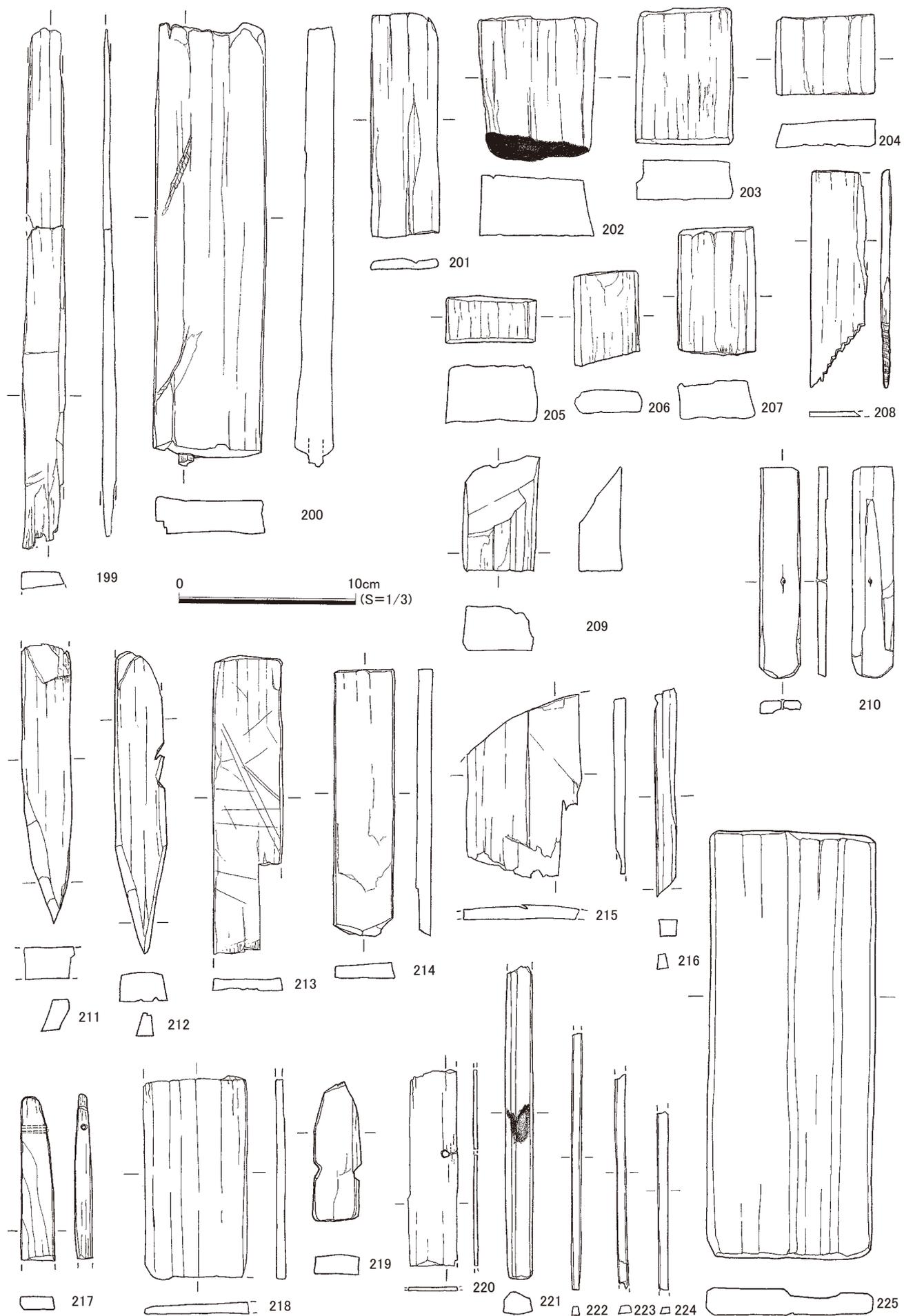


图43 第4面構成土出土遺物(6)

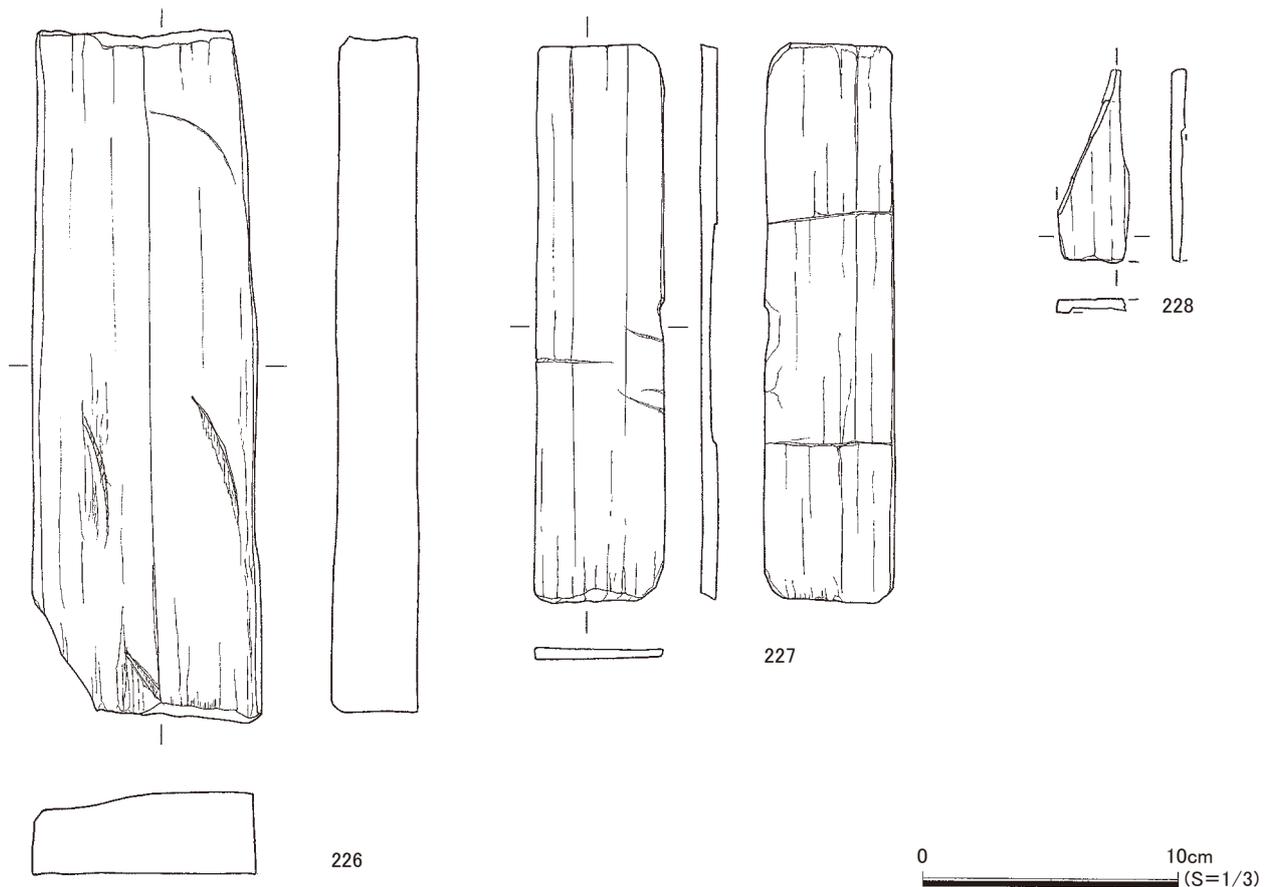


図44 第4面構成土出土遺物(7)

色弱粘質土。覆土内に不整形な砂質凝灰岩が遺存していた。

・出土遺物(図35)

29はかわらけ。30は墨書かわらけ(判読不能)。

・ピット229(図34・図35)

ピット221・ピット230を切る。長軸45cm・短軸42cm・深さ16cmを測り、楕円形を呈する。遺構覆土は泥岩粒・炭化物を含む灰褐色弱粘質土。

・出土遺物(図35)

31は常滑片口鉢I類。その他に破片でかわらけ・褐釉壺が出土している。

・ピット231(図34・図35)

長軸38cm・短軸37cm・深さ11cmを測り、円形を呈する。遺構覆土は泥岩粒を含む灰褐色弱粘質土。

・出土遺物(図35)

32はかわらけ・33は瓦器碗・34は石製品砥石。その他に破片でかわらけが出土している。

・ピット232(図34・図35)

長軸49cm・短軸44cm・深さ13cmを測り、円形を呈する。遺構覆土は泥岩粒・泥岩・炭化物を含む灰褐色弱粘質土。

・出土遺物(図35)

35はかわらけ。

・第4面面上出土遺物(図36・図37)

第4面精査時に出土した遺物である。1～57はかわらけ。58は青磁鎚蓮弁文碗・59は白磁口元皿・60～65は褐釉壺・66は瀬戸入子・67は常滑甕・68は土器質火鉢・69～70は吉備系土器碗・71は滑石鍋・72は石製品硯・73は鉄製品釘・74は鉄製品刀子・75は銭・76は木製品杭・77は木製品建材・78～80は木製品端材。

・第4面構成土出土遺物 (図38～図44)

第4面遺構検出後、第5面掘り下げ時に出土した遺物である。

1～56はかわらけ・56は墨書かわらけ(判読不能)・57は手づくね・58は硬質な胎土と薄手の器壁を持ち外面に稜が入る。在地ではみかけないタイプのかわらけ。59～64は青磁碗・65は青磁皿・66～69は青磁折腰鉢・70は青磁鉢・71は青磁香炉・72は青磁梅瓶蓋・73～77は白磁口元皿・78・80・81・83は白磁皿・79・82は白磁碗・84は白磁合子・85は白磁香炉・86は青白磁香炉・87は青白磁器種不明・88は褐釉香炉・89は瀬戸四耳壺・90は瀬戸入子・91～92は常滑甕・93～95は常滑壺・96～99は常滑片口鉢Ⅰ類・100～102は常滑片口鉢Ⅱ類・103は尾張型片口鉢・104は瓦器質火鉢・105は土器質火鉢・106は瀬戸内系土器・107はかわらけ質円盤・108～109は滑石鍋・110～112は石製品砥石・113は貝製品基石・114～116は石製品基石・117は鉄製品釘・118は鉄製品鍵・119～124は銭・125は骨製品筭・126はガラスか・127～132は漆器碗・133～135は漆器皿・136～228は木製品。・136は折敷・137～154は箸・155は把手・156は曲物底板・157は下駄・158～165は草履芯・166～176は棒状・177～185は串状・186～187は篋状・188～192は建材・193～196は杭・197は礎板・198～201は部材・202～209は端材・210は刀子の柄・211～228は用途不明。

5. 第5面の遺構と遺物 (図45～図52)

第5面は調査区内で廃土を処理するために調査区を南北に二分割し、南側を廃土処理の場として使用し、北側を調査対象とした。第5面は泥岩粒・泥岩細片を含む暗灰色弱粘質土の堅く締まった地業上で遺構を検出した。発見した遺構は井戸1基・溝1条・溝状土坑1基・ピット56穴である。調査区の外や南側で壁に沿って杭を打ち横板を止める構造を持つ溝(溝3)が、東西に調査区外に延びることを確認している。調査区外に遺構が延び建物址を推定することは出来なかったが、遺構底面に礎板が遺存するピットを多く確認した。出土遺物はかわらけ(ロクロ成形・手づくね成形)をはじめ、青磁、白磁、青白磁、褐釉、瀬戸、常滑、山茶碗、火鉢、瓦、石製品(砥石・硯)、鉄製品、銭が見られた。破片では面上および、遺構内からは手づくね成形かわらけの出土量に対してロクロ成形かわらけの出土量が勝るが、構成土に至ると手づくね成形の出土量が勝る。第5面確認レベルは海拔約12.60mである。

・井戸1 (図46)

ピット241に切られ、ピット281を切る。調査区外に遺構が延びてしまい規模は不明となった。また、湧水が激しく遺構を掘り下げて詳細に確認することができなかったが、井戸であったと考えている。遺構覆土は泥岩粒・泥岩を含む暗灰褐色弱粘質土。木片、褐色有機質土を多く含む。

・出土遺物 (図46)

1～16はかわらけ・17～43は手づくね・44は白磁皿・45は常滑壺・46は常滑甕・47は常滑片口鉢Ⅱ類・48はかわらけ転用品・49は木製品用途不明、錐柄か。その他に破片で青磁・獣骨・貝・果核と、腐食した木片も多く出土した。

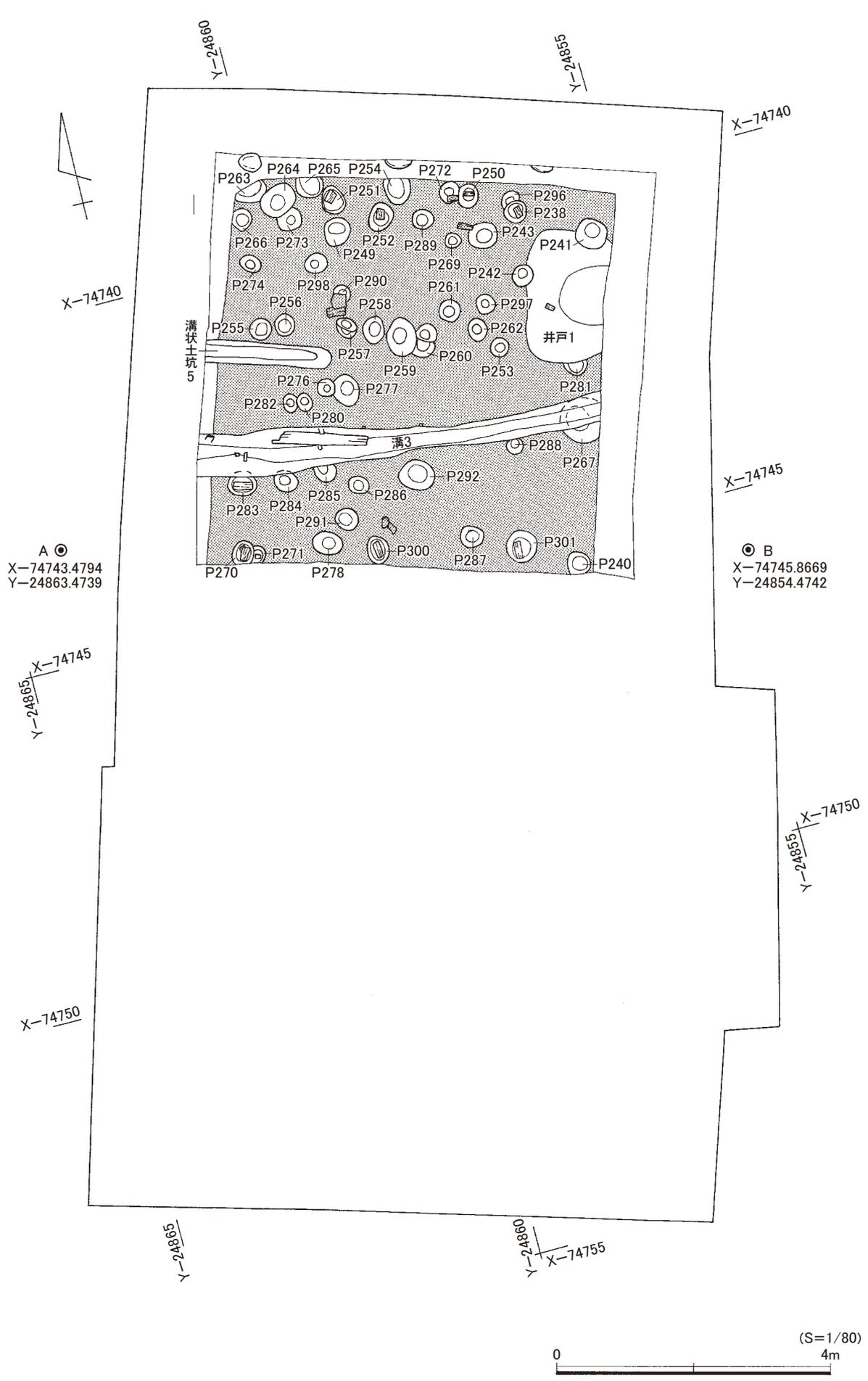


図45 第5面全測図

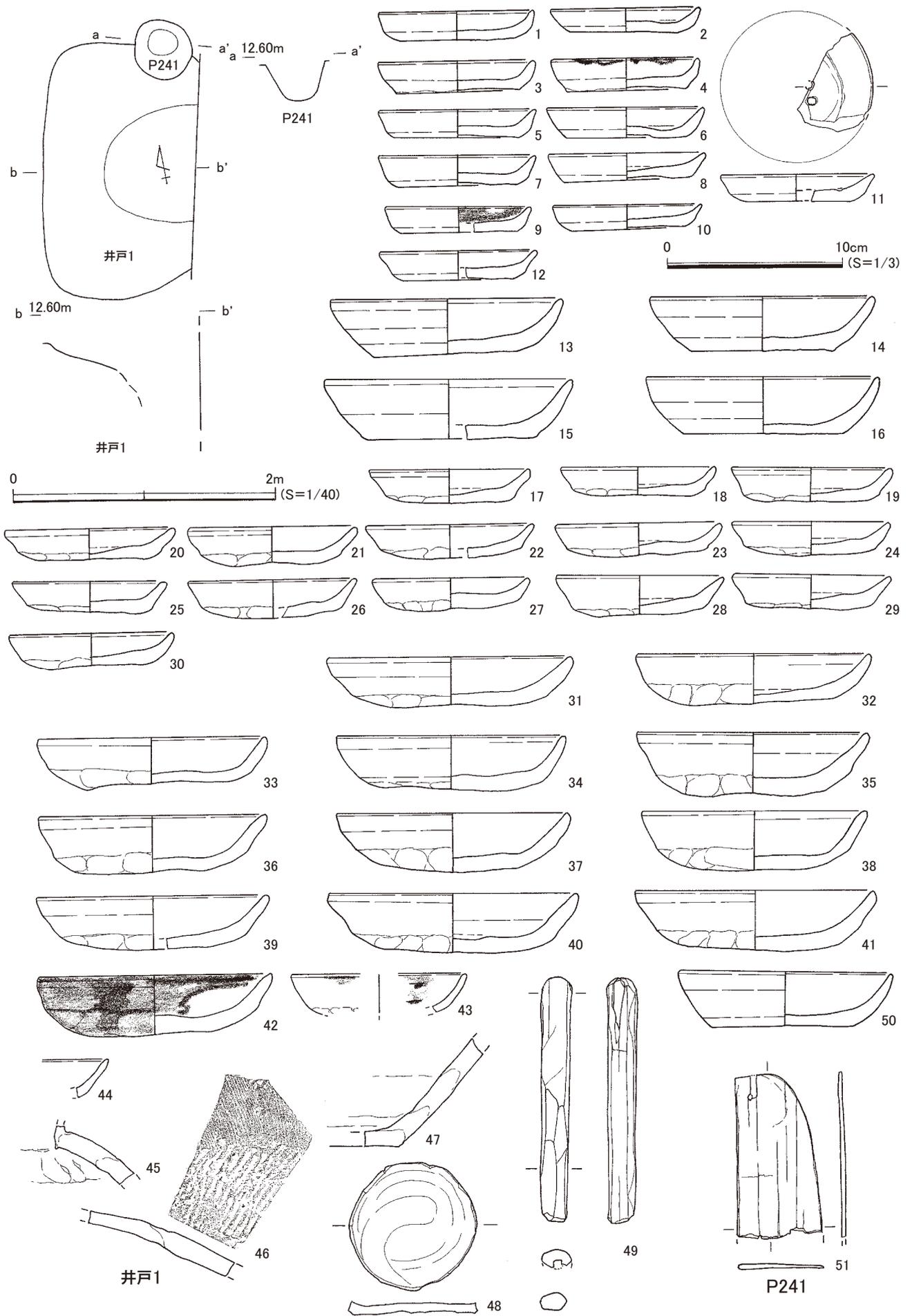


图46 第5面井戸1・P241・出土遺物

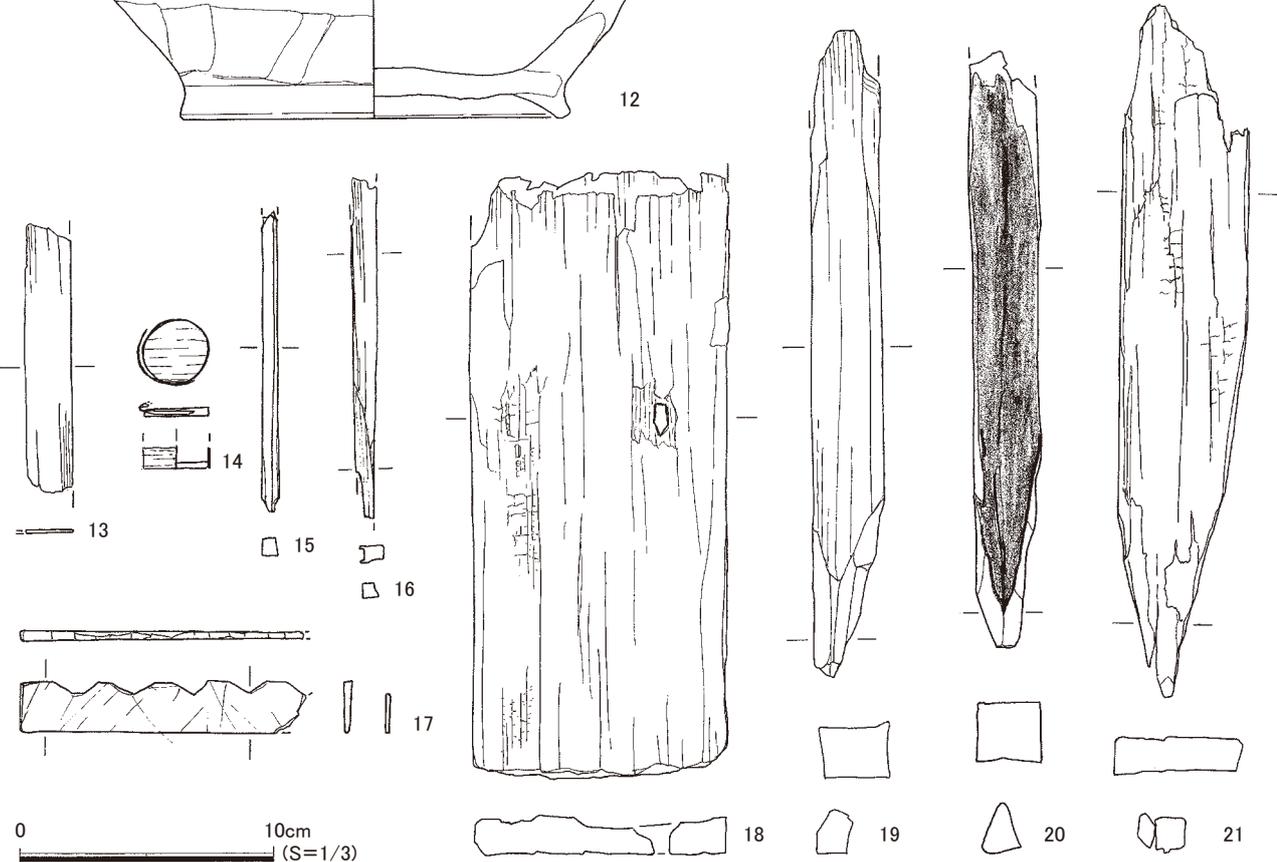
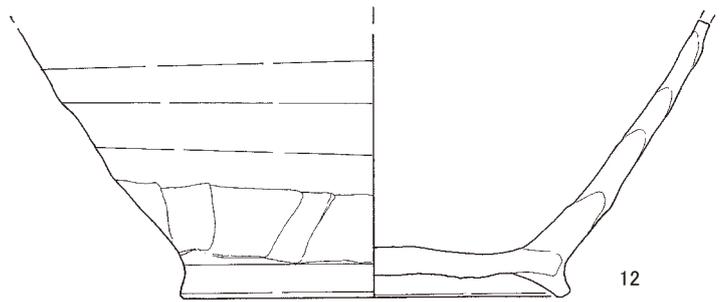
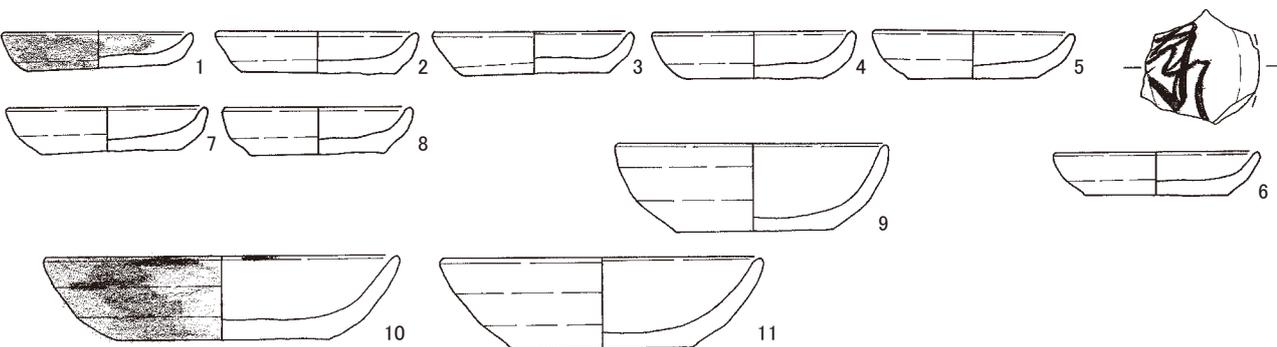
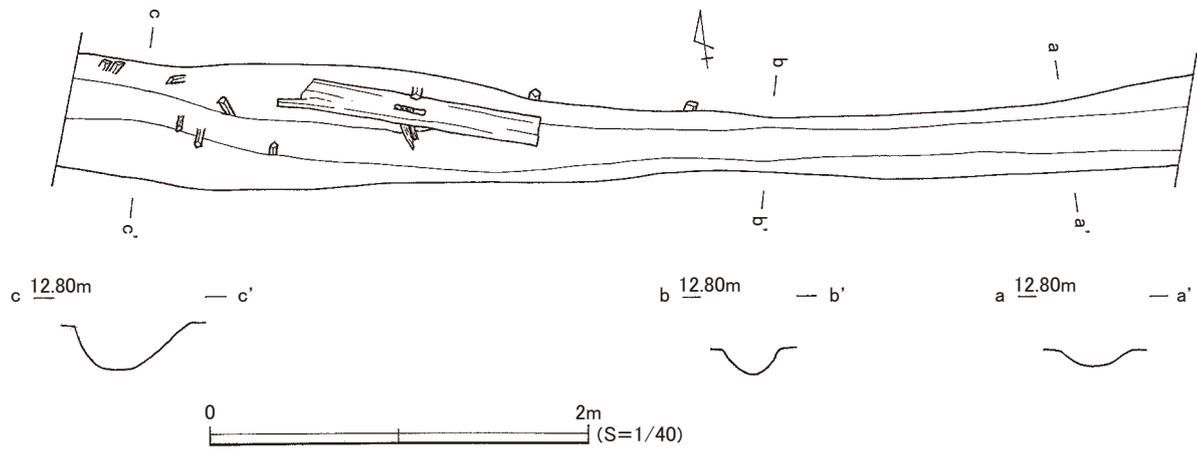


图47 第5面・溝3・出土遺物(1)

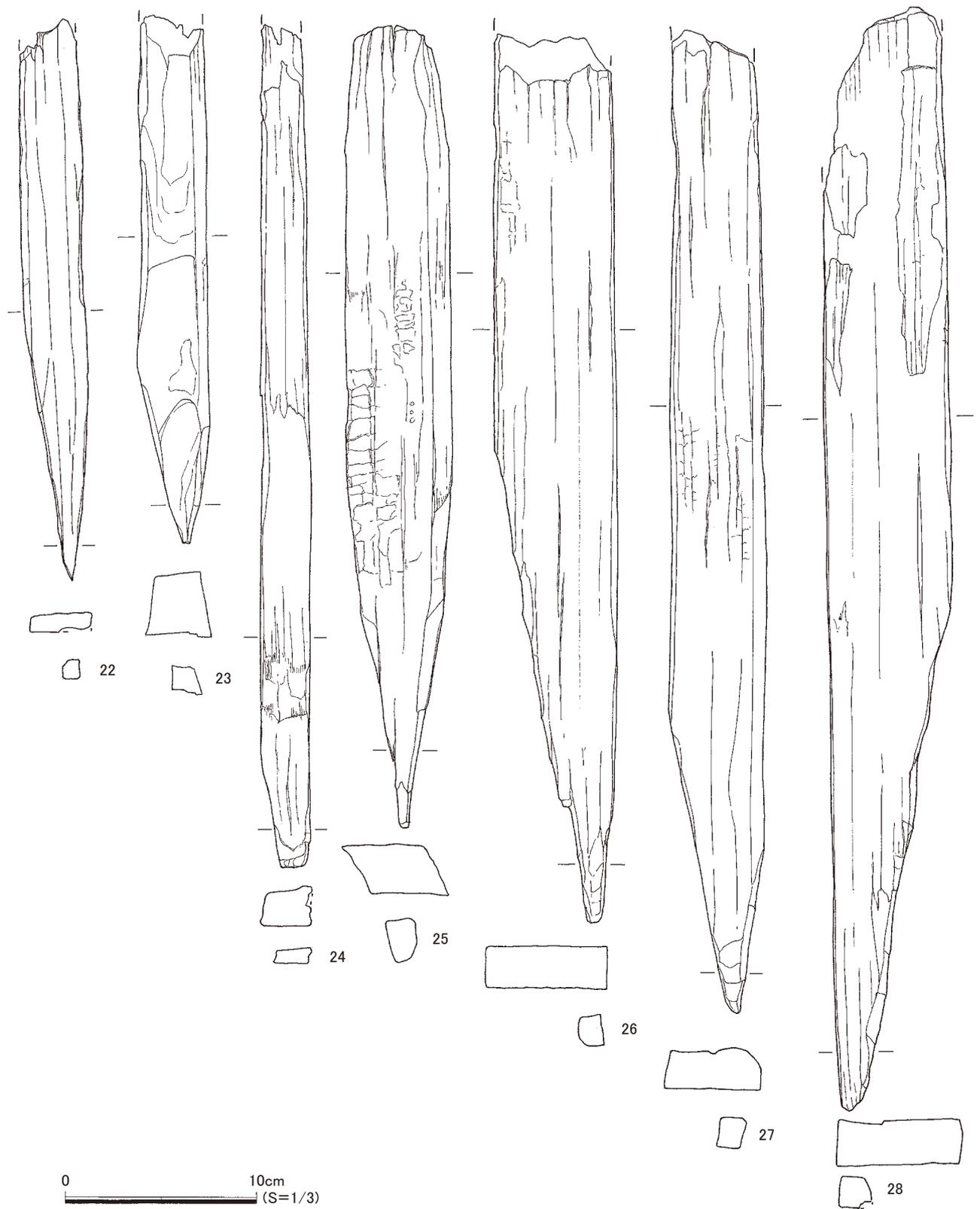


図48 第5面溝3・出土遺物(2)

・溝3 (図47・図48)

調査区外に遺構が延びてしまい規模は不明となった。長さ(600)cm・幅27~65cm・深さ8cmを測る東西に延びる溝である。溝壁に合わせた横板を杭によって止めていたことが分かった。溝幅は上層の遺構によって削平を受け一定ではないが、やや幅の狭い溝であったと思われる。流下方向は不明。遺構覆土は泥岩粒・褐色有機質土を多く含む暗灰褐色弱粘質土。

・出土遺物 (図47・図48)

1～11はかわらけ・12は常滑片口鉢I類・13～28は木製品、13は折敷・14は曲物、祭祀用か・15・16は棒状、籌木か・17は用途不明、筆架か・18は用途不明・19～28は杭。

・柱穴列1・2・3 (図49)

第5面で検出した礎板を伴うピットの内の、ピット間の距離・遺構覆土の観察から、柱穴列となりうるものを掲載している。調査中を含めて建物址の推定を試みたが、調査区外に遺構が延びてしまい柱穴列のみの報告となった。調査区北側で東西に並ぶ、柱穴列1のピット250とピット251の芯芯間距離は200cm、柱穴列2のピット238・ピット252・ピット266の芯芯間距離はそれぞれ200cm。調査区南側で東西に並ぶ、柱穴列3のピット270・ピット300・ピット301の芯芯間距離はそれぞれ200cmと、同一間隔であった。柱穴列として報告したピット・ピット内出土遺物の詳細は後述している。

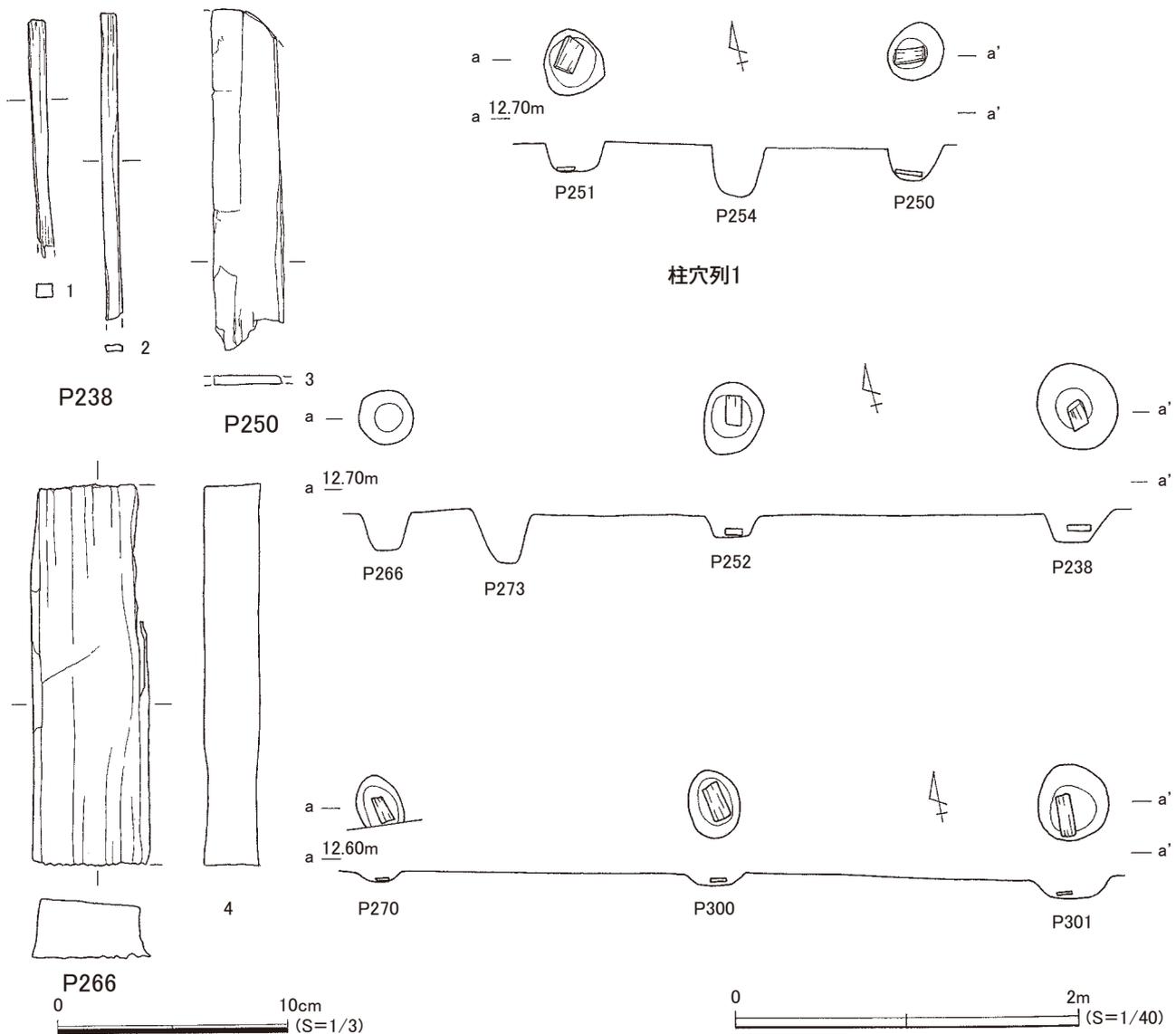


図49 第5面 柱穴列1・2・3・出土遺物

・溝状遺構5 (図50)

調査区東で東西に延びる溝状の遺構である。調査区外に遺構が延びてしまい規模は不明。長さ(180)cm・幅32cm・深さ5cmを測る。遺構覆土は褐色砂・茶褐色有機質土を含む暗灰色弱粘質土。出土遺物

は腐食した木片のみであった。

・ピット 238 (図49)

柱穴列2のピットである。遺構覆土内に礎板が遺存していた。長軸51cm・短軸47cm・深さ32cmを測り、円形を呈する。遺構覆土は泥岩粒・泥岩・腐食した木片を含む暗灰色弱粘質土。

・出土遺物 (図49)

1～2は木製品棒状。

・ピット 241 (図46)

井戸1を切る。長軸45cm・短軸44cm・深さ33cmを測り、円形を呈する。遺構覆土は泥岩粒を含む暗茶灰色弱粘質土。

・出土遺物 (図46)

50はかわらけ・51は木製品草履芯。

・ピット 250 (図49)

柱穴列1のピットである。遺構底面に礎板が遺存していた。長軸35cm・短軸28cm・深さ26cmを測り、円形を呈する。遺構覆土は腐食した木片を多く含む暗灰色弱粘質土。

・出土遺物 (図49)

3は木製品草履芯。

・ピット 251 (図49)

柱穴列1のピットである。遺構底面に礎板が遺存していた。長軸37cm・短軸29cm・深さ15cmを測り、円形を呈する。遺構覆土は泥岩・泥岩粒を含む暗灰色弱粘質土。遺物は破片でかわらけ・手づくねが出土している。

・ピット 252 (図49)

柱穴列2のピットである。遺構底面に礎板が遺存していた。長軸40cm・短軸32cm・深さ11cmを測り、円形を呈する。遺構覆土は泥岩粒・泥岩を含む暗茶灰色弱粘質土。遺物は出土していない。

・ピット 263 (図50)

調査区外に遺構が延びており規模は不明。長軸(57)cm・短軸(26)cm・深さ27cmを測る。遺構覆土は泥岩粒を含む灰褐色弱粘質土。

・出土遺物 (図50)

1・2は木製品棒状。炭化している。1は箸か。

・ピット 264 (図50)

ピット273を切る。長軸54cm・短軸40cm・深さ23cmを測り、楕円形を呈する。遺構覆土は泥岩粒・泥岩腐食した木片を含む暗灰褐色弱粘質土。

・出土遺物 (図50)

3は褐釉壺。

・ピット 265 (図50)

調査区外に遺構が延びてしまい規模は不明。長軸38cm・短軸(22)cm・深さ21cmを測り、円形を呈する。遺構覆土は泥岩粒・泥岩を多く含む灰褐色弱粘質土。

・出土遺物 (図50)

4は木製品串状。その他に破片でかわらけが出土している。

ピット 266 (図49)

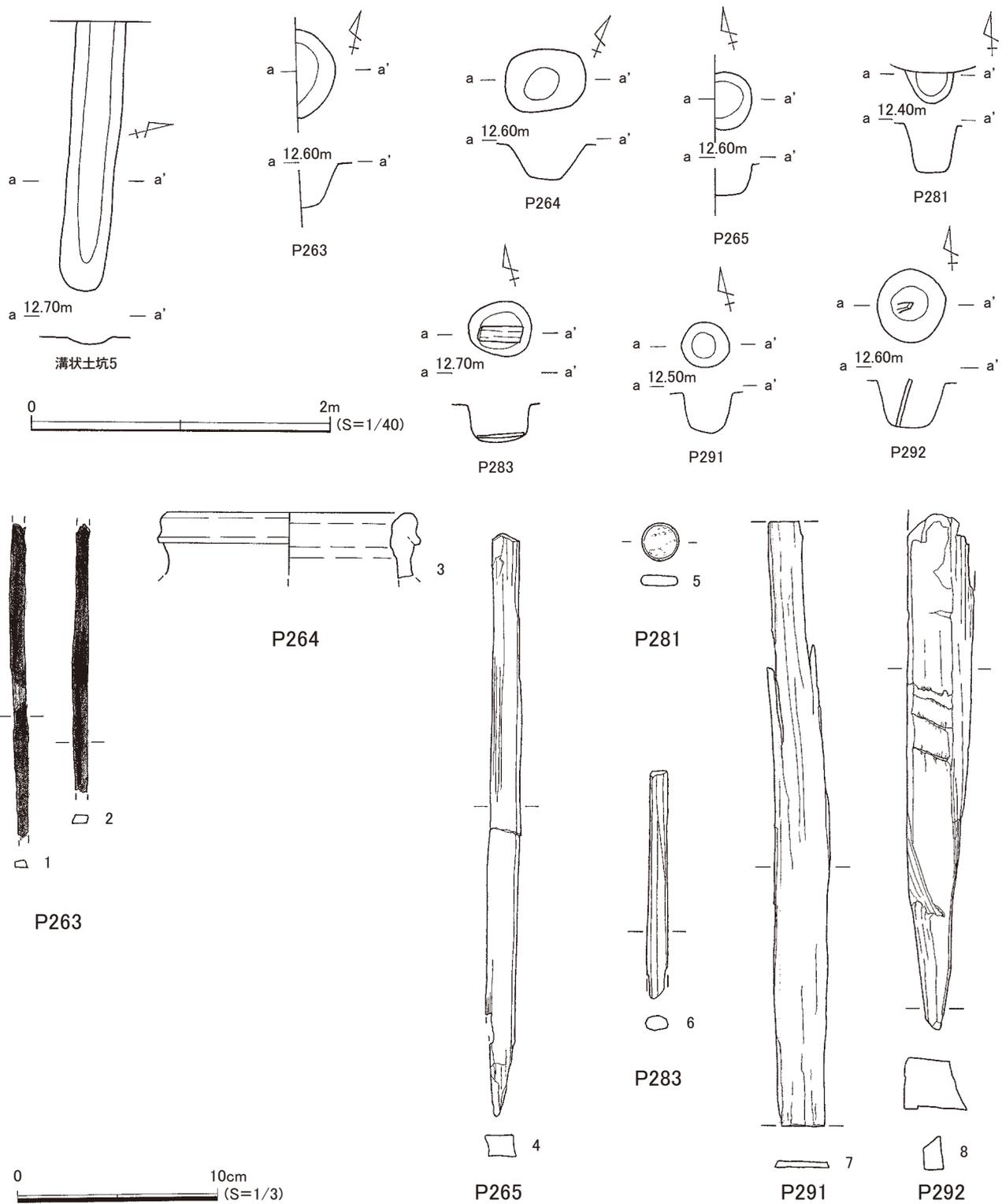


図50 第5面個別遺構・出土遺物

柱穴列2のピットである。長軸33cm・短軸32cm・深さ21cmを測り、円形を呈する。遺構覆土は泥岩粒を含む灰褐色弱粘質土。覆土内に礎板状の木片が遺存していた。

・出土遺物 (図49)

4は木製品礎板状。その他に破片でかわらけが出土している。

・ピット270 (図49)

柱穴列3のピットである。ピット271を切る。遺構底面に礎板が遺存していた。長軸(35)cm・短軸

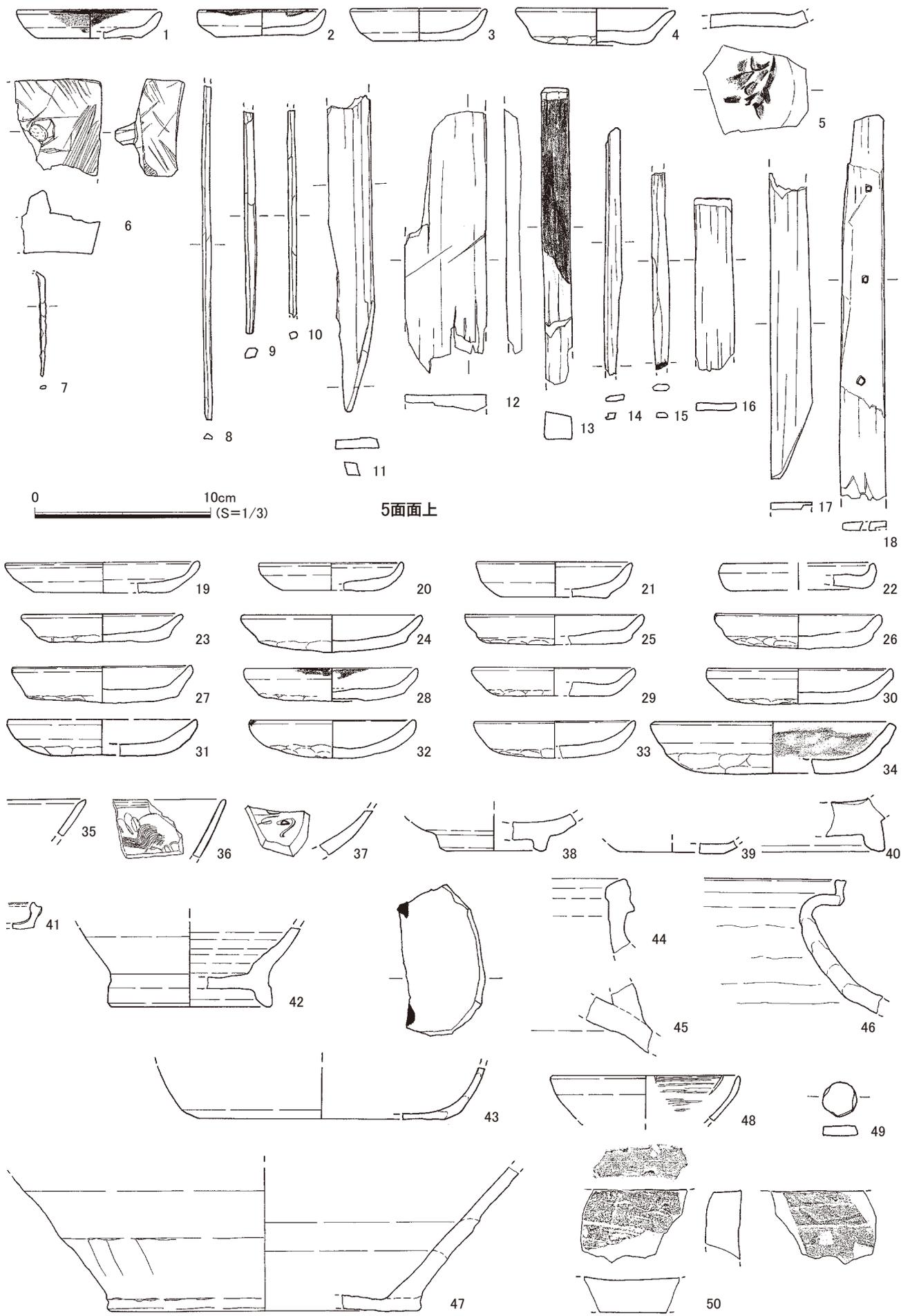


图51 第5面面上・構成土出土遺物(1)

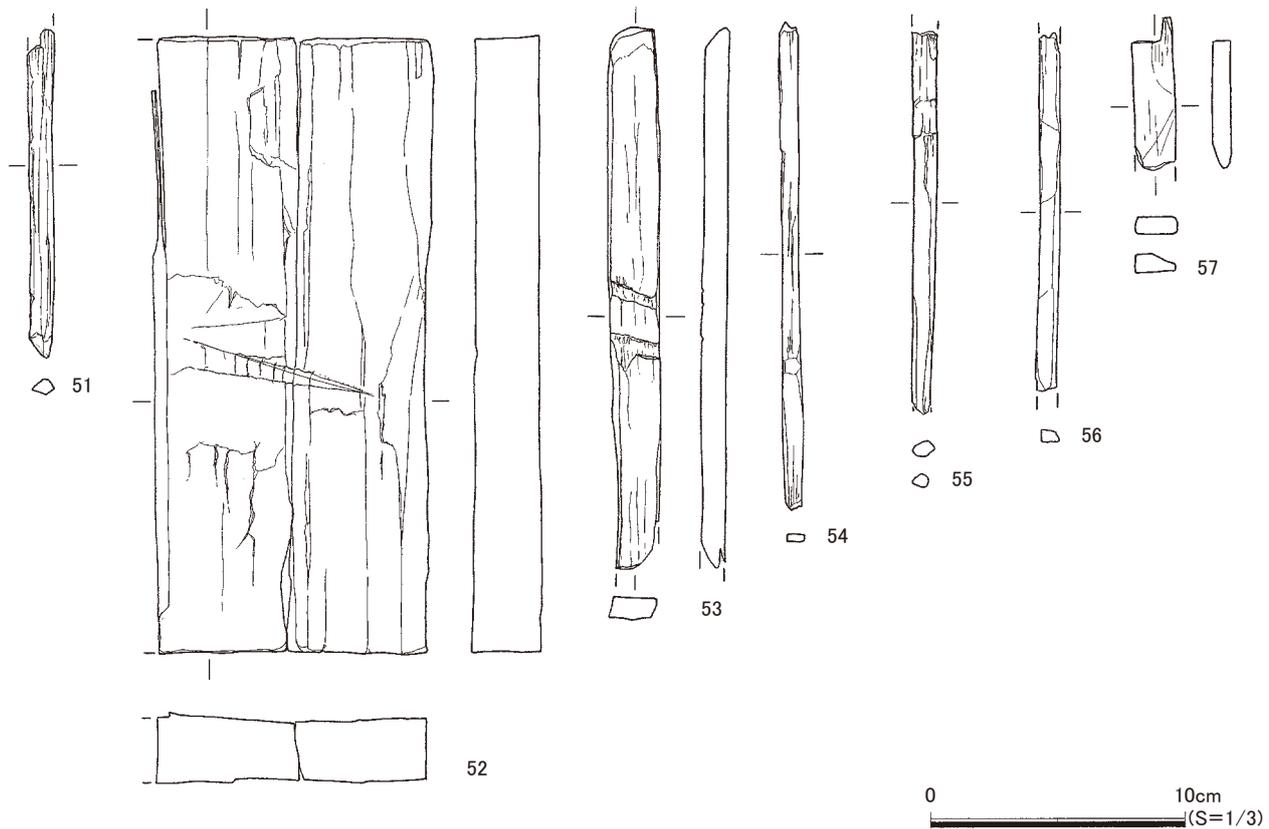


図52 第5面構成土出土遺物(2)

28cm・深さ7cmを測り、楕円形を呈する。遺構覆土は泥岩粒を多く含む暗灰色弱粘質土。出土遺物はない。

・ピット271(図45)

ピット270に切られる。長軸(23)cm・短軸(20)cm・深さ11cmを測り、楕円形を呈する。遺構底面に礎板が遺存していた。遺構覆土は泥岩粒を含む暗灰色弱粘質土。個別に図示はしていない。出土遺物はない。

・ピット281(図50)

井戸1に切られる。長軸38cm・短軸33cm・深さ33cmを測る。遺構覆土は泥岩粒・泥岩微量を含む暗灰褐色弱粘質土。

・出土遺物(図50)

5は骨製品遊具、駒。

・ピット283(図50)

溝3に切られる。遺構底面に礎板が遺存する。長軸43cm・短軸35cm・深さ24cmを測り、楕円形を呈する。遺構覆土は泥岩粒を多く含む暗灰褐色弱粘質土。

・出土遺物(図50)

6は木製品棒状。その他に破片でかわらけ・常滑甕が出土している。

・ピット291(図50)

長軸32cm・短軸32cm・深さ26cmを測り、円形を呈する。遺構覆土は泥岩粒・泥岩・腐食した木片を含む暗灰色砂質土。

・出土遺物(図50)

7は木製品折敷。

・ピット292(図50)

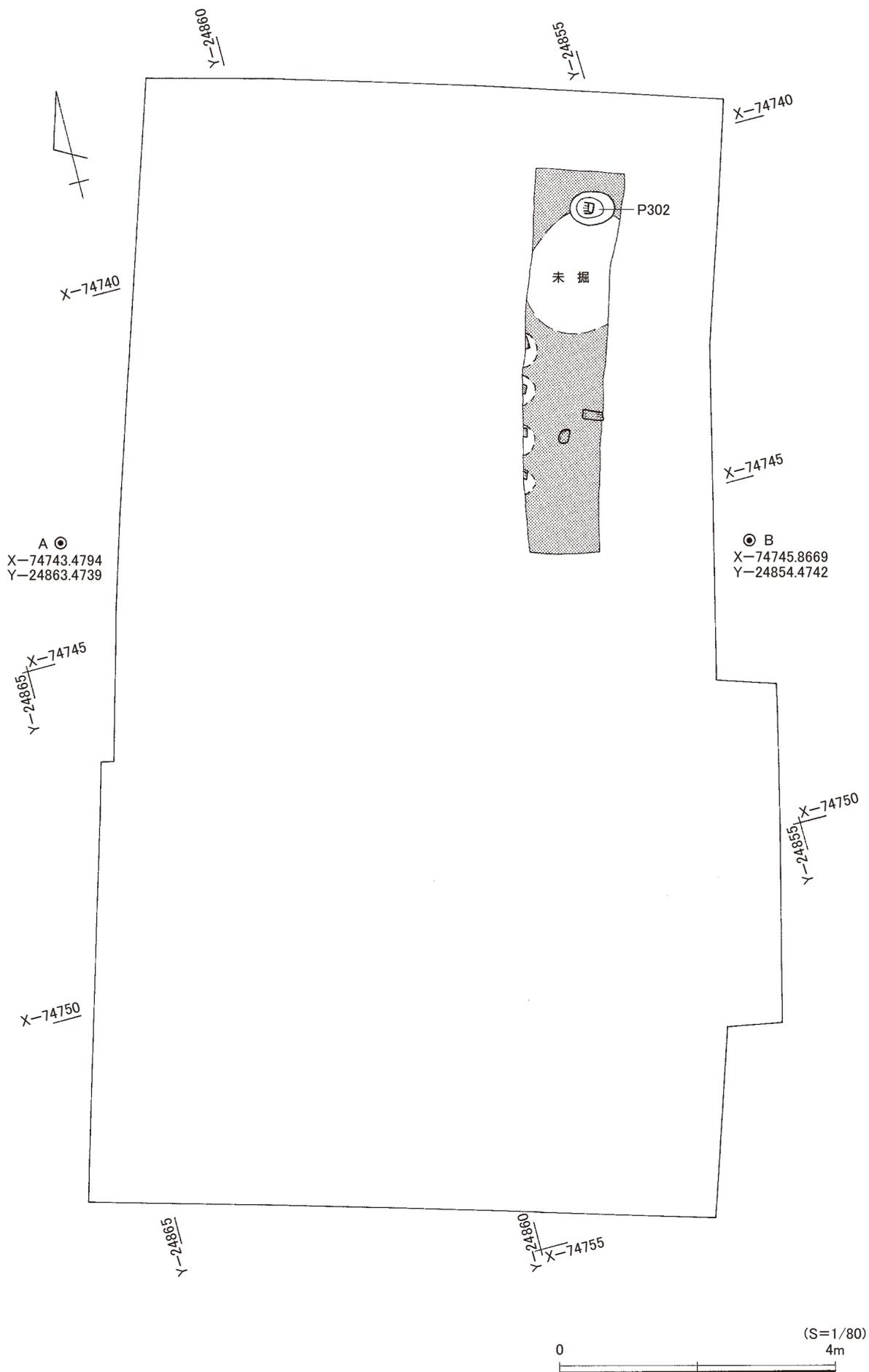


図53 第6面全測図

長軸51cm・短軸44cm・深さ30cmを測り、円形を呈する。杭が遺存していた。遺構覆土は暗灰色砂質土。

・**出土遺物 (図50)**

8は木製品杭。

・**ピット300 (図49)**

柱穴列3のピットである。遺構底面に礎板が遺存していた。長軸39cm・短軸33cm・深さ7cmを測り、円形を呈する。遺構覆土は泥岩粒を含む暗灰色砂質土。遺物は出土していない。

・**ピット301 (図49)**

柱穴列3のピットである。遺構底面に礎板が遺存していた。長軸45cm・短軸45cm・深さ10cmを測り、円形を呈する。遺構覆土は泥岩粒を含む暗灰色砂質土。遺物は出土していない。

・**第5面面上出土遺物 (図51)**

第5面精査時に出土した遺物である。

1～3はかわらけ・4～5は手づくね、5は外底面に墨書あり・6は滑石鍋加工途中・7は鉄製品釘・8～18は木製品、8～10は箸状・11は杭・12～18は用途不明。

・**第5面構成土出土遺物 (図51・図52)**

第5面遺構検出後、第6面掘り下げ時に出土した遺物である。

19～21はかわらけ・22～34は手づくね・35～38は青磁碗・39は白磁口元皿・40は白磁壺・41は青白磁合子・42は青白磁壺・43は黄釉盤・44～45は褐釉壺・46は常滑甕・47は常滑片口鉢Ⅱ類・48は瓦器碗・49はかわらけ転用品・50は瓦・51～57は木製品、51は棒状・52は礎板・53～57は用途不明。

6. 第6面の遺構と遺物 (図53～図55)

第6面以下は調査区内にトレンチを設け確認した。泥岩粒・泥岩細片を含む暗灰色弱粘質土の地業上で発見した遺構はピット5穴である。後述するピット302には杭が、その他のピットには礎板が遺存していた。出土遺物はかわらけ(ロクロ成形・手づくね成形)をはじめ、青磁、白磁、青白磁、黄釉、褐釉、瀬戸、常滑、瓦器、土製品、瓦、石製品(砥石・硯)、鉄製品が見られた。破片では面上および、遺構内からはロクロ成形かわらけの出土量に対して手づくね成形かわらけの出土量が多く、構成土に至ると手づくね成形のかわらけ出土量がより多くなる。第6面確認レベルは海拔約12.25mである。

・**ピット302 (図54)**

長軸63cm・短軸47cm・深さ33cmを測り、楕円形を呈する。覆土内に杭が遺存していた。杭の先端には焼痕が残っていた。遺構覆土は泥岩・泥岩粒を多く含む暗灰色砂質土。

・**出土遺物 (図54)**

1～3は手づくね・4は青磁皿。

・**第6面構成土出土遺物 (図54・図55)**

5～8はかわらけ・9～22は手づくね・22は白かわらけ・23～25は青磁碗・26は瀬戸壺・27は常滑片口鉢Ⅰ類・28は瓦・29はふいごの羽口・30～37は木製品、30は曲物・31は用途不明・32は箸・33～35は用途不明・36は部材・37は柱。

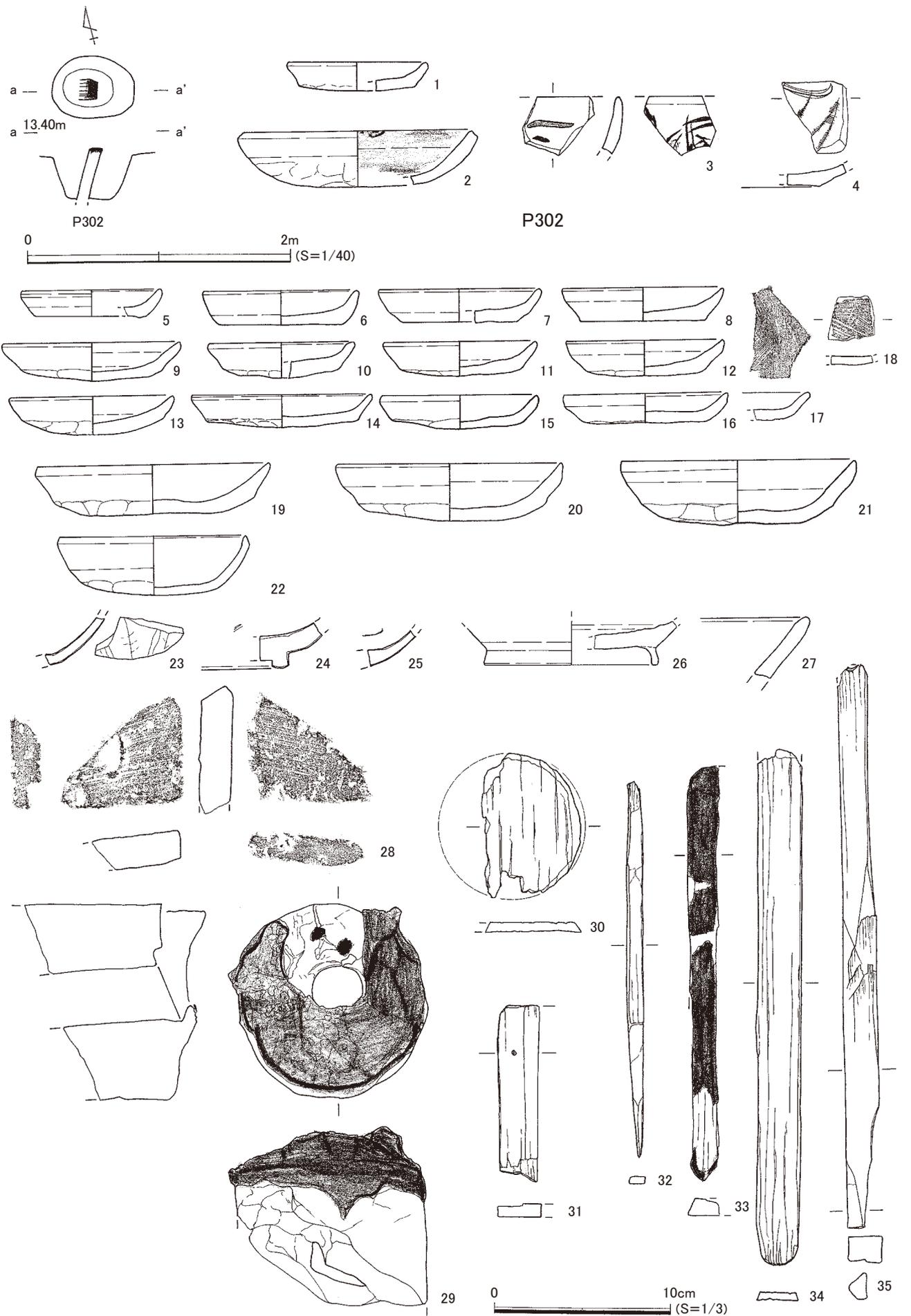


图54 第6面 个别遺構・構成土(1) 出土遺物

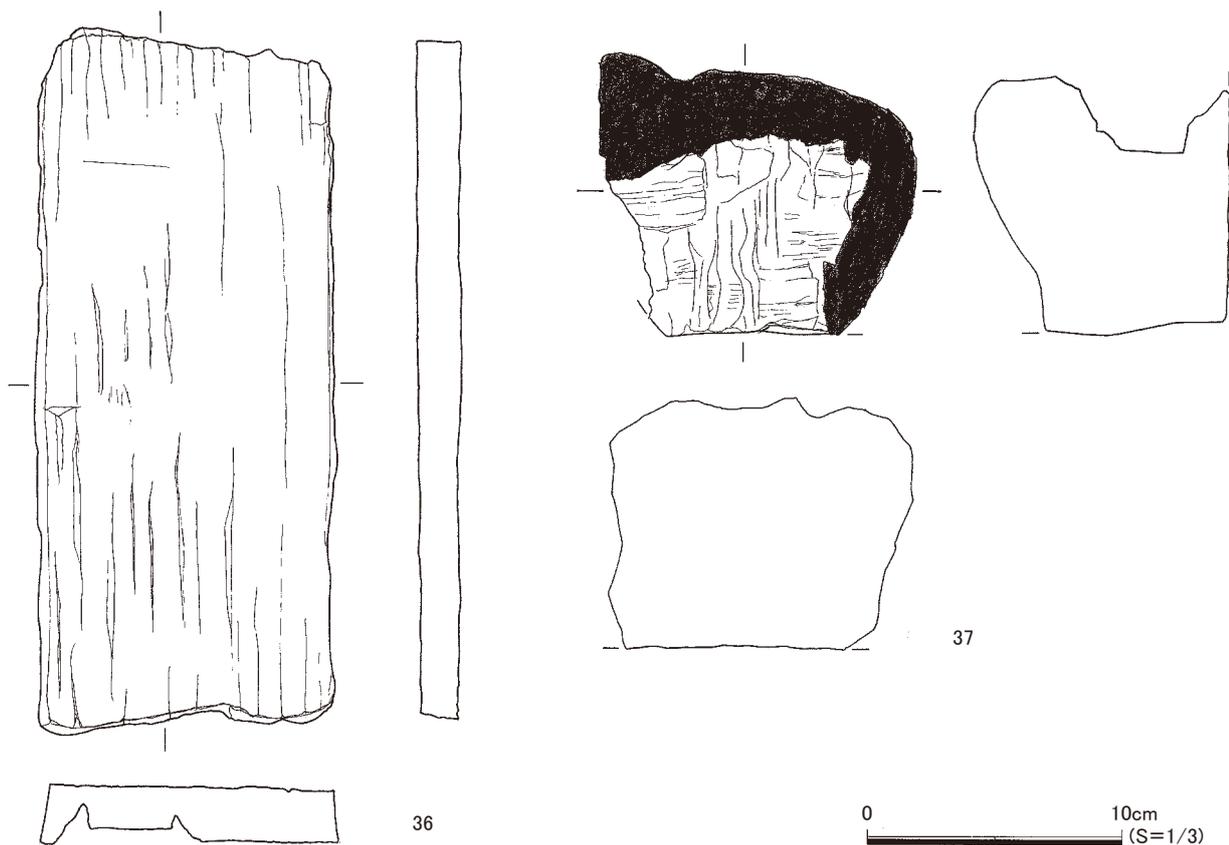


図55 第6面 構成土出土遺物(2)

7. 第7面の遺構と遺物 (図56・図57)

第7面は泥岩粒・泥岩・炭化物を含む黒灰色弱粘質土上で遺構を検出した。発見した遺構は溝1条・ピット4穴である。第7面検出後に土層堆積を観察すると、第6面と第7面の間に地業層があることが分かった。第7面遺構として報告している溝や、面上に散逸する礎板・杭等の板材は、第7面上層の遺構であったことを確認している。第7面確認レベルは海拔12.00mである。

・溝4 (図57)

トレンチ内を東西に走る溝である。杭によって溝壁に沿った横板を固定していることを確認した。溝幅(30～50)cm・深さ14cmを測る。遺構覆土は灰褐色砂質土・炭化物を含む暗褐色弱粘質土。

・出土遺物 (図57)

1～4はかわらけ・5～6は手づくね・7～8は木製品、7は端材・8は串状。

・ピット303 (図57)

長軸41cm・短軸(33)cm・深さ23cmを測り、楕円形を呈する。ピット304を切る。遺構覆土内に礎板が遺存していた。遺構覆土は多量の泥岩粒・貝砂を含む暗褐色弱粘質土。

・出土遺物 (図57)

9はかわらけ。

・ピット304 (図57)

ピット303に切られる。長軸(34)cm・短軸32cm・深さ24cmを測り、楕円形を呈する。遺構覆土は多量の泥岩粒を含む暗灰色弱粘質土。遺物は破片でかわらけが出土している。

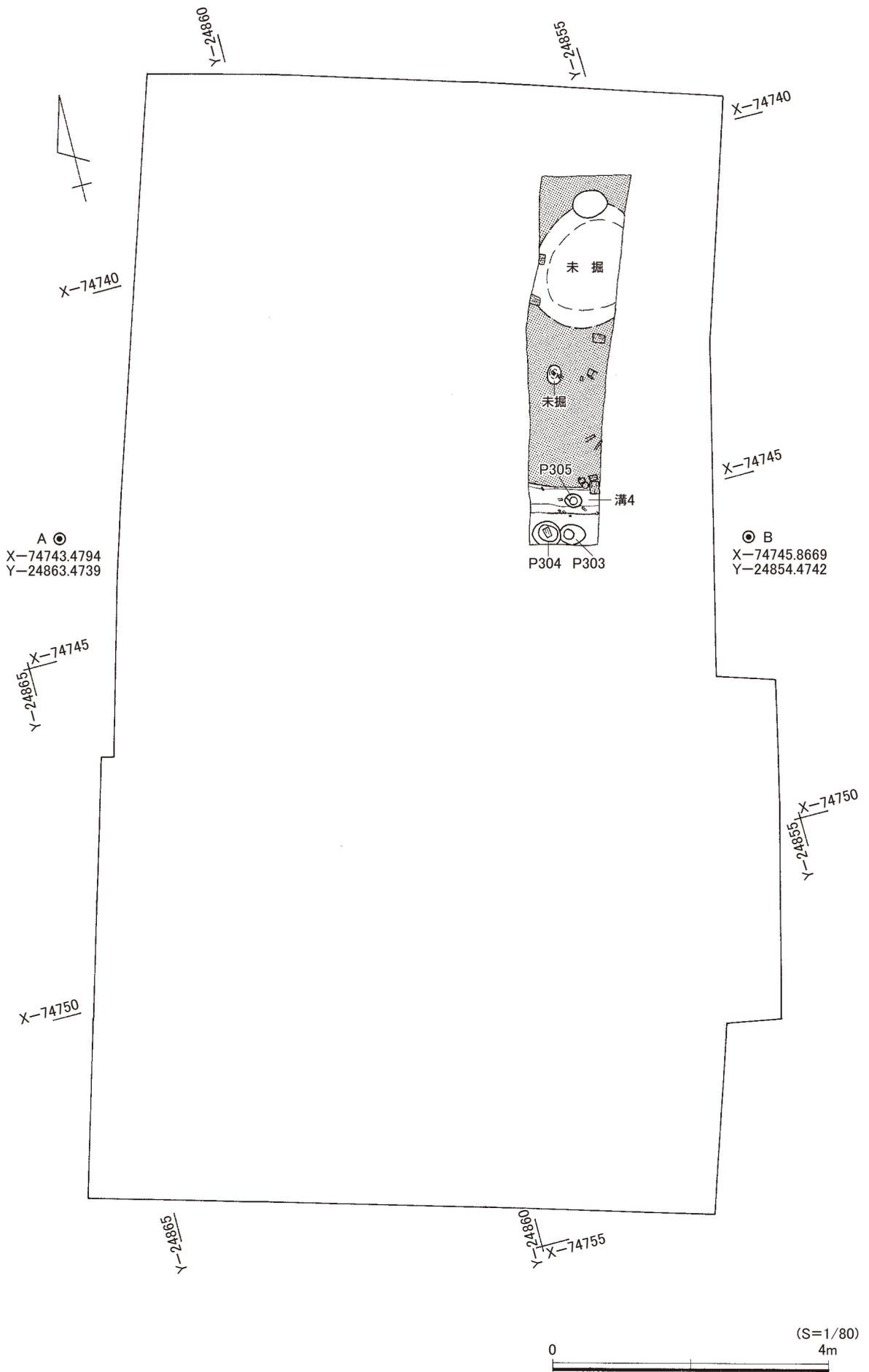


図56 第7面全測図

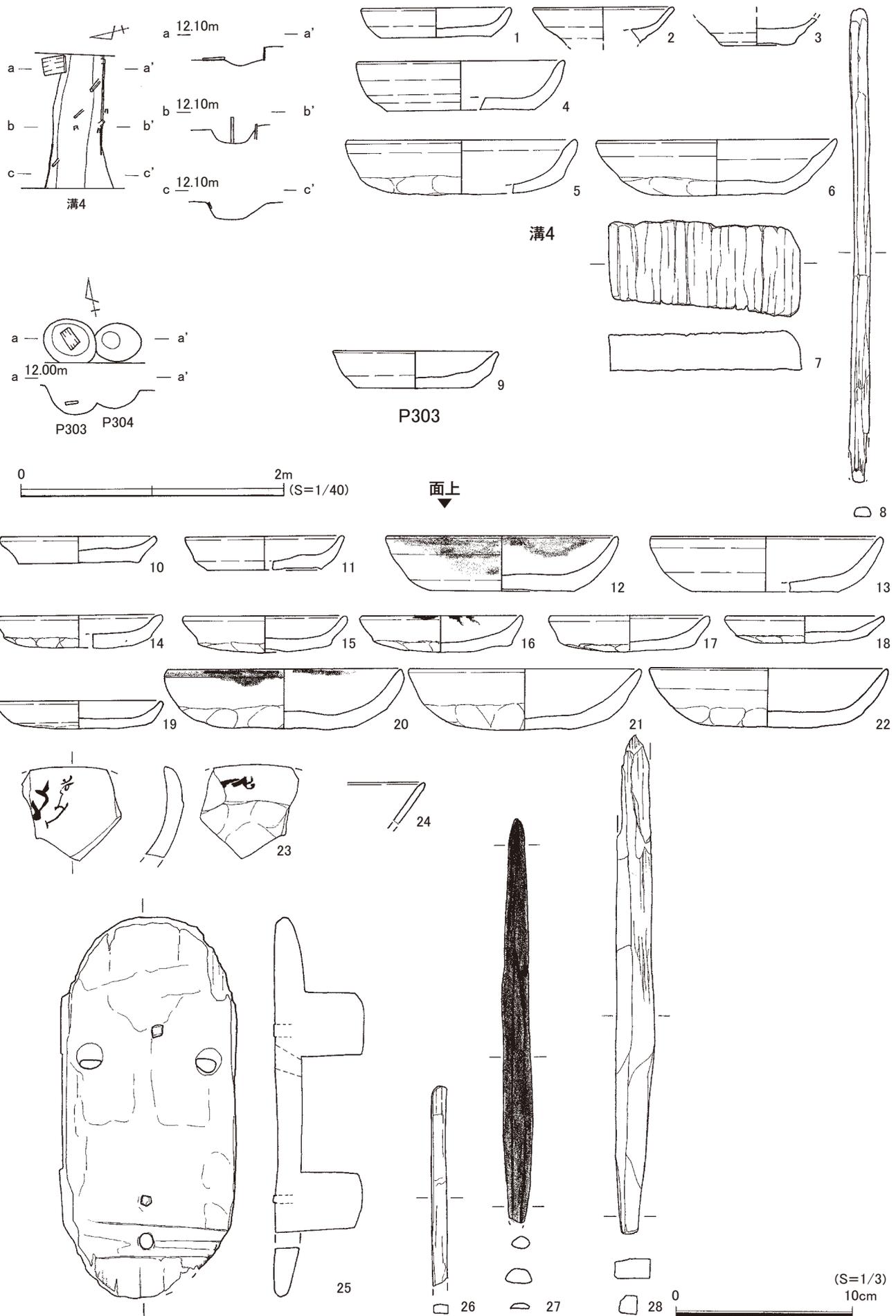


図57 第7面個別遺構・面上出土遺物

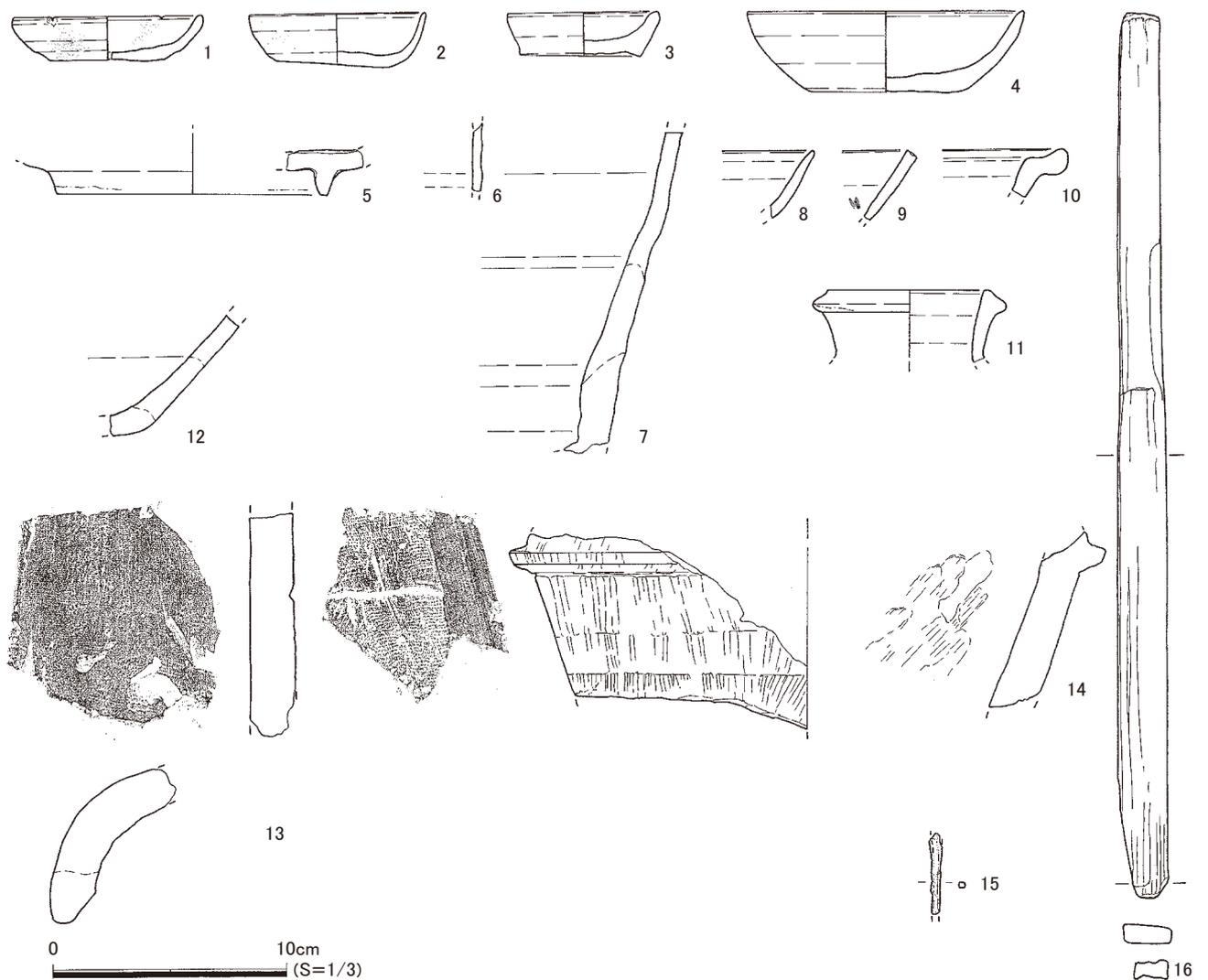


図58 表土採集遺物

・第7面面上出土遺物 (図57)

10～13はかわらけ・14～23は手づくね・23は墨書あり・24は青磁碗・25～28は木製品・25は下駄・26～28は用途不明。

・表土採集遺物 (図58)

調査区内表土、および廃土山などから採集した遺物である。

1～4はかわらけ・5は青磁鉢・6～7は褐釉壺・8は瀬戸入子・9は瀬戸卸皿・10は瀬戸折縁皿・11は瀬戸瓶子・12は常滑片口鉢I類・13は男瓦・14は滑石鍋・15は鉄製品釘・16は木製品杭。

第三章 まとめ

本調査地点一帯は、源頼朝が大倉の地に造営した御所の西門に当たることから「西御門」の地名が残る地域である。大倉幕府は、「西御門」のほか「東御門」「南御門」の地名からおおよその範囲が推定されており、北限を頼朝の墓が建つ丘陵下の東西道、南限を筋替橋から六浦へ向かう道（現県道金沢鎌倉線）、東限を二階堂大路への分岐点から東御門川に沿い、西限は筋替橋から小町大路の延長線上に北上する西御門川沿いが、その範囲であったと考えられている。

筋替橋より北に延びる西限の道は、明治期の神奈川師範学校（現横浜国立大学附属小学校）設立に伴って失れているが、本調査地点はこの道と大倉幕府北限の道が交錯する幕府北西角となる場所に隣接する。調査地南に接する道路を西に向かったところには、赤橋北条氏から足利氏へと嫁いだ清江禅尼の菩提寺である禅宗の保寿院（廃寺）があり、大臣山を背に抱えている。また調査地西側の道路を北に向かえば時宗来迎寺へと行きつく。この付近にはもと禅宗の太平寺や真言系の大門寺があったという。大門寺という寺名は付近に大きな門が存在したことを示唆するとの指摘がある。本調査地点は保寿院跡、来迎寺へと続く道路の辻となる場所に近く、重要な地点であることが窺える。

また西御門の辺りは大倉の御所に近いいためか、三浦義村ほか天野景村や後藤基綱など有力御家人の屋敷が存在したといわれている。特に後藤氏からは大門寺に住する僧侶が出ており、当地域との関係が深い。以下、発見した遺構・遺物について簡単なまとめを行う。

検出した遺構と遺物

本調査では第1面から第7面までを検出したが、建築予定建物の構造上、家屋面積全体を調査したのは第4面までであり、第5面以降は範囲を縮小した北側1/3ほどの面積において調査を行なった。また第6面以降は調査の安全を考慮し、トレンチでの調査を実施した。なお掘削深度との兼ね合いにより第7面で調査を終了したため、中世地山を確認するには至っていないことを明記しておく。

第1面で検出した遺構は少なくとも2時期の遺構が切り合っており、多くのピットを発見したにもかかわらず、建築址を想定することはできなかった。生活面を構成する地業は破碎泥岩を敷き詰めた版築がなされており、各種遺構を切る形で溝1と池状遺構が掘削されている。池状遺構は用途不明の遺構であり池である確証はないが、溝とするには大型であるため付した名称である。東西に流れる流路なのかもしれないが、東西での高低差は確認できなかった。池状遺構は遺物から見れば15世紀後半～16世紀ごろまで存続したと考えられ、本調査地点中最も新しい遺構である。なお溝1も同様の時期に掘削されたものとみられる。溝1を挟んだ東西の地業には版築の構成土に明らかな違いがあり、第3面の溝2が同じような位置にあることから見ても、前時代の区画が踏襲されていた可能性が考えられる。また溝1と溝状土坑1・2・3で囲まれた範囲がみられるが、区画されたものとみるか判断は難しい。この面の出土遺物は特に池状遺構から多く出土し、舶載や瀬戸製品、特に袋物の多さが目立つ。1面の年代は出土遺物から概ね15世紀代の年代を与えている。溝1と池状遺構の出土遺物には大窯製品や16世紀に至る常滑製品までが散見されることから、1面存続期間以降に掘削された可能性も否定できない。のちに調査区全面が削られたため、同じ面での検出となったと考えられる。

第2面は2時期が切り合っている。調査区全面の地業には破碎泥岩を敷き詰めた版築がなされる。上の面から掘削された溝1を挟んだ東西の区画で検出されるピット数などに明らかな差異が見られ、第2面の時代に第1面溝1と同様の溝が存在したことを窺わせる。溝1西側はピットが少なく凝灰岩片が多く散乱することから、これらを使用した建築物が存在したのかもしれないが、検出遺構から位置を想定することはできない。第2面の年代は出土遺物から概ね14世紀代の年代を与えている。

また第2面で特筆すべき出土遺物は土製人形(図24-84)であろう。神奈川県立歴史博物館館長の薄井和男氏より巫女で間違いはないだろうとのご意見をいただいた。後ろ髪が表現されないのは襟の中に入れて背中には垂らさないため、手に持つものについては不明とのこと。なにか儀式用の品であろうか。造作は確実に職人の手によるもので、使用用途も玩具ではなく神事に用いたのではないかという。顔は墨で書いておらず、ヘラで切った様子もない。制作年代も室町期になるともっとぼてっとした印象になるようで、鎌倉時代後半で良いのではないかと判断されている。

第3面は3時期が切り合っている。調査区全面の地業には破碎泥岩を敷き詰めた版築がなされる。調査区を南北に走る溝2によって区画された東西で遺構の数に違いが見られる。この溝2が第1面溝1まで踏襲される区画溝と判断される。溝2で隔たれた西側はピット数が少ないのに対し、東側ピット数は多く東西区画での差が見られる。東区画の中央には広範囲に炭化物が広がり、隣接するようにかわらけが集中廃棄されていることは、地鎮や祭祀などの行事が行われた痕跡である可能性を想起させる。第2面では炭化物範囲と同様の位置に大型の土坑17が検出されているのもこれに関連しているのであろうか。同位置での建て替えと祭祀などが行われたようにも見える。なお、第3面で特筆すべき遺物に五銖銭がある。鎌倉での出土例は管見の限り初めてのことである。また口径17cmを超える特大のかわらけ皿も出土している。第3面の年代は出土遺物から概ね14世紀前半ごろの年代が与えられる。

第4面は2時期が切り合っている。地業は他の生活層に比べて弱く、上層で見られた溝と区画も、当生活面では見られない。また底部に礎板を敷いたピットが一定数検出されたものの、建物規模の想定には至らなかった。上層と比べて土地利用に大きな差があり、第1面池状遺構の南面あたりにピットが集中する。また、調査区中央西端に切石を並べた遺構が検出されている。第1面から第2面への掘り下げ時に、近い位置から礎石が計4基重なって検出されており、建物の造り替えが同じ位置で行われていたことを示すものと考えているが、この切石列も関係する可能性が高い。切石が東側に延びる様子は見られず、切石を用いた建物は西側に延びるものと考えられる。あるいは大倉幕府北西角となる辻に接する建物の一部となる可能性もあろう。第4面の年代は出土遺物から概ね14世紀初頭ごろの年代が与えられる。

第5面は建設予定建物の構造上、範囲を縮小した北側1/3ほどの面積で調査を行なっている。遺構は3時期が切り合う。地業は破碎泥岩を用いた強固な版築がなされており、多くのピットと溝、井戸などを検出したが、建物の想定には至っていない。調査区北壁に沿って水抜きのための溝を掘った際に東西2間分となる伊豆石を3基検出した。北面に延びる建物と想定できる。井戸1もこれに付属するものであろうか。また調査区南壁に沿って礎板を有するピットを3基検出し、南面に延びる建物と想定している。この2つの建物は調査区中央のやや南寄りを東西に走る溝3によって隔たれており、あるいはここに区画があるとも考えられる。2つの建物は構造こそ違うものの同じ方向軸で建てられている。この方

向軸は溝3にも共通するが、調査区の南に接する現代の東西道の軸線とは一致せず、この時代に南面していた東西道の軸線を導き出す手がかりにもなると考えられる。また、この面より出土遺物に手づくねかわらけが含まれるようになる。第5面の年代は出土遺物から概ね13世紀後半ごろの年代が与えられる。なお井戸1は掘削深度の制限により完掘していない。

第6面以下は調査の安全を考慮しトレンチのみの調査となった。地業は破碎泥岩を用いた地盤で、遺構の切合いは見られない。狭い範囲であるため検出された遺構は少なく、生活面の様相は不明瞭である。ピットには柱や礎板が残存する。

第7面は最終調査面である。掘削深度超過のため調査を終えたが、中世地山の検出には至らなかった。トレンチ調査のため検出した遺構は少ないが、地業は破碎泥岩を用いた地盤にピットや建材を確認している。東西に延びる溝4は小規模ながら土地の区画を考える上で重要な遺構になるだろう。第7面の年代は第6面と合わせて出土遺物から概ね13世紀前半～中ごろの年代が与えられる。

遺構の変遷

面積の限られた調査であるため、限られた空間内での様相しか提示することができないが、第7面までの生活層から、およそ13世紀前半～15世紀代、場合によっては16世紀に至るまでの土地利用を確認することができた。地業は破碎泥岩を用いた強固な造成が繰り返され、14世紀前半代より調査区の東西で区画された様相も窺える。この区画は15世紀まで踏襲されたと見るべきであろう。なお、生活層は調査した面からさらに下層にも広がっているとみられ、鎌倉時代初期から土地が利用されていたものと推定される。

13世紀前半から後半まで掘立柱建物が造り替えられていたようであるが、13世紀後半には礎石建物も建造される。井戸も付属し居住空間であったことが推測される。また、少なくとも14世紀初頭までには建造されていた切石を伴う建物は、調査区より西側に立っていたと見られ、筋替橋から北に延びる大倉幕府西限の道と、頼朝法華堂の下を東西に走る北限の道が交錯する辻に位置した建物の一部である可能性もある。建物の性格は不明だが、盤石な基礎を有する高級な建築物が存在したことを窺わせる。この建物のすぐ東隣には掘立柱建物が存在したと見られ、調査区の南に接する道路から少し奥まった位置に建物が並ぶ様相が垣間見える。14世紀前半には調査区の東西が区画され、活用状況に差が見られる。奥まった場所から南に接する道路までの空閑地に柱穴が多く並ぶようになり、土地利用にも前代から大きく変わるように見受けられる。この区画は15世紀代まで踏襲され、1面の溝1へとつながる。また時期を同じくして調査区北側に池状遺構が掘られる。この遺構の用途は不明であるが、15世紀代に舶載の壺・水注や瀬戸製品の袋物が少なからず出土する様相は、鎌倉幕府滅亡以降に有力者による土地利用があったことを窺わせる。大倉は御所が移転する嘉禄元年(1225)までは幕府中心地であったが、移転後は活用されない土地となったかといえ、そうではない。三浦一族は宝治元年(1247)に滅亡しているがそれまでは代々の土地に住み続け、後藤一族のように西御門の寺院に僧侶を輩出する家もある。また足利尊氏は鎌倉幕府滅亡後に大倉に居を構えたともいい、多く移転を行った鎌倉公方の御所は応永十四年(1407)には「大蔵」、享徳三年(1454)には「西御門」に造営されていたことが知られる。本調査で確認された15世紀の出土遺物の多彩さは、これらが反映されている可能性も考えられよう。

なお、検出した遺構からは炭化物や炭が多く混入する覆土や、火災痕の残る建築部材が確認されている。史料上では弘安三年(1280)、応永四年(1296)、延慶三年(1310)、正和四年(1315)などの火災記

事が見られ、あるいはこれらの火災による影響も考慮せねばなるまい。

最後に、本調査地点の特徴として舶載陶磁の出土量が多いことはすでに指摘したが、特に褐釉が多い点が気にかかる。褐釉は輸送容器としての性格が指摘されているが、あるいはこれが本調査地点の性格を探る手掛かりとなるか。ほか、かわらけの中皿や墨書かわらけが他の遺跡に比べて多いことも指摘しておく。

(古田土 俊一)

参考文献

- 小野正敏 2003「威信財としての貿易陶磁と場—戦国期東国を例に—」『戦国時代の考古学』高志書院
高柳光寿ほか1959『鎌倉市史 総説編』吉川弘文館
高橋慎一郎2005『武家の古都、鎌倉』山川出版社
高橋慎一郎 1999『中世の都市と武士』吉川弘文館
長塚 孝 2009「鎌倉御所に関する基礎的考察」『禅と地域社会』吉川弘文館
貫達人ほか1959『鎌倉市史 社寺編』吉川弘文館
貫達人・川副武胤1980『鎌倉廃寺辞典』有隣堂
山村亜紀1997「中世鎌倉の都市空間構造」『史林』80(2) 史学研究会

出土遺物観察表 ()は復元値

図版 No.	番号	出土面・遺構名	種別	口径 (長さ)	底径 (幅)	器高 (高さ)	a.成形 b.胎土・素地 c.色調 d.釉薬 e.焼成 f.備考
6	1	第1面・池状遺構(1)	かわらけ	(7.8)	(5.8)	1.4	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 海綿骨針 赤色粒 泥岩粒 やや粗土 c.橙色 e.良好
6	2	第1面・池状遺構(1)	かわらけ	(7.9)	(5.6)	1.4	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂多め 海綿骨針 赤色粒 粗土 c.黄灰色 e.やや甘い f.外面、底部煤付着
6	3	第1面・池状遺構(1)	かわらけ	7.1	5.1	1.4	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデの後側面回転ナデ b.微砂多め 海綿骨針 赤色粒 泥岩粒 粗土 c.黄灰色 e.やや甘い
6	4	第1面・池状遺構(1)	かわらけ	7.4	5.4	1.4	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 海綿骨針 赤色粒 泥岩粒 やや粗土 c.黄橙色 e.良好
6	5	第1面・池状遺構(1)	かわらけ	(7.4)	(4.9)	1.6	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂多め 海綿骨針 赤色粒 泥岩粒 粗土 c.黄橙色 e.良好
6	6	第1面・池状遺構(1)	かわらけ	7.8	5.8	1.6	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底強くナデ b.微砂多め 海綿骨針 赤色粒 粗土 c.黄灰色 e.やや甘い
6	7	第1面・池状遺構(1)	かわらけ	8.0	6.2	1.7	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂多め 海綿骨針 赤色粒 泥岩粒 粉質気味粗土 c.黄灰色 e.やや甘い
6	8	第1面・池状遺構(1)	かわらけ	7.7	5.2	1.9	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 海綿骨針 赤色粒 泥岩粒 粗土 c.黄橙色 e.良好
6	9	第1面・池状遺構(1)	かわらけ	7.5	5.1	1.7	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 海綿骨針 やや粗土 c.淡黄色 e.やや甘い f.口唇部油煤痕
6	10	第1面・池状遺構(1)	かわらけ	(7.0)	(4.9)	1.6	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 海綿骨針 赤色粒 泥岩粒 粗土 c.橙色 e.良好 f.歪み強い
6	11	第1面・池状遺構(1)	かわらけ	(7.7)	(5.6)	1.6	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 海綿骨針 赤色粒 泥岩粒 やや粗土 c.淡黄色 e.やや甘い
6	12	第1面・池状遺構(1)	かわらけ	(7.9)	(6.2)	1.6	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 海綿骨針 赤色粒 泥岩粒 やや粗土 c.黄橙色 e.良好 f.口唇部油煤痕
6	13	第1面・池状遺構(1)	かわらけ	7.2	5.3	1.7	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂多め 海綿骨針 赤色粒 泥岩粒 粗土 c.橙色 e.良好
6	14	第1面・池状遺構(1)	かわらけ	7.6	4.8	1.8	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 海綿骨針 赤色粒 粉質気味良土 c.黄橙色 e.良好
6	15	第1面・池状遺構(1)	かわらけ	(7.2)	(5.5)	1.6	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底強くナデ b.微砂 海綿骨針 赤色粒 泥岩粒 粗土 c.黄橙色 e.良好 f.外面煤付着
6	16	第1面・池状遺構(1)	かわらけ	7.1	4.6	1.4	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 海綿骨針 赤色粒 泥岩粒 粉質気味良土 c.黄灰色 e.やや甘い
6	17	第1面・池状遺構(1)	かわらけ	(7.3)	(4.8)	1.9	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 海綿骨針 泥岩粒 良土 c.黄灰色 e.甘い f.内面薄く墨書痕か
6	18	第1面・池状遺構(1)	かわらけ	8.0	5.0	1.7	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 海綿骨針 赤色粒 泥岩粒 やや粗土 c.黄橙色 e.良好
6	19	第1面・池状遺構(1)	かわらけ	(6.9)	(4.2)	2	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 海綿骨針 白色粒 良土 c.黄灰色 e.やや甘い
6	20	第1面・池状遺構(1)	かわらけ	7.6	4.8	2.4	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底強くナデ b.微砂 海綿骨針 赤色粒 泥岩粒 やや粗土 c.橙色 e.良好 f.口唇部油煤痕
6	21	第1面・池状遺構(1)	かわらけ	(6.2)	(4.3)	2	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底強くナデ b.微砂 海綿骨針 赤色粒 白色粒 泥岩粒 粗土 c.橙色 e.良好
6	22	第1面・池状遺構(1)	かわらけ	(5.8)	(3.7)	1.9	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 海綿骨針 赤色粒 白色粒 泥岩粒 粗土 c.橙色 e.良好
6	23	第1面・池状遺構(1)	かわらけ	(8.7)	(6.2)	1.9	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂多め 海綿骨針 赤色粒 泥岩粒 粗土 c.黄橙色 e.良好
6	24	第1面・池状遺構(1)	かわらけ	(9.4)	(6.8)	2.7	a.ロクロ 外底回転糸切痕不明瞭 内底強くナデ b.微砂 海綿骨針 赤色粒 白色粒 泥岩粒 小石粒・粗い胎土 c.黄橙色 e.不良 f.口唇部油煤痕 二次焼成受け器壁剥離
6	25	第1面・池状遺構(1)	かわらけ	(9.0)	4.8	2.5	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底強くナデ b.微砂 海綿骨針 赤色粒 良土 c.黄灰色 e.甘い f.口唇部油煤痕
6	26	第1面・池状遺構(1)	かわらけ	10.2	6.0	2.9	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 海綿骨針 赤色粒 粉質良土 c.黄橙色 e.良好 f.薄手の器壁
6	27	第1面・池状遺構(1)	かわらけ	10.4	6.4	2.9	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 海綿骨針 赤色粒 泥岩粒 やや粗土 c.橙色 e.良好
6	28	第1面・池状遺構(1)	かわらけ	10.5	6.5	3.4	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂多め 海綿骨針 赤色粒 白色粒 泥岩粒 粗土 c.黄橙色 e.良好
6	29	第1面・池状遺構(1)	かわらけ	13.8	8.2	3.3	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底強くナデ b.微砂 海綿骨針 赤色粒 泥岩粒 やや粗土 c.淡黄色 内面煤付着で灰色 e.やや甘い f.外面口唇部～内面全体煤付着
6	30	第1面・池状遺構(1)	かわらけ	14.0	8.7	3.6	a.ロクロ 外底回転糸切痕不明瞭 板状圧痕 内底ナデ b.微砂多め 海綿骨針 赤色粒 やや粗土 c.淡黄色 e.やや甘い
6	31	第1面・池状遺構(1)	かわらけ	12.7	8.9	3.3	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 海綿骨針 赤色粒 泥岩粒 やや粗土 c.黄橙色 e.良好
6	32	第1面・池状遺構(1)	かわらけ	(12.7)	(8.3)	3.3	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 海綿骨針 赤色粒 泥岩粒 やや粗土 c.橙色 e.良好
6	33	第1面・池状遺構(1)	かわらけ	(12.1)	(7.1)	3.2	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底強くナデ b.微砂 海綿骨針 赤色粒 泥岩粒 粗土 c.黄橙色 e.良好
6	34	第1面・池状遺構(1)	かわらけ	(12.0)	(7.5)	3.2	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 海綿骨針 赤色粒 泥岩粒 粗土 c.黄橙色 e.良好
6	35	第1面・池状遺構(1)	かわらけ	(12.5)	(8.3)	3	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 海綿骨針 赤色粒 泥岩粒 やや粗土 c.黄橙色 e.良好
6	36	第1面・池状遺構(1)	かわらけ	(11.8)	(6.7)	3.7	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 海綿骨針 赤色粒 やや粗土 c.黄灰色 e.やや甘い
6	37	第1面・池状遺構(1)	かわらけ	(11.4)	(6.6)	3	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 海綿骨針 赤色粒 やや粗土 c.淡黄色 e.良好 f.口唇部煤付着
6	38	第1面・池状遺構(1)	かわらけ	(11.7)	(5.0)	3.4	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂多め 海綿骨針 赤色粒 泥岩粒 粗土 c.橙色 e.良好 f.内底煤付着
6	39	第1面・池状遺構(1)	かわらけ	(12.8)	(6.8)	3.4	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 海綿骨針 赤色粒 白色粒 泥岩粒 やや粗土 c.橙色 e.良好 f.白かわらけ
6	40	第1面・池状遺構(1)	瓦器碗	(11.2)	—	—	a.ロクロ b.白色粒 良土 c.灰白色 e.良好
6	41	第1面・池状遺構(1)	青磁 鎗蓮弁文碗	—	—	口縁部片	a.ロクロ 底部糸切り痕 b.灰色 黒色微砂 精良土 d.明灰緑色透明 やや厚手施釉 貫入あり e.堅緻 f.竜泉窯
6	42	第1面・池状遺構(1)	青磁 鎗蓮弁文碗	—	—	口縁部片	a.ロクロ b.灰白色 黒色微砂わずか 精良土 d.青緑色半透明 やや厚手施釉 e.堅緻 f.外面蓮弁文を片切彫 竜泉窯

単位 (cm)

出土遺物観察表 ()は復元値

図版 No.	番号	出土面・遺構名	種別	口径 (長さ)	底径 (幅)	器高 (厚さ)	a.成形 b.胎土・素地 c.色調 d.釉薬 e.焼成 f.備考
6	43	第1面・池状遺構(1)	青磁 鎗蓮弁文碗		口縁部片		a.ロクロ b.灰白色 黒色微砂 精良土 d.緑褐色半透明 やや厚手施釉 e.堅緻 f.外面蓮弁文を片切彫 竜泉窯
6	44	第1面・池状遺構(1)	青磁 碗	—	4.6	—	a.ロクロ b.黄灰色 黒色粒 精良土 c.緑灰色不透明 内面～外面高台脚までやや厚めに施釉 気泡多め e.堅緻 f.高台削り出し 高台皿付き～高台内底部にかけて露胎
6	45	第1面・池状遺構(1)	白磁 口元皿	(9.9)	—	—	a.ロクロ b.灰白色 黒色粒 精良堅緻 d.灰白色半透明 薄手施釉 気泡あり 口唇部露胎
6	46	第1面・池状遺構(1)	白磁 口元皿	(10.8)	(6.0)	2.8	a.ロクロ b.白色 黒色粒少量含む 精良堅緻 d.青味灰白色透明 薄手施釉 口唇部露胎 e.堅緻
6	47	第1面・池状遺構(1)	白磁 口元皿		口縁部片		a.ロクロ b.灰白色 精良土 d.灰白色不透明 内面やや厚手施釉 口唇部露胎 e.堅緻 f.口唇部煤付着
6	48	第1面・池状遺構(1)	白磁 皿		口縁部片		a.ロクロ b.灰白色 精良土 d.緑白色透明 口唇部露胎 e.堅緻 f.内面上部に2条の沈線・下部に印花文
6	49	第1面・池状遺構(1)	白磁 皿		口縁部片		a.ロクロ b.白色 夾雑物なし 精良土 d.青灰白色透明 口唇部露胎 e.堅緻 f.内面印花文
6	50	第1面・池状遺構(1)	白磁 皿	—	(2.1)	—	b.白色 精良堅緻 d.灰味白色半透明 内面～外面胴真中まで施釉 外底部露胎 e.堅緻 f.見込み内部に草花紋(牡丹紋)型押し
6	51	第1面・池状遺構(1)	白磁 小壺		口縁部片		a.ロクロ 側面型押し b.白色 精良土 d.灰青色半透明 外面やや薄手 内面薄手施釉 口唇部～内面中央露胎 e.堅緻 f.外面花文の型押し
6	52	第1面・池状遺構(1)	白磁 小壺	—	(2.8)	—	a.ロクロ 側面型押し b.白色 精良土 d.白色透明釉 薄手施釉 外底付近露胎
6	53	第1面・池状遺構(1)	白磁 小壺		胴部片		a.ロクロ 中央部貼付 側面型押し b.白色 精良土 d.灰青色半透明 外面やや薄手 内面薄手施釉 口唇部～内面中央露胎 e.堅緻 f.宝相華文の型押し
6	54	第1面・池状遺構(1)	青白磁 梅瓶		胴部片		a.ロクロ b.灰白色 精良土 d.灰青色透明 外面やや薄手 内面薄手施釉 内外貫入あり e.堅緻 f.二次焼成の為器壁剥離
6	55	第1面・池状遺構(1)	青白磁 壺		胴部片		b.灰白色 黒色粒 精良 d.釉剥離 e.堅緻
6	56	第1面・池状遺構(1)	青白磁 器種不明		胴部片		a.ロクロ 文様型押し b.灰白色 黒色粒 精良土 d.水青色半透明 外面やや薄手 内面薄手施釉 e.堅緻 f.合子の蓋か 宝相華文の型押し
6	57	第1面・池状遺構(1)	青白磁 梅瓶	(4.8)	2.8	—	a.ロクロ b.灰白色 精良土 d.灰青色半透明 薄く施釉 外面やや薄手 内面薄手施釉 f.天井部回転を利用した一条沈線施文蓋
6	58	第1面・池状遺構(1)	青白磁 水注		注口片		b.灰色 黒色粒 精良土 d.灰青色不透明 注口内部まで施釉 二次焼成受ける e.堅緻 注口径0.9・孔幅0.35
6	59	第1面・池状遺構(1)	青白磁 香炉		口縁部片		a.玉縁貼付け b.灰白色 黒色粒 精良 d.灰青色不透明の釉をやや厚手施釉 e.堅緻 f.外面口縁下部に珠文貼り付け
6	60	第1面・池状遺構(1)	天目茶碗	(11.8)	3.9	5.2	a.ロクロ 外底回転糸切痕 高台部露胎・ヘラ削り b.灰色 砂粒多い 良土 d.暗褐色～茶褐色やや厚手施釉 e.硬質
6	61	第1面・池状遺構(1)	褐釉 壺				a.ロクロ 内面露胎 b.灰色 精良土 d.暗褐色～茶褐色薄手施釉 e.硬質
6	62	第1面・池状遺構(1)	褐釉 壺	(10.9)	—	—	b.灰色 白色粒 黒色粒 精良土 d.暗茶褐色 内外共に施釉 内面流下の濃液あり e.堅緻 f.長胴壺か?
6	63	第1面・池状遺構(1)	褐釉 壺		胴部片		a.ロクロ b.黄灰～灰色 白色粒 黒色粒 焼きムラあり 粗雑 d.暗茶褐色 内面釉垂れ e.内面にかけてやや軟質 外面堅緻 f.筒型の形になるタイプか
6	64	第1面・池状遺構(1)	褐釉 壺	(14.0)	—	—	a.ロクロ 耳の付く大型のもの b.灰色 白色粒やや多め やや粗雑 d.茶褐色 外面～内面頸部まで施釉 e.堅緻
7	65	第1面・池状遺構(2)	瀬戸 入子	(6.0)	(3.5)	1.8	a.ロクロ b.黄灰色 微砂 良土 c.黄灰色 e.良好 f.内面底部黒色物質付着 鉄漿か
7	66	第1面・池状遺構(2)	瀬戸 入子	(5.1)	(3.5)	1.6	a.ロクロ b.黄灰白色 砂粒 e.軟質
7	67	第1面・池状遺構(2)	瀬戸 入子	—	(4.8)	—	a.ロクロ b.灰褐色 白色粒 良土 e.堅緻 f.内面磨滅し赤色に変色 紅が付着か
7	68	第1面・池状遺構(2)	瀬戸 入子		(3.4)		a.ロクロ b.灰色 精良土 e.良好 硬質 f.3点の雑な粘土貼り付けによる脚
7	69	第1面・池状遺構(2)	瀬戸 入子	—	2.9	—	a.ロクロ 外底回転糸切痕 3か所に粘土貼付け高台 b.黄灰色 微砂 良土 c.黄灰色 e.良好
7	70	第1面・池状遺構(2)	瀬戸 緑釉小皿		口縁部片		a.ロクロ b.黄灰色 良土 d.口縁部緑灰色釉つけ掛け e.堅緻
7	71	第1面・池状遺構(2)	瀬戸 緑釉小皿		口縁部片		a.ロクロ b.黄灰色 良土 d.黄灰緑色半透明 口縁部緑灰色釉つけ掛け e.堅緻
7	72	第1面・池状遺構(2)	瀬戸 皿	—	5.2	—	a.ロクロ 外底部糸切り痕 b.灰色 黒色粒 精良土 d.黄灰緑色半透明釉 内面付着 e.良好 f.内面摩耗
7	73	第1面・池状遺構(2)	瀬戸 皿	—	5.4	—	a.ロクロ 外底部糸切り痕 b.灰色 黒色粒 精良土 d.緑灰色透明釉つけ掛け 釉垂れて底に付着 e.良好 f.内面摩耗
7	74	第1面・池状遺構(2)	瀬戸 碗		口縁部片		a.ロクロ b.灰色 精良土 d.内外面緑黄灰色透明釉つけ掛け e.堅緻
7	75	第1面・池状遺構(2)	瀬戸 碗	—	2.8	—	a.ロクロ 削り出し高台 b.黄灰色 精良土 d.内面灰緑色釉刷毛塗り 貫入あり e.やや軟質 f.重ね焼きの粘土目積みが内底に張り付いている 古瀬戸Ⅲ期か
7	76	第1面・池状遺構(2)	瀬戸 碗	—	5.0	—	a.ロクロ 貼付け高台 b.黄灰白色 黒色粒 良土 d.黄灰緑色透明釉つけ掛け 貫入あり e.堅緻 f.重ね焼きの粘土目積みが内底に張り付いている
7	77	第1面・池状遺構(2)	瀬戸 折縁皿		口縁部片		a.ロクロ b.黄灰色 白色粒 良土 d.淡灰緑色釉刷毛塗り e.良好 f.古瀬戸Ⅲ期
7	78	第1面・池状遺構(2)	瀬戸 折縁皿		底部片		a.ロクロ b.灰色 黒色粒 夾雑物少ない 良土 d.灰緑色釉 内部一部暗灰緑色 外面釉垂れ e.良好 f.重ね焼き時の粘土目積みが内底に張り付いている
7	79	第1面・池状遺構(2)	瀬戸 折縁皿	—	(9.6)	—	a.ロクロ 底部露胎 底部糸切り痕 b.黄味灰色 白色粒 黒色粒 夾雑物少ない 良土 d.淡灰緑色釉 内底外面薄く刷毛塗り e.軟質
7	80	第1面・池状遺構(2)	瀬戸 卸皿		口縁部片		a.ロクロ b.黄灰色 砂粒やや多め 良土 c.黄灰色 d.口縁部～胴部中程まで緑灰色不透明の灰釉つけ掛け e.良好
7	81	第1面・池状遺構(2)	瀬戸 卸皿	—	(8.2)	—	a.ロクロ 外底部糸切り痕 b.黄灰色 砂粒 精良土 d.灰白色の釉卸目まで刷毛塗り 外底にも付着 e.やや軟質 f.削目浅め
7	82	第1面・池状遺構(2)	瀬戸 卸皿		底部片		a.ロクロ b.黄灰白色 良土 d.黄灰緑色の灰釉をつけ掛けか、剥離して不鮮明
7	83	第1面・池状遺構(2)	瀬戸 卸皿		口縁部片		a.ロクロ b.灰褐色 白色粒 黒色粒 d.二次焼成受けただれている e.良好 f.後期Ⅳ
7	84	第1面・池状遺構(2)	瀬戸 卸皿		底部片		a.ロクロ b.黄灰色 黒色粒 良土 d.黄灰緑色透明 内面～外面胴部までつけ掛け 外底釉垂れ e.やや軟質 f.外底重ね焼きの粘土目積みあり 内面釉共に剥離

単位 (cm)

出土遺物観察表 ()は復元値

図版 No.	番号	出土面・遺構名	種別	口径 (長さ)	底径 (幅)	器高 (高さ)	a.成形 b.胎土・素地 c.色調 d.釉薬 e.焼成 f.備考
7	85	第1面・池状遺構(2)	瀬戸 底銅目皿	—	(11.2)	—	a.ロクロ 貼付け高台 b.灰色 砂粒 精良土 d.淡緑灰色不透明釉内面までつけ掛け 外面高台脇まで刷毛塗り 外底にも付着 e.やや軟質
7	86	第1面・池状遺構(2)	瀬戸 瓶子		胴部片		a.ロクロ b.灰色 精良土 d.外面に緑黄灰色透明釉 e.堅緻 f.花瓶Ⅰb類のⅣ期か
7	87	第1面・池状遺構(2)	瀬戸 水注		胴部片		a.ロクロ b.黄味灰白色 白色粒 良土 d.灰緑色釉つけ掛け e.良好 f.巴文の押印
7	88	第1面・池状遺構(2)	瀬戸 瓶子		胴部片		a.輪積み ロクロ b.灰色 夾雑物少ない 精良土 d.暗茶褐色釉 頸部の内面釉垂れ 外面二次焼成受けただれている e.良好 f.胴部の菊花唐草文は印花文 頸部は沈線で区画し花弁文
7	89	第1面・池状遺構(2)	瀬戸 瓶子		胴部片		b.黄灰色 精良土 d.緑褐色鉄釉薄手施釉 e.堅緻 f.巴文
7	90	第1面・池状遺構(2)	瀬戸 瓶子		胴部片		a.ロクロ b.黄味灰白色 白色粒 黒色粒 良土 d.灰緑色釉つけ掛け e.やや軟質 f.瓶子唐草文
7	91	第1面・池状遺構(2)	常滑 甕		口縁部片		a.輪積み技法 b.灰褐色～芯部にかけて灰色 c.褐色 降灰部灰白色 e.良好 f.9型式
7	92	第1面・池状遺構(2)	常滑 甕		口縁部片		a.輪積み技法 b.灰色 白色粒やや多め 黒色粒 長石 石英 c.暗褐色 降灰部緑灰色だが、外面二次焼成の為に白く爆ぜている e.良好 f.6b型式
7	93	第1面・池状遺構(2)	常滑 甕		口縁部片		a.輪積み技法 b.灰色 長石 石英 c.暗灰色～黄褐色 降灰部暗灰色～灰白色 e.良好 f.8型式
7	94	第1面・池状遺構(2)	常滑 甕		口縁部片		a.輪積み技法 b.灰褐色 長石 石英 小石多く含む 砂粒 粗土 c.褐色 e.良好 f.10型式
7	95	第1面・池状遺構(2)	常滑 甕		口縁部片		a.輪積み技法 b.灰褐色 長石 石英 小石粒多く含む c.茶褐色 e.良好 f.10型式
7	96	第1面・池状遺構(2)	常滑 甕		口縁部片		a.輪積み技法 b.灰褐色 長石 石英多く含む c.内面暗灰褐色 外面茶褐色 e.良好 f.9型式
7	97	第1面・池状遺構(2)	常滑 甕		口縁部片		a.輪積み技法 b.灰褐色 長石 石英 白色粒 黒色粒 良土 c.褐色 降灰部灰白色 e.良好 f.11型式
7	98	第1面・池状遺構(2)	常滑 片口鉢Ⅰ類		口縁部片		a.輪積み技法 b.灰色 長石 石英 良土 c.灰色 e.良好 f.口唇部自然降灰
7	99	第1面・池状遺構(2)	常滑 片口鉢Ⅱ類		口縁部片		a.輪積み技法 b.暗灰色 長石 石英 c.内面茶褐色 外面橙色 降灰部灰白色 e.良好
7	100	第1面・池状遺構(2)	常滑 片口鉢Ⅱ類		口縁部片		a.輪積み技法 b.灰褐色 長石 石英 良土 c.暗赤褐色 e.良好 f.13c後葉
7	101	第1面・池状遺構(2)	常滑 片口鉢Ⅱ類		口縁部片		a.輪積み技法 b.灰褐色 長石 石英 砂粒 c.暗褐色 e.良好 f.内面一部磨滅
7	102	第1面・池状遺構(2)	常滑 片口鉢Ⅱ類		口縁部片		a.輪積み技法 b.暗灰褐色 長石 石英 c.暗灰色 降灰部黄灰色 e.良好 f.8型式
7	103	第1面・池状遺構(2)	常滑 片口鉢Ⅱ類		口縁部片		a.輪積み技法 b.灰褐色 長石 石英 c.暗灰褐色 e.良好 f.内面口縁下摩耗 8型式か
7	104	第1面・池状遺構(2)	備前 播鉢		底部片		a.ロクロ b.黄灰色 白色粒 小石粒 c.外面:暗灰色摩耗 内面:灰白色磨滅 e.軟質 f.6条の櫛目
7	105	第1面・池状遺構(2)	東播系 鉢		口縁部片		c.灰色 口縁部暗灰色 b.灰色 粗砂 小石粒
7	106	第1面・池状遺構(2)	東播系 鉢		口縁部片		a.輪積み技法 b.灰色 白色粒 黒色粒 良土 c.灰色 e.良好
7	107	第1面・池状遺構(2)	瓦器質 火鉢	(36.4)	—	—	a.輪積み技法 b.灰褐色 白色粒 黒色粒多め 砂粒 小石粒 やや粗土 c.暗灰褐色(黒色処理) e.やや軟質
8	108	第1面・池状遺構(3)	瓦器質 火鉢		胴部片		a.輪積み技法 b.灰色 白色粒 黒色粒多め 砂粒 粗土 c.灰黒色(黒色処理) e.軟質 f.沈線で区画した中に珠文貼り付け
8	109	第1面・池状遺構(3)	瓦器質 火鉢		底部片		a.輪積み技法 外底面砂おこし痕 b.灰白色 白色粒 黒色粒 砂粒 やや粗土 c.灰黒色(黒色処理) e.やや軟質
8	110	第1面・池状遺構(3)	瓦器質 火鉢		底部片		a.輪積み技法 内面丁寧な回転ナデ b.灰白色 白色粒 黒色粒 砂粒 やや粗土 c.灰黒色(黒色処理) e.やや軟質 f.15c
8	111	第1面・池状遺構(3)	土風炉		口縁部片		a.輪積み技法 内面口縁の下より横方向の削り b.灰白色 白色粒 黒色粒 砂粒 やや粗土 c.灰黒色(黒色処理剥離気味) e.やや軟質 f.胴部下部に二本の凸線貼り付け 15c
8	112	第1面・池状遺構(3)	吉備系 土器碗	(9.6)	(2.3)	3.4	a.ロクロ 高台部貼り付け b.微砂 海綿骨針 やや粗土 c.淡黄灰色 e.良好 f.内面煤付着
8	113	第1面・池状遺構(3)	吉備系 土器碗	(10.5)	(4.4)	3.6	a.貼付け高台 b.微砂 白色粒 黒色粒 良土 c.淡黄灰色～灰白色 e.良好
8	114	第1面・池状遺構(3)	吉備系 土器碗	—	4.9	—	a.貼付け高台 b.微砂 白色粒 黒色粒 良土 c.内面二次焼成受け暗灰色 外面灰白色 e.良好 f.内面器壁剥離
8	115	第1面・池状遺構(3)	瓦器碗	(9.9)	—	—	b.微砂 海綿骨針 白色粒 やや粗土 c.内面灰色 外面口唇部にかけて暗灰色 e.良好
8	116	第1面・池状遺構(3)	瓦器碗		口縁部片		a.ロクロ b.黒色粒 c.黄灰白色 e.やや甘い 軟質
8	117	第1面・池状遺構(3)	不明陶器	—	(6.9)	—	a.輪積み技法 底部糸切り痕 b.微砂 白色粒 良土 c.黄褐色 e.良好 f.内底外面胴部煤付着・内底回転ナデ 底部糸切りの回転が緩い 須恵器か?
8	118	第1面・池状遺構(3)	軒平瓦	—	—	1.1～1.5	b.灰褐色 白色粒 小石粒 粗土 c. e. f.凸面:布目痕 凹面:格子目状叩き 離れ砂 永福寺Ⅲ期以降
8	119	第1面・池状遺構(3)	平瓦	—	—	2.1～2.3	b.灰色 白色粒 砂粒 良土 c.灰色 e.軟質 f.凸面:糸切痕 離れ砂付着 凹面:縦位糸切痕 布目痕 離れ砂付着 f.永福寺Ⅰ期か
8	120	第1面・池状遺構(3)	常滑 転用品	9.4	5.7	0.8～1.8	a.甕の胴部片周囲が摩耗 b.灰色 白色粒多め c.茶褐色 e.良好
8	121	第1面・池状遺構(3)	常滑 転用品	7.5	6.5	0.7～0.9	a.片口鉢Ⅰ類胴部の周囲が摩耗 b.灰色 白色粒 c.灰色 e.良好 f.断面だけでなく平面も摩耗
8	122	第1面・池状遺構(3)	常滑 転用品	4.5	4.7	1.4	a.外面以外内面側面全て磨滅
8	123	第1面・池状遺構(3)	石製品 砥石	(4.9)	4.5	(4.1)	c.灰白色 f.砥面2面 1面削痕強く残る 伊予産 中砥
8	124	第1面・池状遺構(3)	石製品 砥石	(10.2)	3.3	1.3～1.7	c.黄味灰色 やや軟質 f.砥面2面 側面3面削り出し 痕残り 鳴滝 中山産 仕上砥
8	125	第1面・池状遺構(3)	石製品 砥石	(2.1)	(3.6)	(0.8)	c.黄味灰色 やや軟質 f.鳴滝 中山産 仕上砥
8	126	第1面・池状遺構(3)	石製品 基石	1.6	1.9	0.3	b.黒色安山岩質 c.黒色

単位 (cm)

出土遺物観察表 ()は復元値

図版 No.	番号	出土面・遺構名	種別	口径 (長さ)	底径 (幅)	器高 (高さ)	a.成形 b.胎土・素地 c.色調 d.釉薬 e.焼成 f.備考
8	127	第1面・池状遺構(3)	銅銭	外径25.32mm 内径21.3mm 孔幅6.72mm 厚さ1.49mm			f.開元通寶 唐 初鑄845年
8	128	第1面・池状遺構(3)	銅銭	外径23.53mm 内径19.95mm 孔幅6.56mm 厚さ1.29mm			f.祥符元寶 北宋 初鑄1008年 真書
8	129	第1面・池状遺構(3)	銅銭	外径23.85mm 内径6.99mm 孔幅7.00mm 厚さ1.19mm			f.嘉定通寶 南宋 初鑄1208年 背十二
9	130	第1面・池状遺構(4)	木製品 箸状	22.4	0.7	0.5	f.端部丁寧な整形
9	131	第1面・池状遺構(4)	木製品 箸状	21.4	0.5	0.3	
9	132	第1面・池状遺構(4)	木製品 箸状	(19.4)	0.6	0.3	
9	133	第1面・池状遺構(4)	木製品 箸状	(13.7)	0.7	0.4	
9	134	第1面・池状遺構(4)	木製品 折敷	(15.7)	(3.1)	0.2	f.刃物痕 孔2箇所 折敷によくある材だが孔の間隔が近い
9	135	第1面・池状遺構(4)	木製品 折敷	(11.5)	(2.8)	0.2	
9	136	第1面・池状遺構(4)	木製品 用途不明	15.8	12.4	0.5	f.0.4cmの孔が3箇所あり 中心に1.0×0.7cmの穴あり 蓋か 円盤状
9	137	第1面・池状遺構(4)	木製品 曲物	径 (21.0)	—	0.4	f.紐痕 底板 焼痕
9	138	第1面・池状遺構(4)	木製品 用途不明	径 (16.0)	—	0.5	f.側面4面とも加工されている 円盤状
9	139	第1面・池状遺構(4)	木製品 串状	7.0	1.3	0.9	
9	140	第1面・池状遺構(4)	木製品 串状	6.0	0.8	0.8	f.端部に丘痕あり
9	141	第1面・池状遺構(4)	木製品 串状	8.3	1.2	1.1	
9	142	第1面・池状遺構(4)	木製品 串状	(13.6)	1.4	1.2	
9	143	第1面・池状遺構(4)	木製品 草履芯	(7.7)	4.2	0.2	f.孔(φ0.4cm)あり
9	144	第1面・池状遺構(4)	木製品 棒状	(9.5)	0.6	0.4	f.籌木か
9	145	第1面・池状遺構(4)	木製品 棒状	(11.0)	0.6	0.4	f.籌木か
9	146	第1面・池状遺構(4)	木製品 棒状	(11.4)	0.7	0.7	f.籌木か
9	147	第1面・池状遺構(4)	木製品 棒状	11.3	0.7	0.8	f.籌木か
9	148	第1面・池状遺構(4)	木製品 棒状	(12.5)	(0.8)	(0.5)	f.籌木か
9	149	第1面・池状遺構(4)	木製品 棒状	(12.9)	0.9	0.4	f.籌木か
9	150	第1面・池状遺構(4)	木製品 棒状	16.1	0.6	0.5	f.端部が焼けている 火付棒か?
9	151	第1面・池状遺構(4)	木製品 串状	(16.6)	1.2	0.7	
9	152	第1面・池状遺構(4)	木製品 串状	(26.5)	1.0	0.8	
9	153	第1面・池状遺構(4)	木製品 用途不明	8.5	4.6	0.8	f.貫通孔(釘穴)あり 板状
9	154	第1面・池状遺構(4)	木製品 用途不明	(10.0)	2.6	0.4	f.刃物痕 孔2箇所 折敷によくある材だが孔の間隔が近い 部材
9	155	第1面・池状遺構(4)	木製品 用途不明	24.0	2.4	2.1	f.両端部加工痕
9	156	第1面・池状遺構(4)	木製品 用途不明	7.1	2.8	1.8	f.端面切断痕 端材
9	157	第1面・池状遺構(4)	木製品 用途不明	(12.5)	1.8	0.5	f.削り痕 部材
9	158	第1面・池状遺構(4)	木製品 用途不明	(12.1)	1.5	0.7	f.斜めに貫通する小孔(φ0.1cm)あり 部材
9	159	第1面・池状遺構(4)	木製品 用途不明	(14.8)	5.5	1.3	f.端部が焼けている 部材
9	160	第1面・池状遺構(4)	木製品 用途不明	17.7	2.8	0.5	
9	161	第1面・池状遺構(4)	木製品 用途不明	15.2	3.4	1.0	
9	162	第1面・池状遺構(4)	木製品 用途不明	16.4	3.9	2.2	f.貫通してない孔あり 部材
10	163	第1面・池状遺構(5)	木製品 用途不明	(13.5)	1.6	(0.7)	f.削り痕 部材
10	164	第1面・池状遺構(5)	木製品 用途不明	6.2	3.0	2.0	f.端面切断痕 端材
10	165	第1面・池状遺構(5)	木製品 用途不明	(52.3)	2.0	1.0~0.5	f.釘穴が斜めに貫通している 部材
10	166	第1面・池状遺構(5)	木製品 用途不明	8.0	5.1	1.9	f.釘穴痕 端材
10	167	第1面・池状遺構(5)	木製品 用途不明	9.3	5.1	3.2	f.切断痕あり 端材
10	168	第1面・池状遺構(5)	木製品 用途不明	5.0	5.3	1.4	f.切断痕あり 端材

単位 (cm)

出土遺物観察表 ()は復元値

図版 No.	番号	出土面・遺構名	種別	口径 (長さ)	底径 (幅)	器高 (厚さ)	a.成形 b.胎土・素地 c.色調 d.釉薬 e.焼成 f.備考
10	169	第1面・池状遺構(5)	木製品 用途不明	11.7	2.7	1.6	f.端面切断痕 端材
10	170	第1面・池状遺構(5)	木製品 用途不明	38.4	3.7	1.9	f.杭
10	171	第1面・池状遺構(5)	木製品 用途不明	(17.6)	2.0	0.8	f.部材
10	172	第1面・池状遺構(5)	木製品 用途不明	(16.2)	1.1	0.7	f.串状
10	173	第1面・池状遺構(5)	木製品 用途不明	(5.2)	(5.4)	(3.6)	f.側面・端部焼痕
10	174	第1面・池状遺構(5)	木製品 用途不明	(16.8)	(4.0)	1.2	f.削り痕あり 部材
10	175	第1面・池状遺構(5)	木製品 用途不明	11.0	2.5	0.6	f.切断痕あり 端材
10	176	第1面・池状遺構(5)	木製品 形代	12.9	1.3	1.0	f.陽物
10	177	第1面・池状遺構(5)	木製品 呪符	8.3	2.1	0.5	f.側面に切りこみを入れ頭部は圭頭 下部にも切り込みが入る
11	1	第1面・溝1(1)	かわらけ	7.4	5.0	1.3	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底回転ナデ b.微砂 海綿骨針 赤色粒 泥岩粒 粗土 c.黄橙色 e.良好
11	2	第1面・溝1(1)	かわらけ	(7.6)	(5.9)	1.3	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 海綿骨針 赤色粒 泥岩粒 やや粗土 c.黄橙色 e.良好 f.内外面黒色に変色
11	3	第1面・溝1(1)	かわらけ	7.6	5.6	1.7	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底回転ナデ b.微砂多め 海綿骨針 赤色粒 泥岩粒 粗土 c.淡黄色 e.良好
11	4	第1面・溝1(1)	かわらけ	(7.7)	(4.0)	1.7	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂多め 海綿骨針 赤色粒 泥岩粒 粗土 c.黄橙色 e.良好
11	5	第1面・溝1(1)	かわらけ	7.8	5.6	1.9	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂多め 海綿骨針 赤色粒 泥岩粒 粗土 c.黄橙色 e.良好 f.内底面煤付着
11	6	第1面・溝1(1)	かわらけ	(7.8)	(5.0)	1.8	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 海綿骨針 赤色粒 泥岩粒 粗土 c.黄橙色 e.良好
11	7	第1面・溝1(1)	かわらけ	(8.1)	(5.1)	1.8	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 海綿骨針 赤色粒 泥岩粒 粉質気味良 土 c.黄灰色 e.やや甘い
11	8	第1面・溝1(1)	かわらけ	7.7	5.3	1.9	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂多め 海綿骨針 赤色粒 泥岩粒 粗土 c.淡黄色 e.良好 f.内面一部煤付着
11	9	第1面・溝1(1)	かわらけ	7.6	5.3	1.9	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底強く b.微砂 海綿骨針 赤色粒 粉質気味やや粗土 c.淡黄色 e.やや甘い f.口唇部油煤痕1ヶ所打ち掻き痕
11	10	第1面・溝1(1)	かわらけ	(7.1)	(4.4)	1.9	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底強くナデ b.微砂 海綿骨針 赤色粒 やや粗土 c.黄橙色 e.良好
11	11	第1面・溝1(1)	かわらけ	(7.3)	(5.3)	1.9	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂多め 海綿骨針 赤色粒 泥岩粒 粗土 c.黄橙色 e.良好 f.口唇部煤付着
11	12	第1面・溝1(1)	かわらけ	7.5	5.1	2	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂多め 海綿骨針 赤色粒 泥岩粒 粗土 c.黄橙色 e.良好 f.内外煤付着
11	13	第1面・溝1(1)	かわらけ	8.1	5.6	2.2	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 海綿骨針 赤色粒 泥岩粒 やや粗土 c.橙色 e.良好
11	14	第1面・溝1(1)	かわらけ	7.8	4.6	2.3	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂多め 海綿骨針 赤色粒 泥岩粒 粗土 c.橙色 e.良好
11	15	第1面・溝1(1)	かわらけ	(8.1)	(5.4)	2.7	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 海綿骨針 赤色粒 泥岩粒 やや粗土 c.橙色 e.良好 f.歪み強い
11	16	第1面・溝1(1)	かわらけ	8.2	4.7	2.3	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 海綿骨針 赤色粒 泥岩粒 やや粗土 c.橙色 e.良好
11	17	第1面・溝1(1)	かわらけ	(9.0)	(5.3)	2.5	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂多め 海綿骨針 赤色粒 泥岩粒 粗土 c.橙色 e.良好
11	18	第1面・溝1(1)	かわらけ	(6.9)	(5.3)	2	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 海綿骨針 赤色粒 泥岩粒 やや粗土 c.黄橙色 e.良好
11	19	第1面・溝1(1)	かわらけ	7.0	4.9	2	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 海綿骨針 赤色粒 泥岩粒 やや粗土 c.橙色 e.良好 f.内外面片側に油煤痕二ヶ所打ち掻き痕
11	20	第1面・溝1(1)	かわらけ	(6.8)	(4.5)	2	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 海綿骨針 赤色粒 泥岩粒 やや粗土 c.黄橙色 e.良好
11	21	第1面・溝1(1)	かわらけ	6.4	4.7	1.8	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂多め 海綿骨針 赤色粒 泥岩粒 粗土 c.橙色 e.良好 f.口唇部3ヶ所油煤痕
11	22	第1面・溝1(1)	かわらけ	(6.3)	(4.5)	1.9	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 海綿骨針 赤色粒 泥岩粒 やや粗土 c.黄橙色 e.良好 f.胴部に正円形の穿孔
11	23	第1面・溝1(1)	かわらけ	5.9	3.9	1.8	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 海綿骨針 赤色粒 泥岩粒 粗土 c.橙色 e.良好
11	24	第1面・溝1(1)	かわらけ	5.6	3.5	1.7	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂多め 海綿骨針 赤色粒 泥岩粒 粗土 c.橙色 e.良好
11	25	第1面・溝1(1)	かわらけ	5.5	4.3	1.6	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 海綿骨針 赤色粒 泥岩粒 やや粗土 c.橙色 e.良好
11	26	第1面・溝1(1)	かわらけ	10.1	7.1	2.6	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底強くナデ b.微砂多め 海綿骨針 赤色粒 泥岩粒 粗土 c.黄橙色 e.良好
11	27	第1面・溝1(1)	かわらけ	(9.9)	(6.1)	2.6	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 海綿骨針 赤色粒 泥岩粒 やや粗土 c.橙色 e.良好
11	28	第1面・溝1(1)	かわらけ	10.0	5.9	2.8	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂多め 海綿骨針 赤色粒 泥岩粒 や や粗土 c.黄橙色 e.良好
11	29	第1面・溝1(1)	かわらけ	9.7	6.6	2.7	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂多め 海綿骨針 赤色粒 泥岩粒 粗土 c.橙色 e.良好 f.外面一部煤付着
11	30	第1面・溝1(1)	かわらけ	10.0	6.1	2.7	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂多め 海綿骨針 赤色粒 泥岩粒 や や粗土 c.橙色 e.良好
11	31	第1面・溝1(1)	かわらけ	10.1	6.1	3.1	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 海綿骨針 赤色粒 泥岩粒 やや粗 土 c.橙色 e.良好
11	32	第1面・溝1(1)	かわらけ	(11.0)	(6.6)	3.2	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 海綿骨針 赤色粒 泥岩粒 やや粗土 c.黄橙色 e.良好
11	33	第1面・溝1(1)	かわらけ	10.8	6.2	3.1	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂多め 海綿骨針 赤色粒 泥岩粒 粗 土 c.黄橙色 e.良好

単位 (cm)

出土遺物観察表 ()は復元値

図版 No.	番号	出土面・遺構名	種別	口径 (長さ)	底径 (幅)	器高 (高さ)	a.成形 b.胎土・素地 c.色調 d.釉薬 e.焼成 f.備考
11	34	第1面・溝1(1)	かわらけ	(11.1)	(5.8)	3.1	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂多め 海綿骨針 赤色粒 泥岩粒 粗土 c.黄灰色 e.やや甘い
12	35	第1面・溝1(2)	かわらけ	(11.8)	(7.1)	3.5	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂多め 海綿骨針 赤色粒 泥岩粒 粗土 c.黄褐色 e.良好 f.口唇部煤付着
12	36	第1面・溝1(2)	かわらけ	(11.6)	(7.3)	3.4	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 海綿骨針 赤色粒 泥岩粒 やや粗土 c.黄褐色 e.良好
12	37	第1面・溝1(2)	かわらけ	12.8	8.4	4	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂多め 海綿骨針 赤色粒 泥岩粒 やや粗土 c.黄褐色 e.良好
12	38	第1面・溝1(2)	かわらけ	(12.5)	(7.0)	3.5	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂多め 海綿骨針 赤色粒 泥岩粒 粗土 c.褐色 e.良好 f.内底面煤付着
12	39	第1面・溝1(2)	かわらけ	12.3	7.8	3.8	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 海綿骨針 赤色粒 泥岩粒 やや粗土 c.黄褐色 e.良好
12	40	第1面・溝1(2)	かわらけ	12.2	7.1	3.9	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 海綿骨針 赤色粒 泥岩粒 粗土 c.黄褐色 e.良好
12	41	第1面・溝1(2)	かわらけ	12.3	7.4	3.3	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 海綿骨針 赤色粒 粗土 c.黄褐色 e.良好
12	42	第1面・溝1(2)	青磁 鍋蓮弁文碗	口縁部片			a.ロクロ b.灰褐色 黒色粒 精良土 d.灰青緑色不透明 厚手施釉 二次焼成受け不鮮明 e.堅緻
12	43	第1面・溝1(2)	青磁 器種不明	体部～脚部片			a.脚部貼付け b.灰色 黒色粒 精良緻密土 d.青灰色不透明 内外厚手施釉 二次焼成受け e.堅緻 f.香炉か
12	44	第1面・溝1(2)	白磁 口瓦皿	(8.6)	(5.0)	2.6	a.ロクロ b.灰白色 黒色粒 精良緻密土 d.灰緑色半透明 薄手施釉 口唇部底部露胎ピンホール有り e.堅緻 f.口唇部煤付着
12	45	第1面・溝1(2)	白磁 皿	(9.6)	—	—	a.ロクロ b.淡黄褐色 黒色粒 良土 d.乳白色不透明 薄手施釉 ピンホール 貫入あり f.15世紀明代D類 森田勉編年
12	46	第1面・溝1(2)	瀬戸 碗	口縁部片			a.ロクロ b.黄灰色 微砂やや多い 良土 d.内面～外面中央まで黄灰緑色透明の灰釉つけ掛け e.堅緻 f.古瀬戸後期I期か
12	47	第1面・溝1(2)	瀬戸 緑釉小皿	口縁部片			a.ロクロ b.黄灰色 夾雑物なし 砂粒 良土 d.黄灰緑色つけ掛け e.やや軟質 f.大窯I前半か(藤澤)
12	48	第1面・溝1(2)	瀬戸 折縁皿	—	(5.5)	—	a.ロクロ 外底回転糸切痕 b.灰色 微砂 精良土 d.内底灰緑色透明釉つけ掛け e.硬質 良好 f.中期IV期
12	49	第1面・溝1(2)	瀬戸 卸皿	口縁部片			b.黄灰色 黒色粒 良土 d.灰緑色釉刷毛塗りか e.良好
12	50	第1面・溝1(2)	瀬戸 卸皿	口縁部片			b.黄灰色 微砂 白色粒 良土 d.黄灰緑色透明釉刷毛塗りか e.やや軟質 f.古瀬戸中期II期か
12	51	第1面・溝1(2)	山茶碗	—	(4.5)	—	b.灰色 精良土 f.高台に粉殻痕残る
12	52	第1面・溝1(2)	常滑 甕	胴部片			a.輪積み技法 b.暗灰色 長石 石英 砂粒 c.茶褐色 e.良好 f.肩部に○に十字の押印文と格子目?の押印が重なっている 故意か?
12	53	第1面・溝1(2)	常滑 片口鉢II類	口縁部片			a.輪積み技法 b.暗灰色 長石 石英 c.赤褐色 降灰部:灰白色斑 e.良好
12	54	第1面・溝1(2)	常滑 片口鉢II類	口縁部片			a.輪積み技法 b.灰色 長石 石英 c.赤褐色 降灰部 黄灰色斑 e.良好 f.8形式
12	55	第1面・溝1(2)	備前 播鉢	底部片			a.輪積み技法 回転横ナデ 内面に8条以上の筋目、磨減あり 底部摩擦している b.灰色 白色粒 良土 c.内面:灰色 外面:灰褐色 e.良好
12	56	第1面・溝1(2)	亀山 甕	胴部片			a.輪積み技法 内面:ナデ調整 外面:格子叩き b.灰褐色 微砂 黒色粒 良土 c.内外灰色 e.硬質
12	57	第1面・溝1(2)	瓦器質 火鉢	口縁部片			a.輪積み技法 b.灰褐色 白色粒 黒色粒 c.灰黒色(黒色処理) 剥離気味 e.やや軟質 f.輪花型になる 器形と思われる
12	58	第1面・溝1(2)	石製品 硯	(6.9)	(3.9)	2.2～2.5	b.陸部分のみ残る f.赤間
12	59	第1面・溝1(2)	石製品 砥石	5.6	3.1	—	a.砥面1面 側面切り出し痕 b.風化して軟質気味 c.橙白色 f.鳴滝産 仕上げ
12	60	第1面・溝1(2)	鉄製品 釘	(9.4)	0.5	0.3	f.鍛造 断面四角形
12	61	第1面・溝1(2)	鉄製品 釘	5.9	0.4	0.3	f.鍛造 断面四角形
12	62	第1面・溝1(2)	鉄製品 釘	5.6	0.4	0.3	f.鍛造 断面四角形
12	63	第1面・溝1(2)	鉄製品 釘	(6.6)	0.3	0.2	f.鍛造 断面四角形
12	64	第1面・溝1(2)	鉄製品 鍋	口縁部片			a.厚さ0.8～0.9 f.外面文様がありそうだが不鮮明
12	65	第1面・溝1(2)	銅銭	外径22.86mm 内径19.07mm 孔幅6.51mm 厚さ1.09mm			f.開元通寶 唐 初鑄621年
12	66	第1面・溝1(2)	銅銭 磨り銭	外径23.6mm 内径18.07mm 孔幅6.95mm 厚さ1.06mm			f.明道元寶 篆書 北宋 初鑄1032年 銭周圍を磨り加工している 千葉地遺跡でも同じ明道元寶が磨り加工されている
12	67	第1面・溝1(2)	銅銭	外径24.23mm 内径18.70mm 孔幅6.95mm 厚さ1.18mm			f.元祐通寶 行書 北宋 初鑄1086年
12	68	第1面・溝1(2)	銅銭	外径24.53mm 内径19.72mm 孔幅6.62mm 厚さ1.30mm			f.紹聖元寶 行書 北宋 初鑄1094年
13	1	第1面・土坑6	常滑 甕	口縁部片			a.輪積み技法 内面横ナデ b.暗灰色 白色粒 黒色粒 砂粒 c.暗褐色 d.外面自然降灰 e.硬質 f.緑帯幅2.9
13	2	第1面・土坑6	常滑 甕	口縁部片			a.輪積み技法 内面横ナデ b.暗灰色 白色粒 黒色粒 砂粒 c.褐色 e.硬質 f.緑帯幅4.8
13	3	第1面・土坑6	常滑 甕	—	22.8	—	a.輪積み技法 内面:指頭痕 横ナデ 外面:へら調整 押印あり b.灰色 白色粒 黒色粒多め 砂粒 c.茶褐色 e.硬質 f.接合できない同一の欠片あり
13	4	第1面・土坑6	常滑 甕	胴部片			a.輪積み技法 内面横ナデ b.暗灰色 白色粒 黒色粒 砂粒 c.褐色 e.硬質
13	5	第1面・土坑6	常滑 甕	胴部片			a.輪積み技法 内面横ナデ b.暗灰色 白色粒 黒色粒 砂粒 c.褐色 e.硬質
13	6	第1面・土坑6	常滑 甕	胴部片			b.白色粒 黒色粒 砂粒
13	7	第1面・土坑6	常滑 甕	胴部片			a.輪積み技法 内面横ナデ b.暗灰色 白色粒 黒色粒 砂粒 c.褐色 e.硬質

単位 (cm)

出土遺物観察表 ()は復元値

図版 No.	番号	出土面・遺構名	種別	口径 (長さ)	底径 (幅)	器高 (高さ)	a.成形 b.胎土・素地 c.色調 d.釉薬 e.焼成 f.備考
13	8	第1面・土坑6	亀山 甕	(21.0)	—	—	a.内面:ナデ 外面:縄目状の叩き b.白色粒 砂粒 c.灰色 e.良好
13	9	第1面・土坑6	瓦器質 火鉢	口縁部片			a.外面に亀甲文の押印 b.灰白色 赤色粒 白色粒 砂粒 c.灰色 e.良好
13	10	第1面・土坑6	瓦器質 火鉢	口縁部片			a.外面に輪花文の押印 b.灰白色 赤色粒 白色粒 砂粒 c.灰色 e.良好
13	11	第1面・土坑6	石製品 硯	6.2	—	—	a.部位不明 c.灰色 f.産地不明
14	1	第1面・土坑40	かわらけ	(7.6)	(5.2)	2.2	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 b.微砂多め 海綿骨針 赤色粒 泥岩粒 粗土 c.黄橙色 e.良好
14	2	第1面・土坑40	常滑 甕	—	18.3	—	a.輪積み技法 焼きあげの前に形が変形したのか凹みあり 底部に籬のような痕 b.長石 石英 砂粒 c.明褐色 e.良好 f.
16	1	第1面・溝状土坑3	かわらけ	7.6	4.6	1.8	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂多め 海綿骨針 赤色粒 泥岩粒 やや粗土 c.黄橙色 e.良好 f.内外煤付着
16	2	第1面・溝状土坑3	常滑 甕	底部片			a.輪積み技法 底部砂目底 b.灰褐色 長石 石英 砂粒 c.外面:明褐色 内面:褐色 e.良好
16	3	第1面・溝状土坑3	石製品 硯	—	6.1	0.9~1.0	b.黒色粘板岩 f.鳴滝産
16	4	第1面・土坑12	かわらけ	7.5	5.1	2	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂多め 海綿骨針 赤色粒 泥岩粒 粗土 c.黄灰色 e.やや甘い f.外面底部煤付着
16	5	第1面・土坑12	かわらけ	(11.3)	(6.6)	3.2	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 b.微砂 海綿骨針 赤色粒 泥岩粒 やや粗土 c.橙色 e.良好
16	6	第1面・土坑12	常滑 甕	口縁部片			a.輪積み技法 b.灰褐色 長石 石英 c.不明 d.不明 e.良好 f.二次焼成受け、器壁剥離 d.釉薬不明 6b型式
16	7	第1面・土坑15	常滑 甕	口縁部片			a.輪積み技法 b.灰褐色 長石 石英 c.不明 d.不明 e.良好 f.二次焼成受け、器壁剥離 d.釉薬不明 8型式
16	8	第1面・ビット8	かわらけ	7.0	4.0	2.4	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底強くナデ b.微砂多め 海綿骨針 赤色粒 白色粒 泥岩粒 粗土 c.褐色 e.良好
16	9	第1面・ビット8	天目茶碗	口縁部片			a.ロクロ b.灰白色 黒色粒少量 精良緻密 d.褐色~暗灰黒色 錆釉施釉 e.堅緻
16	10	第1面・ビット47	かわらけ	12.1	7.6	3	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 海綿骨針 赤色粒 泥岩粒 粗土 c.黄橙色 e.良好
16	11	第1面・ビット49	骨製品 環状	外径(3.7) 内径(2.3) 幅0.7 厚さ0.4			a.表面に菱形の文様が毛彫されている 一部残っているが二次焼成を受けた為剥離している
16	12	第1面・ビット52	かわらけ	7.5	5.2	1.8	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底強くナデ b.微砂 海綿骨針 赤色粒 泥岩粒 やや粗土 c.黄橙色 e.良好 f.口唇部打ち掻き痕
16	13	第1面・ビット56	備前 掃鉢	(27.9)	(16.8)	13	a.輪積み技法 回転横ナデ 内面に6条の櫛目あり 底部籬の様なものに置いて痕跡 b.灰褐色 白色粒 礫良土 c.暗灰色 e.良好
16	14	第1面・ビット61	かわらけ	8.3	5.7	2	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底強くナデ b.微砂 海綿骨針 赤色粒 泥岩粒 小石粒 粗土 c.黄橙色 e.良好
16	15	第1面・ビット61	かわらけ	(7.5)	(4.5)	1.9	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 海綿骨針 赤色粒 泥岩粒 やや粗土 c.黄橙色 e.良好 f.内外面一部黒色に変色
17	1	第1面・面上出土	かわらけ	(7.5)	(4.8)	1.8	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底強くナデ b.微砂 海綿骨針 泥岩粒 やや粗土 c.淡黄色 e.良好 f.口唇部一部に油煤痕
17	2	第1面・面上出土	かわらけ	7.7	4.7	2.2	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 海綿骨針 赤色粒 泥岩粒 やや粗土 c.黄橙色 e.良好
17	3	第1面・面上出土	かわらけ	7.6	5.0	2.2	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 海綿骨針 赤色粒 泥岩粒 やや粗土 c.淡黄色 e.良好
17	4	第1面・面上出土	かわらけ	5.5	4.1	1.7	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂多め 海綿骨針 赤色粒 泥岩粒 粗土 c.褐色 e.良好
17	5	第1面・面上出土	かわらけ	(6.9)	(3.6)	2.4	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 海綿骨針 赤色粒 泥岩粒 小石粒 粗土 c.黄橙色 e.良好
17	6	第1面・面上出土	かわらけ	(9.3)	(6.0)	3.2	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底強くナデ b.微砂 海綿骨針 赤色粒 泥岩粒 やや粗土 c.黄橙色 e.良好
17	7	第1面・面上出土	かわらけ	11.7	6.7	3	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底強くナデ b.微砂多め 海綿骨針 赤色粒 白色粒 泥岩粒 粗土 c.褐色 e.良好 f.外面斑に煤付着
17	8	第1面・面上出土	かわらけ	(11.0)	(6.7)	3.1	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂多め 海綿骨針 赤色粒 泥岩粒 やや粗土 c.黄橙色 e.良好
17	9	第1面・面上出土	かわらけ	(13.6)	(8.3)	4.2	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 海綿骨針 赤色粒 泥岩粒 やや粗土 c.黄橙色 e.良好
17	10	第1面・面上出土	かわらけ	12.5	7.5	3.4	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 海綿骨針 赤色粒 泥岩粒 やや粗土 c.黄橙色 e.良好
17	11	第1面・面上出土	青磁 折腰皿	高台部片			b.灰色 精良緻密 d.青緑色透明釉 厚く施釉 高台量み付き露胎 e.堅緻
17	12	第1面・面上出土	白磁 皿	口縁部片			a.型捺し作り b.黄味白色 精良土 d.灰白色半透明 薄手施釉 底部露胎 e.堅緻 f.内面印花文
17	13	第1面・面上出土	褐釉 蓋	口縁部片			a.輪積み技法 b.赤褐色 微砂 白色粒 褐色粒 d.褐色釉 e.良好 堅緻
17	14	第1面・面上出土	瀬戸 器種不明	—	(4.2)	—	a.ロクロ 外底回転糸切痕 内面摩耗 b.黄灰色 白色粒 黒色粒 良土 d.無釉 e.やや軟 f.入子か
17	15	第1面・面上出土	瀬戸 折縁皿	底部片			a.ロクロ b.灰白色 微砂 良土 d.灰緑色透明灰釉底部まで刷毛塗り 貫入あり e.やや軟質 f.内底に重ね焼きの粘土痕
17	16	第1面・面上出土	瀬戸 壺	胴部片			a.ロクロ b.灰色 精良土 d.暗灰色の灰釉つけ掛けか e.堅緻 f.梅花の押印文 二次焼成を受け内面煤付着
17	17	第1面・面上出土	瀬戸 銅皿	底部片			b.灰褐色 砂粒 黒色粒 d.二次焼成を受けてやや不鮮明だが緑灰色の灰釉つけ掛けか e.やや軟質
17	18	第1面・面上出土	瀬戸 底卸目皿	—	(9.2)	—	b.灰色 精良土 d.内面灰緑色釉施釉 外面剥離 e.堅緻 f.古瀬戸中期Ⅱ期か 外面脚部まで放射状に切り込み入る
17	19	第1面・面上出土	瀬戸 碗	口縁部片			a.ロクロ b.灰色 黒色粒 良土 d.灰緑色透明の灰釉つけ掛け 貫入あり e.堅緻 f.古瀬戸後期Ⅳ期か
17	20	第1面・面上出土	瀬戸 緑釉小皿	(11.5)	(6.4)	2.5	a.ロクロ 外底回転糸切痕 b.灰白色 黒色粒少量 精良土 d.外面口縁部~内面にかけて 緑黄色透明釉つけ掛け 内面釉垂れ 貫入あり e.堅緻
17	21	第1面・面上出土	常滑 片口鉢Ⅱ類	口縁部片			a.輪積み技法 b.灰褐色 長石 石英 c.明茶褐色 e.良好 f.8型式

単位 (cm)

出土遺物観察表 ()は復元値

図版 No.	番号	出土面・遺構名	種別	口径 (長さ)	底径 (幅)	器高 (高さ)	a.成形 b.胎土・素地 c.色調 d.釉薬 e.焼成 f.備考
17	22	第1面・面上出土	常滑 片口鉢Ⅱ類		口縁部片		a.輪積み技法 b.橙色～暗灰褐色 長石 石英 c.茶褐色 e.堅緻 f.8型式
17	23	第1面・面上出土	常滑 片口鉢Ⅱ類		底部片		a.輪積み技法 外底砂目底 内面摩擦 b.黄灰色～灰色 長石 石英 良土 c.外面:茶褐色 内面:灰色 e.良好 f.外底に近い胴部へう割り調整
17	24	第1面・面上出土	瓦器質 火鉢		底部片		a.輪積み技法 脚部貼付け 内面底部近くまで縦位の削り 内面磨減 b.灰褐色 白色粒多い e.良好
17	25	第1面・面上出土	瓦器質 火鉢		口縁部片		a.輪積み技法 外面:縦位の削り 内面:指頭痕 縦位の削り b.黄灰色 白色粒多い c.外面: 黒色(黒色処理) e.良好 f.輪花型
17	26	第1面・面上出土	平瓦 加工品	—	—	1.7～1.8	b.灰色 白色粒 砂粒 良土 c.灰色 f.凸面:縄目の叩き 離れ砂付着 凹面:糸切痕 布目痕 縦方向のナデ調整 端面:狭いへう割り 側面:半面調整 釘などで叩いて割っているのか、 叩き割をした後に磨っているのか、割れ目が整っている f.永福寺1期 平面を叩き割って 二次加工しようとしたのか
17	27	第1面・面上出土	石製品 硯	(10.1)	—	1.4	b.円面硯か 器面剥離 c.灰黒色
17	28	第1面・面上出土	滑石鍋 転用品	6.1	2.2	1.0～1.2	a.側面削り出し 痕残る 加工途中
17	29	第1面・面上出土	鉄製品 釘	(4.8)	0.6	0.3	f.鍛造 断面四角形
17	30	第1面・面上出土	鉄製品 釘	(5.3)	0.2	0.3	f.鍛造 断面四角形
17	31	第1面・面上出土	鉄製品 釘	4.8	0.3	0.3	f.鍛造 断面四角形
17	32	第1面・面上出土	須恵器甕 転用硯		胴部片		a.暗灰褐色 b.灰色 長石 石英 c.灰色 e.硬質 f.転用で硯に使用されているため摩耗 している 外面叩きが不鮮明
18	1	第1面・構成土出土遺物(1)	かわらけ	7.6	5.5	1.3	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 海綿骨針 赤色粒 泥岩粒 やや粗土 c.淡黄色 e.良好
18	2	第1面・構成土出土遺物(1)	かわらけ	7.5	4.5	1.6	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 海綿骨針 赤色粒 泥岩粒 良土 c.黄褐色 e.良好
18	3	第1面・構成土出土遺物(1)	かわらけ	7.5	5.5	1.5	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底強くナデ b.微砂 海綿骨針 赤色粒 泥岩粒 良土 c.黄褐色 e.良好
18	4	第1面・構成土出土遺物(1)	かわらけ	7.4	4.4	1.7	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂多め 海綿骨針 赤色粒 泥岩粒 粗土 c.淡黄色 e.良好
18	5	第1面・構成土出土遺物(1)	かわらけ	7.9	5.6	1.9	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 海綿骨針 赤色粒 泥岩粒 良土 c.黄褐色 e.やや甘い
18	6	第1面・構成土出土遺物(1)	かわらけ	7.1	4.8	1.7	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 海綿骨針 赤色粒 泥岩粒 良土 c.橙色 e.良好
18	7	第1面・構成土出土遺物(1)	かわらけ	6.7	4.6	1.6	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 海綿骨針 赤色粒 泥岩粒 良土 c.橙色 e.良好
18	8	第1面・構成土出土遺物(1)	かわらけ	7.5	4.6	1.65	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 海綿骨針 赤色粒 泥岩粒 やや粗土 c.黄褐色 e.良好
18	9	第1面・構成土出土遺物(1)	かわらけ	7.5	4.6	1.6	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 海綿骨針 赤色粒 泥岩粒 良土 c.黄褐色 e.良好
18	10	第1面・構成土出土遺物(1)	かわらけ	8.1	6.2	1.9	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 海綿骨針 赤色粒 泥岩粒 良土 c.黄褐色 e.良好
18	11	第1面・構成土出土遺物(1)	かわらけ	7.5	5.5	1.8	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底強くナデ b.微砂 海綿骨針 赤色粒 泥岩粒 良土 c.橙色 e.良好
18	12	第1面・構成土出土遺物(1)	かわらけ	8.2	5.3	1.7	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底弱い横ナデ b.微砂 海綿骨針 赤色粒 泥岩粒 良土 c.灰黄色 e.やや甘い f.口唇部厚く油煤痕
18	13	第1面・構成土出土遺物(1)	かわらけ	(9.3)	(4.7)	2.1	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 海綿骨針 赤色粒 泥岩粒 良土 c.橙色 e.良好 f.口唇部油煤痕
18	14	第1面・構成土出土遺物(1)	かわらけ	7.7	5.7	1.7	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 海綿骨針 赤色粒 泥岩粒 良土 c.黄褐色 e.良好
18	15	第1面・構成土出土遺物(1)	かわらけ	7.3	5.6	1.9	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 海綿骨針 赤色粒 泥岩粒 良土 c.橙色 e.良好 f.口唇部黒色に変色
18	16	第1面・構成土出土遺物(1)	かわらけ	7.7	4.7	2.2	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 海綿骨針 赤色粒 泥岩粒 小石粒 や や粗土 c.橙色 e.良好
18	17	第1面・構成土出土遺物(1)	かわらけ	7.2	4.4	2.1	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 赤色粒 良土 c.橙色 e.良好 f.口 縁部二ヶ所油煤痕
18	18	第1面・構成土出土遺物(1)	かわらけ	7.3	4.3	2.2	a.ロクロ 内外器表荒れる 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 赤色粒 泥岩粒 良土 c.橙色 e.良好 f.口唇部部分的に油煤痕
18	19	第1面・構成土出土遺物(1)	かわらけ	7.9	4.9	2.3	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 海綿骨針 赤色粒 泥岩粒 やや粗土 c.黄灰色 e.やや甘い f.口唇部・外側面・内面一部に油煤痕
18	20	第1面・構成土出土遺物(1)	かわらけ	8.3	5.3	2.6	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 海綿骨針 赤色粒 泥岩粒 やや粗土 c.黄灰色 e.やや甘い
18	21	第1面・構成土出土遺物(1)	かわらけ	6.9	4.6	2.2	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 赤色粒 泥岩粒 良土 c.橙色 e.良 好
18	22	第1面・構成土出土遺物(1)	かわらけ	6.5	4.0	2.2	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 海綿骨針 赤色粒 やや粗土 c.橙 色 e.良好
18	23	第1面・構成土出土遺物(1)	かわらけ	(10.8)	(6.6)	2.7	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 赤色粒 やや粗土 c.黄褐色 e.良 好
18	24	第1面・構成土出土遺物(1)	かわらけ	11.1	7.4	3.1	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 海綿骨針 赤色粒 白色粒 泥岩粒 や や粗土 c.黄褐色 e.良好
18	25	第1面・構成土出土遺物(1)	かわらけ	10.6	5.3	3.2	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 海綿骨針 赤色粒 泥岩粒 良土 c.橙色 e.良好
18	26	第1面・構成土出土遺物(1)	かわらけ	(12.4)	(6.6)	3.2	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 赤色粒 泥岩粒 良土 c.橙色 e.良好
18	27	第1面・構成土出土遺物(1)	かわらけ	(13.0)	(8.4)	3.3	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 海綿骨針 赤色粒 白色粒 泥岩粒 やや粗土 c.黄褐色 e.良好 f.口唇部・外側面油煤痕
18	28	第1面・構成土出土遺物(1)	かわらけ	(12.3)	(7.4)	3.1	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 海綿骨針 赤色粒 小石粒 やや粗土 c.黄灰色 e.やや甘い f.内底部・外側面から外底部にかけて油煤痕
18	29	第1面・構成土出土遺物(1)	かわらけ	11.9	6.3	3.3	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 海綿骨針 赤色粒 泥岩粒 良土 c.黄褐色 e.良好
18	30	第1面・構成土出土遺物(1)	かわらけ	12.4	6.6	3.5	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 海綿骨針 赤色粒 泥岩粒 良土 c.黄 褐色 e.良好

単位 (cm)

出土遺物観察表 ()は復元値

図版 No.	番号	出土面・遺構名	種別	口径 (長さ)	底径 (幅)	器高 (高さ)	a.成形 b.胎土・素地 c.色調 d.釉薬 e.焼成 f.備考
18	31	第1面・構成土出土遺物(1)	かわらけ	(11.7)	(8.1)	3.5	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 海綿骨針 赤色粒 白色粒 泥岩粒 粗土 c.黄橙色 e.良好 f.内面・外面底部黒色に変色
18	32	第1面・構成土出土遺物(1)	かわらけ	(12.5)	(7.6)	3.3	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 海綿骨針 赤色粒 泥岩粒 やや粗土 c.黄橙色 e.良好
18	33	第1面・構成土出土遺物(1)	かわらけ	11.8	7.3	3.4	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 海綿骨針 赤色粒 泥岩粒 粗土 c.橙色 e.良好
18	34	第1面・構成土出土遺物(1)	かわらけ	(12.5)	(7.7)	3.6	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂多め 海綿骨針 赤色粒 泥岩粒 粗土 c.黄橙色 e.良好
18	35	第1面・構成土出土遺物(1)	かわらけ	12.9	8.3	3.4	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 海綿骨針 赤色粒 泥岩粒 良土 c.黄灰色 e.やや甘い
18	36	第1面・構成土出土遺物(1)	白かわらけ	—	(7.4)	—	a.ロクロ 外底回転糸切痕 強い板状圧痕 内底ナデ b.微砂 赤色粒 良土 c.灰白色 e.良好
18	37	第1面・構成土出土遺物(1)	青磁 鎚連弁文碗	口縁部片			a.ロクロ b.灰白色 精良堅緻 d.青灰色 気泡貫入多く不透明 厚く施釉 外面一部剥げ落ちる
18	38	第1面・構成土出土遺物(1)	青磁 皿	—	5.2	—	b.灰色 精良堅緻 d.灰緑色 やや薄く施釉 内底面気泡多く不透明 外底部露胎 e.堅緻 f.内底二次焼成か・釉剥離
18	39	第1面・構成土出土遺物(1)	青磁 折縁鉢	口縁部片			a.ロクロ b.灰白色 黒色粒少量 精良堅緻 d.青緑色不透明釉を厚く施釉 e.堅緻
18	40	第1面・構成土出土遺物(1)	青磁 折縁鉢	口縁部片			b.灰白色 精良堅緻 d.青灰色 やや厚く施釉 細かい気泡多く不透明 外底部露胎 e.堅緻
18	41	第1面・構成土出土遺物(1)	青白磁 合子	蓋 胴部片			a.文様型捺し 蓮弁紋 b.灰白色 黒色微砂少量 緻密土 d.灰緑色不透明釉を薄く施釉 e.堅緻 f.蓋
18	42	第1面・構成土出土遺物(1)	瀬戸 入子	底部片			a.ロクロ 外底回転糸切痕 b.黄灰色 長石 礫 良土 e.硬質
18	43	第1面・構成土出土遺物(1)	瀬戸 入子	底部片			a.ロクロ 外底回転糸切痕 b.灰色 精良土 c.灰色 e.良好 硬質 f.外底に3ヶ所土をえぐり立たせた脚がある
18	44	第1面・構成土出土遺物(1)	瀬戸 入子	—	4.1	—	a.ロクロ 底部回転糸切り b.砂粒 良土 e.良好 d.内面降灰釉
18	45	第1面・構成土出土遺物(1)	瀬戸 折縁皿	口縁部片			a.ロクロ b.灰色 精良土 d.灰緑色灰釉つけ掛け e.堅緻 f.古瀬戸後期Ⅱ期か
18	46	第1面・構成土出土遺物(1)	瀬戸 折縁皿	口縁部片			a.ロクロ b.灰色 精良土 d.黄灰緑色半透明 剥離してほとんど残っていない 刷毛塗り
18	47	第1面・構成土出土遺物(1)	瀬戸 卸皿	口縁部片			b.灰色 精良土 d.剥離して卸目部分のみ残る 灰緑色透明釉つけ掛け e.堅緻
18	48	第1面・構成土出土遺物(1)	瀬戸 卸皿	口縁部片			a.ロクロ 外底回転糸切痕 外面露胎 b.灰白色 白色粒 黒色粒 砂粒 やや粗土 d.灰オリブ釉 卸目施釉 e.良好 硬質
18	49	第1面・構成土出土遺物(1)	瀬戸 卸目付大皿	—	(11.8)	—	a.ロクロ 外底回転糸切痕 脚部が付くのか b.黄灰色 微砂 良土 e.やや軟質 f.割れたの内外ともに二次焼成を受けている 古瀬戸後期Ⅲ期か
18	50	第1面・構成土出土遺物(1)	瀬戸 卸皿	底部片			a.外底部糸切り痕 灰色 砂粒 精良土 d.剥離して卸目部分的に残る 灰緑色透明釉塗り方不明 e.良好
18	51	第1面・構成土出土遺物(1)	瀬戸 壺	胴部片			a.内面指頭による調整 b.灰白色 白色粒 砂粒 良土 d.オリブ灰～暗緑灰色 f.凸対の筋文 櫛掻による連弁文合子の可能性もある
18	52	第1面・構成土出土遺物(1)	瀬戸 水注	取手部片			b.灰白色 精良土 c.灰色 e.良好 硬質 d.オリブ釉 f.円文の押印
18	53	第1面・構成土出土遺物(1)	常滑 壺	—	(8.4)	—	a.輪積み技法 内面指頭痕 外面横ナデ 離れ砂付着 b.黒灰色 白色粒多め 黒色粒少量 砂粒 c.灰褐色～黒灰色 d.外面肩部自然降灰 e.硬質
18	54	第1面・構成土出土遺物(1)	常滑 甕	口縁部片			a.輪積み技法 b.暗灰色 長石 石英 c.茶褐色 d.口縁～内部、外面肩部自然降灰で灰白色 e.良好 f.二次焼成をうけるか? 外面口縁煤付着
18	55	第1面・構成土出土遺物(1)	常滑 片口鉢Ⅱ類	(35.6)	(16.4)	14	a.輪積み技法 b.黄灰色 微砂 長石 石英 c.赤褐色 e.良好 f.内底にかけて磨滅
19	56	第1面・構成土出土遺物(2)	常滑 片口鉢Ⅱ類	(35.4)	(16.4)	11.2	a.輪積み技法 内面横ナデ 外面へラ調整 離れ砂付着 b.橙色 白色粒多め 砂粒 小石粒 c.暗茶褐色～茶褐色 e.硬質
19	57	第1面・構成土出土遺物(2)	常滑 片口鉢Ⅱ類	口縁部片			a.輪積み技法 b.灰褐色 長石 石英 c.赤褐色 e.良好 f.内面胴下部磨滅
19	58	第1面・構成土出土遺物(2)	常滑 片口鉢Ⅱ類	口縁部片			a.輪積み技法 内面横ナデ 外面へラ調整 b.灰色 白色粒多め 砂粒 c.茶褐色 d.口縁に自然降灰 e.良好 f.内面一部磨滅
19	59	第1面・構成土出土遺物(2)	常滑 片口鉢Ⅱ類	口縁部片			a.輪積み技法 内面自然降灰 外面ランダムに押し成形 離れ砂付着 b.黒灰色 白色粒 砂粒 c.赤褐色 e.硬質
19	60	第1面・構成土出土遺物(2)	常滑 片口鉢Ⅱ類	口縁部片			a.輪積み技法 内面自然降灰 外面へラ調整 離れ砂付着 b.暗灰色 白色粒多め 砂粒 c.灰色 e.硬質 f.胎土はⅠ類に近似
19	61	第1面・構成土出土遺物(2)	常滑 片口鉢Ⅱ類	—	(15.2)	—	a.輪積み技法 b.淡橙色 砂粒 白色粒 黒色粒 小石粒多め やや粗土 c.橙色 e.良好 f.内面磨滅
19	62	第1面・構成土出土遺物(2)	常滑 片口鉢Ⅱ類	底部片			a.輪積み技法 内面摩擦 外面へラ削り横ナデ 外底離れ砂付着 b.灰色 白色粒多め 黒色粒少量 砂粒 c.茶褐色 e.良好 f.内面一部磨滅
19	63	第1面・構成土出土遺物(2)	備前 播鉢	口縁部片			a.輪積み技法 回転横ナデ 内面に9条の櫛目 b.灰色 長石 石英 礫 良土 c.暗茶褐色 e.良好 f.片口鉢の痕跡あり
19	64	第1面・構成土出土遺物(2)	東播系 鉢	口縁部片			b.灰色 白色粒多め 小石粒 良土 c.暗灰色 e.良好 硬質
19	65	第1面・構成土出土遺物(2)	龜山 甕	胴部片			b.灰色 白色粒 黒色粒 良土 c.灰色 e.良好 硬質 d.オリブ釉
19	66	第1面・構成土出土遺物(2)	瓦器質 火鉢	脚部片			a.輪積み技法 脚部貼付け 内面ナデ b.淡橙色～灰色 白色粒 黒色粒 礫 c.内面:灰黒色(黒色処理) 外面:火を受けはつれている 剥離気味 f.脚部
19	67	第1面・構成土出土遺物(2)	平瓦	—	—	2.4	b.灰色 砂粒 小石粒 良土 c.暗灰色 e.良好 f.凸目:糸切り痕 離れ砂付着 凹面:不規則ナデ 離れ砂付着 水殿瓦窯 永福寺Ⅱ期か
19	68	第1面・構成土出土遺物(2)	瓦器質 燗台	(3.8)	—	—	a.最大幅(3.8) 孔幅 底部:0.2 胴軸回り:1.1 b.灰色 白色粒 黒色粒 c.外面磨き痕 e.良好 f.脚部
19	69	第1面・構成土出土遺物(2)	土器質 壺	3.4	4.1	5.2	a.外底部ナデにより糸切り痕を消している b.微砂 海綿骨針 赤色粒 良土 c.黄褐色 e.良好
19	70	第1面・構成土出土遺物(2)	かわらけ 転用品	径3.55	—	0.5～0.65	b.微砂 赤色粒 良土 c.橙色 e.良好 f.円盤状を呈する
19	71	第1面・構成土出土遺物(2)	滑石鎚 転用品	胴部片			a.内面縦位の削り調整 f.温石に転用か?
19	72	第1面・構成土出土遺物(2)	石製品 硯	(7.0)	(5.3)	1.9	a.長方硯 f.鳴滝産

単位 (cm)

出土遺物観察表 ()は復元値

図版 No.	番号	出土面・遺構名	種別	口径 (長さ)	底径 (幅)	器高 (厚さ)	a.成形 b.胎土・素地 c.色調 d.釉薬 e.焼成 f.備考
19	73	第1面・構成土出土遺物(2)	石材	(7.1)	2.7	2.2	a.側面切り出し痕 f.鳴滝系の石材加工品 用途不明
19	74	第1面・構成土出土遺物(2)	石製品 砥石	9.6	3.5	1.9	a.砥面2面 側面切り出し痕 f.上野産 中砥
19	75	第1面・構成土出土遺物(2)	石製品 砥石	(9.3)	3.1	0.3～0.7	a.砥面2面 側面切り出し痕 c.淡黄灰白色 f.鳴滝 中山産 仕上げ砥
19	76	第1面・構成土出土遺物(2)	石製品 砥石	7.9	3.3	1.5	a.砥面2面 側面切り出し痕 f.鳴滝 中山産 仕上げ砥
19	77	第1面・構成土出土遺物(2)	石製品 火打石	2.4	2.1	1.4	f.使用痕あり
19	78	第1面・構成土出土遺物(2)	鉄製品 釘	(5.8)	1.0	0.7	f.鍛造 断面四角形
19	79	第1面・構成土出土遺物(2)	鉄製品 釘	(6.4)	0.8	0.5	f.鍛造 断面四角形
19	80	第1面・構成土出土遺物(2)	銅銭	外径23.6mm 内径19.8mm 孔幅6.4mm 厚さ1.12mm			f.開元通寶 唐初鑄年621年か南唐初鑄年960年 隸書
19	81	第1面・構成土出土遺物(2)	銅銭	外径25.3mm 内径20.3mm 孔幅6.5mm 厚さ1.2mm			f.天聖元寶 北宋 初鑄1023年 篆書
19	82	第1面・構成土出土遺物(2)	銅銭	外径22.11mm 内径18.22mm 孔幅0.72mm 厚さ6.19mm			f.元豐通寶 北宋 初鑄1078年 行書
19	83	第1面・構成土出土遺物(2)	銅銭	外径24.5mm 内径20.2mm 孔幅7mm 厚さ1.13mm			f.元祐通寶 北宋 初鑄年1086年 行書
21	1	第2面・土坑17	かわらけ	(7.8)	(4.6)	1.5	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 赤色粒 泥岩粒 良土 c.灰黄色 e.やや甘い
21	2	第2面・土坑17	かわらけ	7.6	5.5	1.5	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 海綿骨芯 赤色粒 泥岩粒 良土 c.橙色 e.良好
21	3	第2面・土坑17	かわらけ	7.6	5.2	1.65	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 海綿骨芯 赤色粒 泥岩粒 粗土 c.黄橙色 e.良好 f.口唇部・内面全体が黒色に変色
21	4	第2面・土坑17	かわらけ	7.4	4.8	1.7	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 赤色粒 やや粗土 c.灰黄色 e.やや甘い
21	5	第2面・土坑17	かわらけ	(7.5)	(4.6)	1.9	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 海綿骨芯 赤色粒 泥岩粒 やや粗土 c.橙色 e.良好
21	6	第2面・土坑17	かわらけ	7.0	4.2	1.7	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 海綿骨芯 赤色粒 良好 c.黄橙色 e.良好
21	7	第2面・土坑17	かわらけ	(8.2)	(5.0)	1.8	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底強くナデ b.微砂 海綿骨芯 赤色粒 泥岩粒 やや粗土 c.灰黄色 e.やや甘い
21	8	第2面・土坑17	かわらけ	7.8	4.9	1.65	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 海綿骨芯 赤色粒 泥岩粒 良土 c.黄橙色 e.良好
21	9	第2面・土坑17	かわらけ	7.8	4.4	1.6	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内面ナデの後側面回転ナデ b.微砂 海綿骨芯 赤色粒 泥岩粒 良土 c.橙色 e.良好
21	10	第2面・土坑17	かわらけ	8.4	5.1	1.7	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 海綿骨芯 赤色粒 泥岩粒 粗土 c.黄橙色 e.良好
21	11	第2面・土坑17	かわらけ	8.0	5.2	2.1	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 赤色粒 泥岩粒 良土 c.黄橙色 e.良好
21	12	第2面・土坑17	かわらけ	7.4	4.6	2.1	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 赤色粒 泥岩粒 良土 c.黄橙色 e.良好 f.内外面全体に黒色に変色
21	13	第2面・土坑17	かわらけ	(11.0)	(6.3)	2.9	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底強くナデ b.微砂 海綿骨芯 赤色粒 泥岩粒 やや粗土 c.黄橙色 e.良好 f.器壁内面・外底～側面にかけて黒色に変色
21	14	第2面・土坑17	かわらけ	10.7	6.5	3	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 赤色粒 泥岩粒 良土 c.橙色 e.良好
21	15	第2面・土坑17	かわらけ	(11.1)	(6.7)	3.25	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 赤色粒 良土 c.橙色 e.良好
21	16	第2面・土坑17	かわらけ	12.2	7.8	2.8	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 赤色粒 泥岩粒 やや粗土 c.黄橙色 e.良好
21	17	第2面・土坑17	かわらけ	13.1	8.2	3.3	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 赤色粒 泥岩粒 良土 c.橙色 e.良好
21	18	第2面・土坑17	かわらけ	13.1	8.3	3.45	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 赤色粒 良土 c.橙色 e.良好
21	19	第2面・土坑17	かわらけ	13.5	7.3	3.3	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底強くナデ b.微砂 赤色粒 泥岩粒 良土 c.橙色 e.良好
21	20	第2面・土坑17	かわらけ	13.2	7.5	3.35	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底強くナデ b.微砂 赤色粒 泥岩粒 良土 c.灰黄色 e.やや甘い
21	21	第2面・土坑17	かわらけ	(13.0)	(6.4)	3.7	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底強くナデ b.微砂 海綿骨芯 赤色粒 泥岩粒 良土 c.黄橙色 e.良好
21	22	第2面・土坑17	白磁 壺	口縁部片			a.ロクロ b.白色 精良堅緻 d.灰白色透明 e.堅緻
21	23	第2面・土坑17	常滑 片口鉢Ⅱ類	口縁部片			a.輪積み技法 内面:摩耗 自然降灰 外面:横ナデ 縦横に調整 b.灰色 白色粒多め 黒色粒 砂粒 c.褐色 e.硬質 f.8形式
21	24	第2面・土坑17	常滑 片口鉢Ⅱ類	口縁部片			a.輪積み技法 内面:摩耗 外面:自然降灰 横ナデ 縦横に調整 b.灰色 白色粒多め 黒色粒 砂粒 c.茶褐色 e.硬質 f.8形式
21	25	第2面・土坑17	常滑 片口鉢Ⅱ類	口縁部片			a.輪積み技法 内面:横ナデ 摩耗 外面:へら調整 b.灰色 白色粒 黒色粒 砂粒 c.茶灰色 e.硬質 8形式
21	26	第2面・土坑17	かわらけ 加工品	2.8	2.3	0.8	a.底部中央穿孔 b.微砂 赤色粒 良土 c.橙色 e.良好
21	27	第2面・土坑17	鉄製品 釘	(2.8)	0.6	0.4	f.鍛造 断面四角形 錆付着
21	28	第2面・土坑17	銅銭	外径25.1mm 内径19.2mm 孔幅5mm 厚さ1mm			f.元豐通寶 北宋 初鑄1078年 行書
22	1	第2面・溝状4	かわらけ	7.0	4.7	1.7	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底強くナデ b.微砂 海綿骨芯 赤色粒 泥岩粒 良土 c.灰黄色 e.やや甘い f.一部内外面口唇部黒色に変色
22	2	第2面・溝状4	かわらけ	13.4	7.2	3.45	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 b.微砂 赤色粒 良土 c.橙色 e.良好
22	3	第2面・土坑22	かわらけ	(7.6)	(5.2)	1.75	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 海綿骨芯 赤色粒 良土 c.橙色 e.良好 f.口唇部油煤痕

単位 (cm)

出土遺物観察表 ()は復元値

図版 No.	番号	出土面・遺構名	種別	口径 (長さ)	底径 (幅)	器高 (高さ)	a.成形 b.胎土・素地 c.色調 d.釉薬 e.焼成 f.備考
22	4	第2面・土坑22	かわらけ	7.8	5.0	1.9	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 海綿骨芯 赤色粒 泥岩粒 良土 c.黄橙色 e.良好 f.口唇部厚く油煤痕
22	5	第2面・土坑24	白磁 壺	(6.4)	—	—	a.ロクロ b.白色 精良堅緻 d.灰白色 やや不透明 薄手施釉 貫入有り e.堅緻
22	6	第2面・ピット106	かわらけ	7.6	4.9	1.9	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底強くナデ b.微砂 赤色粒 良土 c.橙色 e.良好
22	7	第2面・ピット106	かわらけ	10.4	5.8	3.05	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 赤色粒 良土 c.橙色 e.良好
22	8	第2面・ピット122	かわらけ	(6.9)	(4.7)	1.6	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 海綿骨芯 赤色粒 良土 c.橙色 e.良好
22	9	第2面・ピット122	かわらけ	(12.3)	(8.4)	3.3	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底強くナデ b.微砂 海綿骨芯 赤色粒 泥岩粒 良土 c.橙色 e.良好
22	10	第2面・ピット122	石製品 砥石	(6.8)	3.1	0.75～ 0.2	a.砥面1面 側面切り出し痕 c.灰白色 f.鳴滝産 仕上げ
22	11	第2面・ピット141	かわらけ	8.1	5.8	1.7	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底強くナデ b.微砂 海綿骨芯 泥岩粒 良土 c.黄灰色 e.やや甘い f.歪みはげしい
23	1	第2面・面上	かわらけ	(7.8)	(5.0)	1.5	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 赤色粒 泥岩粒 やや粗土 c.黄橙色 e.良好
23	2	第2面・面上	かわらけ	8.0	5.5	1.8	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底強くナデ b.微砂 赤色粒 泥岩粒 良土 c.黄橙色 e.良好
23	3	第2面・面上	かわらけ	(7.6)	(4.4)	1.8	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 赤色粒 良土 c.橙色 e.良好
23	4	第2面・面上	かわらけ	(7.2)	(4.8)	1.55	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 海綿骨芯 赤色粒 泥岩粒 粗土 c.黄橙色 e.良好 f.内側面黒色に変色、煤痕か
23	5	第2面・面上	かわらけ	7.3	4.4	1.55	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 赤色粒 良土 c.橙色 e.良好
23	6	第2面・面上	かわらけ	(7.8)	(3.4)	2.05	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 海綿骨針 赤色粒 泥岩粒 良土 c.灰黄色 e.やや甘い
23	7	第2面・面上	かわらけ	(12.3)	(8.0)	3.2	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底強くナデ b.微砂 海綿骨芯 泥岩粒 良土 c.黄灰色 e.やや甘い f.外底黒色に変色
23	8	第2面・面上	かわらけ	(12.0)	(7.1)	3.3	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底強くナデ b.微砂 海綿骨芯 赤色粒 泥岩粒 粗土 c.橙色 e.良好
23	9	第2面・面上	かわらけ	(12.7)	(8.0)	3.05	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 海綿骨芯 赤色粒 泥岩粒 良土 c.黄灰色 e.やや甘い f.内外口唇部油煤痕
23	10	第2面・面上	かわらけ	12.0	7.3	3.2	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底強くナデ b.微砂 海綿骨芯 赤色粒 泥岩粒 やや粗土 c.黄橙色 e.良好
23	11	第2面・面上	かわらけ	(12.2)	(7.0)	3.1	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 赤色粒 泥岩粒 良土 c.橙色 e.良好
23	12	第2面・面上	かわらけ	11.9	7.4	3.2	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底強くナデ b.微砂 海綿骨芯 赤色粒 泥岩粒 良土 c.黄橙色 e.良好
23	13	第2面・面上	瀬戸 皿	口縁部片			a.ロクロ 内面:横ナデ 外面:自然降灰 b.灰白色 砂粒 精良土 c.灰色 e.良好 硬質 f.内側面に縦位の櫛掻痕
23	14	第2面・面上	常滑 壺	(5.3)	—	—	a.輪積み技法 b.灰白色～灰色 白色粒 黒色粒 砂粒 c.灰色 d.口縁～内部、外面肩部 自然降灰で灰緑色 e.良好 f.内面に黒い凝固した物質付着・小型
23	15	第2面・面上	常滑 片口鉢Ⅱ類	(26.5)	—	—	a.輪積み技法 口唇部欠損 内面:横ナデ 外面:へら調整 b.灰褐色 白色粒少量 黒色粒少量 c.灰褐色 e.硬質 8形式
23	16	第2面・面上	銅銭	外径25.5mm 内径20.0mm 孔幅0.71mm 厚さ1.0mm			f.天禧通寶 北宋 初鑄1017年 真書
23	17	第2面・面上	銅銭	外径23.9mm 内径20.5mm 孔幅6.0mm 厚さ0.95mm			f.紹熙元寶 南宋 初鑄1190年 真書
23	18	第2面・構成土(1)	かわらけ	(7.8)	(5.4)	1.7	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 海綿骨芯 赤色粒 やや粗土 c.灰黄色 e.やや甘い
23	19	第2面・構成土(1)	かわらけ	8.4	6.4	1.65	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 海綿骨芯 赤色粒 良土 c.黄灰色 e.やや甘い
23	20	第2面・構成土(1)	かわらけ	8.05	5.6	1.8	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 海綿骨芯 赤色粒 泥岩粒 やや粗土 c.黄橙色 e.良好
23	21	第2面・構成土(1)	かわらけ	7.9	5.3	1.8	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 海綿骨芯 泥岩粒 良土 c.黄橙色 e.良好
23	22	第2面・構成土(1)	かわらけ	7.5	5.0	1.85	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 海綿骨芯 赤色粒 泥岩粒 粗土 c.黄橙色 e.良好
23	23	第2面・構成土(1)	かわらけ	7.2	4.4	1.65	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 海綿骨芯 赤色粒 泥岩粒 良土 c.黄橙色 e.良好
23	24	第2面・構成土(1)	かわらけ	7.8	5.9	1.75	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底強くナデ b.微砂 海綿骨芯 赤色粒 泥岩粒 粗土 c.黄橙色 e.良好
23	25	第2面・構成土(1)	かわらけ	7.8	4.9	1.6	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデの後側面回転ナデ b.微砂 海綿骨芯 赤色粒 泥岩粒 良土 c.黄灰色 e.やや甘い
23	26	第2面・構成土(1)	かわらけ	7.7	4.9	1.65	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底強くナデ b.微砂 海綿骨芯 赤色粒 泥岩粒 良土 c.黄橙色 e.良好
23	27	第2面・構成土(1)	かわらけ	7.1	4.15	1.5	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底強くナデ b.微砂 海綿骨芯 赤色粒 泥岩粒 やや粗土 c.黄橙色 e.良好
23	28	第2面・構成土(1)	かわらけ	7.4	5.4	1.35	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 海綿骨芯 赤色粒 泥岩粒 やや粗土 c.灰黄色 e.やや甘い
23	29	第2面・構成土(1)	かわらけ	7.55	4.9	1.6	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底強くナデ b.微砂 海綿骨芯 赤色粒 泥岩粒 やや粗土 c.黄橙色 e.良好
23	30	第2面・構成土(1)	かわらけ	(8.3)	(4.9)	2.0	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 海綿骨芯 赤色粒 泥岩粒 やや粗土 c.黄橙色 e.良好
23	31	第2面・構成土(1)	かわらけ	7.55	5.65	1.95	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底強くナデ b.微砂 海綿骨芯 赤色粒 泥岩粒 粗土 c.橙色 e.良好
23	32	第2面・構成土(1)	かわらけ	(8.0)	(4.7)	1.9	a.ロクロ 外底回転糸切痕 不明瞭な板状圧痕 内底ナデ b.微砂 海綿骨針 白色粒 泥岩粒 やや粗土 c.黄灰色 e.やや甘い
23	33	第2面・構成土(1)	かわらけ	7.7	4.9	1.9	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 海綿骨芯 赤色粒 泥岩粒 粗土 c.黄灰色 e.やや甘い
23	34	第2面・構成土(1)	かわらけ	(8.0)	(6.0)	1.8	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 海綿骨芯 赤色粒 泥岩粒 粗土 c.黄橙色 e.良好

単位 (cm)

出土遺物観察表 ()は復元値

図版 No.	番号	出土面・遺構名	種別	口径 (長さ)	底径 (幅)	器高 (高さ)	a.成形 b.胎土・素地 c.色調 d.釉薬 e.焼成 f.備考
23	35	第2面・構成土(1)	かわらけ	7.7	4.9	1.7	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 海綿骨芯 赤色粒 泥岩粒 良土 c.黄橙色 e.良好
23	36	第2面・構成土(1)	かわらけ	7.3	4.5	1.75	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 海綿骨芯 赤色粒 良土 c.灰黄色 e.やや甘い f.口唇部1ヶ所油煤痕
23	37	第2面・構成土(1)	かわらけ	7.4	4.35	1.8	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底強くナデ b.微砂 海綿骨芯 赤色粒 泥岩粒 良土 c.黄橙色 e.良好
23	38	第2面・構成土(1)	かわらけ	(7.2)	(4.4)	1.65	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 赤色粒 やや粗土 c.黄灰色 e.やや甘い
23	39	第2面・構成土(1)	かわらけ	7.0	4.9	1.8	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 海綿骨芯 赤色粒 泥岩粒 やや粗土 c.橙色 e.良好
23	40	第2面・構成土(1)	かわらけ	(7.7)	(4.3)	1.7	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 海綿骨芯 赤色粒 泥岩粒 良土 c.黄橙色 e.良好
23	41	第2面・構成土(1)	かわらけ	(7.6)	(5.0)	1.4	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 良土 c.黄橙色 e.良好
23	42	第2面・構成土(1)	かわらけ	7.5	4.6	1.6	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底強くナデ b.微砂 海綿骨芯 赤色粒 泥岩粒 やや粗土 c.黄橙色 e.良好 f.内底部釘付着 外側面黒色に変色
23	43	第2面・構成土(1)	かわらけ	7.1	4.95	1.6	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 海綿骨芯 赤色粒 良土 c.黄橙色 e.良好
23	44	第2面・構成土(1)	かわらけ	(7.4)	(4.4)	1.9	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 海綿骨芯 赤色粒 良土 c.黄灰色 e.やや甘い f.外面煤ける
23	45	第2面・構成土(1)	かわらけ	6.75	4.25	1.65	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 海綿骨芯 赤色粒 泥岩粒 やや粗土 c.黄橙色 e.良好
23	46	第2面・構成土(1)	かわらけ	7.2	4.2	2	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底強くナデ b.微砂 海綿骨芯 赤色粒 泥岩粒 良土 c.橙色 e.良好
23	47	第2面・構成土(1)	かわらけ	7.0	4.7	1.85	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 海綿骨芯 赤色粒 泥岩粒 やや粗土 c.黄橙色 e.良好
23	48	第2面・構成土(1)	かわらけ	(7.0)	(4.0)	2.4	a.ロクロ 外底回転糸切痕 不明瞭な板状圧痕 内底ナデ b.微砂 海綿骨針 白色粒 赤色粒 良土 c.黄橙色 e.良好
23	49	第2面・構成土(1)	かわらけ	(7.3)	(5.7)	1.9	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 赤色粒 泥岩粒 粗土 c.黄橙色 e.良好
23	50	第2面・構成土(1)	かわらけ	(10.3)	(5.6)	3.0	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 赤色粒 良土 c.橙色 e.良好
23	51	第2面・構成土(1)	かわらけ	10.3	6.2	2.6	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 赤色粒 泥岩粒 良土 c.橙色 e.良好
23	52	第2面・構成土(1)	かわらけ	10.7	6.1	2.9	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 赤色粒 泥岩粒 良土 c.橙色 e.良好
23	53	第2面・構成土(1)	かわらけ	10.2	5.8	3.1	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ 薄手の器壁 b.微砂 赤色粒 良土 c.橙色 e.良好
23	54	第2面・構成土(1)	かわらけ	(12.8)	(7.7)	2.7	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 海綿骨芯 泥岩粒 やや粗土 c.黄灰色 e.やや甘い
23	55	第2面・構成土(1)	かわらけ	(12.5)	(7.8)	3.0	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 海綿骨芯 赤色粒 泥岩粒 やや粗土 c.黄灰色 e.やや甘い
23	56	第2面・構成土(1)	かわらけ	13.4	8.8	3.2	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 赤色粒 泥岩粒 良土 c.黄橙色 e.良好
23	57	第2面・構成土(1)	かわらけ	13.5	7.7	3.15	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底強くナデ b.微砂 海綿骨芯 赤色粒 良土 c.橙色 e.良好
23	58	第2面・構成土(1)	かわらけ	13.8	7.0	3.5	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底強くナデ b.微砂 海綿骨芯 赤色粒 泥岩粒 やや粗土 c.橙色 e.良好
23	59	第2面・構成土(1)	かわらけ	(13.2)	(7.1)	3.2	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 海綿骨針 赤色粒 泥岩粒 小石粒 良土 c.黄橙色 e.良好
23	60	第2面・構成土(1)	かわらけ	6.2	7.4	3.4	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 海綿骨芯 赤色粒 泥岩粒 やや粗土 c.橙色 e.良好
23	61	第2面・構成土(1)	かわらけ	13.6	8.4	3.4	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 海綿骨芯 赤色粒 泥岩粒 やや粗土 c.橙色 e.良好
23	62	第2面・構成土(1)	かわらけ	12.0	6.4	3.1	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 海綿骨芯 赤色粒 泥岩粒 やや粗土 c.黄橙色 e.良好
23	63	第2面・構成土(1)	かわらけ	(12.4)	(7.4)	3.15	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底強くナデ b.微砂 海綿骨芯 赤色粒 泥岩粒 良土 c.黄灰色 e.やや甘い
23	64	第2面・構成土(1)	かわらけ	(12.0)	(6.7)	3.35	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 海綿骨芯 赤色粒 泥岩粒 やや粗土 c.橙色 e.良好
23	65	第2面・構成土(1)	かわらけ	12.5	7.6	3.85	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 海綿骨芯 赤色粒 泥岩粒 やや粗土 c.黄灰色 e.やや甘い
24	66	第2面・構成土(2)	かわらけ	12.9	6.0	3.5	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 赤色粒 粉質良土 c.黄橙色 e.良好
24	67	第2面・構成土(2)	かわらけ	(12.7)	(7.6)	3.4	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 海綿骨芯 赤色粒 良土 c.橙色 e.良好
24	68	第2面・構成土(2)	かわらけ	(12.8)	(6.8)	3.8	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底強くナデ b.微砂 赤色粒 泥岩粒 良土 c.橙色 e.良好
24	69	第2面・構成土(2)	青磁 櫛搔文碗	底部片			a.ロクロ 内面に櫛搔き文 b.灰白色 精良堅緻 d.緑灰色半透明 細かい気泡多く 外面は貫入多い e.堅緻
24	70	第2面・構成土(2)	褐釉 壺	胴部片+耳			a.輪積み技法 b.灰色 微砂 黒色粒 白色粒 良土 d.茶褐色釉 e.良好
24	71	第2面・構成土(2)	褐釉 壺	胴部片			a.輪積み技法 b.灰色 砂粒 赤色粒 黒色粒 白色粒 緻密精良土 d.茶褐色釉 e.良好 硬質 f.内面釉垂れあり
24	72	第2面・構成土(2)	瀬戸 入子	(7.7)	(3.7)	2.95	a.外底回転糸切痕 内面摩擦 外面へら調整 残存1/8 輪花一ヶ所残る b.灰色 白色粒 砂粒 良土 d.無釉 e.良好 硬質 f.内底に朱色の顔料残る
24	73	第2面・構成土(2)	瀬戸 入子	5.7	3.7	1.8	a.外底回転糸切痕 八弁輪花状 b.灰色 白色粒 砂粒 良土 d.無釉 e.良好 硬質
24	74	第2面・構成土(2)	瀬戸 折縁皿	口縁部片			a.ロクロ 内面:横ナデ 外面:自然降灰 b.灰白色 白色粒 砂粒 良土 d.灰オリーブ 薄手施釉 e.良好 硬質 f.二次焼成で白濁する
24	75	第2面・構成土(2)	瀬戸 鈿皿	口縁部片			a.ロクロ b.灰白色 白色粒 砂粒 良土 d.灰白色 極薄く施釉 e.良好 硬質 f.口唇部より外側面にかけて釉剥離
24	76	第2面・構成土(2)	瀬戸 瓶子	胴部片			b.灰白色 白色粒 砂粒 良土 e.良好 硬質 d.灰オリーブ釉 外面のみ薄く施釉

単位 (cm)

出土遺物観察表 ()は復元値

図版 No.	番号	出土面・遺構名	種別	口径 (長さ)	底径 (幅)	器高 (高さ)	a.成形 b.胎土・素地 c.色調 d.釉薬 e.焼成 f.備考
24	77	第2面・構成土(2)	常滑 甕	口縁部片			a.輪積み技法 内面横ナデ b.灰色 白色粒多め 砂粒 c.褐色 d.暗褐色 e.硬質 f.6a形式
24	78	第2面・構成土(2)	常滑 片口鉢Ⅰ類	底部片			a.輪積み技法 横ナデ 内面摩耗してツルツル b.灰色 白色粒多め 黒色粒 砂粒 c.灰色 e.硬質
24	79	第2面・構成土(2)	常滑 片口鉢Ⅱ類	口縁部片			a.輪積み技法 横ナデ b.灰褐色 白色粒多め 砂粒 c.赤褐色 d.自然降灰 e.硬質 f.6a形式
24	80	第2面・構成土(2)	常滑 片口鉢Ⅱ類	口縁部片			a.輪積み技法 口唇部禿げている b.灰色 白色粒多め 黒色粒 砂粒 c.茶褐色 e.硬質 f.内面に一ヶ所竹管文あり
24	81	第2面・構成土(2)	常滑 片口鉢Ⅱ類	底部片			a.輪積み技法 内面摩耗 外面へラ削り横ナデ b.灰色 白色粒多め 黒色粒多め 砂粒 c.褐色～暗褐色 e.硬質
24	82	第2面・構成土(2)	土器質 火鉢	口縁部片			a.輪積み技法 内外横位ナデ b.灰橙色 微砂多く、白色粒・小石粒を含む c.黄褐色 e.軟質 f.D類
24	83	第2面・構成土(2)	かわらけ	10.0	5.1	3	a.ロクロ内底ナデ b.微砂 白色粒 小石粒 やや粗土 c.白色 e.良好 f.口唇部全体に油煤痕 1ヶ所打ち掻き痕 外底部糸切り痕不明瞭 手づくね成形のようにも思えるが、内面不明瞭ながら回転整形の痕跡もみえる 器肌は白色を呈する 産地不明
24	84	第2面・構成土(2)	かわらけ質 人形	3.2	2.1	1.8	b.微砂 赤色粒 良土 c.にぶい橙色 e.良好 f.巫女・後ろ髪は襟の中に入れるため背中には垂らさない・玩具ではなく神事に利用か。手に持っているものは不明・儀式用の品か・顔は墨で書いておらず、へらで切った様子もない
24	85	第2面・構成土(2)	石製品 硯	4.9	3.9	0.8	b.頁岩 赤間ヶ石製 四葉硯(鎌倉手) f.原材搬入し、鎌倉で作硯
24	86	第2面・構成土(2)	石製品 硯	(5.1)	(3.5)	0.6	b.装飾部一部残る c.暗灰色 f.産地不明
24	87	第2面・構成土(2)	石製品 砥石	(3.4)	2.4	0.6	a.砥面2面 c.灰白色 f.鳴滝産 仕上げ
24	88	第2面・構成土(2)	鉄製品 釘	(5.1)	0.6	0.4	f.鍛造 断面四角形 錆付着
24	89	第2面・構成土(2)	鉄製品 釘	(3.0)	0.6	0.3	f.鍛造 断面四角形
26	1	第3面・かわらけ集中遺構	かわらけ	(7.8)	(4.5)	1.5	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 赤色粒 泥岩粒 やや粗土 c.黄褐色 e.良好
26	2	第3面・かわらけ集中遺構	かわらけ	(7.5)	(4.8)	1.45	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 赤色粒 泥岩粒 やや粗土 c.橙色 e.良好
26	3	第3面・かわらけ集中遺構	かわらけ	7.3	4.9	1.7	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 赤色粒 泥岩粒 やや粗土 c.黄褐色 e.良好 f.口唇部2か所に油煤今
26	4	第3面・かわらけ集中遺構	かわらけ	7.8	5.6	1.7	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 海綿骨針 赤色粒 泥岩粒 やや粗土 c.黄褐色 e.良好 f.口唇部油煤痕
26	5	第3面・かわらけ集中遺構	かわらけ	(7.6)	(4.8)	1.75	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 海綿骨針 赤色粒 良土 c.灰黄色 e.やや甘い
26	6	第3面・かわらけ集中遺構	かわらけ	(7.4)	(4.4)	1.6	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 海綿骨針 赤色粒 泥岩粒 良土 c.灰黄色 e.やや甘い
26	7	第3面・かわらけ集中遺構	かわらけ	(6.6)	(3.9)	1.6	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底強くナデ b.微砂 赤色粒 良土 c.黄褐色 e.良好
26	8	第3面・かわらけ集中遺構	かわらけ	(7.3)	(3.8)	1.95	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 赤色粒 良土 c.黄褐色 e.良好
26	9	第3面・かわらけ集中遺構	かわらけ	(10.9)	(6.0)	2.6	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底強くナデ b.微砂 海綿骨針 赤色粒 泥岩粒 小石粒 やや粗土 c.橙色 e.良好
26	10	第3面・かわらけ集中遺構	かわらけ	(10.8)	(6.5)	2.8	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 海綿骨針 赤色粒 泥岩粒 良土 c.橙色 e.良好 f.外側面に工具による引き掻きのような痕跡
26	11	第3面・かわらけ集中遺構	かわらけ	12.7	7.8	3.4	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底強くナデ b.微砂 赤色粒 泥岩粒 良土 c.橙色 e.良好
26	12	第3面・かわらけ集中遺構	かわらけ	12.8	7.9	3.3	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 海綿骨針 赤色粒 泥岩粒 やや粗土 c.橙色 e.良好
26	13	第3面・かわらけ集中遺構	かわらけ	(13.5)	(7.3)	3.5	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 海綿骨針 赤色粒 泥岩粒 良土 c.橙色 e.良好
26	14	第3面・かわらけ集中遺構	かわらけ	(12.6)	(8.2)	3.4	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデの後側面回転ナデ b.微砂 赤色粒 泥岩粒 小石粒 良土 c.黄褐色 e.良好
26	15	第3面・かわらけ集中遺構	かわらけ	(13.1)	(8.1)	3.75	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 赤色粒 やや粗土 c.黄褐色 e.良好
26	16	第3面・かわらけ集中遺構	かわらけ	12.8	6.8	3.4	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 赤色粒 良土 c.橙色 e.良好
26	17	第3面・かわらけ集中遺構	鉄製品 釘	(4.1)	0.8	0.7	f.鍛造 断面四角形
26	18	第3面・かわらけ集中遺構	鉄製品 釘	4.4	0.7	0.6	f.鍛造 断面四角形
26	19	第3面・かわらけ集中遺構	鉄製品 釘	3.2	0.7	0.6	f.鍛造 断面四角形
27	1	第3面・土坑26	かわらけ	7.2	5.3	1.9	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底強くナデ b.微砂 赤色粒 泥岩粒 やや粗土 c.黄灰色 e.やや甘い
27	2	第3面・土坑26	かわらけ	11.1	6.4	3.0	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 海綿骨針 赤色粒 粉質良土 c.橙色 e.良好
27	3	第3面・土坑26	かわらけ	12.2	7.1	3.4	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 海綿骨針 赤色粒 良土 c.橙色 e.良好 f.内面器壁が黒色に変色
27	4	第3面・土坑29	かわらけ	(7.0)	(4.5)	1.5	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底強くナデ b.微砂 海綿骨針 赤色粒 良土 c.黄灰色 e.やや甘い
27	5	第3面・土坑29	かわらけ	10.3	4.9	3.0	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 赤色粒 粉質気味良土 c.黄灰色 e.やや甘い f.器肌色が白かわらけに近似する色調
27	6	第3面・土坑30	かわらけ	7.4	5.3	1.6	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 海綿骨針 赤色粒 泥岩粒 粗土 c.橙色 e.良好
27	7	第3面・土坑30	かわらけ	7.5	5.9	1.9	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 海綿骨針 赤色粒 泥岩粒 粗土 c.黄灰色 e.やや甘い
27	8	第3面・土坑30	かわらけ	10.3	5.9	3.2	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 海綿骨針 赤色粒 良土 c.黄灰色 e.やや甘い
27	9	第3面・土坑31	かわらけ	8.1	4.9	1.6	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 海綿骨針 赤色粒 泥岩粒 やや粗土 c.黄褐色 e.良好
27	10	第3面・土坑31	かわらけ	7.8	5.2	1.55	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 海綿骨針 赤色粒 泥岩粒 やや粗土 c.黄灰色 e.やや甘い f.口唇部一部に油煤痕

単位 (cm)

出土遺物観察表 ()は復元値

図版 No.	番号	出土面・遺構名	種別	口径 (長さ)	底径 (幅)	器高 (高さ)	a.成形 b.胎土・素地 c.色調 d.釉薬 e.焼成 f.備考
27	11	第3面・土坑31	かわらけ	7.5	5.1	1.75	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 海綿骨芯 赤色粒 泥岩粒 粗土 c.黄橙色 e.良好 f.内側面一部が黒色に変色
27	12	第3面・土坑31	かわらけ	7.6	5.0	1.75	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 海綿骨芯 赤色粒 粗土 c.黄灰色 e.やや甘い f.口縁削り込む加工を施す
27	13	第3面・土坑31	かわらけ	(12.6)	(8.3)	3.6	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 海綿骨芯 赤色粒 泥岩粒 粗土 c.橙色 e.良好
27	14	第3面・土坑31	かわらけ	(13.5)	(7.5)	3.5	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 海綿骨芯 赤色粒 泥岩粒 やや粗 土 c.黄橙色 e.良好
27	15	第3面・土坑31	かわらけ	(13.2)	(7.2)	3.25	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 海綿骨芯 赤色粒 泥岩粒 粗土 c.橙色 e.良好
27	16	第3面・土坑31	かわらけ	(13.1)	(7.3)	3.5	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 海綿骨芯 赤色粒 小石粒 やや粗 土 c.橙色 e.良好
28	17	第3面・土坑32	かわらけ	(7.7)	(5.8)	1.45	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底強くナデ b.微砂 海綿骨芯 赤色粒 泥岩粒 やや粗 土 c.黄橙色 e.良好
28	18	第3面・土坑32	かわらけ	10.9	6.3	3.05	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 海綿骨芯 赤色粒 泥岩粒 良土 c.橙色 e.良好 f.器壁内湾する
28	19	第3面・土坑32	かわらけ	12.4	7.1	3.25	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 海綿骨芯 赤色粒 泥岩粒 粗土 c.黄橙色 e.良好
28	20	第3面・土坑32	かわらけ	12.4	7.25	3.45	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 海綿骨芯 赤色粒 泥岩粒 粗土 c.黄灰色 e.やや甘い
28	21	第3面・土坑32	かわらけ	12.7	8.1	3.4	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底強くナデ b.微砂 海綿骨芯 赤色粒 泥岩粒 良土 c.黄灰色 e.やや甘い
28	22	第3面・土坑32	かわらけ	12.7	7.1	3.35	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 海綿骨芯 赤色粒 泥岩粒 粗土 c.橙色 e.良好
28	23	第3面・土坑32	かわらけ	13.5	7.9	3.7	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 海綿骨芯 赤色粒 泥岩粒 やや粗 土 c.橙色 e.良好
28	24	第3面・土坑32	かわらけ	13.2	7.8	3.7	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 海綿骨芯 赤色粒 泥岩粒 やや粗 土 c.橙色 e.良好
28	25	第3面・土坑32	かわらけ	(13.2)	(7.5)	3.7	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底強くナデ b.微砂 赤色粒 泥岩粒 やや粗土 c.橙 色 e.良好 f.内側面部分的に黒色に変色
28	26	第3面・土坑32	滑石 鍋	口縁部片			b.内外面削り加工
28	27	第3面・土坑33	かわらけ	7.75	4.95	1.65	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 海綿骨芯 赤色粒 泥岩粒 粗土 c.黄灰色 e.やや甘い f.口唇部から内側面にかけて厚く油煤痕
28	28	第3面・土坑33	かわらけ	8.05	5.1	1.7	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 赤色粒 泥岩粒 小石粒 粗土 c.黄 橙色 e.良好 f.内外面共に器壁剥離 口唇部油煤痕
28	29	第3面・土坑33	かわらけ	7.3	5.15	1.6	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデの後側面回転ナデ b.微砂 海綿骨芯 赤色粒 泥岩粒 粗土 c.橙色 e.良好 f.口唇部一部打ち掻き痕 口唇部油煤痕
28	30	第3面・土坑33	かわらけ	7.7	5.3	1.8	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底強くナデ b.微砂 海綿骨芯 赤色粒 泥岩粒 やや粗 土 c.黄灰色 e.やや甘い
28	31	第3面・土坑33	かわらけ	7.1	4.5	1.75	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 海綿骨芯 赤色粒 泥岩粒 粗土 c.橙色 e.良好
28	32	第3面・土坑33	かわらけ	7.3	5.4	1.7	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底強くナデ b.微砂 海綿骨芯 赤色粒 泥岩粒 やや 粗土 c.橙色 e.良好
28	33	第3面・土坑33	かわらけ	7.75	3.1	2.0	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 海綿骨芯 赤色粒 泥岩粒 やや粗 土 c.黄灰色 e.やや甘い
28	34	第3面・土坑33	かわらけ	7.05	4.7	1.65	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 海綿骨芯 赤色粒 泥岩粒 やや粗 土 c.黄灰色 e.やや甘い f.口唇部一部油煤痕
28	35	第3面・土坑33	かわらけ	7.0	4.6	2.0	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 海綿骨芯 赤色粒 泥岩粒 やや粉質 気味良土 c.橙色 e.良好
28	36	第3面・土坑33	かわらけ	10.5	6.4	2.9	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 b.微砂 赤色粒 やや粉質良土 c.橙色 e.良好
28	37	第3面・土坑33	かわらけ	10.75	6.0	3.3	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 赤色粒多め 泥岩粒 良土 c.橙色 e.良好
28	38	第3面・土坑33	かわらけ	10.6	5.8	3.1	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 b.微砂 赤色粒多め 良土 c.灰白色 e.甘い
28	39	第3面・土坑33	かわらけ	12.0	7.4	3.3	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 b.微砂 海綿骨芯 赤色粒 泥岩粒 粗土 c.橙色 e.良 好
28	40	第3面・土坑33	かわらけ	11.8	7.5	3.1	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 b.微砂 海綿骨芯 赤色粒 泥岩粒 やや粗土 c.黄灰色 e.やや甘い
28	41	第3面・土坑33	かわらけ	11.8	7.3	3.0	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 海綿骨芯 赤色粒多め 泥岩粒 やや 粗土 c.黄橙色 e.良好 f.口縁部一部に削痕
28	42	第3面・土坑33	かわらけ	11.9	7.8	3.0	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 b.微砂 海綿骨芯 赤色粒 泥岩粒 粗土 c.橙色 e.良 好
28	43	第3面・土坑33	かわらけ	12.9	8.6	3.45	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 海綿骨芯 赤色粒 泥岩粒 やや粗 土 c.橙色 e.良好 f.内底黒色に変色
28	44	第3面・土坑33	かわらけ	12.1	7.45	3.55	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 b.微砂 海綿骨芯 赤色粒多め 泥岩粒多め やや粗土 c.橙色 e.良好
28	45	第3面・土坑33	かわらけ	12.6	6.7	3.45	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 b.微砂 海綿骨芯 赤色粒 泥岩粒 やや粗土 c.黄灰色 e.やや甘い
28	46	第3面・土坑33	銅銭	外径25.1mm 内径22.3mm 孔幅10mm 厚さ1.1mm			f.五銖銭 後漢 初鑄A.D.24年
28	47	第3面・ビット176	青磁 鉢	底部片			b.灰白色 精良堅緻 d.青灰色不透明 厚く施釉 気泡あり 貫入あり 高台接地面のみ露胎 e.堅緻 f.内底二次焼成か釉剥離
28	48	第3面・ビット177	かわらけ	12.6	6.7	3.45	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 海綿骨芯 赤色粒 泥岩粒 良土 c.黄灰色 e.やや甘い
28	49	第3面・ビット185	常滑 片口鉢Ⅱ類	(35.6)	(19.6)	(14.4)	a.輪積み技法 内面:指頭痕・横ナデ 外面:横ナデ・ヘラ調整・離れ砂付着 b.暗灰色 白色 粒 黒色粒 砂粒 石粒 c.橙色 e.硬質
28	50	第3面・ビット190	かわらけ	7.5	4.7	1.8	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底強くナデ b.微砂 海綿骨芯 良土 c.黄灰色 e.やや甘い
28	51	第3面・ビット190	瀬戸 入子	—	(3.8)	—	a.ロクロ 横ナデ b.灰白色 砂粒 良土 d.外面に自然降灰 e.良好 硬質
28	52	第3面・ビット198	かわらけ	7.4	5.7	1.5	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底強くナデ b.微砂 海綿骨芯 赤色粒 泥岩粒 やや 粗土 c.黄橙色 e.良好

単位 (cm)

出土遺物観察表 ()は復元値

図版 No.	番号	出土面・遺構名	種別	口径 (長さ)	底径 (幅)	器高 (高さ)	a.成形 b.胎土・素地 c.色調 d.釉薬 e.焼成 f.備考
28	53	第3面・ビット198	かわらけ	7.3	4.4	1.6	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 海綿骨芯 赤色粒 泥岩粒 やや粗土 c.橙色 e.良好
28	54	第3面・ビット198	銅銭	外径24.4mm 内径20.8mm 孔幅6.74mm 厚さ1.1mm			f.元祐通寶 北宋 初鑄1086年 行書
28	55	第3面・ビット198	銅銭	外径23.8mm 内径18.9mm 孔幅6.2mm 厚さ0.9mm			f.至和元寶 北宋 初鑄1054年 篆書
29	1	第3面・面上(1)	かわらけ	8.0	5.7	1.4	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 海綿骨芯 赤色粒 泥岩粒 やや粗土 c.黄橙色 e.良好
29	2	第3面・面上(1)	かわらけ	(7.1)	(4.5)	1.45	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 海綿骨芯 赤色粒 泥岩粒 やや粗土 c.灰黄色 e.やや甘い
29	3	第3面・面上(1)	かわらけ	7.2	5.3	1.6	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 海綿骨芯 赤色粒 泥岩粒 良土 c.黄橙色 e.良好
29	4	第3面・面上(1)	かわらけ	7.7	4.9	1.5	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 海綿骨芯 赤色粒 良土 c.橙色 e.良好
29	5	第3面・面上(1)	かわらけ	7.4	5.4	1.6	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデの後側面回転ナデ b.微砂 海綿骨芯 赤色粒 泥岩粒 良土 c.灰黄色 e.やや甘い
29	6	第3面・面上(1)	かわらけ	7.15	4.5	1.5	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底強くナデ b.微砂 海綿骨芯 赤色粒 良土 c.橙色 e.良好
29	7	第3面・面上(1)	かわらけ	(7.4)	(4.9)	1.3	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底強くナデ b.微砂 海綿骨芯 赤色粒 泥岩粒 良土 c.黄橙色 e.良好
29	8	第3面・面上(1)	かわらけ	(7.4)	(4.35)	1.6	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 海綿骨芯 赤色粒 泥岩粒 やや粗土 c.灰黄色 e.やや甘い f.内外側面黒色に変色
29	9	第3面・面上(1)	かわらけ	7.75	5.15	1.75	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 海綿骨芯 赤色粒 泥岩粒 良土 c.黄橙色 e.良好 f.外側面・内底面黒色に変色
29	10	第3面・面上(1)	かわらけ	7.8	5.5	1.7	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 海綿骨芯 赤色粒 良土 c.黄灰色 e.やや甘い
29	11	第3面・面上(1)	かわらけ	(7.8)	(4.8)	1.65	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 海綿骨芯 泥岩粒 良土 c.灰黄色 e.やや甘い
29	12	第3面・面上(1)	かわらけ	7.9	4.65	1.7	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 海綿骨芯 小石粒 良土 c.黄橙色 e.良好 f.内外面一部が黒色に変色
29	13	第3面・面上(1)	かわらけ	7.4	5.4	1.6	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデの後側面回転ナデ b.微砂 海綿骨芯 赤色粒 泥岩粒 良土 c.灰黄色 e.やや甘い
29	14	第3面・面上(1)	かわらけ	7.4	4.8	1.8	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 海綿骨芯少量 赤色粒少量 泥岩粒 良土 c.黄灰色 e.やや甘い
29	15	第3面・面上(1)	かわらけ	(7.60)	(4.65)	(1.5)	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデの後側面回転ナデ b.微砂 海綿骨芯 赤色粒 泥岩粒 良土 c.黄橙色 e.良好
29	16	第3面・面上(1)	かわらけ	6.9	4.3	1.55	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 海綿骨芯 赤色粒 泥岩粒 良土 c.黄灰色 e.やや甘い
29	17	第3面・面上(1)	かわらけ	7.1	4.7	1.6	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデの後側面回転ナデ b.微砂 海綿骨芯 赤色粒 泥岩粒 やや粗土 c.灰黄色 e.やや甘い
29	18	第3面・面上(1)	かわらけ	7.7	5.2	1.65	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 海綿骨芯 赤色粒 泥岩粒 やや粗土 c.橙色 e.良好
29	19	第3面・面上(1)	かわらけ	(7.5)	(4.7)	1.9	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 海綿骨芯 泥岩粒 やや粗土 c.灰黄色 e.やや甘い f.内外面口唇部黒色に変色
29	20	第3面・面上(1)	かわらけ	7.6	5.4	1.9	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底強くナデ b.微砂 海綿骨芯 赤色粒 泥岩粒 良土 c.灰黄色 e.やや甘い
29	21	第3面・面上(1)	かわらけ	7.5	4.75	1.95	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底弱いナデ b.微砂 海綿骨芯 泥岩粒 良土 c.黄橙色 e.良好
29	22	第3面・面上(1)	かわらけ	(8.15)	(5.4)	1.9	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデの後側面回転ナデ b.微砂 海綿骨芯 赤色粒 良土 c.灰黄色 e.やや甘い
29	23	第3面・面上(1)	かわらけ	(7.6)	(4.8)	1.9	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 良土 c.灰黄色 e.やや甘い
29	24	第3面・面上(1)	かわらけ	7.3	4.1	1.8	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 海綿骨芯 赤色粒 やや粗土 c.橙色 e.良好
29	25	第3面・面上(1)	かわらけ	7.55	4.9	1.65	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 海綿骨芯 赤色粒少量 泥岩粒 良土 c.黄橙色 e.良好
29	26	第3面・面上(1)	かわらけ	7.1	5.0	1.95	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 海綿骨芯 赤色粒 泥岩粒 良土 c.橙色 e.良好
29	27	第3面・面上(1)	かわらけ	(7.2)	(4.15)	(1.95)	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 赤色粒 良土 c.橙色 e.良好
29	28	第3面・面上(1)	かわらけ	11.15	5.8	2.8	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 海綿骨芯 赤色粒 泥岩粒 良土 c.黄橙色 e.良好
29	29	第3面・面上(1)	かわらけ	(10.95)	(6.4)	3.0	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 海綿骨芯少量 赤色粒 泥岩粒 良土 c.黄橙色 e.良好
29	30	第3面・面上(1)	かわらけ	11.15	6.3	3.0	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 海綿骨芯 赤色粒 泥岩粒 良土 c.橙色 e.良好
29	31	第3面・面上(1)	かわらけ	(17.4)	9.95	4.5	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 海綿骨芯 赤色粒 良土 c.橙色 e.良好
29	32	第3面・面上(1)	かわらけ	(14.0)	(7.6)	3.7	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 海綿骨芯 赤色粒 良土 c.橙色 e.良好
29	33	第3面・面上(1)	かわらけ	(12.7)	(6.9)	3.5	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 赤色粒 良土 c.黄橙色 e.良好
29	34	第3面・面上(1)	かわらけ	12.7	7.4	3.5	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底強くナデ b.微砂 海綿骨芯 赤色粒 泥岩粒 やや粗土 c.灰黄色 e.やや甘い
29	35	第3面・面上(1)	かわらけ	(12.4)	(7.65)	3.3	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 赤色粒 小石粒 良土 c.黄橙色 e.良好 f.内面口唇部と内底から側面・外側面が黒色に変色
29	36	第3面・面上(1)	かわらけ	11.85	7.1	3.3	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 海綿骨芯 赤色粒少量 泥岩粒少量 良土 c.黄橙色 e.やや甘い f.口唇部全体に油煤痕
29	37	第3面・面上(1)	青磁 鎗蓮弁文碗	口縁部片			a.ロクロ b.灰色 精良堅緻 d.オリーブ灰色透明釉 厚く施釉 気泡あり
29	38	第3面・面上(1)	白磁 碗	口縁部片			a.ロクロ b.灰色 精良堅緻 d.白色透明 薄手施釉 e.堅緻
29	39	第3面・面上(1)	白磁 口元皿	口縁部片			a.ロクロ b.灰白色 精良堅緻 d.灰白色半透明 薄手施釉 貫入有り e.堅緻

単位 (cm)

出土遺物観察表 ()は復元値

図版 No.	番号	出土面・遺構名	種別	口径 (長さ)	底径 (幅)	器高 (厚さ)	a.成形 b.胎土・素地 c.色調 d.釉薬 e.焼成 f.備考
29	40	第3面・面上(1)	白磁皿		口縁部片		a.ロクロ 内面印花文 b.白色 精良堅緻 d.無色透明釉 薄手施釉 e.堅緻 f.小皿
29	41	第3面・面上(1)	青白磁皿		口縁部片		a.口縁輪花状 内面僅かに櫛搔文が残る 文様不明 b.白色 精良堅緻 d.灰白色透明 薄手施釉 e.堅緻 f.小皿
29	42	第3面・面上(1)	瀬戸入子		口縁部片		a.ロクロ 内面横ナデ b.灰白色 砂粒 精良土 d.灰白色自然釉 e.良好 硬質
29	43	第3面・面上(1)	瀬戸卸皿		口縁部片		a.ロクロ b.灰白色 砂粒 良土 d.オリブ灰色 薄く施釉 e.良好 硬質
29	44	第3面・面上(1)	瀬戸卸皿		底部片		a.ロクロ 外底回転糸切痕 b.淡灰褐色 砂粒 良土 d.卸目部分灰白色自然釉 e.良好 硬質
29	45	第3面・面上(1)	常滑甕		口縁部片		a.輪積み技法 内面横ナデ b.暗灰色 白色粒多め 黒色粒 砂粒 c.暗赤褐色 e.硬質 f.7形式
29	46	第3面・面上(1)	常滑片口鉢Ⅰ類		口縁部片		a.輪積み技法 横ナデ b.灰色 白色粒 黒色粒 砂粒 c.灰色 e.硬質 f.5形式
29	47	第3面・面上(1)	常滑片口鉢Ⅰ類	—	(11.0)	—	a.輪積み技法 横ナデ 内面摩耗器壁剥離 b.灰色 白色粒少なめ 黒色粒 砂粒 c.灰色 d.内側のみ降灰による自然釉 e.硬質
29	48	第3面・面上(1)	常滑片口鉢Ⅱ類	(31.6)	(15.2)	(11.35)	a.輪積み技法 横ナデ 内面:摩耗・剥離あり 外面:へら調整 b.灰~暗灰色 白色粒多い 黒色粒 砂粒 小石粒 c.褐色~黒褐色 e.硬質 f.7形式
29	49	第3面・面上(1)	常滑片口鉢Ⅱ類		口縁部片		a.輪積み技法 内外面横ナデ b.灰色 白色粒 黒色粒 砂粒 c.褐色 e.硬質 f.8形式
29	50	第3面・面上(1)	土器質火鉢		口縁部片		a.横ナデ 板状圧痕 b.橙色 海綿骨芯 赤色粒 白色粒 砂粒 c.灰色 e.良好
29	51	第3面・面上(1)	瓦器質火鉢		口縁部片		b.灰白色 白色粒 砂粒 c.灰色 e.硬質 f.外面上部から二条の沈線・雷文・二条の沈線・珠文貼り付け 内面上部に横方向の磨き痕・角火鉢
29	52	第3面・面上(1)	常滑甕転用品	8.7	6.7	1.5	a.側面揺られ丸みを帯びる b.灰褐色 白色粒多め 黒色粒 c.灰色 e.硬質
29	53	第3面・面上(1)	泥岩加工品	径7.2	—	1.8	a.土丹を磨き円盤状に成形一部破損
29	54	第3面・面上(1)	土製品用途不明	(5.3)	2.6	1.5	b.微砂 海綿骨芯 赤色粒 小石粒 やや粗土 c.黄橙色 e.良好 f.円盤状 鋳型か
29	55	第3面・面上(1)	滑石製スタンプ	(2.6)	0.9	0.9	f.極小片の為 文様不明
29	56	第3面・面上(1)	石製品砥石	(7.2)	6.4	3.9	a.砥面2面 側面切り出し痕 c.白色 f.伊予産 中砥
29	57	第3面・面上(1)	石製品砥石	(5.3)	3.4	0.6	a.砥面2面 c.淡黄色 f.鳴滝産 仕上げ
29	58	第3面・面上(1)	石製品砥石	(3.0)	3.1	0.7	a.砥面2面 側面1面切り出し痕 c.灰白色 f.鳴滝産 仕上げ
29	59	第3面・面上(1)	骨角製品弁	(2.6)	1.7	0.3	a.磨き加工されている
29	60	第3面・面上(1)	骨角製品	(4.3)	1.2	0.4	a.磨き加工されている・用途不明
30	61	第3面・面上(2)	鉄製品用途不明	(3.9)	7.5	0.3	f.遺存状態が悪く大半が錆に覆われる
30	62	第3面・面上(2)	鉄製品釘	5.3	1.5	1.5	f.鍛造 錆付着
30	63	第3面・面上(2)	鉄製品釘	5.0	0.8	0.8	f.鍛造 錆付着
30	64	第3面・面上(2)	鉄製品釘	(4.2)	0.5	0.4	f.鍛造 断面四角形
30	65	第3面・面上(2)	鉄製品釘	4.7	0.4	0.3	f.鍛造 断面四角形
30	66	第3面・面上(2)	銅銭	外径25.5mm 内径21.0mm 孔幅7.3mm 厚さ1.0mm			f.景祐元寶 北宋 初鑄1034年 真書
30	67	第3面・面上(2)	銅銭	外径25.0mm 内径19.5mm 孔幅7.0mm 厚さ1.0mm			f.皇宋通寶 北宋 初鑄1038年 真書
30	68	第3面・面上(2)	銅銭	外径24.3mm 内径20.3mm 孔幅4.8mm 厚さ1.3mm			f.政和通寶 北宋 初鑄1111年 分楷
30	69	第3面・炭化物層	かわらけ	(7.7)	(4.7)	1.5	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 海綿骨芯 良土 c.灰黄色 e.やや甘い f.二次焼成受け黒色に変色
30	70	第3面・炭化物層	かわらけ	(7.9)	(4.9)	1.7	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 海綿骨芯 赤色粒 泥岩粒 砂質やや粗土 c.黄橙色 e.良好
30	71	第3面・炭化物層	かわらけ	7.5	5.3	1.65	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 赤色粒 泥岩粒 良土 c.灰黄色 e.やや甘い
30	72	第3面・炭化物層	かわらけ	(7.4)	(4.9)	1.4	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 海綿骨芯 赤色粒 泥岩粒 砂質やや粗土 c.灰黄色 e.やや甘い
30	73	第3面・炭化物層	かわらけ	7.15	4.8	1.45	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 赤色粒 泥岩粒 砂質良土 c.橙色 e.良好
30	74	第3面・炭化物層	かわらけ	7.5	5.3	1.6	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 赤色粒 泥岩粒 やや粗土 c.灰黄色 e.やや甘い f.口唇部一ヶ所に油煤痕
30	75	第3面・炭化物層	かわらけ	6.8	5.3	1.5	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 海綿骨芯 泥岩粒 良土 c.灰黄色 e.やや甘い f.口唇部一部黒色に変色
30	76	第3面・炭化物層	かわらけ	7.95	4.8	1.9	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 海綿骨芯 赤色粒 泥岩粒 やや粗土 c.灰黄色 e.やや甘い
30	77	第3面・炭化物層	かわらけ	7.45	5.95	1.7	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 海綿骨芯 赤色粒 泥岩粒 良土 c.灰黄色 e.やや甘い
30	78	第3面・炭化物層	かわらけ	7.5	4.7	1.7	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデの後側面回転ナデ b.微砂 海綿骨芯 赤色粒 泥岩粒 良土 c.灰黄色 e.やや甘い
30	79	第3面・炭化物層	かわらけ	7.5	5.2	1.75	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 海綿骨芯 赤色粒 泥岩粒 良土 c.灰黄色 e.やや甘い
30	80	第3面・炭化物層	かわらけ	7.95	5.1	2.1	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 赤色粒 泥岩粒 やや粗土 c.灰黄色 e.やや甘い
30	81	第3面・炭化物層	かわらけ	7.4	5.0	2.0	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 海綿骨芯 小石粒 良土 c.灰黄色 e.やや甘い

単位 (cm)

出土遺物観察表 ()は復元値

図版 No.	番号	出土面・遺構名	種別	口径 (長さ)	底径 (幅)	器高 (高さ)	a.成形 b.胎土・素地 c.色調 d.釉薬 e.焼成 f.備考
30	82	第3面・炭化物層	かわらけ	7.3	5.2	1.75	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 海綿骨芯 赤色粒 良土 c.灰黄色 e.やや甘い
30	83	第3面・炭化物層	かわらけ	7.2	5.0	2.0	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデの後側面回転ナデ b.微砂 海綿骨芯 赤色粒 泥岩粒 良土 c.黄橙色 e.良好
30	84	第3面・炭化物層	かわらけ	7.15	4.8	1.9	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 赤色粒 泥岩粒 良土 c.橙色 e.良好
30	85	第3面・炭化物層	かわらけ	6.6	4.25	1.9	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデの後側面回転ナデ b.微砂 赤色粒 良土 c.黄橙色 e.良好
30	86	第3面・炭化物層	かわらけ	6.85	4.1	2.0	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 赤色粒 良土 c.橙色 e.良好
30	87	第3面・炭化物層	かわらけ	10.95	6.4	3.2	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 赤色粒 良土 c.橙色 e.良好 f.口唇部一ヶ所に油煤痕
30	88	第3面・炭化物層	かわらけ	(11.0)	(5.8)	3.1	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 海綿骨芯 赤色粒 良土 c.黄橙色 e.良好 f.口唇部一ヶ所に油煤痕
30	89	第3面・炭化物層	かわらけ	(10.7)	(6.2)	2.95	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 赤色粒 良土 c.黄橙色 e.良好
30	90	第3面・炭化物層	かわらけ	(10.7)	(6.4)	3.1	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 海綿骨芯 赤色粒 良土 c.灰黄色 e.やや甘い
30	91	第3面・炭化物層	かわらけ	(10.7)	(6.5)	3.5	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 海綿骨芯 赤色粒 良土 c.黄橙色 e.良好
30	92	第3面・炭化物層	かわらけ	10.7	5.7	3.2	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 赤色粒 良土 c.黄橙色 e.良好 f.外側面一部栗色に変色
30	93	第3面・炭化物層	かわらけ	13.2	7.3	3.65	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 海綿骨芯 赤色粒 泥岩粒 良土 c.橙色 e.良好
30	94	第3面・炭化物層	かわらけ	12.1	7.6	3.1	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 海綿骨芯 赤色粒 泥岩粒 やや粗土 c.灰黄色 e.やや甘い f.口唇部油煤痕
30	95	第3面・炭化物層	かわらけ	12.0	8.1	3.0	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデの後側面回転ナデ b.微砂 海綿骨芯 赤色粒 良土 c.黄橙色 e.良好 f.内面一部黒色に変色
30	96	第3面・炭化物層	かわらけ	13.1	8.8	3.5	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデの後側面回転ナデ b.微砂 海綿骨芯 赤色粒 良土 c.灰黄色 e.やや甘い
30	97	第3面・炭化物層	かわらけ	13.1	7.3	3.7	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 海綿骨芯 赤色粒 良土 c.黄橙色 e.良好
30	98	第3面・炭化物層	かわらけ	12.75	7.0	3.1	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 海綿骨芯 赤色粒 良土 c.灰黄色 e.やや甘い f.内外口唇部黒色に変色
30	99	第3面・炭化物層	青白磁 梅瓶	胴部片			a.ロクロ b.白色 精良堅緻 d.青白色透明 薄手施釉 e.堅緻 f.二次焼成の為かややあれぬ味
30	100	第3面・炭化物層	山茶碗	(13.4)	(6.6)	4.05	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 b.白色粒 砂粒 精良土 c.灰黒色 e.やや甘い f.胎土は東遼系の胎土に近似
30	101	第3面・炭化物層	常滑甕 転用品	(7.0)	6.2	1.5	a.側面摩耗 b.暗灰色 白色粒 砂粒 c.茶褐色 e.硬質
30	102	第3面・炭化物層	鉄製品 釘	5.2	0.4	0.3	f.鍛造 断面四角形
30	103	第3面・炭化物層	銅銭	外径24.3mm 内径17.8mm 孔幅5.8mm 厚さ1.2mm			f.至道元寶 北宋 初鑄995年 草書
30	104	第3面・炭化物層	銅銭	外径25.0mm 内径19.5mm 孔幅5.7mm 厚さ1.2mm			f.景德元寶 北宋 初鑄1004年 真書
30	105	第3面・構成土(1)	かわらけ	3.8	3.0	0.9	a.ロクロ 外底回転糸切痕 内底ナデ b.微砂 雲母 赤色粒 やや粉質 良土 c.橙色 e.良好 f.口唇部やや内折れ
30	106	第3面・構成土(1)	かわらけ	7.4	5.6	1.4	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデの後側面回転ナデ b.微砂 雲母 海綿骨針 白色粒 砂質 良土 c.黄橙色 e.良好
30	107	第3面・構成土(1)	かわらけ	(8.2)	5.4	1.5	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底強くナデ b.微砂 雲母 泥岩粒 粉質気味 良土 c.黄橙色 e.やや甘い
30	108	第3面・構成土(1)	かわらけ	(7.4)	(4.6)	1.4	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕不明瞭 内底強くナデ b.微砂多 雲母 赤色粒 白色粒 黒色粒 砂質 やや粗土 c.黄橙色 e.良好 f.内面見込み浅く 外底磨減
30	109	第3面・構成土(1)	かわらけ	7.6	5.1	1.5	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 海綿骨針 赤色粒 良土 c.まだらな 橙色 e.良好 f.内外面一部に灰色の物質付着 一ヶ所打ち掻き痕
30	110	第3面・構成土(1)	かわらけ	(7.8)	(5.2)	1.6	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 雲母 泥岩粒 砂質 やや粗土 c.橙色 e.良好 f.口唇部一ヶ所油煤痕
30	111	第3面・構成土(1)	かわらけ	7.6	5.4	1.6	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 雲母 海綿骨針 小石粒 泥岩粒 砂質 良土 c.黄橙色 e.良好
30	112	第3面・構成土(1)	かわらけ	7.4	5.0	1.4	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 雲母 赤色粒 泥岩粒 砂質 良土 c.橙色 e.良好
30	113	第3面・構成土(1)	かわらけ	7.8	4.8	1.8	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 泥岩粒 粉質気味 良土 c.黄橙色 e.やや甘い
30	114	第3面・構成土(1)	かわらけ	(8.0)	5.6	1.7	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデの後側面回転ナデ b.微砂 雲母 赤色粒 橙色粒 砂質 良土 c.黄橙色 e.良好
30	115	第3面・構成土(1)	かわらけ	8.2	6.0	1.9	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底強くナデ b.微砂 雲母 泥岩粒 砂質 良土 c.黄橙色 e.良好
30	116	第3面・構成土(1)	かわらけ	(8.6)	(6.4)	1.3	a.ロクロ 外底回転糸切痕 内底ナデ b.微砂 雲母 海綿骨針 橙色粒 粉質気味 良土 c.黄灰色 e.やや甘い f.低い器高
30	117	第3面・構成土(1)	かわらけ	7.8	5.6	1.3	a.ロクロ 外底回転糸切痕 内底横ナデ b.微砂 雲母 赤色粒 砂質 良土 c.黄橙色 e.やや甘い f.低い器高・内外面一部黒色に変色
30	118	第3面・構成土(1)	かわらけ	7.4	5.0	1.3	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 雲母 白色粒 粉質気味 良土 c.黄灰色 e.やや甘い f.低い器高
30	119	第3面・構成土(1)	かわらけ	7.4	5.4	1.6	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデの後側面回転ナデ b.微砂 雲母 泥岩粒 砂質 良土 c.黄橙色 e.良好 f.内外口唇部油煤痕
30	120	第3面・構成土(1)	かわらけ	(7.4)	5.0	1.7	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底強く横ナデ b.微砂 赤色粒 泥岩粒 粉質 良土 c.黄橙色 e.良好
30	121	第3面・構成土(1)	かわらけ	8.0	5.5	1.8	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 雲母 泥岩粒 砂質 やや粗土 c.黄橙色 e.良好
30	122	第3面・構成土(1)	かわらけ	(8.4)	5.0	2	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 泥岩粒 粉質気味 良土 c.黄橙色 e.良好
30	123	第3面・構成土(1)	かわらけ	(7.4)	5.6	1.7	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 雲母 小石粒 砂質 やや粗土 c.橙色 e.良好

単位 (cm)

出土遺物観察表 ()は復元値

図版 No.	番号	出土面・遺構名	種別	口径 (長さ)	底径 (幅)	器高 (高さ)	a.成形 b.胎土・素地 c.色調 d.釉薬 e.焼成 f.備考
30	124	第3面・構成土(1)	かわらけ	7.2	5.2	1.6	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底雑ナデ b.微砂 雲母 泥岩粒 小石粒 粉質気味 やや粗土 c.橙色 e.良好
30	125	第3面・構成土(1)	かわらけ	(7.8)	5.6	1.7	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底強くナデ b.微砂 雲母 赤色粒 泥岩粒 粉質気味 良土 c.黄橙色 e.良好
30	126	第3面・構成土(1)	かわらけ	7.6	5.9	2	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 雲母 海綿骨針 白色粒 泥岩粒 粉質気味 やや粗土 c.黄橙色 e.やや甘い
30	127	第3面・構成土(1)	かわらけ	7.4	5.3	1.7	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 雲母 海綿骨針 赤色粒 泥岩粒 砂質気味 やや粗土 c.黄橙色 e.良好 f.内外面一部が黒色に変色
30	128	第3面・構成土(1)	かわらけ	(7.8)	6.0	1.6	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 雲母 やや粉質 良土 c.黄橙色 e.良好
30	129	第3面・構成土(1)	かわらけ	(7.6)	(6.0)	1.6	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 雲母 海綿骨針 泥岩粒 砂質 やや粗土 c.黄橙色 e.良好
30	130	第3面・構成土(1)	かわらけ	(7.0)	4.6	1.6	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 雲母 海綿骨針 赤色粒 砂質 良土 c.橙色 e.良好
30	131	第3面・構成土(1)	かわらけ	7.0	5.0	1.5	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕? 内底ナデ b.微砂 海綿骨針 橙色粒 粉質 良土 c.黄橙色
30	132	第3面・構成土(1)	かわらけ	7.8	5.6	1.8	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 雲母 海綿骨針 赤色粒 砂質 やや良土 c.黄橙色 e.良好 f.内外面約半分が黒色に変色
30	133	第3面・構成土(1)	かわらけ	7.0	5.4	1.8	a.ロクロ 外底回転糸切痕 囊状圧痕 内底強くナデ b.微砂 雲母 泥岩粒 砂質 やや粗土 c.橙色 e.良好
30	134	第3面・構成土(1)	かわらけ	8.0	5.0	1.8	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 雲母 泥岩粒 粉質気味 やや粗土 c.黄橙色 e.良好
30	135	第3面・構成土(1)	かわらけ	7.2	5.0	1.7	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 雲母 泥岩粒 砂質 良土 c.黄橙色 e.良好
30	136	第3面・構成土(1)	かわらけ	(7.2)	5.4	1.7	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 海綿骨針 橙色粒 泥岩粒 粉質気味 やや粗土 c.橙色 e.良好
30	137	第3面・構成土(1)	かわらけ	(7.8)	5.0	1.5	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底強くナデ b.微砂 雲母 海綿骨針 赤色粒 泥岩粒 砂質 やや粗土 c.橙色 e.良好
30	138	第3面・構成土(1)	かわらけ	7.6	5.0	1.8	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 雲母 赤色粒 泥岩粒 砂質 良土 c.黄橙色 e.良好
30	139	第3面・構成土(1)	かわらけ	(7.8)	5.0	1.9	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 雲母 海綿骨針 泥岩粒 粉質気味 良土 c.黄橙色 e.良好
30	140	第3面・構成土(1)	かわらけ	7.6	5.0	2	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 雲母 橙色粒 砂質 やや粗土 c.黄橙色 e.良好 f.口唇部一部に油煤痕
30	141	第3面・構成土(1)	かわらけ	(7.4)	5.2	1.9	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 雲母 海綿骨針 泥岩粒 砂質 やや粗土 c.黄橙色 e.良好
30	142	第3面・構成土(1)	かわらけ	(7.8)	(4.4)	2	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 雲母 泥岩粒 粉質気味 やや粗土 c.黄橙色 e.やや甘い
30	143	第3面・構成土(1)	かわらけ	(7.8)	5.2	1.9	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底強くナデ b.微砂 雲母 泥岩粒 粉質気味 良土 c.黄橙色 e.良好 f.口唇部油煤痕
31	144	第3面・構成土(2)	かわらけ	7.8	5.0	1.8	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底強くナデ b.微砂 雲母 海綿骨針 赤色粒 泥岩粒 粉質気味 良土 c.淡黄橙色 e.良好
31	145	第3面・構成土(2)	かわらけ	(7.6)	5.0	1.8	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 雲母 海綿骨針 赤色粒 粉質気味 良土 c.黄橙色 e.良好 f.外側面一部に油煤痕
31	146	第3面・構成土(2)	かわらけ	(7.4)	5.0	1.9	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 雲母 海綿骨針 泥岩粒 粉質気味 良土 c.黄橙色 e.良好
31	147	第3面・構成土(2)	かわらけ	7.2	5.0	1.7	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 雲母 小石粒 砂質 やや粗土 c.黄橙色 e.良好
31	148	第3面・構成土(2)	かわらけ	(7.0)	(4.8)	1.85	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 雲母 赤色粒 粉質気味 良土 c.黄橙色 e.良好
31	149	第3面・構成土(2)	かわらけ	7.4	5.0	1.8	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底強くナデ b.微砂 雲母 赤色粒 泥岩粒 粉質気味 やや粗土 c.黄橙色 e.良好
31	150	第3面・構成土(2)	かわらけ	7.4	4.8	2.2	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 雲母 赤色粒 白色粒 黒色粒 泥岩粒 やや粉質砂質気味 やや粗土 良土 c.淡黄橙色 e.良好
31	151	第3面・構成土(2)	かわらけ	(7.4)	4.6	2	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底強くナデ b.微砂 雲母 赤色粒 泥岩粒 粉質気味 良土 c.淡黄橙色 e.良好
31	152	第3面・構成土(2)	かわらけ	7.4	4.7	2.2	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 雲母 赤色粒 泥岩粒 粉質気味 やや粗土 c.淡黄橙色 e.良好
31	153	第3面・構成土(2)	かわらけ	(7.0)	4.8	2	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 雲母 赤色粒 粉質 良土 c.黄橙色 e.良好
31	154	第3面・構成土(2)	かわらけ	7.0	4.4	2.2	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底強くナデ b.微砂 雲母 赤色粒 泥岩粒 粉質気味 良土 c.淡黄橙色 e.良好
31	155	第3面・構成土(2)	かわらけ	6.3	3.7	1.9	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 海綿骨針 粉質気味 良土 c.淡黄色 e.やや甘い f.口唇部全体に油煤痕
31	156	第3面・構成土(2)	かわらけ	10.8	7.0	3.1	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 雲母 赤色粒 粉質気味 良土 c.黄橙色 e.良好 f.器壁内湾
31	157	第3面・構成土(2)	かわらけ	11.0	6.0	3.2	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 雲母 海綿骨針 白色粒 粉質気味 良土 c.淡黄橙色 e.良好
31	158	第3面・構成土(2)	かわらけ	11.0	6.4	3.1	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 雲母 粉質 良土 c.黄橙色 e.良好 f.器壁内湾
31	159	第3面・構成土(2)	かわらけ	(11.0)	(6.0)	2.8	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 雲母 海綿骨針 粉質気味 良土 c.橙色 e.良好
31	160	第3面・構成土(2)	かわらけ	(10.8)	3.0	2.9	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 雲母 赤色粒 泥岩粒 砂質 良土 c.黄橙色 e.良好
31	161	第3面・構成土(2)	かわらけ	10.2	6.0	3	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 雲母 赤色粒 やや砂質 良土 c.橙色 e.良好
31	162	第3面・構成土(2)	かわらけ	(11.0)	(6.8)	3.1	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 雲母 赤色粒 粉質 良土 c.橙色 e.良好 f.器壁内湾 口唇部油煤痕
31	163	第3面・構成土(2)	かわらけ	10.4	6.4	3	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデの後側面回転ナデ b.微砂 雲母 海綿骨針 赤色粒 泥岩粒 粉質 良土 c.橙色 e.良好
31	164	第3面・構成土(2)	かわらけ	10.4	6.8	3	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 雲母 赤色粒 粉質 良土 c.橙色 e.良好 f.器壁内湾 内外側面に厚く油煤痕
31	165	第3面・構成土(2)	かわらけ	(13.6)	9.0	3.2	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 雲母 海綿骨針 粉質気味 やや粗土 c.黄橙色 e.良好

単位 (cm)

出土遺物観察表 ()は復元値

図版 No.	番号	出土面・遺構名	種別	口径 (長さ)	底径 (幅)	器高 (高さ)	a.成形 b.胎土・素地 c.色調 d.釉薬 e.焼成 f.備考
31	166	第3面・構成土(2)	かわらけ	(13.3)	(8.0)	3.5	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂多い 海綿骨針 白色粒 泥岩粒 粗土 c.灰橙色 e.やや甘い f.内外面黒色に変色
31	167	第3面・構成土(2)	かわらけ	12.4	6.0	3	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 雲母 海綿骨針 白色粒 砂質土 c.黄橙色 e.良好 f.内外側面黒色に変色
31	168	第3面・構成土(2)	かわらけ	(12.8)	8.0	3.1	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 雲母 泥岩粒 粉質気味 良土 c.黄 橙色 e.良好 f.内外底面黒色に変色
31	169	第3面・構成土(2)	かわらけ	(13.0)	8.0	3	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 雲母 赤色粒 泥岩粒 砂質 やや粗土 c.橙色 e.良好
31	170	第3面・構成土(2)	かわらけ	(13.4)	7.4	3.3	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 雲母 赤色粒 粉質 良土 c.黄橙 色 e.良好 f.器壁内湾
31	171	第3面・構成土(2)	かわらけ	12.8	7.6	3	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 雲母 泥岩粒 粉質気味 良土 c.橙 色 e.良好
31	172	第3面・構成土(2)	かわらけ	12.4	7.4	3.3	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 雲母 海綿骨針 赤色粒 泥岩粒 砂質 やや粗土 c.黄橙色 e.良好 f.内面上部にやや強い回転ナデ
31	173	第3面・構成土(2)	かわらけ	13.8	8.8	3.7	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 雲母 赤色粒 粉質 良土 c.黄橙 色 e.良好 f.器壁薄く内湾する
31	174	第3面・構成土(2)	かわらけ	13.0	7.0	3.5	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 雲母 赤色粒 砂質 良土 c.黄橙 色やや白っぽい e.良好
31	175	第3面・構成土(2)	かわらけ	12.6	8.2	3.5	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 雲母 泥岩粒 やや粉質 良土 c.黄橙色 e.良好
31	176	第3面・構成土(2)	かわらけ	(13.4)	7.6	3.6	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 雲母 赤色粒 粉質 良土 c.黄橙 色 e.良好 f.器壁内湾
31	177	第3面・構成土(2)	かわらけ	(12.0)	(7.0)	3.5	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 雲母 赤色粒 粉質 やや粗土 c.黄 橙色 e.良好
31	178	第3面・構成土(2)	かわらけ	12.4	7.6	3.4	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 雲母 赤色粒 泥岩粒 粉質気味 や や粗土 c.黄橙色 e.良好
31	179	第3面・構成土(2)	かわらけ	(12.6)	7.0	3.6	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 雲母 海綿骨針 赤色粒 粉質気味 やや粗土 c.橙色 e.良好 f.口唇部黒色に変色
31	180	第3面・構成土(2)	かわらけ	(12.2)	7.6	3.5	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 海綿骨針 泥岩粒 粉質気味 良土 c.黄橙色 e.良好 f.口唇部黒色に変色
31	181	第3面・構成土(2)	かわらけ	(13.0)	(3.6)	3.5	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 雲母 海綿骨針 赤色粒 粉質気味 良 土 c.橙色 e.良好
31	182	第3面・構成土(2)	かわらけ	(11.8)	(7.0)	3.5	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 雲母 赤色粒 粉質気味 やや粗土 c.淡橙色 e.良好
31	183	第3面・構成土(2)	かわらけ	(12.0)	7.2	3.7	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 雲母 海綿骨針 赤色粒 白色粒 砂質 良土 c.黄橙色 e.良好
31	184	第3面・構成土(2)	青磁 鍋連弁文碗	口縁部片			a.ロクロ b.黒色粒 精良土 c.暗灰色 d.灰緑色 薄い e.良好 硬質 竜泉窯
31	185	第3面・構成土(2)	青磁 鍋連弁文碗	口縁部片			a.ロクロ b.黒色粒 精良土 c.暗灰色 d.灰緑釉 不透明 薄い e.良好 硬質 f.Ⅱa 竜 泉窯
31	186	第3面・構成土(2)	青磁 鉢	(12.6)	—	—	a.ロクロ b.精良土 c.灰色 d.灰緑釉 不透明 厚い e.良好 硬質 f.Ⅲ-2 内面-見込 みは不明、体部は無文 外面-体部に蓮弁文 口縁部上端は平面 貫入あり 竜泉窯 器高 低い
31	187	第3面・構成土(2)	白磁 口元小碗	口縁部片			a.ロクロ b.精良緻密 c.白色 d.やや青みのある透明釉 ツヤあり e.堅緻 f.内面印 花文文型押し IX 2bか
31	188	第3面・構成土(2)	白磁 皿	—	(2.2)	—	a.型づくり b.やや黄味がかかる白色 精良緻密 d.透明釉 ツヤあり e.堅緻 f.外側面の 釉はつけ掛 内面は全釉で均一 景德鎮か
31	189	第3面・構成土(2)	青白磁 梅瓶	(4.0)	—	—	a.ロクロ b.砂粒 黒色粒 c.灰白色 d.灰青色 e.硬質 f.景德鎮か 文様不明 貫入あり
31	190	第3面・構成土(2)	瀬戸 入子	—	3.4	—	a.ロクロ 外底回転糸切痕 内底ナデ b.灰白色 精良土 d.降灰釉 白釉 (内面立ち上がり 部分に) e.良好
31	191	第3面・構成土(2)	瀬戸 入子	—	3.0	—	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 b.灰白色 微砂 黒色粒 d.降灰釉 灰釉 e.良好 f.内底中心を指頭でやや強く押ししている
31	192	第3面・構成土(2)	瀬戸 入子	—	(3.0)	—	a.ロクロ 外底へら削り b.灰白色 精良土 d.降灰釉 黄緑色 e.やや甘い
31	193	第3面・構成土(2)	瀬戸 入子	(6.0)	(3.0)	2.1	a.ロクロ 外底回転糸切痕をへらにより整形 b.灰白色 精良土 d.降灰釉 灰釉 e.良好
31	194	第3面・構成土(2)	瀬戸 卸皿	底部片			a.ロクロ 外底回転糸切痕 b.微砂 白色粒 やや粘質 良土 c.灰色 d.灰釉 緑灰色 e.良 好 f.編年不明
31	195	第3面・構成土(2)	常滑 甕	胴部片			a.輪積み技法 b.灰色 砂粒 白色粒 長石 小石粒 c.赤褐色 e.良好 硬質 f.灰緑色の自然 降灰釉が厚い 縦長正方形の押印文
31	196	第3面・構成土(2)	常滑 片口鉢Ⅰ類	底部片			a.輪積み技法 b.赤灰色 黒色粒 白色粒 長石 d.赤灰色 e.良好 f.酸化のため赤味がか つている 外側面高台より上に丸味がある
31	197	第3面・構成土(2)	常滑 片口鉢Ⅰ類	—	(11.0)	—	a.輪積み技法 外底回転糸切 b.微砂 黒色粒 白色粒 長石 小石粒 c.灰色 d.降灰釉 白色 e.良好 硬質
32	198	第3面・構成土(3)	常滑 片口鉢Ⅱ類	口縁部片			a.輪積み技法 b.橙色 砂粒 白色粒 長石 c.暗赤褐色 e.良好 硬質 f.7期
32	199	第3面・構成土(3)	常滑 片口鉢Ⅱ類	口縁部片			a.輪積み技法 b.茶褐色 微砂 白色粒 c.暗赤褐色 e.良好 硬質 f.中野7～8型式
32	200	第3面・構成土(3)	常滑 片口鉢Ⅱ類	口縁部片			a.輪積み技法 b.灰褐色 砂粒 白色粒 長石 c.暗赤褐色 e.良好 硬質 f.8形式
32	201	第3面・構成土(3)	土器質 火鉢	口縁部片			a.輪積み技法 b.灰色～橙色 砂粒 白色粒 小石粒 c.橙灰色 e.良好 f.河野Ⅰb類(河 野分類に土器質とあったので土器質にした)内外熱の為に剥離 煤痕あり
32	202	第3面・構成土(3)	土器質 火鉢	口縁部片			a.輪積み技法 b.微砂 雲母 c.黄橙色 e.硬め 胎芯灰黒色 f.河野分類Ⅰa類
32	203	第3面・構成土(3)	かわらけ質 円盤	径(6.0)厚1.4中心孔径(1.0)			b.微砂 雲母 白色粒 砂質 良土 c.黄橙色 e.良好 鋳型か
32	204	第3面・構成土(3)	土器質 片口鉢	(20.6)	11.0	7	a.輪積み技法 外底輪状の物で調整 b.微砂 黒色粒 白色粒 赤色粒 c.橙色 e.良好 硬質 f.内面炭化している 火鉢河野分類Ⅰ類に似ている 接合できないが同一個体と思われる 片口鉢片があり土器質片口鉢とした 煤の滴が底部から口縁部に流れている様に見える ので蓋として使っていたかとの指摘があった
32	205	第3面・構成土(3)	滑石鍋 転用品	13.3	6.0	2.0	c.内外-白色 断面-茶褐色 f.外底面一部剥離 斜めに切断痕 転用途中か

単位 (cm)

出土遺物観察表 ()は復元値

図版 No.	番号	出土面・遺構名	種別	口径 (長さ)	底径 (幅)	器高 (厚さ)	a.成形 b.胎土・素地 c.色調 d.釉薬 e.焼成 f.備考
32	206	第3面・構成土(3)	滑石製 スタンプ	6.4	5.2	0.8	f.穿孔右径0.6×1.0cm 左径0.5×1.2cm 葉文か
32	207	第3面・構成土(3)	石製品 硯	(8.1)	(5.1)	1.6	b.緑泥岩 f.温石からの転用品か やや黒ずみ磨滅している 埼玉県西都産
32	208	第3面・構成土(3)	石製品 砥石	6.3	3.1	3.6	b.流紋岩質細粒凝灰岩 c.白灰色 f.伊予産 手に握って使ったのか多面的で安定しない 砥面2面 刃先0.5cm位矢尻状の物を砥いでいる 中砥
32	209	第3面・構成土(3)	石製品 砥石	2.5	3.6	0.6	b.流紋岩質細粒凝灰岩 頁岩 やや硬質 c.黄色 f.鳴滝産 切り出し痕 砥面2面 仕上げ
32	210	第3面・構成土(3)	石製品 砥石	(3.1)	(3.1)	(1.0)	b.頁岩 やや軟質感あり c.灰白色 f.鳴滝産 産地加工痕 砥面2面 仕上げ
32	211	第3面・構成土(3)	石製品 砥石	(3.2)	3.1	0.7	a.砥面は表裏2面 側面は削り出し痕(産地加工痕) b.凝灰岩(頁岩) c.黄白色 f.鳴滝 産山中 仕上げ
32	212	第3面・構成土(3)	チャート	3.5	3.8	2.3	b.油石(石英) f.多角形 緑灰色一部白色で濁る
32	213	第3面・構成土(3)	チャート	2.7	2.2	1.5	b.油石 f.切り出し痕あり
32	214	第3面・構成土(3)	骨製品 用途不明	3.1	1.1	0.7	f.切断痕あり
32	215	第3面・構成土(3)	骨製品 用途不明	4.2	(1.3)	0.2	f.筒状 鞍(馬具)とも言われているが、化粧刷毛の軸にも似る
32	216	第3面・構成土(3)	銅銭	外径(23.0)mm 内径(19.0)mm 孔幅6.0mm 厚さ1.0mm			f.咸平元寶 北宋 初鑄998年 真書
32	217	第3面・構成土(3)	銅銭	外径(24.0)mm 内径(20.0)mm 孔幅7.0mm 厚さ1.0mm			f.景祐元寶 北宋 初鑄1034年 真書
32	218	第3面・構成土(3)	銅銭	外径26.0mm 内径20.0mm 孔幅不明 厚さ1.0mm			f.不明
32	219	第3面・構成土(3)	銅銭	外径(24.0)mm 内径(20.0)mm 孔幅不明厚さ1.0mm			f.皇宋通寶 北宋 初鑄1038年
32	220	第3面・構成土(3)	木製品 串状	(14.2)	1.0	0.7	
35	1	第4面・土坑34	木製品 杭	23.4	2.9	2.0	f.端部削り出し
35	2	第4面・土坑36	白かわらけ	口縁部片			a.手づくね b.微砂 粉質気味 精良 c.白やや肌色 e.良好 f.内湾気味 底部うすい
35	3	第4面・土坑36	瀬戸 壺	胴部片+耳			a.輪積み技法 b.灰色 微砂 精良 d.緑灰色 うすい 刷毛塗り e.良好 f.粘土の粘りじ わがのこる
35	4	第4面・土坑38	木製品 串状	(8.1)	1.3	0.6	f.先端が串状にとがる 貫通孔あり
35	5	第4面・土坑39	木製品 曲物	(18.0)	(24.0)	(1.0)	f.穴?1箇所あり 底板
35	6	第4面・ビット201	かわらけ	12.6	7.6	3.5	a.ロクロ 外底回転系切痕 板状圧痕 内底強くナデ b.微砂 海綿骨針 赤色粒 泥岩粒 砂質 やや粗土 c.黄橙色 e.良好
35	7	第4面・ビット206	かわらけ	11.6	7.2	3	a.ロクロ 外底回転系切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 雲母 海綿骨針 赤色粒 泥岩粒 粉質 気味 良土 c.黄橙色 e.良好
35	8	第4面・ビット208	かわらけ	7.2	5.6	1.5	a.ロクロ 外底回転系切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 雲母 橙色粒 泥岩粒 粉質気味 良土 c.黄橙色 e.良好
35	9	第4面・ビット209	かわらけ	(7.4)	5.4	1.7	a.ロクロ 外底回転系切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 雲母 海綿骨針 赤色粒 粉質気味 やや粗土 c.黄橙色 e.良好
35	10	第4面・ビット209	かわらけ	7.4	5.2	1.5	a.ロクロ 外底回転系切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 雲母 海綿骨針 泥岩粒 砂質 やや粗 土 c.橙色 e.良好 f.内外面剥離
35	11	第4面・ビット209	かわらけ	(13.8)	7.6	3.6	a.ロクロ 外底回転系切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 雲母 赤色粒 泥岩粒 粉質 良土 c.黄橙色 e.良好
35	12	第4面・ビット213	石製品 硯	(5.2)	(5.0)	(0.5)	b.頁岩 c.黒灰色 f.文殊と菊?の陽刻 硯背部は欠損
35	13	第4面・ビット214	かわらけ	(7.4)	4.8	1.4	a.ロクロ 外底回転系切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 雲母 海綿骨針 赤色粒 泥岩粒 砂 質 やや粗土 c.黄橙色 e.良好 f.口唇部油煤痕
35	14	第4面・ビット214	かわらけ	12.6	7.8	3.5	a.ロクロ 外底回転系切痕 板状圧痕 内底強くナデ b.微砂 雲母 海綿骨針 赤色粒 泥岩粒 粉質気味 良土 c.黄橙色 e.良好
35	15	第4面・ビット214	青磁 無文鉢	底部片			a.ロクロ b.微砂 黒色少ない 精良緻密 c.灰白色 d.緑灰色 不透明 厚い ツヤあり e.良好 f.高台置付~内底部軸掻き取り 露胎
35	16	第4面・ビット216	かわらけ	(7.6)	(5.4)	1.6	a.ロクロ 外底回転系切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 雲母 海綿骨針 赤色粒 泥岩粒 粉質 気味 良土 c.橙色 e.良好
35	17	第4面・ビット216	かわらけ	7.2	5.4	1.9	a.ロクロ 外底回転系切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 雲母 泥岩粒 粉質気味 やや粗土 c.黄橙色 e.良好
35	18	第4面・ビット216	かわらけ	(11.0)	7.0	3.3	a.ロクロ 外底回転系切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 雲母 赤色粒 泥岩粒 粉質 良土 c.黄橙色 e.良好
35	19	第4面・ビット216	かわらけ	12.0	8.4	3.7	a.ロクロ 外底回転系切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 雲母 赤色粒 粉質 良土 c.橙色 e.良好
35	20	第4面・ビット216	チャート	2.5	3.7	2.0	b.油石
35	21	第4面・ビット217	かわらけ	8.0	5.8	1.8	a.ロクロ 外底回転系切痕 板状圧痕 内底強くナデ b.微砂 雲母 赤色粒 泥岩粒 砂質 やや 粗土 c.黄橙色 e.良好
35	22	第4面・ビット218	かわらけ	7.2	5.4	1.9	a.ロクロ 外底回転系切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 雲母 赤色粒 泥岩粒 粉質 やや粗土 c.黄橙色 e.良好
35	23	第4面・ビット219	褐釉 壺	胴部片			a.輪積み技法 b.灰色 白色粒 黒色粒 c.灰黒色 e.硬質
35	24	第4面・ビット225	かわらけ	7.6	5.6	1.9	a.ロクロ 外底回転系切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 雲母 海綿骨針 赤色粒 泥岩粒 砂 質 良土 c.橙色 e.良好
35	25	第4面・ビット225	瀬戸 壺	胴部片			a.輪積み技法 b.微砂 白色粒 良土 c.灰白色 d.灰緑色 e.良好 f.釉薬剥離・三筋壺
35	26	第4面・ビット226	かわらけ	7.6	5.0	1.9	a.ロクロ 外底回転系切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 雲母 海綿骨針 泥岩粒 砂質 良土 c.黄橙色 e.良好
35	27	第4面・ビット227	白磁 口兀皿	—	(7.0)	—	a.ロクロ b.灰白色 黒色粒少量 精良緻密 やや粘りあり d.不明 e.堅緻 f.残存部に釉 はない IX-2類か

単位 (cm)

出土遺物観察表 ()は復元値

図版 No.	番号	出土面・遺構名	種別	口径 (長さ)	底径 (幅)	器高 (厚さ)	a.成形 b.胎土・素地 c.色調 d.釉薬 e.焼成 f.備考
35	28	第4面・ビット227	青白磁 水注	胴部片+耳			a.輪積み技法 b.白色 黒色粒少量 精良緻密 d.緑灰色 不透明 ツヤあり e.堅緻
35	29	第4面・ビット228	かわらけ	13.6	8.0	3.2	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 雲母 赤色粒 粉質気味 良土 c.黄 橙色 e.良好
35	30	第4面・ビット228	かわらけ	底部片			a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 雲母 赤色粒 泥岩粒 粉質気味 良土 c.橙色 e.良好 f.内外面墨書あり
35	31	第4面・ビット229	常滑 片口鉢I類	口縁部片			a.輪積み技法 b.砂粒 黒色粒 長石 精良 c.灰色 e.硬質 f.5期末～6a期
35	32	第4面・ビット231	かわらけ	口縁部片			a.ロクロ b.微砂 赤色粒 白色粒 精良 c.肌色 なめらか e.良好 f.硬質な胎土 在地 のかわらけではない
35	33	第4面・ビット231	瓦器碗	口縁部片			a.ロクロ b.微砂 白色粒 やや粗土 c.白色 e.良好 f.内面に重ね焼きの跡
35	34	第4面・ビット231	石製品 砥石	(8.0)	2.0～3.3	1.5～1.8	b.頁岩 砂粒混じる c.白色 f.伊予産 中砥
35	35	第4面・ビット232	かわらけ	12.2	7.0	3.4	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底強くナデ b.微砂 雲母 海綿骨針 赤色粒 泥岩粒 砂質 やや粗土 c.黄橙色 e.良好
36	1	第4面・面上(1)	かわらけ	4.4	4.0	0.8	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 海綿骨針 赤色粒 砂質 良土 c.橙 色 e.良好 f.口唇部内折
36	2	第4面・面上(1)	かわらけ	(7.8)	5.6	1.4	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 海綿骨針 泥岩粒 粉質気味 良土 c.黄橙色 e.良好
36	3	第4面・面上(1)	かわらけ	(8.0)	(6.0)	1.4	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 雲母 赤色粒 泥岩粒 粉質気味 良土 c.橙色 e.良好
36	4	第4面・面上(1)	かわらけ	(7.8)	(5.4)	1.5	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 海綿骨針 泥岩粒 砂質 やや粗土 c.黄橙色 e.良好
36	5	第4面・面上(1)	かわらけ	7.2	5.0	1.5	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 海綿骨針 赤色粒 砂質 良土 c.橙 色 e.良好
36	6	第4面・面上(1)	かわらけ	7.4	5.4	1.6	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 海綿骨針 赤色粒 砂質 やや粗土 c.橙色 e.良好
36	7	第4面・面上(1)	かわらけ	(7.8)	6.4	1.7	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 雲母 海綿骨針 泥岩粒 粉質気味 や やや粗土 c.黄橙色 e.良好
36	8	第4面・面上(1)	かわらけ	7.4	5.2	1.8	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 泥岩粒 粉質 やや粗土 c.黄橙色 e.良好
36	9	第4面・面上(1)	かわらけ	7.6	5.2	1.7	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底強くナデ b.微砂 雲母 海綿骨針 赤色粒 泥岩粒 砂質 やや粗土 c.黄橙色 e.良好
36	10	第4面・面上(1)	かわらけ	7.8	5.6	1.7	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナテの後側壁を回転ナデ b.微砂 雲母 泥岩粒 砂質 やや粗土 c.黄橙色 e.良好
36	11	第4面・面上(1)	かわらけ	(7.4)	(5.8)	1.6	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 雲母 海綿骨針 赤色粒 泥岩粒 砂質 やや粗土 c.黄橙色 e.良好
36	12	第4面・面上(1)	かわらけ	7.6	5.4	1.7	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 雲母 海綿骨針 泥岩粒 粉質気味 良 土 c.黄橙色 e.良好
36	13	第4面・面上(1)	かわらけ	8.4	4.8	1.7	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 雲母 赤色粒 泥岩粒 砂質 やや粗土 c.黄橙色 e.良好 f.内外側面黒色に変色
36	14	第4面・面上(1)	かわらけ	7.6	5.0	1.7	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 雲母 泥岩粒 砂質 やや粗土 c.黄 橙色 e.良好
36	15	第4面・面上(1)	かわらけ	(7.8)	5.6	1.7	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 雲母 赤色粒 泥岩粒 粉質気味 や やや粗土 c.黄橙色 e.良好 f.口唇部一部油煤痕
36	16	第4面・面上(1)	かわらけ	7.8	5.6	1.8	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 雲母 海綿骨針 小石粒 砂質 やや粗 土 c.黄橙色 e.良好
36	17	第4面・面上(1)	かわらけ	8.0	5.4	1.8	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 雲母 海綿骨針 泥岩粒 粉質気味 良土 c.黄橙色 e.良好
36	18	第4面・面上(1)	かわらけ	7.6	5.2	1.8	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底強くナデ b.微砂 雲母 泥岩粒 砂質 やや粗土 c.黄橙色 e.良好
36	19	第4面・面上(1)	かわらけ	8.0	5.0	1.9	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 雲母 赤色粒 泥岩粒 砂質 やや粗土 c.黄橙色 e.良好
36	20	第4面・面上(1)	かわらけ	7.6	5.0	1.7	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 雲母 泥岩粒 砂質 やや粗土 c.黄 橙色 e.良好 f.口唇部薄く油煤痕
36	21	第4面・面上(1)	かわらけ	7.4	4.8	1.7	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底強くナデ b.微砂 海綿骨針 赤色粒 砂質 良土 c.黄橙色 e.良好 f.口唇部1ヶ所厚く油煤痕
36	22	第4面・面上(1)	かわらけ	7.4	5.0	1.6	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底強くナデ b.微砂 雲母 海綿骨針 赤色粒 泥岩粒 砂質 やや粗土 c.橙色 e.良好
36	23	第4面・面上(1)	かわらけ	(7.4)	(5.6)	1.8	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 雲母 泥岩粒 砂質 やや粗土 c.黄 橙色 e.良好
36	24	第4面・面上(1)	かわらけ	7.6	5.0	1.7	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 雲母 赤色粒 粉質気味 良土 c.橙 色 e.良好
36	25	第4面・面上(1)	かわらけ	7.8	(4.6)	1.8	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 雲母 赤色粒 泥岩粒 砂質 良土 c.黄橙色 e.良好
36	26	第4面・面上(1)	かわらけ	(7.8)	(5.2)	1.9	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 雲母 赤色粒 泥岩粒 砂質 やや粗土 c.黄橙色 e.良好
36	27	第4面・面上(1)	かわらけ	7.8	5.0	1.9	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底強くナデ b.微砂 雲母 赤色粒 粉質 良土 c.黄 橙色 e.良好 f.口唇部一部に油煤痕
36	28	第4面・面上(1)	かわらけ	(7.6)	(5.8)	1.8	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 海綿骨針 赤色粒 粉質気味 良土 c.赤橙色 e.良好
36	29	第4面・面上(1)	かわらけ	(7.4)	(5.0)	1.6	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 泥岩粒 砂質 やや粗土 c.黄橙色 e.良好 f.口唇部油煤痕
36	30	第4面・面上(1)	かわらけ	(7.0)	(4.6)	1.6	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 雲母 泥岩粒 砂質 やや粗土 c.黄 橙色 e.良好
36	31	第4面・面上(1)	かわらけ	7.2	4.6	2.1	a.ロクロ 外底回転糸切り痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 雲母 赤色粒 粉質 良土 c.黄 橙色 e.良好
36	32	第4面・面上(1)	かわらけ	7.0	4.8	1.9	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 雲母 赤色粒 粉質 良土 c.黄橙色 e.良好
36	33	第4面・面上(1)	かわらけ	6.8	4.2	2.1	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 雲母 赤色粒 砂質気味 良土 c.黄 橙色 e.良好 f.器壁薄く内湾する
36	34	第4面・面上(1)	かわらけ	(10.6)	6.0	2.8	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 雲母 赤色粒 粉質 良土 c.黄橙色 e.良好

単位 (cm)

出土遺物観察表 ()は復元値

図版 No.	番号	出土面・遺構名	種別	口径 (長さ)	底径 (幅)	器高 (厚さ)	a.成形 b.胎土・素地 c.色調 d.釉薬 e.焼成 f.備考
36	35	第4面・面上(1)	かわらけ	11.0	6.4	2.74	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 雲母 海綿骨針 赤色粒 粉質 良土 c.黄橙色 e.良好
36	36	第4面・面上(1)	かわらけ	10.8	6.2	3.2	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 赤色粒 泥岩粒 粉質 良土 c.黄橙色 e.良好
36	37	第4面・面上(1)	かわらけ	13.4	8.8	3.5	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底強くナデ b.微砂 雲母 海綿骨針 赤色粒 泥岩粒 砂質 やや粗土 c.橙色 e.良好
36	38	第4面・面上(1)	かわらけ	(11.8)	(8.0)	3.7	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 雲母 赤色粒 小石粒 砂質 やや粗土 c.黄橙色 e.良好
36	39	第4面・面上(1)	かわらけ	12.2	7.6	3.5	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底強くナデ b.微砂 雲母 赤色粒 泥岩粒 小石粒 砂質 やや粗土 c.黄橙色
36	40	第4面・面上(1)	かわらけ	12.2	8.2	3.2	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 雲母 泥岩粒 粉質気味 やや粗土 c.黄灰色 e.やや甘い
36	41	第4面・面上(1)	かわらけ	12.0	7.4	3.3	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底回転ナデ b.微砂 雲母 海綿骨針 泥岩粒 やや粉質 砂質気味 やや粗土 良土 c.淡黄橙色 e.良好
36	42	第4面・面上(1)	かわらけ	(12.4)	7.6	3.3	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 雲母 泥岩粒 粉質気味 やや粗土 c.黄橙色 e.良好
36	43	第4面・面上(1)	かわらけ	12.2	7.8	3.3	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 雲母 海綿骨針 赤色粒 砂質 やや粗土 c.橙色 e.良好
36	44	第4面・面上(1)	かわらけ	(13.0)	(7.2)	3.3	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 雲母 赤色粒 砂質気味 やや粗土 c.橙色 e.良好
36	45	第4面・面上(1)	かわらけ	12.4	7.2	3.7	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 雲母 赤色粒 粉質 良土 c.黄橙色 e.良好
36	46	第4面・面上(1)	かわらけ	12.2	7.0	3.7	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底強くナデ b.微砂 雲母 赤色粒 泥岩粒 砂質 やや粗土 c.橙色 e.良好
36	47	第4面・面上(1)	かわらけ	(11.8)	7.6	3.2	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 雲母 赤色粒 泥岩粒 粉質 やや粗土 c.橙色 e.良好
36	48	第4面・面上(1)	かわらけ	(13.0)	(6.4)	3	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 雲母 赤色粒 白砂質 良土 c.黄橙色 e.良好
36	49	第4面・面上(1)	かわらけ	(12.6)	(8.0)	3.3	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 雲母 海綿骨針 砂質 良土 c.黄橙色 e.良好 f.口唇部黒色に変色
36	50	第4面・面上(1)	かわらけ	13.0	8.5	3.4	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底強くナデ b.微砂 雲母 海綿骨針 赤色粒 泥岩粒 砂質 やや粗土 c.黄橙色 e.良好
36	51	第4面・面上(1)	かわらけ	13.2	7.0	4	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 雲母 赤色粒 粉質気味 良土 c.黄橙色 e.良好
36	52	第4面・面上(1)	かわらけ	(13.0)	7.6	3.7	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 雲母 赤色粒 砂質気味 良土 c.橙色 e.良好
36	53	第4面・面上(1)	かわらけ	(13.4)	8.0	3.6	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 雲母 赤色粒 粉質 良土 c.黄橙色 e.良好
36	54	第4面・面上(1)	かわらけ	13.6	7.3	3.9	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底強くナデ b.微砂 雲母 海綿骨針 赤色粒 粉質気味 良土 c.黄橙色 e.良好
36	55	第4面・面上(1)	かわらけ	(12.4)	(7.4)	3.9	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 雲母 赤色粒 粉質 良土 c.黄橙色 e.良好
36	56	第4面・面上(1)	かわらけ	11.8	6.2	3.4	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 雲母 海綿骨針 泥岩粒 粉質気味 やや粗土 c.黄橙色 e.良好
36	57	第4面・面上(1)	かわらけ	12.6	7.0	3.4	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 雲母 赤色粒 粉質 良土 c.黄橙色 e.良好
36	58	第4面・面上(1)	青磁 鎚蓮弁文碗	—	(5.0)	—	a.ロクロ 外底回転糸切 高台部・外底部露胎 b.微砂 黒色粒 精良緻密 c.灰色〜黄橙色 d.緑灰色 不透明 e.やや甘い f.釉ダレ強く蓮弁文がはっきりしない II b型式か 器形はII-cに似る
36	59	第4面・面上(1)	白磁 口元皿				口縁部片 a.ロクロ b.灰白色 少量黒色粒 精良緻密 d.緑灰色 不透明釉 e.堅緻 f.皿Ⅲc
36	60	第4面・面上(1)	褐釉 壺				胴部片 a.輪積み技法 b.灰色 白色粒 黒色粒多め 砂粒 c.灰黒色 e.硬質
36	61	第4面・面上(1)	褐釉 壺				胴部片 a.輪積み技法 b.灰色 白色粒 黒色粒 c.灰黒色 e.硬質
36	62	第4面・面上(1)	褐釉 壺				胴部片 a.輪積み技法 b.灰色 白色粒 黒色粒 砂粒 c.灰黒色 e.硬質 f.内面輪積み痕・指頭痕
36	63	第4面・面上(1)	褐釉 壺				胴部片 a.輪積み技法 b.灰色 白色粒 黒色粒 砂粒 c.灰黒色 e.硬質
37	64	第4面・面上(2)	褐釉 壺				胴部片 a.輪積み技法 b.灰色 白色粒 黒色粒 砂粒 c.灰黒色 e.硬質
37	65	第4面・面上(2)	褐釉 壺				胴部片 a.輪積み技法 b.灰色 白色粒 黒色粒多め 砂粒 c.灰黒色 e.硬質
37	66	第4面・面上(2)	瀬戸 入子	3.2	2.0	0.74	a.ロクロ 内底ナデ b.微砂 白色粒 精良土 c.灰色 d.降灰釉 緑灰色 e.良好 f.外底に粘土片付着
37	67	第4面・面上(2)	常滑 甕				口縁部片 a.輪積み技法 b.灰色 砂粒 長石 黒色粒多い d.降灰釉 緑灰色 e.良好 硬質 f.中野編年6a
37	68	第4面・面上(2)	土器質 火鉢				口縁部片 a.輪積み技法 b.微砂 白色粒 精良 c.黄橙色 e.堅緻 f.I c類 外面口縁部下に二条の沈線
37	69	第4面・面上(2)	吉備系 土器碗				口縁部片 a.手づくね b.微砂 小石粒 砂質 良土 c.やや橙色の入る乳白色 e.良好
37	70	第4面・面上(2)	吉備系 土器碗				底部片 a.手づくね b.微砂 砂質 良土 c.うすい黄橙色 e.良好
37	71	第4面・面上(2)	滑石 鍋				口縁部片 a.ノミ状工具の削り加工 b.緑がかった乳白色 c.煤痕あり 黒灰色
37	72	第4面・面上(2)	石製品 硯	(13.5)	(5.0)	(1.6~2.9)	a.削り出し b.頁岩 やや粘性 c.黒灰色 f.鳴滝産系 海部欠損 海〜陸に波紋がでる 硯頭はやや狭まり上に上がる
37	73	第4面・面上(2)	鉄製品 釘	(3.5)	0.5	0.3	f.鍛造 断面四角形
37	74	第4面・面上(2)	鉄製品 製品不明	8.7	1.5	0.4	f.全体的に腐食・刀子か
37	75	第4面・面上(2)	銅銭	外径25.0mm 内径21.0mm 孔幅6.0mm 厚さ1.0mm			f.景祐元寶 北宋 初鑄1034年 篆書
37	76	第4面・面上(2)	木製品 杭	35.3	3.4	1.5	f.片端削り痕あり

単位 (cm)

出土遺物観察表 ()は復元値

図版 No.	番号	出土面・遺構名	種別	口径 (長さ)	底径 (幅)	器高 (高さ)	a.成形 b.胎土・素地 c.色調 d.釉薬 e.焼成 f.備考
37	77	第4面・面上(2)	木製品 建材	35.2	6.4～8.1	5.0～6.5	f.断面方形
37	78	第4面・面上(2)	木製品 用途不明	13.9	9.4	6.5	f.削り痕あり 端材 片端焼痕
37	79	第4面・面上(2)	木製品 用途不明	3.7	4.8	4.2	f.削り痕あり 端材
37	80	第4面・面上(2)	木製品 用途不明	(12.1)	0.8～1.1	0.4～0.7	f.縁を削った加工痕あり 両端が欠損 先端が曲がっている 端材
38	1	第4面・構成土(1)	かわらけ	4.4	3.0	0.7	a.ロクロ 外底回転系切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 雲母 粉質 良土 c.黄橙色 e.良好 f.口唇部内折れ
38	2	第4面・構成土(1)	かわらけ	5.0	4.0	0.9	a.ロクロ 外底回転系切痕 板状圧痕 内底中心を強くナデ b.微砂 粉質 精良 c.黄橙色 e.良好 f.口唇部内折れ
38	3	第4面・構成土(1)	かわらけ	(5.2)	(4.0)	0.9	a.ロクロ 外底回転系切痕 b.微砂 雲母 海綿骨針 粉質気味 良土 c.黄橙色 e.良好 f.口唇部内折れ・口唇部油煤痕
38	4	第4面・構成土(1)	かわらけ	7.0	4.6	1.3	a.ロクロ 外底回転系切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 海綿骨針 赤色粒 粉質気味 良土 c.橙色 e.良好
38	5	第4面・構成土(1)	かわらけ	(7.2)	(5.2)	1.5	a.ロクロ 外底回転系切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 海綿骨針 赤色粒 泥岩粒 粉質気味 良土 c.橙色 e.良好
38	6	第4面・構成土(1)	かわらけ	7.4	5.0	1.5	a.ロクロ 外底回転系切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 海綿骨針 赤色粒 砂質 やや粗土 c.橙色 e.良好
38	7	第4面・構成土(1)	かわらけ	(7.2)	(5.2)	1.6	a.ロクロ 外底回転系切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 海綿骨針 赤色粒 白色粒 泥岩粒 や やや粗土 c.橙色 e.良好 f.口縁部黒色に変色
38	8	第4面・構成土(1)	かわらけ	7.6	6.2	1.5	a.ロクロ 外底回転系切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 雲母 泥岩粒 粉質気味 良土 c.黄橙色 e.良好
38	9	第4面・構成土(1)	かわらけ	(7.8)	6.0	1.6	a.ロクロ 外底回転系切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 海綿骨針 泥岩粒 c.黄橙色 e.良好
38	10	第4面・構成土(1)	かわらけ	8.0	5.6	1.7	a.ロクロ 外底回転系切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 海綿骨針 橙色粒 砂質 やや粗土 c.黄橙色 e.良好
38	11	第4面・構成土(1)	かわらけ	(8.2)	(6.2)	1.8	a.ロクロ 外底回転系切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 雲母 泥岩粒 砂質 良土 c.橙色 e.良好
38	12	第4面・構成土(1)	かわらけ	(7.8)	(5.8)	1.6	a.ロクロ 外底回転系切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 雲母 橙色粒 砂質 良土 c.橙色 e.良好 f.内外面黒色に変色
38	13	第4面・構成土(1)	かわらけ	7.6	5.8	1.6	a.ロクロ 外底回転系切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 海綿骨針 泥岩粒 粉質気味 やや粗 土 c.黄橙色 e.良好 f.口唇部2か所に油煤痕
38	14	第4面・構成土(1)	かわらけ	8.2	5.0	2	a.ロクロ 外底回転系切痕 板状圧痕 内底強くナデ b.微砂 海綿骨針 泥岩粒 やや粉質気 味 やや粗土 c.黄橙色 e.良好
38	15	第4面・構成土(1)	かわらけ	(7.8)	(6.0)	1.6	a.ロクロ 外底回転系切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 海綿骨針 泥岩粒 粉質気味 良土 c.黄橙色 e.良好 f.口唇部油煤痕
38	16	第4面・構成土(1)	かわらけ	7.4	4.8	1.9	a.ロクロ 外底回転系切痕 板状圧痕 内底強くナデ b.微砂 雲母 泥岩粒 粉質気味 良土 c.黄橙色 e.良好
38	17	第4面・構成土(1)	かわらけ	(8.0)	(5.6)	1.7	a.ロクロ 外底回転系切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 雲母 海綿骨針 泥岩粒 砂質 良土 c.黄橙色 e.良好
38	18	第4面・構成土(1)	かわらけ	7.2	4.8	1.6	a.ロクロ 外底回転系切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 海綿骨針 赤色粒 粉質気味 良土 c.橙色 e.良好
38	19	第4面・構成土(1)	かわらけ	(7.9)	(5.2)	1.8	a.ロクロ 外底回転系切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 海綿骨針 赤色粒 白色粒 泥岩粒 や やや粗土 c.淡黄色 e.やや甘い
38	20	第4面・構成土(1)	かわらけ	7.6	5.8	1.6	a.ロクロ 外底回転系切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 赤色粒 泥岩粒 粉質 良土 c.黄橙 色 e.良好
38	21	第4面・構成土(1)	かわらけ	7.8	6.0	1.5	a.ロクロ 外底回転系切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 泥岩粒 砂質 やや粗土 c.黄橙 色 e.やや甘い
38	22	第4面・構成土(1)	かわらけ	7.4	5.2	1.4	a.ロクロ 外底回転系切痕 板状圧痕 内底強くナデ b.微砂 海綿骨針 赤色粒 砂質 やや粗 土 c.橙色 e.良好
38	23	第4面・構成土(1)	かわらけ	(7.4)	(5.4)	1.5	a.ロクロ 外底回転系切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 海綿骨針 赤色粒 泥岩粒 砂質 やや 粗土 c.黄橙色 e.良好
38	24	第4面・構成土(1)	かわらけ	7.8	5.6	1.5	a.ロクロ 外底回転系切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 雲母 橙色粒 砂質 良土 c.黄橙 色 e.良好 f.口唇部2か所油煤痕
38	25	第4面・構成土(1)	かわらけ	7.8	5.6	1.6	a.ロクロ 外底回転系切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 海綿骨針 橙色粒 粉質気味 やや 粗土 c.橙色 e.良好
38	26	第4面・構成土(1)	かわらけ	(7.6)	(5.2)	1.5	a.ロクロ 外底回転系切痕 板状圧痕 内底強くナデ b.微砂 雲母 泥岩粒 粉質気味 良土 c.黄橙色 e.良好
38	27	第4面・構成土(1)	かわらけ	7.4	5.0	1.6	a.ロクロ 外底回転系切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 橙色粒 泥岩粒 砂質 やや粗土 c.橙色 e.良好
38	28	第4面・構成土(1)	かわらけ	7.8	5.6	1.6	a.ロクロ 外底回転系切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 海綿骨針 泥岩粒 粉質気味 やや粗 土 c.黄橙色 e.良好
38	29	第4面・構成土(1)	かわらけ	7.6	5.4	1.6	a.ロクロ 外底回転系切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 雲母 泥岩粒 粉質気味 良土 c.黄 橙色 e.良好 f.口唇部・内面に油煤痕
38	30	第4面・構成土(1)	かわらけ	7.6	5.0	1.8	a.ロクロ 外底回転系切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 海綿骨針 赤色粒 砂質 やや粗土 c.橙色 e.良好
38	31	第4面・構成土(1)	かわらけ	6.8	4.6	1.5	a.ロクロ 外底回転系切痕 板状圧痕 内底回転ナデ b.微砂 雲母 海綿骨針 泥岩粒 砂質 良 土 c.黄橙色 e.良好 f.外底中心に円錐状の孔あり
38	32	第4面・構成土(1)	かわらけ	7.8	5.6	1.7	a.ロクロ 外底回転系切痕 板状圧痕 内底強くナデ b.微砂 泥岩粒 粉質 やや粗土 c.黄橙 色 e.良好
38	33	第4面・構成土(1)	かわらけ	7.0	5.0	1.7	a.ロクロ 外底回転系切痕 板状圧痕 内底強くナデ b.微砂 橙色粒 砂質 良土 c.橙色 e.良好
38	34	第4面・構成土(1)	かわらけ	7.4	5.8	1.8	a.ロクロ 外底回転系切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 海綿骨針 白色粒 砂質 良土 c.黄 橙色 e.良好 f.外面黒色に変色
38	35	第4面・構成土(1)	かわらけ	7.6	4.4	1.9	a.ロクロ 外底回転系切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 海綿骨針 赤色粒 砂質 良土 c.黄 橙色 e.良好
38	36	第4面・構成土(1)	かわらけ	(8.5)	(4.6)	2.1	a.ロクロ 外底回転系切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 海綿骨針 赤色粒 泥岩粒 やや粗土 c.黄橙色 e.良好
38	37	第4面・構成土(1)	かわらけ	(6.4)	(5.8)	2.2	a.ロクロ 外底回転系切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 海綿骨針 白色粒 砂質 良土 c.黄 橙色 e.良好 f.内外面ともに黒色に変色
38	38	第4面・構成土(1)	かわらけ	11.0	6.3	3.3	a.ロクロ 外底回転系切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 混じりもの少なく粉質精良 c.黄 橙色 e.良好 f.白色を呈するが白かわらけではない 薄手の器壁を持つ

単位 (cm)

出土遺物観察表 ()は復元値

図版 No.	番号	出土面・遺構名	種別	口径 (長さ)	底径 (幅)	器高 (高さ)	a.成形 b.胎土・素地 c.色調 d.釉薬 e.焼成 f.備考
38	39	第4面・構成土(1)	かわらけ	(12.2)	(7.0)	3.3	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 赤色粒 泥岩粒 砂質 やや粗土 c.橙色 e.良好
38	40	第4面・構成土(1)	かわらけ	(12.0)	(7.5)	3.2	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 海綿骨針 赤色粒 白色粒 泥岩粒 やや粗土 c.黄橙色 e.良好
38	41	第4面・構成土(1)	かわらけ	(12.2)	8.0	3.3	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 海綿骨針 赤色粒 泥岩粒 砂質 やや 粗土 c.黄橙色 e.良好 f.外側面・内側面一部と口唇部に油煤痕
38	42	第4面・構成土(1)	かわらけ	(12.4)	(9.0)	3.1	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂多い 海綿骨針 赤色粒 白色粒 泥岩 粒 粗土 c.淡橙色 e.良好
38	43	第4面・構成土(1)	かわらけ	(12.0)	(7.0)	3	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底強くナデ b.微砂 赤色粒 泥岩粒 砂質 やや粗土 c.橙色 e.良好
38	44	第4面・構成土(1)	かわらけ	12.8	8.2	3	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底強くナデ b.微砂 雲母 海綿骨針 赤色粒 泥岩粒 砂質 やや粗土 c.黄橙色 e.良好
38	45	第4面・構成土(1)	かわらけ	(12.6)	(7.4)	2.8	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底強くナデ b.微砂 橙色粒 泥岩粒 砂質 やや粗土 c.黄橙色 e.良好
38	46	第4面・構成土(1)	かわらけ	(13.0)	(8.0)	3.3	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 赤色粒 泥岩粒 砂質 やや粗土 c.橙色 e.良好
38	47	第4面・構成土(1)	かわらけ	(13.0)	(8.0)	3.6	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底強くナデ b.微砂 雲母 赤色粒 泥岩粒 砂質 やや 粗土 c.橙色 e.良好
38	48	第4面・構成土(1)	かわらけ	12.6	8.6	3.2	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底強くナデ b.微砂 海綿骨針 赤色粒 泥岩粒 粉質 気味 やや粗土 c.橙色 e.良好
38	49	第4面・構成土(1)	かわらけ	(13.0)	(7.6)	3.5	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 海綿骨針 泥岩粒 砂質 やや粗土 c.黄橙色 e.やや甘い f.外面全体が黒色に変色
38	50	第4面・構成土(1)	かわらけ	(12.4)	(8.0)	3.5	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底強くナデ b.微砂 海綿骨針 泥岩粒 砂質 やや粗 土 c.黄橙色 e.やや良好
38	51	第4面・構成土(1)	かわらけ	(12.2)	7.8	3.4	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底強くナデ b.微砂 雲母 海綿骨針 泥岩粒 砂質 良 土 c.黄橙色 e.やや甘い
38	52	第4面・構成土(1)	かわらけ	(13.0)	8.0	3.6	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 雲母 海綿骨針 泥岩粒 粉質気味 や や粗土 c.橙色 e.良好
38	53	第4面・構成土(1)	かわらけ	12.6	7.4	3.6	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 海綿骨針 泥岩粒 砂質 粗土 c.淡黄橙色 e.良好
38	54	第4面・構成土(1)	かわらけ	(13.0)	(8.0)	3.9	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 海綿骨針 砂質 やや粗土 c.橙色 e.良好 f.口唇部油煤痕
38	55	第4面・構成土(1)	かわらけ	(13.8)	(7.4)	3.8	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 混じりもの少なく粉質精良 c.黄 橙色 e.良好 f.白色を呈するが白かわらけではない 宇津宮辻子近辺の中世地山の上層 から出るタイプに似る
38	56	第4面・構成土(1)	かわらけ				a.ロクロ b.微砂 泥岩粒 粉質 良土 c.黄橙色 e.良好 f.外側面に墨書 判読不明
38	57	第4面・構成土(1)	手づくねかわらけ	(9.5)	(7.5)	1.7	a.手づくね 外底指頭痕 内底ナデ b.微砂 海綿骨針 赤色粒 白色粒 泥岩粒 粗土 c.橙色 ～黄褐色(ムラ) e.良好
38	58	第4面・構成土(1)	かわらけ	(10.5)	(6.4)	2.7	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕不明瞭 内底ナデ b.微砂 海綿骨針 赤色粒 長石 良土 c.淡黄色 e.良好 硬質 f.薄手の器壁を持ち硬質な胎土 在地のかわらけにはないタイプ
38	59	第4面・構成土(1)	青磁 鎚蓮弁文碗				a.ロクロ b.暗灰色 精良 気孔あり d.緑褐色釉 半透明 ツヤあり やや厚い e.良好 f.碗II-b 竜泉窯
38	60	第4面・構成土(1)	青磁 鎚蓮弁文碗				a.ロクロ b.灰白色 精良緻密 d.緑灰色釉 やや厚い e.堅緻 f.II-b 竜泉窯
38	61	第4面・構成土(1)	青磁 鎚蓮弁文碗				a.ロクロ b.灰色 微砂 黒色粒 精良緻密 d.青緑色釉 不透明 やや薄い e.堅緻 f.碗II -b類 竜泉窯
38	62	第4面・構成土(1)	青磁 鎚蓮弁文碗				a.ロクロ b.灰色 微砂 黒色粒 精良緻密 d.青緑色釉 不透明 やや薄い e.堅緻 f.碗II -b類 竜泉窯
38	63	第4面・構成土(1)	青磁 鎚蓮弁文碗				a.ロクロ b.灰色 微砂 黒色粒 精良緻密 d.青緑色釉 不透明 やや厚い e.堅緻 f.碗II -b類 外底見込は暗灰色 竜泉窯
38	64	第4面・構成土(1)	青磁 碗				a.ロクロ b.暗灰色 黒色粒 精良 d.青緑色 半透明 ツヤあり e.良好 f.外面うすく連 弁文碗II-b～e 竜泉窯
38	65	第4面・構成土(1)	青磁 皿	(10.8)	(6.0)	2.5	a.ロクロ b.灰色 精良 気孔あり d.黄緑透明釉 ツヤあり うすい e.良好 f.皿I-2b 全 体に釉がけのあと底部の釉をかきとる 同安窯系
38	66	第4面・構成土(1)	青磁 折腰鉢	(6.4)	—	—	a.ロクロ b.暗灰色 精良 気孔あり d.緑灰色 不透明 ツヤなく濁る 厚い e.良好 f.环 III-1 竜泉窯
38	67	第4面・構成土(1)	青磁 折腰鉢				a.ロクロ b.橙色～黄褐色 微砂 精良緻密 d.灰緑色 不透明釉が霜降り様 e.やや甘い (胎土が赤褐色) f.环III-1類 竜泉窯
38	68	第4面・構成土(1)	青磁 折腰鉢				a.ロクロ b.灰色 微砂 精良緻密 d.青緑色釉 不透明 施釉厚い e.堅緻 f.环III-1類 竜泉窯
38	69	第4面・構成土(1)	青磁 折腰鉢				a.ロクロ b.暗灰色 黒色粒 精良 気孔あり d.青緑色 半透明 ツヤあり 厚い e.良好 f.量付け露胎 环III-1 竜泉窯
38	70	第4面・構成土(1)	青磁 鉢				a.ロクロ b.暗白色 黒色粒 精良 d.青緑色 半透明 ツヤあり 厚い e.良好 f.量付け露 胎 竜泉窯
38	71	第4面・構成土(1)	青磁 香炉				a.ロクロ b.茶灰色 黄土色粒 精良 d.米色釉 半透明 ツヤあり 厚い e.良好 f.貼付珠 文 外側の釉が厚い 竜泉窯
38	72	第4面・構成土(1)	青白磁 梅瓶	径4.8	—	3.4	a.型打ち整形? b.白色 精良 d.緑色がかった不透明釉 白濁している e.良好 f.内面 にロクロ回転跡がのこる 釉のカギとったあと 橙色 内面～外面下部露胎 f.景德鎮
38	73	第4面・構成土(1)	白磁 口元皿	(9.4)	—	—	a.ロクロ b.白色 精良緻密 d.水色がかかる透明釉 うすい 口縁部釉を削る e.堅緻 f.皿 IX-2類
38	74	第4面・構成土(1)	白磁 口元皿				a.ロクロ b.白色 精良緻密 d.水色がかかる透明釉 e.堅緻 f.皿IX-1
38	75	第4面・構成土(1)	白磁 口元皿				a.ロクロ b.灰白色 黒色粒 精良 d.透明釉 うすい e.良好 f.口縁外反しやや大きめ IX-1c
38	76	第4面・構成土(1)	白磁 口元皿				a.ロクロ b.白色 精良緻密 d.水色がかかる透明釉 うすい 口縁部釉を削る e.堅緻 f.皿 IX類
39	77	第4面・構成土(2)	白磁 口元皿				a.ロクロ b.灰白色 黒色粒 精良緻密 d.灰色がかかる乳白色釉 不透明 やや厚い e.堅緻 f.IX-1類
38	78	第4面・構成土(1)	白磁 皿				a.ロクロ b.白色 精良 d.透明釉 うすい e.良好 f.内面渦文と蓮弁文の型押 器厚薄い
38	79	第4面・構成土(1)	白磁 碗				a.ロクロ b.灰白色 精良緻密 d.灰白色 透明 薄手施釉 口縁頂部露胎 f.外面に雷文と 唐草文?の模様
39	80	第4面・構成土(2)	白磁 皿				a.ロクロ b.白色 精良 d.透明釉 うすい e.良好 f.内面蓮弁の型押 器厚薄い

単位 (cm)

出土遺物観察表 ()は復元値

図版 No.	番号	出土面・遺構名	種別	口径 (長さ)	底径 (幅)	器高 (厚さ)	a.成形 b.胎土・素地 c.色調 d.釉薬 e.焼成 f.備考
39	81	第4面・構成土(2)	白磁皿	底部片			a.ロクロ b.白色 精良緻密 d.透明釉 うすい e.良好 f.皿X b類 内面型文(草唐草文)
39	82	第4面・構成土(2)	白磁碗	胴部片			a.ロクロ b.白色 精良緻密 d.透明釉 うすい e.良好 f.碗X-1bもしくはX-2b 内面型文(草唐草文)
39	83	第4面・構成土(2)	白磁皿	底部片			a.ロクロ b.灰白色 微砂 微黒色粒子 精良緻密 d.緑灰色 半透明 e.堅緻 f.皿IX-3 高台〜外底露胎
39	84	第4面・構成土(2)	白磁合子	3.6	2.4	1.7	b.白色 精良堅緻 d.白色半透明 やや薄く施釉 外底部露胎 e.堅緻 f.外底真中に漆と思われる黒い凝結物質付着 修理痕か 外面蓮弁文 器形歪みあり
39	85	第4面・構成土(2)	白磁香炉	口縁部片			a.ロクロ b.白色 砂多 精良 d.灰緑色 半透明 うすい e.良好 f.内外貫入あり 外面文殊貼り付け・筒型
39	86	第4面・構成土(2)	青白磁香炉	口縁部片			a.ロクロ b.白色 黒色粒 d.緑色がかった半透明釉 e.良好 f.景德鎮・筒型
39	87	第4面・構成土(2)	青白磁器種不明	胴部片			a.型打ち整形 b.白色 黒色粒 精良 気孔あり d.緑色がかった半透明釉や厚くツヤがある e.良好 f.景德鎮
39	88	第4面・構成土(2)	褐釉香炉	底部+脚部			a.ロクロ 貼り高台 b.うすい黄橙色 微砂 白色粒 精良緻密 d.茶褐色釉 不透明 e.堅緻 f.胴部が中心円縁の模様 獣面かもしれない脚 胎土が瀬戸製品と若干印象が異なる・舶載品の可能性もあり
39	89	第4面・構成土(2)	瀬戸四耳壺	口縁部片			a.輪積み技法 b.暗灰色 微砂 黒色粒 精良 d.緑黄色 e.良好
39	90	第4面・構成土(2)	瀬戸入子	(3.8)	(2.4)	1.1	a.ロクロ 外底回転糸切痕 b.微砂 白色粒 精良 d.降灰釉 灰緑色 e.良好 f.重ね焼きの跡あり
39	91	第4面・構成土(2)	常滑甕	口縁部片			a.輪積み技法 b.暗灰色 胎心黄土色 微砂 白色粒 精良 c.暗赤褐色 d.降灰釉 黄白色 e.焼き締まるが胎心は甘い f.6a期
39	92	第4面・構成土(2)	常滑甕	口縁部片			a.輪積み技法 b.微砂 黒色粒 精良 c.灰色 d.降灰釉 やや緑がかかる黒灰釉 e.堅緻 f.6a〜6b期
39	93	第4面・構成土(2)	常滑鶯口壺	胴部片			a.輪積み技法 b.微砂 白色粒 砂多 精良 c.暗褐色 e.焼き締まる f.肩に沈線がめぐる砂底
39	94	第4面・構成土(2)	常滑鶯口壺	底部片			a.輪積み技法 b.微砂 白色粒 精良 c.灰色 d.降灰釉 茶褐色 e.堅緻 f.内面に煤の塊り付着 砂底
39	95	第4面・構成土(2)	常滑鶯口壺	—	(12.0)	—	a.輪積み技法 b.微砂 白色粒 黒色粒 c.黒灰色 e.焼き締まる f.内面に煤溜まる 砂底
39	96	第4面・構成土(2)	常滑片口鉢Ⅰ類	底部片			a.輪積み技法 b.微砂 黒色粒 長石粒多 ガサつく c.灰色 e.良好 f.内面磨減
39	97	第4面・構成土(2)	常滑片口鉢Ⅰ類	胴部片			a.輪積み技法 外面回転ヘラ削り b.砂 白色粒 黒色粒 c.灰色 e.良好 f.内底面磨減強い 外底にタール状の付着物あり
39	98	第4面・構成土(2)	常滑片口鉢Ⅰ類	胴部片			a.輪積み技法 外面回転ヘラ削り b.砂 白色粒 黒色粒 小石粒 やや粗土 バサつく c.灰色 e.良好 f.内底面磨減強い
39	99	第4面・構成土(2)	常滑片口鉢Ⅰ類	—	(14.0)	—	a.輪積み技法 b.微砂 黒色粒 長石粒多 ガサつく c.灰色 e.良好 f.胴部に丸味 6aか? 内面磨減
39	100	第4面・構成土(2)	常滑片口鉢Ⅱ類	口縁部片			a.輪積み技法 b.微砂 黒色粒 長石 c.褐色 e.焼き締まりやや弱い f.5期〜6a期
39	101	第4面・構成土(2)	常滑片口鉢Ⅱ類	口縁部片			a.輪積み技法 b.暗灰色 微砂 白色粒多 やや精良 c.暗赤褐色 d.降灰釉 黄白色 e.焼き締まる f.6a
39	102	第4面・構成土(2)	常滑片口鉢Ⅱ類	底部片			a.輪積み技法 b.微砂 黒色粒 長石 c.赤褐色 e.焼き締まる
39	103	第4面・構成土(2)	尾張型片口鉢	—	(13.0)	—	a.輪積み技法 外面回転ヘラ削り b.微砂 白色粒 黒色粒 精良 c.灰白色 e.焼き締まる f.6型式? 内面に煤付着
39	104	第4面・構成土(2)	瓦器質火鉢	銅〜底部片			a.輪積み技法 b.微砂 白色粒 瓦器質 c.暗灰色〜黒(火を受けた?) e.固く焼き締まる f.瓦に似た素地 内面下炭化 鉢型Ⅰ類 砂底 外面櫛状工具ナデ
39	105	第4面・構成土(2)	土器質火鉢	胴部片			a.輪積み技法 帯貼り付け b.砂 赤色粒 黒色粒 小石粒 土器質 c.橙色 e.良好 f.二次的に火を受けている 漆喰で塗られているようなあとが残る 外面口縁部近くに二本の凸線、底部近くに一本の凸線が廻る
39	106	第4面・構成土(2)	瀬戸内系土器	(12.3)	(6.7)	2.7	a.外底部糸切痕 高台部貼付 b.灰白色 白色粒 小石粒やや多め 良土 c.黄味灰白色 e.硬質
39	107	第4面・構成土(2)	かわらけ質円盤	径5.0	—	1.3	a.手づくね? b.微砂 雲母 海綿骨針 c.黄褐色 e.良好 f.裏面に切り印らしきものあり 中心を通る 中心部ややへこむ
39	108	第4面・構成土(2)	滑石鍋	口縁部片			c.銀灰色 f.内面磨減 鋸〜外面に加工痕あり
39	109	第4面・構成土(2)	滑石鍋	口縁部片			a.削り出し b.やや黄味がかかる白真珠光沢 f.外面に煤付着
39	110	第4面・構成土(2)	石製品砥石	(6.0)	(4.2)	(3.7)	b.凝灰岩 c.砥面-黒灰色 他-灰色 f.天草産 砥面2面 黒点があり砥面が砥汁で黒くなっている 中砥
39	111	第4面・構成土(2)	石製品砥石	(9.5)	3.3	0.8〜1.0	b.頁岩 c.灰色 f.砥面3面 鳴滝産 側面に切り出し痕 規格幅 仕上げ砥
39	112	第4面・構成土(2)	石製品砥石	(7.0)	(4.3)	0.6〜1.2	b.頁岩 c.灰色 f.砥面2面 鳴滝産 側面に切り出し痕 規格幅より幅広なので原材料搬入して加工 仕上げ砥
39	113	第4面・構成土(2)	貝製品碁石	2.0	1.5	0.3	b.貝製 c.乳白色 f.正円ではないが全体的に丸味
39	114	第4面・構成土(2)	石製品碁石	2.2	1.7	0.6	b.石英 c.白色半透明 f.正円ではないが全体的に丸味
39	115	第4面・構成土(2)	石製品碁石	径1.6	—	0.2	c.黒色
39	116	第4面・構成土(2)	石製品碁石	径1.4	—	0.2	c.黒色
40	117	第4面・構成土(3)	鉄製品釘	14.2	0.3〜0.7	0.3〜0.8	f.鍛造 断面四角形
40	118	第4面・構成土(3)	鉄製品環状金具	6.5	0.2〜0.4	0.5	f.鍵
40	119	第4面・構成土(3)	銅銭	外径23.0mm 内径20.0mm 孔幅6.0mm 厚さ0.5mm			f.開元通寶 南唐 初鑄960年 篆書
40	120	第4面・構成土(3)	銅銭	外径24.0mm 内径20.0mm 孔幅6.0mm 厚さ1.0mm			f.天禧通寶 北宋 初鑄1017年 真書
41	121	第4面・構成土(4)	銅銭	外径24.0mm 内径20.0mm 孔幅6.0mm 厚さ1.1mm			f.天禧通寶 北宋 初鑄1018年 真書

単位 (cm)

出土遺物観察表 ()は復元値

図版 No.	番号	出土面・遺構名	種別	口径 (長さ)	底径 (幅)	器高 (厚さ)	a.成形 b.胎土・素地 c.色調 d.釉薬 e.焼成 f.備考
40	122	第4面・構成土(3)	銅銭	外径25.0mm 内径21.0mm 孔幅6.0~7.0mm 厚さ0.5mm			f.皇宋通寶 北宋 初鑄1038年 真書
40	123	第4面・構成土(3)	銅銭	外径24.0mm 内径20.0mm 孔幅7.0mm 厚さ1.0mm			f.至和元寶 北宋 初鑄1054年 真書
40	124	第4面・構成土(3)	銅銭	外径24.0mm 内径20.0mm 孔幅6.0mm 厚さ1.0mm			f.紹定通寶 南宋 初鑄1228年 背元
40	125	第4面・構成土(3)	骨製品 筭	(9.3)	1.5	0.2	
40	126	第4面・構成土(3)	ガラス	2.0	2.2	0.1	b.不透明ガラス c.ターコイズブルー
40	127	第4面・構成土(3)	木製品 漆器椀	—	7.5	-1.3	f.輪高台 高台断面形は三角形を呈する 内外面黒色系漆を髹漆 内外面赤色漆で波・不明 文様 手描き
40	128	第4面・構成土(3)	木製品 漆器椀	—	6.3	—	f.輪高台 高台形断面は四角を呈する 内外面黒色系漆を髹漆 内面赤色漆で子持ち帯で二 分割した両側に州浜文 外面州浜文 手描き
40	129	第4面・構成土(3)	木製品 漆器椀	—	7.2	—	f.輪高台 高台形断面は四角形を呈する 内外面黒色系漆を髹漆 内外面赤色漆で花文 印 判施文による漆絵だが非常に雑 印判の原体が崩れている 印象
40	130	第4面・構成土(3)	木製品 漆器椀	胴部片			f.内外面黒色系漆を髹漆 内面赤色漆で巴文 印判施文 外面文様不明
40	131	第4面・構成土(3)	木製品 漆器椀	胴部片			f.内外面黒色系漆を髹漆 内外面赤色漆で菊花文 印判施文 内面の花卉数18弁 外面の花卉 数16弁
40	132	第4面・構成土(3)	木製品 漆器椀	—	(7.6)	—	f.輪高台 高台断面形は三角形を呈する 内外面黒色系漆を髹漆 内面赤色漆で情景文(波・ 草) 外面(波) 手描き
40	133	第4面・構成土(3)	木製品 漆器皿	—	(6.0)	—	f.輪高台 高台断面形は三角形を呈する 内面赤色漆を髹漆 外面黒色系漆を髹漆 内外面無 文
40	134	第4面・構成土(3)	木製品 漆器皿	底部片			f.内外面黒色系漆を髹漆 内面赤色漆で篋文 手描き 外面文様不明
40	135	第4面・構成土(3)	木製品 漆器皿	9.6	6.8	1.6	f.無高台 内外面共に黒色系漆を髹漆 内面赤色漆で情景文(水・篋・花・葦・千鳥) 外面(水・ 篋・千鳥) 手描き
40	136	第4面・構成土(3)	木製品 折敷	(13.8)	(1.8)	0.1	f.紐通し孔あり
41	137	第4面・構成土(4)	木製品 箸	23.7	0.5	0.5	
41	138	第4面・構成土(4)	木製品 箸	22.2	0.8	0.5	
41	139	第4面・構成土(4)	木製品 箸	20.5	0.5	0.6	
41	140	第4面・構成土(4)	木製品 箸	20.7	0.5	0.2	
41	141	第4面・構成土(4)	木製品 箸	19.6	0.4	0.4	
41	142	第4面・構成土(4)	木製品 箸	20.0	0.7	0.5	
41	143	第4面・構成土(4)	木製品 箸	19.7	0.7	0.5	
41	144	第4面・構成土(4)	木製品 箸	(19.2)	0.5	0.4	
41	145	第4面・構成土(4)	木製品 箸	(15.7)	0.6	0.5	
41	146	第4面・構成土(4)	木製品 箸	(15.7)	0.6	0.2	
41	147	第4面・構成土(4)	木製品 箸	(15.1)	0.5	0.4	
41	148	第4面・構成土(4)	木製品 箸	(14.9)	0.7	0.3	
41	149	第4面・構成土(4)	木製品 箸	14.6	0.6	0.3	
41	150	第4面・構成土(4)	木製品 箸	(14.3)	0.5	0.3	
41	151	第4面・構成土(4)	木製品 箸	(14.2)	0.5	0.3	
41	152	第4面・構成土(4)	木製品 箸	(14.7)	0.4	0.2	
41	153	第4面・構成土(4)	木製品 箸	(14.3)	0.7	0.4	
41	154	第4面・構成土(4)	木製品 箸	13.7	0.7	0.6	
41	155	第4面・構成土(4)	木製品 取手	14.0	3.8	2.5	f.貫通した釘穴2箇所あり 鍋蓋の取っ手か
41	156	第4面・構成土(4)	木製品 曲物	径10.6	—	0.6	f.孔?あり(欠損かも) 曲げ物底板
41	157	第4面・構成土(4)	木製品 下駄	(13.0)	(4.2)	(0.8)	f.上下不明 歯の幅3.7cm 連歯
41	158	第4面・構成土(4)	木製品 草履芯	24.7	5.6	0.3	f.側縁部山型 端部直線的 切り取り部は長方形に切りこまれる
41	159	第4面・構成土(4)	木製品 草履芯	(13.9)	(4.8)	0.2~0.4	f.板目材を使用
41	160	第4面・構成土(4)	木製品 草履芯	(8.0)	(2.3)	0.2	
41	161	第4面・構成土(4)	木製品 草履芯	(21.5)	(5.4)	0.3	f.側縁部山型 端部直線的 切り取り部の形不明
41	162	第4面・構成土(4)	木製品 草履芯	(6.8)	(1.9)	0.3~0.5	f.板目材を使用 厚みがあり裏目は摩耗 表面に藁や菌草痕
41	163	第4面・構成土(4)	木製品 草履芯	(12.7)	(2.7)	0.2~0.3	f.板目材を使用

単位 (cm)

出土遺物観察表 ()は復元値

図版 No.	番号	出土面・遺構名	種別	口径 (長さ)	底径 (幅)	器高 (厚さ)	a.成形 b.胎土・素地 c.色調 d.釉薬 e.焼成 f.備考
41	164	第4面・構成土(4)	木製品 草履芯	(12.6)	(1.8)	0.3	f.板目材を使用 厚みがあり裏面は摩耗 表面に藁や蘭草痕
41	165	第4面・構成土(4)	木製品 草履芯	(9.2)	(2.8)	0.2	
41	166	第4面・構成土(4)	木製品 棒状	20.2	1.0	0.7	
41	167	第4面・構成土(4)	木製品 棒状	16.8	1.0	0.7	
41	168	第4面・構成土(4)	木製品 棒状	(15.8)	0.7	0.8	
41	169	第4面・構成土(4)	木製品 棒状	(14.6)	1.0	0.8	
41	170	第4面・構成土(4)	木製品 棒状	13.6	1.1	0.6	
41	171	第4面・構成土(4)	木製品 棒状	(12.6)	0.8	0.8	
41	172	第4面・構成土(4)	木製品 棒状	(11.4)	0.5	0.5	
41	173	第4面・構成土(4)	木製品 棒状	(8.5)	1.1	0.8	
41	174	第4面・構成土(4)	木製品 棒状	10.8	0.6	0.5	
41	175	第4面・構成土(4)	木製品 棒状	10.9	0.7	0.8	f.籌木か
41	176	第4面・構成土(4)	木製品 棒状	(11.5)	0.9	0.7	f.端部焼痕
41	177	第4面・構成土(4)	木製品 串状	20.7	1.1	0.7	
41	178	第4面・構成土(4)	木製品 串状	17.0	0.8	0.4	
41	179	第4面・構成土(4)	木製品 串状	16.2	1.0	0.8	
41	180	第4面・構成土(4)	木製品 串状	(15.5)	1.2	0.5	
41	181	第4面・構成土(4)	木製品 串状	(11.4)	1.2	0.6	
41	182	第4面・構成土(4)	木製品 串状	13.0	1.0	1.0	
42	183	第4面・構成土(5)	木製品 串状	(34.4)	0.8~1.1	0.7	
42	184	第4面・構成土(5)	木製品 串状	(30.5)	0.3~0.6	0.4	f.端部が炭化している
42	185	第4面・構成土(5)	木製品 串状	(22.2)	0.5~0.7	0.3~0.5	
42	186	第4面・構成土(5)	木製品 篋状	19.2	1.1	0.6	f.端部に煤付着 火付棒か?
42	187	第4面・構成土(5)	木製品 篋状	(13.3)	1.3	0.6	
42	188	第4面・構成土(5)	木製品 建材	(27.2)	4.8	2.2	f.先端部に加工痕あり
42	189	第4面・構成土(5)	木製品 建材	(12.5)	7.5	3.3	f.加工痕
42	190	第4面・構成土(5)	木製品 建材	15.3	5.3	1.4~1.9	f.建材か?縁が加工され、何かに打ちつけられた様子 斜めに打たれた釘(頭0.4先0.4~0.5cm)が1箇所残る
42	191	第4面・構成土(5)	木製品 建材	23.0	2.3	1.4~2.0	f.建材だったものを転用したものか? 角材(薄い)を対角線半分にして先端を刃物で削った様子がうかがえる 釘(長5.4幅0.7厚0.3cm)が刺さっているが用途不明
42	192	第4面・構成土(5)	木製品 建材	11.6	3.6	2.2	f.加工痕 釘が3箇所刺さっているが貫通していないため長さ不明
42	193	第4面・構成土(5)	木製品 杭	(25.5)	1.5~2.5	1.2~1.4	f.端部削り痕
42	194	第4面・構成土(5)	木製品 杭	(14.3)	0.9~2.3	1.7~2.2	f.片端削り痕
42	195	第4面・構成土(5)	木製品 杭	(15.7)	0.5~4.0	1.3~1.4	f.先端削り痕
42	196	第4面・構成土(5)	木製品 杭	31.3	1.7~2.2	1.4~2.20	f.端部削り痕 5つの釘穴がある(内2つは釘がささっているが、貫通していない。他3つは貫通している) 建材の転用か
42	197	第4面・構成土(5)	木製品 礎板	23.3	7.8	2.7	f.切断痕
42	198	第4面・構成土(5)	木製品 部材	(28.0)	3.1	2.2	f.釘穴(φ0.5cm)あり ホゾ(幅1.0深さ0.5cm)あり
43	199	第4面・構成土(6)	木製品 部材	29.8	2.3	(0.1)	f.のこぎり痕あり
43	200	第4面・構成土(6)	木製品 部材	24.6	6.3	2.0	f.刃物痕あり 鉄釘のこる 焼痕
43	201	第4面・構成土(6)	木製品 部材	12.7	3.8	0.7	
43	202	第4面・構成土(6)	木製品 端材	8.3	6.6	3.5	f.端部が削られている焼けている
43	203	第4面・構成土(6)	木製品 端材	7.8	5.6	2.3	
43	204	第4面・構成土(6)	木製品 端材	4.5	5.7	1.5	
43	205	第4面・構成土(6)	木製品 端材	2.7	5.2	3.2	

単位 (cm)

出土遺物観察表 ()は復元値

図版 No.	番号	出土面・遺構名	種別	口径 (長さ)	底径 (幅)	器高 (厚さ)	a.成形 b.胎土・素地 c.色調 d.釉薬 e.焼成 f.備考
43	206	第4面・構成土(6)	木製品 端材	5.0	3.7	1.3	
43	207	第4面・構成土(6)	木製品 端材	7.4	4.5	2.2	
43	208	第4面・構成土(6)	木製品 端材	12.4	(3.2)	0.3	f.加工痕
43	209	第4面・構成土(6)	木製品 端材	6.1	4.0	0.3	f.斜めに切断されている
43	210	第4面・構成土(6)	木製品 刀子の柄	12.0	2.3	0.7	呑込式
43	211	第4面・構成土(6)	木製品 用途不明	(15.7)	2.5	1.8	f.両端部削り痕
43	212	第4面・構成土(6)	木製品 用途不明	(12.3)	1.0~2.7	1.3~1.6	f.片端削り痕
43	213	第4面・構成土(6)	木製品 用途不明	(16.9)	4.0	0.7	f.刃物痕多い曲げ物の底か?
43	214	第4面・構成土(6)	木製品 用途不明	15.4	3.4	0.8	
43	215	第4面・構成土(6)	木製品 用途不明	9.9	6.5	0.7	f.曲物底板か
43	216	第4面・構成土(6)	木製品 用途不明	11.7	1.1	1.0	f.端部が削られている
43	217	第4面・構成土(6)	木製品 用途不明	(9.4)	1.5	0.5~0.7	f.先端に木釘が残っている
43	218	第4面・構成土(6)	木製品 用途不明	(11.5)	(5.8)	0.6	f.裏面に刃物痕あり
43	219	第4面・構成土(6)	木製品 用途不明	7.7	2.6	1.0	f.両側面に切り込みあり
43	220	第4面・構成土(6)	木製品 用途不明	(11.0)	2.3	0.2	f.穿孔あり 釘孔か
43	221	第4面・構成土(6)	木製品 用途不明	(17.7)	1.5	1.2	f.一部炭化 棒状
43	222	第4面・構成土(6)	木製品 用途不明	(14.6)	0.5	0.5	
43	223	第4面・構成土(6)	木製品 用途不明	(12.1)	0.6	0.4	
43	224	第4面・構成土(6)	木製品 用途不明	(10.2)	0.5	0.4	
43	225	第4面・構成土(6)	木製品 用途不明	24.5	9.5	1.5	f.端材
44	226	第4面・構成土(7)	木製品 用途不明	27.1	8.7	3.2	f.刃物痕あり
44	227	第4面・構成土(7)	木製品 用途不明	21.9	5.1	0.3~0.6	f.切断痕あり 部材
44	228	第4面・構成土(7)	木製品 用途不明	7.5	(2.7)	0.5	f.端部が削られている
46	1	第5面・井戸1	かわらけ	(8.8)	6.4	1.6	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 雲母 海綿骨針 c.黄灰色 e.やや甘い
46	2	第5面・井戸1	かわらけ	8.4	6.4	1.3	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 海綿骨針 泥岩粒 砂質 良土 c.黄灰色 e.やや甘い
46	3	第5面・井戸1	かわらけ	8.8	7.0	1.7	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 雲母 泥岩粒 砂質 良土 c.黄灰色 e.やや甘い
46	4	第5面・井戸1	かわらけ	8.4	6.8	1.8	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底強くナデ b.微砂 海綿骨針 赤色粒 砂質 良土 c.黄灰色 e.良好 f.口唇部約1/3に油煤痕
46	5	第5面・井戸1	かわらけ	(8.8)	(6.8)	1.6	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 海綿骨針 赤色粒 泥岩粒 c.黄灰色 e.やや甘い
46	6	第5面・井戸1	かわらけ	(9.4)	6.8	1.7	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 海綿骨針 泥岩粒 砂質 良土 c.黄灰色 e.やや甘い f.器形の歪み激しい
46	7	第5面・井戸1	かわらけ	8.8	6.8	1.7	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナテの後見込みを回転ナデ b.微砂 雲母 海綿骨針 赤色粒 泥岩粒 砂質 良土 c.橙色 e.良好
46	8	第5面・井戸1	かわらけ	8.8	7.2	1.6	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底強くナデ b.微砂 海綿骨針 赤色粒 砂質 良土 c.黄灰色 e.良好 f.内外面黒色に変色
46	9	第5面・井戸1	かわらけ	8.2	6.6	1.4	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 雲母 赤色粒 砂質 良土 c.黄灰色 e.やや甘い f.内面に黒色の付着物 漆か
46	10	第5面・井戸1	かわらけ	8.4	6.4	1.4	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 海綿骨針 泥岩粒 c.黄灰色 e.やや甘い
46	11	第5面・井戸1	かわらけ	(8.6)	(6.2)	1.5	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 雲母 やや粉質 良土 c.黄灰色 e.甘い f.内底に貫通孔(0.5cm)あり 欠損した貫通孔あり
46	12	第5面・井戸1	かわらけ	(8.8)	(6.4)	1.6	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 海綿骨針 赤色粒 砂質 良土 c.黄灰色 e.やや甘い
46	13	第5面・井戸1	かわらけ	13.0	8.2	3.1	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 海綿骨針 泥岩粒 砂質 良土 c.黄灰色 e.良好
46	14	第5面・井戸1	かわらけ	12.6	8.0	3	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 雲母 赤色粒 泥岩粒 砂質 良土 c.黄灰色 e.良好 f.内面黒色に変色
46	15	第5面・井戸1	かわらけ	(13.8)	9.2	3.3	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 雲母 赤色粒 泥岩粒 砂質 良土 c.黄灰色 e.良好
46	16	第5面・井戸1	かわらけ	(13.0)	9.0	3.2	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 雲母 赤色粒 泥岩粒 砂質 良土 c.黄灰色 e.やや甘い
46	17	第5面・井戸1	手づくねかわらけ	9.0	7.3	1.9	a.手づくね 外底指頭痕 内底ナデ b.微砂 赤色粒 泥岩粒 海綿骨針 砂質 良土 c.黄灰色 e.良好 f.口唇部黒色に変色
46	18	第5面・井戸1	手づくねかわらけ	8.6	7.4	1.6	a.手づくね 外底指頭痕 内底横ナデ b.微砂 赤色粒 泥岩粒 砂質 粗土 c.黄灰色 e.良好
46	19	第5面・井戸1	手づくねかわらけ	9.0	7.7	1.9	a.手づくね 外底指頭痕 内底ナデ b.微砂 雲母 海綿骨針 砂質 良土 c.橙色 e.良好 f.口唇部2か所に油煤痕

単位 (cm)

出土遺物観察表 ()は復元値

図版 No.	番号	出土面・遺構名	種別	口径 (長さ)	底径 (幅)	器高 (厚さ)	a.成形 b.胎土・素地 c.色調 d.釉薬 e.焼成 f.備考
46	20	第5面・井戸1	手づくねかわらけ	(9.6)	(8.0)	1.7	a.手づくね 外底指頭痕 内底横ナデ b.微砂 雲母 赤色粒 泥岩粒 海綿骨芯 粉質気味 良土 c.黄橙色 e.良好
46	21	第5面・井戸1	手づくねかわらけ	9.4	8.1	2	a.手づくね 外底指頭痕 内底横ナデ b.微砂 泥岩粒 海綿骨芯 砂質 良土 c.黄灰色 e.や や甘い
46	22	第5面・井戸1	手づくねかわらけ	(9.4)	(7.9)	1.9	a.手づくね 外底指頭痕 内底横ナデ b.微砂 赤色粒 泥岩粒 海綿骨芯 粉質気味 良土 c.黄橙色 e.良好
46	23	第5面・井戸1	手づくねかわらけ	9.2	8.1	1.8	a.手づくね 外底指頭痕 内底横ナデ b.微砂 雲母 泥岩粒 海綿骨芯 砂質 やや粗土 c.黄 灰色 e.やや甘い
46	24	第5面・井戸1	手づくねかわらけ	8.8	7.4	1.8	a.手づくね 外底指頭痕 内底強くナデ b.微砂 赤色粒 海綿骨芯 泥岩粒 砂質 良土 c.黄 橙色 e.良好
46	25	第5面・井戸1	手づくねかわらけ	8.6	7.0	1.7	a.手づくね 外底指頭痕 内底ナデ b.微砂 雲母 赤色粒 海綿骨芯 泥岩粒 砂質 やや粗土 c.黄橙色 e.良好
46	26	第5面・井戸1	手づくねかわらけ	(9.4)	8.0	2.1	za.手づくね 外底指頭痕 内底横ナデ b.微砂 泥岩粒 粉質気味 良土 c.黄灰色 e.やや 甘い
46	27	第5面・井戸1	手づくねかわらけ	8.6	7.8	1.7	a.手づくね 外底指頭痕 見込みナデ b.微砂 雲母 泥岩粒 砂質 良土 c.黄灰色 e.やや甘 い
46	28	第5面・井戸1	手づくねかわらけ	9.4	7.4	1.7	a.手づくね 外底指頭痕 内底ナデ b.微砂 雲母 泥岩粒 海綿骨芯 砂質 良土 c.黄灰色 e.やや甘い
46	29	第5面・井戸1	手づくねかわらけ	8.8	7.2	1.9	a.手づくね 外底指頭痕 内底横ナデ b.微砂 雲母 泥岩粒 砂質 良土 c.黄灰色 e.やや甘 い
46	30	第5面・井戸1	手づくねかわらけ	9.2	7.7	1.7	a.手づくね 外底指頭痕 内底ナデ b.微砂 赤色粒 海綿骨芯 泥岩粒 粉質気味 良土 c.黄 橙色 e.良好
46	31	第5面・井戸1	手づくねかわらけ	(13.8)	11.2	2.7	a.手づくね 外底指頭痕 内底ナデ b.微砂 海綿骨芯 泥岩粒 粉質 良土 c.黄橙色 e.良好 f.内底木へら状のナデ?
46	32	第5面・井戸1	手づくねかわらけ	13.2	12.0	2.8	a.手づくね 外底指頭痕 内底ナデ b.微砂 赤色粒 海綿骨芯 泥岩粒 砂質 良土 c.黄橙色 e.良好 f.外側面黒色に変色 口唇部油煤痕
46	33	第5面・井戸1	手づくねかわらけ	12.8	11.6	2.6	a.手づくね 外底指頭痕 内底ナデ b.微砂 赤色粒 泥岩粒 粉質気味 やや粗土 c.橙色 e.良好
46	34	第5面・井戸1	手づくねかわらけ	12.8	9.9	3	a.手づくね 外底指頭痕弱い 内底ナデ b.微砂 雲母 海綿骨芯 泥岩粒 粉質気味 良土 c.黄灰色 e.やや甘い
46	35	第5面・井戸1	手づくねかわらけ	13.0	11.0	3.5	a.手づくね 外底指頭痕 内底ナデ b.微砂 海綿骨芯 泥岩粒 粉質気味 やや粗土 c.黄灰色 e.やや甘い f.外底中心押し
46	36	第5面・井戸1	手づくねかわらけ	12.8	11.2	3.2	a.手づくね 外底指頭痕 内底ナデ b.微砂 雲母 泥岩粒 粉質気味 やや粗土 c.黄橙色 e.良好 f.底部にスノコ痕
46	37	第5面・井戸1	手づくねかわらけ	13.2	11.2	3.3	a.手づくね 外底指頭痕 内底ナデ b.微砂 海綿骨芯 泥岩粒 粉質気味 やや粗土 c.黄橙色 e.やや甘い f.底部にスノコ痕
46	38	第5面・井戸1	手づくねかわらけ	12.6	11.0	3.4	a.手づくね 外底指頭痕 内底ナデ b.微砂 雲母 海綿骨芯 泥岩粒 砂質 良土 c.黄橙色 e.良好 f.底部にスノコ痕
46	39	第5面・井戸1	手づくねかわらけ	(13.0)	(10.6)	2.9	a.手づくね 外底指頭痕 内底ナデ b.微砂 海綿骨芯 泥岩粒 粉質気味 良土 c.黄橙色 e.良好 f.底部にスノコ痕
46	40	第5面・井戸1	手づくねかわらけ	14.0	11.5	3.2	a.手づくね 外底指頭痕 内底横ナデ b.微砂 赤色粒 海綿骨芯 泥岩粒 砂質 やや粗土 c.黄橙色 e.良好 f.外側面1/2が黒色に変色・底部にスノコ痕
46	41	第5面・井戸1	手づくねかわらけ	13.4	11.4	3.3	a.手づくね 外底指頭痕 内底ナデ b.微砂 赤色粒 海綿骨芯 泥岩粒 粉質気味 良土 c.黄 灰色 e.やや甘い
46	42	第5面・井戸1	手づくねかわらけ	13.2	12.1	3.3	a.手づくね 外底指頭痕 内底ナデ b.微砂 雲母 赤色粒 砂質 良土 c.橙色 e.良好 f.内 外面1/2に油煤痕
46	43	第5面・井戸1	手づくね 白かわらけ				a.手づくね 外底指頭痕 内底ナデ b.微砂 海綿骨芯 c.灰白色 e.やや甘い f.内外面黒 色に変色
46	44	第5面・井戸1	白磁 皿				a.ロクロ b.灰白色 黒色粒 d.灰緑色 半透明 やや薄い e.良好 f.VIII-2
46	45	第5面・井戸1	常滑 蓋口壺				a.輪積み技法 b.黒褐色 砂粒 白色粒 d.灰緑色の降灰釉 e.良好 f.外面に沈線あり
46	46	第5面・井戸1	常滑 甕				a.輪積み技法 b.黄灰色 砂粒 白色粒 c.明茶褐色(外) 黒褐色(内) e.良好 f.押印あ り
46	47	第5面・井戸1	常滑 片口鉢Ⅱ類				a.輪積み技法 外面下部へら削り b.黄灰色 砂粒 白色粒 c.黄橙色 e.良好 f.砂底 内 面磨減
46	48	第5面・井戸1	かわらけ 加工品	径7.2	—	0.5	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ強い b.微砂 海綿骨針 赤色粒 砂質 良土 c.黄橙色 e.良好 f.円盤状に加工
46	49	第5面・井戸1	木製品 用途不明	13.9	1.6	1.0	f.木口に方形(0.5cm)の茎孔あり 錐柄か
46	50	第5面・ビット241	かわらけ	12.0	8.0	3.1	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 海綿骨針 赤色粒 砂質 良土 c.橙 色 e.良好
46	51	第5面・ビット241	木製品 草履芯	9.4	2.8~4.3	0.1~0.3	f.指の跡あり 板目を加工 板のまわりを削って縁を整えてある 鼻緒の一部が欠損して いる
47	1	第5面・溝3(1)	かわらけ	7.4	5.4	1.4	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底強くナデ b.微砂 雲母 海綿骨針 泥岩粒 砂質 や や粗土 c.黄灰色 e.良好 f.内面・外側面が黒色に変色
47	2	第5面・溝3(1)	かわらけ	7.8	6.0	1.6	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 雲母 海綿骨針 赤色粒 砂質 良土 c.橙色 e.良好
47	3	第5面・溝3(1)	かわらけ	7.8	5.8	1.7	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナテの後側面回転ナデ b.微砂 雲母 泥岩粒 砂 質 やや良土 c.黄橙色 e.良好
47	4	第5面・溝3(1)	かわらけ	7.8	5.4	1.8	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底強くナデ b.微砂 海綿骨針 赤色粒 泥岩粒 砂質 やや粗土 c.黄橙色 e.良好
47	5	第5面・溝3(1)	かわらけ	7.8	5.0	1.8	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 海綿骨針 泥岩粒 砂質 良土 c.黄 橙色 e.やや甘い
47	6	第5面・溝3(1)	かわらけ	(8.0)	(5.4)	1.6	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 泥岩粒 砂質 良土 c.黄橙色 e.良 好 f.内底面に墨書 判読不能
47	7	第5面・溝3(1)	かわらけ	7.8	5.4	1.7	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底強くナデ b.微砂 雲母 海綿骨針 泥岩粒 砂質 や や粗土 c.黄橙色 e.やや甘い
47	8	第5面・溝3(1)	かわらけ	7.4	5.2	1.3	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 雲母 海綿骨針 砂質 やや粗土 c.橙色 e.良好
47	9	第5面・溝3(1)	かわらけ	(10.6)	6.0	3.4	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 海綿骨針 橙色粒 粉質 良土 c.黄 橙色 e.良好
47	10	第5面・溝3(1)	かわらけ	(13.8)	8.2	3.2	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 雲母 泥岩粒 砂質 やや良土 c.黄橙色 e.良好 f.外側面・内面一部が黒色に変色

単位 (cm)

出土遺物観察表 ()は復元値

図版 No.	番号	出土面・遺構名	種別	口径 (長さ)	底径 (幅)	器高 (高さ)	a.成形 b.胎土・素地 c.色調 d.釉薬 e.焼成 f.備考
47	11	第5面・溝3(1)	かわらけ	(12.6)	7.0	3.5	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 雲母 橙色粒 砂質 良土 c.橙色 e.良好
47	12	第5面・溝3(1)	常滑 片口鉢Ⅰ類	—	15.0	—	a.輪積み技法 b.微砂 白色粒 黒色粒 ガサつく 精良 c.灰白色 e.良好 f.6a? 内面磨減
47	13	第5面・溝3(1)	木製品 折敷	(10.7)	(1.8)	(0.1)	
47	14	第5面・溝3(1)	木製品 曲物	径2.5	—	0.2~0.3	f.小型の曲物 祭祀用か
47	15	第5面・溝3(1)	木製品 棒状	(11.8)	0.5	0.7	f.籌木か
47	16	第5面・溝3(1)	木製品 棒状	(13.5)	1.0	0.7	
47	17	第5面・溝3(1)	木製品 用途不明	(11.3)	2.0	0.2~0.3	f.細い刃物痕が多数あり 筆架か
47	18	第5面・溝3(1)	木製品 用途不明	(24.0)	10.0	1.5	f.貫通孔あり
47	19	第5面・溝3(1)	木製品 杭	(25.5)	2.8	2.0	f.片端削り痕
47	20	第5面・溝3(1)	木製品 杭	(23.5)	2.5	2.4	f.煤痕あり
47	21	第5面・溝3(1)	木製品 杭	(27.4)	5.0	1.5	f.片端削り痕
48	22	第5面・溝3(2)	木製品 杭	(29.7)	3.2	1.0	f.片端削り痕
48	23	第5面・溝3(2)	木製品 杭	(27.6)	3.4	3.5	f.片端削り痕
48	24	第5面・溝3(2)	木製品 杭	(43.8)	2.6	2.0	f.片端削り痕
48	25	第5面・溝3(2)	木製品 杭	41.8	4.4	2.6	f.片端削り痕
48	26	第5面・溝3(2)	木製品 杭	(46.4)	6.3	2.2	f.片端削り痕
48	27	第5面・溝3(2)	木製品 杭	(51.5)	4.7	2.2	f.片端削り痕
48	28	第5面・溝3(2)	木製品 杭	(57.4)	6.6	2.3	f.片端削り痕
49	1	第5面・ビット238	木製品 用途不明	(10.4)	0.7	0.6	
49	2	第5面・ビット238	木製品 棒状	(13.4)	0.7	0.3	
49	3	第5面・ビット250	木製品 草履芯	14.8	2.9	0.4	
49	4	第5面・ビット266	木製品 部材	16.5	(5.0)	2.5	f.礎板
50	1	第5面・ビット263	木製品 箸	(15.5)	0.6	0.4	f.全体が焼けている
50	2	第5面・ビット263	木製品 用途不明	13.3	0.7	0.4	f.全体が焼けている
50	3	第5面・ビット264	褐釉 壺	11.3	—	—	a.輪積み技法 b.灰色 白色粒 黒色粒多め 砂粒 c.灰黒色 e.硬質 f.火熱を受けたため内外面剥離痕
50	4	第5面・ビット265	木製品 串状	29.0	1.3	1.0	f.断面方形 片端削り出し
50	5	第5面・ビット281	骨製品 遊具	径1.8	—	0.5	f.駒 丁寧な造り
50	6	第5面・ビット283	木製品 棒状	(11.5)	(1.0)	0.8	
50	7	第5面・ビット291	木製品 折敷	30.2	(2.7)	0.3	
50	8	第5面・ビット292	木製品 杭	(25.8)	3.2	2.5	f.断面方形 片端削り出し
51	1	第5面・面上	かわらけ	(8.2)	(6.0)	1.5	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底強くナデ b.微砂 雲母 海綿骨針 赤色粒 砂質 良土 c.橙色 e.良好 f.内外面口唇部から側面にかけて油煤痕
51	2	第5面・面上	かわらけ	7.2	5.0	1.4	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底強くナデ b.微砂 海綿骨針 赤色粒 泥岩粒 砂質 やや粗土 c.黄橙色 e.良好 f.口唇部油煤痕
51	3	第5面・面上	かわらけ	(7.6)	(5.0)	1.7	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 雲母 橙色粒 粉質気味 良土 c.黄橙色 e.良好
51	4	第5面・面上	手づくねかわらけ	9.2	7.0	2	a.手づくね 外底指頭痕 内底ナデ b.微砂 雲母 赤色粒 粉質気味 良土 c.橙色 e.良好
51	5	第5面・面上	手づくねかわらけ	底部片			a.手づくね 外底指頭痕あまり強くない b.微砂 雲母 粉質気味 良土 c.橙色~黄橙色 e.良好 外底面に墨書 判読不能
51	6	第5面・面上	滑石鍋 転用品	(5.0)	(5.0)	(2.2)	a.ノミ状の物で削って摘み状の凸がある f.西彼杵産
51	7	第5面・面上	鉄製品 釘	(6.0)	0.3	0.2	f.鍛造 断面四角形
51	8	第5面・面上	木製品 箸状	(19.5)	0.5	0.3	
51	9	第5面・面上	木製品 箸状	(12.6)	0.6	0.5	
51	10	第5面・面上	木製品 箸状	(11.8)	0.4	0.4	
51	11	第5面・面上	木製品 杭	(18.0)	2.4	0.5~0.7	f.端部削り痕
51	12	第5面・面上	木製品 用途不明	(13.7)	4.6	(0.9)	

単位 (cm)

出土遺物観察表 ()は復元値

図版 No.	番号	出土面・遺構名	種別	口径 (長さ)	底径 (幅)	器高 (厚さ)	a.成形 b.胎土・素地 c.色調 d.釉薬 e.焼成 f.備考
51	13	第5面・面上	木製品 用途不明	(16.8)	1.5	1.4	f.表面が炭化している
51	14	第5面・面上	木製品 用途不明	(14.5)	0.6～0.9	0.3	
51	15	第5面・面上	木製品 用途不明	(11.2)	0.9	0.4	f.端部が炭化している
51	16	第5面・面上	木製品 用途不明	(9.7)	2.2	0.4	f.端材
51	17	第5面・面上	木製品 用途不明	(17.2)	2.3	0.2～0.4	f.片端削り痕
51	18	第5面・面上	木製品 用途不明	(21.8)	2.5	0.5	f.貫通する穴が3箇所あり 裏面欠損
51	19	第5面・構成土(1)	かわらけ	(10.9)	(7.8)	1.7	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 海綿骨針 赤色粒 白色粒 やや粗土 c.外面:橙色 内面:淡橙色 e.良好 12世紀末から13世紀初頭
51	20	第5面・構成土(1)	かわらけ	(8.1)	(5.5)	1.6	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕不明瞭 内底強くナデ b.微砂 海綿骨針 赤色粒 白色 粒 泥岩粒 やや粗土 c.黄灰色 e.やや甘い
51	21	第5面・構成土(1)	かわらけ	8.8	6.0	2	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 雲母 海綿骨針 赤色粒 泥岩粒 粉 質気味 良土 c.黄橙色 e.良好
51	22	第5面・構成土(1)	手づくねかわらけ	—	—	1.5	a.手づくね 外底指頭痕 内底ナデ b.微砂 泥岩粒 粉質気味 良土 c.黄橙色 e.良好 f.口唇部内折れ 内底薄く黒色に変色
51	23	第5面・構成土(1)	手づくねかわらけ	(9.0)	7.4	1.5	a.手づくね 外底指頭痕 内底強くナデ b.微砂 泥岩粒 粉質気味 やや粗土 c.黄橙色 e.良好
51	24	第5面・構成土(1)	手づくねかわらけ	(10.0)	(8.4)	2	a.手づくね 外底指頭痕 内底ナデ b.微砂 赤色粒 海綿骨針 粉質気味 良土 c.橙色 e.良 好
51	25	第5面・構成土(1)	手づくねかわらけ	(10.1)	(8.8)	1.7	a.手づくね 外底指頭痕 内底ナデ b.微砂 海綿骨針 赤色粒 白色粒 泥岩粒 やや粗土 c.黄橙色 e.良好
51	26	第5面・構成土(1)	手づくねかわらけ	9.3	8.4	1.9	a.手づくね 外底指頭痕 内底ナデ b.微砂 海綿骨針 赤色粒 白色粒 泥岩粒 粗土 c.黄橙 色 e.良好 f.タール状の煤付着 風化が激しく器表剥離
51	27	第5面・構成土(1)	手づくねかわらけ	10.1	8.6	2	a.手づくね 外底指頭痕 内底ナデ b.微砂 海綿骨針 白色粒 泥岩粒 粗土 c.黄灰色 e.や や甘い f.煤付着 風化が激しく器表はがれている
51	28	第5面・構成土(1)	手づくねかわらけ	(9.8)	(8.8)	1.8	a.手づくね 外底指頭痕 内底ナデ b.微砂 泥岩粒 粉質気味 良土 c.黄橙色 e.良好 f.口唇部油煤痕
51	29	第5面・構成土(1)	手づくねかわらけ	(9.0)	(7.7)	1.6	a.手づくね 外底指頭痕 内底ナデ b.微砂 海綿骨針 赤色粒 白色粒 泥岩粒 やや粗土 c.黄橙色 e.良好
51	30	第5面・構成土(1)	手づくねかわらけ	10.4	8.3	2.4	a.手づくね 外底指頭痕 内底ナデ b.微砂 海綿骨針 赤色粒 白色粒 やや粗土 c.黄橙色 e.良好
51	31	第5面・構成土(1)	手づくねかわらけ	(10.6)	(10.0)	2	a.手づくね 外底指頭痕 内底ナデ b.微砂 赤色粒 粉質気味 良土 c.黄橙色 e.良好
51	32	第5面・構成土(1)	手づくねかわらけ	9.3	7.4	2.1	a.手づくね 外底指頭痕 内底ナデ b.微砂 海綿骨針 赤色粒 白色粒 泥岩粒 やや粗土 c.橙色 e.良好 f.口唇部一部に油煤痕
51	33	第5面・構成土(1)	手づくねかわらけ	(9.4)	(7.4)	2	a.手づくね 外底指頭痕 内底ナデ b.微砂 海綿骨針 赤色粒 白色粒 泥岩粒 やや粗土 c.黄橙色 e.良好
51	34	第5面・構成土(1)	手づくねかわらけ	(13.2)	(12.2)	2.8	a.手づくね 外底指頭痕 内底ナデ b.微砂 赤色粒 泥岩粒 粉質気味 良土 c.橙色 e.良好 f.内面油煤痕
51	35	第5面・構成土(1)	青磁 碗	口縁部片			a.ロクロ b.暗灰色 白色粒混じる精良土 d.濁った緑灰色 不透明 e.良好 f.内外無文 か碗 I-1 竜泉窯
51	36	第5面・構成土(1)	青磁 劃花文碗	口縁部片			a.ロクロ b.灰色 精良堅緻 d.緑黄灰色透明薄手施釉 f.同安窯系
51	37	第5面・構成土(1)	青磁 劃花文碗	胴部片			a.ロクロ b.精良 c.灰色 d.緑灰釉 半透明 うすい e.良好 f.碗Ⅱ類 外面無文 竜泉窯
51	38	第5面・構成土(1)	青磁 碗	底部片			a.ロクロ b.灰色 白色粒少し混じる 精良 d.濁った緑灰釉 不透明 e.良好 f.二次的 に火を受け釉変している 碗 I-1 高台露胎一部釉ダレあり 竜泉窯
51	39	第5面・構成土(1)	白磁 口元皿	—	(6.0)	—	a.ロクロ b.精良 c.白色 d.緑灰色 半透明 うすい e.良好 f.底部露胎一部釉タレあり
51	40	第5面・構成土(1)	白磁 壺	底部片			a.輪積み技法 b.灰白色 黒色粒 精良 d.灰緑色 半透明 やや厚い e.良好 f.壺Ⅲ-2小 高台露胎・四耳壺
51	41	第5面・構成土(1)	青白磁 合子	—	—	1.5	b.灰白色 精良堅緻 d.灰白色 やや厚く施釉 内底面気泡あり 外底露胎 e.堅緻 f.身 の部分
51	42	第5面・構成土(1)	青白磁 壺	—	(9.0)	—	a.輪積み技法 b.白色 精良 d.水色釉 透明 うすい e.良好 f.やや古い13前～中 二 次的に火を受けたのか外面がはじけた様な跡がある 量付～高台内露胎 景德鎮
51	43	第5面・構成土(1)	黄釉 鉄絵盤	—	(14.0)	—	a.輪積み技法 b.砂粒 白色粒 茶褐色粒 ガサつく c.黄土色 d.内面黄釉 外面残存部無 釉 e.良好 f.泉州磁州窯
51	44	第5面・構成土(1)	褐釉 壺	口縁部片			a.ロクロ b.灰色 白色粒 黒色粒 粗土 d.茶褐色 e.堅緻
51	45	第5面・構成土(1)	褐釉 壺	胴部片			a.ロクロ 耳の部分貼付 b.灰色 白色粒 黒色粒 長石 石英 粗土 d.茶褐色 e.堅緻
51	46	第5面・構成土(1)	常滑 甕	口縁部片			a.輪積み技法 b.灰色 微砂 白色粒 黒色粒 良土 c.黒褐色 e.良好 f.5期
51	47	第5面・構成土(1)	常滑 片口鉢Ⅱ類	—	(17.3)	—	a.輪積み技法 外底砂目底 b.暗灰色 砂粒 白色粒 良土 c.暗赤褐色 d.内面自然降灰 e.良好 f.内面磨減
51	48	第5面・構成土(1)	瓦器碗	(10.6)	—	—	a.ロクロ 内型成形 炭素吸着 へら押し込み 内面横方向の磨き b.灰色 精良 c.黒色 e.良好
51	49	第5面・構成土(1)	かわらけ 転用品	径2.0	—	5.0	a.手づくねを円盤状に加工 b.微砂 海綿骨針 粉質気味 良土 c.黄橙色 e.良好
51	50	第5面・構成土(1)	平瓦	狭端部片			a.凹糸切痕のこる 凸斜格子の叩き目 離れ砂細かい b.精良 c.灰白色 d.降灰釉か自然 釉がかかる e.良好 f.鶴岡八幡宮分類のⅡ類(格子叩き目)Bに類似する
52	51	第5面・構成土(2)	木製品 棒状	12.8	0.9	0.6	
52	52	第5面・構成土(2)	木製品 礎板	24.3	10.6	2.7	
52	53	第5面・構成土(2)	木製品 用途不明	(16.3)	1.8	1.0	f.切断工具痕
52	54	第5面・構成土(2)	木製品 用途不明	19.0	0.7	0.4	

単位 (cm)

出土遺物観察表 ()は復元値

図版 No.	番号	出土面・遺構名	種別	口径 (長さ)	底径 (幅)	器高 (厚さ)	a.成形 b.胎土・素地 c.色調 d.釉薬 e.焼成 f.備考
52	55	第5面・構成土(2)	木製品 用途不明	(15.0)	0.8	0.6	
52	56	第5面・構成土(2)	木製品 用途不明	14.0	0.7	0.5	
52	57	第5面・構成土(2)	木製品 用途不明	6.0	1.6	0.7	f.仕口あり 部材
54	1	第6面・ビット302	手づくねかわらけ	(7.8)	(6.6)	1.6	a.手づくね 外底指頭痕 内底ナデ b.微砂 泥岩粒 粉質気味 良土 c.黄橙色 e.良好
54	2	第6面・ビット302	手づくねかわらけ	(12.8)	(12.0)	3.1	a.手づくね 外底指頭痕 内底ナデ b.微砂 赤色粒 海綿骨芯 粉質気味 良土 c.黄橙色 e.良好 f.内面黒色に変色
54	3	第6面・ビット302	手づくねかわらけ	口縁部片			a.手づくね 外底指頭痕 b.微砂 雲母 海綿骨芯 粉質気味 良土 c.黄橙色 e.良好 f.内外面墨書痕 判読不能
54	4	第6面・ビット302	青磁 皿	底部片			a.ロクロ b.微砂 黒色粒 精良 c.灰白色 d.灰緑色 半透明 うすい e.良好 f.皿Ⅰ・Ⅱ 内面櫛掻文 同安窯系
54	5	第6面・構成土(1)	かわらけ	(7.9)	(6.3)	1.5	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 海綿骨針 白色粒 やや粗土 c.橙色 e.良好
54	6	第6面・構成土(1)	かわらけ	8.6	7.2	1.9	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 海綿骨針 赤色粒 砂質 良土 c.橙色 e.良好 f.口唇部灰色の物質が付着
54	7	第6面・構成土(1)	かわらけ	(9.0)	(6.4)	1.8	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 雲母 海綿骨針 泥岩粒 粉質気味 良土 c.黄橙色 e.良好
54	8	第6面・構成土(1)	かわらけ	(9.0)	(7.9)	1.9	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 雲母 海綿骨針 砂質 良土 c.黄橙色 e.やや甘い
54	9	第6面・構成土(1)	手づくねかわらけ	10.0	7.8	2.1	a.手づくね 外底指頭痕 内底ナデ b.微砂 雲母 泥岩粒 海綿骨芯 砂質 良土 c.黄灰色 e.やや甘い f.内外面に白色の物質が付着
54	10	第6面・構成土(1)	手づくねかわらけ	(8.2)	(6.4)	1.9	a.手づくね 外底指頭痕 内底ナデ b.微砂 雲母 海綿骨芯 粉質気味 良土 c.黄灰色 e.良好
54	11	第6面・構成土(1)	手づくねかわらけ	8.6	7.0	1.9	a.手づくね 外底指頭痕 内底強くナデ b.微砂 泥岩粒 海綿骨芯 砂質 良土 c.黄灰色 e.やや甘い f.口唇部一か所打ち掻いている
54	12	第6面・構成土(1)	手づくねかわらけ	(8.8)	(6.6)	1.9	a.手づくね 外底指頭痕 内底ナデ b.微砂 海綿骨芯 粉質気味 良土 c.橙色 e.良好
54	13	第6面・構成土(1)	手づくねかわらけ	9.2	8.1	2.1	a.手づくね 外底指頭痕 内底ナデ b.微砂 雲母 泥岩粒 砂質 良土 c.黄灰色 e.やや甘い
54	14	第6面・構成土(1)	手づくねかわらけ	(10.2)	(8.8)	1.8	a.手づくね 外底指頭痕 b.微砂 海綿骨針 赤色粒 白色粒 泥岩粒 やや粗土 c.黄灰色 e.やや甘い f.内外面に灰色の物質付着
54	15	第6面・構成土(1)	手づくねかわらけ	8.8	7.5	1.9	a.手づくね 外底指頭痕 内底ナデ b.微砂 泥岩粒 海綿骨芯 硬質 良土 c.橙色 e.良好
54	16	第6面・構成土(1)	手づくねかわらけ	(9.4)	(7.8)	1.6	a.手づくね 外底指頭痕 内底ナデ b.微砂 海綿骨芯 砂質 良土 c.橙色 e.良好
54	17	第6面・構成土(1)	手づくねかわらけ	口縁部片			a.手づくね 外底指頭痕 内底面櫛状工具による整形痕 b.微砂 海綿骨針 白色粒 泥岩粒 やや粗土 c.黄灰色 e.やや甘い
54	18	第6面・構成土(1)	手づくねかわらけ	底部小片			a.手づくね 外底指頭痕 内底面櫛状工具による整形痕 b.微砂 海綿骨針 赤色粒 白色粒 泥岩粒 やや粗土 c.黄灰色 e.良好
54	19	第6面・構成土(1)	手づくねかわらけ	(13.2)	11.4	2.7	a.手づくね 外底指頭痕 内底ナデ b.微砂 雲母 粉質気味 良土 c.黄橙色 e.良好
54	20	第6面・構成土(1)	手づくねかわらけ	12.6	10.5	3.2	a.手づくね 外底指頭痕 内底ナデ b.微砂 海綿骨芯 粉質気味 良土 c.黄橙色 e.良好
54	21	第6面・構成土(1)	手づくねかわらけ	13.2	10.9	3.5	a.手づくね 外底指頭痕 内底ナデ b.微砂 泥岩粒 海綿骨芯 粉質気味 良土 c.黄橙色 e.良好
54	22	第6面・構成土(1)	手づくねかわらけ	10.6	8.0	3.4	a.手づくね 外底指頭痕 内底ナデ b.微砂 粉質 良土 c.黄橙色 e.良好 f.やや内湾する・外底指頭痕をナデ消している・白かわらけ
54	23	第6面・構成土(1)	青磁 鎚蓮弁文碗	胴部片			a.ロクロ b.暗灰色 精良 緻密 d.灰緑色 半透明 ややうすい 光沢あり e.堅緻 f.碗Ⅱ -b 竜泉窯
54	24	第6面・構成土(1)	青磁 劃花文碗	底部片			a.ロクロ b.灰色 緻密 精良 d.緑灰色 半透明 厚い 光沢あり e.堅緻 f.碗Ⅰ -劃花文 高台内露胎 竜泉窯
54	25	第6面・構成土(1)	青磁 劃花文碗	胴部片			a.ロクロ b.やや黄味がかかる灰色 緻密 精良 d.黄緑色 半透明 うすい 光沢あり e.堅緻 f.碗Ⅰ -劃花文 竜泉窯
54	26	第6面・構成土(1)	瀬戸 壺	—	(9.9)	—	a.ロクロ b.灰白色 黒色微砂少量 精良土 d.淡黄緑色 内面に霜降り状に薄く施釉 外面底部はぜっている 軸垂れか e.良好 硬質 f.古瀬戸前期か 底部片
54	27	第6面・構成土(1)	常滑 片口鉢Ⅰ類	口縁部片			a.輪積み技法 b.微砂 白色粒 c.灰色 e.良好 f.4期
54	28	第6面・構成土(1)	平瓦	—	—	1.7~1.9	b.砂粒 夾雑物少なめ 精良土 c.灰白色 e.軟質 f.凸面：横位糸切痕 長方形格子の叩き目か 凹面：横位糸切痕 離れ砂 細砂粒 f.鶴岡八幡宮最下層 12C末
54	29	第6面・構成土(1)	土製品 籬の羽口	径11.0	—	—	a.円柱に整形後中心に孔を入れる b.砂質 良土 ゴラつく c.黄灰色 f.鮫物が付着している 光沢あり 中心孔径3.0
54	30	第6面・構成土(1)	木製品 曲物	径(8.4)	—	(0.5)	f.底板
54	31	第6面・構成土(1)	木製品 用途不明	(10.0)	(2.4)	0.8	f.木ネジが埋まった状態 曲物底板か
54	32	第6面・構成土(1)	木製品 箸	21.2	0.9	0.4	
54	33	第6面・構成土(1)	木製品 用途不明	(23.5)	(1.7)	1.0	f.全体が焼けている 片端削り出し
54	34	第6面・構成土(1)	木製品 用途不明	29.7	2.4	0.5	部材か
54	35	第6面・構成土(1)	木製品 用途不明	32.0	1.9	1.5	f.刃物痕 切断痕
55	36	第6面・構成土(2)	木製品 部材	27.7	11.8	2.3	礎板か
55	37	第6面・構成土(2)	木製品 柱	(11.2)	(12.5)	(13.0)	f.一部焼けている 柄痕あり
57	1	第7面・溝4	かわらけ	8.4	6.4	1.6	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 雲母 赤色粒 泥岩粒 砂質 良土 c.黄橙色 e.良好
57	2	第7面・溝4	かわらけ	(7.8)	—	—	a.ロクロ b.微砂 雲母 海綿骨針 赤色粒 粉質 良土 c.黄橙色 e.良好 f.外面に強く稜が入る

単位 (cm)

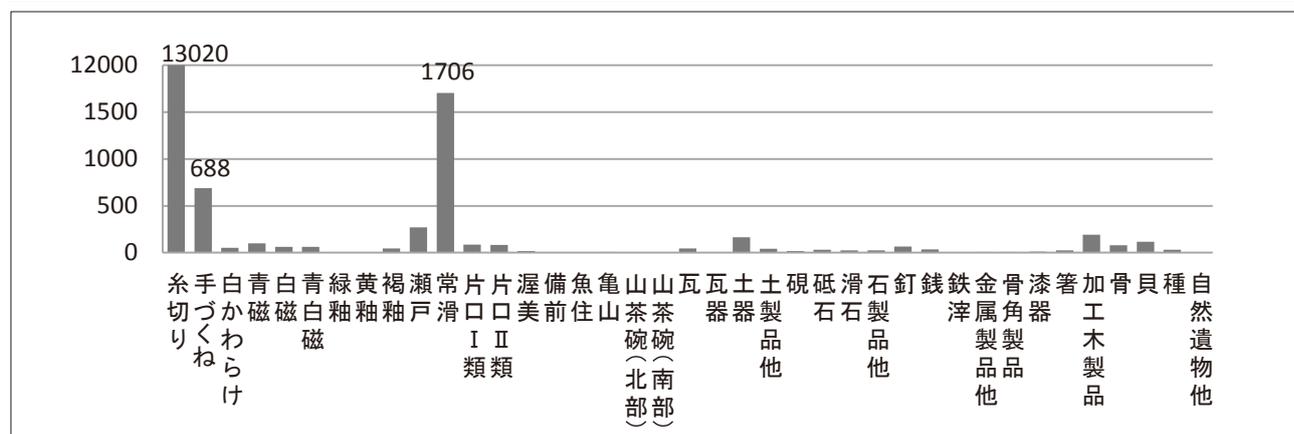
出土遺物観察表 ()は復元値

図版 No.	番号	出土面・遺構名	種別	口径 (長さ)	底径 (幅)	器高 (高さ)	a.成形 b.胎土・素地 c.色調 d.釉薬 e.焼成 f.備考
57	3	第7面・溝4	かわらけ	—	—	4	a.ロクロ 底部糸切り痕 内底ナデ b.微砂 雲母 海綿骨針 粉質 良土 c.黄灰色 e.やや甘い
57	4	第7面・溝4	かわらけ	(11.9)	(8.4)	2.7	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 海綿骨針 赤色粒 泥岩粒 砂質 良土 c.黄灰色 e.やや甘い
57	5	第7面・溝4	手づくねかわらけ	(12.8)	(11.6)	3	a.手づくね 外底指頭痕 内底ナデ b.微砂 泥岩粒 やや粉質気味 良土 c.黄橙色 e.良好
57	6	第7面・溝4	手づくねかわらけ	(13.4)	(10.6)	3.2	a.手づくね 外底指頭痕 内底横ナデ b.微砂 海綿骨芯 赤色粒 やや粉質気味 良土 c.黄橙色 e.良好
57	7	第7面・溝4	木製品 端材	5.0	10.8	2.2	
57	8	第7面・溝4	木製品 串状	26.9	0.9	0.5	
57	9	第7面・ピット303	かわらけ	9.2	6.6	2	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 雲母 海綿骨針 赤色粒 粉質気味 良土 c.黄灰色 e.やや甘い
57	10	第7面・面上	かわらけ	(8.8)	(7.0)	1.5	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 海綿骨針 c.赤橙色 胎芯黒色 e.良好
57	11	第7面・面上	かわらけ	(8.8)	(6.4)	1.8	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 雲母 海綿骨針 赤色粒 砂質 良土 c.黄橙色 e.良好
57	12	第7面・面上	かわらけ	13.0	8.2	3.1	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 海綿骨針 泥岩粒 砂質 やや粗土 c.黄橙色 e.良好 f.口唇部・外側面油煤痕
57	13	第7面・面上	かわらけ	13.0	(8.4)	3.2	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ b.微砂 雲母 海綿骨針 赤色粒 砂質 良土 c.黄橙色 e.良好
57	14	第7面・面上	手づくねかわらけ	(9.4)	(8.2)	1.8	a.手づくね 外底指頭痕 内底ナデ b.微砂 泥岩粒 やや粉質気味 良土 c.黄橙色 e.やや甘い
57	15	第7面・面上	手づくねかわらけ	(9.0)	(7.6)	2	a.手づくね 外底指頭痕 内底ナデ b.微砂 海綿骨芯 泥岩粒 やや粉質気味 良土 c.黄橙色 e.良好
57	16	第7面・面上	手づくねかわらけ	9.0	7.8	2	a.手づくね 外底指頭痕 内底ナデ b.微砂 雲母 海綿骨芯 赤色粒 やや粉質気味 良土 c.黄橙色 e.良好 f.口唇部1か所油煤痕
57	17	第7面・面上	手づくねかわらけ	9.0	7.6	2	a.手づくね 外底指頭痕 内底回転ナデ b.微砂 雲母 海綿骨芯 赤色粒 やや粉質気味 良土 c.黄橙色 e.良好
57	18	第7面・面上	手づくねかわらけ	8.8	6.6	1.5	a.手づくね 外底指頭痕 内底ナデ b.微砂 雲母 海綿骨芯 砂質 良土 c.赤橙色 e.良好
57	19	第7面・面上	手づくねかわらけ	9.2	7.3	1.6	a.手づくね 外底指頭痕弱い 内底横ナデ b.微砂 雲母 泥岩粒 砂質 やや粗土 c.黄灰色 e.やや甘い
57	20	第7面・面上	手づくねかわらけ	13.2	11.7	3.4	a.手づくね 外底指頭痕弱い 内底ナデ b.微砂 赤色粒 海綿骨芯 泥岩粒 砂質 やや粗土 c.黄橙色 e.良好 f.内面黒色に変色
57	21	第7面・面上	手づくねかわらけ	13.0	11.5	3.4	a.手づくね 外底指頭痕弱い 内底横ナデ b.微砂 雲母 海綿骨芯 泥岩粒 砂質 やや粗土 c.黄橙色 e.良好
57	22	第7面・面上	手づくねかわらけ	13.4	10.8	3.2	a.手づくね 外底指頭痕弱い 内底ナデ b.微砂 海綿骨芯 泥岩粒 砂質 やや粗土 c.黄橙色 e.良好 f.内面一部に油煤痕
57	23	第7面・面上	手づくねかわらけ				a.手づくね 外底指頭痕 b.微砂 雲母 海綿骨芯 赤色粒 やや粉質気味 良土 e.良好 f.内外面に墨書 判読不能
57	24	第7面・面上	青磁 碗				a.ロクロ b.暗灰色 黒色粒 精良 c.深草色 うすく濁る e.良好 f.碗I類 無文
57	25	第7面・面上	木製品 下駄	21.7	10.0	1.5	f.連歯 台部中央がやや張り出し、4隅の丸い小判系 表面に鉄釘2箇所残る 貫通した孔3箇所あり
57	26	第7面・面上	木製品 用途不明	(11.3)	0.8	0.5	
57	27	第7面・面上	木製品 串状	(23.0)	0.9～2.6	0.3～0.8	f.全体が焼けている 片端削り出し
57	28	第7面・面上	木製品 用途不明	(28.5)	2.0	1.1	f.片端削り出し
58	1	表土採集	かわらけ	(8.1)	(5.0)	1.9	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 雲母 海綿骨針 泥岩粒 やや粗土 c.黄橙色 e.やや甘い f.内外面に油煤痕
58	2	表土採集	かわらけ	7.4	4.9	2.2	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 海綿骨針 赤色粒 泥岩粒 やや粗土 c.黄橙色 e.良好 f.外側面黒色に変色
58	3	表土採集	かわらけ	6.4	5.1	1.9	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底ナデ b.微砂 海綿骨針 赤色粒 泥岩粒 小石粒 粗土 c.黄橙色 e.良好
58	4	表土採集	かわらけ	(11.8)	(6.5)	3.5	a.ロクロ 外底回転糸切痕 板状圧痕 内底横ナデ 高台量み付き露胎 b.微砂 雲母 海綿骨針 赤色粒 泥岩粒 粗土 c.黄橙色 e.良好
58	5	表土採集	青磁 鉢	—	(11.6)	—	a.ロクロ b.灰白色 精良堅緻 d.青緑色不透明釉を厚く施釉 高台露胎 e.堅緻 f.二次焼成を受けている
58	6	表土採集	褐釉 壺				a.ロクロ b.褐灰白色 白色粒やや多く黒色粒含む 堅緻 d.外面に茶褐色の薄い施釉 e.堅緻
58	7	表土採集	褐釉 壺				b.褐灰色 白色粒 堅緻 d.暗赤褐色 不透明な釉が外部に薄く施釉、内部は斑点状に釉付着
58	8	表土採集	瀬戸 入子				a.ロクロ b.黄灰色 砂粒 良土 e.良好
58	9	表土採集	瀬戸 銅皿				a.ロクロ b.黄灰白色 混入物少ない良土 d.淡黄灰緑色の灰釉を薄く刷毛塗り 口縁部のみやや厚く施釉 e.良好 堅緻 f.二次焼成を受け釉がはがっている
58	10	表土採集	瀬戸 折縁皿				b.灰色 小石粒 黒色微砂 やや粗土 d.淡黄灰緑色の灰釉を薄く刷毛塗り e.良好 やや軟質か? f.古瀬戸Ⅲ期?
58	11	表土採集	瀬戸 瓶子	(6.6)	—	—	a.ロクロ b.褐灰白色 白色粒・黒色粒を含む 緻密 d.鉄釉を薄く施釉 外面一部剥離 e.良好
58	12	表土採集	常滑 片口鉢I類				a.輪積み技法 b.灰色 微砂 長石 石英 c.灰色 e.良好
58	13	表土採集	男瓦	—	—	1.8～2.0	b.灰色 小石粒を含むやや粗土 c.暗灰色 e.硬質 f.凸面：糸切り痕 縦位ナデ調整 凹面：布目痕 糸切り痕 離れ砂 側縁：広い削り 側面：削り
58	14	表土採集	滑石鍋	銚径 (25.5)		1.6～1.8	f.底部分加工痕か
58	15	表土採集	鉄製品 釘	(3.6)	0.3	0.2	f.鍛造 断面四角形
58	16	表土採集	木製品 杭	38.0	1.8	0.8	f.鍛造 断面四角形

単位 (cm)

遺物出土数量比率表

		1面	2面	3面	4面	5面	6面	7面	合計(数量)	比率(%)
かわらけ	糸切り	3709	4589	2712	1231	595	64	120	13020	75.84
	手づくね	3	14	10	31	27	171	432	688	4.01
	白かわらけ	18	11	12	6	4	0	3	54	0.31
舶載陶磁器	青磁	30	15	6	20	15	9	5	100	0.58
	白磁	26	8	6	10	8	4	1	63	0.37
	青白磁	17	9	5	12	12	7	0	62	0.36
	緑釉	0	1	0	1	0	0	0	2	0.01
	黄釉	1	0	4	0	0	1	0	6	0.03
	褐釉	11	3	16	11	4	1	0	46	0.27
国産陶器	瀬戸	194	40	14	7	6	7	3	271	1.58
	常滑	1066	307	125	123	63	12	10	1706	9.94
	片口Ⅰ類	37	21	5	14	7	1	1	86	0.5
	片口Ⅱ類	42	32	8	2	1	0	0	85	0.5
	渥美	8	6	1	0	0	0	2	17	0.1
	備前	4	0	0	0	0	0	0	4	0.02
	魚住	2	1	0	0	0	0	0	3	0.02
	亀山	6	2	0	0	0	0	0	8	0.05
	山茶碗(北部)	2	0	0	0	0	0	0	2	0.01
山茶碗(南部)	3	2	0	0	0	0	0	5	0.03	
瓦	瓦	30	8	3	1	2	0	2	46	0.27
土製品	瓦器	3	1	1	0	0	1	0	6	0.03
	土器	110	29	13	9	3	0	0	164	0.96
	その他	16	11	10	3	0	1	1	42	0.24
石製品	硯	3	10	2	1	1	0	0	17	0.1
	砥石	8	15	7	0	3	0	0	33	0.19
	滑石	5	5	8	3	3	1	0	25	0.15
	その他	10	5	4	2	3	0	0	24	0.14
金属製品	釘	12	44	8	0	2	0	0	66	0.38
	銭	9	13	7	4	1	0	0	34	0.2
	鉄滓	3	0	0	0	0	0	0	3	0.02
	その他	5	4	1	0	0	0	0	10	0.06
骨角加工品	骨角製品	2	3	2	0	0	0	0	7	0.04
漆器	漆器	0	0	1	10	0	0	0	11	0.06
木製品	箸	0	0	0	18	5	0	1	24	0.14
	加工木製品	8	1	3	150	14	4	14	194	1.13
自然遺物	骨	11	6	5	4	7	11	35	79	0.46
	貝	2		1	33	61	6	16	119	0.69
	種	4	1	0	6	6	1	13	31	0.18
	その他	1	1	0	0	0	0	3	5	0.03
計		5421	5218	3000	1712	853	302	662	17168	100%



遺構計測表

遺構No.	面	長軸	短軸	深さ	遺構No.	面	長軸	短軸	深さ
溝 1	1面	(900)	175～197	56～70	ピット10	1面	36	(26)	8
溝 2	3面	980	51～90	8～24	ピット11	1面	43	37	15
溝 3	4面	(600)	27～65	8	ピット12	1面	29	28	20
溝 4	7面	(100)	(84)	9	ピット14	1面	33	29	18
溝状土坑 1	1面	330	25～28	5～10	ピット15	1面	45	43	22
溝状土坑 2	1面	412	57～65	25～32	ピット16	1面	34	26	10
溝状土坑 3	1面	(100)	(48)	19	ピット17	1面	28	27	8
溝状土坑 4	2面	(52)	28	18	ピット18	1面	26	25	9
溝状土坑 5	4面	180	32	5	ピット19	1面	31	32	16
池状遺構	1面	(775)	250～310	(85)	ピット20	1面	45	35	6
井戸 1	5面	197	(115)	未堀	ピット21	1面	47	42	20
土坑 1	1面	100	(38)	18	ピット22	1面	45	(30)	18
土坑 2	1面	82	(48)	26	ピット23	1面	52	23	16
土坑 3	1面	(85)	(45)	18	ピット24	1面	47	38	18
土坑 4	1面	144	(67)	42	ピット25	1面	34	(29)	16
土坑 6	1面	73	64	19	ピット26	1面	42	(38)	13
土坑 7	1面	113	95	11	ピット27	1面	22	22	38
土坑 8	1面	126	115	24	ピット29	1面	48	45	16
土坑 10	1面	(85)	(38)	9	ピット30	1面	37	34	22
土坑 11	1面	(70)	72	13	ピット31	1面	47	36	14
土坑 12	1面	67	55	24	ピット32	1面	(45)	(32)	14
土坑 13	1面	79	(40)	14	ピット33	1面	35	(24)	15
土坑 14	1面	53	(38)	19	ピット34	1面	44	(28)	12
土坑 15	1面	54	(47)	10	ピット35	1面	27	24	8
土坑 16	1面	80	58	36	ピット36	1面	42	(28)	13
土坑 17	2面	247	138	10～15	ピット38	1面	32	29	27
土坑 18	2面	(76)	72	27	ピット39	1面	43	33	11
土坑 19	2面	(102)	(84)	24	ピット40	1面	28	25	14
土坑 20	2面	94	(66)	4	ピット41	1面	48	(24)	—
土坑 21	2面	83	57	16	ピット42	1面	50	44	14
土坑 22	2面	78	58	24	ピット43	1面	(32)	(18)	7
土坑 23	2面	55	(44)	12	ピット44	1面	34	30	25
土坑 24	2面	64	61	17	ピット45	1面	38	35	35
土坑 25	2面	57	(40)	28	ピット46	1面	33	23	16
土坑 26	3面	89	65	11	ピット47	1面	43	(42)	5
土坑 27	3面	(70)	(60)	9	ピット48	1面	25	(17)	21
土坑 28	3面	86	74	19	ピット49	1面	48	(30)	25
土坑 29	3面	77	71	23	ピット50	1面	38	37	27
土坑 30	3面	120	(70)	20	ピット51	1面	38	35	26
土坑 31	3面	(70)	(60)	10	ピット52	1面	65	65	12
土坑 32	3面	86	78	10	ピット53	1面	35	35	19
土坑 33	3面	140	(122)	10	ピット54	1面	42	32	30
土坑 34	4面	103	(53)	8	ピット55	1面	34	(38)	14
土坑 35	4面	102	(46)	7	ピット56	1面	39	(35)	18
土坑 36	4面	(75)	75	7	ピット57	1面	17	17	10
土坑 37	4面	68	(49)	14	ピット58	1面	22	20	12
土坑 38	4面	61	54	25	ピット59	1面	46	40	11
土坑 39	4面	(100)	(65)	11	ピット60	1面	44	39	10
土坑 40	1面	155	(70)	55	ピット61	1面	36	30	9
ピット 1	1面	(35)	26	—	ピット62	1面	32	(28)	10
ピット 2	1面	58	35	9	ピット63	1面	28	(15)	13
ピット 3	1面	34	33	15	ピット64	1面	48	(37)	18
ピット 4	1面	38	34	24	ピット65	1面	44	(32)	13
ピット 5	1面	38	28	16	ピット66	1面	38	(32)	15
ピット 6	1面	19	18	10	ピット67	1面	33	31	15
ピット 7	1面	25	23	12	ピット68	1面	48	(44)	14
ピット 8	1面	43	40	17	ピット69	1面	24	24	20
ピット 9	1面	35	33	17	ピット70	1面	39	37	38

単位 (cm)

遺構計測表

遺構No.	面	長軸	短軸	深さ	遺構No.	面	長軸	短軸	深さ
ピット 72	1面	53	41	11	ピット 141	2面	50	37	7
ピット 73	1面	42	(37)		ピット 142	2面	53	50	8
ピット 74	1面	51	44	8	ピット 143	2面	(43)	(20)	4
ピット 75	1面	52	(34)	5	ピット 144	2面	38	(15)	11
ピット 76	1面	30	23	9	ピット 145	2面	(68)	(32)	8
ピット 77	2面	49	(27)	14	ピット 146	2面	47	(30)	7
ピット 78	2面	42	33	18	ピット 147	2面	33	28	11
ピット 130	2面	46	38	16	ピット 148	2面	29	(16)	20
ピット 131	2面	47	(33)	7	ピット 149	2面	(24)	(22)	13
ピット 132	2面	30	27	13	ピット 150	2面	(30)	24	9
ピット 133	2面	37	37	17	ピット 151	2面	30	(159)	49
ピット 134	2面	48	43	7	ピット 152	2面	(27)	24	10
ピット 135	2面	37	(32)	11	ピット 153	3面	33	30	8
ピット 136	2面	32	(15)	10	ピット 154	2面	(34)	(22)	4
ピット 137	2面	48	(37)	13	ピット 155	2面	64	(30)	19
ピット 138	2面	33	33	12	ピット 156	2面	40	(29)	22
ピット 139	2面	33	32	16	ピット 157	2面	30	(17)	20
ピット 89	2面	43	(38)	-	ピット 158	2面	-	-	-
ピット 91	2面	38	28	16	ピット 159	2面	(43)	33	17
ピット 92	2面	35	35	24	ピット 160	3面	40	35	11
ピット 93	2面	35	32	22	ピット 161	3面	43	(28)	15
ピット 94	2面	35	30	9	ピット 162	3面	54	(45)	24
ピット 95	2面	30	(15)	16	ピット 163	3面	39	(28)	18
ピット 96	2面	45	38	10	ピット 164	3面	34	34	14
ピット 97	2面	32	25	13	ピット 165	3面	45	45	7
ピット 98	2面	35	28	16	ピット 166	3面	26	23	20
ピット 99	2面	54	46	20	ピット 168	3面	62	58	18
ピット 100	2面	36	32	13	ピット 169	3面	21	(15)	-
ピット 101	2面	23	20	12	ピット 170	3面	45	44	8
ピット 102	2面	46	(27)	10	ピット 171	3面	58	(32)	10
ピット 103	2面	36	34	19	ピット 172	3面	40	38	17
ピット 104	2面	45	36	5	ピット 173	3面	38	34	15
ピット 105	2面	40	(27)	13	ピット 174	3面	41	40	16
ピット 106	2面	(37)	30	19	ピット 175	3面	45	44	36
ピット 107	2面	45	(28)	10	ピット 176	3面	(38)	(20)	38
ピット 108	2面	58	45	7	ピット 177	3面	(45)	35	25
ピット 109	2面	31	(17)	7	ピット 178	3面	39	32	20
ピット 110	2面	50	43	6	ピット 179	3面	41	38	27
ピット 111	2面	46	(23)	-	ピット 180	3面	41	37	20
ピット 112	2面	38	(32)	14	ピット 181	3面	30	(17)	-
ピット 113	2面	48	35	12	ピット 182	3面	75	50	18
ピット 114	2面	42	(23)	5	ピット 183	3面	41	36	15
ピット 115	2面	45	42	13	ピット 184	3面	47	(17)	11
ピット 116	2面	37	26	8	ピット 185	3面	58	48	24
ピット 117	2面	47	32	7	ピット 186	3面	(32)	40	-
ピット 118	2面	(48)	34	12	ピット 188	3面	54	(33)	17
ピット 119	2面	46	(22)	9	ピット 189	3面	(40)	(35)	11
ピット 120	2面	42	32	12	ピット 190	3面	40	25	24
ピット 121	2面	(38)	(19)	6	ピット 191	3面	46	(18)	-
ピット 122	2面	44	40	26	ピット 192	3面	32	30	13
ピット 123	2面	33	28	11	ピット 193	3面	34	30	12
ピット 124	2面	47	41	11	ピット 194	3面	33	33	21
ピット 125	2面	35	34	9	ピット 195	3面	33	30	15
ピット 126	2面	32	23	6	ピット 196	3面	42	40	9
ピット 127	2面	49	40	14	ピット 197	3面	54	(23)	5
ピット 128	2面	(52)	(14)	19	ピット 198	3面	62	47	32
ピット 129	2面	39	29	14	ピット 199	3面	38	32	14
ピット 140	2面	(39)	34	16	ピット 200	3面	(22)	30	7

単位 (cm)

遺構計測表

遺構No.	面	長軸	短軸	深さ	遺構No.	面	長軸	短軸	深さ
ピット 201	4 面	65	54	11	ピット 261	5 面	32	31	20
ピット 202	4 面	65	52	18	ピット 262	5 面	32	30	27
ピット 203	4 面	37	31	15	ピット 263	5 面	(57)	(26)	27
ピット 204	4 面	32	28	12	ピット 264	5 面	54	40	23
ピット 205	4 面	29	(24)	12	ピット 265	5 面	38	(22)	21
ピット 206	4 面	55	39	12	ピット 266	5 面	33	32	21
ピット 207	4 面	40	39	20	ピット 267	5 面	64	(60)	18
ピット 208	4 面	37	(18)	19	ピット 269	5 面	22	21	12
ピット 209	4 面	35	28	10	ピット 270	4 面	(35)	28	7
ピット 210	4 面	37	27	15	ピット 271	5 面	(23)	(20)	11
ピット 211	4 面	27	(21)	22	ピット 272	5 面	30	28	23
ピット 212	4 面	40	29	14	ピット 273	5 面	38	(28)	22
ピット 213	4 面	54	54	14	ピット 274	5 面	30	23	18
ピット 214	4 面	45	45	19	ピット 275	4 面	28	21	5
ピット 215	4 面	42	29	12	ピット 276	5 面	28	26	11
ピット 216	4 面	68	59	9	ピット 277	5 面	45	37	30
ピット 217	4 面	48	45	14	ピット 278	5 面	45	31	26
ピット 218	4 面	55	(46)	8	ピット 279	5 面	38	(25)	19
ピット 219	4 面	42	39	9	ピット 280	5 面	28	21	27
ピット 220	4 面	32	(13)	17	ピット 281	5 面	38	33	33
ピット 221	4 面	30	(27)	15	ピット 282	5 面	28	19	22
ピット 223	4 面	39	38	16	ピット 283	5 面	43	35	24
ピット 224	4 面	42	38	12	ピット 284	5 面	35	30	22
ピット 225	4 面	62	(52)	7	ピット 285	5 面	33	(24)	30
ピット 226	4 面	29	20	17	ピット 286	5 面	28	25	23
ピット 227	4 面	39	(24)	10	ピット 287	5 面	33	33	29
ピット 228	4 面	63	55	18	ピット 288	5 面	22	21	13
ピット 229	4 面	45	42	16	ピット 289	5 面	30	28	40
ピット 230	4 面	37	(33)	15	ピット 290	5 面	32	28	16
ピット 231	4 面	38	37	11	ピット 291	5 面	32	32	26
ピット 232	4 面	49	44	13	ピット 292	5 面	51	44	30
ピット 233	4 面	58	50	14	ピット 294	5 面	34	30	18
ピット 234	4 面	43	38	10	ピット 296	5 面	29	(13)	22
ピット 235	4 面	50	41	30	ピット 297	5 面	32	29	16
ピット 236	4 面	32	31	8	ピット 298	5 面	32	28	14
ピット 237	4 面	35	27	20	ピット 299	5 面	(30)	28	9
ピット 238	5 面	51	47	32	ピット 300	5 面	39	33	7
ピット 239	4 面	36	34	4	ピット 301	5 面	45	45	10
ピット 241	5 面	45	44	33	ピット 302	6 面	63	47	33
ピット 242	5 面	31	30	40	ピット 303	7 面	41	(33)	23
ピット 243	5 面	44	38	33	ピット 304	7 面	(34)	32	24
ピット 244	5 面	35	30	8	ピット 305	7 面	22	18	21
ピット 245	4 面	35	34	3					
ピット 246	5 面	36	(33)	25					
ピット 247	4 面	60	(30)	—					
ピット 248	4 面	36	(28)	—					
ピット 249	5 面	40	(21)	40					
ピット 250	5 面	35	28	26					
ピット 251	5 面	37	29	15					
ピット 252	5 面	40	32	11					
ピット 253	5 面	27	26	30					
ピット 254	5 面	35	(27)	30					
ピット 255	5 面	30	30	16					
ピット 256	5 面	32	28	18					
ピット 257	5 面	32	30	32					
ピット 258	5 面	38	31	35					
ピット 259	5 面	56	41	48					
ピット 260	5 面	49	(34)	37					

単位 (cm)



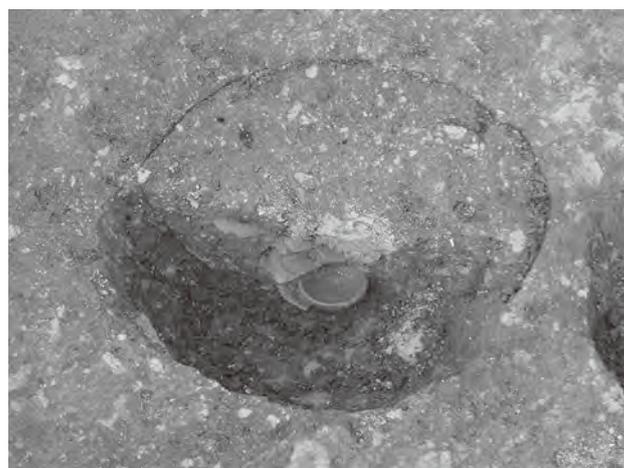
1面全景（北から）



1面全景（南から）



1面土坑6（南から）



1面土坑8（南から）



2面全景（南から）



2面全景（北から）



2面ピット71（北から）



2面かわらけ質小壺出土状況

図版2



2面土坑 17 (南西から)



2面土坑 17 (南東から)



3面全景 (南から)



3面全景 (北から)



3面溝 2 と南方向遠景 (北から)



本調査地点から隣接現場を望む (北から)



調査地点からの南方向遠景 (北から)



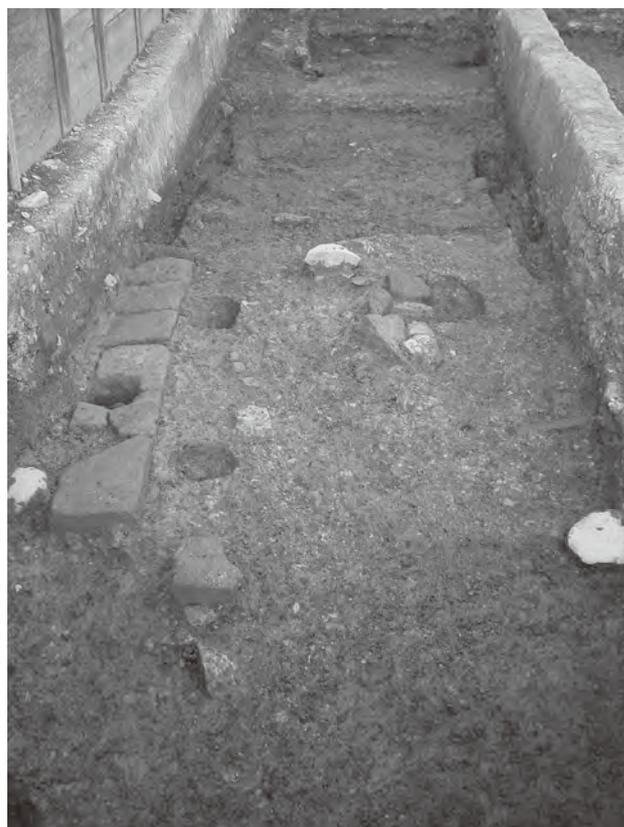
4面全景（北から）



4面全景（南から）



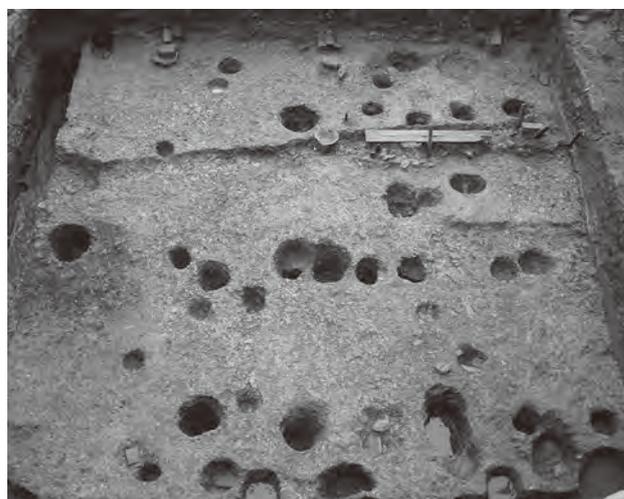
4面切石列（北から）



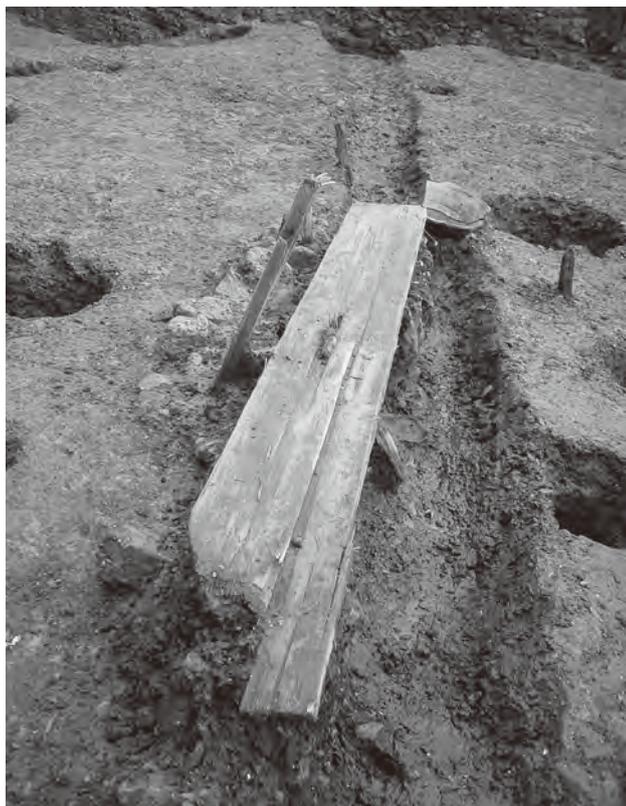
4面切石列（南から）



5面全景（北から）



5面全景（南から）



5面溝3部材（西から）



5面漆器出土状況



5面溝3部材裏面（手前に三条の痕あり）



5面溝3部材裏面の三条の痕



6面ピット302 頂部が焼けた柱（南東から）



7面溝4（北東から）



7面溝4（南西から）



6面全景（北から）



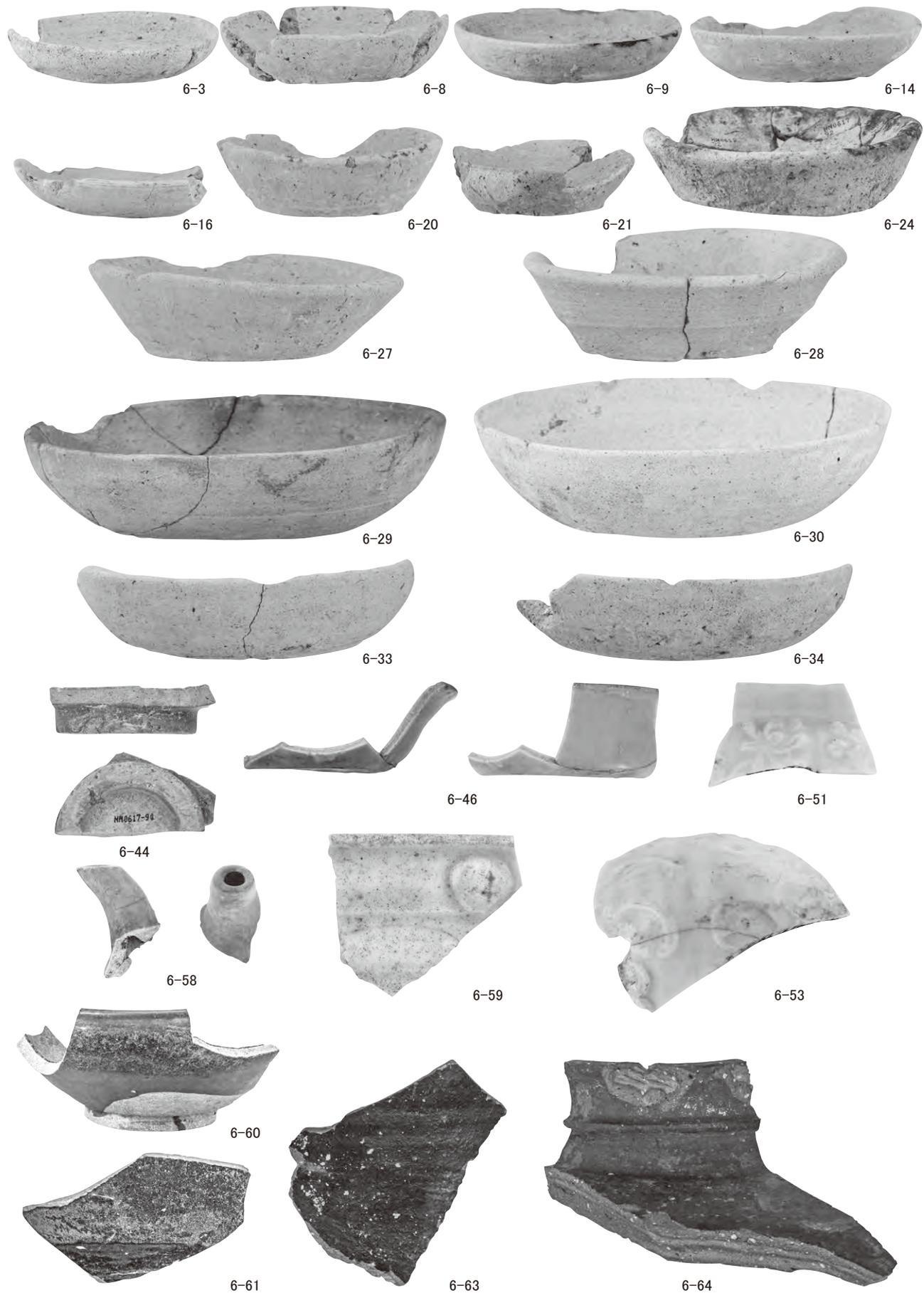
6面全景（南から）



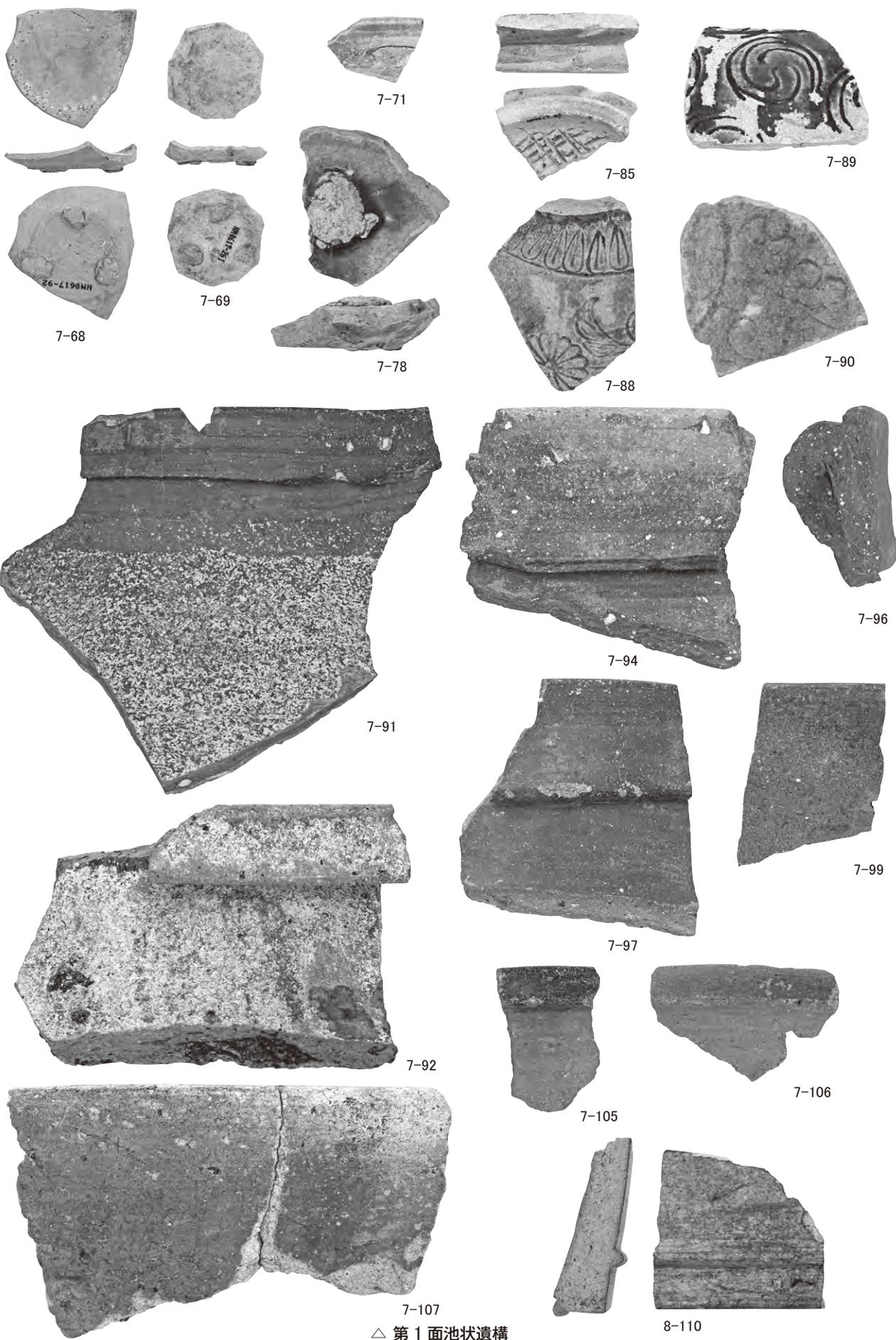
7面全景（北から）

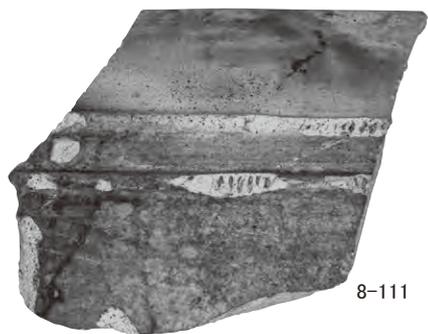


7面全景（南から）



△ 第1面池状遺構

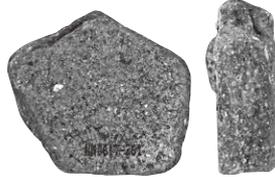




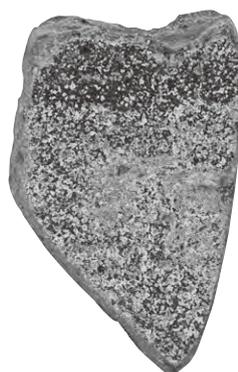
8-111



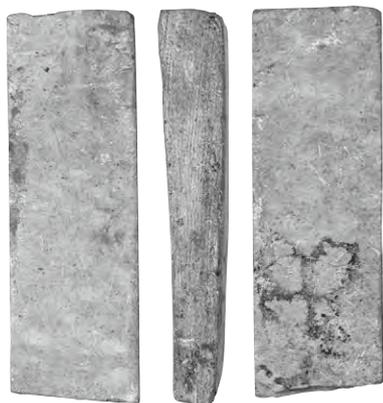
8-112



8-122



8-120



8-124



8-125



8-126



8-127



8-129



9-136



9-130

9-131

9-132

9-133

9-139



10-165

10-170

△ 第 1 面池状遺構



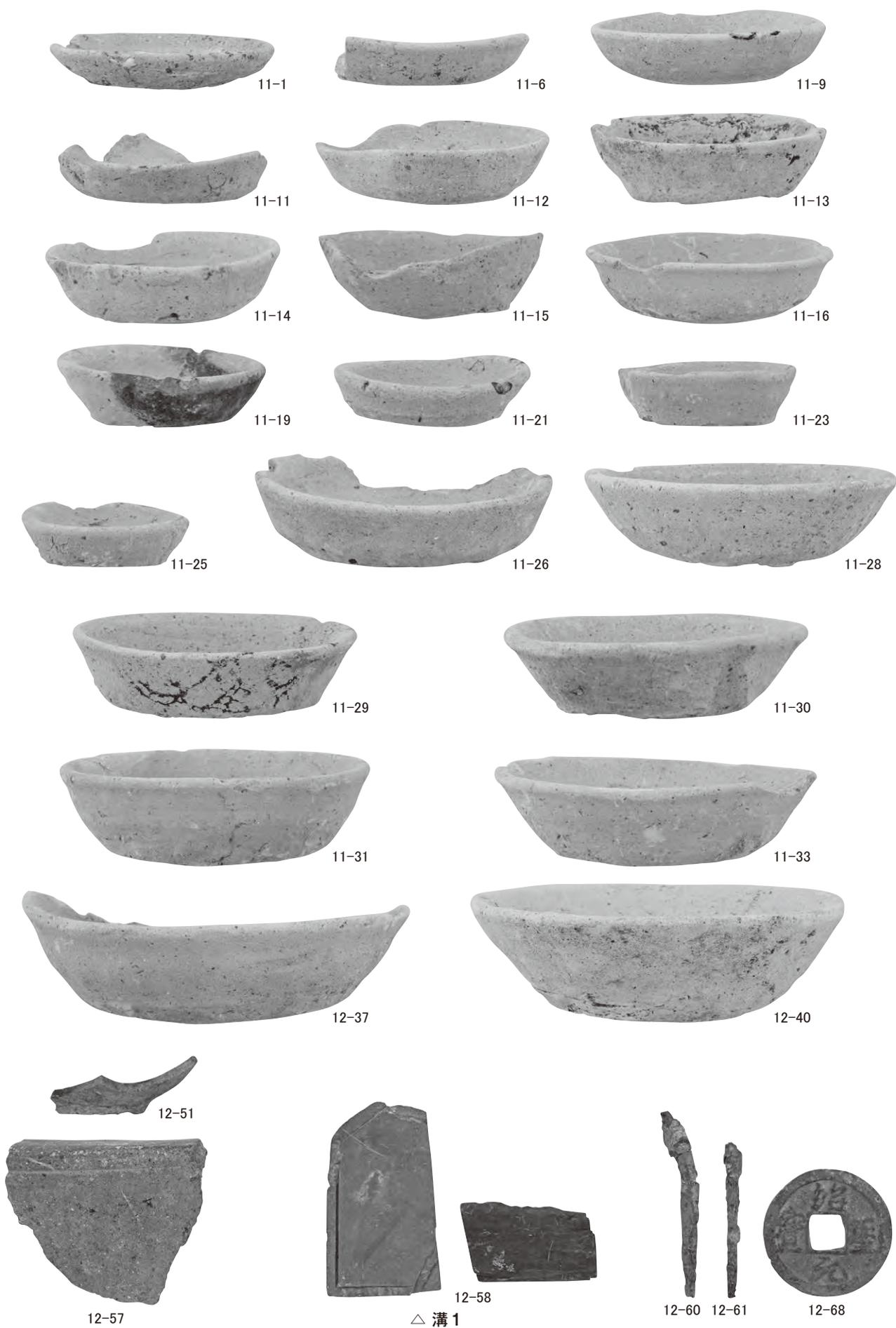
10-166



10-176



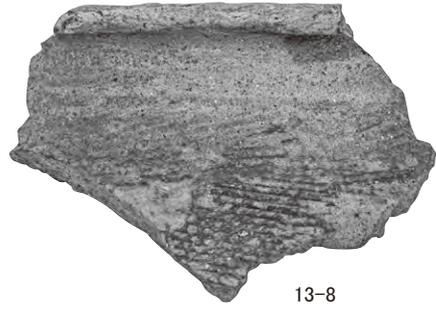
10-177



图版 10



13-1



13-8



13-3

△ 土坑 6



14-2

△ 土坑 40



16-1

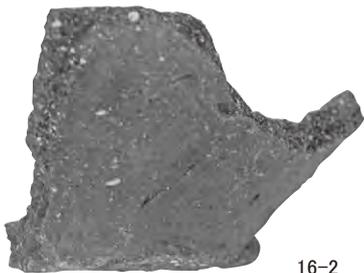


16-4



16-7

△ 土坑 15



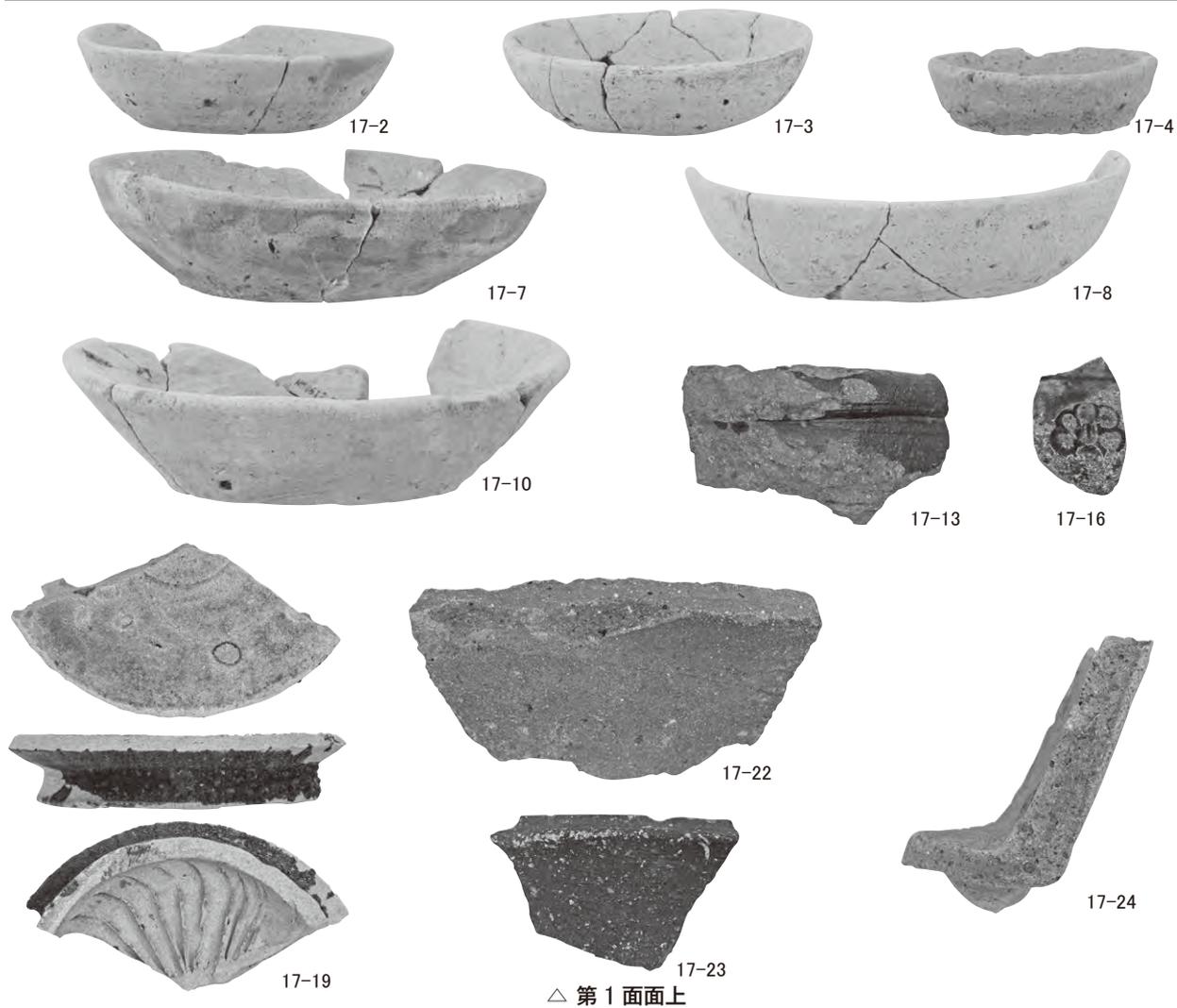
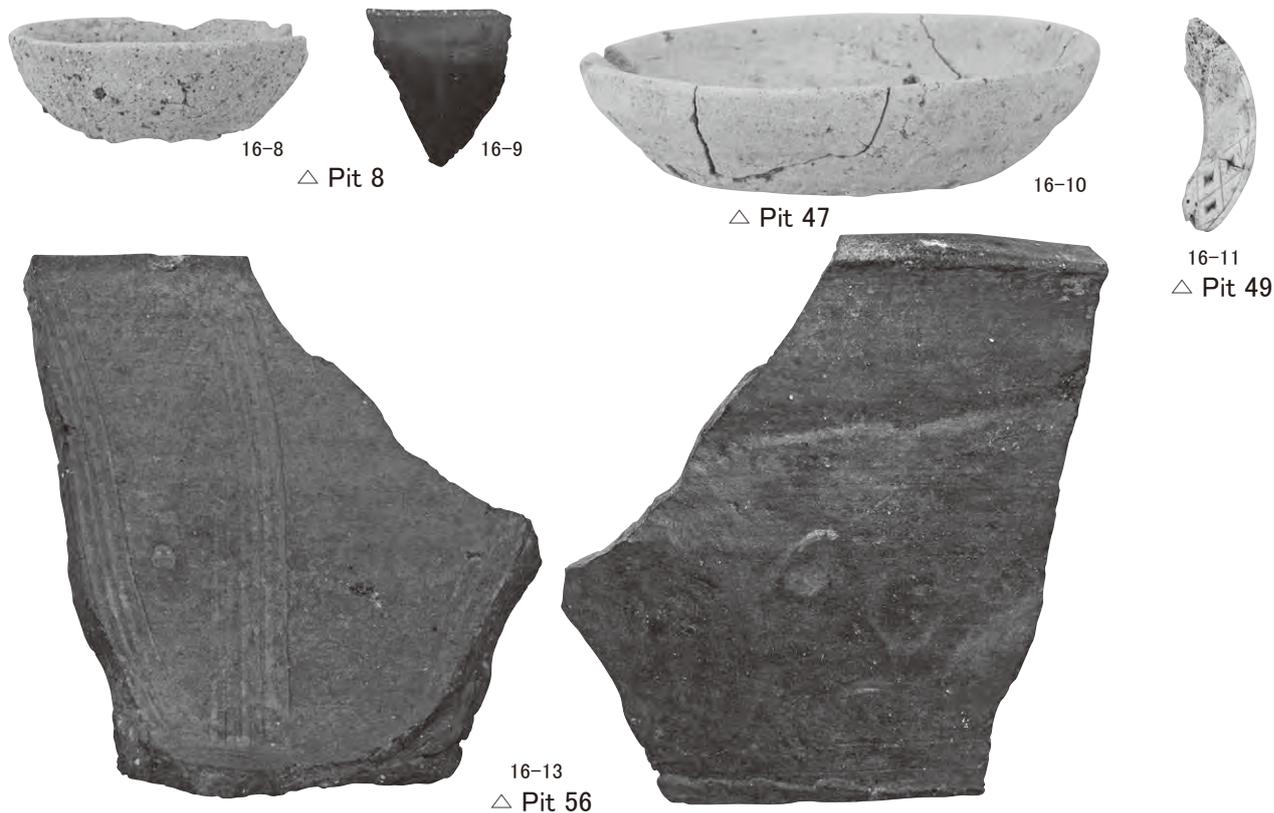
16-2

△ 沟状土坑 2



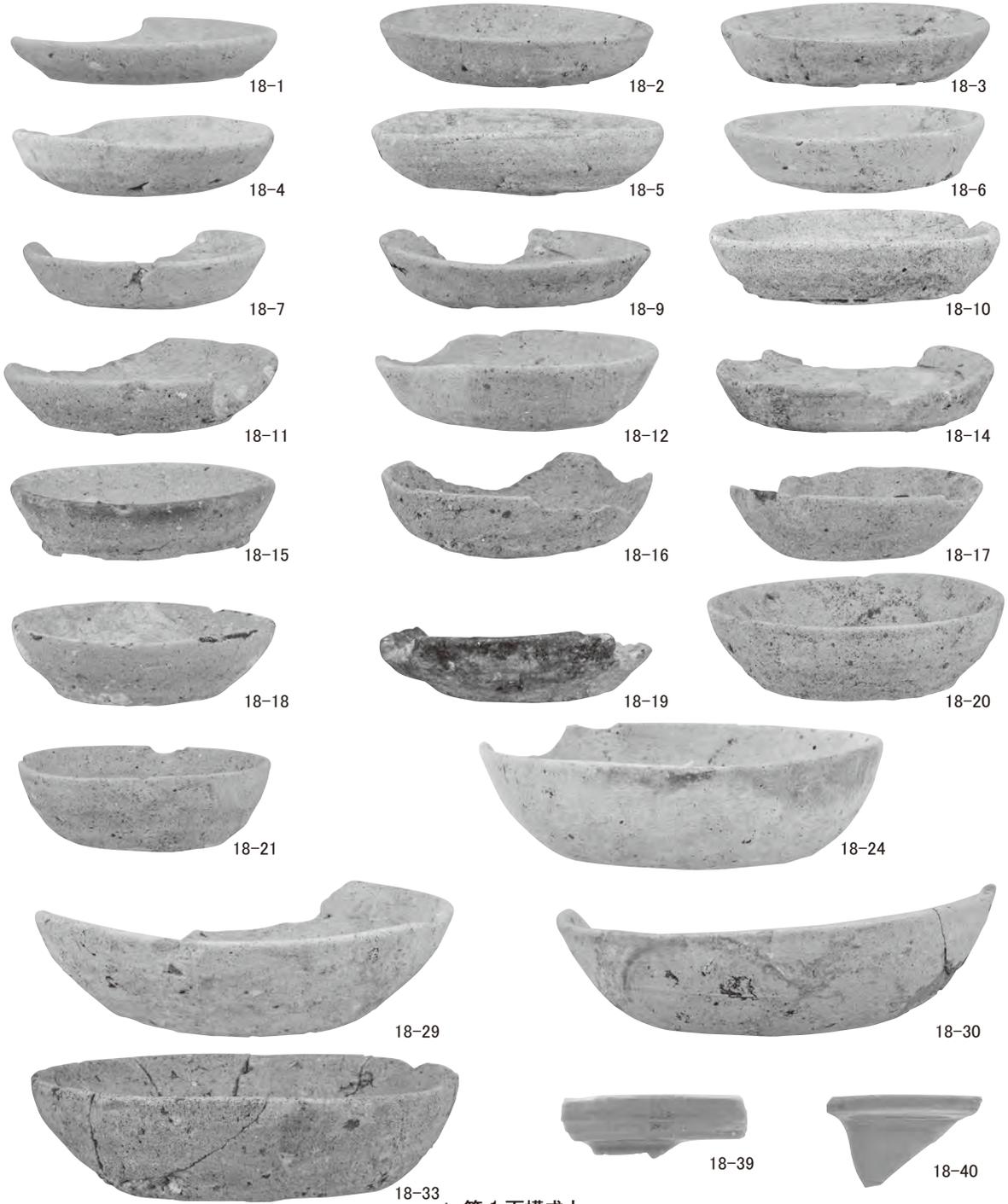
16-6

△ 土坑 12

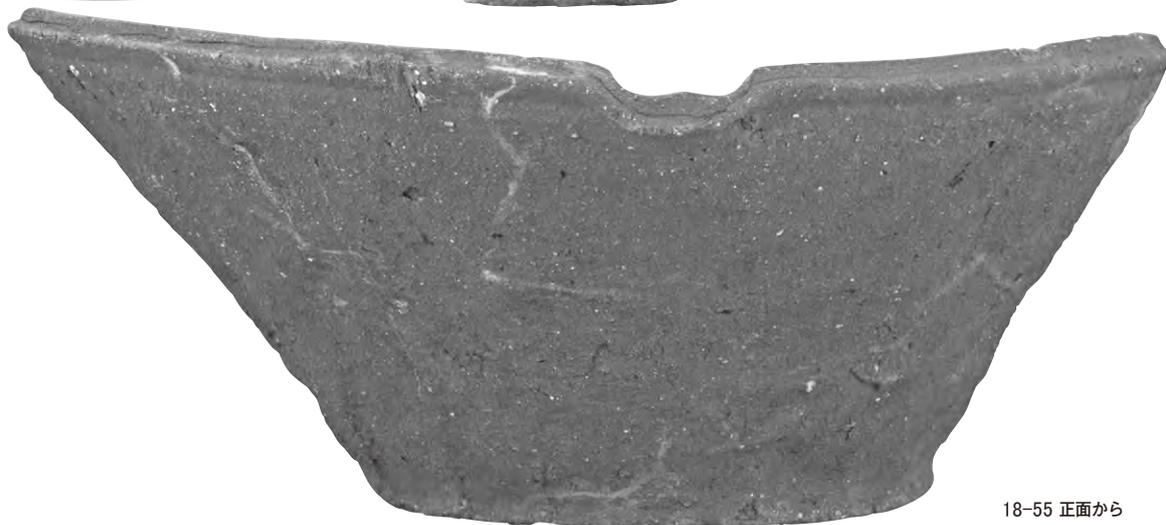
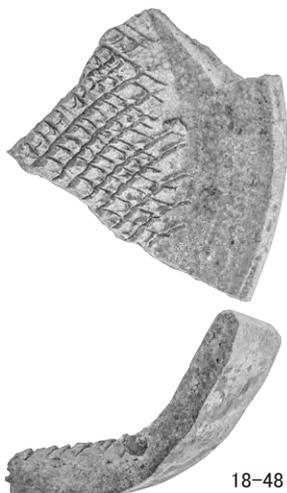
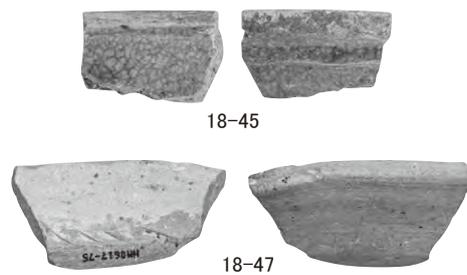




△ 第 1 面面上



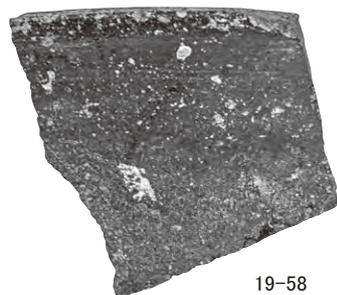
△ 第 1 面構成土



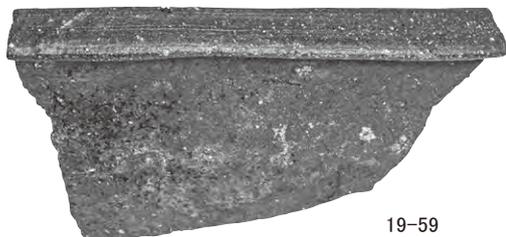
△ 第1面構成土



19-56



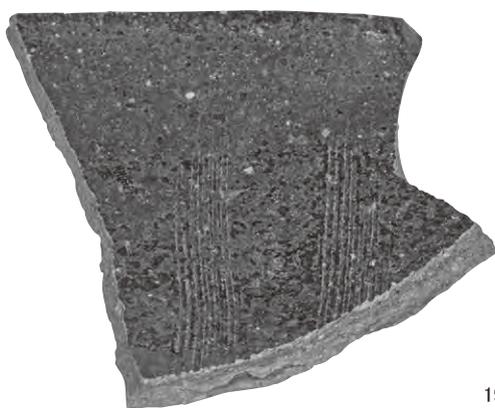
19-58



19-59



19-57



19-63



19-64



19-69



19-72



19-73



19-68



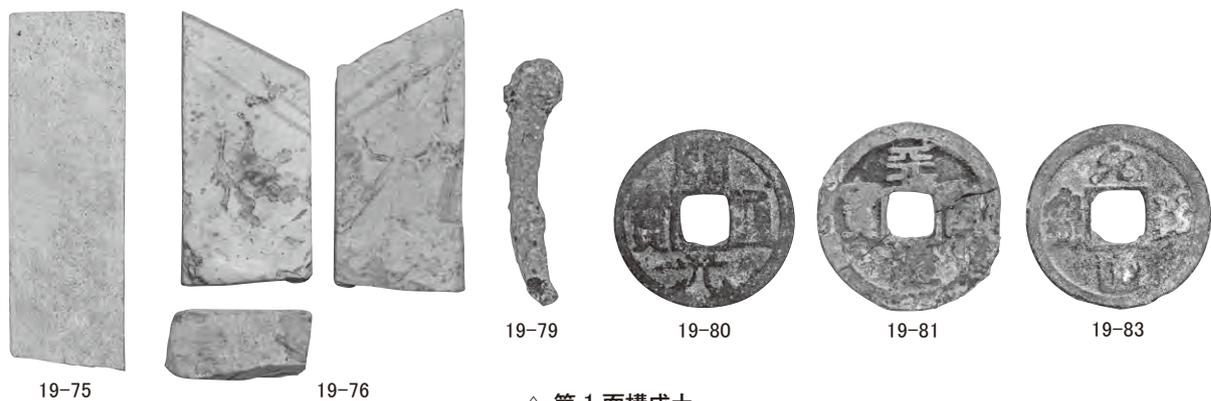
19-70



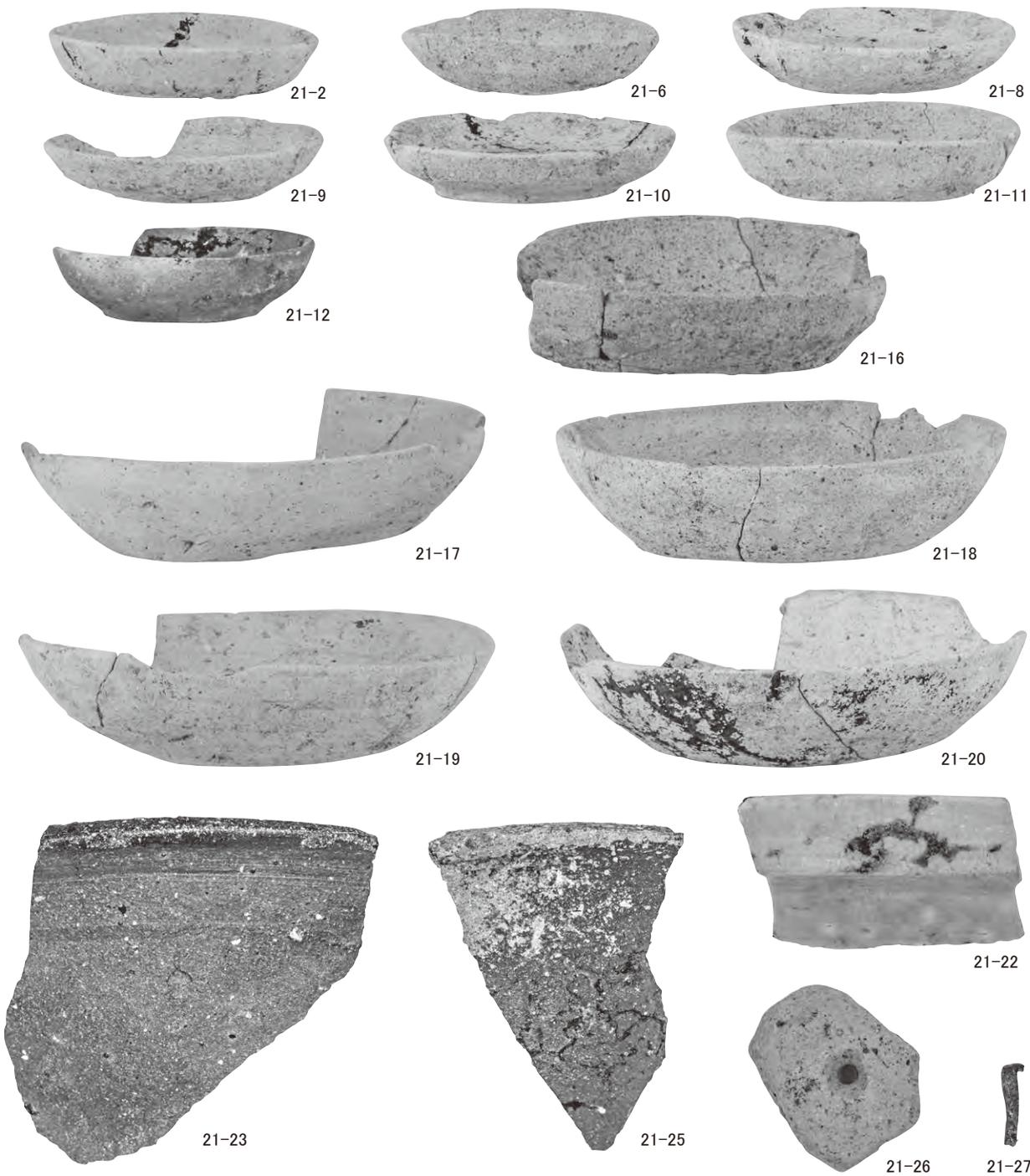
△ 第 1 面構成土



19-74

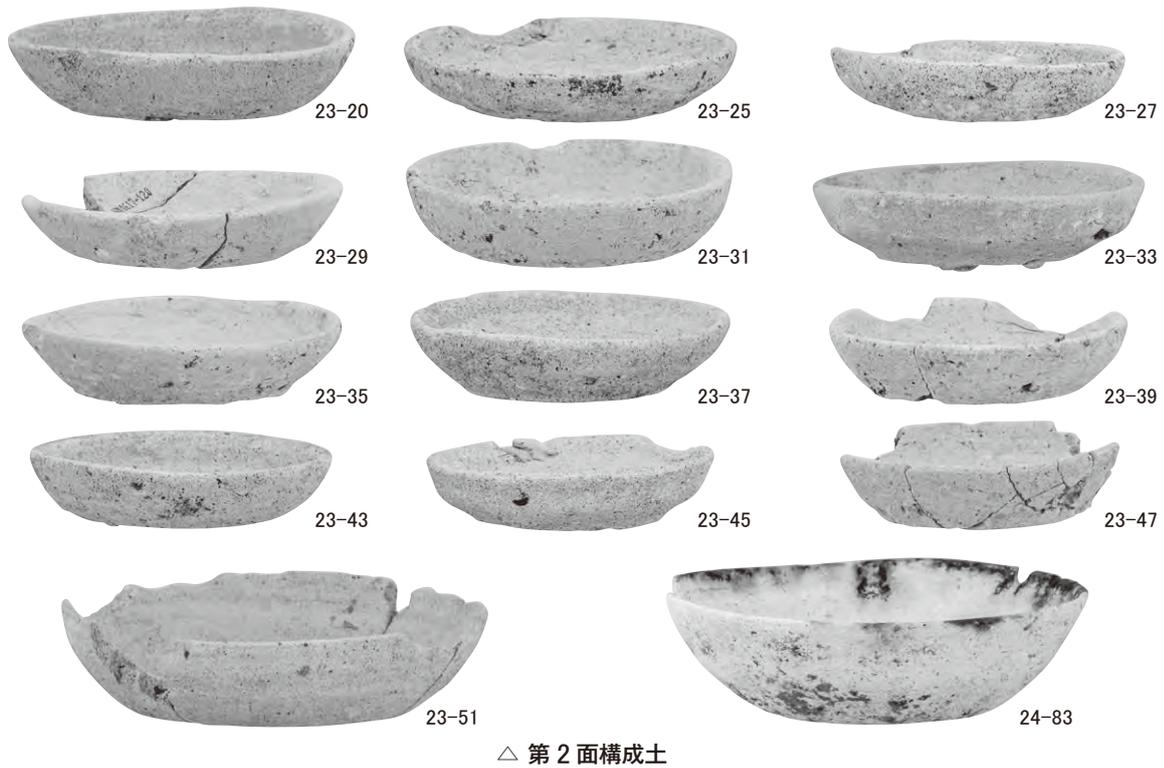
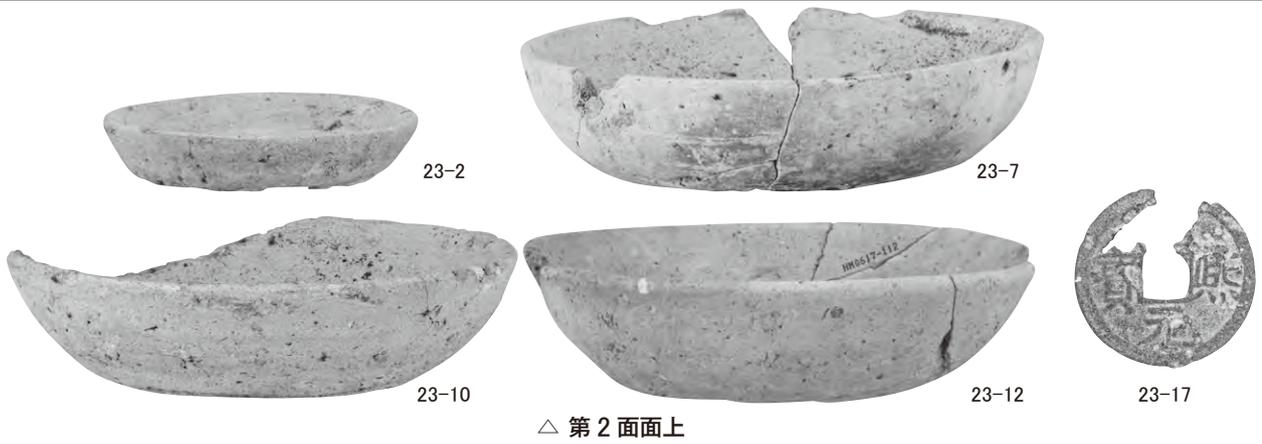
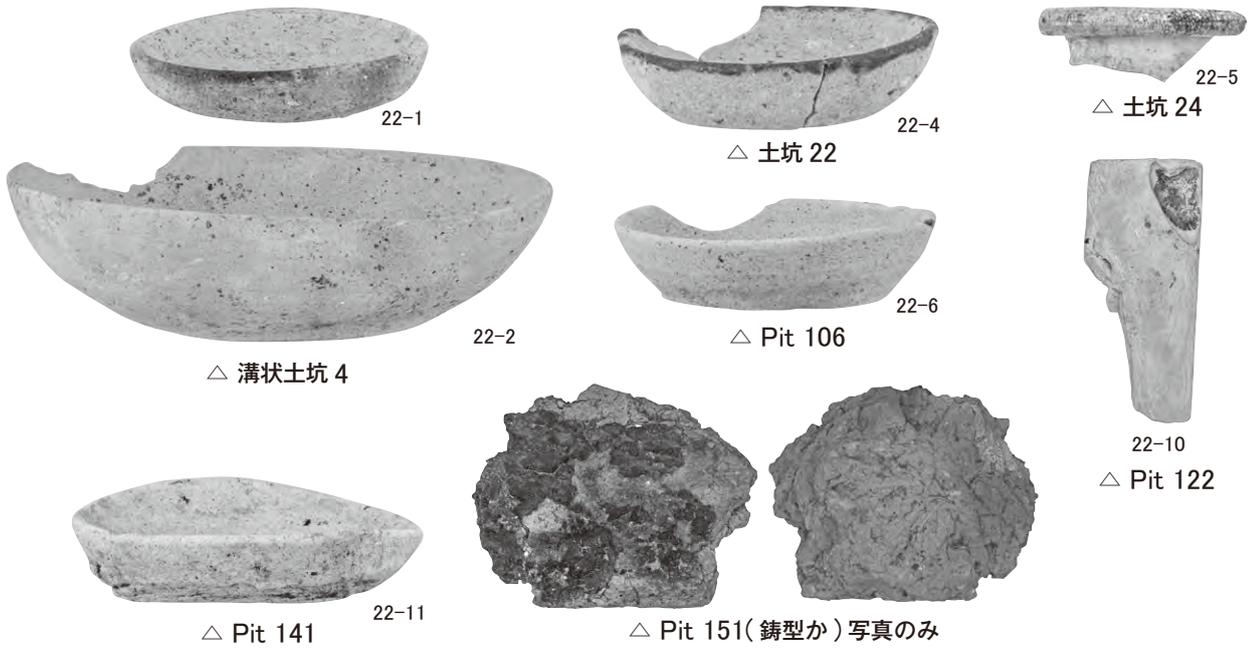


△ 第 1 面構成土



△ 第 2 面土坑 17

図版 16





23-57



23-58



23-59



24-68



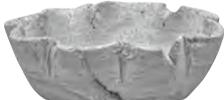
24-70



24-77



24-82



24-73

内面拡大



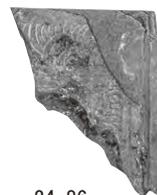
24-85



24-84



△ 第2面構成土



24-86



24-88



26-4



26-10



26-11



26-12

△ 第3面かわらけ集中出土



26-15



26-16



26-18

△ 第3面 かわらけ集中出土



27-1



27-2



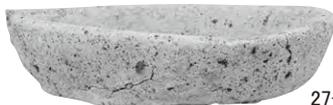
27-3

△ 土坑 26



27-5

△ 土坑 29



27-7

△ 土坑 30



27-8



27-11

△ 土坑 31



28-18



28-19



28-20



28-23

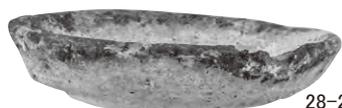


28-24

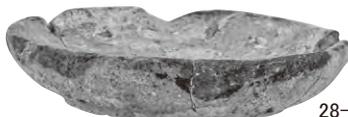


28-25

△ 土坑 32 ▼ 土坑 33



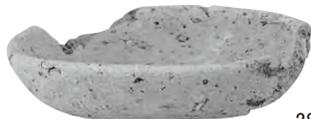
28-27



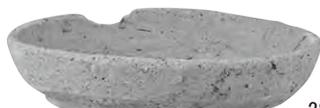
28-28



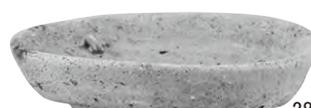
28-29



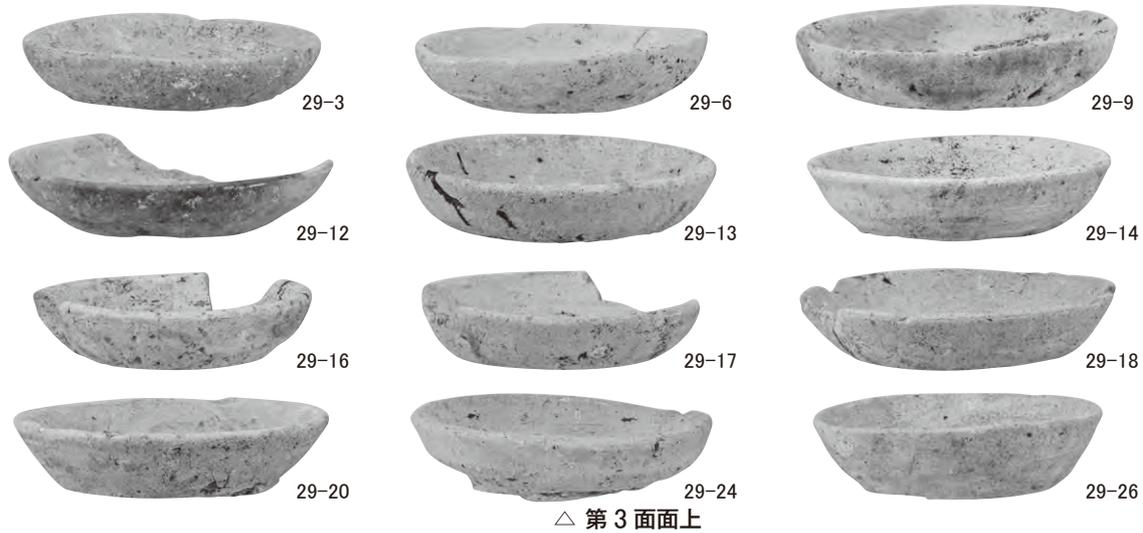
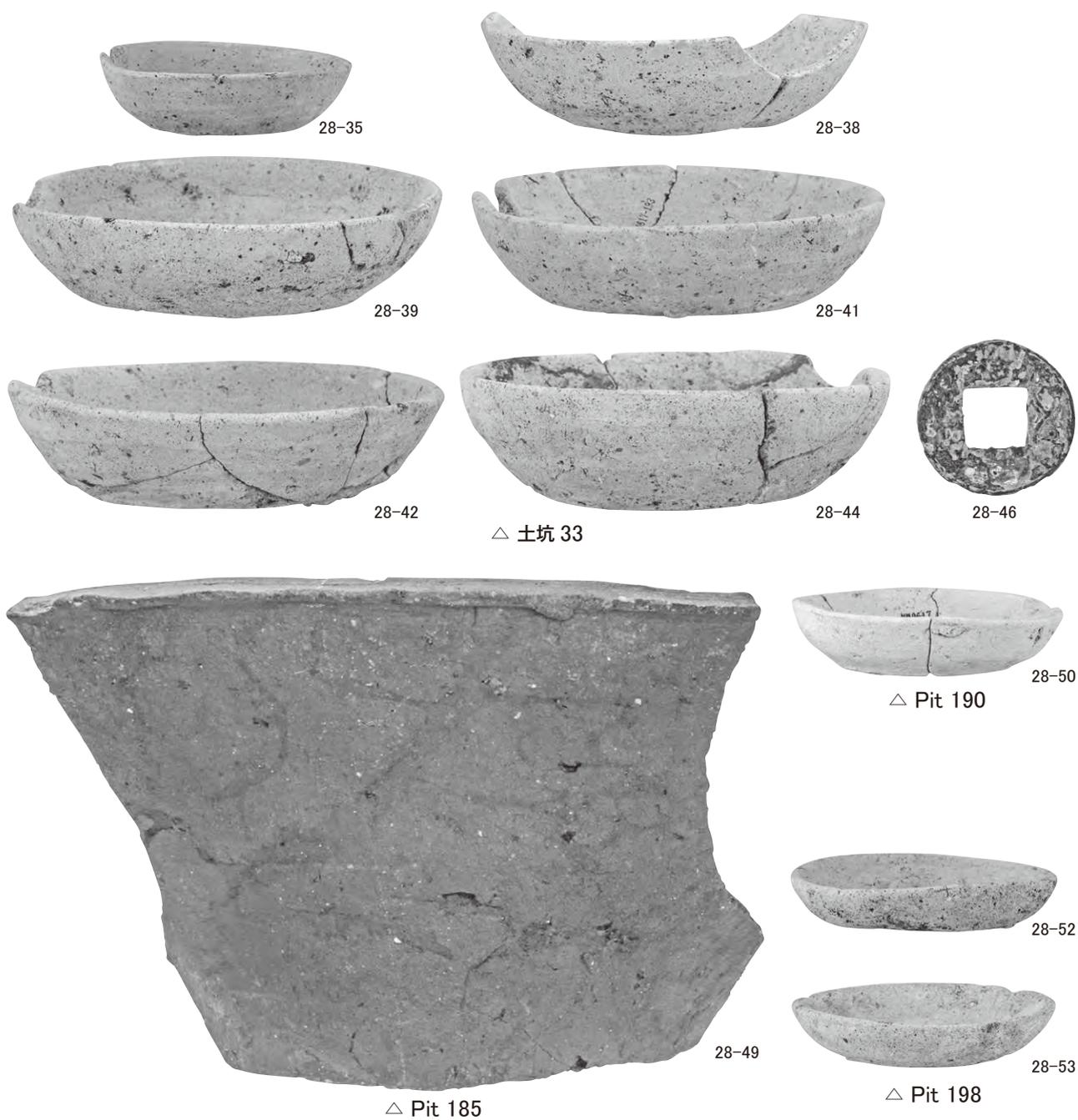
28-31



28-32



28-34





29-28



29-30



29-31



29-36



29-37



29-38



29-40



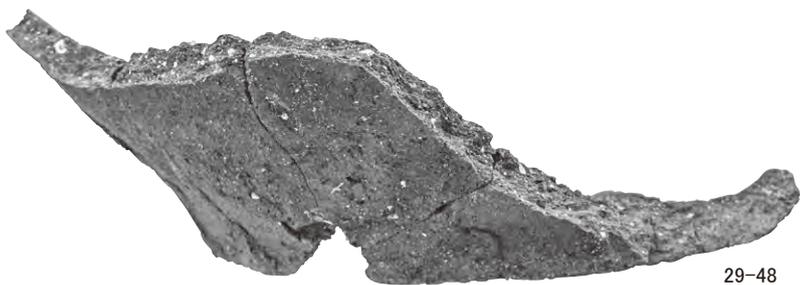
29-43



29-45



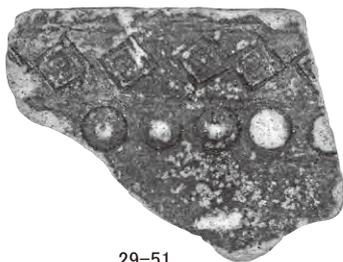
29-46



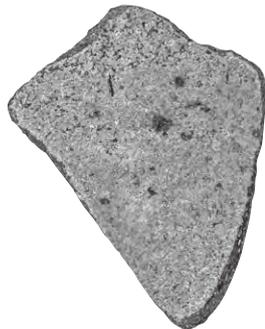
29-48



29-49



29-51



29-52



29-53



29-54



29-56



29-57



29-59

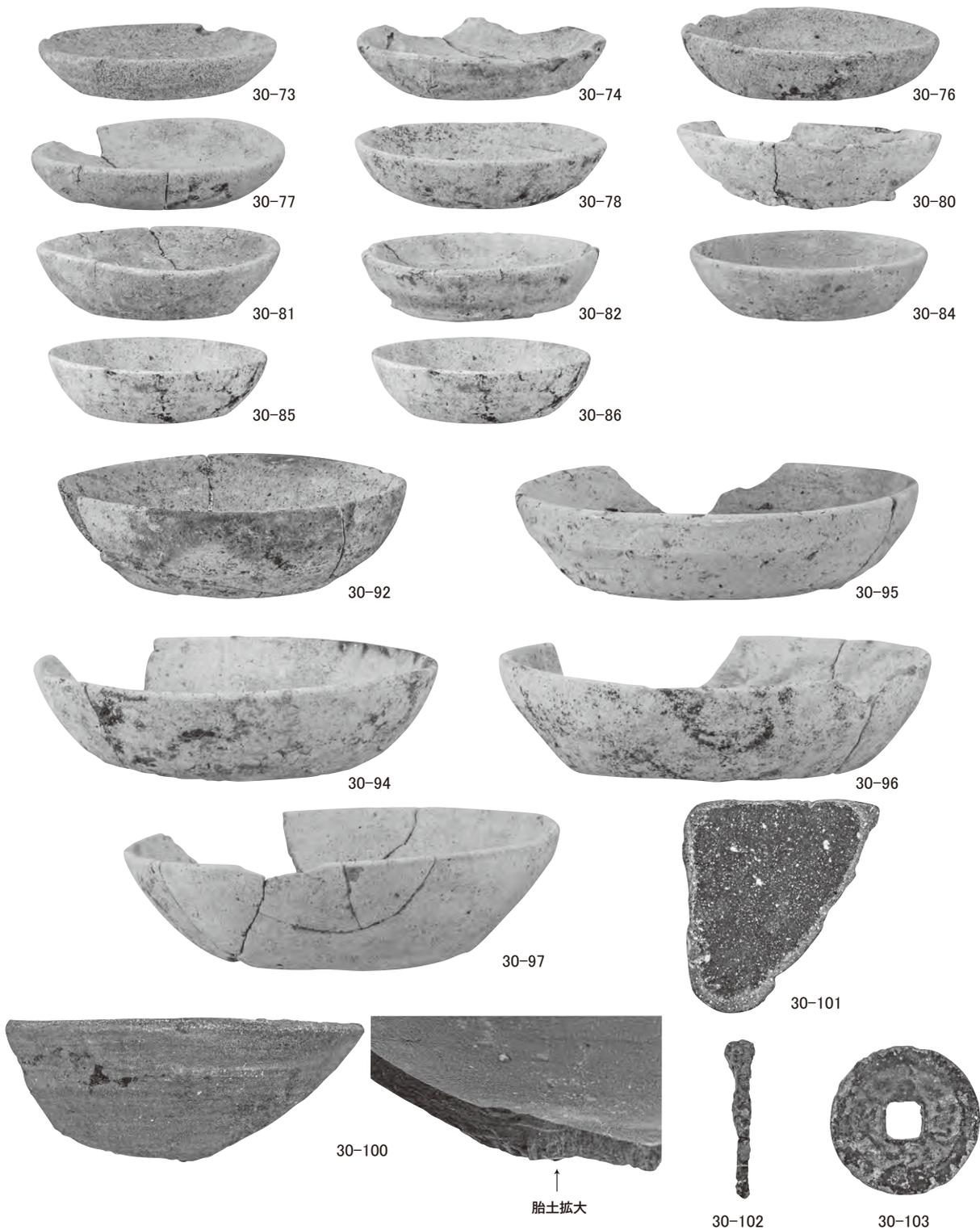


30-64



30-66

△ 第3面面上



↑
胎土拡大

△ 炭化物範圍



△ 第3面構成土



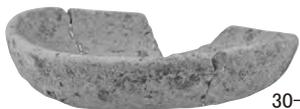
30-126



30-127



30-132



30-133



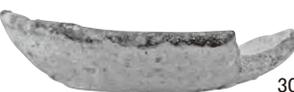
30-135



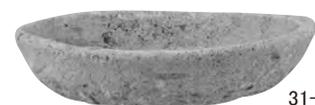
30-138



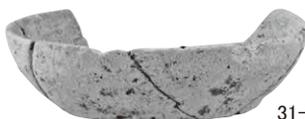
30-140



30-143



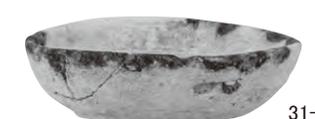
31-147



31-150



31-152



31-155



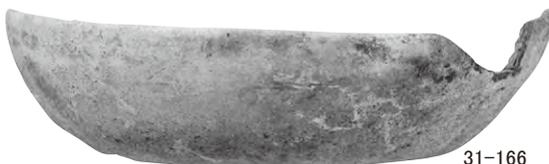
31-156



31-163



31-164



31-166



31-167



31-172



31-175



31-178



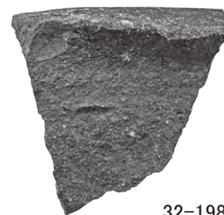
31-186



31-189



31-191



32-198



31-187



31-190



31-193



32-201

△ 第3面構成土



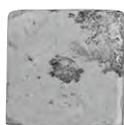
32-204



32-206



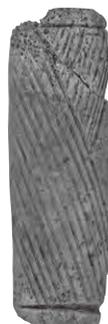
32-207



32-210



32-211



32-215



32-216



32-217

△ 第3面構成土



35-3

△ 土坑 36



35-6

△ Pit 201



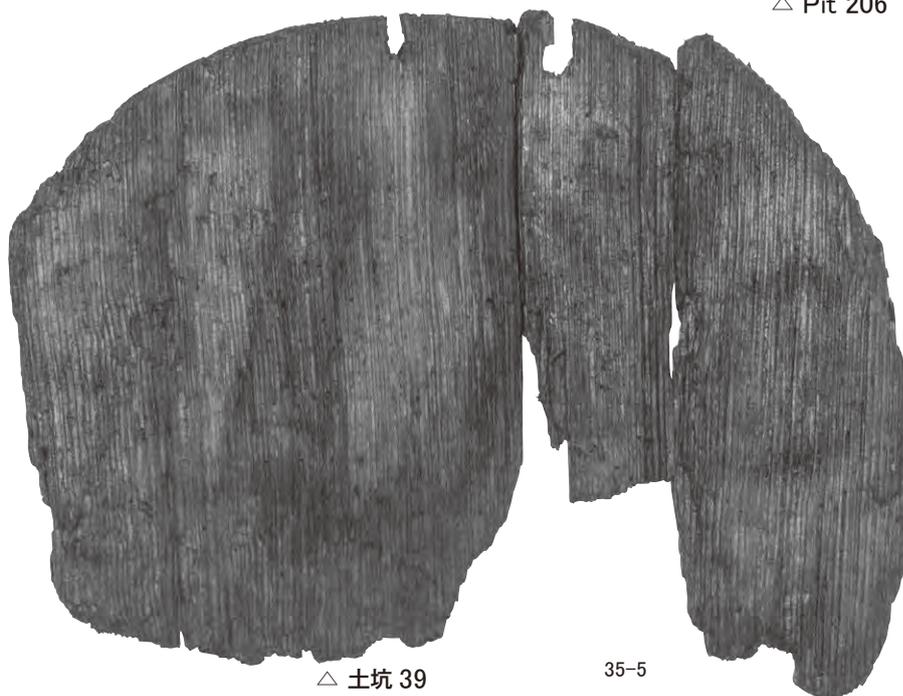
35-7

△ Pit 206



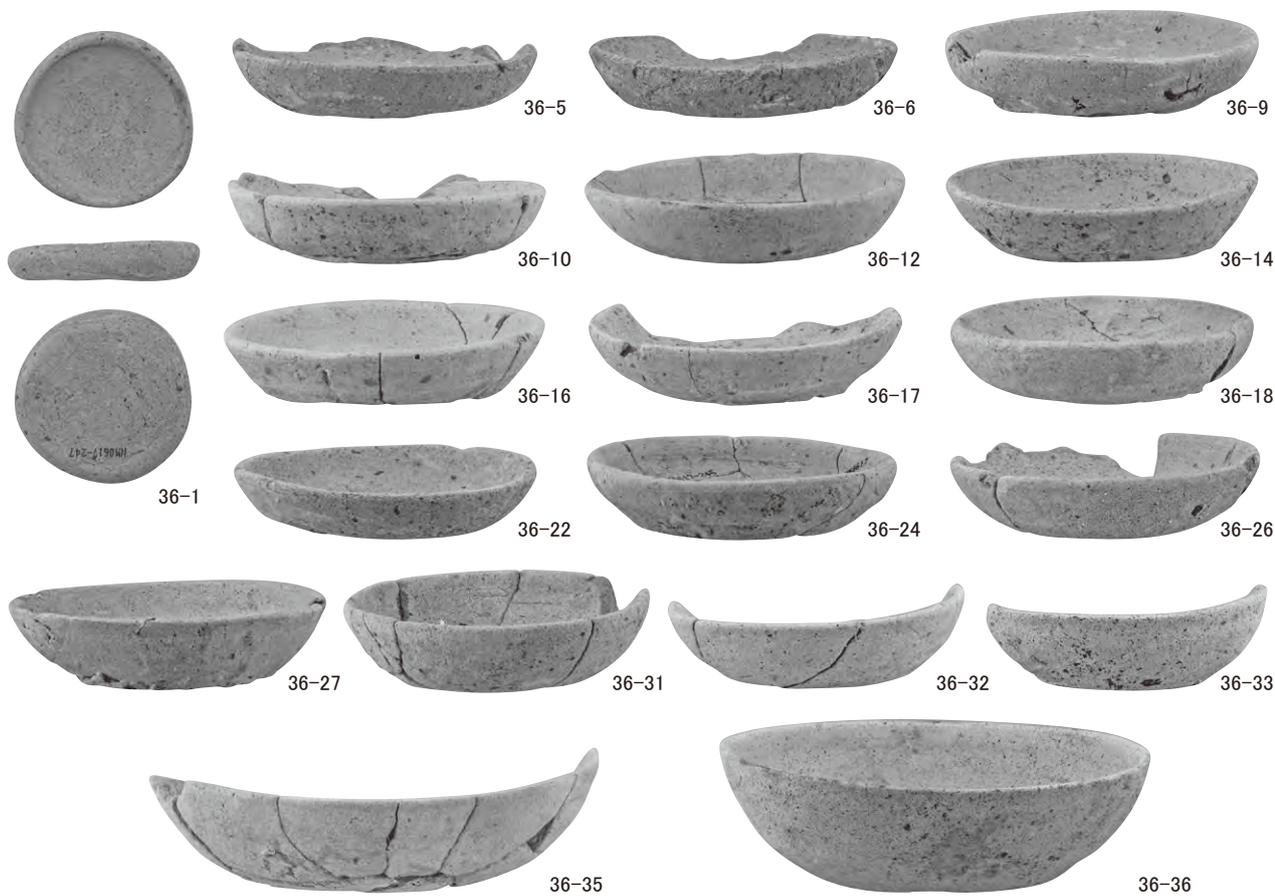
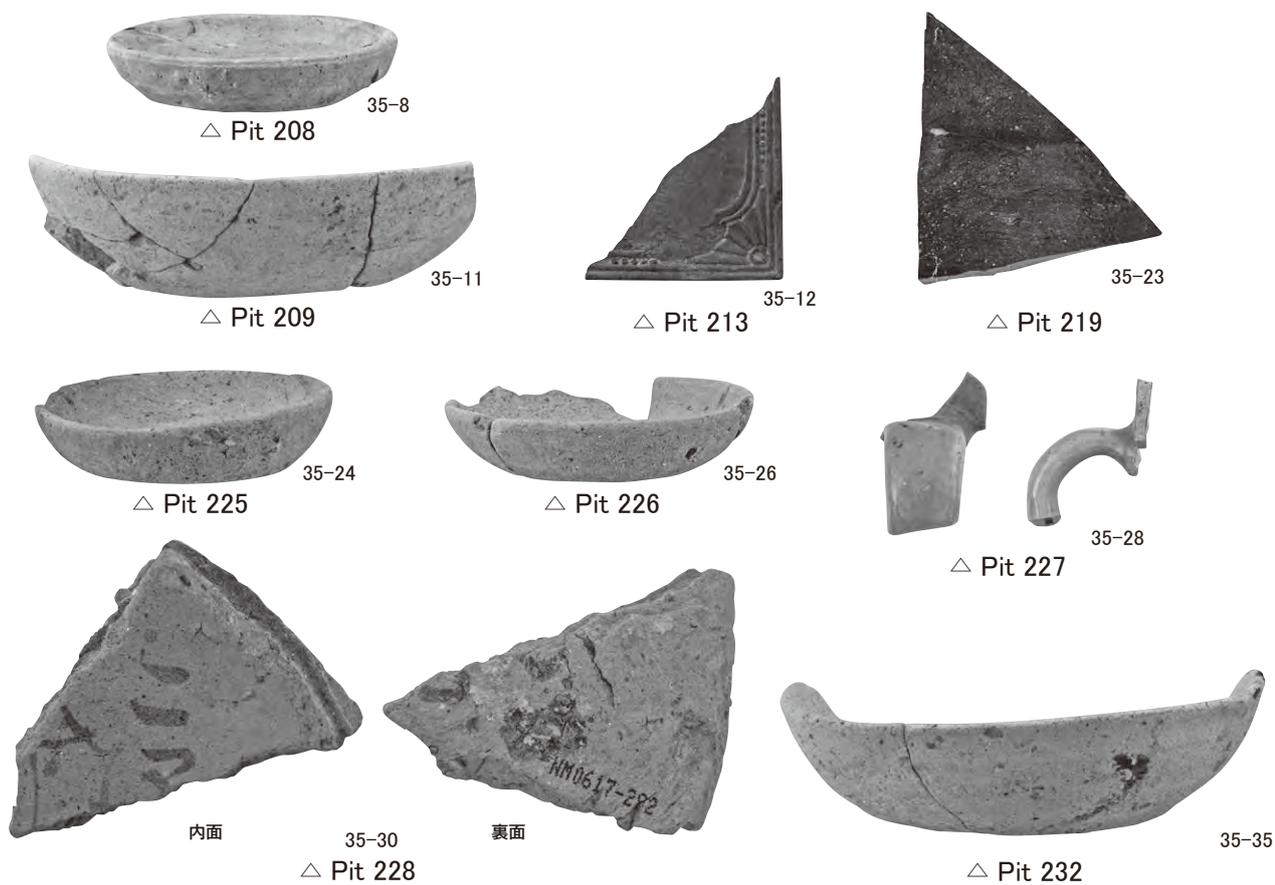
35-1

△ 土坑 34



△ 土坑 39

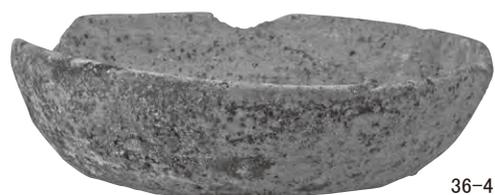
35-5



△ 第4面面上



36-39



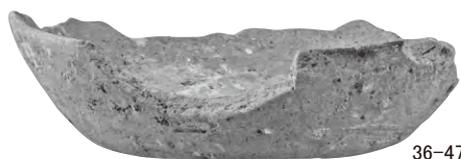
36-41



36-43



36-46



36-47



36-50



36-56



36-57



36-61

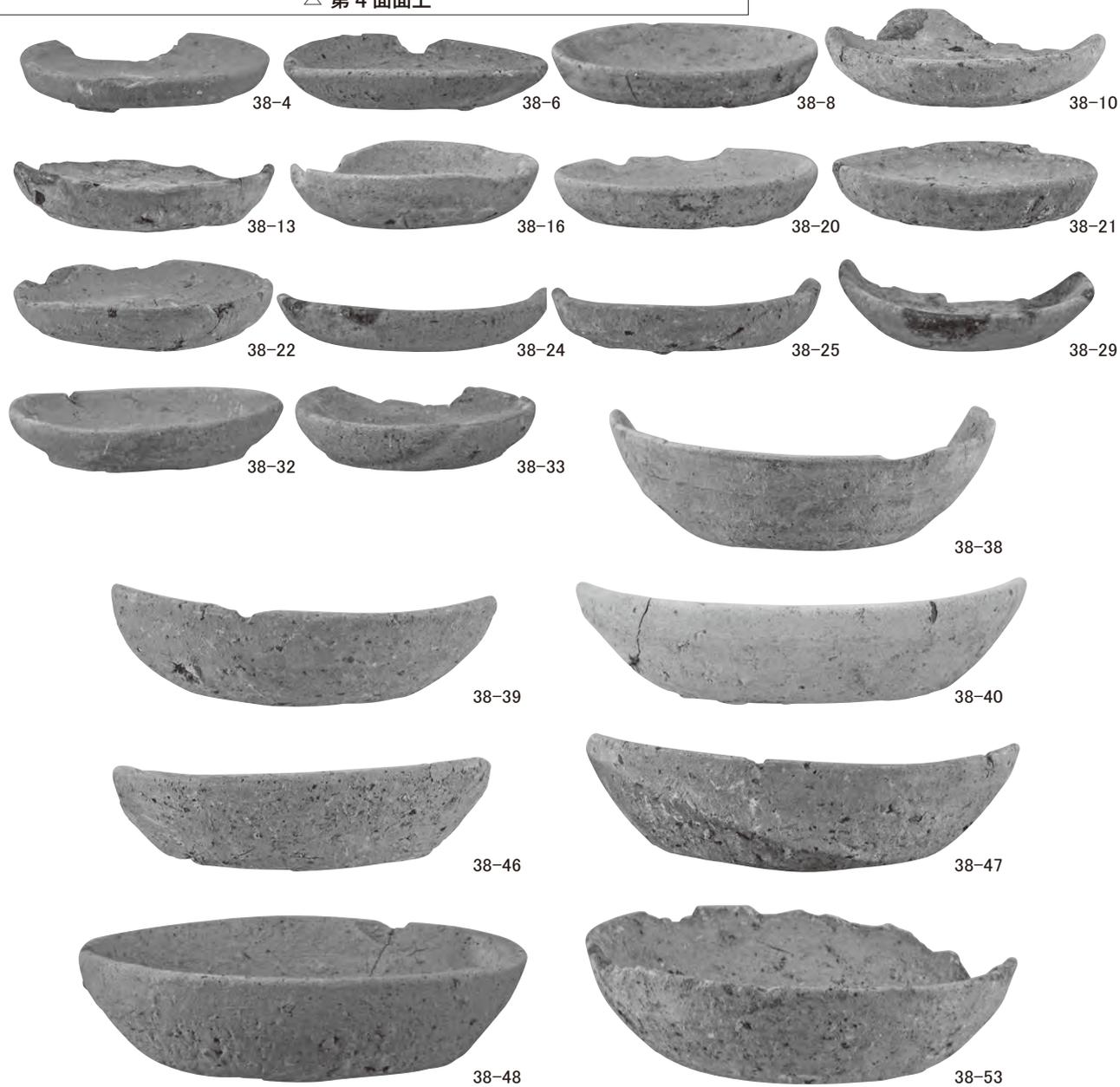
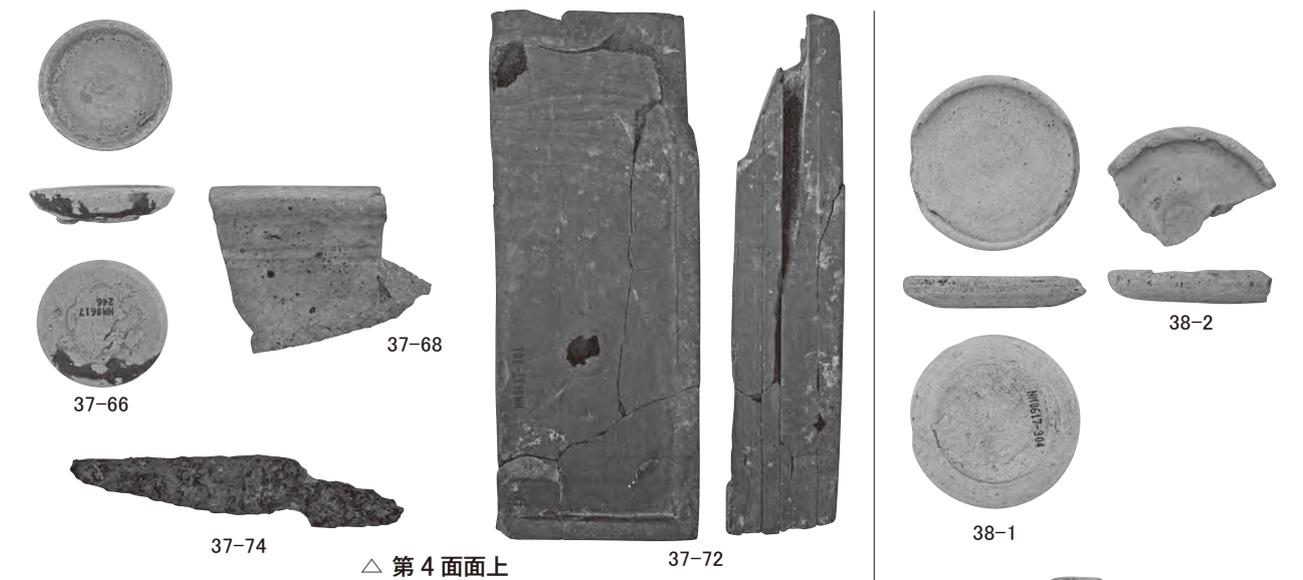


36-62

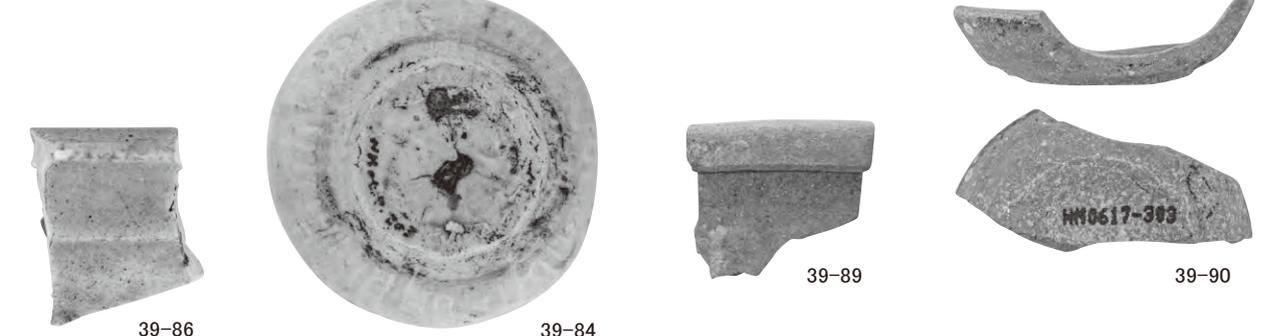
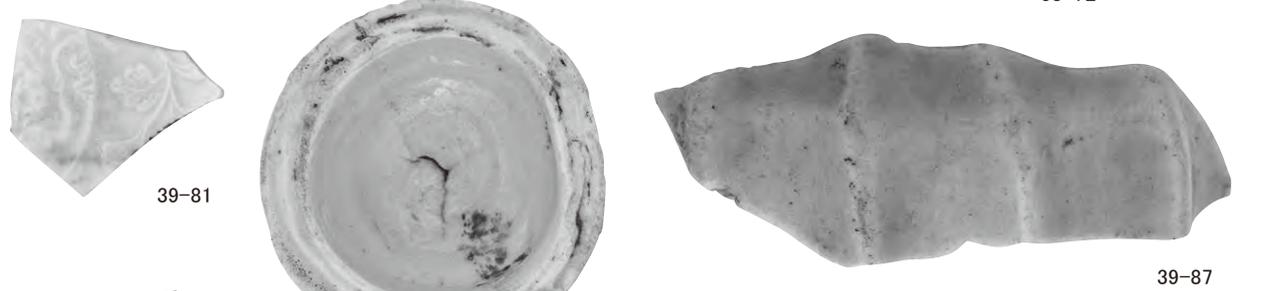
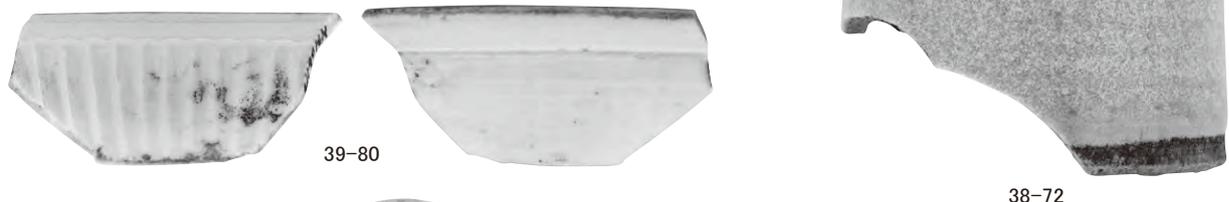
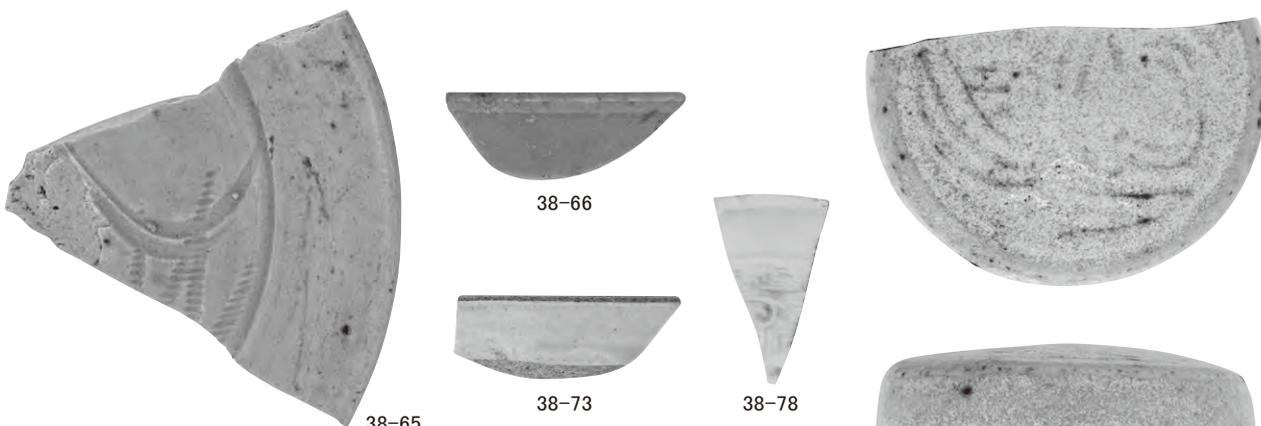


37-64

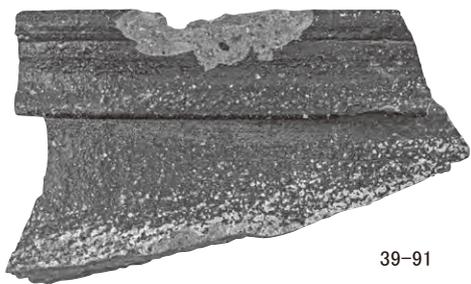
△ 第 4 面面上



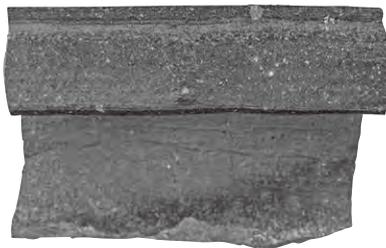
△ 第4面構成土



△ 第4面構成土



39-91



39-92



39-99



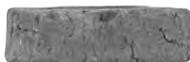
39-103



39-104



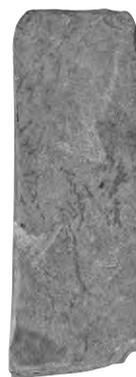
39-107



39-109



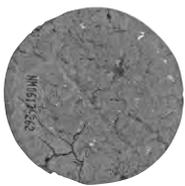
39-110



39-111



39-112



39-113



39-114



39-115

△ 第4面構成土



40-118



40-120



40-123



40-122



40-124



40-125

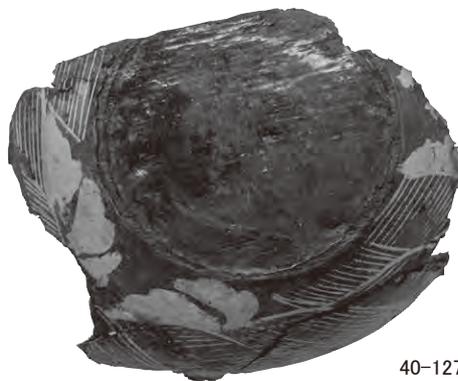


40-126

40-117



40-129



40-127



40-131



40-128



40-134



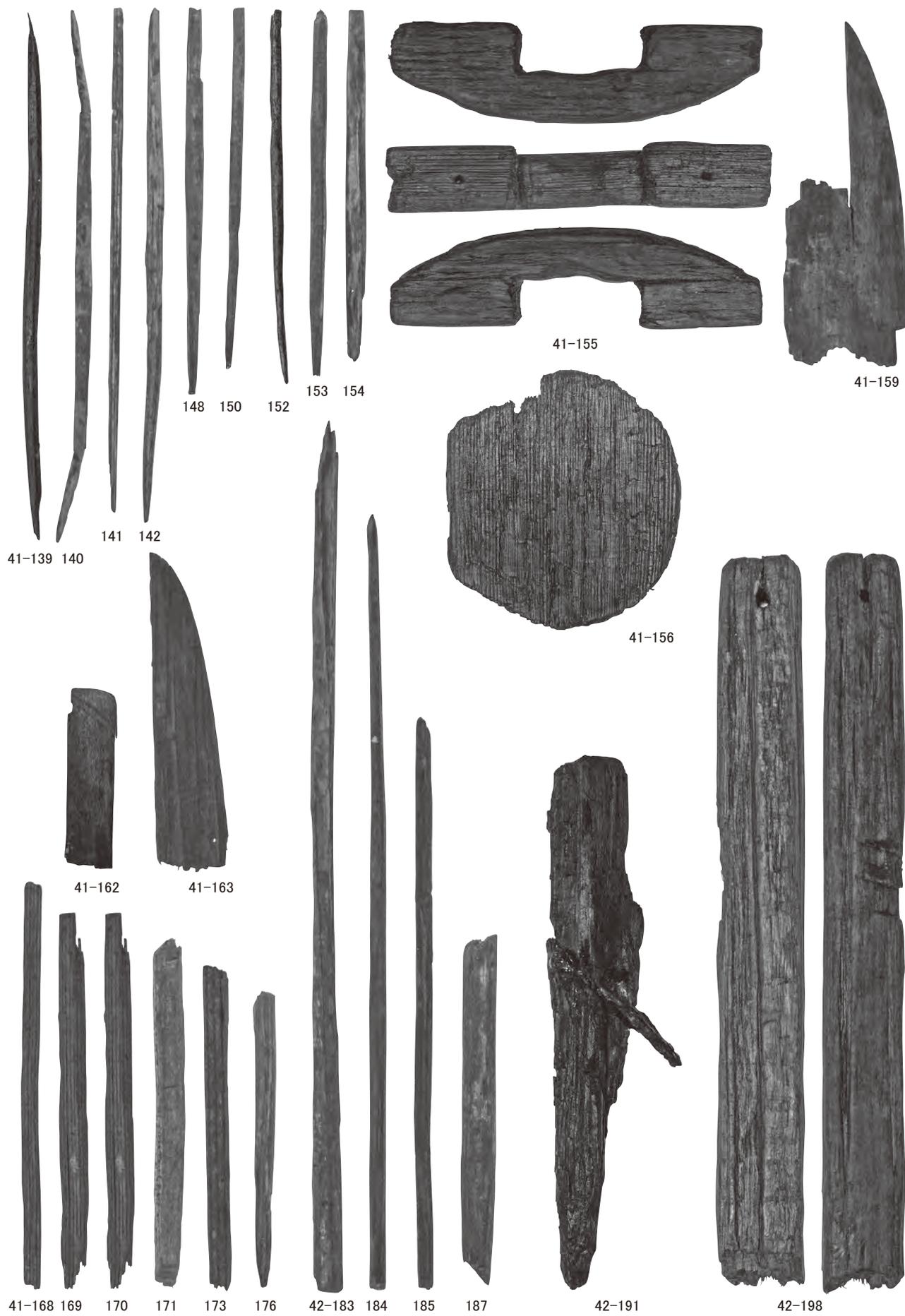
40-132



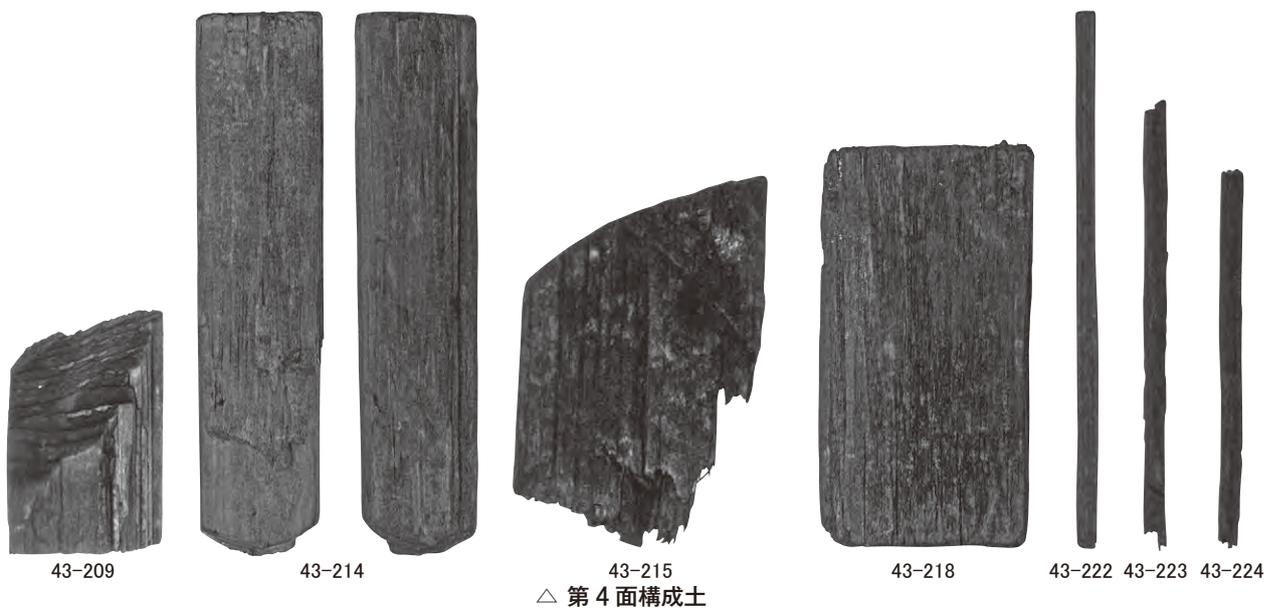
△ 第4面構成土

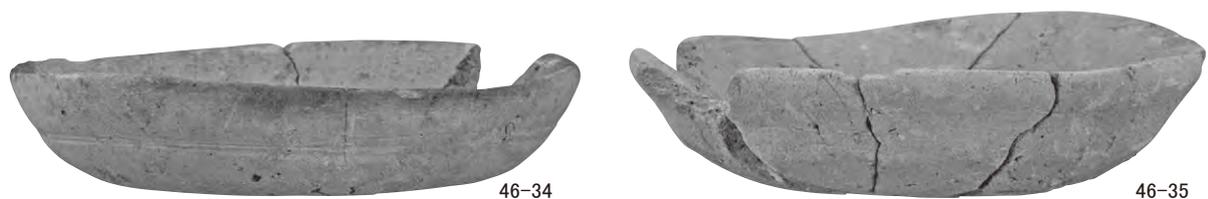


40-135



△ 第4面構成土





46-34

46-35



46-37



46-38



46-40



46-41



46-48

△ 第5面井戸1



46-50

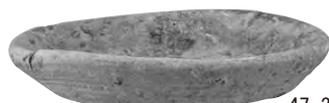
△ Pit 241



47-1



47-2



47-3



47-4



47-5



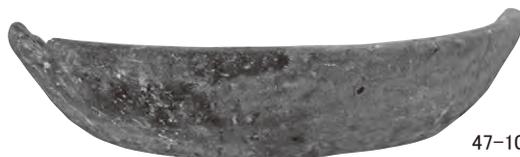
47-6



47-7



47-8



47-10

△ 第5面溝3



47-12



47-14



47-17



47-18



47-19



47-20



47-21



48-22

△ 第 5 面溝 3



48-24



48-25

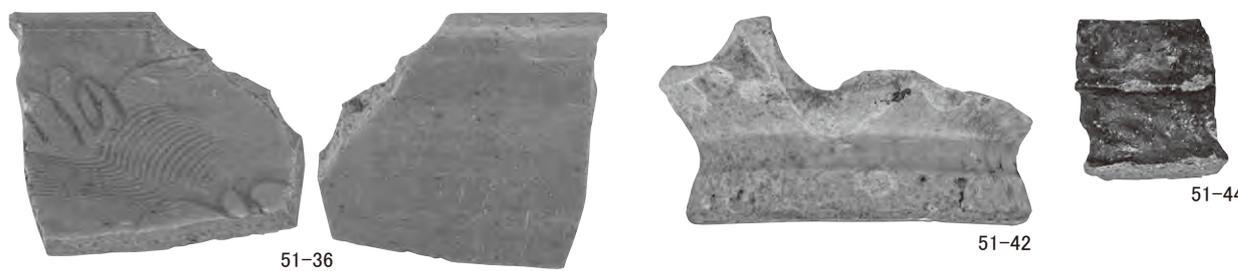
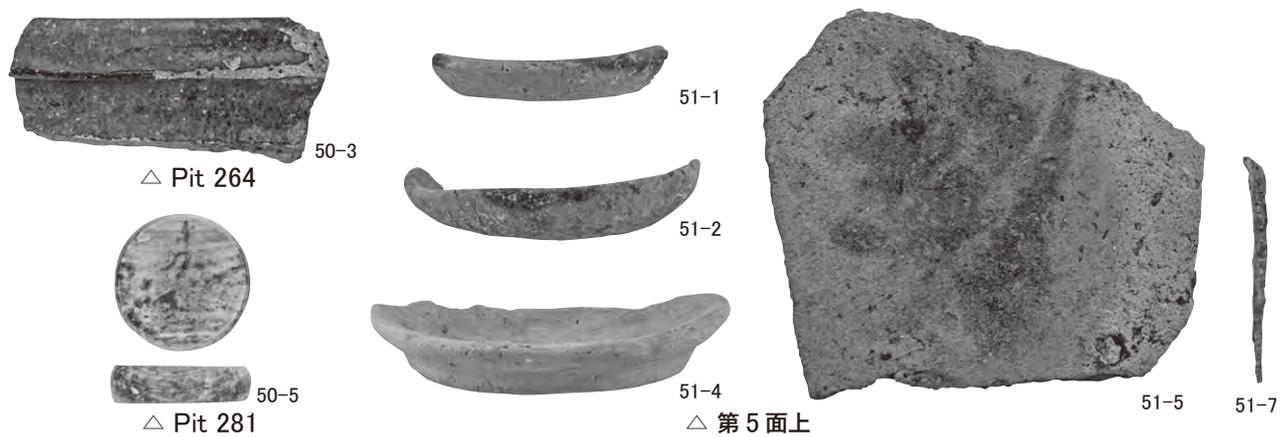


48-26

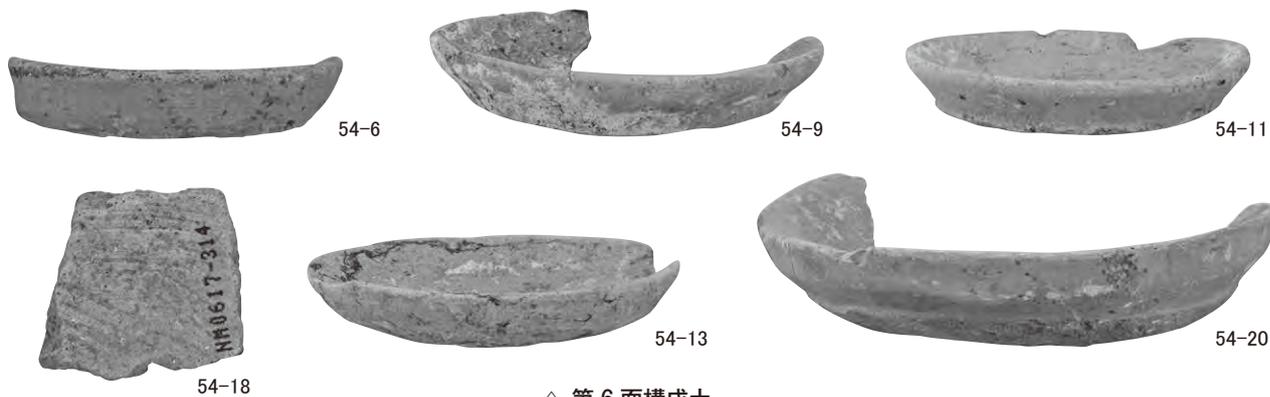
△ 第5面溝3



48-27



△ 第5面構成土



△ 第6面構成土



54-21



54-22



54-29

△ 第6面構成土



57-1

△ 溝4



57-2

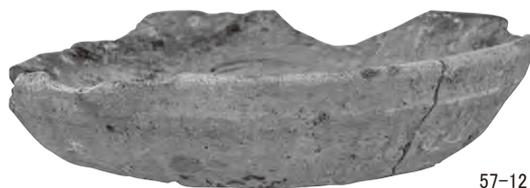


57-9

△ Pit 303



57-10



57-12



57-17



57-18



57-19



57-20



57-21



57-22

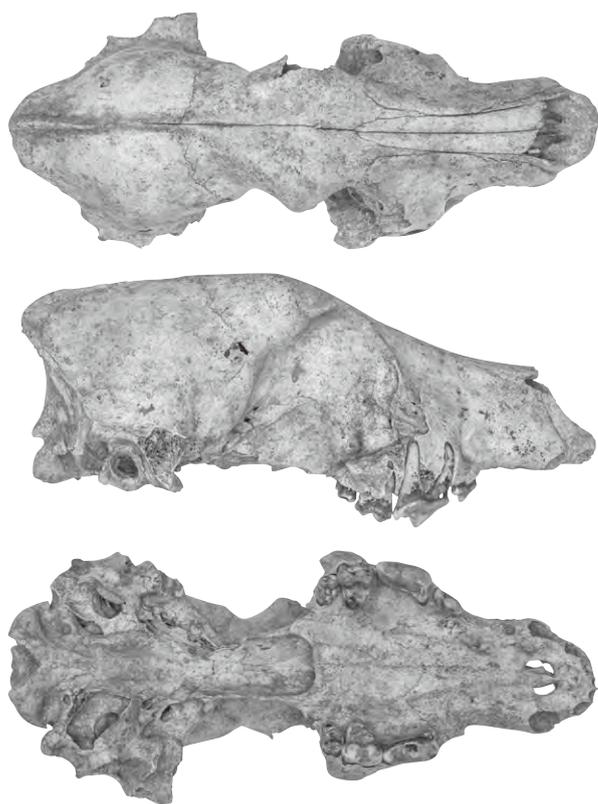


57-23

△ 第7面面上



57-25

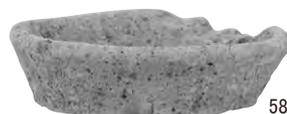


獣骨 写真のみ

△ 第7面面上



58-2



58-3



58-7



58-8

△ 表土採集

報告書抄録

ふりがな	かまくらしまいぞうぶんかざいきんきゅうちょうさほうこくしょ							
書名	鎌倉市埋蔵文化財緊急調査報告書							
副書名	平成27年度発掘調査報告							
巻次	32 (第1分冊)							
シリーズ名								
シリーズ番号								
編著者	伊丹まどか・松吉大樹/伊丹まどか・古田土俊一・松吉大樹							
編集機関	鎌倉市教育委員会							
所在地	〒248-8686 鎌倉市御成町18番10号							
発行年月日	西暦2016年3月31日							
ふりがな	ふりがな	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積 (㎡)	調査原因
所収遺跡名	所在地	市町村	遺跡番号					
にしみかどいせき 西御門遺跡	神奈川県鎌倉市 西御門一丁目 11番14	14204	325	35° 19' 33"	139° 34' 36"	20061017 ～ 20070126	43.00	個人専用 住宅 (杭基礎)
にしみかどいせき 西御門遺跡	神奈川県鎌倉市 西御門一丁目 681番1	14204	325	35° 19' 33"	139° 33' 35"	20061023 ～ 20070125	153.00	個人専用 住宅 (杭基礎)

所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
にしみかどいせき 西御門遺跡	城館跡	中世	溝、土坑、ピット	かわらけ、国産陶器、 舶載陶磁器、木製品、 金属製品、石製品	13世紀前半から15世紀 の生活面を検出。 破碎泥岩の地業造成が 繰り返された。
にしみかどいせき 西御門遺跡	城館跡	中世	掘立柱建物、礎石 建物、池状遺構、 溝、土坑、井戸	かわらけ、国産陶器、 舶載陶磁器、木製品、 金属製品、石製品	13世紀前半から16世紀 の土地利用を確認。土 製人形と墨書かわらけ が出土。

鎌倉市埋蔵文化財緊急調査報告書 32

平成 27 年度発掘調査報告

(第 1 分冊)

発行日 平成 28 年 3 月 31 日

編集・発行 鎌倉市教育委員会

印刷 芝浦エンジニアリング株式会社